

**令和6年度 高田短期大学
授業計画 (シラバス)**

目 次

子ども学科

人 生 と 仏 教	松山 智道	1
情 報 基 礎 演 習	寺家 尚美	3
英 語 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン	駒田 ゆき子	5
	鈴木 晴美	
	服部 芳樹	
日 本 語 表 現	野呂 健一	7
ス タ ー ト ア ッ プ ゼ ミ ナ ー ル	福西 朋子	9
	山本 敦子	
	林 幹士	
	青木 信子	
	長倉 里加	
	松山 智道	
	伊藤 拓也	
	榊原 尉津子	
	亀澤 朋恵	
	權部 良子	
	中嶋 麻衣	
	古谷 淳	
	尾高 慶彦	
教 育 原 理	林 幹士	11
社 会 福 祉	佐脇 幸恵	13
保 育 原 理	權部 良子	15
保 育 の 心 理 学	伊藤 拓也	17
子 ども の 保 健	長倉 里加	19
	伊藤 広子	
子 ども の 食 と 栄 養	生川 美江	21
子 ども と 環 境	河内 純子	23
子 ども と 言 葉	古谷 淳	25
保 育 内 容 総 論	尾高 慶彦	27
音 楽 表 現 技 術	福西 朋子	29
	山本 敦子	
	若井由美子	
	星合 智美	
	岡本加奈子	
	田端香代子	
	木下 和美	
	小柴 雅子	
	丸山 亮子	
	勝井 由紀	
	松江咲恵子	
造 形 表 現 技 術	亀澤 朋恵	31
子 ども と あ そ び	浦中 浩一	33
法 学 (日 本 国 憲 法)	長谷川 博	35
暮 ら し と 数 学	見並 誠	37
ス ポ ー ツ と 健 康 (講 義)	小澤 亮二	39
発 達 学 習 心 理 学	伊藤 拓也	41
子 ども 家 庭 支 援 の 心 理 学	瀬島 美保子	43
保 育 内 容 - 健 康	榊原 尉津子	45
保 育 内 容 - 環 境	曾我 基子	47
教 育 ・ 保 育 カ リ キ ュ ラ ム 論	古谷 淳	49
乳 児 保 育 演 習	長倉 里加	51
特 別 支 援 教 育 と 障 害 児 保 育	齋藤 眞寛	53
社 会 的 養 護 の 内 容 と 方 法	中嶋 麻衣	55
子 ども と 音 楽	福西 朋子	57

	山本 敦子		
	若井由美子		
	星合 智美		
	岡本加奈子		
	田端香代子		
	木下 和美		
	小柴 雅子		
	丸山 亮子		
	勝井 由紀		
	松江咲恵子		
ゼミナール II - A	福西 朋子	59	
	山本 敦子		
	林 幹士		
	青木 信子		
	長倉 里加		
	松山 智道		
	尾高 慶彦		
	榊原 尉津子		
	亀澤 朋恵		
	権部 良子		
	中嶋 麻衣		
	古谷 淳		
教育実習指導 (2)	青木 信子	61	
教育実習 II	青木 信子	63	
保育実習 I	権部 良子	65	
	中嶋 麻衣		
保育実習指導 I - (2)	中嶋 麻衣	66	
人生と仏教 II	松山 智道	68	
暮らしと政治	長谷川 博	70	
保育・教育制度論	林 幹士	72	
子ども家庭福祉	中嶋 麻衣	74	
社会的養護	中野 智行	76	
乳児保育	長倉 里加	78	
	別所 慎介		
発達の理解と援助	仲森 みどり	80	
子どもの健康と安全	長倉 里加	82	
子どもの食と栄養 II	生川 美江	84	
子どもと健康	榊原 尉津子	86	
子どもと人間関係	伊藤 拓也	88	
子どもと表現 (音楽)	山本 敦子	90	
子どもと表現 (造形)	亀澤 朋恵	92	
保育内容 - 言葉	古谷 淳	94	
音楽表現技術 II	福西 朋子	96	
	山本 敦子		
	若井由美子		
	星合 智美		
	岡本加奈子		
	田端香代子		
	木下 和美		
	小柴 雅子		
	丸山 亮子		
	勝井 由紀		
	松江咲恵子		
ゼミナール I	福西 朋子	98	
	山本 敦子		
	林 幹士		
	青木 信子		
	長倉 里加		

	松山 智道	
	伊藤 拓也	
	榊原 尉津子	
	亀澤 朋恵	
	權部 良子	
	中嶋 麻衣	
	古谷 淳	
	尾高 慶彦	
キャリアスタディ	福西 朋子	100
	山本 敦子	
	林 幹士	
	青木 信子	
	長倉 里加	
	松山 智道	
	伊藤 拓也	
	榊原 尉津子	
	亀澤 朋恵	
	權部 良子	
	中嶋 麻衣	
	古谷 淳	
	尾高 慶彦	
教育実習 I	青木 信子	102
教育実習指導 (1)	青木 信子	104
保育実習 I	權部 良子	106
	中嶋 麻衣	
保育実習指導 I - (1)	權部 良子	107
暮らしと環境	堀井 雅恵	109
スポーツと健康 (実技)	小澤 亮二	111
保育者論	林 幹士	113
子ども家庭支援論	中嶋 麻衣	115
保育内容 - 人間関係	青木 信子	117
保育内容 - 表現	福西 朋子	119
	榊原 尉津子	
	亀澤 朋恵	
教育の方法と技術	中條 敦仁	121
子ども理解とカウンセリング	樹下 のぞみ	123
子育て支援	河内 純子	125
子どもと音楽 II	福西 朋子	127
	山本 敦子	
	若井由美子	
	星合 智美	
	岡本加奈子	
	田端香代子	
	木下 和美	
	小柴 雅子	
	丸山 亮子	
	勝井 由紀	
	松江咲恵子	
仏教保育	松山 智道	129
ゼミナール II - B	福西 朋子	131
	山本 敦子	
	林 幹士	
	青木 信子	
	長倉 里加	
	松山 智道	
	尾高 慶彦	
	榊原 尉津子	
	亀澤 朋恵	

	権部 良子	
	中嶋 麻衣	
	古谷 淳	
保育・教職実践演習(幼稚園)	福西 朋子	133
	尾高 慶彦	
	伊藤 拓也	
保 育 実 習 II	尾高 慶彦	135
保 育 実 習 指 導 II	尾高 慶彦	137
たかたん保育特別演習(自然保育)	福西 朋子	139
	中嶋 麻衣	
	谷 慶子	
たかたん保育特別演習(子育て支援)	青木 信子	141
	河内 純子	
たかたん保育特別演習(保育教材)	浦中 浩一	143

キャリア育成学科

人 生 と 仏 教 I	清水谷 正尊	145
情 報 基 礎 演 習	鷺尾 敦	147
情 報 基 礎 演 習	寺家 尚美	150
英 語 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン	駒田 ゆき子	152
ス ポ ー ツ と 健 康 (実 技)	小澤 亮二	154
日 本 語 表 現	野呂 健一	156
日 本 語 表 現	石川 節子	158
ス タ ー ト ア ッ プ ゼ ミ ナ ー ル	野呂 健一	160
	川喜田 多佳子	
	伊東 秀幸	
	江淵 剛	
	杉本 あゆみ	
	中川 千代	
	上山 由紀子	
	長谷川 恭子	
	東海林 藍	
キ ャ リ ア デ ザ イン I	杉本 あゆみ	162
キ ャ リ ア デ ザ イン I	前田 恵里	164
キ ャ リ ア ベ ー シ ョ ン I	野呂 健一	166
	江淵 剛	
	鈴木 晴美	
ビ ジ ネ ス マ ナ ー I	杉本 あゆみ	168
社 会 体 験 学 習	伊東 秀幸	170
	江淵 剛	
社 会 体 験 実 習	伊東 秀幸	172
	江淵 剛	
地 域 実 践	伊東 秀幸	174
チ ャ ーム ワ ーク 演 習	伊東 秀幸	176
数 学 演 習	村野 温志	178
秘 書 学 I	枝光 悠	180
経 済 学	金子 満来	182
簿 記 論 I	山口 昌和	184
	田中 三雄	
簿 記 演 習	山口 昌和	186
	田中 三雄	
簿 記 総 合 演 習	山口 昌和	188
	田中 三雄	
商 業 簿 記 論	田中 三雄	190
工 業 簿 記 論	細井 薫	192
文 書 情 報 演 習 I	川喜田 多佳子	194

ビジネス情報演習Ⅰ	川喜田 多佳子	196
レクリエーション理論	長谷川 恭子	198
現場実習	長谷川 恭子	200
生活と福祉	世古口 正臣	202
ボランティア論	杉谷 美華	204
くらしとレクリエーション	服部 優子	206
コミュニケーション技術Ⅰ	倉田 町子	208
基礎生活支援技術Ⅰ	中川 千代	210
基礎生活支援技術Ⅱ	東海林 藍	212
介護過程Ⅰ	松枝 桂子	214
介護実習総合演習Ⅰ	上山 由紀子 東海林 藍	216
介護実習Ⅰ	上山 由紀子 長谷川 恭子 中川 千代 東海林 藍	218
心と身体のしくみⅠ	玉利 健悟	219
心と身体のしくみⅡ	伊藤 利美	221
人間発達の理解Ⅰ	山口 明日香	223
日本語会話Ⅰ	石川 節子	225
法学(日本国憲法)	長谷川 博	227
暮らしと政治	長谷川 博	229
介護過程Ⅲ	上山 由紀子	231
介護過程Ⅳ	松枝 桂子	233
介護実習総合演習Ⅲ	長谷川 恭子	235
介護実習Ⅱ	中川 千代 長谷川 恭子 上山 由紀子 東海林 藍	237
介護実習Ⅲ	中川 千代 上山 由紀子 服部 優子	239
心と身体のしくみⅣ	上山 由紀子 福田 洋子	241
認知症の理解Ⅱ	長谷川 恭子	243
障害の理解Ⅰ	千草 篤磨	245
医療的ケアⅡ	上山 由紀子	247
キャリアガイダンスⅡ	伊東 秀幸	249
チームプロジェクト演習Ⅱ	伊東 秀幸	251
プレゼンテーション	野呂 健一	253
日本語作文Ⅱ	石川 節子	255
統計処理解	鷺尾 敦	257
市場調査	立石 佳代	260
ゼミナールⅡ	野呂 健一	262
ゼミナールⅡ	鷺尾 敦	264
ゼミナールⅡ	川喜田 多佳子	266
ゼミナールⅡ	伊東 秀幸	268
ゼミナールⅡ	江淵 剛	270
ゼミナールⅡ	中川 千代	272
ゼミナールⅡ	上山 由紀子	274
ゼミナールⅡ	長谷川 恭子	276
ゼミナールⅡ	杉本 あゆみ	278
オフィス実務論	杉本 あゆみ	280
社会学	中畑 裕之	282
経営管理論	江淵 剛	284
地域マネジメント論	伊東 秀幸	287
地本事情Ⅰ	前田 恵里	289
租税	西川 孝幸	291

オフィス文書処理実践	川喜田 多佳子	293
データベースⅡ	鷺尾 敦	295
医療事務Ⅰ	ソラスト	297
	坂本,前川,水野	
医療事務Ⅱ	ソラスト	299
	坂本,前川,水野	
カウンセリング概論	橋本 景子	301
医療事務Ⅲ	ソラスト	303
	坂本,前川,水野	
社会保障	蒔田 勝義	305
災害福祉	福田 洋子	307
介護管理	伊藤 利美	309
くらしとりハビリテーション	大川 達	311
生活の理解Ⅰ	和田 欣子	313
応用生活支援技術Ⅲ	村尾 悠	315
総合生活支援技術	服部 優子	317
	東海林 藍	
人生と仏教Ⅱ	清水谷 正尊	319
暮らしと数学	村野 温志	321
キャリアデザインⅡ	江淵 剛	323
キャリアガイダンスⅠ	中畑 裕之	325
	杉本 あゆみ	
キャリアガイダンスⅡ	伊東 秀幸	327
キャリアベシクⅡ	野呂 健一	329
	江淵 剛	
	鈴木 晴美	
コミュニケーションスキル	野呂 健一	331
文書技法	野呂 健一	333
英会話	駒田 ゆき子	335
ビジネスマネーⅡ	杉本 あゆみ	337
チームプロジェクト演習Ⅰ	伊東 秀幸	339
ゼミナールⅠ	野呂 健一	341
ゼミナールⅠ	江淵 剛	343
ゼミナールⅠ	川喜田 多佳子	345
ゼミナールⅠ	杉本 あゆみ	347
ゼミナールⅠ	東海林 藍	349
ゼミナールⅠ	伊東 秀幸	351
ゼミナールⅠ	中川 千代	353
ゼミナールⅠ	長谷川 恭子	355
ゼミナールⅠ	上山 由紀子	357
秘書学Ⅱ	枝光 悠	359
経営学	江淵 剛	361
簿記論Ⅱ	山口 昌和	364
	田中 三雄	
商業簿記演習	田中 三雄	366
工業簿記演習	細井 薫	368
情報・ネットワーク活用論	鷺尾 敦	370
文書情報演習Ⅰ	寺家 尚美	372
文書情報演習Ⅱ	川喜田 多佳子	374
ビジネス情報演習Ⅱ	寺家 尚美	376
データベースⅠ	鷺尾 敦	378
人間関係Ⅰ	山口 明日香	380
介護概論	中川 千代	382
老人のくらし	世古口 正臣	384
コミュニケーション技術Ⅱ	倉田 町子	386
生活の理解Ⅱ	和田 欣子	388
基礎生活支援技術Ⅲ	松枝 桂子	390
	東海林 藍	

基礎生活支援技術 IV	長谷川 恭子	392
	東海林 藍	
応用生活支援技術 I	村尾 悠	394
応用生活支援技術 II	蒔田 勝義	396
介護過程 II	中川 千代	398
介護実習総合演習 II	中川 千代	400
心と身体のおしくみ III	福田 洋子	402
人間発達の理解 II	森尾 邦正	404
認知症の理解 I	太城 康良	406
医療的ケア I	上山 由紀子	408
日本語会話 II	石川 節子	410
日本語作文 I	石川 節子	412
スポーツと健康(講義)	小澤 亮二	414
日本語作文 III	石川 節子	416
ゼミナール III	野呂 健一	418
ゼミナール III	鷺尾 敦	420
ゼミナール III	川喜田 多佳子	422
ゼミナール III	伊東 秀幸	424
ゼミナール III	江淵 剛	426
ゼミナール III	中川 千代	428
ゼミナール III	上山 由紀子	430
ゼミナール III	長谷川 恭子	432
ゼミナール III	杉本 あゆみ	434
オフィス実務演習	伊藤 友木子	436
職場の人間関係	伊東 秀幸	438
法学(民法・商法・会社法)	長谷川 博	440
労働法	若林 正幸	442
リテールマーケティング論	江淵 剛	444
日本事情 II	前田 恵里	447
会計学	浅沼 慎也	449
ファイナンシャル・プランニング	砂山 祥吾	451
オフィス情報処理実践	川喜田 多佳子	453
ビジネスシステム演習	鷺尾 敦	455
広告デザイン演習	川喜田 多佳子	457
	稲垣有美子	
介護事務 I	ソラスト	460
	坂本,前川,水野	
介護事務 II	ソラスト	462
	坂本,前川,水野	
青年心理学	橋本 景子	464
カウンセリングの技法	橋本 景子	466
人間理解	千草 篤磨	468
人間関係 II	長谷川 恭子	470
地域福祉	蒔田 勝義	472
生活文化	服部 優子	474
障害者のくらし	北村 香織	476
介護過程 V	服部 優子	478
介護実習総合演習 IV	東海林 藍	480
障害の理解 II	福田 洋子	482
医療的ケア演習	上山 由紀子	484
	松枝 桂子	
介護福祉演習 I	服部 優子	486
介護福祉演習 II	上山 由紀子	488

講義科目名称： 人生と仏教 I

授業コード： 50000A 50000B

英文科目名称： Life and Buddhism I

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1	2	必修
担当教員			
松山 智道			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
講義	子ども学科	1A1101	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員 <input type="checkbox"/> 科目に関連した実務経験のある教員が担当している</p> <p>科目に関連した実務内容</p> <p>アクティブラーニング要素 <input type="checkbox"/> ディスカッション、ディベート <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク</p>
------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	積尊の生涯とその教え
到達目標	1. 積尊の生涯とその教えを理解している。2. 教育の理念である「やわらか心」を理解し、あらゆるいのちの平等・尊厳に深く思い至ることができる。3. 「生かされて生きている」ことに感謝し、他を生かす活動の大切さを知っている。
授業概要	積尊の生涯とその教えを学ぶことを通して、人間とは何か、人間としていかに生きるべきかという視点から人生を考える。
授業計画	<p>1 はじめに (宗教とカルト)</p> <p>2 積尊の生涯 1 <時間外学習> 講義初めに前回講義の内容を確認するので、復習をしておくこと。(15分)</p> <p>3 苦しみとその原因 <時間外学習> 講義初めに前回講義の内容を確認するので、復習をしておくこと。(15分)</p> <p>4 縁起 <時間外学習> 講義初めに前回講義の内容を確認するので、復習をしておくこと。(15分)</p> <p>5 積尊の生涯 2 <時間外学習> 講義初めに前回講義の内容を確認するので、復習をしておくこと。(15分)</p> <p>6 祇園精舎と積孫の最後 <時間外学習> 講義初めに前回講義の内容を確認するので、復習をしておくこと。(15分)</p> <p>7 仏教行事 (宗祖降誕祭)</p> <p>8 四諦八正道 (1) <時間外学習> 講義初めに前回講義の内容を確認するので、復習をしておくこと。(15分)</p> <p>9 四諦八正道 (2) <時間外学習> 講義初めに前回講義の内容を確認するので、復習をしておくこと。(15分)</p> <p>10 積尊の言葉 <時間外学習> 講義初めに前回講義の内容を確認するので、復習をしておくこと。(15分)</p> <p>11 仏教行事 (灌仏会) <時間外学習> 講義初めに前回講義の内容を確認するので、復習をしておくこと。(15分)</p> <p>12 六波羅蜜 <時間外学習> 講義初めに前回講義の内容を確認するので、復習をしておくこと。(15分)</p> <p>13 積尊の生涯 3 <時間外学習> 講義初めに前回講義の内容を確認するので、復習をしておくこと。(15分)</p> <p>14 本当の人間になる <時間外学習> 講義初めに前回講義の内容を確認するので、復習をしておくこと。(15分)</p> <p>15 まとめ</p>
学修に関する留意事項	授業で講義する内容は、日常生活の中でも確認できるものです。自分の日常生活の中で、仏教的な考え方を実践してみてください。前期中に時間外学習としてレポート等の作成を行います(2時間程度)。

試験やレポート等の課題のフィードバック方法	
成績評価方法・基準	授業に対する取り組み（到達目標1）10% 試験（到達目標1・2・3）90%
書名①	仏教を読む―釈尊のさとり親鸞のおしえ―
著者名①	著）上山大峻
出版社①	出）本願寺出版社
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	授業の中で指示
参考URL	
特記事項	「仏教なんて自分には関係がない」と考えている人が多いと思いますが、授業を通して、実は自分に関係のある身近な教えであることが分かってもらえると思います。人間として生きていく上で大切なものは何か、一緒に考えていきましょう。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1	2	選択必修
担当教員			
寺家 尚美			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
演習	子ども学科	1A1203	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員</p> <p>■科目に関連した実務経験のある教員が担当している</p> <p>科目に関連した実務内容</p> <p>SIベンダーでの情報システム企画</p> <p>アクティブラーニング要素</p> <p><input type="checkbox"/>ディスカッション、ディベート</p> <p><input type="checkbox"/>グループワーク</p> <p>■プレゼンテーション</p> <p><input type="checkbox"/>実習、フィールドワーク</p>
テーマ	パソコンを学習や幼児コンテンツ制作の道具として使うための基礎を身につける
到達目標	<p>1. Windowsの役割を知り、操作方法を身につけ、利用環境の設定やファイル管理ができる</p> <p>2. 短大での学びに必要なパソコンを問題なく活用できる力を身につける</p> <p>3. テーマに即したコンテンツをパソコンをツールとして創造的に制作することができる</p>
授業概要	ノートPCを活用して、学習や社会生活を充実できるよう、ノートPCの取り扱い方や活用方法を学びます。園だよりや教材コンテンツなどの課題作品の制作を通して、パソコンを学習に活用する能力を身につけます。パソコンは様々なコンテンツ制作や学びに便利なツールであることを学びます。
授業計画	<p>1 授業ガイダンスとノートPCについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業内容、評価の方法 ・追加周辺機器、学内ネットワーク環境（wi-fi、ネットワークプリンタ、共有フォルダ、学習支援関連・PC・ネットワーク利用マナー） ・Google for Education クラスルーム <p><時間外学習>教科書・資料の閲覧（30分）</p> <p>2 コンピュータの基本とファイル管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Windows11の基本操作、フォルダ管理とエクスプローラの操作 ・USBメモリの取り扱い ・タッチタイプ 練習ソフト（美佳タイプ）のインストールと練習方法 <p><時間外学習>タイピング練習、教科書・資料の閲覧（60分）</p> <p>3 インターネットの活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Edgeでの閲覧と設定 URLの見方と意味、お気に入り登録とツールバー、高短や学修や保育・幼児教育に関する様々なサイト検索 ・Googleドライブ、Meetの利用 <p><時間外学習>紹介サイト閲覧（30分）、タイピング練習（30分）、教科書・資料閲覧（30分）</p> <p>4 メールの利用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・短大メールの活用方法（Outlook） メールの送受信、返信、ファイル添付、同報メール（CC、BCC等） <p><時間外学習>メール課題（30分）、タイピング練習（30分）、教科書資料の閲覧（30分）</p> <p>5 文書作成の基本1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Wordの基本操作 ページ設定、文字の入力と編集、書式設定、印刷の設定と保存 通信文の作成 <p><時間外学習>通信文作成課題、タイピング練習、教科書閲覧（60分）</p> <p>6 文書作成の基本2</p> <p>表の作成、Excelの表とグラフの挿入等</p> <p><時間外学習>通信文作成課題、タイピング練習、教科書の閲覧（60分）</p> <p>7 文書作成の基本3</p> <p>画像の挿入と編集、テキストボックスの利用、ワードアート、SmartArtの利用</p> <p><時間外学習>お知らせ文書作成課題、タイピング練習、教科書の閲覧（60分）</p> <p>8 文書作成の基本4</p>

	<p>ページ罫線、段組み、タブなど</p> <p>9 <時間外学習>課題の作成と素材の取得 (90 分) 文書作成の実践課題 ・園だより作成 課題の説明、制作例と制作における注意点 (個人情報、肖像権、著作権) 素材の入手と作成等 (様々なアプリ) テーマの検討、制作</p> <p>10 <時間外学習>課題の制作 (90分) 文書作成の実践課題 ・園だより作成</p> <p>11 <時間外学習>課題の制作 (90分) プレゼン制作1 ・PowerPointの基本操作 スライドの作成、レイアウト変更、図形やテキストボックス編集、画面切替など プレゼン課題の説明</p> <p>12 <時間外学習>プレゼン課題のテーマ検討・素材収集・アウトラインの作成(120分) プレゼン制作2 ・PowerPointの活用1 アニメーション設定、音声、動画の挿入</p> <p>13 <時間外学習>プレゼン課題の制作 (120分) 幼児向けコンテンツ制作 ・PowerPointの活用2 動作設定ボタン、リンク など ・課題説明 制作コンテンツのテーマ、内容について検討</p> <p>14 <時間外学習>幼児向けコンテンツ制作課題のストーリーボードの作成 (60分) 幼児向けコンテンツ制作 教材コンテンツの制作</p> <p>15 <時間外学習>教材コンテンツの制作 (120分) 幼児向けコンテンツ制作課題提出 作成したコンテンツの使い方、場面等の紹介、自己評価 <時間外学習>教材コンテンツの制作と発表に対する自己評価 (90分)</p>
学修に関する留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・課題提出の〆切に間に合うよう、計画を立てて、制作を進めましょう。 ・普段から、様々な学習や活動において、積極的にノートPCを活用しましょう。 ・毎回授業の最後に振り返りのアンケートを実施します。その際に、パソコンについてわからないことがあれば、積極的に質問し、解決していく姿勢を育ててください。
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	
成績評価方法・基準	<p>提出課題<園だより、教材、プレゼン> (目標 2, 3) 60%</p> <p>小課題<メール、お知らせ文書> (目標 1, 2) 30%</p> <p>授業取り組み姿勢 (タイピング成果、授業振り返りアンケート) (目標 1) 10%</p>
書名①	情報リテラシー 入門編 Windows11・Office2021対応
著者名①	富士通エフ・オー・エム
出版社①	FOM出版
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	保育者のためのパソコン講座、PriPri ブックイラストカット&文例、すぐに使える！おたより文例&イラストカットBOOK
参考URL	http://www.asahi-net.or.jp/~BG8J-IMMR/ 、 https://www.youtube.com/playlist?list=PLF9FCB56776EBCABB
特記事項	この授業を通じて、短大のネットワーク環境に慣れ、パソコンを使いこなせるように学んでいきましょう。わからないことはどんどん質問し、みんなで学んでいきましょう。

講義科目名称： 英語コミュニケーション

授業コード： 50600B 50600C 50600D
50600E 50600F 50600G

英文科目名称： Communication in English

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1	2	選択必修
担当教員			
駒田 ゆき子、鈴木 晴美、服部 芳樹			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
演習	子ども学科	1A1204	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員</p> <p><input type="checkbox"/> 科目に関連した実務経験のある教員が担当している</p> <p>科目に関連した実務内容</p> <p>アクティブラーニング要素</p> <p><input type="checkbox"/> ディスカッション、ディベート</p> <p><input type="checkbox"/> グループワーク</p> <p><input type="checkbox"/> プレゼンテーション</p> <p><input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク</p>
------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	保育現場の様々な場面で必要な英語を学ぶ。
到達目標	1. 保育に関連する英語の語彙や表現を習得する。2. 保育に関連する英語の語彙や表現を用いて、保育現場の様々な場面で、コミュニケーションができる。3. 楽しみながら積極的に英語を使用する態度を身に付ける。
授業概要	保育現場の様々な場面で必要な英語の語彙や表現を学び、それを基にコミュニケーション活動を行います。
授業計画	<p>1 Please Speak More Slowly 授業概要の説明を行う。また、英語でコミュニケーションをする際の基本表現を習得する。 〈時間外学習〉 復習：Let' s Talk (p.1)の会話を理解し、その会話ができるように練習する。(15分)</p> <p>2 I' m Yuri Tanaka 自己紹介ができる。また、人に何かを頼む表現を習得する。 〈時間外学習〉 復習：Let' s Talk (p.4)の会話を理解し、その会話ができるように練習する。(15分)</p> <p>3 Where Is the Multi-purpose Room? 位置を伝える表現を用いて、園内の案内・道案内ができる。 〈時間外学習〉 復習：Let' s Talk (p.9)の会話を理解し、その会話ができるように練習する。(15分)</p> <p>4 Good Morning. How Are You Today? 今日の調子を聞く・答える表現を用いて、登園時における会話ができる。 〈時間外学習〉 復習：Let' s Talk (p.14)の会話を理解し、その会話ができるように練習する。(15分)</p> <p>5 What Color Do You Like? 好き嫌いを聞くための表現を用いて、工作の時間における会話ができる。 〈時間外学習〉 復習：Let' s Talk (p.19)の会話を理解し、その会話ができるように練習する。(15分)</p> <p>6 There' s a Ladybug on the Leaf 場所を表す表現や前置詞を用いて、園外散歩時における会話ができる。 〈時間外学習〉 復習：Let' s Talk (p.24)の会話を理解し、その会話ができるように練習する。(15分)</p> <p>7 It' s Time to Play Outside 命令文を用いて、園庭での会話ができる。 〈時間外学習〉 復習：Let' s Talk (p.29)の会話を理解し、その会話ができるように練習する。(15分)</p> <p>8 Let' s Read a Japanese Folktale in English! 英語で書かれた日本の昔話を和訳し、音読することができる。 〈時間外学習〉すらすら音読が出来るように練習する。(15分)</p> <p>9 She Is Allergic to Eggs 食に好みやアレルギーの有無を伝える表現を用いて、保護者からの相談に乗ることができる。 〈時間外学習〉 復習：Let' s Talk (p.34)の会話を理解し、その会話ができるように練習する。(15分)</p> <p>10 You Should Go to the Bathroom must・have・shouldを使い分けて、お昼寝の時間における会話ができる。 〈時間外学習〉 復習：Let' s Talk (p.39)の会話を理解し、その会話ができるように練習する。(15分)</p> <p>11 We Made Masks Today 一日の活動と様子を伝える表現を用いて、降園時における会話ができる。 〈時間外学習〉 復習：Let' s Talk (p.44)の会話を理解し、その会話ができるように練習する。(15分)</p> <p>12 If It Rains, What Happens? 仮定の表現を用いて、行事予定についての会話ができる。</p>

	<p>13 <時間外学習> 復習: Let's Talk (p. 49)の会話を理解し、その会話ができるように練習する。(15分) I Feel Feverish 病気やけがの症状を表す表現を用いて、体調不良の園児との会話ができる。</p> <p>14 <時間外学習> 復習: Let's Talk (p. 54)の会話を理解し、その会話ができるように練習する。(15分) This Is Yuri from Cosmo Day Care Center 保護者と電話で会話ができる。</p> <p>15 <時間外学習> 復習: Let's Talk (p. 64)の会話を理解し、その会話ができるように練習する。(15分) 学修の振り返り<時間外学習>予習: これまでに学習した内容の総復習をする。</p>
学修に関する留意事項	授業への参加が原則です。やむを得ない事情で欠席した場合は、その回の埋め合わせをしたうえで、次の授業に出席してください。また、事前に欠席が分かっている場合は、申し出てください。
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	
成績評価方法・基準	試験 (到達目標1, 2) 50% 授業への取り組み (到達目標1, 2, 3) 25% 小テスト (到達目標1, 2) 25%
書名①	Happy English for Childcare: 保育のための基礎英語
著者名①	Makiko Tsuchiya
出版社①	金星堂
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	保育英語の練習帳
参考URL	
特記事項	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1	2	選択必修
担当教員			
野呂 健一			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
演習	子ども学科	1A1208	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員</p> <p><input type="checkbox"/> 科目に関連した実務経験のある教員が担当している</p> <p>科目に関連した実務内容</p> <p>アクティブラーニング要素</p> <p>■ ディスカッション、ディベート</p> <p><input type="checkbox"/> グループワーク</p> <p><input type="checkbox"/> プレゼンテーション</p> <p><input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク</p>
------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	社会生活や学習活動で求められる基本的な日本語表現能力（主に文章作成能力）の習得
到達目標	<p>1. 書き言葉の基礎を身につけ、文章作成のポイントを理解する。</p> <p>2. 与えられたテーマに基づき、情報を収集し、論理的な文章が書けるようになる。</p> <p>3. 敬語の基本を理解したうえで、実際の場面で適切な敬語使用ができるようになる。</p>
授業概要	日常生活や学習活動で求められる日本語表現能力を伸ばすため、文の構成やつなぎ方等、論理的文章を書くための基礎的事項について概説し、実際に文章を書く練習を繰り返す。次に、論理的文章を書く際に必要な表現について学んだうえで、実際にレポート作成に取り組む。また、表現を豊かにするために必要な、言葉に関する知識について学習する。第13回以降では、目上の人との会話で必須の敬語表現について学び、実際の場で実践できることを目指す。
授業計画	<p>1 授業ガイダンス、日本語表現能力の自己診断 ＜時間外学習＞診断テストの復習（10分）</p> <p>2 話し言葉と書き言葉：文末表現の統一、場面にふさわしい言葉づかい ＜時間外学習＞教科書の予習・復習（技能編第1回・知識編第1回）（30分）</p> <p>3 文の組立て：文の骨組みを整える ＜時間外学習＞教科書の予習・復習（技能編第2回・知識編第2回）（30分）</p> <p>4 視点：文の視点を統一する ＜時間外学習＞教科書の予習・復習（技能編第3回・知識編第3回）（30分）</p> <p>5 文のつなぎ方：適切な接続表現 ＜時間外学習＞教科書の予習・復習（技能編第4回・知識編第4回）（30分）</p> <p>6 意味の限定：誤解されない表現のために ＜時間外学習＞教科書の予習・復習（技能編第5回・知識編第5回）（30分）</p> <p>7 言葉の順序：理解しやすい順序 ＜時間外学習＞教科書の予習・復習（技能編第6回・知識編第6回）（30分）</p> <p>8 定義・分類の表現 ＜時間外学習＞教科書の予習・復習（技能編第7回・知識編第7回）（30分）</p> <p>9 比較・対照する表現 ＜時間外学習＞教科書の予習・復習（技能編第8回・知識編第8回）（30分）</p> <p>10 列挙・順序・因果関係の表現 ＜時間外学習＞教科書の予習・復習（技能編第9回・知識編第9回）（30分）</p> <p>11 レポートの書き方①：レポートと作文との違い、レポート作成のルール ＜時間外学習＞教科書の予習・復習（知識編第10回）、配布プリントの復習（30分）</p> <p>12 レポートの書き方②：レポート作成の手順 ＜時間外学習＞教科書の予習・復習（知識編第11回）、配布プリントの復習（30分）</p> <p>13 敬語の基本 ＜時間外学習＞教科書の予習・復習（技能編第11回・知識編第12回）、期末レポート作成準備（1時間）</p> <p>14 注意すべき敬語 ＜時間外学習＞教科書の予習・復習（技能編第12回）、期末レポート作成準備（1時間）</p> <p>15 敬語のまとめ ＜時間外学習＞期末レポート作成・提出（1時間）</p>

学修に関する留意事項	漢字力や語彙力の醸成のための小テストを毎回授業冒頭を実施するので、テキストの該当部分について各自学習しておくこと。授業で取り組む演習問題について、授業後に十分復習し、理解を深めておくこと（随時定着度を図るための確認テストを実施する）。
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	小テストや提出課題については、採点及び必要に応じてコメントを記入し、次回授業時に返却する。
成績評価方法・基準	授業への取組（授業内課題、確認テスト等）（到達目標 1、3）45% 漢字・語彙テスト（到達目標 1）15% 期末レポート（到達目標 2）40%
書名①	書き込み式日本語表現ノート
著者名①	名古屋大学日本語表現研究会編
出版社①	三弥井書店
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	
参考URL	
特記事項	社会人として必要な日本語力とは、優れた文章・美しい文章を書くことではありません。分かりやすい文章、自分の伝えたいことが誤解なく読み手に伝わる文章を書く力を身につけましょう。

講義科目名称： スタートアップゼミナール

授業コード： 50850A 50850B 50850C

英文科目名称： Startup Seminar

50850D 50850E 50850F

50850G 50850H 50850I

50850J 他3件

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1	2	必修
担当教員			
福西 朋子、山本 敦子、林 幹士、青木 信子、長倉 里加、松山 智道、伊藤 拓也、榊原 耐津子、亀澤 朋恵、權部 良子、中嶋 麻衣、古谷 淳、尾高 慶彦			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
演習	子ども学科	1A1200	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員</p> <p><input type="checkbox"/>科目に関連した実務経験のある教員が担当している</p> <p>科目に関連した実務内容</p> <p>アクティブラーニング要素</p> <p><input type="checkbox"/>ディスカッション、ディベート</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>グループワーク</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>プレゼンテーション</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>実習、フィールドワーク</p>
------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	大学での学びの基本的な姿勢やスキル、社会的なルールやマナーなどを身につけることで、短大生として主体的に学び、ふさわしい行動をとるための準備をする。
-----	---------------------------------------------------------------------------

到達目標	<p>1. 大学で学ぶための基本的な姿勢を身につけ、課題を持って意欲的に学ぶことができる。</p> <p>2. 課題の解決に向け、「聴く」「考える」「伝える」等の基本的な力が身につく。</p> <p>3. 社会的なルールやマナー、倫理、規範などを理解して、しっかりと行動できる。</p>
------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

授業概要	初年次教育として大学生に必要な知識・態度の習得に向けて、少人数授業の特徴を活かしながら、「対教員」、「対学生」のコミュニケーションを重視した授業を展開する。
------	--------------------------------------------------------------------------------

授業計画	<p>1 オリエンテーション～大学生としての「学び」とは～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学で学ぶということ ・子ども学科で学ぶということ ・子ども学科学びの図とディプロマポリシー ・シラバス(授業計画)について <p>2 新入生研修について・研修の目的について</p> <ul style="list-style-type: none"> －コミュニケーションとチームワーク ・研修内容と事前の取組みについて <時間外学習>新入生研修のふりかえり(1時間) <p>3 社会貢献活動・ボランティア活動について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会貢献活動等の実施方法について <p>4 レポートについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レポート作成の目的及びレポート作成方法 <p>5 特別講義</p> <ul style="list-style-type: none"> <時間外学習>特別講義からの学びに関する小レポート(1時間) <p>6 幼稚園・保育所(園)・認定こども園の違い 1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調べ学習 <時間外学習>幼稚園教育要領、保育所保育指針、認定こども園教育・保育要領等を活用した情報収集(1時間) <p>7 幼稚園・保育所(園)・認定こども園の違い 2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習成果報告 <時間外学習>成果報告のための準備(1時間) <p>8 幼稚園・保育所(園)・認定こども園の違い 3</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習成果報告、レポート課題提出 <時間外学習>成果報告、課題提出のための準備(1時間) <p>9 保育・幼児教育の基礎的理解 1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼児教育と保育及び保育職について <p>10 保育・幼児教育の基礎的理解 2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの生活とあそびについて <時間外学習>子どもの生活・あそびに関する資料の収集(30分) <p>11 保育・幼児教育の基礎的理解 3</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現代の保育、子育てをめぐる課題について <時間外学習>現代の保育・子育てに関する新聞記事等の収集(30分) <p>12 グループワーク、プレゼンテーション 1</p> <ul style="list-style-type: none"> －各ゼミ別に興味・関心あるテーマに沿った資料収集・整理や実践活動を行う <時間外学習>グループワーク課題のための準備(30分) <p>13 グループワーク、プレゼンテーション 2</p> <ul style="list-style-type: none"> －各ゼミ別に興味・関心あるテーマに沿った資料収集・整理や実践活動を行う <時間外学習>グループワーク課題のための準備(30分) <p>14 グループワーク、プレゼンテーション 3</p> <ul style="list-style-type: none"> －各ゼミ別に興味・関心あるテーマに沿った活動のまとめと報告会準備
------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

	<p style="text-align: center;">＜時間外学習＞グループワーク課題のための準備（30分）</p> <p style="text-align: center;">15 グループワーク、プレゼンテーション 4 -各ゼミ内グループ別報告会-前期のまとめ</p>
学修に関する留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・本授業は、学生の能動的な学習姿勢による授業参加を目標としているため、「時間外学習」については、授業計画に記された内容以外にも自らの興味・関心に沿った自主的な学習を求める。 ・本授業を通じて、各自、積極的に社会貢献活動、ボランティア活動を行うこと。 ・第6回授業以降、時間外学習として各自で成果報告およびレポート課題作成の準備を行う。
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	
成績評価方法・基準	<p>授業・活動への取り組み（到達目標1・3） 20%</p> <p>レポート作成及びプレゼンテーション（到達目標2） 60%</p> <p>グループワーク（到達目標1・3） 20%</p>
書名①	子ども学科『スタートアップゼミナール』授業用資料は必要に応じて配布・配信する。
著者名①	
出版社①	
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	
参考URL	
特記事項	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1	2	選択
担当教員			
林 幹士			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
講義	子ども学科	1B1101	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員</p> <p><input type="checkbox"/> 科目に関連した実務経験のある教員が担当している</p> <p>科目に関連した実務内容</p> <p>アクティブラーニング要素</p> <p>■ ディスカッション、ディベート</p> <p>■ グループワーク</p> <p><input type="checkbox"/> プレゼンテーション</p> <p><input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク</p>
------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	教育を成り立たせている事柄や教育・保育の歴史や思想に関する学習を通して、現代保育者の役割や子ども、家族などをめぐる諸問題についての理解
-----	---------------------------------------------------------------------

到達目標	1. 教育・保育の目的・目標に関して基礎的な事柄を説明できる。2. 幼児教育・保育をめぐる思想や歴史、制度などの特徴を理解した上で説明できる。3. 現代の保育者や子ども、家族に関する諸問題を説明できる。
------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------

授業概要	本授業では、教育についての基礎的理解を深めるために、制度・歴史・思想・実践など教育をめぐる諸領域を横断的に学ぶとともに、教育・保育の現代的な課題を検討します。
------	---------------------------------------------------------------------------------

授業計画	<p>1 イントロダクション：教育の意義 《時間外学習：教科書第1章を読む（30分）》</p> <p>2 教育の目的 《時間外学習：教科書第2章を読む（30分）》</p> <p>3 教育と児童福祉のつながり 《時間外学習：教科書第3章を読む（30分）》</p> <p>4 人間形成と家庭・地域・社会 《時間外学習：教科書第4章を読む（30分）》</p> <p>5 教育制度の基礎 《時間外学習：教科書第5章を読む（30分）》</p> <p>6 さまざまな国の教育思想家たち 《時間外学習：教科書第6章を読む（30分）》</p> <p>7 日本の教育思想と歴史 《時間外学習：教科書第7章を読む（30分）》</p> <p>8 近代教育成立の歴史 《時間外学習：教科書第8章を読む（30分）》</p> <p>9 子ども観と教育観の変遷 《時間外学習：教科書第9章を読む（30分）》</p> <p>10 教育行政および学校経営の基礎 《時間外学習：教科書第10章を読む（30分）》</p> <p>11 保育・教育実践の基礎理論—教育課程（内容、方法、計画と評価）を中心に— 《時間外学習：教科書第11章を読む（30分）》</p> <p>12 教育実践の多様な取り組み 《時間外学習：教科書第12章を読む（30分）》</p> <p>13 生涯学習社会と教育 《時間外学習：教科書第13章を読む（30分）》</p> <p>14 現代の教育課題 《時間外学習：教科書第14章を読む（30分）》</p> <p>15 まとめ 《時間外学習：学習内容の振り返り（120分）》</p>
------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

学修に関する留意事項	授業は主にパワーポイントを使用して進めます。受講生は適宜メモを取るようになってください。授業計画の各回の中に記載されている教科書の該当箇所または配付資料を時間外に熟読するようにしてください。定期試験は、共に口頭で説明した内容からも出題されますので、授業時間外の復習として授業内容の確認・整理が必要
------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

	となります。
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	小レポートはコメントを付して返却する。
成績評価方法・基準	小レポート（到達目標1, 2, 3）30% 中間レポート（到達目標1, 2, 3）30% 定期試験（到達目標1, 2, 3）40%
書名①	『いまがわかる教育原理』
著者名①	西本望 編
出版社①	みらい
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	特に指定しません。
参考URL	
特記事項	特にありません。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1	2	選択
担当教員			
佐脇 幸恵			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
講義	子ども学科	1B1130	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員</p> <p>■科目に関連した実務経験のある教員が担当している</p> <p>科目に関連した実務内容</p> <p>スクールソーシャルワーカーとして子どもや親支援の経験を持つ教員が、社会福祉の理念や制度等について講義する。</p> <p>アクティブラーニング要素</p> <p>■ディスカッション、ディベート</p> <p><input type="checkbox"/>グループワーク</p> <p><input type="checkbox"/>プレゼンテーション</p> <p><input type="checkbox"/>実習、フィールドワーク</p>
------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	社会福祉全般に関して、その理念・体系を理解する。
-----	--------------------------

到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 現代社会の動向について説明でき、社会福祉がなぜ必要なのかを考えることができる。 2. 社会福祉の理念・制度の体系について説明できるようになる。 3. 社会福祉の歴史について説明できるようになる。 4. 社会保障等の関連制度の概要を説明できるようになる。 5. ソーシャルワークの意味・方法と展開過程について説明できるようになる。 6. 社会福祉における利用者の保護に関わる仕組みを説明できるようになる。
------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

授業概要	社会福祉の基礎を学ぶ授業である。単に福祉の制度やサービスについて理解するだけでなく、自身を含めた人々の幸せとは何か、どのような社会をつくりだすことで人々の幸せを実現することができるのかを考えてほしい。授業はテキストとPowerPointを用いて行う。
------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

授業計画	<p>第1回 オリエンテーション 予習：シラバスに目を通し、この講義の達成目標と何を学ぶのか理解しておくこと (30分) 復習：本科目で学ぶ事柄について整理をし、予習・復習時間の確保のための見通しを立てること (60分)</p> <p>第2回 現代社会と福祉 予習：テキスト第1章を通読し、わからない言葉などをチェックしてネット等で調べる (60分) 復習：授業内容をふりかえり、新聞やニュースなどから身近な生活問題について考える (60分)</p> <p>第3回 社会福祉とは何か・社会福祉の理念 予習：テキスト第2章を通読し、わからない言葉などをチェックしてネット等で調べる (60分) 復習：授業内容をふりかえり、社会福祉の理念を整理しておくこと (60分)</p> <p>第4回 社会福祉の歴史 (諸外国) 予習：テキスト第3章を通読し、わからない言葉などをチェックしてネット等で調べる (60分) 復習：授業内容をふりかえり、社会福祉の歴史的あゆみを整理しておくこと (60分)</p> <p>第5回 社会福祉の歴史 (日本) 予習：テキスト第3章を通読し、わからない言葉などをチェックしてネット等で調べる (60分) 復習：授業内容をふりかえり、社会福祉の歴史的あゆみを整理しておくこと (60分)</p> <p>第6回 社会福祉の制度と法体系 予習：テキスト第5章を通読し、わからない言葉などをチェックしてネット等で調べる (60分) 復習：授業内容をふりかえり、社会福祉の制度と法体系について整理しておくこと (60分)</p> <p>第7回 社会保障制度 予習：テキスト第4章を通読し、わからない言葉などをチェックしてネット等で調べる (60分) 復習：授業内容をふりかえり、社会保障制度について整理しておくこと (60分)</p> <p>第8回 社会福祉の実施体系 予習：テキスト第6章、第7章を通読し、わからない言葉などをチェックしてネット等で調べる (60分) 復習：授業内容をふりかえり、社会福祉の実施機関と行財政・社会福祉施設について整理しておくこと (60分)</p> <p>第9回 子ども家庭福祉 予習：テキスト第8章を通読し、わからない言葉などをチェックしてネット等で調べる (60分) 復習：授業内容をふりかえり、子ども家庭福祉に関する法律と制度について整理しておくこと (60分)</p> <p>第10回 障害者福祉 予習：テキスト第9章を通読し、わからない言葉などをチェックしてネット等で調べる (60分) 復習：授業内容をふりかえり、障害者福祉に関する法律と制度について整理しておくこと (60分)</p>
------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

	<p>第11回 高齢者福祉 予習：テキスト第10章を通読し、わからない言葉などをチェックしてネット等で調べる（60分） 復習：授業内容をふりかえり、高齢者福祉に関する法律と介護保険制度について整理しておくこと（60分）</p> <p>第12回 地域福祉 予習：テキスト第11章を通読し、わからない言葉などをチェックしてネット等で調べる（60分） 復習：授業内容をふりかえり、地域福祉の理念と担い手について整理しておくこと（60分）</p> <p>第13回 社会福祉の専門職とソーシャルワーク 予習：テキスト第12章、第13章を通読し、わからない言葉などをチェックしてネット等で調べる（60分） 復習：授業内容をふりかえり、ソーシャルワークの意味と展開過程について整理しておくこと（60分）</p> <p>第14回 福祉サービスの利用支援と権利擁護 予習：テキスト第14章、第15章を通読し、わからない言葉などをチェックしてネット等で調べる（60分） 復習：授業内容をふりかえり、利用支援と権利擁護に関する制度について整理しておくこと（60分）</p> <p>第15回 ふりかえりとまとめ 予習：これまでの授業をふりかえり、試験に備える（60分） 復習：試験で分からなかったところを再確認しておく（60分）</p>
学修に関する留意事項	<p>授業の進捗状況や受講生の理解度などによりシラバスの内容を変更することがあります。保育士になるにあたって、社会福祉の理解は必要不可欠であるため、主体的に授業に参加してください。授業当日に映し出すPowerPoint資料や視聴覚教材は許可なく写真を撮ることがないようにお願いします。授業中にQRコードを読み取っていただくことがありますので、スマートフォン又はタブレット端末を持参ください。</p>
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	授業内で実施する。
成績評価方法・基準	<p>【評価方法】 筆記試験70%（到達目標1～6）、授業態度15%、リアクションペーパー15%（到達目標1～6）によって評価する。評価の詳細については、第1回オリエンテーションの授業の中で説明する。</p> <p>【評価基準】 到達目標を十分達成している・ほぼ達成していると判断されるものに90点以上、基本的なことの理解は達成されたと判断されるものに80点以上、十分とはいえないが基本的なことは概ね理解されたと判断されるものに70点以上、到達目標の基本的な理解に難があるが60%は理解されていると判断されるものについては60点以上とする。到達目標を達成できていない・ほとんど到達できていないと判断されるものは59点以下（不可）とする。</p>
書名①	学ぶ・わかる・みえる シリーズ 保育と現代社会 保育と社会福祉【第4版】
著者名①	橋本好市・宮田徹編
出版社①	みらい
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	山縣文治・柏女靈峰編『社会福祉用語辞典』ミネルヴァ書房
参考URL	
特記事項	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1	2	必修
担当教員			
権部 良子			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
講義	子ども学科	1B1100	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員</p> <p>■科目に関連した実務経験のある教員が担当している</p> <p>科目に関連した実務内容 保育者（幼稚園教諭）として実務経験</p> <p>アクティブラーニング要素</p> <p><input type="checkbox"/>ディスカッション、ディベート</p> <p><input type="checkbox"/>グループワーク</p> <p><input type="checkbox"/>プレゼンテーション</p> <p><input type="checkbox"/>実習、フィールドワーク</p>
------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	保育とは何かについて知る
到達目標	(1) 保育の意義、保育制度、保育の基本原則と方法の理解 (2) 保育の計画の意義の理解 (3) 保育の思想と歴史の変遷（西洋と日本）の理解 (4) 保護者の子育て支援の理解 (5) 保育の現状と課題についての考察
授業概要	保育とは何か、保育・教育の理念、原理を検討するとともに、保育に関する法令及び制度を理解する。保育に関する日本や世界の歴史および思想、保育の現状と課題について概観する。
授業計画	<p>1 ガイダンス 保育とはなんだろう 時間外学習：第1章を読む (30分) 授業内容の整理 (30分)</p> <p>2 現代社会と子どもの育ち 時間外学習：第2章を読む (30分) 授業内容の整理 (30分)</p> <p>3 保育が行われる場を知ろう 時間外学習：第3章を読む (30分) 授業内容の整理 (30分)</p> <p>4 保育者に求められるもの一資質と専門性一 時間外学習：第4章を読む (30分) 授業内容の整理 (30分)</p> <p>5 世界の保育の歴史に学ぼう一諸外国の保育思想一 時間外学習：第5章を読む (30分) 授業内容の整理 (30分)</p> <p>6 日本の保育の歩み 時間外学習：第6章を読む (30分) 授業内容の整理 (30分)</p> <p>7 保育に求められる子ども観・発達観 時間外学習：第7章を読む (30分) 授業内容の整理 (30分)</p> <p>8 保育の基本 時間外学習：第8章を読む (30分) 授業内容の整理 (30分)</p> <p>9 保育の目標と内容 時間外学習：第9章を読む (30分) 授業内容の整理 (30分)</p> <p>10 保育の方法と進め方 時間外学習：第10章を読む (30分) 授業内容の整理 (30分)</p> <p>11 保育の計画と保育の質の向上 時間外学習：第11章を読む (30分) 授業内容の整理 (30分)</p> <p>12 大切な子育て支援と地域連携 時間外学習：第12章を読む (30分) 授業内容の整理 (30分)</p> <p>13 海外の保育に目を向けてみよう 時間外学習：第13章を読む (30分) 授業内容の整理 (30分)</p> <p>14 保育をめぐるこれからの課題について 時間外学習：第14章を読む (30分) 授業内容の整理 (30分)</p> <p>15 まとめと小テスト 時間外学習：これまでの授業内容をまとめる (30分)</p>
学修に関する留意事項	・毎時間、レジュメをもとに授業を進めます。適宜メモを取るようになしてください。・授業内で小レポート作成や確認テストを実施するので、積極的に参加してください。

試験やレポート等の課題のフィードバック方法	確認テストは後日返却する。
成績評価方法・基準	授業への取り組み（到達目標1、2、3、4、5） 50% 筆記試験（到達目標1・2・3） 50%
書名①	実践を創造する保育原理 第2版
著者名①	豊田 和子
出版社①	株式会社 みらい
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	平成29年告示 幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領 原本
参考URL	
特記事項	・保育原理は、これから幼児教育・保育を学ぶための総論であり、導入的な内容です。保育者をめざすものとして真摯な心構えで受講してください。・保育者（幼稚園教諭）として実務経験があります。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1	2	必修
担当教員			
伊藤 拓也			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
講義	子ども学科	1B1120	
添付ファイル			

授業種類	授業担当教員 <input type="checkbox"/> 科目に関連した実務経験のある教員が担当している 科目に関連した実務内容 アクティブラーニング要素 <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション、ディベート <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク
------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	子どもの発達を理解するための心理学について
到達目標	子どもの発達に関わる心理学の基礎的事項を修得する。1. 保育・幼児教育実践に関わる発達理論等の心理学的知識を踏まえ、発達を捉える視点について理解する。2. 子どもの発達に関わる心理学の基礎を習得し、養護及び教育の一体性や発達に即した援助の基本となる子どもへの理解を深める。3. 乳幼児期の子どもの学びの過程や特性について基礎的な知識を習得し、保育における人との相互的関わりや体験、環境の意義を理解する。
授業概要	子どもの育ちや学びについて発達心理学や教育心理学などの視点から紹介する。「社会性」「感情」「認知」「言語」「自己」などの発達について、基礎的理論から最新の研究まで、視聴覚資料なども交えて解説する。また、それら知見の保育・教育実践への応用についても検討する。
授業計画	1 オリエンテーション：子どもの発達を理解することの意義、育ちの振り返りワーク <時間外学習>受講前：幼少期からこれまでの自分の育ちに影響を与えた事柄について振り返ってまとめる（60分）受講後：授業での学びを整理する（30分） 2 愛着関係の形成と基本的信頼感の獲得（ワークシート提出） <時間外学習>受講前：テキスト第7章を読んでおく（30分）受講後：授業での学びを整理する（30分） 3 子どものコミュニケーションの発達（前言語期） <時間外学習>受講前：テキスト第3章を読んでおく（30分）受講後：授業での学びを整理する（30分） 4 子どものコミュニケーションの発達（発話期以降） <時間外学習>受講前：テキスト第10章を読んでおく（30分）受講後：授業での学びを整理する（30分） 5 子どもの知覚や認知機能の発達 <時間外学習>受講前：テキスト第11章を読んでおく（30分）受講後：授業での学びを整理する（30分） 6 子どもの遊びや身体・運動機能の発達、小テスト1の実施 <時間外学習>受講前：小テストに備えて、これまでの授業内容を復習、整理しておく（90分） 受講後：授業での学びを整理する（30分） 7 子どもの社会情動的発達（感情、心の理論、非認知能力の発達など） <時間外学習>受講前：テキスト第9章を読んでおく（30分）受講後：授業での学びを整理する（30分） 8 子どもの発達と環境（人的・物的） <時間外学習>受講前：テキスト第2章を読んでおく（30分）受講後：授業での学びを整理する（30分） 9 人格の発達（道徳性、パーソナリティ） <時間外学習>受講前：事前に配布する人格についてのワークシートに取り組む（30分） 受講後：授業ワークシートを仕上げ、提出する（90分） 10 子どもの自我や主体性の発達 <時間外学習>受講前：テキスト第9章を読んでおく（30分）受講後：授業での学びを整理する（30分） 11 生涯発達の理論（ピアジェ、エリクソン、マズローなど） <時間外学習>受講前：テキスト第4章を読んでおく（30分）受講後：授業での学びを整理する（30分） 12 子どもの学びに関する理論（学習、動機づけなど）、小テスト2の実施 <時間外学習>受講前：小テストに備えて、これまでの授業内容を復習、整理しておく（90分） 受講後：授業での学びを整理する（30分）

	13	子どもの学びの過程や特性 ＜時間外学習＞受講前：テキスト第12章を読んでおく（30分）受講後：授業での学びを整理する（30分）
	14	子ども観・発達観と保育実践上の評価 ＜時間外学習＞受講前：テキスト第1章を読んでおく（30分）受講後：授業での学びを整理する（30分）
	15	子どもの育ちや学びの課題への支援 ＜時間外学習＞受講前：事前に配布する資料を読んでおく（30分）受講後：定期試験に備えて、これまでの受講内容を整理する（90分）
学修に関する留意事項		定期試験だけでなく、開講中に実施する小テストやワークシートも成績へ反映されます。各回前後にテキストの関連箇所や配布資料を読み、学んだ知識や授業で感じたことの整理をして取り組んでください。
試験やレポート等の課題のフィードバック方法		試験は採点結果をフィードバックする。ワークシートは必要に応じてコメントを付して返却する。
成績評価方法・基準		定期試験（到達目標1、2、3）50% 小テスト（到達目標1、2）20% ワークシート（到達目標1、2）20% 受講態度（到達目標1、2、3）10%
書名①		保育の心理学（保育士を育てる①）
著者名①		谷田貝公昭 監修、滝口綾・福田真奈 編著
出版社①		一藝社
書名②		
著者名②		
出版社②		
書名③		
著者名③		
出版社③		
参考文献		原口喜充編著（2023）．実践に活かす保育の心理学．ミネルヴァ書房．
参考URL		
特記事項		

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1	2	必修
担当教員			
長倉 里加、伊藤 広子			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
講義	子ども学科	1B1112	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員</p> <p>■科目に関連した実務経験のある教員が担当している</p> <p>科目に関連した実務内容</p> <p>助産師、看護師、保健師として子どもの健康を守るための医療活動を行っていた。</p> <p>アクティブラーニング要素</p> <p><input type="checkbox"/>ディスカッション、ディベート</p> <p><input type="checkbox"/>グループワーク</p> <p><input type="checkbox"/>プレゼンテーション</p> <p><input type="checkbox"/>実習、フィールドワーク</p>
------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	子どもの心身の健康と保健
到達目標	1. 子どもの心身の健康増進を図る保健活動の意義を述べる事が出来る2. 子どもの心身の健康状態の把握の方法が分かる。3. 子どもの疾病予防と適切な対応が分かる
授業概要	心身の健康増進を図る保健活動の意義について学び、子どもの心身の健康状態の把握の方法や疾病に予防法や適切な対応方法について学ぶ。
授業計画	<p>1 子どもの定義・理念と保育保健の意義保育保健のための関連法について学ぶ (時間外学習) 教科書第1章を読む 30分</p> <p>2 子どもの健康と統計子どもに関わる諸統計と社会的背景について考える (時間外学習) 子どもに関するニュース・新聞をいくつか読む 60分</p> <p>3 子どもの健康と地域における保健活動・虐待防止現代社会における子どもの健康に関する現状や子どもを取り巻く地域における保健活動について学ぶ (時間外学習) 教科書第3章を読む 30分</p> <p>4 子どもの成長・発達と保健 子どもの成長・発育とその特徴について学ぶ (時間外学習) 教科書第4章を読む 30分</p> <p>5 子どもの成長・発達と保健 子どもの生理機能の発達 消化器・循環器・呼吸器等について学ぶ (時間外学習) 教科書第4章を読む 30分</p> <p>6 子どもの成長・発達と保健 子どもの生理機能の発達 脳神経・感覚器等について学ぶ (時間外学習) 教科書第4章を読む 30分</p> <p>7 子どもの成長・発達と保健 子どもの運動発達・精神発達、子どもの身体発育の評価について学ぶ (時間外学習) 教科書第4章を読む 30分</p> <p>8 子どもの成長・発達と保健 子どもの運動発達・精神発達、子どもの身体発育の評価について学ぶ (時間外学習) 教科書第4章を読む 30分</p> <p>9 子どもの心身の健康状態とその把握 日々の健康観察と身体不調の早期発見の方法について学ぶ (時間外学習) 自分の身体不調の時の症状や状態について振り返り、記録にまとめる 30分</p> <p>10 子どもの病気の考え方・感染症と保育所における対応保育所における感染症対策について具体的に学ぶ：インフルエンザ、風疹、麻疹等 (時間外学習) 授業内容をふまえそれぞれの疾患における保育上の注意点をまとめる 30分</p> <p>11 感染症と保育所における対応保育所における感染症対策について具体的に学ぶ：流行性嘔吐下痢症、腸管出血性大腸菌感染症等 (時間外学習) 授業内容をふまえそれぞれの疾患における保育上の注意点をまとめる 30分</p> <p>12 感染症と保育所における対応保育所における感染症対策について具体的に学ぶ：伝染性膿痂疹、咽頭結膜熱、アタマジラミ等 (時間外学習) 教科書第6章を読む 30分</p> <p>13 アレルギー疾患と保育所における対応保育所におけるアレルギー疾患に注意点を学ぶ。各園での取り組みについてディスカッションをする。 (時間外学習) ディスカッション内容から注意すべき点をまとめる 30分</p> <p>14 子どもに多い疾患と保育所における対応腎・尿路系疾患、呼吸器疾患、神経・筋疾患等について</p>

	<p>学ぶ (時間外学習) 教科書第6章を読む 30分</p> <p>15 子どもの病気の予防予防接種の意義と主なワクチン、保育者の役割について学ぶ (時間外学習) 自分の母子手帳をみて、予防接種してあるものがどのような病気か調べてみる 30分</p>
学修に関する留意事項	教科書の内容以外にも様々な疾病や症状があります。子どもの健康を守るために幅広い知識が求められます。日頃より関心をもって本や雑誌、メディア等に触れるようにしてください。
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	
成績評価方法・基準	小テスト【到達目標 2・3】20% テスト【到達目標 1・2・3】80%
書名①	保育を学ぶ人のための子どもの保健
著者名①	堀 浩樹・梶 美保 編著
出版社①	建帛社
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	自分の母子健康手帳
参考URL	
特記事項	専門用語が数多く出てきて難しく感じるかもしれませんが、保育者にとってはとても重要な内容です。授業で学習した内容は復習を十分にして、確実な知識になるようにしてください。助産師・看護師としての実務経験のある教員が、そこでの知識や技術を活かし、子どもの正常な発育・発達を評価する方法や病気の予防方法、異常の発見に向けた視点、異常時の対応について具体的に講義をする。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1	2	選択
担当教員			
生川 美江			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
演習	子ども学科	1B1210	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員</p> <p>■科目に関連した実務経験のある教員が担当している</p> <p>科目に関連した実務内容</p> <p>保健センターにおいて、乳幼児対象を対象とした栄養相談、離乳食教室などを担当していました。現在は、特定非営利活動法人に所属して栄養相談に従事するほか、市の設置する「子ども子育て応援センター」において離乳食講座、幼児食講座を担当しています。</p> <p>アクティブラーニング要素</p> <p>■ディスカッション、ディベート</p> <p>■グループワーク</p> <p>□プレゼンテーション</p> <p>■実習、フィールドワーク</p>
------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	子どもや保護者に対する食支援の実践力修得に向けて、保育者にとって必要な栄養の基礎知識、乳幼児期の栄養・食生活の特性を学ぶ。
到達目標	<p>1. 栄養に関する基本的な知識を持ち、健康な生活の基本である食生活の意義を知る</p> <p>2. 子どもに対して栄養的に満たされ、安心、安全な食事を提供することの意義を知る</p> <p>3. 乳幼児食や食物アレルギーに対する知識を持ち、子どもの食生活確立に向けた支援や保護者からの相談に対応できる</p>
授業概要	子どもの食習慣確立に向けた支援ができる知識と実践力の修得に向けて学ぶ。幼少期からの食生活の重要性について理解するために、栄養の基礎や乳幼児期の栄養に関する講義を行う。離乳食に関しては実習を行い、食事支援に向けて経験を積むことで理解を深める。また、乳幼児期の食の問題に関してグループワークを行い、子どもたちの現状や保護者の悩みを理解して食生活の支援や相談に対応できる力を育成する。
授業計画	<p>1 オリエンテーション、食生活と健康のかかわり、食生活の意義と課題、生涯栄養 (時間外学習) テキスト第1章-1、第8章を読んでおく (20分)、事前に配布する資料を予習する (20分)、わが国の栄養の現状に関するレポートを作成する (10分)、授業の取り組みに関するレポートを作成する (10分)</p> <p>2 子どもの健康と食生活の意義 子どもの発育・発達と栄養 (時間外学習) テキスト第1章-2、3を読んでおく (20分)、事前に配布する資料を予習する (20分)</p> <p>3 栄養に関する基礎知識1 栄養素の種類とはたらき (時間外学習) テキスト第2章-1、3を読んでおく (20分)、事前に配布する資料を予習する (20分)</p> <p>4 栄養に関する基礎知識2 栄養素の消化・吸収 (時間外学習) テキスト第2章-2を読んでおく (15分)、事前に配布する資料を予習する (20分)</p> <p>5 栄養に関する制度1 日本人の食事摂取基準、献立構成・調理の基本 (時間外学習) テキスト第3章を読んでおく (20分)、事前に配布する資料を予習する (20分)、献立構成に関する課題を行う (15分)</p> <p>6 栄養に関する制度2 食事バランスガイド、食品衛生、食品表示 (時間外学習) テキスト第3章-2を読んでおく (20分) 事前に配布する資料を予習する (20分)、食事バランスガイドに関する課題を行う (30分)</p> <p>7 乳児期の食生活1 乳汁栄養 (時間外学習) テキスト第5章-1を読んでおく (20分) 事前に配布する資料を予習する (20分)</p> <p>8 乳児期の食生活2 離乳期の意義とその実践 (時間外学習) テキスト第5章-2を読んでおく (20分)、事前に配布する資料を予習する (20分)</p> <p>9 乳児期の食生活3 乳児の摂食機能に関する実習 (時間外学習) テキスト第5章-2を復習しておく (20分)、実習内容の資料を予習する (20分)、摂食機能に関するレポートを作成する (30分)</p> <p>10 妊娠期と授乳期の食生活 (時間外学習) テキスト第4章を読んでおく (20分)、事前に配布する資料を予習する (20分)</p> <p>11 乳児期の食生活4 離乳食の製作実習 (時間外学習) テキスト第5章-2を復習しておく (20分)、事前に配布する実習内容の資料を読んで実習内容を把握したうえで実習に臨む (30分)、離乳食に関するレポートを作成する (45分)</p> <p>12 幼児期の発育・発達と食生活1 幼児期の心身の発達と食生活 (時間外学習) テキスト第6章-1を読んでおく (20分)、事前に配布する資料を予習する (20分)</p>

	13	幼児期の発育・発達と食生活2 幼児期の栄養の問題・保護者からの相談への対応に関するグループワーク (時間外学習) テキスト第6章-2を読んでおく(20分)、事前に配布する資料を予習する(20分)、グループワークの結果をまとめる(45分)
	14	学童期・思春期の発育・発達と食生活 (時間外学習) テキスト第7章を読んでおく(20分)、事前に配布する資料を予習する(20分)
	15	アレルギー疾患をもつ子どもの食と栄養 (時間外学習) テキスト第12章を読んでおく(20分)、「保育所におけるアレルギー対応ガイドライン」を読んでおく(20分)、事前に配布する資料を予習する(20分)、食物アレルギーに関する課題を行う(15分)
学修に関する留意事項		講義にはスライドを用いる。印刷用の資料を授業支援システム(AAA)を通じて一週間前までに配布するので必ず事前に印刷し、予習して授業に臨むこと(第1回の資料は印刷したものを配布する)。実習の際は原則前週に資料を配布し説明するので、予習して実習に臨むこと。実習の結果と考察は、必ず所定のレポート用紙に記入して提出すること。期限内に提出されたものについて配点する。定期試験期間に筆記試験を実施する。
試験やレポート等の課題のフィードバック方法		レポートについては、コメントを記入するとともに返却の際に講評する。試験について、特に指導の必要性がある場合に解説を配布する。
成績評価方法・基準		課題への取り組み、レポート(到達目標1,2,3) 演習・実習への取り組み、レポート(到達目標2,3) 30% 筆記試験(到達目標1,2,3) 60%
書名①		子どもの食と栄養第2版 保育現場で活かせる食の基本
著者名①		太田百合子、堤ちはる 編著
出版社①		羊土社
書名②		
著者名②		
出版社②		
書名③		
著者名③		
出版社③		
参考文献		おいしく治すアレルギー攻略法改訂第2版、出) 認定NPO法人アレルギー支援ネットワーク 著) 伊藤浩明 最新子どもの食生活と栄養、出) 学健書院 著) 飯塚美和子他
参考URL		https://www.pref.saitama.lg.jp/documents/142115/guideline2019.pdf (保育所におけるアレルギー対応ガイドライン 厚生労働省)
特記事項		出欠の管理を厳重に行います。特に演習・実習においては、遅刻・欠席のないよう注意すること。欠席した場合は演習・実習の配点より減点します。遅刻・欠席する場合には担当教員および班員に連絡すること。無届で欠席した場合は、減点が大きくなります。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1	1	選択
担当教員			
河内 純子			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
演習	子ども学科	1C1203	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員</p> <p>■科目に関連した実務経験のある教員が担当している</p> <p>科目に関連した実務内容 幼稚園教諭としての実務経験があります。</p> <p>アクティブラーニング要素</p> <p>■ディスカッション、ディベート ■グループワーク □プレゼンテーション ■実習、フィールドワーク</p>
テーマ	領域「環境」の指導に関連して、保育の場における乳幼児を取り巻く環境や、乳幼児と環境とのかかわりについて基本的理解を深め、すぐれた保育実践に学んで感性を養い、知識・技能を身に着ける。
到達目標	<p>1. 乳幼児を取り巻く環境を主体的に学び、保育の専門性を高める。</p> <p>2. 領域「環境」に関する乳幼児の課題を論理的に判断し、表現することができる。</p> <p>3. 領域「環境」で学んだ内容を共有し、協働しながら新たな課題を理解する。</p>
授業概要	子どもは様々な環境に左右されながら一人の人間として育っていく。その領域「環境」において幼児を取り巻く環境の把握、発達に関する事項についてを学ぶために、様々な映像教材や校外学習、グループワークなどを通じて理解を深める内容としたい。
授業計画	<p>1 保育における「環境」 時間外学習：乳幼児を取り巻く環境について「幼稚園教育要領・保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育・保育要領」の関連箇所を読む（30分）</p> <p>2 主体的な遊びを促す環境について〈フィールドワーク・グループワーク〉 時間外学習：授業内容を整理（30分）</p> <p>3 日常生活における五感を使った豊かな自然体験について 時間外学習：栽培実践の準備（30分）</p> <p>4 野菜の栽培実践について〈実践演習〉 時間外学習：栽培計画と日記の作成（30分）</p> <p>5 季節による生活や自然の変化に気づくこと① 時間外学習：授業内容を整理（30分）</p> <p>6 季節による生活や自然の変化に気づくこと② 時間外学習：授業内容を整理（30分）</p> <p>7 遊びの中で感じる・学ぶ子どもたち 時間外学習：授業内容を整理（30分）</p> <p>8 身近な環境から遊びや生活を考える〈グループワーク・フィールドワーク〉 時間外学習：振り返りシートの作成（30分）</p> <p>9 「環境」との関わりを支える保育者の役割〈グループワーク・事例検討〉 時間外学習：振り返りシートの作成（30分）</p> <p>10 自然とのかかわりで育つもの ～動植物とのふれあいによって、生命の尊さに気づく～① 〈教材研究〉 時間外学習：振り返りシートの作成（30分）</p> <p>11 自然とのかかわりで育つもの ～動植物とのふれあいによって、生命の尊さに気づく～② 〈教材研究・グループワーク〉 時間外学習：振り返りシートの作成（30分）</p> <p>12 自然とのかかわりで育つもの ～動植物とのふれあいによって、生命の尊さに気づく～③ 〈グループワーク・事例検討〉 時間外学習：授業内容を整理（30分）</p> <p>13 乳児期における環境との関わり 時間外学習：保育環境についてレポート作成（1時間）</p> <p>14 環境への興味とかかわりの発達、子どもの活動を引き出す保育環境について 時間外学習：授業内容を整理（30分）</p>

	15 環境を通じた教育・保育について まとめ 時間外学習：子どもと環境に関するレポート作成（2時間）
学修に関する留意事項	本授業では座学だけでなく受講者同士の学び合いを重視しているので、授業に対する積極的な姿勢をもち取り組んでほしい。また、自らの感じる心を育ててほしいため、普段から、周囲のあらゆる環境に様々な視点から興味・関心をもって接してほしいと願う。なお、シラバスの内容に準じて、戸外での活動を行う場合がある。それに関しては、授業内・授業支援システムで随時連絡を行うこととする。
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	
成績評価方法・基準	授業への取り組み（到達目標 1, 2）30% グループワーク（到達目標 2, 3）20% 課題の作成 50%
書名①	
著者名①	
出版社①	
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	平成29年告示 幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領（原本）
参考URL	
特記事項	幼稚園教諭としての実務経験があります。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1	1	選択
担当教員			
古谷 淳			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
演習	子ども学科	1C1201	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員</p> <p><input type="checkbox"/> 科目に関連した実務経験のある教員が担当している</p> <p>科目に関連した実務内容</p> <p>アクティブラーニング要素</p> <p><input type="checkbox"/> ディスカッション、ディベート</p> <p><input type="checkbox"/> グループワーク</p> <p><input type="checkbox"/> プレゼンテーション</p> <p><input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク</p>
------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	・子どもの言葉を豊かに育む児童文化財の基礎を理解し、人間の言葉が果たす機能や意義について概説する。子どもが言葉に主体的に出会い、言葉の世界を豊かに繰り広げていく発達過程や子どもにとっての言葉の意味を理解する。
-----	----------------------------------------------------------------------------------------------------------

到達目標	1. 子どもが言葉の世界を豊かに繰り広げていく発達過程を理解し、子どもにとっての言葉の意味を考えることができる。2. 子どもが言葉を豊かに育む児童文化財について、基礎的な知識を身に付け、保育における児童文化財の意義を理解する。3. 言葉で表現する楽しさや言葉の美しさなど、言葉に対する感覚を豊かにする保育実践に関する知識を身に付ける。
------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

授業概要	・乳幼児期における「言葉」の発達過程について学ぶ。・保育者としての言語指導や援助の方法について実践を通して具体的に学ぶ。・絵本の読み聞かせなど保育実践に活かせる基本的指導法について実践を通して基礎技術を養う。・様々な児童文化財があることを知り、教材として実際に作り発表を行うことで保育実践に活かすことができる基礎技術を養う。
------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

授業計画	<p>1 オリエンテーション：「子どもと言葉」について概要 時間外学習：保育所保育指針：幼稚園教育要領 保育内容領域「言葉」を通読する（30分）</p> <p>2 「子どもの文化」と「児童文化」 時間外学習：自身が触れてきた児童文化について調査する（60分）</p> <p>3 子どもの文化財の歴史的背景 時間外学習：身近な人からわらべうたを覚えてもらう（60分）</p> <p>4 子どもの遊びと生活 時間外学習：子どもの頃に夢になっていた遊びについて調べる（30分）</p> <p>5 子どもの文化財の役割と活用法 時間外学習：「おはなし」について調べ実践してみる（30分）</p> <p>6 絵本と子ども 時間外学習：学校や地域の図書館等で気に入った絵本を見つける（60分）</p> <p>7 発達に応じた絵本の選び方 時間外学習：絵本の読み聞かせの練習をしておく（60分）</p> <p>8 小学校へのつながり 時間外学習：中間レポートの作成を行う（60分）</p> <p>9 実技体験：手作り絵本制作① 一計画づくりー 時間外学習：絵本制作に関わる教材を収集する（60分）</p> <p>10 実技体験：手作り絵本制作② 一絵本の制作ー 時間外学習：各自の制作状況に合わせ制作を進める（60分）</p> <p>11 実技体験：手作り絵本制作③ 一発表の練習ー 時間外学習：各自の制作状況に合わせ発表の練習をすすめる（60分）</p> <p>12 実技体験：手作り絵本の発表① 時間外学習：発表に関するレポートを作成する（60分）</p> <p>13 実技体験：手作り絵本の発表② 時間外学習：発表に関するレポートを作成する（60分）</p> <p>14 実技体験：手作り絵本の発表③ 時間外学習：発表に関するレポートを作成する（60分）</p> <p>15 まとめ：学修の振り返り</p>
------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

	時間外学習：期末レポートの作成をする（60分）
学修に関する留意事項	日頃から、子どもの言葉に関心を持つこと。また、子どもの前で絵本や紙芝居を行う際には、多くの児童文化財にも触れ、保育者として豊かに表現できるよう何度も練習を行うことが肝要である。子どもの言葉を豊かにするための教材作りを通し、保育実践に活かすことができる基礎技術を培ってもらいたい。
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	
成績評価方法・基準	手作り絵本制作（到達目標2.3）20% 手作り絵本発表（到達目標2.3）20% 中間レポート（到達目標1.2）20% 期末レポート（到達目標1.2.3）30% リフレクションシート（到達目標1.2.3）10%
書名①	
著者名①	
出版社①	
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	
参考URL	https://www.mext.go.jp/content/1384661_3_3.pdf 、 https://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-11900000-Koyoukintoujidoukateikyoku/0000202211.pdf
特記事項	・適宜課題に対する講評を行う。・授業担当講師は、保育所保育士としての実務経験あり。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1	1	必修
担当教員			
尾高 慶彦			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
演習	子ども学科	1C1200	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員</p> <p>■科目に関連した実務経験のある教員が担当している</p> <p>科目に関連した実務内容</p> <p>アクティブラーニング要素</p> <p>■ディスカッション、ディベート</p> <p>■グループワーク</p> <p>■プレゼンテーション</p> <p>□実習、フィールドワーク</p>
------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	子どもの生活と発達 –遊びを中心とした保育内容の実践的創造–
到達目標	1. 子どもの発達・生活・遊び・環境についての基本的理解を深め、その内容について実際と理念を総合的に理解することができる。2. 遊びを中心とした保育実践を基に、自己の保育内容観を深めることができる。3. 様々な子どもの姿に興味を持ち、保育実践における内容とねらいとの関連を捉えることができる。
授業概要	1. 保育内容の基本構造を各領域と全体的関連から捉え、その内容と理念・構造の理解を深める。2. 「遊びを通して」の原理的意味について、テキストや自身の実体験から理解を深める。3. 保育現場でのエピソードを通じて、実践とその内容に触れる。
授業計画	<p>1 オリエンテーション 保育内容とは 時間外学習：テキスト第1章を読む (30分)</p> <p>2 「幼稚園教育要領」等における保育内容の捉え方 時間外学習：テキスト第2章を読む (30分)</p> <p>3 子ども理解と評価の考え方 時間外学習：テキスト第3章を読む (30分)</p> <p>4 指導計画の作成の理解 時間外学習：テキスト第4章を読む (30分)</p> <p>5 遊びや生活を通して学ぶということ 時間外学習：テキスト第5章を読む (30分)</p> <p>6 養護と教育が一体的に展開する保育 時間外学習：テキスト第6章を読む (30分)</p> <p>7 子どもの主体性を尊重する保育 時間外学習：テキスト第7章を読む (30分)</p> <p>8 環境を通して行う保育 時間外学習：テキスト第8章を読む (30分)</p> <p>9 個と集団の育ちを支える保育 時間外学習：テキスト第9章を読む (30分)</p> <p>10 家庭や地域との連携をふまえた保育 時間外学習：テキスト第10章を読む (30分)</p> <p>11 小学校への接続をふまえた保育 時間外学習：テキスト第11章を読む (30分)</p> <p>12 保育の多様な展開 時間外学習：テキスト第12章を読む (30分)</p> <p>13 子どもの姿から保育内容を考える 教材研究① 時間外学習：テキスト第13章を読む (30分)</p> <p>14 子どもの姿から保育内容を考える 教材研究② 時間外学習：遊びについての教材研究 (30分)</p> <p>15 子どもの姿から保育内容を考える 全体交流 時間外学習：調べた遊びの発表準備 (30分)</p>

学修に関する留意事項	日頃から子どもの遊びに興味を持ち、多くの遊びを調べるようにする。また、子どもとかかわる機会には、何を考えているのか、何をしているのか、などを表情や行動から想像し、そのエピソードを紹介できるようにする。
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	
成績評価方法・基準	最終レポート（到達目標1.2.3）60% 授業内課題・授業態度（到達目標1.2.3）40%
書名①	『新しい保育講座4 保育内容総論』
著者名①	編著 渡邊英則 大豆生田啓友
出版社①	ミネルヴァ書房
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	「平成29年告示 幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領 原本」
参考URL	
特記事項	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1	2	選択必修
担当教員			
福西 朋子、山本 敦子、若井由美子、星合 智美、岡本加奈子、田端香代子、木下 和美、小柴 雅子、丸山 亮子、勝井 由紀、松江咲恵子			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
演習	子ども学科	1C1220	
添付ファイル			

授業種類	授業担当教員 <input type="checkbox"/> 科目に関連した実務経験のある教員が担当している 科目に関連した実務内容 アクティブラーニング要素 <input type="checkbox"/> ディスカッション、ディベート <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク
------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	保育実践に求められる音楽表現技術の基礎 I の習得
到達目標	1. 楽典を理解する2. 読譜・記譜・聴取の基礎を習得する3. ピアノ演奏技術の基礎を習得する4. 子どもの歌弾き歌い技術の基礎を習得する
授業概要	保育実践における音楽表現技術の基礎 I を習得するための授業。主に一斉授業とピアノ実技レッスンを45分ずつ受講する。一斉授業では、楽典、ソルフェージュによる読譜・記譜・聴取の方法、子どもの歌の歌唱法の基礎を学ぶ。実技レッスンでは、経験度に応じた個人・グループレッスンにおいて、ピアノ演奏技術や子どもの歌弾き歌いの基礎を学ぶ。
授業計画	1 オリエンテーション ー保育実践における音楽表現技術の基礎 I についてー 2 音・音楽と動き ー拍とリズムー<時間外学習>テキスト「音・音楽と動き」演習課題の記録 <時間外学習>テキスト「音・音楽と動き」演習課題の記録 (30分) 3 実技レッスン：コース別課題 (ピアノ基礎・子どもの歌弾き歌い・ピアノ小曲・即興表現) によるグループレッスン *以下の実技レッスン時間外学習は「学修の留意事項」に記載一斉授業：楽典 1 (拍とリズム) <時間外学習>確認テストのふりかえりと復習 (30分) 4 実技レッスン：コース別課題 (ピアノ基礎・子どもの歌弾き歌い・ピアノ小曲・即興表現) によるグループレッスン一斉授業：楽典 2 (音符と休符) 5 実技レッスン：コース別課題 (ピアノ基礎・子どもの歌弾き歌い・ピアノ小曲・即興表現) によるグループレッスン一斉授業：楽典 3 (音符とリズム) <時間外学習>理解度確認課題 (30分) 6 実技レッスン：コース別課題 (ピアノ基礎・子どもの歌弾き歌い・ピアノ小曲・即興表現) によるグループレッスン一斉授業：楽典 4 (拍子とリズム) 7 実技レッスン：コース別課題 (ピアノ基礎・子どもの歌弾き歌い・ピアノ小曲・即興表現) によるグループレッスン一斉授業：楽典 5 (拍子とリズム)、ソルフェージュ 1 (リズムを聞き取る) 8 実技レッスン：コース別課題 (ピアノ基礎・子どもの歌弾き歌い・ピアノ小曲・即興表現) によるグループレッスン一斉授業：子どもの歌 1 (季節の歌)、ソルフェージュ 2 (リズムを記譜する) <時間外学習>理解度確認課題 (30分) 9 実技レッスン：中間試験 ー一斉授業：子どもの歌 2 (あそびの歌) <時間外学習>試験課題の練習・振り返り 10 実技レッスン：コース別課題 (ピアノ基礎・子どもの歌弾き歌い・ピアノ小曲・即興表現) によるグループレッスン一斉授業：子どもの歌 3 (生活のうた) 11 実技レッスン：コース別課題 (ピアノ基礎・子どもの歌弾き歌い・ピアノ小曲・即興表現) によるグループレッスン一斉授業：楽典 6 (コードネーム)、子どもの歌 4 (歌と伴奏) 12 実技レッスン：コース別課題 (ピアノ基礎・子どもの歌弾き歌い・ピアノ小曲・即興表現) によるグループレッスン一斉授業：楽典 6 (コードネーム、音楽記号)、ソルフェージュ 3 (リズム)

	を記譜する)
	13 実技レッスン：コース別課題（ピアノ基礎・子どもの歌弾き歌い・ピアノ小曲・即興表現）によるグループレッスン一斉授業：楽典まとめ、ソルフェージュ4（メロディを記譜する） ＜時間外学習＞楽典・ソルフェージュ試験の準備学習（60分）
	14 実技レッスン：コース別課題（ピアノ基礎・子どもの歌弾き歌い・ピアノ小曲・即興表現）によるグループレッスン一斉授業：楽典・ソルフェージュ試験
	15 まとめ・振り返り ＜時間外学習＞試験課題の練習・振り返り
学修に関する留意事項	＜時間外学習：ピアノ実技レッスン＞毎回の実技レッスンに際し、事前計画・練習（予習）と事後振り返り（復習）を必ず行なって授業に臨むこと。練習時間の目安は毎日30分程度。＜時間外学習：一斉授業＞テキストや配布プリントの練習問題を予習、復習すること。＜成績評価のポイント＞実技レッスンの取り組みには課題選曲内容、グループ学習の意識、計画性も重視する。＜フィードバック＞楽典試験は返却し回答する。
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	
成績評価方法・基準	授業（一斉・レッスン）の取り組み（到達目標1，3，4）25% 実技試験（到達目標3，4）50% 記述試験（到達目標1，2）25%
書名①	歌のカレンダー
著者名①	伊藤嘉子 他
出版社①	A・T・N
書名②	保育・幼児教育のための Music Text -音楽表現技術・子どもと音楽-
著者名②	高田短期大学音楽研究室・編
出版社②	高田短期大学音楽研究室
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	
参考URL	
特記事項	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1	2	選択必修
担当教員			
亀澤 朋恵			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
演習	子ども学科	1C1224	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員</p> <p><input type="checkbox"/> 科目に関連した実務経験のある教員が担当している</p> <p>科目に関連した実務内容</p> <p>アクティブラーニング要素</p> <p>■ ディスカッション、ディベート</p> <p>■ グループワーク</p> <p><input type="checkbox"/> プレゼンテーション</p> <p><input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク</p>
------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	保育者として造形表現に必要な基礎的な技術を学び、表現活動や実践に生かす。
到達目標	①造形表現にとって身近な道具や材料の特質を理解できるようになる。 ②保育者として造形表現に必要な基礎的な技術を習得する。 ③習得した技術を用いて自在に表現できるようになる。
授業概要	造形表現に関する基礎的な技術や知識を学び、それらを活かして表現することができるようになる。
授業計画	<p>1 ガイダンス 画材・道具類の説明</p> <p>2 鉛筆で描く 時間外学習：ふりかえりレポート (60分)</p> <p>3 フロッタージュ 時間外学習：次回のアイデアスケッチ (60分)</p> <p>4 コラージュ 時間外学習：ふりかえりレポート (60分)</p> <p>5 色とかたち 1 色 時間外学習：ワークシート (60分)</p> <p>6 色とかたち 2 彩色の基礎 時間外学習：ワークシート (60分)</p> <p>7 色とかたち 3 色彩構成Ⅰ 時間外学習：ふりかえりレポート (60分)</p> <p>8 色とかたち 4 色彩構成Ⅱ 時間外学習：ふりかえりレポート (60分)</p> <p>9 クレパスを使ってⅠ 時間外学習：ふりかえりレポート (60分)</p> <p>10 クレパスを使ってⅡ 時間外学習：ふりかえりレポート (60分)</p> <p>11 水彩えのぐを使って 時間外学習：次回の構想スケッチ (90分)</p> <p>12 紙を使った工作 モビールづくり 1 時間外学習：ふりかえりレポート (60分)</p> <p>13 紙を使った工作 モビールづくり 2 仕上げ 時間外学習：ふりかえりレポート (60分)</p> <p>14 ねんどを使った造形 時間外学習：ふりかえりレポート (60分)</p> <p>15 まとめ 時間外学習：ふりかえりレポート (60分)</p>
学修に関する留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業時間内に完成しなかった場合、時間外で完成し、すみやかに提出してください。 ・ 汚れても良い(洗濯しやすい)服で受講してください。

試験やレポート等の課題のフィードバック方法	作品製作中および記録表に適宜コメントをする。 作品は学期末に返却する。
成績評価方法・基準	作品製作【到達目標①②③】70% レポート、ワークシート【到達目標①②】30%
書名①	ワークシートで学ぶ子どもの造形表現 第2版
著者名①	北沢昌代 畠山智弘 中村光絵
出版社①	開成出版
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	
参考URL	
特記事項	造形で表現する楽しさを保育者として子どもたちに伝えられるよう、まず皆さん自身が「面白そう」「楽しい」「やってみたい」と思ったことを積極的に挑戦してみてください。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1	2	選択必修
担当教員			
浦中 浩一			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
演習	子ども学科	1C1225	
添付ファイル			

授業種類	授業担当教員 ■科目に関連した実務経験のある教員が担当している 科目に関連した実務内容 保育士としての実務経験あり アクティブラーニング要素 ■ディスカッション、ディベート ■グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク
------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	保育現場、実践に活用できる知識や技術、子どもとあそびについて学ぶ。
到達目標	(1) 子どもの発達と絵本、パネルシアター等、5領域を通してあそび等に関する知識と技術を学ぶ。 (2) 子どもとあそびについての理解 (3) 子どもの経験や様々な表現活動を結ぶあそびの展開についての知識と技術を習得する。
授業概要	保育に活用できるあそび・言葉・技術等に関する知識や技術を学ぶ。
授業計画	1 子どもの発達と言葉遊びの特性／授業の説明とあそびについてのグループワーク／シアター制作の課題について 時間外学習：言葉遊びの資料収集と演じ方の練習（30分） 2 子どもの発達と絵本の特性と課題パネルシアターについて・理解をテーマとしたグループワーク 時間外学習：絵本の特性・理解を学んだことを踏まえた選書、次回の授業準備（1時間）パネルシアターの準備 3 子どもの発達とパネルシアターの特性・理解1 年齢にふさわしいパネルシアターの選び方1<パネルシアターの下書き> 時間外学習：パネルシアターの理解・準備（30分） 4 子どもの発達とパネルシアターの特性・理解2 年齢にふさわしいパネルシアターの選び方2<着色・仕掛けについて> 時間外学習：グループ別プレゼンテーションの準備・練習（1時間） 5 子どもの発達とパネルシアターの特性・理解3 パネルシアター製作（教材作り、色の塗り方等、グループワーク） 時間外学習：グループ別プレゼンテーションの準備・練習（1時間） 6 子どもの発達とパネルシアターの特性・理解4 パネルシアター製作（教材作り、色の塗り方等、グループワーク） 時間外学習：グループ別プレゼンテーションの準備・練習（1時間） 7 子どもの発達とパネルシアターの特性・理解5 パネルシアター製作（教材作り、色の塗り方等、グループワーク） 内容：仕掛け作りの説明／グループ発表の準備 時間外学習：グループ別プレゼンテーションの準備・練習（1時間） 8 子どもの発達とパネルシアターの特性・理解6 パネルシアターを使っでの保育の展開を学ぶ（グループワーク／プレゼンテーション） 内容：グループ発表 時間外学習：グループ別プレゼンテーションの準備・練習（1時間） 9 子どもの発達と紙皿シアターの特性・理解（グループワーク／プレゼンテーション） 内容：紙皿シアター製作 時間外学習：グループ別プレゼンテーションの振り返り、次回の授業準備（1時間） 10 様々なシアターを使って保育展開の特性と理解1 内容：保育現場で使用することを想定して製作 時間外学習：シアターについての資料収集、次回の授業準備（1時間） 11 様々なシアターを使って保育展開の特性と理解2（教材作り、製作の仕方、テキストの作り方、グループワーク） 内容：シアター作り 時間外学習：グループ別プレゼンテーションの準備・練習（1時間） 12 様々なシアターを使って保育展開の特性と理解3 グループ発表

	<p>内容：グループ発表 時間外学習：グループ別プレゼンテーションの準備・練習（1時間） 様々なシアターを使って保育展開の特性と理解4 グループ発表 時間外学習：グループ別プレゼンテーションの準備・練習（1時間）</p> <p>14 模倣あそびを通して保育の展開を学ぶ<忍者遊び>（演習／グループワーク） 時間外学習：保育の展開についての資料収集（30分）</p> <p>15 学習の総まとめ<ミニレポート> 時間外学習：学習の振り返り（30分）</p>
学修に関する留意事項	<p>実践に近い製作・実技・演習・グループでの発表があります。実際に保育現場で働くことを目的に行います。 ●教材製作についてパネルシアター・紙皿シアターに必要な教材を各自準備していただきます。Pペーパー、パネルシアター用不織布、アクリル絵の具、折り紙等。詳しくは1回目の授業で説明します。●評価のポイント 授業への参加態度を重視する。実践向けにあそびへの積極的参加、忘れ物、提出物、授業への取り組み等●準備物等によりシラバスの内容に若干の変更があります、その都度授業時に説明します。</p>
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	<p>課題については制作物、台本制作等の提出を行う、その都度対面にてフィードバック、またはAAAで行う。</p>
成績評価方法・基準	<p>授業への参加態度（1.2.3）55% ミニレポート／制作物提出（1.2.3）20% グループワーク（1.3）15% 確認テスト（2.3）10%</p>
書名①	<p>保育園・幼稚園で2歳からたのしい忍者あそびがいっぱい</p>
著者名①	<p>浦中こういち</p>
出版社①	<p>かもがわ出版</p>
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	<p>保育所保育指針解説、幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領、わくわく・楽しいパネルシアター、1年中作れる！0から5歳児の製作・造形あそび、子どもがおしえてくれましたほんとうの本のおもしろさ</p>
参考URL	
特記事項	<p>子どものことを中心に考え、実際に保育現場に立つことを考えた授業となります。積極的な授業参加を求めます。楽しく学びましょう。現在、絵本作家／あそび作家として活動しております。絵本作家として活動しながら、あそび作家として、全国各地の保育園、幼稚園、こども園、福祉施設等でのあそびライブ、造形ワークショップ、保育士、幼稚園教諭の研修会などの講師を務める。保育士としての実務経験あり。</p>

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2	2	選択必修
担当教員			
長谷川 博			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
講義	子ども学科	1A3105	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員</p> <p><input type="checkbox"/>科目に関連した実務経験のある教員が担当している</p> <p>科目に関連した実務内容</p> <p>アクティブラーニング要素</p> <p><input type="checkbox"/>ディスカッション、ディベート</p> <p><input type="checkbox"/>グループワーク</p> <p><input type="checkbox"/>プレゼンテーション</p> <p><input type="checkbox"/>実習、フィールドワーク</p>
------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	日本の最高法規である日本国憲法の成立背景とその内容について考える。
到達目標	1 日本国憲法がどのように成立したか理解する。2 日本国憲法の内容を大日本国憲法の内容と比較しつつ理解する。3 憲法の規定が私たちの暮らしとどのように結びついているか理解する。
授業概要	「マンガでわかる日本国憲法」木山泰嗣監修 池田書店をテキストとして、講義プリントを中心に学習する。
授業計画	<p>1 終戦と日本国憲法成立について 講義プリントの調べ学習 (30分)</p> <p>2 終戦と日本国憲法成立について 講義プリントの調べ学習 (30分)</p> <p>3 日本国憲法前文とその原理について 講義プリントの調べ学習 (30分)</p> <p>4 天皇の存在とは ～ 戦前と戦後を比較して 講義プリントの調べ学習 (30分)</p> <p>5 戦争放棄について (第9条1項2項) 講義プリントの調べ学習 (30分)</p> <p>6 基本的人権とは ～ 自由と権利について考える (第12条) 講義プリントの調べ学習 (30分)</p> <p>7 差別について考える (第14条) 講義プリントの調べ学習 (30分)</p> <p>8 請願権や賠償責任について (第16条・第17条) 講義プリントの調べ学習 (30分)</p> <p>9 日本高憲法と合衆国憲法との関係 講義プリントの調べ学習 (30分)</p> <p>10 さまざまな自由について (第19条～第21条) 講義プリントの調べ学習 (30分)</p> <p>11 日本国憲法で定めた夫婦や家族の関係について (第24条) 講義プリントの調べ学習 (30分)</p> <p>12 生存権とは何か (第25条) 講義プリントの調べ学習 (30分)</p> <p>13 教育を受ける権利と義務教育について (第26条) 明治以降の日本における教育の歴史について 講義プリントの調べ学習 (30分)</p> <p>14 憲法で定めた地方自治とは (第92条)・第94条 講義プリントの調べ学習 (30分)</p> <p>15 憲法改正のしくみ (第96条) 講義プリントの調べ学習 (30分)</p>
学修に関する留意事項	1 テキストと講義プリントを用いて学習を進めます。2 毎時学習する授業内容や関係する条文を事前学習しておいてください。3 講義3回終了ごとに、次の授業で確認テスト(主に記号式)を実施します。
試験やレポート等の課題のフィールド	

バック方法	
成績評価方法・基準	筆記試験（到達目標 1, 2, 3）60% 確認テスト4回（到達目標 3）20% 授業への取り組み（到達目標 1, 2, 3）20%
書名①	マンガでわかる日本国憲法
著者名①	木山泰嗣監修
出版社①	池田書店
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	日本国憲法
参考URL	
特記事項	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2	2	選択必修
担当教員			
見並 誠			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
講義	子ども学科	1A3110	
添付ファイル			

授業種類	授業担当教員 <input type="checkbox"/> 科目に関連した実務経験のある教員が担当している 科目に関連した実務内容 アクティブラーニング要素 <input type="checkbox"/> ディスカッション、ディベート <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク
------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	「公務員試験」「就職試験のSPI」の数的・判断推理・空間把握等の問題解決を通して、日々の暮らしの中の物事の数量関係や、言葉の中に潜む論理展開、物体の形・大きさ・変化の様子を認識し、表現できる力を積みあげる。
-----	---------------------------------------------------------------------------------------------------------

到達目標	1. 日常生活における割合や方程式などの計算、確率など数値的表現など数的理解や構造を把握する力を養う。2. 物の集まりの個数やその包含関係、対応・順序・勝敗・位置関係や発言の真偽など言葉の論理展開への理解力を養う。3. 平面図形や立体図形の形や大きさに注意を払い、他の物体との共通性や違いに気づいたり、回転・移動などの変化の様子を理解する力を養う。4. 平面図形の面積や簡単な立体図形の体積・表面積の計算ができる力を養う。
------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

授業概要	「就職試験のSPI」や「地方公務員試験」対策の側面もあるが、到達目標の各項目の問題に対して、問題の意味することへの把握・理解、そして相談しながら解いたり、解説して授業を行う。さらにその解法の吟味・鑑賞などを行い、問題の本質を体得させたい。項目の内容は中学および高1・2の数学内容となり「学び直し」が多いが、多分に今まで言われるままに学習し「単に学んだ」という経験で終わっていませんでしたか。大人になって、その各項目を高い視点から「学び直し」を行うことは、数理的感性とその合理性が培われて、将来に有益になるだけでなく精神的にも豊かになることだと思います。
------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

授業計画	1 1. 虫食い算・魔法陣 サイコロ1 2. 集合 1. 数的・空間把握 2. 判断推理 2 1. サイコロ2 2. 命題 1. 空間把握 2. 判断推理 3 1. 割合、比 2. 対応関係 1. 数的推理 2. 判断推理 4 1. 売買損益 2. 順序関係 1. 数的推理 2. 判断推理 5 1. 濃度 2. 勝敗関係 1. 数的推理 2. 判断推理 6 1. 速さ 2. 位置関係 1. 数的推理 2. 判断推理 7 1. 旅人算・通過算 2. 発言推理(うそつき) 1. 数的推理 2. 判断推理 8 1. 面積 2. 一筆書き 1. 数的推理 2. 空間把握 9 1. 面積比 2. 資料解釈1 1. 数的推理 2. 資料解釈 10 1. 角度 2. 資料解釈2 1. 数的推理 2. 資料解釈 11 1. 仕事算 2. 折り紙 1. 数的推理 2. 空間把握 12 1. 倍数・約数 2. 展開図 1. 数的推理 2. 空間把握 13 1. 順列・組み合わせ 2. 平面構成・投影図 1. 数的推理 2. 空間把握 14 1. 確率 2. 点の軌跡
------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

	1. 数的推理 2. 空間把握 15 臨時試験
学修に関する留意事項	項目ごとにプリントを配布します。プリントを収めるA4用ファイルのほかに教科書と授業展開や重要事項のメモができるをノートを用意してください。授業での教員の説明でわからない部分や疑問に思うことがあれば遠慮なく質問してください。質問内容によっては、成績評価につながります。学力の定着を図るため、課題を出す場合もあります。このときは、次の回の授業で提出してください。この課題も成績評価につながります。
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	
成績評価方法・基準	具体的に「解く」、本質を「体得」という観点から出席を重視する。 出席 40 %、筆記試験（到達目標1、2、3、4）30%、授業内外の課題（到達目標1、2、3、4）30%
書名①	ゼロからわかる！ 数的推理, 判断推理超入門
著者名①	たくまる（三木拓也）
出版社①	高橋書店
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	オープンセサミシリーズ 国家公務員・地方初級⑤一般知能（東京アカデミー 七賢出版）
参考URL	公務員試験対策講座（1・2年用 テキスト）
特記事項	こんな経験したことがありますか？ 濃度・速さの問題は「今一」理解が・・・！ 図形の問題は苦手！ 数学の授業はなんか「はっきりしなかった」。私も今までに数学に取り組んできてこんな「しっくりこない思い」を何度も経験し、それなりに乗り越えてきました。みなさんも今こそ、はっきりさせませんか。「なんや、こんなことだったのか」と皆さんの「思いや疑問」にお答えする授業にしたいと願ってます。勿論、「地方公務員試験」対策にもなりますよ。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2	2	選択必修
担当教員			
小澤 亮二			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
講義	子ども学科	1A3106	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員</p> <p>■科目に関連した実務経験のある教員が担当している</p> <p>科目に関連した実務内容</p> <p>アクティブラーニング要素</p> <p><input type="checkbox"/>ディスカッション、ディベート</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>グループワーク</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>プレゼンテーション</p> <p><input type="checkbox"/>実習、フィールドワーク</p>
テーマ	様々な角度からスポーツ・健康について主体的に学び、生涯にわたった豊かなスポーツライフのあり方について考察する
到達目標	1. 運動・スポーツの文化的特徴、学び方やスポーツライフの設計について理解している。2. グループワークの中で自身の考えを持ち、発言することができる。3. 課題の作成・発表において、適切な課題設定、作成、発表ができる。
授業概要	運動・スポーツの文化的特徴、学び方、スポーツライフの設計について理解を深め、自身の生涯とスポーツとの関わり、健康増進について主体的に学んでいくための授業。本授業では、各回のテーマにあったグループワークを設け、自身の考えを持ち、発言することや、他者の考えを踏まえて討論することを学ぶ。
授業計画	<p>1 ガイダンス授業内容・出欠・取り組み方・評価について 【時間外学習】「スポーツの始まりと変遷」について調べておく(15分)</p> <p>2 人間にとって「動く」とは何かスポーツの始まりと変遷 【時間外学習】「オリンピック」について調べておく(15分)</p> <p>3 文化としてのスポーツオリンピックと国際理解 【時間外学習】「ドーピング」について調べておく(15分)</p> <p>4 スポーツと経済ドーピングとスポーツ倫理 【時間外学習】自分の「生活習慣（食事・運動・休養（睡眠））」について調べておく(15分)</p> <p>5 食事・運動と健康休養・睡眠と健康 【時間外学習】「喫煙や飲酒が与える健康への影響」について調べておく(15分)</p> <p>6 喫煙と健康飲酒と健康 【時間外学習】「欲求と欲求不満」について調べておく(15分)</p> <p>7 欲求と適応機制心身の相関とストレス 【時間外学習】「体力トレーニング」の意義について調べておく(15分)</p> <p>8 技能と体力体力トレーニング 【時間外学習】「心肺蘇生法」について調べておく(15分)</p> <p>9 応急手当の意義とその基本心肺蘇生法日常的な応急手当 【時間外学習】「生涯スポーツ」について調べておく(15分)</p> <p>10 生涯スポーツの見方・考え方ライフスタイルに応じたスポーツ課題発表テーマ決め 【時間外学習】課題作成の準備(15分)</p> <p>11 課題作成・グループワーク① 【時間外学習】課題作成の準備(15分)</p> <p>12 課題作成・グループワーク② 【時間外学習】課題作成の準備(15分)</p> <p>13 課題作成・グループワーク③ 【時間外学習】課題発表の練習(15分)</p> <p>14 グループ課題発表① 【時間外学習】課題発表の練習(15分)</p> <p>15 グループ課題発表②</p>

学修に関する留意事項	・定期試験は行わない。・グループ課題を作成し、発表を行う。
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	
成績評価方法・基準	授業に対する取り組み・授業内容の理解(到達目標1.2)40% グループワーク(到達目標2)20% 課題の作成・発表(到達目標3)40%
書名①	
著者名①	
出版社①	
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	
参考URL	
特記事項	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2	2	必修
担当教員			
伊藤 拓也			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
講義	子ども学科	1B3122	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員</p> <p>■科目に関連した実務経験のある教員が担当している</p> <p>科目に関連した実務内容</p> <p>臨床心理士、公認心理師として、教育現場を中心に、相談やコンサルテーションなどの実務経験がある。</p> <p>アクティブラーニング要素</p> <p>■ディスカッション、ディベート</p> <p>■グループワーク</p> <p>■プレゼンテーション</p> <p>□実習、フィールドワーク</p>
------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	乳幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程について
到達目標	1. 乳幼児、児童及び生徒の心身の発達の過程及び特徴を理解する。2. 乳幼児、児童及び生徒の学習に関する基礎的知識を身に付け、発達を踏まえた学習を支える指導について基礎的な考え方を理解する。3. 上記2つの観点を踏まえた、効果的な指導方法について具体的に考え、表現することができる。
授業概要	本授業では、発達の諸領域を理解し、人の心身の発達と学習について学ぶ。1年次に学習した心理学の発展的・実践的科目としても位置づけられる。また、子どもの発達や学びを支援するための教材制作やプレゼンテーションなどを通して保育実践・教育実践につながる知見を深めていく。
授業計画	<p>1 心理学における発達と学習の関連 <時間外学習>受講前：テキストp. 5～8とp. 16～23を読んでおく（30分）受講後：授業で学んだことを整理する（30分）</p> <p>2 子どもにおける心身の発達の過程及び特徴（フロイト、マラー、ピアジェなど） <時間外学習>受講前：テキストp. 24～28とp. 34～36、p. 99～103を読んでおく（30分）受講後：授業で学んだことを整理する（30分）</p> <p>3 学習理論とその仕組み <時間外学習>受講前：テキストp. 105～119を読んでおく（30分）受講後：授業で学んだことを整理する（30分）</p> <p>4 記憶の発達と理論 <時間外学習>受講前：テキストp. 134～146を読んでおく（30分）受講後：授業で学んだことを整理する（30分）</p> <p>5 動機づけと学習 <時間外学習>受講前：テキストp. 120～133を読んでおく（30分）受講後：授業で学んだことを整理する（30分）</p> <p>6 言語・思考の発達 <時間外学習>受講前：テキストp. 46～60を読んでおく（30分）受講後：授業で学んだことを整理する（30分）</p> <p>7 学習方略とその発達、小テスト1の実施 <時間外学習>受講前：小テストに備えてこれまでの授業内容を整理し、さらに自身の学習方法についてまとめておくこと（90分）受講後：授業で学んだことを整理する（30分）</p> <p>8 個と集団の育ちへの支援 <時間外学習>受講前：テキストp. 162～174を読んでおく（30分）受講後：授業で学んだことを整理する（30分）</p> <p>9 社会性・道徳性の発達 <時間外学習>受講前：テキストp. 76～87を読んでおく（30分）受講後：授業で学んだことを整理する（30分）</p> <p>10 学習理論に基づく効果的な指導1（応用行動分析の理論、発達障害について） <時間外学習>受講前：事前に配布する発達障害に関する資料を読んでおく（30分）受講後：授業で学んだことを整理する（30分）</p> <p>11 学習理論に基づく効果的な指導2（応用行動分析の実践、実際の支援について） <時間外学習>受講前：事前に配布する支援の実践に関するワークシートに取り組む（60分）受講後：授業で学んだことを整理する（30分）</p> <p>12 学習理論に基づく効果的な指導3（応用行動分析の活用）、グループワークと受講ワークシート提出 <時間外学習>受講前：子ども支援グッズの案を検討する（30分）受講後：子ども支援グッズ説明用紙を仕上げる（60分）</p>

	13	「子ども支援グッズ」制作・説明用紙提出、小テスト2の実施 ＜時間外学習＞受講前：小テストに備えてこれまでの授業内容を整理する（60分）受講後：子ども支援グッズを仕上げ、プレゼンテーションの準備をする（90分）
	14	「子ども支援グッズ」プレゼンテーション1、発表ワークシートの提出 ＜時間外学習＞受講前：プレゼンテーションの準備をする（60分）受講後：授業で学んだことを整理する（30分）
	15	「子ども支援グッズ」プレゼンテーション2、発表ワークシートの提出 ＜時間外学習＞受講前：プレゼンテーションの準備をする（60分）受講後：授業で学んだことを整理する（30分）
学修に関する留意事項		本授業では、ワークシート、教材制作やプレゼンテーション、小テストなどの観点から成績を評価します。グループワークも多いため、より自発的で積極的な授業参加を求めます。また、他者との意見の違いを大切にし、お互いの意見を尊重して授業に取り組みましょう。各回前後にテキストの関連箇所や配布資料を読み、学んだ知識や授業で感じたことの整理をして取り組んでください。
試験やレポート等の課題のフィードバック方法		ワークシートの内容については授業内でのフィードバックを基本とし、必要に応じてコメントを付して返却する。また、教材制作やプレゼンテーションについては授業内でフィードバックし、小テストは採点結果を授業中にフィードバックする。
成績評価方法・基準		子ども支援グッズ（到達目標3）30% 小テスト（到達目標1、2）30% ワークシート等提出物（到達目標1、2、3）30% 受講態度（到達目標1、2、3）10%
書名①		あなたの経験とつながる 教育心理学
著者名①		杉村伸一 監修、三宅英典 編著
出版社①		ミネルヴァ書房
書名②		
著者名②		
出版社②		
書名③		
著者名③		
出版社③		
参考文献		原口喜充編著（2023）．実践に活かす保育の心理学．ミネルヴァ書房．
参考URL		
特記事項		

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2	2	選択
担当教員			
瀬島 美保子			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
講義	子ども学科	1B3123	
添付ファイル			

授業種類	授業担当教員 <input type="checkbox"/> 科目に関連した実務経験のある教員が担当している 科目に関連した実務内容 アクティブラーニング要素 <input type="checkbox"/> ディスカッション、ディベート <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク
------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	生涯発達の視点を学び子どもの発達に求められている環境づくりに活かす。
-----	------------------------------------

到達目標	1. 生涯発達に関する心理学の基礎的な知識を習得し、初期経験の重要性、発達課題について理解する。 2. 家族・家庭の意義や機能を理解するとともに、親子関係や家族関係について発達の的に理解し、子どもとその家庭を包括的に捉える視点を習得する。 3. 子育て家庭をめぐる現代の社会的状況及び子どもの生活環境と課題について理解する。 4. 子どもの精神保健とその課題について学ぶ。
------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

授業概要	乳幼児期から老年期までの発達のな特徴を取り上げ、生涯発達について学び子どもの発達にとって重要な役割を果たす家族、家庭について理解する。家族の様相は晩・非婚化などの傾向や離・再婚、養子縁組などをめぐり多様化している。その中で子育て家庭の現状と子どもの生育環境への影響と課題について紹介し、精神保健についても解説する。そして子どもの発達において特別なニーズを必要とする家庭への支援の方法について考える。
------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

授業計画	1 授業内容：乳幼児期の発達 時間外学習：テキストP1~13を読み理解しておく（30分）。言葉や社会性を身につけていく上でこの時期の重要な発達の特徴を説明できるようにしておく。 2 授業内容：幼児期の発達 時間外学習：テキストP15~26を読み理解しておく（30分）。誕生時に子どもが複雑な問題を抱えていると、母子関係の相乗的相互作用に悪循環が生じやすく、子どもの発達の遅れにつながる可能性があると言われている。理由を説明できるようにしておく。 3 授業内容：学童期の発達 時間外学習：テキストP27~39を読み理解しておく（30分）。校種間移行時の不適応と解決への取り組みについて説明できるようにしておく。 4 授業内容：青年期の発達 時間外学習：テキストP41~52を読み理解しておく（30分）。自分のアイデンティティについて考えてみる。 5 授業内容：成人期・中年期の発達 時間外学習：テキストP53~64を読み理解しておく（30分）。現代において成人期・中年期にはどのような課題があるか説明できるようにしておく。 6 授業内容：高齢期の発達 時間外学習：テキストP65~76を読み理解しておく（30分）。高齢期の心の発達について、特に若本（2014）が述べていることを説明できるようにしておく。 7 授業内容：家族・家庭の意義と機能 時間外学習：テキストP77~88を読み理解しておく（30分）。支援者として家庭をどのようにとらえ向き合っていけばよいのか説明できるようにしておく。 8 授業内容：家族関係・親子関係の理解 時間外学習：テキストP89~100を読み理解しておく（30分）。夫婦共働きをしながら子育てをしていく場合どのような課題があるか説明できるようにしておく。 9 授業内容：子育て経験と親としての育ち 時間外学習：テキストP101~113を読み理解しておく（30分）。子育ては親自身の人格的発達をも促すものと考えられている。このことを説明できるようにしておく。 10 授業内容：子育てを取り巻く社会的状況 時間外学習：テキストP115~126を読み理解しておく（30分）。子ども・子育てを支援するためにどのような制度や取り組みがあるか説明できるようにしておく。 11 授業内容：ライフコースと仕事・子育て 時間外学習：テキストP127~138を読み理解しておく（30分）。ライフコースの視点を活かした子育て支援とはどういうことか説明できるようにしておく。
------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

	12	授業内容：多様な家庭とその理解 時間外学習：テキストP139~150を読み理解しておく（30分）。 ステップファミリーの子どもたちの3つのLとは何か説明できるようにしておく。
	13	授業内容：特別な配慮を要する家庭 時間外学習：テキストP151~162を読み理解しておく（30分）。 マルトリートメントについて説明できるようにしておく。
	14	授業内容：子どもの生活・生育環境とその影響 時間外学習：テキストP163~174を読み理解しておく（30分）。 虐待が子どもに与える影響について説明できるようにしておく。
	15	授業内容：子どもの健康にかかわる問題 時間外学習：テキストP175~186を読み理解しておく（30分）。 子供の問題行動については他の専門機関との連携が必要となる場合がある。特に放置できない障害について理解しておく。
学修に関する留意事項	○授業毎に参加と理解度を確認します。各回AAAで出題した小問題に回答入力して下さい。課題への取り組みとして成 評価します。 ○AAAに各回の授業ノートを掲載してあります。授業はこれに沿って進めます。各自プリントして使うことを勧め ます。	
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	各回の小問題は得点化し集計します。希望者には開示しますので申し出てください。	
成績評価方法・基準	各回小問題（到達目標 1.2.3.4.）50% レポート（到達目標 1.2.3.4.）50%	
書名①	子ども家庭支援の心理学 新・基本保育シリーズ⑨	
著者名①	白川佳子・福丸由佳 編集	
出版社①	中央法規	
書名②		
著者名②		
出版社②		
書名③		
著者名③		
出版社③		
参考文献	<書名>家族の心理 著者名：小田切紀子・野口康彦・青木聡・他 出版社：金剛出版 <書名>母子臨床と世代間伝達 著者名：渡辺久子 出版社：金剛出版 <書名>子どもの発達と保育カウンセリング 著者名：次良丸睦子・五十嵐一枝・加藤千佐子・高橋君江 出版社：金子書房	
参考URL		
特記事項	人は生涯をかけて変化し発達します。時期に応じて発達課題があり乗り越えれば成長につながります。子どもたちが生きる力を獲得していけるように、また子育てを通して親が親としての課題を乗り越えていけるように支えて欲しいと思います。それが保育・教育及び福祉の専門職である私たちの課題だと言えます。生涯発達の意味を概観して自分の道筋を考えるきっかけになれば良いと思います。一緒に成長できるようにしたいですね。	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2	1	選択必修
担当教員			
榊原 尉津子			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
演習	子ども学科	1C3206	
添付ファイル			

授業種類	授業担当教員 <input type="checkbox"/> 科目に関連した実務経験のある教員が担当している 科目に関連した実務内容 アクティブラーニング要素 <input type="checkbox"/> ディスカッション、ディベート <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク
テーマ	乳幼児期の心とからだの健康について学ぶ
到達目標	(1) 乳幼児教育における「健康」の位置づけ、領域「健康」のねらい及び内容を理解する (2) 乳幼児期の身体・運動発達と理想とする生活習慣を理解する (3) 乳幼児の発育発達の特徴を理解し、子どもの遊びや生活習慣の指導の工夫やあり方を理解する
授業概要	領域「健康」について教育要領および保育指針、認定こども園教育・保育要領を踏まえ、現代の乳幼児が置かれている環境を考えながら、生涯にわたる健康なからだの基礎となる乳幼児の健康について考える。将来保育者として大切ないのちを預かる職に就くことを理解し、子どもの「いのち」について考えるとともに、子どもの遊びや基本的な生活習慣、食生活および安全対策についての指導と援助について検討し、理解を深めていく。
授業計画	1 授業内容：オリエンテーション ー授業計画と目標ー ・授業内容と成績評価の方法について理解する。 時間外学習：事前にシラバスを読み、授業内容について確認しておく（30分） 2 授業内容：領域「保育内容－健康」について理解を深める 時間外学習：小レポート作成（50分） 3 授業内容：教育・保育現場における子どもの健康① 実習日誌から学ぶ 時間外学習：実習日誌より領域「健康」に関する園での取り組みについて情報収集しておく（1時間） 4 授業内容：教育・保育現場における子どもの健康② ICTを活用した学習への取り組み（グループワーク） 時間外学習：園だよりに関する情報収集（1時間） 5 授業内容：教育・保育現場における子どもの健康③ 園だより作成（グループワーク） 時間外学習：園だより作成（1時間） 6 授業内容：教育・保育現場における子どもの健康④ 園だより発表（グループワーク） 時間外学習：小レポート作成「作成・発表の振り返り」（1時間） 7 〔施設実習期間中の授業について〕授業支援システムの活用授業内容：子どもの事故とケガ 時間外学習：配信された課題に取り組む（1～2時間） 8 授業内容：子どもの生活習慣 時間外学習：配信された課題に取り組む（1～2時間） 9 授業内容：子どもの病気と予防 時間外学習：配信された課題に取り組む（1～2時間） 10 授業内容：子どもの食と排泄 時間外学習：配信された課題に取り組む（1～2時間） 11 授業内容：子どもの睡眠 時間外学習：配信された課題に取り組む（1～2時間） 12 授業内容：子どもの衣類の着脱 時間外学習：配信された課題に取り組む（1～2時間） 13 授業内容：実習先で戸惑うこと 時間外学習：配信された課題に取り組む（1～2時間） 14 授業内容：領域－健康の意義と小学校教育との関連について 時間外学習：小レポート作成（1～2時間）

	15 授業内容：授業振り返り（小レポート作成） 時間外学習：授業を振り返り、自身の学びや気づき、反省をまとめておく（30分）
学修に関する留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・課題、グループワークへの積極的な取り組みを評価する。 ・学びの記録、小レポート、課題提出、AAAおよびGoogle classroomへのアクセス（コメント書き込み）を評価する。
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	<ul style="list-style-type: none"> ・Google classroom、学びの記録へコメントを付して返却する。
成績評価方法・基準	<ul style="list-style-type: none"> (1) 学びの記録（到達目標1.2.3）30% (2) 小レポート（到達目標2.3）30% (3) 課題への取り組み（到達目標2.3）20% (4) グループワーク（到達目標3）20%
書名①	
著者名①	
出版社①	
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年告示 幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領（原本） ・必要に応じてAAAまたはGoogle classroomより資料を配信する。
参考URL	
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・欠席した時は、担当教員に欠席回の授業内容や課題等について受講生自らが確認すること。 ・15回の学びが無い場合は、目標達成とは認めません。到達目標が100%となるよう努力すること。 ・遅刻、欠席の扱いについては、授業開始時刻から15分までを遅刻とし、それ以降は欠席として処理する。遅刻3回で欠席1回とする。 ・体育館での授業の時は、保育者として相応しい服装と態度で参加すること。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2	1	選択必修
担当教員			
曾我 基子			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
演習	子ども学科	1C3204	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員</p> <p>■科目に関連した実務経験のある教員が担当している</p> <p>科目に関連した実務内容 保育士としての実務経験があります。</p> <p>アクティブラーニング要素</p> <p><input type="checkbox"/>ディスカッション、ディベート</p> <p><input type="checkbox"/>グループワーク</p> <p><input type="checkbox"/>プレゼンテーション</p> <p><input type="checkbox"/>実習、フィールドワーク</p>
テーマ	子どもの発達と保育内容としての環境の意味
到達目標	1. 乳幼児の発達に応じた領域「環境」のねらい及び内容並びに全体構造を理解し総合的に保育を展開していくための知識、技能、判断力を身に付ける。2. 乳幼児の発達や学びの過程を理解し、領域「環境」に関わる具体的な指導場面を想定した保育を構想する方法を身に付ける。
授業概要	乳幼児の生活と発達における環境の意味を探る。子どもの生活環境の実情をふまえ、子どもの生活体験、遊び体験の変容と問題を検討する。保育実践として環境と遊びの問題をどのように取り組んでいけばよいか、実践と子どもの事実と即して検討する。複数回にわたり、領域「環境」に関連した映像資料を介したグループ討議を行う。実際に体験した自然現象や動植物を情報機器を使って子どもの認識を広げ深める方法を学ぶ。
授業計画	<p>1 幼児教育の基本・・・「環境を通しての保育」の捉え方 (時間外学習) 幼稚園教育要領・保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育・保育要領の環境について事前に読む(1時間)</p> <p>2 幼児教育の基本・・・幼児教育の目的と領域 (時間外学習) 授業内容の整理(1時間)</p> <p>3 幼児教育の基本・・・保育者の様々な役割 (時間外学習) 授業内容の整理(1時間)</p> <p>4 乳幼児の育ちと領域「環境」 (時間外学習) 授業内容の整理(1時間)</p> <p>5 乳児、1～2歳児の世界と環境 (時間外学習) 授業内容の整理(1時間)</p> <p>6 自然・季節とのかかわりにおける子供の育ち・・・自然の美しさや大きさ、不思議さ、季節の変化に気づく (時間外学習) 授業内容の整理(1時間)</p> <p>7 生き物とのかかわりにおける子どもの育ち・・・植物や生き物に親しみ、命を大切にする。 (時間外学習) 授業内容の整理(1時間)</p> <p>8 物とのかかわりにおける子どもの育ち (時間外学習) 授業内容の整理(1時間)</p> <p>9 文字や標識への興味と認識の育ち (時間外学習) 授業内容の整理(1時間)</p> <p>10 数量や図形への興味と認識の育ち (時間外学習) 授業内容の整理(1時間)</p> <p>11 遊びや生活の情報に興味をもち、地域に親しむ (時間外学習) 授業内容の整理(1時間)</p> <p>12 幼児期の思考力の芽生え (時間外学習) 授業内容の整理(1時間)</p> <p>13 現代の保育の課題と領域「環境」 (時間外学習) 構想と原案作成(1時間)</p> <p>14 「環境」とのかかわりを支える保育者の役割 (時間外学習) 授業内容の整理(1時間)</p> <p>15 まとめ 授業の学びと振り返り、レポート作成</p>

学修に関する留意事項	本授業は、具体的な活動などを伴う授業内容のため、協働する姿勢や態度、主体的で積極的な授業参加と課題提出を期待します。
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	
成績評価方法・基準	課題への取り組み（到達目標 1、2）60% グループワーク（到達目標 1、2）40%
書名①	事例で学ぶ保育内容 領域 環境
著者名①	武藤隆監修 福本真由美編集代表
出版社①	萌文書林
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	平成29年告示 幼稚園教育要領・保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育・保育要領原本
参考URL	
特記事項	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2	2	選択
担当教員			
古谷 淳			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
講義	子ども学科	1C3130	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員</p> <p><input type="checkbox"/>科目に関連した実務経験のある教員が担当している</p> <p>科目に関連した実務内容</p> <p>アクティブラーニング要素</p> <p><input type="checkbox"/>ディスカッション、ディベート</p> <p><input type="checkbox"/>グループワーク</p> <p><input type="checkbox"/>プレゼンテーション</p> <p><input type="checkbox"/>実習、フィールドワーク</p>
------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	保育の基本的な考え方と計画の理解
到達目標	1. カリキュラムの基礎理論を確認する。2. 長期・短期の指導計画の関係、指導計画の基本的な考え方・意義、カリキュラムマネジメントの重要性について理解する。3. 子ども理解のもとに指導計画を立案・作成し、保育実践に活かす力を身につける。
授業概要	・幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領を基本として、教育課程・全体的な計画の意義を理解し、保育の現場における計画を理解する。・幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領の理解のもと、教育課程・全体的な計画を理解し、各年齢に合った保育の計画を立案作成する。
授業計画	<p>1 幼稚園の基本 (時間外学習) 授業内容の整理 (1時間)</p> <p>2 教育課程について (時間外学習) 授業内容の整理 (1時間)</p> <p>3 遊びや活動のカリキュラム (時間外学習) 授業内容の整理 (1時間)</p> <p>4 カリキュラムマネジメント (時間外学習) 授業内容の整理 (1時間)</p> <p>5 評価と省察 (時間外学習) 構想と原案作成 (1時間)</p> <p>6 計画的な教育実践に向けて (時間外学習) 構想と原案作成 (1時間)</p> <p>7 小学校との接続について (時間外学習) 授業内容の整理 (1時間)</p> <p>8 保育所保育の基本 (時間外学習) 授業内容の整理 (1時間)</p> <p>9 全体的な計画について (時間外学習) 授業内容の整理 (1時間)</p> <p>10 保育課程と指導計画の実際 (時間外学習) 授業内容の理解 (1時間)</p> <p>11 保育所における指導計画の作成の基本と方法 (時間外学習) 授業内容の整理 (1時間)</p> <p>12 0・1・2歳児保育における指導計画の考え方 (時間外学習) 授業内容の整理 (1時間)</p> <p>13 指導計画の作成 (時間外学習) 構想と原案の作成 (1時間)</p> <p>14 指導計画の作成 (時間外学習) 構想と原案の作成 (1時間)</p> <p>15 まとめとして今までの学修内容についてのディスカッション (時間外学習) ディスカッション後の学びの振り返り (1時間)</p>

学修に関する留意事項	授業への取り組みは積極的な授業態度や課題の提出を含む。
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	
成績評価方法・基準	中間レポート（到達目標1.2）20% 指導案作成（到達目標1.2.3）30% 期末レポート（到達目標1.2.3）40% リフレクションシート（到達目標1.2.3）10%
書名①	
著者名①	
出版社①	
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	「平成29年告示 幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領 原本」
参考URL	
特記事項	授業担当者は保育士としての実務経験があります。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2	2	選択
担当教員			
長倉 里加			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
演習	子ども学科	1C3235	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員</p> <p>■科目に関連した実務経験のある教員が担当している</p> <p>科目に関連した実務内容</p> <p>助産師、看護師として産科、小児科を中心として医療・保健活動及び子どもの健全な成長発達への援助を実施。</p> <p>アクティブラーニング要素</p> <p><input type="checkbox"/>ディスカッション、ディベート</p> <p>■グループワーク</p> <p>■プレゼンテーション</p> <p>■実習、フィールドワーク</p>
------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	乳児の成長発達や生活の連続性に配慮した乳児保育
到達目標	1. 乳児の発育・発達のプロセスや特性を踏まえた援助や関わりについて理解する。2. 乳児の生活や遊びと保育の方法及び環境について具体的に理解する3. 乳児保育における配慮の実践について具体的に理解する。4. 上記1～3を踏まえ、乳児保育における計画の作成について、具体的に理解する。
授業概要	乳児保育の基本を学び、子どもの発育・発達を踏まえた生活や遊びの実践を知る。また乳児保育における配慮の実践を学ぶ。
授業計画	<p>1 乳児保育の一日0～2歳児クラスの一日の生活のながれについて学ぶ (時間外学習) 教科書第10章を読む 30分</p> <p>2 生活と援助乳児保育の生活の援助 食事について学ぶ (時間外学習) 教科書第11章を読む 30分</p> <p>3 生活と援助乳児保育の生活の援助 排泄について学ぶ (時間外学習) 教科書第11章を読む 30分</p> <p>4 生活と援助乳児保育の生活の援助 清潔について学ぶ (時間外学習) 教科書第11章を読む 30分</p> <p>5 生活と援助乳児保育の生活の援助 環境について学ぶ (時間外学習) 教科書第11章を読む 30分</p> <p>6 乳児保育における生活と遊び乳児保育にふさわしい遊びについて学ぶ (時間外学習) 教科書第14章を読む 30分</p> <p>7 乳児保育における生活と遊び乳児保育にふさわしい遊びについて学ぶ (時間外学習) 教科書第14章を読む 30分</p> <p>8 乳児保育における生活と遊び乳児保育にふさわしい絵本について学ぶ (時間外学習) 教科書第15章を読む 30分</p> <p>9 乳児保育における生活と遊び乳児保育にふさわしいおはなしについて学ぶ (時間外学習) 教科書第15章を読む 30分</p> <p>10 乳児保育における生活と遊び乳児保育にふさわしい言葉遊びについて学ぶ (時間外学習) 教科書第15章を読む 30分</p> <p>11 乳児保育における配慮保護者との連絡方法について学ぶ (時間外学習) 教科書17章を読む 30分</p> <p>12 乳児保育における指導計画長期的・短期的な指導計画の立て方について学ぶ。 (時間外学習) 教科書16章を読む 30分</p> <p>13 乳児保育における指導計画個別的・集団的な指導計画の立て方について学ぶ。 (時間外学習) 教科書16章を読む 30分</p> <p>14 乳児保育における指導計画と実際指導計画に基づいて模擬保育を行う (時間外学習) 指導計画を実施するための準備 30分</p> <p>15 乳児保育における指導計画と実際指導計画に基づいて模擬保育を行う (時間外学習) 指導計画を実施するための準備 30分</p>
学修に関する留意	グループワークには積極的に参加してください。演習テーマに関する課題はその都度説明します。

事項	
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	
成績評価方法・基準	演習・提出物【到達目標1・2・3】55% 試験【到達目標1・2・4】45%
書名①	健やかな育ちを支える乳児保育Ⅰ・Ⅱ
著者名①	高内正子・梶美保
出版社①	建帛社
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	その都度紹介します
参考URL	
特記事項	助産師・看護師として実務経験のある教員が、そこでの知識や技術を活かし、乳児の成長・発達の特徴をふまえて具体的な支援方法の講義・演習を行う。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2	2	選択
担当教員			
齋藤 眞寛			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
演習	子ども学科	1C3232	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員</p> <p>■科目に関連した実務経験のある教員が担当している</p> <p>科目に関連した実務内容</p> <p>知的障害児入所施設、障害者相談支援センターなどを経て、現在は児童発達支援センターを運営し、障害がある子どもたちの発達支援、家族支援、地域連携支援を行っています。子ども家庭分野専門の認定社会福祉士としては、スクールソーシャルワーク、ヤングケアラー、生活困窮、未成年後見等の分野で啓発や講演の活動を行っています。</p> <p>アクティブラーニング要素</p> <p>■ディスカッション、ディベート</p> <p>■グループワーク</p> <p>■プレゼンテーション</p> <p>□実習、フィールドワーク</p>
------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	発達に気になる子や心身に障害がある子どもの特徴と育ちを理解する
到達目標	1. 様々な障害について理解する 2. 障害に合った合理的配慮について考えることができるようになる 3. 発達を促す適切な保育の技術を身につける 4. 他機関との連携を意識した個別の支援計画を立てることができる
授業概要	心身に障害がある子どもの特徴と育ちについて解説する。事例を通して合理的配慮を意識した保育の仕方を考え、実践するための保育の技術を学ぶ。援助の実際を事例を通して理解する。また、障害がある子どもの発達を支える社会資源ならびにそれらの連携について解説する。
授業計画	<p>1 オリエンテーション授業の進め方、学習方法について。この授業で何を学ぶのかの概要を理解する。 ＜時間外学習＞授業内容の復習（60分）</p> <p>2 障害児保育を支える理念小テスト実施 ＜時間外学習＞テキスト1コマ目を通読し、演習課題「不当な差別的取り扱い」について考える（60分）</p> <p>3 知的障害児／言語障害／場面緘黙のある子どもの理解と支援小テスト実施 ＜時間外学習＞テキスト2コマ目および5コマ目を通読し、演習課題の事例について考える（60分）</p> <p>4 肢体不自由児／重症心身障害児／医療的ケア児／視覚障害児／聴覚障害児の理解と支援小テスト実施 ＜時間外学習＞テキスト3コマ目および4コマ目を通読し、演習課題の事例について考える（60分）</p> <p>5 発達障害児の理解と支援①：ASD 小テスト実施 ＜時間外学習＞テキスト6コマ目を通読し、演習課題の事例について考える（60分）</p> <p>6 発達障害児の理解と支援②：ADHD／SLD小テスト実施 ＜時間外学習＞テキスト7コマ目を通読し、演習課題の事例について考える（60分）</p> <p>7 合理的配慮とユニバーサルデザイン ＜時間外学習＞身近にどのようなユニバーサルデザインがあるのかレポートにまとめる（60分）</p> <p>8 生活課題を抱える家庭の子どもの理解と援助小テスト実施 ＜時間外学習＞テキスト8コマ目を通読し、演習課題の事例について考える（60分）</p> <p>9 子ども同士の関わりと育ち合いと子どもをみる視点小テスト実施 ＜時間外学習＞テキスト9コマ目を通読し、演習課題の事例について考える（60分）</p> <p>10 指導計画および個別の支援計画の作成、職員間の連携・協働小テスト実施 ＜時間外学習＞テキスト10コマ目を通読し、演習課題の事例について考える（60分）</p> <p>11 保護者や家族に対する理解と支援、保護者間の交流や支え合い ＜時間外学習＞テキスト11コマ目を通読し、演習課題の事例について考える（60分）</p> <p>12 障害児支援の制度の理解と地域における自治体や関係機関の連携・協働小テスト実施 ＜時間外学習＞テキスト12コマ目を通読し、演習課題の事例について考える（60分）</p> <p>13 小学校等との連携、就学に向けて小テスト実施 ＜時間外学習＞テキスト13コマ目を通読し、演習課題の事例について考える（60分）</p>

	14	特別な配慮を必要とする子どもの保育に関わる現状と課題小テスト実施 ＜時間外学習＞テキスト14コマ目を通読し、演習課題の事例について考える（60分）
	15	支援事例からみる実際の対応 ＜時間外学習＞テキスト15コマ目を通読し、演習課題の事例について考える（60分）
学修に関する留意事項	日頃から合理的配慮やユニバーサルデザインに関心を持つこと。授業への参加度は、積極的な発言やグループワークへの貢献度で評価するため、積極的な態度で臨んでもらいたい。	
試験やレポート等の課題のフィードバック方法		
成績評価方法・基準	定期試験（おもに到達目標1～3）40% 小テスト（到達目標1～4）30% グループワーク（到達目標1～4）30%	
書名①	障害児保育 演習ブック	
著者名①	松本峰雄：監修 増南太志：編著	
出版社①	ミネルヴァ書房	
書名②		
著者名②		
出版社②		
書名③		
著者名③		
出版社③		
参考文献		
参考URL		
特記事項	資料等については、講義内で適宜提示する。	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2	2	選択
担当教員			
中嶋 麻衣			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
演習	子ども学科	1C3234	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員</p> <p><input type="checkbox"/> 科目に関連した実務経験のある教員が担当している</p> <p>科目に関連した実務内容</p> <p>アクティブラーニング要素</p> <p><input type="checkbox"/> ディスカッション、ディベート</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> グループワーク</p> <p><input type="checkbox"/> プレゼンテーション</p> <p><input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク</p>
------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	子どもの最善の利益を考え、子どもとその家庭を取り巻く現状や課題等について理解を深める。社会的養護の現場で求められる視点や支援の方法について一緒に考えていく。
到達目標	<p>1. 社会的養護の現状と課題について考えることができる。</p> <p>2. 保育士・幼稚園教諭に必要な社会的養護の知識・技術を身につける。</p> <p>3. 社会的養護にかかわる専門職の専門性や役割について理解する。</p>
授業概要	社会的養護の背景を理解し、関連する制度や施策、施設の役割や機能、専門職の専門性や役割について学び、支援者として必要な社会的養護の視点について考えていく。
授業計画	<p>1 自己覚知と他者理解 復習：講義で学んだことを振り返る（30分）</p> <p>2 社会的養護の背景と現状 予習：昨年度受講した子ども家庭福祉や社会的養護の講義内容を振り返り、身近にある社会的養護の問題について整理しておく（30分） 復習：社会的養護の現状と課題について理解する（30分）</p> <p>3 子どもの権利条約① 予習：子どもの権利条約について調べておく（30分） 復習：子どもの権利条約について理解を深める（30分）</p> <p>4 子どもの権利条約② 予習：前回学んだ子どもの権利条約について振り返る（30分） 復習：子どもの権利条約について理解する（30分）</p> <p>5 施設養護とは 予習：児童福祉法に定められる各施設の設置根拠とその目的を調べておく（30分） 復習：各施設の機能や役割等について理解する（30分）</p> <p>6 家庭養護とは 予習：里親、ファミリーホーム、特別養子縁組等について、社会的養護で学んだことを復習しておく（30分） 復習：家庭養護の現状と課題、関連する制度や施策について理解する（30分）</p> <p>7 日常生活の中での支援 予習：社会的養護の背景について、対象者が抱える諸問題を復習しておく（30分） 復習：支援対象者が抱える生活問題への理解を深める（30分）</p> <p>8 治療的支援とは （予習：被虐待児支援について、社会的養護や子ども家庭福祉等で学んだことを復習しておく（60分））（復習：現場実践における「治療的支援」について、具体的なイメージをもつことができるようにする（60分））</p> <p>9 自立支援と自立支援計画とは① 予習：児童の「自立」について、これまでに学んだ内容をもとに整理しておく（30分） 復習：支援における「自立」について、具体的なイメージをもつことができるようにする（30分）</p> <p>10 自立支援と自立支援計画とは② 予習：前回の講義内容を整理し、児童の「自立」を支援することを具体的にイメージしておく（30分） 復習：自立支援計画を利用した支援について、具体的なイメージをもつことができるようにする（30分）</p> <p>11 支援の記録と自己評価 予習：これまで実習の記録について指導を受けた内容を整理し、記録を残すことにどのような意味があるのかを整理しておく（30分） 復習：記録の目的やその活用等について理解し、それらを踏まえた記録を書くためにどのような</p>

	<p>12 技術が必要かを考える (30分) 社会的養護のかかわる専門職に大切なこと 予習：実習を振り返り、施設職員がどのような視点でどのような支援をおこなっていたのかを整理しておく (30分) 復習：各専門職の専門性を理解し、チームの一員としてチームアプローチをおこなうために、具体的なイメージをもつことができるようにする (30分)</p> <p>13 社会的養護とソーシャルワーク 予習：実習を振り返り、社会福祉専門職がどのような支援をおこなっていたのかを整理しておく (30分) 復習：社会的養護における社会福祉専門職の専門性とソーシャルワーカーの意義・役割について理解する (30分)</p> <p>14 社会的養護と地域支援 予習：実習を振り返り、実習先施設が地域社会・資源とどのようなかかわりをしてきたのかを整理しておく (30分) 復習：社会的養護における地域支援の現状と課題について理解する (30分)</p> <p>15 社会的養護の課題と展望 予習：これまで学んだ内容を整理しておく (30分) 復習：これまでの学びや実習を振り返り、社会的養護の課題と展望について自分の言葉で説明できるようにする (30分)</p>
学修に関する留意事項	<p>グループワークでの積極的な取り組みを評価する。 予習：グループでの調査・発表に積極的に参加することができるよう、関連する文献等で調べ準備をしておくこと。 復習：講義で学んだ内容をもとに、関連する文献等で学びを深めたり、身近な事例と照らし合わせながら理解に努めること。</p>
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	
成績評価方法・基準	<p>課題への取り組み (到達目標 1. 2. 3) 50%</p> <p>提出物 (到達目標 1. 2. 3) 30%</p> <p>グループワーク (到達目標 1. 2. 3) 20%</p>
書名①	
著者名①	
出版社①	
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	
参考URL	
特記事項	資料等については、講義内で適宜提示する。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2	2	選択必修
担当教員			
福西 朋子、山本 敦子、若井由美子、星合 智美、岡本加奈子、田端香代子、木下 和美、小柴 雅子、丸山 亮子、勝井 由紀、松江咲恵子			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
演習	子ども学科	1C3222	
添付ファイル			

授業種類	授業担当教員 ■科目に関連した実務経験のある教員が担当している 科目に関連した実務内容 アクティブラーニング要素 <input type="checkbox"/> ディスカッション、ディベート <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク
------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	子どもの音楽活動を支える音楽表現技術と実践方法の習得
到達目標	1. 保育におけるリズム楽器の奏法と実践方法の習得 2. 子どものリズム活動に活かせるピアノ奏法とアレンジ方法の習得 3. 子どもの歌唱活動を支える弾き歌い技術習得とレパートリー拡充 4. 音・音楽でイメージ豊かに表現ができること
授業概要	1年次「音楽表現技術 I・II」での学習内容を踏まえ、保育実践のための技術・表現力・方法を習得する。一斉授業ではリズム楽器奏法や楽器遊びの方法を学び、実技レッスンでは子どものリズム活動や歌唱活動を支えるピアノ技能の習得を行う。
授業計画	1 一斉授業 一斉授業：オリエンテーションとピアノによるリズム表現活動の体験 <時間外学修> 下記「学修に関する留意事項」を参照の上、取り組むこと。 2 実技レッスンと一斉授業 実技レッスン：コース別課題（リズム曲、子どもの歌、ピアノ表現曲等）によるグループレッスン 一斉授業：リズム楽器による音楽遊びの体験 1 <時間外学修> 下記参照 3 実技レッスンと一斉授業 実技レッスン：コース別課題（リズム曲、子どもの歌、ピアノ表現曲等）によるグループレッスン 一斉授業：リズム楽器による音楽遊びの体験 2 <時間外学修> 下記参照 4 実技レッスンと一斉授業 実技レッスン：コース別課題（リズム曲、子どもの歌、ピアノ表現曲等）によるグループレッスン 一斉授業：リズム楽器による音楽遊びの体験 3 <時間外学修> 下記参照 5 実技レッスンと一斉授業 実技レッスン：コース別課題（リズム曲、子どもの歌、ピアノ表現曲等）によるグループレッスン 一斉授業：リズム楽器による音楽遊びの体験 4 <時間外学修> 下記参照 6 実技レッスンと一斉授業 実技レッスン：コース別課題（リズム曲、子どもの歌、ピアノ表現曲等）によるグループレッスン 一斉授業：リズム楽器による音楽遊びの体験 5 <時間外学修> 下記参照 7 ピアノによるリズム表現活動の模擬保育実践（試験） <時間外学修> 振り返りシート作成（15分以上） 8 実技レッスンと一斉授業 一斉授業：リズム楽器による音遊びの考案 1 <時間外学修> 下記参照 9 実技レッスンと一斉授業 一斉授業：リズム楽器による音遊びの考案 2 <時間外学修> 下記参照 10 実技レッスンと一斉授業 一斉授業：リズム楽器による音遊びの実践 1

	<p>11 <時間外学修>下記参照 実技レッスンと一斉授業 一斉授業：リズム楽器による音遊びの実践2</p> <p>12 <時間外学修>下記参照 実技レッスンと一斉授業 一斉授業：リズム楽器による音遊びの実践3</p> <p>13 <時間外学修>下記参照 実技レッスンと一斉授業 一斉授業：リズム楽器による音遊びの実践4</p> <p>14 <時間外学修>下記参照 実技レッスンと一斉授業 一斉授業：リズム楽器による音遊びの実践5</p> <p>15 <時間外学修>下記参照 弾き歌いとピアノ演奏の成果発表（試験） <時間外学修>振り返りシート作成（15分以上）</p>
学修に関する留意事項	<p><授業計画>上記の授業計画は履修人数や施設実習時期等の理由により、内容や順序を変更する場合があります。</p> <p><時間外学修技能の習得には日々の積み重ねが大切です。毎回の実技レッスンに際し、事前計画・練習（予習）と事後振り返り（復習）を毎日30分以上行なって授業に臨むこと。</p> <p><成績評価のポイント>実技レッスンは取り組み状況（課題選曲内容、グループ学習の意識、計画性）も重視する。</p>
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	フィードバックが必要な場合はAAAまたはペーパー返却等にて対応する。
成績評価方法・基準	<p>一斉授業の課題提出（到達目標1）40%</p> <p>実技試験（到達目標2～4）40%</p> <p>実技レッスン取り組み（到達目標2～3）20%</p>
書名①	歌のカレンダー
著者名①	伊藤嘉子 他編
出版社①	エーティーエヌ
書名②	保育・幼児教育のためのMusic Text
著者名②	高田短期大学音楽研究室
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	
参考URL	
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・本科目は音楽表現技術Ⅰ・Ⅱの発展・応用科目です。 ・就職試験の音楽実技課題のレッスン等は、授業外でも対応しますので、随時相談してください。

講義科目名称：ゼミナールⅡ-A

授業コード：55800A 55800B 55800C

英文科目名称：SeminarⅡ-A

55800D 55800E 55800F

55800G 55800H 55800I

55800J 他2件

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2	2	必修
担当教員			
福西 朋子、山本 敦子、林 幹士、青木 信子、長倉 里加、松山 智道、尾高 慶彦、榊原 尉津子、亀澤 朋恵、權部 良子、中嶋 麻衣、古谷 淳			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
演習	子ども学科	1D3201	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員</p> <p><input type="checkbox"/> 科目に関連した実務経験のある教員が担当している</p> <p>科目に関連した実務内容</p> <p>アクティブラーニング要素</p> <p>■ ディスカッション、ディベート</p> <p>■ グループワーク</p> <p>■ プレゼンテーション</p> <p><input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク</p>
------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	保育や幼児教育に関する課題研究
-----	-----------------

到達目標	<p>1. 保育・幼児教育に関する課題研究に主体的に取り組むことができる。</p> <p>2. 課題の探求において、思考・判断・表現する力を高める。</p> <p>3. 他者とのかかわりを通して、保育者、社会人としての基礎能力を身につける。</p>
------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

授業概要	1年次ゼミナール授業を土台とし、保育や幼児教育に関する課題の研究を行う。少人数での演習形式を活かし、ディスカッションやグループワーク等、他者とのかかわりを通じた学びにより保育者、社会人としての基礎能力習得を行う。
------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------

授業計画	<p>1 オリエンテーションー2年次前期の計画と目標ー</p> <p>2 保育・幼児教育に関する課題についてのグループワーク① -1年次授業での学びから-</p> <p>3 保育・幼児教育に関する課題についてのグループワーク② -1年次授業での学びから- 時間外学習：グループ別プレゼンテーションの準備・練習（1時間）</p> <p>4 保育・幼児教育に関する課題についてのプレゼンテーション -現代的課題から- 時間外学習：保育・幼児教育に関する課題についての小レポートの作成（2時間）</p> <p>5 研究課題の設定と研究方法①</p> <p>6 研究課題の設定と研究方法② 時間外学習：研究テーマ・研究方法に関する小レポートの作成（2時間）</p> <p>7 【施設実習期間中】オンラインによる授業の実施社会人としての基礎力演習① -コミュニケーションについて-</p> <p>8 社会人としての基礎力演習② -「伝える」ためのスキル・プレゼンテーション- 時間外学習：プレゼンテーションの準備・練習（1時間）</p> <p>9 社会人としての基礎力演習③ -「伝える」ためのスキル・グループディスカッション- 時間外学習：コミュニケーションについて的小レポートの作成（2時間）</p> <p>10 課題研究演習Aー① 情報収集について_文献調査 時間外学習：文献調査および文献リストの作成（1時間）</p> <p>11 <時間外学習>下記参照一斉授業：リズム楽器を用いた表現活動2 考案 時間外学習：フィールドワーク（1時間）</p> <p>12 課題研究演習Aー③ 情報整理およびプレゼンテーション 時間外学習：プレゼンテーションの準備・練習（1時間）</p> <p>13 課題研究演習Aー④ 研究テーマによる演習</p> <p>14 課題研究演習Aー⑤ 研究テーマによる演習</p> <p>15 まとめ -2年次前期の学びの振り返り-</p>
------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

学修に関する留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・本授業は、学生の自主的態度、能動的な取り組みを重視する。 ・課題の研究は、自ずと時間外学習が必要である。自ら、学びを深めるための学習を行うこと。 ・本授業を通じて、各自、積極的に社会貢献活動、ボランティア活動を行うこと。
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	小レポートはコメントを付して返却する。
成績評価方法・基準	課題研究およびレポート作成（到達目標1、2）60% 授業・活動への取り組み（到達目標2、3）20% グループワーク（到達目標3）20%
書名①	
著者名①	
出版社①	
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	
参考URL	
特記事項	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2	1	選択
担当教員			
青木 信子			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
演習	子ども学科	1E3202	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員</p> <p>■科目に関連した実務経験のある教員が担当している</p> <p>科目に関連した実務内容 幼稚園教諭としての実務経験</p> <p>アクティブラーニング要素</p> <p>■ディスカッション、ディベート ■グループワーク ■プレゼンテーション □実習、フィールドワーク</p>
テーマ	教育実習Ⅱの事前指導・事後指導
到達目標	<p>1. 幼稚園教育の基本、目的、幼児の発達、園生活の流れ、幼稚園教諭の職務を理解する。</p> <p>2. 教育実習の意義や目的を理解し、自己課題を明確にする。</p> <p>3. 幼児教育者として保育観、教育観を構築する。</p>
授業概要	教育実習の心得や望ましい実習態度について学ぶと同時に、実習にあたって幼稚園教育要領の理解、環境を通して行う教育、幼児理解、幼稚園教諭の職務等理解を深める。以上の目的において、日誌や計画の立案、振り返りについて学習する。
授業計画	<p>第1回 教育実習Ⅱの意義と自己課題について 〔時間外学習〕教育実習Ⅰを振り返り自己課題を考える (1時間)</p> <p>第2回 教育実習Ⅱにおける実習形態について 〔時間外学習〕実習園の教育方針を調べ理解する</p> <p>第3回 部分実習の指導案の作成 〔時間外学習〕指導計画を考える (1時間)</p> <p>第4回 部分実習の指導案についてのグループワーク 〔時間外学習〕実践内容の検討 (1時間)</p> <p>第5回 部分実習の実践① 〔時間外学習〕実践内容の振り返りと評価 (1時間)</p> <p>第6回 部分実習の実践② 〔時間外学習〕実践内容の振り返りと評価 (1時間)</p> <p>第7回 部分実習の実践③ 〔時間外学習〕実践内容の振り返りと評価 (1時間)</p> <p>第8回 一日実習の内容と指導計画案の記述方法について 〔時間外学習〕「実習の心得」を再度読み確認 (1時間)</p>
学修に関する留意事項	授業前に「実習の心得」を読み、予習した上での授業参加を望みます。
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	
成績評価方法・基準	<p>試験 (到達目標 1) 40%</p> <p>授業への取り組み (到達目標 1.2.3) 30%</p> <p>提出物 (到達目標 2.3) 30%</p>
書名①	実習の心得
著者名①	
出版社①	
書名②	
著者名②	
出版社②	

書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	文部科学省「幼稚園教育要領解説」
参考URL	
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・「実習にあたって」「事前訪問報告書」のいずれか片方でも提出期限が遅れた場合は、不合格とします。 ・「教育実習指導（２）」が不合格となった場合、教育実習Ⅱを受けることはできません。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	2	3	選択
担当教員			
青木 信子			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
実習	子ども学科	1E4403	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員</p> <p>■科目に関連した実務経験のある教員が担当している</p> <p>科目に関連した実務内容 幼稚園教諭としての実務経験</p> <p>アクティブラーニング要素</p> <p><input type="checkbox"/>ディスカッション、ディベート <input type="checkbox"/>グループワーク <input type="checkbox"/>プレゼンテーション ■実習、フィールドワーク</p>
テーマ	幼稚園における観察・参加・部分・責任実習等
到達目標	<p>1. 教育実習Ⅰの学びを活かして、幼稚園教育の基本を理解する。</p> <p>2. 幼児の発達や集団の特徴を踏まえ、環境構成及び援助の在り方を学ぶ。</p> <p>3. 幼児一人一人の個性・特徴を理解した上で、計画の立案や活用方法を学び、活動を実践する。</p> <p>4. 家庭や地域と連携を図りながら、幼児教育に携わる幼稚園の実態に触れる。5. 幼稚園教諭としての専門性や資質を理解し、自らの保育観・教育観を持つようになる。</p>
授業概要	本実習では、教育実習Ⅰの経験や学内で学習した内容を活かしながら、幼稚園における教育実践を体験することをねらいとする。また、幼児の実態に即した指導計画の作成・環境構成・指導の実際について体験を通して学び、反省と評価を繰り返しながら、幼稚園教育の実際を総合的に学ぶ。
授業計画	<p>1</p> <p>1) 実習先：原則として学生の出身地域の公立・私立幼稚園、認定こども園2) 実習期間：2024年9月2日(月)～9月20日(金)3週間3) 事前訪問：2024年年7月下旬から8月下旬までの園の都合が良い日4) 事前訪問の概要：実習園を訪問し、園長先生からオリエンテーションを受ける ①園の概要・教育方針・教育課程(年間指導計画、週案、日案、主な行事等) ②実習生としての心構えとマナー(職務・服装・持ち物・態度・その他留意点等) ③実習の流れ(幼児の実態、幼児への関わり方、安全配慮等の留意点等) ④配属クラス・部分実習や責任実習の有無・実習訪問の都合の悪い日の確認5) 実習内容(園によって多少違いがある) ①幼児の様子を観察し、幼児の発達を理解する。 ②幼稚園での勤務を体験しながら、幼稚園教諭の職務の実際を学ぶ。 ③担任教諭の指導を受けて、参加実習・部分実習を体験する。 ④部分実習・責任実習の指導案を書き、幼児への指導の実際を体験する。 ⑤降園後、環境整備や翌日の環境構成の手伝いを積極的に行い、1日の実習を反省する。 ⑥実習日誌を書き、翌日担任教諭に提出して指導を受ける。</p>
学修に関する留意事項	教育実習指導Ⅱの学びを活かして事前準備・事後学習に努めることを望みます。
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	
成績評価方法・基準	実習園の実習評価70% 実習日誌・実習の振り返り30%
書名①	『実習の心得』
著者名①	
出版社①	
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	文部科学省『幼稚園教育要領解説』

参考URL	
特記事項	<ul style="list-style-type: none">・「教育実習指導（２）」が不合格の場合、また１年生後期における幼稚園免許必須科目が３科目以上不合格の場合は「教育実習Ⅱ」は受けられません。・「教育実習Ⅰ」の単位を修得していない場合は「教育実習Ⅱ」を履修することができません。

講義科目名称： 保育実習 I

授業コード： 56400A

英文科目名称： Nursery School Practice I

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1	4	選択
担当教員			
権部 良子、中嶋 麻衣			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
実習	子ども学科	1E2406	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員</p> <p>■科目に関連した実務経験のある教員が担当している</p> <p>科目に関連した実務内容</p> <p>保育者（幼稚園）としての実務経験あり</p> <p>アクティブラーニング要素</p> <p><input type="checkbox"/>ディスカッション、ディベート</p> <p><input type="checkbox"/>グループワーク</p> <p><input type="checkbox"/>プレゼンテーション</p> <p>■実習、フィールドワーク</p>
------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	【保育実習 I（保育所）】 保育所（園）における観察・参加実習・部分実習など
到達目標	1. 保育所（園）の機能・保育内容・園生活の流れについて、実践を通して理解する。2. 乳幼児と関わる中で一人ひとりを理解し、援助・指導の在り方を体験的に学ぶ。3. 保育士の専門性に触れながら保育士の職務内容及び役割、チームワークなどを把握し、体験を通して保育への関心を高める。4. 保育士や乳幼児と生活を共にし関わる中で保育技術を習得しながら将来の保育士としての自覚を高める。
授業概要	保育所（園）の実態・保育内容・保育技術を実践的に理解しながら、乳幼児理解を深め、保育士の職務について学ぶ。
授業計画	1年次後期（2月頃）に保育所（園）にて現場実習を実施
学修に関する留意事項	保育実習指導 I - (1) の学びを活かし、時間外学習において事前準備・事後学習に努めてください。 ※指定された書類等が期限内に提出されない場合は実習へ行くことができません。 ※指定された実習日数の3分の1欠席があった場合は実習を中止にする場合があります。
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	
成績評価方法・基準	実習先の実習評価70% 実習日誌30%
書名①	『実習の心得』
著者名①	
出版社①	
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	平成29年告示 幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領 原本
参考URL	
特記事項	保育者（幼稚園）としての実務経験があります。（権部）

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2	1	選択
担当教員			
中嶋 麻衣			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
演習	子ども学科	1E3205	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員</p> <p>■科目に関連した実務経験のある教員が担当している</p> <p>科目に関連した実務内容 障害児通所支援での実務経験あり。</p> <p>アクティブラーニング要素</p> <p><input type="checkbox"/>ディスカッション、ディベート</p> <p><input type="checkbox"/>グループワーク</p> <p><input type="checkbox"/>プレゼンテーション</p> <p><input type="checkbox"/>実習、フィールドワーク</p>
テーマ	<ul style="list-style-type: none"> ・児童福祉施設等における観察・参加・部分実習・責任実習等の実際について学ぶ。 ・保育者を志す者として、現場での実践体験を通して自身の課題に向き合う。
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 専門職としての保育士の自覚を高める 2. 施設保育士の役割と職務に関して学びを深める 3. 実習経験を言語化して整理し課題や今後の目標を見つける
授業概要	<p>施設保育士としての実践的知識・技能を学ぶ。また施設実習の事前・事後指導をおこなう。</p> <p>事前指導では実習における各自の学習内容や課題の明確化と既習内容を実践につなげる方法・必要な手続き等をおこなう。</p> <p>事後指導では保育士を目指す者として実習体験の振り返りから得られた学習課題を明確にするための指導をおこなう。</p>
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 保育実習 I (施設) の意義と目的 (時間外学習 3 時間) 2 児童福祉施設等の機能と役割 (1) (時間外学習 3 時間) 3 児童福祉施設等の機能と役割 (2) (時間外学習 3 時間) 4 施設保育士の役割と使命 (時間外学習 3 時間) 5 保育実習 I (施設) における実習形態と実習日誌の書き方 (時間外学習 3 時間) 6 保育実習 I (施設) の実習態度と心構え (時間外学習 3 時間) 7 保育実習 I (施設) の総括と自己評価 (時間外学習 3 時間)
学修に関する留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ガイダンスには必ず参加すること。 ・時間外学習として、自身の実習先に関して情報を収集しておくこと。 ・実践の学びを自分のものとして吸収すること。 ・マナーと最低限のルールをもち備えること。 <p>※出席回数が足りない場合、もしくは定められた書類が期日までに提出されない場合は実習をおこなうことができません。</p>
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	
成績評価方法・基準	<p>授業への取り組み (到達目標1.2.3) 50%</p> <p>課題への取り組み (到達目標1.2.3) 30%</p> <p>小レポート (到達目標1.3) 20%</p>
書名①	実習の心得
著者名①	高田短期大学
出版社①	
書名②	施設実習パーフェクトガイド

著者名②	守巧・小櫃智子・二宮祐子・佐藤恵
出版社②	わかば社
書名③	福祉施設実習ガイドブック
著者名③	三重県施設実習研究協議会
出版社③	
参考文献	
参考URL	
特記事項	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1	2	必修
担当教員			
松山 智道			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
講義	子ども学科	1A2102	
添付ファイル			

授業種類	授業担当教員 <input type="checkbox"/> 科目に関連した実務経験のある教員が担当している 科目に関連した実務内容 アクティブラーニング要素 <input type="checkbox"/> ディスカッション、ディベート <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク
------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	親鸞聖人の生涯とその教え
到達目標	1. 親鸞聖人の生涯とその教えを理解している。2. 自分の価値観が普遍的ではないことを知り、あらゆる存在がそれぞれ絶対的な尊厳性をもって生きていることに気づいている。3. 「生かされて生きている」者として、他を生かす活動を主体的に実践している。
授業概要	親鸞聖人の生涯とその教えを学ぶことを通して、人間の真相により深く迫るとともに、聖人の生き方に照らし、自らの人生を考える。
授業計画	1 はじめに（縁起の復習） 2 いろいろの仏教 <時間外学習>講義初めに前回講義の内容を確認するので、復習をしておくこと。（15分） 3 親鸞聖人の生涯 1 <時間外学習>講義初めに前回講義の内容を確認するので、復習をしておくこと。（15分） 4 親鸞聖人の生涯 2 <時間外学習>講義初めに前回講義の内容を確認するので、復習をしておくこと。（15分） 5 仏教行事 6 親鸞聖人の生涯 3 <時間外学習>講義初めに前回講義の内容を確認するので、復習をしておくこと。（15分） 7 自力と他力 <時間外学習>講義初めに前回講義の内容を確認するので、復習をしておくこと。（15分） 8 阿弥陀仏 <時間外学習>講義初めに前回講義の内容を確認するので、復習をしておくこと。（15分） 9 阿弥陀仏の願い <時間外学習>講義初めに前回講義の内容を確認するので、復習をしておくこと。（15分） 10 聖道門と浄土門 <時間外学習>講義初めに前回講義の内容を確認するので、復習をしておくこと。（15分） 11 無慚無愧の自己・自他同一の世界 <時間外学習>講義初めに前回講義の内容を確認するので、復習をしておくこと。（15分） 12 仏教行事（報恩購、12月18日） 13 親鸞聖人の言葉 <時間外学習>講義初めに前回講義の内容を確認するので、復習をしておくこと。（15分） 14 阿弥陀仏の救い <時間外学習>講義初めに前回講義の内容を確認するので、復習をしておくこと。（15分） 15 まとめ
学修に関する留意事項	授業で講義する内容は、日常生活の中でも確認できるものです。自分の日常生活の中で、仏教的な考え方を実践してみてください。後期中に時間外学習としてレポート等の作成を行います（2時間程度）。

試験やレポート等の課題のフィードバック方法	
成績評価方法・基準	授業に対する取り組み（到達目標1）10% 試験（到達目標1・2・3）90%
書名①	仏教を読むー釈尊のさとり親鸞のおしえー
著者名①	著）上山大峻
出版社①	出）本願寺出版社
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	授業の中で指示
参考URL	
特記事項	「仏教なんて自分には関係がない」と考えている人が多いと思いますが、授業を通して、実は自分に関係のある身近な教えであることが分かってもらえると思います。人間として生きていく上で大切なものは何か、一緒に考えていきましょう。

講義科目名称：暮らしと政治

授業コード： 50320A

英文科目名称： Everyday Life and Politics

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1	2	選択必修
担当教員			
長谷川 博			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
講義	子ども学科	1A2109	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員 <input type="checkbox"/> 科目に関連した実務経験のある教員が担当している</p> <p>科目に関連した実務内容</p> <p>アクティブラーニング要素 <input type="checkbox"/> ディスカッション、ディベート <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク</p>
------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	私たちの日々の暮らしが政治とどのようにつながっているのか、基本的な知識を理解する。
到達目標	1 民主政治と三権分立について理解する。2 地方自治の役割と地方分権の動きを理解する。3 身近な暮らしの中で政治や法がどのように関わっているかを理解する。
授業概要	将来、社会人として活躍するために、知っておくべき基礎知識が身につくように講義プリントや時事問題に関する資料を用いて学習する。高等学校の現代社会・歴史的分野の学習内容を踏まえて学習する。基本用語が身につくよう学習する。
授業計画	<p>1 民主政治とは ～ ギリシア・ローマの民主政治 三大市民革命について講義プリントの調べ学習 (30分)</p> <p>2 主権とは何か ～ 民主政治の形態について講義プリントの調べ学習 (30分)</p> <p>3 民主政治と選挙 ～ 議会制民主主義と選挙の4大原則講義プリントの調べ学習 (30分)</p> <p>4 わが国の選挙制度の歴史について講義プリントの調べ学習 (30分)</p> <p>5 現在の選挙制度と問題点講義プリントの調べ学習 (30分)</p> <p>6 司法権の独立 ～ 大津事件の歴史的意義とは講義プリントの調べ学習 (30分)</p> <p>7 憲法の番人とは ～ 違憲立法審査権について講義プリントの調べ学習 (30分)</p> <p>8 三審制と人権の尊重 ～ 裁判の種類 冤罪と再審請求講義プリントの調べ学習 (30分)</p> <p>9 三権分立について講義プリントの調べ学習 (30分)</p> <p>10 国と地方自治体との関係①講義プリントの調べ学習 (30分)</p> <p>11 国と地方自治体との関係②講義プリントの調べ学習 (30分)</p> <p>12 地方自治と主権者意識 ～ 住民の政治参加意識と投票率について講義プリントの調べ学習 (30分)</p> <p>13 地方自治の役割と課題講義プリントの調べ学習 (30分)</p> <p>14 あるべき地方自治とは ～ 地方自治の理想と現実講義プリントの調べ学習 (30分)</p> <p>15 生活の中にある法講義プリントの調べ学習 (30分) まとめ (60分)</p>

学修に関する留意事項	1 講義プリントを用いて学習します。2 高校時代の教科書・副読本を活用して授業に取り組んでください。3 講義3回終了ごとに、次の講義で確認テスト（主に記号式）を行います。
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	
成績評価方法・基準	筆記試験（到達目標1, 2, 3）60% 確認テスト4回（到達目標3）20% 授業への取り組み（到達目標2, 3）20%
書名①	
著者名①	
出版社①	
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	高等学校現代社会, 政治経済, 歴史的分野の教科書・副読本
参考URL	
特記事項	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1	2	選択
担当教員			
林 幹士			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
講義	子ども学科	1B2102	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員</p> <p><input type="checkbox"/> 科目に関連した実務経験のある教員が担当している</p> <p>科目に関連した実務内容</p> <p>アクティブラーニング要素</p> <p>■ ディスカッション、ディベート</p> <p>■ グループワーク</p> <p><input type="checkbox"/> プレゼンテーション</p> <p><input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク</p>
------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	現代保育者に向けられる制度的、社会的「まなざし」とは何か
到達目標	1. 教育・保育制度に関する基礎的な理解ができており、説明できる。2. 幼稚園や保育現場において、法律や制度がどのように運用されているのかを説明できる。3. 幼児教育・保育をめぐる思想や歴史、制度などの特徴を理解した上で説明できる。
授業概要	諸制度の歴史的な背景から現代にいたるまでのプロセスを概観した上で、制度的な課題や法律や制度の運用に関する特徴や課題について理解を深めます。また、諸外国の制度も取り上げながら日本の保育・教育制度について解説していきます。
授業計画	<p>1 インTRODクシヨン：「制度を学ぶ」とは 《時間外学習：配付資料を読む（30分）》</p> <p>2 教育・保育の目的と歴史的変遷①（戦前） 《時間外学習：配付資料を読む（30分）》</p> <p>3 教育・保育の目的と歴史的変遷②（戦後から現代） 《時間外学習：配付資料を読む（30分）》</p> <p>4 幼稚園教育要領、保育所保育指針、認定こども園教育・保育要領 《時間外学習：配付資料を読む（30分）》</p> <p>5 カリキュラム、保育・教育課程 《時間外学習：配付資料を読む（30分）》</p> <p>6 隠れたカリキュラム 《時間外学習：配付資料を読む（30分）》</p> <p>7 学力、生きる力 《時間外学習：配付資料を読む（30分）》</p> <p>8 保育者・教職員の権利 《時間外学習：配付資料を読む（30分）》</p> <p>9 児童・生徒の権利 《時間外学習：配付資料を読む（30分）》</p> <p>10 外国の保育・教育制度①（アメリカ、イギリス） 《時間外学習：配付資料を読む（30分）》</p> <p>11 外国の保育・教育制度②（アジア） 《時間外学習：配付資料を読む（30分）》</p> <p>12 保育・教育の市場化、民営化 《時間外学習：配付資料を読む（30分）》</p> <p>13 保育・教育ニーズの多様化と子育て支援 《時間外学習：配付資料を読む（30分）》</p> <p>14 現代保育・教育の課題 《時間外学習：配付資料を読む（30分）》</p> <p>15 まとめ 《時間外学習：配付資料を読む（30分）》</p>

学修に関する留意事項	「制度」や「法律」などの言葉を聞くと難しそうだと思うかもしれませんが。しかし、制度や法律がどのように運用されているのかを知ることは、職務に大きく関わる事柄です。学生の主体的な受講を望みます。定期試験共に口頭で説明した内容が出題されますので、授業時のメモに加えて授業時間外での授業内容の整理・確認が必要となります。
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	毎回、授業コメント用紙を記入します。ここでの、質問事項があれば次回の講義の冒頭に解説します。中間レポートについては、レポートテーマのポイントについて解説します。
成績評価方法・基準	中間レポート（到達目標1, 2, 3）40% 定期試験（到達目標1, 2, 3）60%
書名①	
著者名①	
出版社①	
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	特に指定しません。
参考URL	
特記事項	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1	2	必修
担当教員			
中嶋 麻衣			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
講義	子ども学科	1B2131	
添付ファイル			

授業種類	授業担当教員 ■科目に関連した実務経験のある教員が担当している 科目に関連した実務内容 障害児通所支援での実務経験あり。 アクティブラーニング要素 <input type="checkbox"/> ディスカッション、ディベート <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク
------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	子ども家庭福祉の背景や子どもや家庭を取り巻く環境について学び、子ども家庭福祉の現状と課題について考えていく。
-----	--------------------------------------------------------

到達目標	1. 子ども家庭福祉における児童の捉え方を学ぶ。 2. 子どもと家庭を取り巻く環境や社会的背景について理解する。 3. 子ども家庭福祉に関する法制度や施策について理解する。 4. 児童福祉施設の役割や現状について理解する。 5. 子ども家庭福祉にかかわる専門職の役割とその専門性について理解する。
------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

授業概要	子どもや家族が抱える課題や社会的背景、子どもや家庭を取り巻く環境から、なぜ子どもが社会福祉の対象となるのかを考え、児童福祉の基礎を学んでいく。そのうえで子ども家庭福祉の現状と課題、展望、その専門性について考える。
------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------

授業計画	1 子ども家庭福祉を学ぶにあたって 予習：シラバスやテキストに目を通し、本講義で何を学ぶのかを理解しておくこと (30分) 復習：講義の内容を振り返り、子ども家庭福祉が身近な問題であることを理解する (30分) 2 子どもと家庭福祉の歴史 予習：テキストCh.1を通読しておくこと (30分) 復習：講義内容をテキスト等で振り返る (30分) 3 子どもの権利条約 予習：テキストCh.2、子どもの権利条約を通読しておくこと (30分) 復習：講義内容をテキスト等で振り返る (30分) 4 子ども家庭福祉の制度と実施体系 予習：テキストCh.3を通読しておくこと (30分) 復習：講義内容をテキスト等で振り返る (30分) 5 社会的養護と子ども家庭福祉の専門職 予習：テキストCh.4を通読しておくこと (30分) 復習：講義内容をテキスト等で振り返る (30分) 6 子どもの貧困対策 予習：テキストCh.5を通読しておくこと (30分) 復習：講義内容をテキスト等で振り返る (30分) 7 母子保健と子どもの健全育成 予習：テキストCh.6を通読しておくこと (30分) 復習：講義内容をテキスト等で振り返る (30分) 8 次世代育成支援と地域との連携・協働 予習：テキストCh.7を通読しておくこと (30分) 復習：講義内容をテキスト等で振り返る (30分) 9 子ども虐待とドメスティックバイオレンス 予習：テキストCh.8を通読しておくこと (30分) 復習：講義内容をテキスト等で振り返る (30分) 10 少年の非行 予習：テキストCh.9を通読しておくこと (30分) 復習：講義内容をテキスト等で振り返る (30分) 11 障害のある子どもへの対応 予習：テキストCh.10を通読しておくこと (30分) 復習：講義内容をテキスト等で振り返る (30分) 12 子どもの権利と福祉 予習：テキストCh.11を通読しておくこと (30分) 復習：講義内容をテキスト等で振り返る (30分)
------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

	13 14 15	少子化と子育て支援 予習：テキストCh. 12を通読しておくこと（30分） 復習：講義内容をテキスト等で振り返る（30分） 多様な保育ニーズへの対応 予習：テキストCh. 13、14を通読しておくこと（30分） 復習：講義内容をテキスト等で振り返る（30分） 諸外国の動向 予習：テキストCh. 15を通読しておくこと（30分） 復習：講義内容をテキスト等で振り返る（30分）
学修に関する留意事項		予習：テキストに目を通し、わからない用語等があれば調べておくこと。新聞やTV等で紹介される事例を積極的に収集しておくこと。 復習：講義で学んだ内容をもとに、自身の問題関心や身近な事例に引きつけながら、具体的にイメージし、理解を深めることができるように努めること。
試験やレポート等の課題のフィードバック方法		小テストは授業内で解説を実施する。
成績評価方法・基準		定期試験（到達目標1. 2. 3. 4. 5）60% 小テスト（到達目標2. 3. 4. 5）30% 提出物等（到達目標2. 3. 4）10%
書名①		こどもまんなか福祉論
著者名①		新沼英明編集
出版社①		中央法規出版
書名②		
著者名②		
出版社②		
書名③		
著者名③		
出版社③		
参考文献		
参考URL		
特記事項		テキストは2024年8月発刊予定のため、後期に販売をおこなう。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1	2	選択
担当教員			
中野 智行			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
講義	子ども学科	1B2132	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員</p> <p>■科目に関連した実務経験のある教員が担当している</p> <p>科目に関連した実務内容</p> <p>アクティブラーニング要素</p> <p><input type="checkbox"/>ディスカッション、ディベート</p> <p><input type="checkbox"/>グループワーク</p> <p><input type="checkbox"/>プレゼンテーション</p> <p><input type="checkbox"/>実習、フィールドワーク</p>
テーマ	今年度から改正児童福祉法が施行され、内閣府子ども家庭庁として子ども大綱が出され、子ども子育ての中で、社会的養護の現状と課題を通して、制度政策の理解、権利擁護を学び、次年度の現場実習を控えて実践者に求められる視点や方法を身につけていきます。
到達目標	1. 「社会的養護とは何か」定義について理解します。2. 社会的養護の歴史、背景について理解します。3. 社会的養護の現状と課題について理解します。4. 社会的養護における児童の権利擁護及び自立支援等について理解します。5. 2年次の施設実習に向けて、施設現場を理解し、現場実践者としての意欲を高めます。
授業概要	社会的養護とは何か理解し、社会的養護がなぜ必要なのか、どうあるべきかを常に意識した学習ができるようにヒントを与え、学生の主体的な学びを促していきます。現場実践者にとって深い理解が求められる内容については、適宜視聴覚教材や現場見学等の機会を利用し理解を促し、それに対する課題を課します。
授業計画	<p>1 社会的養護とは何か (時間外学習：この講義のテキストP10-16について読んでおくこと 20分) (復習：講義の内容を振り返り、社会的養護は何かについてレポートにまとめる 30分)</p> <p>2 社会的養護の基本原則とその現状 (時間外学習：この講義のテキストP17-28について読んでおくこと 20分) (復習：講義の内容を振り返り、社会的養護の現状についてレポートにまとめる 30分)</p> <p>3 社会的養護の歴史①戦前の社会的養護の理解を深める。 (時間外学習：この講義のテキストP29-33について読んでおくこと 20分) (復習：講義の内容を振り返り、社会的養護の歴史についてレポートにまとめる 30分)</p> <p>4 社会的養護の歴史②第2次世界大戦後の社会的養護の理解を深める。 (時間外学習：この講義のテキストP34-42について読んでおくこと 20分) (復習：講義の内容を振り返り、社会的養護の歴史についてレポートにまとめる 30分)</p> <p>5 子どもの権利擁護 (時間外学習：この講義のテキストP43-57について読んでおくこと 20分) (復習：講義の内容を振り返り、社会的養護における子どもの権利擁護についてレポートにまとめる 30分)</p> <p>6 社会的養護の体系と実践 次年度の施設実習先を選択するにあたり、児童福祉施設の紹介並びに説明を行う。施設養護① (時間外学習：この講義のテキストP58-71について読んでおくこと 20分) (復習：講義の内容を振り返り、社会的養護の体系とそこで行われている実践についてレポートにまとめる 30分)</p> <p>7 社会的養護の領域と概要 次年度の施設実習先を選択するにあたり、児童福祉施設の紹介並びに説明を行う。施設養護② (時間外学習：この講義のテキストP58-71について読んでおくこと 20分) (復習：講義の内容を振り返り、社会的養護の体系とそこで行われている実践についてレポートにまとめる 30分)</p> <p>8 社会的養護の領域と概要 次年度の施設実習先を選択するにあたり、児童福祉施設の紹介並びに説明を行う。施設養護③ (時間外学習：この講義のテキストP72-84について読んでおくこと 20分) (復習：講義の内容を振り返り、社会的養護の体系とそこで行われている実践についてレポートにまとめる 30分)</p> <p>9 社会的養護の領域と概要施設養護④ (時間外学習：この講義のテキストP85-115について読んでおくこと 20分) (復習：講義の内容を振り返り、社会的養護の体系とそこで行われている実践についてレポートにまとめる 30分)</p> <p>10 社会的養護の領域と概要家庭養護 視聴覚資料を活用し、特別養子縁組の映像を視聴します。 (時間外学習：この講義のテキストP116-129について読んでおくこと 20分) (復習：講義の内容を振り返り、里親やファミリーホーム、特別養子縁組についてレポートにまとめる 30分)</p> <p>11 社会的養護の領域と概要障害児の支援 (時間外学習：この講義のテキストP130-143について読んでおくこと 20分) (復習：講義の内容を振り返り、障害児の支援についてレポートにまとめる 30分)</p>

	12	社会的養護に関わる専門職・専門機関と倫理 演習として社会的養護の理解について効果測定の実施 (時間外学習：この講義のテキストP144-160について読んでおくこと 20分) (復習：講義の内容を振り返り、社会的養護に関わる各専門職の役割・機能と多職種連携についてレポートにまとめる 30分)
	13	社会的養護とソーシャルワーク 演習として社会的養護の理解について効果測定の実施 (時間外学習：この講義のテキストP161-178について読んでおくこと 20分) (復習：講義の内容を振り返り、現場実践の視線と方法についてレポートにまとめる 30分)
	14	施設の運営管理 演習として社会的養護の理解について効果測定の実施 (時間外学習：この講義のテキストP179-187について読んでおくこと 20分) (復習：講義の内容を振り返り、現場実践の視線と方法についてレポートにまとめる 30分)
	15	社会的養護総括 (予習：これまでの学びを総合的にテキストを読んでおくこと 60分) (復習：学んだことを整理し、今後の実習と次年度の学びにつなぐようにしておく 60分)
学修に関する留意事項	次年度に実施される児童福祉施設での実習に向けて、授業で学んだ施設の現状、実情をイメージ作りするために、実際に自分が希望する実習先施設の見学やボランティア活動等を通して、社会的養護について考える機会を持っていただきます。 毎月第2土曜日に開催の子ども食堂や第4日曜日に開催の子どもの居場所作り活動(朝ごはん食堂)においてのボランティア活動や施設見学の機会等を活用し、社会的養護の施設へ足を運び、利用者や高田短大卒業生である職員と交流することで社会的養護の理解をより深めていただけるといいと考えています。	
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	定期テストの際にはテキスト、資料等の持ち込みを許可します。社会的養護について思い、考え等を問うため、授業中にGoogleフォームを使ったワークを行います。社会的養護に関する映像資料の視聴を行いますので、感想など文章に記録しておくことをおすすめします。	
成績評価方法・基準	定期試験(到達目標2, 3, 4, 5)80% レポート(到達目標1)20%	
書名①	『社会的養護 I』	
著者名①	著) 喜多一憲監修・堀場純矢編集	
出版社①	出) みらい	
書名②		
著者名②		
出版社②		
書名③		
著者名③		
出版社③		
参考文献		
参考URL	https://www.cfa.go.jp/top/ 社会的養護 こども家庭庁 (cfa.go.jp) 各都道府県等の取組状況 (cfa.go.jp) 資料集「社会的養育の推進にむけて(令和5年12月)」 (cfa.go.jp) 三重県 子ども・思春期：児童虐待の防止 (mie.lg.jp) 三重県 少子化対策：希望がかなうみえ 子どもスマイルプラン (mie.lg.jp)	
特記事項	平成6年から現在も児童養護施設に職員として勤務しております。社会的養護の現場を学生へ伝え、ボランティア活動や施設見学等の機会を授業で案内します。 定期テストの際はテキストを使用しますので、授業時に書き込んでください。 大講義室は非常に私語が起きやすい環境です。映像を視聴中に他の生徒さんの迷惑にならない様に注意ください。 座席は指定席になっていますので、勝手に場所を交換して私語をすることのないようにお願いします。	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1	2	選択
担当教員			
長倉 里加、別所 慎介			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
講義	子ども学科	1B2113	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員</p> <p>■科目に関連した実務経験のある教員が担当している</p> <p>科目に関連した実務内容</p> <p>保育士として現在も乳幼児保育を実施している。また助産師、看護師として乳児の健全な成長発達に向けた援助を実施していた。</p> <p>アクティブラーニング要素</p> <p><input type="checkbox"/>ディスカッション、ディベート</p> <p><input type="checkbox"/>グループワーク</p> <p><input type="checkbox"/>プレゼンテーション</p> <p><input type="checkbox"/>実習、フィールドワーク</p>
------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	乳児の成長発達や生活の連続性に配慮した乳児保育
到達目標	1. 乳児保育の意義・目的・役割等について述べられる2. 多様な保育の場における乳児保育の現状と課題が述べられる3. 発達をふまえた保育内容と運営体制が述べられる4. 乳児保育における連携・協働及び保護者や地域との連携について述べられる
授業概要	乳児保育の意義・目的を理解し、多様な保育の場における乳児保育の現状と制度と課題を学習する。また、3歳未満児の発育・発達をふまえた保育の内容や方法を学ぶ。
授業計画	<p>1 乳児保育の意義子どもにとっての乳児保育とはについて考える (時間外学習) 教科書第1章を読む 30分</p> <p>2 社会における乳児保育の役割乳児保育の歴史的歩みとこれからの役割を学ぶ (時間外学習) 教科書第2章を読む 30分</p> <p>3 乳児保育が行われる場家庭以外の様々な場における保育を学ぶ (時間外学習) 教科書第3章を読む 30分</p> <p>4 健康・安全管理ー子どもの生命を守り健康を育むために健康面の配慮と具体的な対応方法を学ぶ (時間外学習) 教科書第7章を読む 30分</p> <p>5 健康・安全管理ー子どもの生命を守り健康を育むために安全面の配慮と具体的な対応方法を学ぶ (時間外学習) 教科書第7章を読む 30分</p> <p>6 健康・安全管理ー子どもの生命を守り健康を育むために配慮を必要とする子どもへの対応を学ぶ (時間外学習) 教科書第7章を読む 30分</p> <p>7 乳児保育の今後の課題現在の乳児保育をふまえ、今後の課題をグループでディスカッションする (時間外学習) 教科書第9章を読む 30分</p> <p>8 0歳児の発達と保育発達の特徴と保育の実際について学ぶ (時間外学習) 教科書第4章を読む 30分</p> <p>9 0歳児の発達と保育発達の特徴と保育の実際について学ぶ (時間外学習) 教科書第10～12章の0歳児に関連した部分を読む 30分</p> <p>10 1歳児の発達と保育発達の特徴と保育の実際について学ぶ (時間外学習) 教科書第5章を読む 30分</p> <p>11 1歳児の発達と保育発達の特徴と保育の実際について学ぶ (時間外学習) 教科書第10～12章の1歳児に関連した部分を読む 30分</p> <p>12 2歳児の発達と保育発達の特徴と保育の実際について学ぶ (時間外学習) 教科書第6章を読む 30分</p> <p>13 2歳児の発達と保育発達の特徴と保育の実際について学ぶ (時間外学習) 教科書第10～12章の2歳児に関連した部分を読む 30分</p> <p>14 乳児保育を支える保育の計画全体的な計画・指導計画作成の基本について学ぶ (時間外学習) 教科書第16章を読む 30分</p> <p>15 乳児保育に求められる連携・協力ー多面的な協力・連携職員間・保護者・地域緒機関との連携・協力について学ぶ (時間外学習) 教科書第8章を読む 30分</p>

学修に関する留意事項	ニュースや新聞等に積極的に触れ、乳児または保護者を取り巻く環境の変化や現在問題となっていることは何かを積極的に考えてみてください。
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	
成績評価方法・基準	試験(到達目標1・2・3) 80% レポート(到達目標1) 20%
書名①	健やかな育ちを支える乳児保育Ⅰ・Ⅱ
著者名①	高内正子・豊田和子・梶美保
出版社①	建帛社
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	その都度紹介します
参考URL	
特記事項	助産師・看護師として実務経験のある教員が、そこでの知識や技術を活かし、乳児の成長・発達の特徴と発達段階に合わせた支援について講義をする。現保育士として実務経験のある教員が、現場での技術・経験を活かし、乳児の成長・発達の特徴と発達段階に合わせた支援について講義をする。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1	2	選択
担当教員			
仲森 みどり			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
演習	子ども学科	1B2221	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員</p> <p><input type="checkbox"/> 科目に関連した実務経験のある教員が担当している</p> <p>科目に関連した実務内容</p> <p>アクティブラーニング要素</p> <p><input type="checkbox"/> ディスカッション、ディベート</p> <p><input type="checkbox"/> グループワーク</p> <p><input type="checkbox"/> プレゼンテーション</p> <p><input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク</p>
テーマ	保育場面における子どもの育ちや学びの姿を理解する意義や考え方を学び、保育者の援助のあり方について考える。
到達目標	1. 保育実践において、実態に応じた子ども一人一人の心身の発達や学びを把握することの意義について理解する。2. 子どもの体験や学びの過程において子どもを理解する上での基本的な考え方を理解する。3. 子どもを理解するための具体的な方法を理解する。4. 子どもの理解に基づく保育士の援助や態度の基本について理解する。
授業概要	本科目では、保育の心理学における学習内容を前提に、保育の場における子どもの育ちや学びを捉えて援助する保育者のあり方について理解・考察する。子どもを理解するとはどういうことか、それが保育者の援助にどのように関わるのか、そのために必要な保育者の活動等について、事例や課題を用いながら学んでいく。
授業計画	<p>1 オリエンテーション子どもの実態に応じた発達や学びの把握(1)保育における子ども理解の意義 〈時間外学習〉テキスト第1章の予習と復習 (30分)</p> <p>2 子どもの実態に応じた発達や学びの把握(2)子どもの理解に基づく養護と教育の一体的展開 〈時間外学習〉テキスト第1章の予習と復習 (30分)</p> <p>3 子どもの実態に応じた発達や学びの把握(3)子どもに対する共感的理解と保育 〈時間外学習〉テキスト第1章の予習と復習 (30分)</p> <p>4 子どもを理解する視点(1)子どもの生活と遊び 〈時間外学習〉テキスト第2章の予習と復習 (30分)</p> <p>5 子どもを理解する視点(2)人的環境としての保育者と子どもの発達 〈時間外学習〉テキスト第2章の予習と復習 (30分)</p> <p>6 子どもを理解する視点(3)子どもの集団での育ち 〈時間外学習〉テキスト第2章の予習と復習 (30分)</p> <p>7 子どもを理解する視点(4)葛藤やつまずき 〈時間外学習〉テキスト第2章の予習と復習 (30分)</p> <p>8 子どもを理解する視点(5)保育の環境の理解と構成 〈時間外学習〉テキスト第2章の予習と復習 (30分)</p> <p>9 子どもを理解する視点(6)環境の変化や移行 〈時間外学習〉テキスト第2章の予習と復習 (30分)</p> <p>10 子どもを理解する方法(1)子どもを理解するための観察・記録・省察・評価 〈時間外学習〉テキスト第3章の予習と復習 (30分)</p> <p>11 子どもを理解する方法(2)職員間の対話 〈時間外学習〉テキスト第3章の予習と復習 (30分)</p> <p>12 子どもを理解する方法(3)保護者との情報共有 〈時間外学習〉テキスト第3章の予習と復習 (30分)</p> <p>13 子どもの理解に基づく発達援助(1)発達の課題に応じた援助と関わり 〈時間外学習〉テキスト第4章の予習と復習 (30分)</p> <p>14 子どもの理解に基づく発達援助(2)特別な配慮を要する子どもの理解と援助 〈時間外学習〉テキスト第4章の予習と復習 (30分)</p> <p>15 総括子どもの理解に基づく発達援助(3)発達の連続性と就学への支援 〈時間外学習〉テキスト第4章の予習と復習 (30分)</p>

学修に関する留意事項	予習としてテキスト各章を読んで課題（指定の各章ワーク）に取り組み（15分）、復習として授業内容を整理しておくこと（15分）。随時、課題や小テストを実施する（次回の授業内でフィードバックする）。成績は定期試験に加えて、課題や小テストへの取り組みや、授業への積極的な参画姿勢（グループワークを含む）を評価する。
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	
成績評価方法・基準	定期試験（おもに到達目標1～3）50% 課題レポート・小テスト（到達目標1～4）30% 授業への参加度（おもに到達目標4）20%
書名①	子どもの理解と援助 演習ブック
著者名①	松本峰雄（監修）
出版社①	ミネルヴァ書房
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	
参考URL	
特記事項	毎回出席が基本です。教科書を持参し真摯な姿勢で能動的に授業へ臨むこと。遅刻欠席は理解の妨げとなるので慎むこと。私語や途中入退室等による迷惑行為を厳禁とします。実務経験として、保育園にて保育士、母子生活支援施設にて母子支援員、児童相談所にて療育手帳に関わる心理判定員の経験があります。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1	2	選択
担当教員			
長倉 里加			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
演習	子ども学科	1B2214	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員</p> <p>■科目に関連した実務経験のある教員が担当している</p> <p>科目に関連した実務内容</p> <p>助産師、看護師として子どもの健康と安全を守るための医療活動を行っていた。</p> <p>アクティブラーニング要素</p> <p><input type="checkbox"/>ディスカッション、ディベート</p> <p>■グループワーク</p> <p><input type="checkbox"/>プレゼンテーション</p> <p><input type="checkbox"/>実習、フィールドワーク</p>
------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	子どもの健康や安全を守るための保健活動
到達目標	1. 衛生管理、事故防止、安全対策、危機管理について具体的にわかる。2. 異常症状・緊急時の対応方法について述べる事が出来る3. 関連するガイドラインをふまえて保育における感染症対策について述べる事が出来る
授業概要	子どもの成長発達を促す健康支援や安全を守るための方法、保健活を考える。また、子どもの健康問題や異常症状、緊急時の適切な対応方法の実際について学ぶ。
授業計画	<p>1 子どもの健康と保育保育者の手洗いについて実践し、感染予防について考える 〈時間外学習〉自分の手洗い方法や時間、実施時期について振り返りを記録する 30分</p> <p>2 子どもの健康支援の実際日々の健康観察、養護について学び、留意点についてディスカッションする 〈時間外学習〉養護の方法について実技練習する 60分</p> <p>3 子どもの健康支援の実際身体測定と発達状態の把握方法を学び、留意点についてディスカッションする。 〈時間外学習〉身体測定の結果をふまえて発育状態を評価する 60分</p> <p>4 子どもの健康支援の実際生理機能の測定と異常の早期発見の方法を学び、留意点についてディスカッションする。 〈時間外学習〉生理機能の測定の実技練習をする 60分</p> <p>5 子どもの健康支援の実際保健計画の作成と医務室等の整備について学ぶ 〈時間外学習〉保健計画を立てる 60分</p> <p>6 子どもの体調不良等に対する適切な対応症状別対応方法について具体的に学ぶ 〈時間外学習〉教科書第11章を読む 30分</p> <p>7 子どもの体調不良等に対する適切な対応応急手当の方法について学ぶ 〈時間外学習〉教科書第12章を読む 30分</p> <p>8 子どもの体調不良等に対する適切な対応救急処置、心配蘇生法、エピペン等について学び、それぞれの役割についてディスカッションする 〈時間外学習〉保育所におけるアレルギー対応ガイドラインを読む 60分</p> <p>9 環境及び衛生管理の実際保育室の衛生管理、感染症発生時と罹患後の対応 〈時間外学習〉2018年改訂版 保育所における感染症対策ガイドラインを読む 60分</p> <p>10 事故防止及び安全対策の実際保育施設における事故の実態を学び、どのような対策が必要か考える 〈時間外学習〉教育・保育施設等における事故防止及び事故発生時の対応のためのガイドラインを読む 60分</p> <p>11 事故防止及び安全対策の実際事故発生時の対応方法について考える 〈時間外学習〉子どもの発達段階と起こりやすい事故についてまとめる 60分</p> <p>12 災害への備えの実際平常時の対応と非常災害時の対応をシュミレーションする 〈時間外学習〉災害時に想定される問題について考える 60分</p> <p>13 保育における保健的対応保健的対応の基本、薬の使い方について学ぶ 〈時間外学習〉教科書第11章を読む 30分</p> <p>14 保育における保健的対応個別的な配慮を要する子どもへの対応：慢性疾患、アレルギー等について学ぶ 〈時間外学習〉生活指導表について調べる 30分</p>

	15	健康安全の実施体制職員間の連携・協働について学ぶ 〈時間外学習〉教科書第15章を読む 30分
学修に関する留意事項	授業内容により服装や持ち物が異なります。連絡事項を確認し、忘れ物がないように授業に臨んでください。	
試験やレポート等の課題のフィードバック方法		
成績評価方法・基準	試験【到達目標2・3】50% 授業に対する取り組み【到達目標1】50%	
書名①	保育の場で生きる 子どもの健康と安全	
著者名①	著) 高内正子	
出版社①	建帛社	
書名②		
著者名②		
出版社②		
書名③		
著者名③		
出版社③		
参考文献		
参考URL		
特記事項	子どもの健康や安全を守ることは基本的なことです。確かな知識と技術を身につけられるように努力しましょう。積極的な取り組みを期待しています。助産師・看護師としての実務経験のある教員が、そこでの知識や技術を活かし、衛生管理、危機管理、安全対策など基本的な技術について実践を通して原理原則について講義をする。	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1	2	選択
担当教員			
生川 美江			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
演習	子ども学科	1B2211	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員</p> <p>■科目に関連した実務経験のある教員が担当している</p> <p>科目に関連した実務内容</p> <p>保健センターにおいて乳幼児対象の栄養相談、離乳食実習などを担当していました。現在は、特定非営利活動法人に所属し、栄養相談に従事するとともに、市の設置する「子ども子育て応援センター」において離乳食講座、幼児食講座を担当しています。</p> <p>アクティブラーニング要素</p> <p>■ディスカッション、ディベート</p> <p>■グループワーク</p> <p>■プレゼンテーション</p> <p>■実習、フィールドワーク</p>
テーマ	子どもの食と栄養Ⅰにおいて学んだ栄養・食生活の重要性をふまえ、子どもたちに対して食育を行う必要性を理解する。その上で児童福祉施設や幼児教育の現場において食育を実践できるよう、演習・実習を通して経験を積む。
到達目標	<p>1. 児童福祉施設における食事の重要性を理解し、適切な食教育ができると同時に保護者からの相談に対応できる</p> <p>2. 食育の必要性を理解し、食育活動を通じて子どもに主体的な経験を積ませることができる</p>
授業概要	児童養護施設における給食のあり方や栄養管理について学ぶと同時に食育の必要性を理解できるよう講義を行う。また、食育の実践力を養うために調理実習・教材製作などの演習を行う。
授業計画	<p>1 オリエンテーション 特別な配慮を要する子どもの食と栄養 (時間外学習) テキスト第11章を読んでおく (20分)、事前に配布する資料を予習する (20分)</p> <p>2 児童福祉施設における食事と栄養 (時間外学習) テキスト第10章を読んでおく (20分)、事前に配布する資料を予習する (20分)、「保育所における食事の提供ガイドライン」に目を通しておく (20分)</p> <p>3 食品表示・アレルギー表示に関する演習 (時間外学習) 食品表示・アレルギー表示に関する情報収集を行う (30分)、アレルギー表示に関する課題を行う (30分)</p> <p>4 食育の必要性と基本 (時間外学習) テキスト第9章を読んでおく (20分)、事前に配布する資料を予習する (20分)、「食育の推進」(農林水産省)に目を通しておく (20分)</p> <p>5 食育の具体的な進め方、食育指導案の作成 (時間外学習) 事前に配布する資料を予習する (20分)、食育指導案を完成させる (30分)、箸の持ち方について情報を収集する (30分)</p> <p>6 炊飯と食事のマナー(箸と茶碗の持ち方)に関する実習および指導案の作成 (時間外学習) 実習献立を作成する (30分)、食育指導案を完成させる (30分)、実習レポートを作成する (20分)</p> <p>7 季節の行事と親子調理に関する調理実習(お月見団子) (時間外学習) 実習に関する配布資料を読んでおく (20分)、校外実習を通じて安全な食べ物の硬さと大きさに関する情報を収集する (30分)、実習レポートを作成する (20分)</p> <p>8 季節の行事に関するグループワーク(お月見)食育指導案の作成 (時間外学習) 食育教材についての資料収集を行う (30分)、食育指導案を完成させる (30分) *各自、パソコンを持参する</p> <p>9 食育だよりの作成に関するグループワーク 食育だよりの企画 (時間外学習) 食育だよりに関する資料収集を行う (60分)、企画書を作成する (30分) *各自、パソコンを持参する</p> <p>10 食育だよりの作成に関するグループワーク 食育だよりの作成 (時間外学習) 発表の準備を行う (30分) *各自、パソコンを持参する</p> <p>11 食育だよりの発表とまとめ (時間外学習) 発表に関するレポートの作成 (30分)</p> <p>12 栽培活動と調理活動に関するグループワーク 食育活動の企画・食育指導案の作成 (時間外学習) 栽培活動・調理活動に関する資料収集を行う (30分)、食育指導案を完成させる (30分)</p> <p>13 調理活動に関する実習(おにまんじゅう)</p>

	<p>(時間外学習) 栽培活動・調理活動に関する教材の素材を収集する (60分)</p> <p>14 栽培活動と調理活動に関するグループワーク 栽培活動と調理活動に関する食育教材の製作 (時間外学習) 教材を完成させる (60分)、発表の準備をする (30分)</p> <p>15 食育活動報告・発表会 (時間外学習) 食育教材製作および発表会に関するレポートの作成 (30分)</p>
学修に関する留意事項	講義にはスライドを用いる。印刷用の資料を授業支援システム (AAA) を通じて一週間前までに配布するので必ず事前に印刷し、予習して授業に臨むこと。実習の際は原則前週に資料を配布するので、予習をして実習に臨むこと。演習・演習の結果と考察は、必ず所定のレポート用紙に記入して提出する。期限内に提出されたものについて配点する。
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	レポートについて、コメントを記入すると同時に返却時に講評する。
成績評価方法・基準	課題への取り組み・レポート (到達目標1, 2) 30% グループワークへの取り組み・レポート (到達目標1, 2) 70%
書名①	子どもの食と栄養第2版 保育現場で活かせる食の基本
著者名①	太田百合子 堤ちはる 編著
出版社①	羊土社
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	食育まるわかりサポート&素材データブック 出) 学研 著) 太田百合子、岡本依子
参考URL	https://www.cfa.go.jp/assets/contents/node/basic_page/field_ref_resources/c0c9f346-2374-4cb8-9b27-b7dfe26d58d0/b4eb23f8/20231013-policies-hoiku-shokuji-h24-bunkatsu-shokujiguide1_1.pdf (保育所における食事の提供ガイドライン 厚生労働省) https://www.cfa.go.jp/assets/contents/node/basic_page/field_ref_resources/03f45df9-97e1-4016-b0c3-8496712699a3/39b6fd36/20230607_policies_child-safety_effort_guideline_02.pdf (教育・保育施設等における事故防止及び事故発生時の対応のためのガイドライン こども家庭庁) https://www.maff.go.jp/j/syokuiku/ (食育の推進 農林水産省) https://www.mhlw.go.jp/shingi/2007/06/d1/s0604-2k.pdf (楽しく食べる子どもに～保育所における食育に関する指針～ 厚生労働省)
特記事項	成績評価は、演習・実習の出欠状況と提出物の提出状況を重視します。グループ学習が多いので、遅刻・欠席のないよう特に注意すること。欠席した場合は演習・実習の配点より減点します。無届で欠席した場合は、減点が大きくなります。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1	1	選択
担当教員			
榊原 尉津子			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
演習	子ども学科	1C2205	
添付ファイル			

授業種類	授業担当教員 <input type="checkbox"/> 科目に関連した実務経験のある教員が担当している 科目に関連した実務内容 アクティブラーニング要素 <input type="checkbox"/> ディスカッション、ディベート <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク																																							
テーマ	保育内容の領域を踏まえた子どもの健康づくり																																							
到達目標	(1) 領域「健康」を中心に、5領域のねらい及び内容を理解している。 (2) 小学校教育に繋がる健康をテーマにした教材研究と制作ができる。 (3) 研究発表やグループワークにおいて主体的に取り組むことができ、領域「健康」を中心に領域を活かした保育指導ができる。																																							
授業概要	領域「健康」を中心に5領域のねらい及び内容を理解したうえで、小学校教育に繋げるための子どもの健康をテーマにした教材研究と教材づくりを行う。また、心身ともに健康な生活を送るために、保育・教育現場で子どもと楽しみながら取り組める運動・表現遊びの体験をとおして、保育指導・援助法について知識と指導方法を習得する。																																							
授業計画	<table border="0"> <tr> <td>1</td> <td>授業内容：オリエンテーション・アイスブレイク 時間外学習：事前にシラバスを読み、授業内容について確認しておく。(30分程度)</td> <td>・保育内容ー健康と他の領域との関係について確認する。</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>授業内容：保育現場での運動・表現遊びを学ぶ① 時間外学習：①パソコンやタブレット等の操作に慣れておく。子どもの遊びや歌に関連する情報収集。(1時間程度)</td> <td>・ICT、フィールドワーク等による調査方法を学ぶ</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>授業内容：保育現場での運動・表現遊びを学ぶ② 時間外学習：子どもの遊びや歌に関連する情報収集。(30分)</td> <td>・グループワークの取り組みについて</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>授業内容：保育現場での運動・表現遊びを学ぶ③ 時間外学習：調査まとめ(1時間程度)</td> <td>・調査まとめ(PowerPointの活用)</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>授業内容：保育現場での運動・表現遊びを学ぶ④ 時間外学習：発表用に資料をまとめておく。(1時間程度)</td> <td>・プレゼンテーション-1</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>授業内容：保育現場での運動・表現遊びを学ぶ⑤ 時間外学習：発表用に資料をまとめておく。(1時間程度)</td> <td>・プレゼンテーション-2</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>授業内容：運動・表現遊び① 子どもと楽しむ遊び体験 時間外学習：子どもの遊びに関連する情報収集。(30分)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>授業内容：運動・表現遊び② 創作・指導案作成 時間外学習：作品紹介を授業支援システムへ書き込む。(1時間程度)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>授業内容：運動・表現遊び③ 創作(動画撮影) 時間外学習：空き時間を利用して練習をしておく。(1時間程度)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>授業内容：運動・表現遊び③ リハーサル(動画撮影)・創作 時間外学習：空き時間を利用して練習をしておく。(1時間程度)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>授業内容：運動・表現遊び④ 発表(動画撮影)・指導案提出 時間外学習：空き時間を利用して練習をしておく。(1時間程度)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>授業内容：小学校教育に繋がたい「健康」をテーマにした教材研究と制作① 時間外学習：空き時間を利用して保育関連雑誌やインターネット等を利用して情報収集をしておく。(1時間程度)</td> <td>・作品は冊子「Game Book」にまとめる。</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>授業内容：小学校教育に繋がたい「健康」をテーマにした教材研究と制作② 時間外学習：空き時間を利用して保育関連雑誌やインターネット等を利用して情報収集をしておく。</td> <td>・作品制作と冊子の原稿執筆</td> </tr> </table>	1	授業内容：オリエンテーション・アイスブレイク 時間外学習：事前にシラバスを読み、授業内容について確認しておく。(30分程度)	・保育内容ー健康と他の領域との関係について確認する。	2	授業内容：保育現場での運動・表現遊びを学ぶ① 時間外学習：①パソコンやタブレット等の操作に慣れておく。子どもの遊びや歌に関連する情報収集。(1時間程度)	・ICT、フィールドワーク等による調査方法を学ぶ	3	授業内容：保育現場での運動・表現遊びを学ぶ② 時間外学習：子どもの遊びや歌に関連する情報収集。(30分)	・グループワークの取り組みについて	4	授業内容：保育現場での運動・表現遊びを学ぶ③ 時間外学習：調査まとめ(1時間程度)	・調査まとめ(PowerPointの活用)	5	授業内容：保育現場での運動・表現遊びを学ぶ④ 時間外学習：発表用に資料をまとめておく。(1時間程度)	・プレゼンテーション-1	6	授業内容：保育現場での運動・表現遊びを学ぶ⑤ 時間外学習：発表用に資料をまとめておく。(1時間程度)	・プレゼンテーション-2	7	授業内容：運動・表現遊び① 子どもと楽しむ遊び体験 時間外学習：子どもの遊びに関連する情報収集。(30分)		8	授業内容：運動・表現遊び② 創作・指導案作成 時間外学習：作品紹介を授業支援システムへ書き込む。(1時間程度)		9	授業内容：運動・表現遊び③ 創作(動画撮影) 時間外学習：空き時間を利用して練習をしておく。(1時間程度)		10	授業内容：運動・表現遊び③ リハーサル(動画撮影)・創作 時間外学習：空き時間を利用して練習をしておく。(1時間程度)		11	授業内容：運動・表現遊び④ 発表(動画撮影)・指導案提出 時間外学習：空き時間を利用して練習をしておく。(1時間程度)		12	授業内容：小学校教育に繋がたい「健康」をテーマにした教材研究と制作① 時間外学習：空き時間を利用して保育関連雑誌やインターネット等を利用して情報収集をしておく。(1時間程度)	・作品は冊子「Game Book」にまとめる。	13	授業内容：小学校教育に繋がたい「健康」をテーマにした教材研究と制作② 時間外学習：空き時間を利用して保育関連雑誌やインターネット等を利用して情報収集をしておく。	・作品制作と冊子の原稿執筆
1	授業内容：オリエンテーション・アイスブレイク 時間外学習：事前にシラバスを読み、授業内容について確認しておく。(30分程度)	・保育内容ー健康と他の領域との関係について確認する。																																						
2	授業内容：保育現場での運動・表現遊びを学ぶ① 時間外学習：①パソコンやタブレット等の操作に慣れておく。子どもの遊びや歌に関連する情報収集。(1時間程度)	・ICT、フィールドワーク等による調査方法を学ぶ																																						
3	授業内容：保育現場での運動・表現遊びを学ぶ② 時間外学習：子どもの遊びや歌に関連する情報収集。(30分)	・グループワークの取り組みについて																																						
4	授業内容：保育現場での運動・表現遊びを学ぶ③ 時間外学習：調査まとめ(1時間程度)	・調査まとめ(PowerPointの活用)																																						
5	授業内容：保育現場での運動・表現遊びを学ぶ④ 時間外学習：発表用に資料をまとめておく。(1時間程度)	・プレゼンテーション-1																																						
6	授業内容：保育現場での運動・表現遊びを学ぶ⑤ 時間外学習：発表用に資料をまとめておく。(1時間程度)	・プレゼンテーション-2																																						
7	授業内容：運動・表現遊び① 子どもと楽しむ遊び体験 時間外学習：子どもの遊びに関連する情報収集。(30分)																																							
8	授業内容：運動・表現遊び② 創作・指導案作成 時間外学習：作品紹介を授業支援システムへ書き込む。(1時間程度)																																							
9	授業内容：運動・表現遊び③ 創作(動画撮影) 時間外学習：空き時間を利用して練習をしておく。(1時間程度)																																							
10	授業内容：運動・表現遊び③ リハーサル(動画撮影)・創作 時間外学習：空き時間を利用して練習をしておく。(1時間程度)																																							
11	授業内容：運動・表現遊び④ 発表(動画撮影)・指導案提出 時間外学習：空き時間を利用して練習をしておく。(1時間程度)																																							
12	授業内容：小学校教育に繋がたい「健康」をテーマにした教材研究と制作① 時間外学習：空き時間を利用して保育関連雑誌やインターネット等を利用して情報収集をしておく。(1時間程度)	・作品は冊子「Game Book」にまとめる。																																						
13	授業内容：小学校教育に繋がたい「健康」をテーマにした教材研究と制作② 時間外学習：空き時間を利用して保育関連雑誌やインターネット等を利用して情報収集をしておく。	・作品制作と冊子の原稿執筆																																						

	<p>く。(1時間程度)</p> <p>14 授業内容：小学校教育に繋がたい「健康」をテーマにした教材研究と制作③ ・作品制作と冊子の原稿執筆</p> <p>時間外学習：空き時間を利用して保育関連雑誌やインターネット等を利用して情報収集をしておく。(1時間程度)</p> <p>15 授業内容：「Game Book」完成 (Google classroom配信) と振り返り、授業まとめ ・1～14回の授業を振り返り、学びや気づき、反省などを話し合う。</p> <p>時間外学習：授業を振り返り、自身の学びや気づき、反省をまとめておく。(30分程度)</p>
学修に関する留意事項	<p>【評価について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎時間授業終了後に提出する「学びの記録」や「授業振り返りシート」など提出物を重視する。また「あそびのノート」への記録状況を評価に含む。 ・遊び体験や創作活動、グループワークにおいては、積極的な取り組みを評価する。 ・AAAまたはGoogle classroomへの課題の提出状況(記載内容等)を評価に含む。
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	<ul style="list-style-type: none"> ・Google classroom、学びの記録へコメントを付して返却する。
成績評価方法・基準	<p>(1) 学びの記録(到達目標1.2) 30%</p> <p>(2) 課題への取り組み(到達目標2.3) 30%</p> <p>(3) 小レポート、授業支援システムへの書き込み(到達目標2.3) 20%</p> <p>(4) グループワーク(到達目標3) 20%</p>
書名①	アイデア満載 教育・保育実習サポートレシピ
著者名①	杉山佳菜子
出版社①	福村出版
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年告示 幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領(原本) ・購入のテキスト以外に必要なに応じて資料を配付する。
参考URL	
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・欠席した時は、担当教員に欠席回の授業内容や課題等について受講生自らが確認すること。 ・15回の学びが無い場合は、目標達成とは認めません。到達目標が100%となるよう努力すること。 ・遅刻、欠席の扱いについては、授業開始時刻から20分までを遅刻とし、それ以降は欠席とする。 ・実技の時は、保育者として相応しい服装と態度で参加すること。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1	1	選択
担当教員			
伊藤 拓也			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
演習	子ども学科	1C2207	
添付ファイル			

授業種類	授業担当教員 <input type="checkbox"/> 科目に関連した実務経験のある教員が担当している 科目に関連した実務内容 アクティブラーニング要素 <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション、ディベート <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク
------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	保育内容領域「人間関係」に関する専門的事項について
到達目標	1. 領域「人間関係」の指導の基盤となる、乳幼児の人と関わる力の育ちに関する専門的事項についての知識を身に付ける。2. 乳幼児を取り巻く人間関係をめぐる現代的課題を理解し、子どもの人生を支える周囲と関わる力の発達について関係発達の視点から理解する。3. 事例検討等を通して、領域「人間関係」に基づく保育実践へつながる知見を深め、学習者自身の考えを表明することができる。
授業概要	子どもの健全な心身の発達において、子どもたちを取り巻く周囲の他者（家族、保育者、友だち、地域社会など）との良好な関係づくりは不可欠である。本授業では、子どもの周囲と関わる力の育ちを見守り、適切な指導・支援を行う上で必要となる知見や、領域「人間関係」に関連する事項について、視聴覚資料も活用しながら幅広く取り上げ、事例検討やプレゼンテーションを通して保育実践的理解を深めていく。
授業計画	1 子どもの人間関係における現代的課題と特徴 <時間外学習>受講前：テキスト第15章を読んでおく（30分）受講後：授業で学んだことを整理する（30分） 2 乳幼児期に育まれる資質能力と領域「人間関係」との関連 <時間外学習>受講前：テキスト第2章を読んでおく（30分）受講後：授業で学んだことを整理する（30分） 3 関係発達へつながる子どもの諸側面の育ち1（乳児期） <時間外学習>受講前：テキスト第3章を読んでおく（30分）受講後：授業で学んだことを整理する（30分） 4 関係発達へつながる子どもの諸側面の育ち2（3歳児） <時間外学習>受講前：テキスト第6章第1節を読んでおく（30分）受講後：授業で学んだことを整理する（30分） 5 関係発達へつながる子どもの諸側面の育ち3（4、5歳児） <時間外学習>受講前：テキスト第6章第2節を読んでおく（30分）受講後：授業で学んだことを整理する（30分） 6 子どもの道徳意識の芽生え（事例集団討議、発表、ワークシートの提出） <時間外学習>受講前：テキスト第7章を読み、自らの意見をまとめる（60分）受講後：授業で学んだことを整理する（30分） 7 子どもの規範意識・社会性の発達（事例集団討議、発表、ワークシートの提出） <時間外学習>受講前：「子どもの人間関係発達に関する気づき」についてのレポートを仕上げ、提出する（90分）受講後：授業で学んだことを整理する（30分） 8 子ども集団の特性とその指導について（事例集団討議、発表、ワークシートの提出） <時間外学習>受講前：テキスト第12章を読み、自らの意見をまとめる（60分）受講後：授業で学んだことを整理する（30分） 9 子どもの人間関係安定化へつながる保育者1—気持ちの受けとめについて（事例集団討議、発表、ワークシートの提出） <時間外学習>受講前：テキスト第10章を読み、自らの意見をまとめる（60分）受講後：授業で学んだことを整理する（30分） 10 子どもの人間関係安定化へつながる保育者2—育ちの評価について（事例集団討議、発表、ワークシートの提出） <時間外学習>受講前：テキスト第10章を再度読み、自らの意見の変化についてまとめる（60分）受講後：授業で学んだことを整理する（30分） 11 子どもの人間関係安定化へつながる保育者3—保育者間連携（事例集団討議、発表、ワークシートの提出） <時間外学習>受講前：テキスト第14章第3、4節を読み、自らの意見をまとめる（60分）受講後：授業で学んだことを整理する（30分） 12 概念の獲得、遊びの意味と子ども同士の人間関係（事例集団討議、発表、ワークシートの提出）

	<p>13 <時間外学習>受講前：テキスト第11章を読み、自らの意見をまとめる（60分）受講後：授業で学んだことを整理する（30分） 周囲の関係性がつくりにくい子ども（事例集団討議、発表、ワークシートの提出）</p> <p>14 <時間外学習>受講前：テキスト第13章を読み、自らの意見をまとめる（60分）受講後：授業で学んだことを整理する（30分） 育ちを支える家族関係への支援（事例集団討議、発表、ワークシートの提出）</p> <p>15 <時間外学習>受講前：テキスト第14章第1、2節を読み、自らの意見をまとめる（60分）受講後：授業で学んだことを整理する（30分） 子どもや保護者との関わりを深める—カウンセリング・マインドについて（事例集団討議、発表、ワークシートの提出） <時間外学習>受講前：カウンセリング・マインドについて調べる（30分）受講後：これまでの授業内容について整理する（90分）</p>
学修に関する留意事項	本授業は、成績に大きく関わる事例検討（主に集団討議・発表）の機会が多いです。そのため、より自発的で積極的な授業参加を求めます。また、他者との意見の違いを大切に、お互いの意見を尊重して授業に取り組みましょう。各回前後にテキストの関連箇所や配布資料を読み、学んだ知識や授業で感じたことの整理をして取り組んでください。
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	ワークシートの内容については授業内でのフィードバックを基本とし、必要に応じてコメントを付して返却する。レポートは全体の講評を授業内でフィードバックする。
成績評価方法・基準	ワークシート（到達目標1、3）55% レポート（到達目標2）15% 受講態度（発表貢献度などを含む）（到達目標1、2、3）30%
書名①	人間関係（新版 実践 保育内容シリーズ②）
著者名①	谷田貝公昭 監修、小櫃智子・谷口明子 編著
出版社①	一藝社
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	平成29年告示 幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領 原本 近喰晴子・小泉裕子編著（2023）．保育内容「人間関係」と指導法 考える・調べる・学び合う．中央法規．
参考URL	
特記事項	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1	1	選択
担当教員			
山本 敦子			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
演習	子ども学科	1C2209	
添付ファイル			

授業種類	授業担当教員 <input type="checkbox"/> 科目に関連した実務経験のある教員が担当している 科目に関連した実務内容 アクティブラーニング要素 <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション、ディベート <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input checked="" type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク
------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	領域「表現」の理解と展開に必要な知識・技能・表現力を、音楽との関わりから実践的に学ぶ。
到達目標	1. 子どもの表現の姿やその発達を音楽との関わりから理解する。 2. 音楽表現の基礎的な知識・技能を学び、感性を豊かにする。 3. 基礎的な知識技能を生かし、子どもの音楽表現活動に展開させることができる。
授業概要	領域「表現」に関して、本科目では音楽との関わりから子どもの表現の姿や発達及びそれを促す要因について理解する。 また子どもの感性や想像性を豊かに育むための音楽表現遊びや環境の構成などの専門的事項について、個人やグループでの体験・観察・分析をもとに修得する。
授業計画	1 オリエンテーション、体験による学び1 子どもの耳を育てるための遊び（サウンドマッピング）を体験しよう <時間外学修>学びの記録・プリントの記入（30分以上） 2 体験による学び2 子どもの耳を育てるための遊び（イメージドローイング）を体験しよう 子どもの創造性を育てるための遊びを体験しよう <時間外学修>学びの記録（20分以上） 3 音楽的発達からの学び1 子どもの耳を育てるための知識と方法を理解しよう <時間外学修>授業内容の振り返り（30分） 4 体験による学び3 子どもと文化との関わりを育てるための遊び（わらべうた）を体験しよう <時間外学修>学びの記録（20分以上） 5 体験による学び4 子どもの声を育てるための遊び（歌遊び）を体験しよう <時間外学修>学びの記録（20分以上） 6 音楽的発達からの学び2 子どもの声を育てるための知識と方法を理解しよう <時間外学修>授業内容の振り返り（30分） 7 音楽的発達からの学び3 子どもと文化との関わりを育てるための知識と方法を理解しよう <時間外学修>授業内容の振り返り（30分） 8 体験による学び5 子どもの身体とモノとの関わりを育てるための遊び（ボディパーカッション）を体験しよう <時間外学修>学びの記録（20分以上） 9 体験による学び6 子どもの身体とモノとの関わりを育てるための遊び（新聞紙遊び）を体験しよう <時間外学修>学びの記録・プリント記入（30分以上） 10 体験による学び7 子どもの身体とモノとの関わりを育てるための遊び（いろいろな素材遊び）を体験しよう <時間外学修>学びの記録・プリント記入（30分以上） 11 体験による学び8 子どもの身体とモノとの関わりを育てるための遊び（楽器遊び）を体験しよう <時間外学修>学びの記録・プリント記入（30分以上） 12 音楽的発達からの学び4 子どもの身体とモノとの関わりを育てるための知識と方法を理解しよう <時間外学修>授業内容の振り返り（30分）

	13 14 15	<p>手作り楽器の発表会 子どもの創造性を育てるための知識と方法を理解しよう <時間外学修>手作り楽器の制作・紹介シートの記入 (60分以上)</p> <p>学びの記録の共有と課題考察—グループによるポスター制作— <時間外学修>質問・疑問点の解答をグループで調べ、ポスターを完成させる (20分以上)</p> <p>学びの記録の共有と課題考察—グループによるポスター発表— <時間外学修>発表の準備 (20分以上) 保育内容および領域「表現」と保幼小接続について理解しよう <時間外学修>プリント記入 (40分以上)</p>
学修に関する留意事項		<ul style="list-style-type: none"> ・授業ではプリントを配布します。 ・実習期間により授業内容が前後することがあります。 ・「体験からの学び」の回の授業は体育館で行います。動きやすい服装とシューズで参加すること。 ・「音楽的発達からの学び」の回の授業は音楽室Ⅰで行います。
試験やレポート等の課題のフィードバック方法		フィードバックが必要な場合はAAAまたはペーパー等にて対応する。
成績評価方法・基準		<p>授業（体験）の取り組みと学びの記録（到達目標2）50%</p> <p>授業（ポスター制作と発表）の取り組み（到達目標1・3）20%</p> <p>提出物（到達目標1・2）30%</p>
書名①		
著者名①		
出版社①		
書名②		
著者名②		
出版社②		
書名③		
著者名③		
出版社③		
参考文献		<p>『音楽を学ぶということ—これから音楽を教える・学ぶ人のために—』（2016年、今川 恭子（監修））</p> <p>『乳幼児の音楽表現：赤ちゃんから始まる音環境の創造（保育士・幼稚園教諭養成課程）』（2016年 日本赤ちゃん学会（監修））</p>
参考URL		
特記事項		

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1	1	選択
担当教員			
亀澤 朋恵			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
演習	子ども学科	1C2210	
添付ファイル			

授業種類	授業担当教員 <input type="checkbox"/> 科目に関連した実務経験のある教員が担当している 科目に関連した実務内容 アクティブラーニング要素 <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション、ディベート <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク
------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	造形表現における子どもの発達をまなび、それを踏まえたうえでの表現技法や造形活動を学ぶ。
到達目標	①生活の中にあるさまざまなものの美しさや面白さを味わうことができるようになる。 ②感じたことや考えたことをイメージをふくらませながら造形作品として表現できるようになる。 ③身近にある画材や材料の特性を理解し、適切に使うことができる。
授業概要	造形表現における子どもの発達をまなび、それを踏まえながら造形表現技術で学んだ基礎を活かし、表現の方法を深める。
授業計画	1 ガイダンス 子どもの造形表現の発達 授業外学習：ワークシート (60分) 2 自然物を使った造形 1 時間外学習：ワークシート (60分) 3 自然物を使った造形 2 時間外学習：ふりかえりレポート (60分) 4 壁面構成 1 壁面のねらい・構想 時間外学習：次のアイデアスケッチ (90分) 5 壁面構成 2 製作 1 時間外学習：ふりかえりレポート (60分) 6 壁面構成 3 製作 2 時間外学習：ふりかえりレポート (60分) 7 壁面構成 3 製作 3 時間外学習：次のアイデアスケッチ (90分) 8 折り紙パッチワーク 小品 1 時間外学習：ふりかえりレポート (60分) 9 折り紙パッチワーク 創作 1 時間外学習：ふりかえりレポート (60分) 10 折り紙パッチワーク 創作 2 時間外学習：ふりかえりレポート (60分) 11 牛乳パックリリアン 1 織機の製作 時間外学習：ふりかえりレポート (60分) 12 牛乳パックリリアン 2 編み上げ 1 時間外学習：ふりかえりレポート (60分) 13 凧の製作 1 製作 時間外学習：ワークシート (60分) 14 凧の製作 1 しあげ 時間外学習：ふりかえりレポート (60分) 15 凧の製作 3 凧をとばす/まとめ 時間外学習：ふりかえりレポート (60分)
学修に関する留意事項	・時間外に完成しなかった場合、時間外にて完成させて提出してください。 ・汚れても良い(洗濯が容易)、動きやすい服装で受講してください。

試験やレポート等の課題のフィードバック方法	作品製作や記録表において適宜コメントする。 作品は学期末に返却する。
成績評価方法・基準	作品製作【到達目標①②③】70% レポート・ワークシート【到達目標①②③】30%
書名①	
著者名①	
出版社①	
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	平成29年告示 幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領 原本
参考URL	
特記事項	身近で親しみのある画材や材料のもつ特性やおもしろさを再認識し、表現活動を楽しんでみてください。グループや屋外での活動も計画しています。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1	1	選択必修
担当教員			
古谷 淳			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
演習	子ども学科	1C2202	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員 <input type="checkbox"/> 科目に関連した実務経験のある教員が担当している</p> <p>科目に関連した実務内容</p> <p>アクティブラーニング要素 <input type="checkbox"/> ディスカッション、ディベート <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク</p>
テーマ	言葉の機能と発達について解説し、保育者として子どもの言葉を豊かに育てるための保育内容に関する知識や指導法、基礎的な技能を解説する。
到達目標	1. 子どもの言葉に関心を持ち、言葉の発達について理解する。2. 言葉のもつ機能について理解を深め、子どもの言葉を育む保育内容について構想することができる。3. 様々な児童文化財について理解を深め、保育実践に活かせる基礎技術を習得する。
授業概要	幼稚園教育要領並びに保育所保育指針に示された幼稚園教育の基本及び保育所保育に関する基本原則や養護に関する基本的事項を踏まえ、乳幼児期の子ども言葉が、日常生活の中での身近な人とのかかわりを通して育つことを解説する。言葉の育ちにかかわる保育の様々な場面を示し、保育者の役割や援助を実践的に考察しながら、子どもの豊かな言葉を育むために保育者は、どのように保育内容を構想し、実践すべきかを探求する。
授業計画	<p>1 オリエンテーション：領域「言葉」の概要 時間外学習：保育所保育指針・幼稚園教育要領の保育内容領域「言葉」を読んでおくこと（30分）</p> <p>2 言葉の働きと言葉を育むもの 時間外学習：自身の親しい人（保証人等）から自身の言葉の発達について聞き取る（30分）</p> <p>3 領域「言葉」のねらい及び内容について 時間外学習：幼稚園教育要領解説P.203～222.を通読する（60分）</p> <p>4 乳幼児の言語発達① 一乳児の言語発達一 時間外学習：自身の親しい人（保証人等）から自身が乳児の頃の言葉の発達について聞き取る（30分）</p> <p>5 乳幼児の言語発達② 一幼児期前半（1～2歳児）の言語発達一 時間外学習：自身の親しい人（保証人等）から自身が幼児期前半（1～2歳児）の頃の言葉の発達について聞き取る（30分）</p> <p>6 乳幼児の言語発達③ 一幼児期後半（3～5歳児）の言語発達一 時間外学習：自身の親しい人（保証人等）から自身が幼児期後半（3～5歳児）の頃の言葉の発達について聞き取る（30分）</p> <p>7 言葉の楽しさ・美しさ 時間外学習：学校や地域の図書館等で繰り返しのある言葉やオノマトペを取り入れた絵本を探す（60分）</p> <p>8 児童文化財の世界 時間外学習：学校や地域の図書館等で絵本を1冊選びその絵本の良さについてレポートを作成する（30分）</p> <p>9 保育所保育指針、幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領における領域「言葉」 時間外学習：保育所保育指針解説P.162～172.を通読する（60分）</p> <p>10 乳児保育における言葉を育む保育実践 時間外学習：絵本を題材とした指導案を作成する（60分）</p> <p>11 1歳以上3歳未満時の保育における言葉を育む保育実践 時間外学習：クラスメートと指導案を読み合い異なる視点や立場から検討し見直しを行う（30分）</p> <p>12 3歳以上児の保育における言葉のやり取りを育む保育実践 時間外学習：児童文化財の教材研究を行う（30分）</p> <p>13 文字や記号に対する感覚や興味・関心を育む保育実践 時間外学習：配布資料をもとに、クラスメートと模擬保育を行う（30分）</p>

	14 領域「言葉」と10の姿 時間外学習：幼稚園養育要領解説P.84～87を通読する（30分） 15 まとめ：学修の振り返り
学修に関する留意事項	子どもと言葉（Child and Language）で得た知識をもとに学修を進める。日頃から、子どもの言葉に関心を持つこと。また、子どもの前で絵本や紙芝居を行う際には、多くの児童文化財にも触れ、保育者として豊かに表現できるよう何度も練習を行うことが肝要である。子どもの言葉を豊かにするための教材作りを通し、保育実践に活かすことができる基礎技術を培ってもらいたい。
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	
成績評価方法・基準	指導案（到達目標2.3）20% 中間レポート（到達目標1.2）20% 期末レポート（到達目標3）50% リフレクションシート（到達目標1.2）10%
書名①	
著者名①	
出版社①	
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	
参考URL	https://www.mext.go.jp/content/1384661_3_3.pdf 、 https://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-11900000-Koyoukintoujidoukateikyoku/0000202211.pdf
特記事項	・適宜課題に対する講評を行う。・授業担当講師は、保育所保育士としての実務経験あり。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1	2	選択必修
担当教員			
福西 朋子、山本 敦子、若井由美子、星合 智美、岡本加奈子、田端香代子、木下 和美、小柴 雅子、丸山 亮子、勝井 由紀、松江咲恵子			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
演習	子ども学科	1C2221	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員 <input type="checkbox"/>科目に関連した実務経験のある教員が担当している</p> <p>科目に関連した実務内容</p> <p>アクティブラーニング要素 <input type="checkbox"/>ディスカッション、ディベート <input checked="" type="checkbox"/>グループワーク <input type="checkbox"/>プレゼンテーション <input type="checkbox"/>実習、フィールドワーク</p>
------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	保育実践に求められる音楽表現技術の基礎Ⅱを習得する
到達目標	保育実践との関連から1.楽典を理解する2.読譜・記譜・聴取の技能を習得する3.ピアノ演奏の技術を習得する4.子どもの歌の歌唱法、弾き歌い技術を習得する
授業概要	保育実践における音楽表現技術の基礎Ⅱを習得するための授業。一斉授業と実技レッスンを45分ずつ受講する。一斉授業では保育実践との関連から楽典、ソルフェージュによる読譜・記譜・聴取の方法、子どもの歌の歌唱法を習得する。実技レッスンでは、経験度に応じた個人・グループレッスンにおいて、保育実践との関連からピアノ演奏や子どもの歌弾き歌いの技術を習得する。
授業計画	<p>1 オリエンテーション ①保育実践における音楽表現技術の基礎Ⅱについて②保育者のための歌唱表現技術レッスン (時間外学習については「学習に関する留意事項」に記載)</p> <p>2 実技レッスン：コース別課題（ピアノ基礎・子どもの歌弾き歌い・ピアノ小曲・即興表現）によるグループレッスン一斉授業：子どもの歌と音程 <時間外>楽典基礎（音楽表現技術Ⅰ）確認課題（30分）</p> <p>3 実技レッスン：コース別課題（ピアノ基礎・子どもの歌弾き歌い・ピアノ小曲・即興表現）によるグループレッスン一斉授業：音程のしくみ</p> <p>4 実技レッスン：コース別課題（ピアノ基礎・子どもの歌弾き歌い・ピアノ小曲・即興表現）によるグループレッスン一斉授業：子どもの歌とコード伴奏</p> <p>5 実技レッスン：コース別課題（ピアノ基礎・子どもの歌弾き歌い・ピアノ小曲・即興表現）によるグループレッスン一斉授業：コードのしくみ <時間外>楽典（コード）確認課題（30分）</p> <p>6 実技レッスン：コース別課題（ピアノ基礎・子どもの歌弾き歌い・ピアノ小曲・即興表現）によるグループレッスン一斉授業：保育の場における弾き歌いについて <時間外>教材研究シートの作成（30分）</p> <p>7 実技レッスン：中間試験一斉授業：中間試験の振り返り <時間外学習>試験課題の練習・振り返り（20分）</p> <p>8 実技レッスン：コース別課題（ピアノ基礎・子どもの歌弾き歌い・ピアノ小曲・即興表現）によるグループレッスン一斉授業：教育実習での音楽活動について <時間外>実習における音楽活動事例の記録まとめ（30分）</p> <p>9 実技レッスン：コース別課題（ピアノ基礎・子どもの歌弾き歌い・ピアノ小曲・即興表現）によるグループレッスン一斉授業：子どもの歌と音階 <時間外>楽典（音階）確認課題（30分）</p> <p>10 実技レッスン：コース別課題（ピアノ基礎・子どもの歌弾き歌い・ピアノ小曲・即興表現）によるグループレッスン一斉授業：子どもの歌と移調 <時間外>楽典試験準備（60分）</p> <p>11 実技レッスン：コース別課題（ピアノ基礎・子どもの歌弾き歌い・ピアノ小曲・即興表現）によるグループレッスン一斉授業：楽典試験</p> <p>12 実技レッスン：コース別課題（ピアノ基礎・子どもの歌弾き歌い・ピアノ小曲・即興表現）によるグループレッスン一斉授業：子どもの歌と楽器</p>

	13	実技レッスン：コース別課題（ピアノ基礎・子どもの歌弾き歌い・ピアノ小曲・即興表現）によるグループレッスン一斉授業：歌あそび・手あそび ＜時間外＞グループ別発表の準備・練習（30分）
	14	実技レッスン：コース別課題（ピアノ基礎・子どもの歌弾き歌い・ピアノ小曲・即興表現）によるグループレッスン一斉授業：子どもの歌と保育教材 ＜時間外＞グループ別発表の準備・練習（30分）
	15	まとめ・振り返り ＜時間外学習＞試験課題の練習・振り返り（30分）
学修に関する留意事項	＜時間外学習：実技レッスン＞毎回の実技レッスンに際し、事前計画・練習（予習）と事後振り返り（復習）を必ず行なって授業に臨むこと。練習時間の目安は毎日30分程度。＜時間外学習：一斉授業＞テキストや配布プリントの練習問題を予習、復習すること。＜成績評価のポイント＞実技レッスンの取り組みには課題選曲内容、グループ学習の意識、計画性も重視する。＜フィードバック＞楽典試験は返却し回答する。	
試験やレポート等の課題のフィードバック方法		
成績評価方法・基準	授業（一斉・レッスン）の取り組み（到達目標 1, 3, 4）25% 実技試験（到達目標 3, 4）50% 記述試験（到達目標 1, 2）25%	
書名①	歌のカレンダー	
著者名①	伊藤嘉子他	
出版社①	A・T・N	
書名②	保育・幼児教育のための Music Text ー音楽表現技術・子どもと音楽ー	
著者名②	高田短期大学音楽研究室・編	
出版社②	高田短期大学音楽研究室	
書名③		
著者名③		
出版社③		
参考文献		
参考URL		
特記事項		

講義科目名称：ゼミナール I

授業コード：60320A 60320B 60320C

英文科目名称：Seminar I

60320D 60320E 60320F

60320G 60320H 60320I

60320J 他3件

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1	2	必修
担当教員			
福西 朋子、山本 敦子、林 幹士、青木 信子、長倉 里加、松山 智道、伊藤 拓也、榊原 耐津子、亀澤 朋恵、權部 良子、中嶋 麻衣、古谷 淳、尾高 慶彦			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
演習	子ども学科	1D2200	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員</p> <p>□科目に関連した実務経験のある教員が担当している</p> <p>科目に関連した実務内容</p> <p>アクティブラーニング要素</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ディスカッション、ディベート ■グループワーク ■プレゼンテーション ■実習、フィールドワーク
------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	保育や幼児教育に関する課題の探究と発表
-----	---------------------

到達目標	<p>1. 保育や幼児教育に対する関心を高め、課題に主体的に取り組むことができる。</p> <p>2. 課題の探求・解決において、思考・判断・表現する力を身につける。</p> <p>3. 多様な人々と協働することを通して、集団の中で求められる行動ができる。</p>
------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

授業概要	<p>・スタートアップゼミナールの発展科目として、少人数での演習授業を通して、保育や幼児教育に関する課題探求を行う。</p> <p>・子どもを取り巻く様々な課題、話題に目を向け、他者と協働して発表、討論、考察を行う。</p>
------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

授業計画	<p>1 オリエンテーションー1年次後期の計画と目標ー 時間外学習：1年次前期を振り返り後期の計画と目標を考える（1時間）</p> <p>2 保育の現場に目を向けてー見学実習事前指導ー見学実習の目的と見学の観点について・見学者としての心得、マナー等について 時間外学習：見学実習での学びに関する小レポート（1時間）</p> <p>3 グループワーク演習（1）各ゼミ別で関心のある内容を選定しグループワークを行う 時間外学習：グループワークの準備（1時間）</p> <p>4 グループワーク演習（2）各ゼミ別で関心のある内容を選定しグループワークを行う 時間外学習：グループワークの準備（1時間）</p> <p>5 教育実習での学びと課題（1）教育実習に関する課題を見つけ実習に向けての学びを深める 時間外学習：教育実習の準備（1時間）</p> <p>6 教育実習での学びと課題（2）教育実習に関する課題を見つけ実践に向けて準備をする 時間外学習：教育実習の準備（1時間）</p> <p>7 保育・幼児教育に関する課題の紹介（1）実習を経験したことから学んだ幼児教育に関する課題をまとめる 時間外学習：実習で感じた課題をまとめる（1時間）</p> <p>8 保育・幼児教育に関する課題の紹介（2）実習を経験したことから学んだ幼児教育に関する課題のグループワークを行う。 時間外学習：グループワークの準備（1時間）</p> <p>9 保育・幼児教育に関する課題の設定（1） 時間外学習：資料・情報の収集（1時間）</p> <p>10 保育・幼児教育に関する課題の設定（2） 時間外学習：資料・情報の収集（1時間）</p> <p>11 発表・討論の準備（1）これまで学んだ保育・幼児教育に関する内容をまとめる。 時間外学習：これまで学んだ保育・幼児教育に関する資料の作成（1時間）</p> <p>12 発表・討論の準備（2）これまで学んだ保育・幼児教育に関する内容をまとめ発表・討論の準備をする。 時間外学習：発表・討論に関する資料作成（1時間）</p> <p>13 発表・討論（1） 時間外学習：本時の振り返りをワークシートにまとめる（1時間）</p> <p>14 発表・討論（2） 時間外学習：本時の振り返りをワークシートにまとめる（1時間）</p>
------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

	15 まとめ—1年次後期の学びの振り返り— 時間外学習：1年間の学びに関する振り返りレポートの作成（2時間）
学修に関する留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・本授業は学生の積極的な取り組みを重視する。 ・時間外学習では予習や復習に努め、自ら学びを深めること。 ・スタートアップゼミナールと本授業を通じて、各自、積極的に社会貢献活動、ボランティア活動を行うこと。
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	小レポートはコメントを付して返却する。
成績評価方法・基準	授業・活動への取り組み（到達目標1, 2） 25% レポート作成（到達目標1, 2） 50% グループワーク（到達目標2, 3） 25%
書名①	必要に応じて資料を配布・配信する。
著者名①	
出版社①	
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	授業で適宜紹介する。
参考URL	
特記事項	

講義科目名称： キャリアスタディ

授業コード： 56600A

英文科目名称： Career Studies

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1	1	必修
担当教員			
福西 朋子、山本 敦子、林 幹士、青木 信子、長倉 里加、松山 智道、伊藤 拓也、榊原 尉津子、亀澤 朋恵、權部 良子、中嶋 麻衣、古谷 淳、尾高 慶彦			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
講義	子ども学科	1D2103	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員</p> <p><input type="checkbox"/> 科目に関連した実務経験のある教員が担当している</p> <p>科目に関連した実務内容</p> <p>アクティブラーニング要素</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション、ディベート</p> <p><input type="checkbox"/> グループワーク</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション</p> <p><input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク</p>
------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	就職活動の基礎的知識・技能の習得と、子ども学科の学修成果を活かしたキャリア意識の形成・向上
到達目標	<p>1. 子ども学科学生の就職活動において必須となる基礎的知識・技能の理解と習得。</p> <p>2. 子ども学科の学修成果を活かしたキャリア形成への意欲・意識の向上。</p> <p>3. その後の主体的かつ円滑な就職活動に繋がる自己覚知。</p>
授業概要	子ども学科学生の就職活動に必要な知識・技能、キャリア意識形成の習得に向け、学内キャリア支援委員によるガイダンス、学外講師による講演会、ゼミアドバイザーによる個別指導など様々な側面から授業を展開する。
授業計画	<p>1 オリエンテーション（キャリアガイダンス） 時間外学習：受講後、就職の手引き「進路（就職）活動の流れ」「キャリア支援センターの利用」を読み、内容確認すること（15分）</p> <p>2 保育業界から求められる人材について1（三重県私立幼稚園・認定こども園協会就職講演会「幼稚園・認定こども園が求める人材」：受講シート提出） 時間外学習：受講後、上記協会のホームページより、居住地近隣幼稚園等の情報収集すること（60分）</p> <p>3 履歴書作成に向けて1（自己分析の意味・方法）、自分史シート作成・提出 時間外学習：受講後、手引き「就職活動（準備編）」を読み、自己PR内容について考えをまとめておくこと（90分）</p> <p>4 保育業界から求められる人材について2（県内施設「施設が求める人材」：受講シート提出） 時間外学習：受講後、ホームページより、居住地近隣施設等の情報収集をおこなうこと（60分）</p> <p>5 履歴書作成に向けて2（自己PR文の作成） 時間外学習：受講後、自己PR文（志望動機・自己PR・得意科目・課外活動）を提出すること（60分）</p> <p>6 就活体験から学ぶ（上級生によるガイダンス：受講シート提出） 時間外学習：受講後、講話内容やこれまでの授業内容をもとに、履歴書下書き用紙を提出すること（90分）</p> <p>7 保育業界から求められる人材について3（三重県私立保育園連盟就職講演会「保育園が求める人材」：受講シート提出） 時間外学習：受講後、上記連盟のホームページより、居住地近隣保育園等の情報収集をおこなうこと（60分）</p> <p>8 履歴書作成に向けて3（履歴書シート・自主実習） 時間外学習：受講後、添削結果をもとに修正した自己PR文を再提出すること（60分）</p>
学修に関する留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・本授業では、受講者自身のキャリアに直結する内容や、学外講師による講演会などの内容を含む。 ・より自発的かつ緊張感を持った取り組みが求められる。 ・半期8回開講のため、欠席3回で無資格となる。
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	フィードバックが必要な場合はAAAまたはペーパー等にて対応する。
成績評価方法・基準	<p>受講シート（到達目標1、2）40%</p> <p>提出物（自分史シート、レポート、履歴書シート：到達目標1、3）52%</p> <p>受講態度（到達目標1、2、3）8%</p>
書名①	2024年度 教育・保育職 就職の手引き
著者名①	キャリア支援委員会・キャリア支援センター

出版社①	高田短期大学
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	
参考URL	
特記事項	

講義科目名称： 教育実習 I

授業コード： 56100A

英文科目名称： Teaching Practice I

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1	1	選択
担当教員			
青木 信子			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
実習	子ども学科	1E2401	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員</p> <p>■科目に関連した実務経験のある教員が担当している</p> <p>科目に関連した実務内容 幼稚園教諭としての実務経験</p> <p>アクティブラーニング要素</p> <p><input type="checkbox"/>ディスカッション、ディベート <input type="checkbox"/>グループワーク <input type="checkbox"/>プレゼンテーション <input checked="" type="checkbox"/>実習、フィールドワーク</p>
------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	幼稚園における観察・参加実習等
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 幼稚園の教育内容・機能・園生活の流れについて理解する。 2. 幼児一人一人を理解すると同時に、幼児の発達の実情や幼稚園教育の実態に触れながら援助の在り方を学ぶ。 3. 幼稚園教諭の専門性に触れながら、幼稚園教諭の職務内容及び役割などを把握し、幼児教育への関心を深める。 4. 幼稚園教諭や幼児と生活を共にする中で、保育技術を習得しながら将来の幼稚園教諭としての自覚を高める。
授業概要	本実習では、幼稚園における教師の役割や仕事内容の概要、子どもの発達の実態を実践的に学び、2年次に実施する教育実習Ⅱの基礎を培うことをねらいとする。
授業計画	<p>1</p> <p>1) 実習先：本学が依頼する公立・私立幼稚園、認定こども園（四日市市・亀山市・鈴鹿市・津市・松阪市・伊勢市など）2) 実習期間：2024年11月11日（月）から11月15日（金）1週間3) 事前訪問：2024年10月中旬4) 事前訪問の概要：実習園を訪問し、園長先生からオリエンテーションを受ける ①園の概要・教育方針・教育課程（年間指導計画、主な行事） ②実習生としての心構えとマナー（職務・服装・持ち物・態度・その他留意点等） ③実習の流れ（幼児の実態、幼児との関わり方、安全配慮等の留意点等）5) 実習内容（園によって多少違いがある） ①園長先生や担任教諭の指導に従って、幼児と共に生活をする。 ②幼児の様子を観察し、幼児の発達を理解する。 ③担任教諭の指導を受けて、出勤から退勤までの幼稚園での勤務を体験する。 ④幼児の降園後、環境整備や翌日の環境構成の手伝いを行い、1日の実習を反省する。 ⑤実習日誌を書き、翌日担任教諭に提出して指導を受ける。</p>
学修に関する留意事項	教育実習指導の学びを活かして、事前準備・事後学習に努めることを望みます。
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	
成績評価方法・基準	実習園の実習評価70% 受講態度（到達目標1、2、3）30%
書名①	『実習の心得』
著者名①	
出版社①	
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	文部科学省『幼稚園教育要領解説』
参考URL	

特記事項	・「教育実習指導（１）」が不合格の場合、また１年生前期における幼稚園免許必須科目が３科目以上不合格の場合は「教育実習Ⅰ」は受けられません。
------	-----------------------------------------------------------------------

講義科目名称： 教育実習指導（1）

授業コード： 56250A 56250B 56250C

英文科目名称： Guidance of Teaching Practice

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1	1	選択
担当教員			
青木 信子			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
演習	子ども学科	1E2200	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員</p> <ul style="list-style-type: none"> ■科目に関連した実務経験のある教員が担当している <p>科目に関連した実務内容</p> <p>幼稚園教諭としての実務経験</p> <p>アクティブラーニング要素</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ディスカッション、ディベート ■グループワーク ■プレゼンテーション □実習、フィールドワーク
------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	教育実習 I の事前・事後指導
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 幼稚園教育の基本、目的、幼児の発達、園生活の流れ、幼稚園教諭の職務を理解する。 2. 教育実習の意義や目的を理解し、自己課題を明確にする。 3. 幼児教育者として保育観、教育観を構築する。
授業概要	教育実習の心得や望ましい実習態度について学ぶと同時に、実習にあたって幼稚園教育要領の理解、環境を通して行う教育、幼児理解、幼稚園教諭の職務等理解を深める。以上の目的において、日誌や計画の立案、振り返りについて学習する。
授業計画	<p>第1回 教育実習の目的・意義について 〔時間外学習〕教育実習に向けての自己課題を考える（1時間）</p> <p>第2回 教育実習の内容と心得について 〔時間外学習〕実習先の特徴の理解（1時間）</p> <p>第3回 幼稚園の教育要領について 〔時間外学習〕幼稚園教育要領の理解（1時間）</p> <p>第4回 実習日誌の目的と内容について 〔時間外学習〕「実習にあたって」の清書（1時間）</p> <p>第5回 実習日誌の書き方について 〔時間外学習〕実習日誌の記述（1時間）</p> <p>第6回 教育実習 I 直前指導 〔時間外学習〕日誌の見直しと準備（1時間）</p> <p>第7回 教育実習後の成長と自己課題についてのディスカッション 〔時間外学習〕次の実習への心構えの整理（1時間）</p>
学修に関する留意事項	授業前に「実習の心得」を読み、予習した上での授業参加を望みます。授業への取り組みはレポート課題も含みます。
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	
成績評価方法・基準	<p>授業への取り組み（到達目標 1.2.3）60%</p> <p>提出物（到達目標2.3）20%</p> <p>教材（到達目標 1）20%</p>
書名①	『実習の心得』
著者名①	
出版社①	
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	

出版社③	
参考文献	文部科学省「幼稚園教育要領解説」
参考URL	
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・「実習にあたって」「事前訪問報告書」のいずれか片方でも提出期限が遅れた場合は、不合格とします。 ・「教育実習指導（1）」が不合格となった場合、教育実習Ⅰを受けることはできません。

講義科目名称： 保育実習 I

授業コード： 56400B

英文科目名称： Nursery School Practice I

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2	4	選択
担当教員			
権部 良子、中嶋 麻衣			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
実習	子ども学科	1E2406	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員</p> <p>■科目に関連した実務経験のある教員が担当している</p> <p>科目に関連した実務内容</p> <p>障害児通所支援での実務経験あり</p> <p>アクティブラーニング要素</p> <p><input type="checkbox"/>ディスカッション、ディベート</p> <p><input type="checkbox"/>グループワーク</p> <p><input type="checkbox"/>プレゼンテーション</p> <p>■実習、フィールドワーク</p>
------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	【保育実習 I（施設）】社会福祉施設における観察・参加実習・部分実習など
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 社会福祉施設の機能・支援内容や流れについて、実践を通して理解する。 2. 利用者に関わる中で一人ひとり理解し、かかわり方や支援のあり方を体験的に学ぶ。 3. 保育士の専門性に触れながら保育士の職務内容及び役割、チームワークなどを把握する。
授業概要	社会福祉施設の実態・支援内容や技術を実践的に理解しながら、利用者理解を深め、保育士等の職務について学ぶ。
授業計画	2年次前期（6月頃）に社会福祉施設にて現場実習を実施
学修に関する留意事項	<p>保育実習指導 I の学びを活かし、時間外学習において事前準備・事後学習に努めてください。</p> <p>※指定された書類等が期限内に提出されない場合は実習へ行くことができません。</p> <p>※指定された実習日数の3分の1欠席があった場合は実習を中止にする場合があります。</p>
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	
成績評価方法・基準	<p>実習先の実習評価70%</p> <p>実習日誌30%</p>
書名①	『実習の心得』
著者名①	
出版社①	
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	
参考URL	
特記事項	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1	1	選択
担当教員			
権部 良子			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
演習	子ども学科	1E2204	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員</p> <p>■科目に関連した実務経験のある教員が担当している</p> <p>科目に関連した実務内容</p> <p>保育者（幼稚園）としての実務経験</p> <p>アクティブラーニング要素</p> <p><input type="checkbox"/>ディスカッション、ディベート</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>グループワーク</p> <p><input type="checkbox"/>プレゼンテーション</p> <p><input type="checkbox"/>実習、フィールドワーク</p>
------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	保育実習 I（保育所）に関する事前・事後学習
到達目標	1. 保育実習 I の意義・目的・内容を理解し、自己課題を明確化する。2. 実習における観察・記録・実践の方法及び心構えを主体的に取り組み理解する。3. 実習後の総括及び自己評価を通して、新たな課題を明確化する。
授業概要	本授業では、保育所の目的、保育士の職務、乳幼児の発達などを理解することにより、実習の目的や意義を学ぶことをねらいとする。加えて、実習の心構えや望ましい実習態度についても学習する。
授業計画	<p>1 保育実習 I（保育所）の意義と目的・実習内容 時間外学習：保育実習 I（保育所）についての課題作成（1時間）</p> <p>2 保育実習 I（保育所）における観察参加実習の意義 時間外学習：実習の心得を読んでもとくこと（30分）</p> <p>3 保育実習 I（保育所）における実習日誌の書き方・日誌作成に関するグループワーク 時間外学習：日誌ワークシートの整理（1時間）</p> <p>4 保育実習 I（保育所）における指導計画の立案とその基本的な考え方・指導案作成に関するグループワーク 時間外学習：指導案ワークシートの整理（1時間）</p> <p>5 保育実習 I（保育所）における部分実習の計画 時間外学習：部分実習指導案の作成（2時間）</p> <p>6 保育実習 I（保育所）における部分実習の実践（1）・模擬保育の準備 グループワーク 時間外学習：模擬保育実施の指導案の作成（1時間）</p> <p>7 保育実習 I（保育所）における部分実習の実践（2）・模擬保育の実施 グループワーク 時間外学習：模擬保育実施後の振り返りシートの作成（1時間）</p> <p>8 保育実習 I（保育所）の実習態度と心構え 時間外学習：保育所実習 I にむけての準備（2時間）</p>
学修に関する留意事項	本授業は、保育実習 I（保育所）の実施に向けて、グループワーク、模擬保育を実施します。そのため主体的・積極的に取り組む姿を評価します。また、時間外学習として授業前に『実習の心得』の熟読と復習を積極的に行うことを望みます。上記の他に、ガイダンスがあるため、必ず参加（確認）してください。ガイダンス ①事前訪問説明 事前訪問に際してのガイダンス ②実習直前指導 実習前の最終確認
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	
成績評価方法・基準	グループワーク（到達目標 1, 2, 3）40% 課題への取り組み（到達目標 1, 2, 3）60%
書名①	『実習の心得』
著者名①	
出版社①	
書名②	
著者名②	
出版社②	

書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	平成29年告示 幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領 原本
参考URL	
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・「実習にあたって」「事前訪問報告書」のいずれか片方でも未提出の場合は、保育実習を行えません。 ・本授業 保育実習指導Ⅰ - (1) が不可の場合も保育実習を行えません。積極的な気持ちで授業に臨んでください。 ・保育者（幼稚園教諭）として実務経験があります。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2	2	選択必修
担当教員			
堀井 雅恵			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
講義	子ども学科・キャリア育成学科	1A4111	
添付ファイル			
授業種類	授業担当教員 <input type="checkbox"/> 科目に関連した実務経験のある教員が担当している 科目に関連した実務内容 アクティブラーニング要素 <input type="checkbox"/> ディスカッション、ディベート <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク		
テーマ	地球環境問題とわたしたちの生活とのつながりについて学び、持続可能な社会について考える		
到達目標	1. 社会人として必要な環境学の知見を得る。2. 様々な地球環境問題の概要やその原因、問題間のつながりについて理解する。3. 地球環境問題と持続可能な社会について自分なりの考えを述べるができる。		
授業概要	20世紀の科学と産業、経済の発展は、私たちの生活に豊かさをもたらしたが、現在、大気汚染、海洋汚染、資源・エネルギーの枯渇、地球温暖化等の深刻な地球環境問題を引き起こしている。今のままでは、私たちの社会がたちゆかなくなる危険性が大きい。地球環境問題の概要について学ぶとともに、人と自然が共存してきた昔の暮らし方や新しい自然回帰の動きを参考に持続可能な社会のあり方について考える。		
授業計画	1 インTRODクシヨン 地球環境問題とは何か？地球環境問題にはどのようなものがあるのか、何が原因なのか、概説する。 <時間外学習>自分の関心のある地球環境問題について調べる（1時間）。 2 人口問題と食糧不足20世紀の中盤から後半にかけての爆発的な人口増加の原因と背景、その環境への影響や発展途上国の食糧不足の問題、地域格差の問題、また、先進国（日本）の少子高齢化問題を扱う。 <時間外学習>人口増加の歴史、世界の人口分布などを調べる（1時間）。 3 水質汚濁・海洋汚染・土壌汚染水俣病、イタイイタイ病、富栄養化による赤潮等、水質汚濁、海洋汚染に関わる公害・環境問題を扱う砂漠化、土壌浸食、土壌への塩類集積、酸性雨の土壌への影響、肥料、農薬、化学物質による土壌汚染などを扱う <時間外学習>水質汚濁・海洋汚染・土壌汚染に関連した公害・環境問題の例について調べる（1時間）。 4 大気汚染四日市ぜんそくなど大気汚染に関わる公害病、光化学スモッグ、PM2.5などの大気汚染物質、地球規模の環境問題であるオゾン層破壊について 扱う。 <時間外学習>大気汚染に関連した公害・環境問題の例について調べる（1時間）。 5 人間活動による気候変動地球温暖化、エルニーニョ・ラニーニャなど地球規模の気候変動、また、ヒートアイランド現象など局地的な気候変動についても扱う。 <時間外学習>地球温暖化に関する様々な意見や人間活動によって起こっていると考えられる気候変動について調べる（1時間）。 6 暮らしと環境に関するグループワーク日常思うことと地球環境問題との関連について5-7人のグループで話し合い、結果を発表して全体共有する。 <時間外学習>関心のある環境汚染問題や社会問題についての資料収集（1時間）。 7 資源・エネルギー問題I 化石燃料・化石エネルギー化石燃料・化石エネルギーの枯渇と汚染物質排出、二酸化炭素排出の問題について扱う。 <時間外学習>石油の枯渇と二酸化炭素排出の問題、石油以外の化石燃料について調べる（1時間）。 8 資源・エネルギー問題II 原子力エネルギー原子力エネルギーとはどんなものか？そのメリット・デメリットについて扱う。 <時間外学習>原子力について言われていることを調べる（1時間）。 9 資源・エネルギー問題III 自然エネルギー太陽光発電、風力発電、小水力発電、地熱発電、バイオマス発電などについて扱う。 <時間外学習>現在ある自然エネルギー、将来可能な自然エネルギーについて調べる（1時間）。 10 化学物質 化学物質の健康影響重金属、硫黄酸化物などの公害病の原因物質、シックハウス症候群を起こすホルムアルデヒド、食品添加物、農薬、内分泌かく乱物質（環境ホルモン）などが人の健康に及ぼす影響について、また、環境汚染のアレルギーへの影響などについても扱う。 <時間外学習>環境ホルモンについて調べる（1時間）。		

	<p>11 廃棄物とリサイクルごみ問題やプラスチックなどのリサイクルについて扱う。 <時間外学習>現在、日本で行なわれているリサイクルについて調べる（1時間）。</p> <p>12 生態系と生物多様性環境破壊による生物の絶滅、生物多様性の喪失について、また、人と自然が調和し、生物多様性を保ってきた里山の環境についても扱う。 <時間外学習>生物多様性とは何か？生物多様性が失われることは何が問題かについて調べる（1時間）。</p> <p>13 地球環境問題についてのグループワークこれまでに出てきた環境問題に関する意見について、5-7人のグループで話し合い、結果を発表して全体共有する。日常思うことと地球環境問題との関連について5-7人のグループで話し合い、結果を発表して全体共有する。 <時間外学習>関心のある環境問題についての資料収集（1時間）。</p> <p>14 持続可能な社会自然と人間が共存していた昔の暮らし方と現代の生活を比較し、新しい自然回帰の動き（田舎に移住する若者等）などを参考に持続可能な社会を考える。 <時間外学習>深刻な環境問題が起こる中、どのような社会なら持続可能か、考える（1時間）</p> <p>15 まとめ <時間外学習>グループワークの結果を参照しながら、自分の関心のある環境問題とその解決策をまとめておく（1時間）。</p>
学修に関する留意事項	・教科書は用いませんが、授業中に適宜、参考文献、参考URLを紹介しします。・主にパワーポイントで授業を行い、適宜、板書、プリントも用います。・授業の中でディスカッションや小レポートの作成も行います。・グループワークでの積極的な取り組みを評価します。
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	
成績評価方法・基準	筆記試験（到達目標1. 2. 3）70% 授業への取り組み（到達目標1. 2）15% グループワーク（到達目標2. 3）15%
書名①	教科書は用いませんが、授業中に適宜、参考文献、参考URLを紹介しします。
著者名①	
出版社①	
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	
参考URL	
特記事項	現在の地球環境問題は自然科学と経済学や社会学の問題が複雑に絡み合っており、専門家が考えるだけでは解決できなくなっています。問題解決には実社会の中の様々な立場の人が当事者として関与することが必要と考えています。皆さんも特に関心を持った環境問題については、インターネット等でいろいろ調べたりしてみてください。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2	1	選択必修
担当教員			
小澤 亮二			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
実技	子ども学科	1A4507	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員</p> <p>■科目に関連した実務経験のある教員が担当している</p> <p>科目に関連した実務内容</p> <p>アクティブラーニング要素</p> <p><input type="checkbox"/>ディスカッション、ディベート</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>グループワーク</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>プレゼンテーション</p> <p><input type="checkbox"/>実習、フィールドワーク</p>
テーマ	スポーツ本来の楽しさや身体を動かすことの大切さを、様々なスポーツ活動を通じて理解し主体的に学ぶ。
到達目標	1. 実技に参加し、各競技の特徴を理解している。2. 各回にあった内容を提案し実施することができる。3. 自身の健康増進について考えをまとめ、レポートを作成することができる。
授業概要	スポーツの実践を通して、自身の生涯とスポーツとの関わり、健康増進について主体的に学んでいくための授業。本授業では、各回の実技内容や状況に合わせてルールを設定し進めていく。様々な状況に合わせたスポーツの楽しみ方やその指導法について学ぶ。
授業計画	<p>1 ガイダンス授業内容・出欠・取り組み方・評価について 【時間外学習】サッカーの特性を調べておく(15分)</p> <p>2 サッカー①ルールの確認・基本技能の練習・ゲーム 【時間外学習】サッカーの「攻撃」の特徴を調べておく(15分)</p> <p>3 サッカー②基本技能の練習・ゲーム 【時間外学習】サッカーの「守備」の特徴を調べておく(15分)</p> <p>4 サッカー③ゲーム 【時間外学習】バスケットボールの特性を調べておく。(15分)</p> <p>5 バスケットボール①ルールの確認・基本技能の練習・ゲーム 【時間外学習】バスケットボールの「攻撃」の特徴を調べておく(15分)</p> <p>6 バスケットボール②基本技能の練習・ゲーム 【時間外学習】バスケットボールの「守備」の特徴を調べておく(15分)</p> <p>7 バスケットボール③ゲーム 【時間外学習】バドミントンの特性を調べておく。(15分)</p> <p>8 バドミントン①ルールの確認・基本技能の練習・ゲーム 【時間外学習】バドミントンの「ショット」の種類を調べておく(15分)</p> <p>9 バドミントン②基本技能の練習・ゲーム 【時間外学習】バレーボールの特性を調べておく。(15分)</p> <p>10 バレーボール①ルールの確認・基本技能の練習・ゲーム 【時間外学習】バレーボールの「攻撃」の特徴を調べておく(15分)</p> <p>11 バレーボール②基本技能の練習・ゲーム 【時間外学習】バレーボールの「ローテーション」の特徴を調べておく(15分)</p> <p>12 バレーボール③ゲーム 【時間外学習】レクリエーションについて調べておく。(15分)</p> <p>13 レクリエーションレクリエーションの意義と実践・ゲーム 【時間外学習】スポーツ大会の「意義」について調べておく(15分)</p> <p>14 スポーツ大会の計画及び内容の決定 【時間外学習】スポーツ大会の準備(15分)</p> <p>15 スポーツ大会の実施</p>
学修に関する留意事項	・定期試験は行わない。・指定された課題のレポートを作成し、提出する。・体調を整えて参加する。・運動のできる服装、シューズで参加する。

試験やレポート等の課題のフィードバック方法	
成績評価方法・基準	授業に対する取り組み(到達目標1)50% 各回の方法の設定(到達目標1.2)20% レポート(到達目標3)30%
書名①	
著者名①	
出版社①	
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	
参考URL	
特記事項	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2	2	必修
担当教員			
林 幹士			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
講義	子ども学科	1B4103	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員</p> <p><input type="checkbox"/> 科目に関連した実務経験のある教員が担当している</p> <p>科目に関連した実務内容</p> <p>アクティブラーニング要素</p> <p>■ ディスカッション、ディベート</p> <p>■ グループワーク</p> <p><input type="checkbox"/> プレゼンテーション</p> <p><input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク</p>
------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	現代保育者の役割・専門性
到達目標	1. 保育者とはどのような職業なのかを説明できる2. 保育者が期待されている具体的な役割を説明できる3. 保育者(者)をめぐる課題を具体的に説明できる
授業概要	本授業では、現代保育者をめぐる課題について多様な観点から考察をする。具体的には子どもの現状や制度などを概観した上で、保育者として求められる資質・能力や専門性などの保育者自身が備えるべきものや、保護者対応、外部機関との連携、保幼小連携など現代的な保育者の役割等についても理解する。
授業計画	<p>1 インTRODクシヨン：授業概要の説明、「保育・保育者とは」 《時間外学習：配付資料を読む（30分）》</p> <p>2 保育の日常と保育者になるための学び 《時間外学習：教科書第1章を読む（30分）》</p> <p>3 保育職とは 《時間外学習：教科書第2章を読む（30分）》</p> <p>4 現在の保育にまつわる問題 《時間外学習：教科書第3章を読む（30分）》</p> <p>5 保育者の役割を考える 《時間外学習：教科書第4章を読む（30分）》</p> <p>6 専門家として子どもとのかかわり 《時間外学習：教科書第5章を読む（30分）》</p> <p>7 保育のプロセスと質の向上 《時間外学習：教科書第6章を読む（30分）》</p> <p>8 行事の意義と役割 《時間外学習：教科書第7章を読む（30分）》</p> <p>9 保護者や家庭との連携 《時間外学習：教科書第8章を読む（30分）》</p> <p>10 関連機関や地域との連携 《時間外学習：教科書第9章を読む（30分）》</p> <p>11 職員間の連携 《時間外学習：教科書第10章を読む（30分）》</p> <p>12 保育者のライフデザイン 《時間外学習：教科書第11章を読む（30分）》</p> <p>13 これからの保育のために 《時間外学習：教科書第12章を読む（30分）》</p> <p>14 これからの保育者に求められること 《時間外学習：配付資料を読む（30分）》</p> <p>15 まとめ 《時間外学習：配付資料を読む（30分）》</p>
学修に関する留意事項	授業で聞いたことはメモを取るようにしてください。定期試験共に口頭で説明した内容についても多く出題されますので、授業時のメモに加えて時間外で授業内容の整理・確認が必要となります。

試験やレポート等の課題のフィードバック方法	毎回、授業コメント用紙を記入します。ここでの、質問事項があれば次回の講義の冒頭に解説します。中間レポートについては、レポートテーマのポイントについて解説します。
成績評価方法・基準	中間レポート（到達目標1, 2, 3）40% 定期試験（到達目標1, 2, 3）60%
書名①	『保育者論-子どものかたわらに』
著者名①	小川圭子編
出版社①	みらい
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	特に指定しません。
参考URL	
特記事項	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2	2	選択
担当教員			
中嶋 麻衣			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
講義	子ども学科	1B4133	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員</p> <p>■科目に関連した実務経験のある教員が担当している</p> <p>科目に関連した実務内容</p> <p>障害児通所支援で保護者支援の実務経験あり。</p> <p>アクティブラーニング要素</p> <p><input type="checkbox"/>ディスカッション、ディベート</p> <p><input type="checkbox"/>グループワーク</p> <p><input type="checkbox"/>プレゼンテーション</p> <p><input type="checkbox"/>実習、フィールドワーク</p>
------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	子育て家庭を取り巻く現状と課題を理解し、子育て家庭が抱える多様なニーズに応える専門的知識と方法を学ぶ。
-----	-----------------------------------------------------

到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 子育て家庭の現状について理解することができる。 2. 子育て家庭支援の法制度について説明することができる。 3. 特別な配慮を必要とする家庭支援に必要なソーシャルワーク知識を身につける。 4. 子育て家庭をめぐる課題把握とそれに対する支援内容について具体的に説明することができる。
------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

授業概要	子育て家庭を取り巻く現状とニーズを把握し、子育て家庭を支える制度、支援に必要な専門的知識と方法を学ぶ。 また、特別な配慮を必要とする家庭に関する事例検討を通して、その解決のための具体的な支援内容を考える力を身につける。
------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 子ども家庭支援の意義と必要性 時間外学習：事前にテキストの該当ページを読み、学習後に振り返る (30分) 2 子ども家庭支援の目的と機能 時間外学習：事前にテキストの該当ページを読み、学習後に振り返る (30分) 3 保育の専門性を活かした子ども家庭支援とその意義 時間外学習：事前にテキストの該当ページを読み、学習後に振り返る (30分) 4 子どもの育ちの喜びの共有 時間外学習：事前にテキストの該当ページを読み、学習後に振り返る (30分) 5 保護者および地域が有する子育てを自ら実践する力の向上に資する支援 時間外学習：事前にテキストの該当ページを読み、学習後に振り返る (30分) 6 保育士に求められる基本的態度 時間外学習：事前にテキストの該当ページを読み、学習後に振り返る (30分) 7 家庭の状況に応じた支援 時間外学習：事前にテキストの該当ページを読み、学習後に振り返る (30分) 8 地域の資源の活用と自治体・関係機関との連携・協働 時間外学習：事前にテキストの該当ページを読み、学習後に振り返る (30分) 9 子育て家庭の福祉の向上を図るための社会資源 時間外学習：事前にテキストの該当ページを読み、学習後に振り返る (30分) 10 身近な地域の子どもや子育て家庭に関わる社会資源 時間外学習：身近な地域の子どもや子育て家庭に関わる社会資源を調べる (60分) 11 子ども家庭支援に関する政策 時間外学習：事前にテキストの該当ページを読み、学習後に振り返る (30分) 12 子ども家庭支援の内容と対象 時間外学習：事前にテキストの該当ページを読み、学習後に振り返る (30分) 13 保育所等を利用する子どもの家庭への支援 時間外学習：事前にテキストの該当ページを読み、学習後に振り返る (30分) 14 地域の子育て家庭への支援 時間外学習：事前にテキストの該当ページを読み、学習後に振り返る (30分) 15 要保護児童等及びその家庭に対する支援 時間外学習：事前にテキストの該当ページを読み、学習後に振り返る (30分)
------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

学修に関する留意事項	
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	小テストは授業内で解説を実施する。
成績評価方法・基準	定期試験（到達目標1.2.3.4）50% 小テスト（到達目標1.2.3.4）30% 提出物等（到達目標1.2.3.4）20%
書名①	実践で役立つ 子ども家庭支援論
著者名①	渡邊暁・橋本翼編集
出版社①	ミネルヴァ書房
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	
参考URL	
特記事項	テキストは2024年2月発刊予定

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2	1	選択必修
担当教員			
青木 信子			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
演習	子ども学科	1C4208	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員</p> <p>■科目に関連した実務経験のある教員が担当している</p> <p>科目に関連した実務内容 幼稚園教諭としての実務経験</p> <p>アクティブラーニング要素</p> <p>■ディスカッション、ディベート ■グループワーク ■プレゼンテーション □実習、フィールドワーク</p>
テーマ	子どもの発達過程を理解し、保育内容領域「人間関係」について実践的に学ぶ
到達目標	<p>1. 幼稚園教育要領・保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育・保育要領における「人間関係」のねらいと内容を理解する。</p> <p>2. 乳幼児の様々な「人間関係」の育ちや芽生えについて、発達の観点から総合的に理解する。</p> <p>3. 幼稚園や保育園における人間関係の大切さや保育所の援助について理解する。</p>
授業概要	本授業では、園生活における様々な乳幼児の「人間関係」に関する知識、保育を通して子どもの人とのかかわりについて学ぶ。また、その力を育むための保育者の実践的な援助のあり方についてDVD視聴や実践記録、指導案からの討論あるいはロールプレイとその振り返りを通して理解を深める。グループ討論の内容についてはICTを利用してまとめる。
授業計画	<p>第1回 オリエンテーション・「人間関係」とは 〔時間外学習〕 授業内容の整理（1時間）</p> <p>第2回 領域「人間関係」のねらいと内容 〔時間外学習〕 授業内容の整理（1時間）</p> <p>第3回 人とのかかわりの育ち(1)：乳児期を中心に 〔時間外学習〕 授業内容の整理（1時間）</p> <p>第4回 人とのかかわりの育ち(2)：1歳以上3歳未満児を中心に 〔時間外学習〕 授業内容の整理（1時間）</p> <p>第5回 人とのかかわりの育ち(3)：3歳児以上児を中心に 〔時間外学習〕 授業内容の整理（1時間）</p> <p>第6回 人とかかわる力を育む保育者の役割(1)：トラブル場面について考える① 〔時間外学習〕 授業内容の整理（1時間）</p> <p>第7回 人とかかわる力を育む保育者の役割(1)：トラブル場面について考える② 〔時間外学習〕 授業内容の整理（1時間）</p> <p>第8回 人とかかわる力を育む保育者の役割(2)：多様な配慮と保育構想 〔時間外学習〕 授業内容の整理（1時間）</p> <p>第9回 人とかかわる力を育む保育者の役割(3)・地域連携と保育構想 〔時間外学習〕 授業内容の整理（1時間）</p> <p>第10回 人とかかわる力を育む保育者の役割(4)・保護者とのかかわり① 〔時間外学習〕 授業内容の整理（1時間）</p> <p>第11回 人とかかわる力を育む保育者の役割(4)・保護者とのかかわり② 〔時間外学習〕 授業内容の整理（1時間）</p> <p>第12回 人とかかわる力を育む保育者の役割(5)・保育者同士のかかわり 〔時間外学習〕 授業内容の整理（1時間）</p> <p>第13回 教材から人間関係を考える① 〔時間外学習〕 授業内容の整理（1時間）</p> <p>第14回 教材から人間関係を考える② 〔時間外学習〕 授業内容の整理（1時間）</p> <p>第15回 教材から人間関係を考える③・全体の振り返り 〔時間外学習〕 授業内容の整理（1時間）</p>

学修に関する留意事項	授業態度はグループワーク等での積極的な発言や周りとの協調性を重視する。
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	
成績評価方法・基準	試験（到達目標1.2.3）60% 課題・授業態度（到達目標1.2.3）40%
書名①	必要資料を配付
著者名①	
出版社①	
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	「平成29年告示 幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領 原本」
参考URL	
特記事項	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2	1	選択必修
担当教員			
福西 朋子、榊原 尉津子、亀澤 朋恵			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
演習	子ども学科	1C4211	
添付ファイル			

授業種類	授業担当教員 <input type="checkbox"/> 科目に関連した実務経験のある教員が担当している 科目に関連した実務内容 アクティブラーニング要素 <input type="checkbox"/> ディスカッション、ディベート <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク
------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	領域「表現」における創造的思考と指導・援助法について学ぶ。
到達目標	1. 領域「表現」のねらい及び内容について理解する。 2. 子どもの表現活動を創造的に展開する実践力を身につける。 3. 領域「表現」に応じた指導・援助法を修得する。
授業概要	子どもの表現とその表現過程について、これまでの専門領域の学びを踏まえたグループ演習により探求し、領域「表現」における保育者の指導・援助について考える。具体的な子どもの表現事例検討や創造的保育実践を捉えることを通して保育を構想する方法を研究する。
授業計画	1 オリエンテーション 領域「表現」のねらい及び内容について 〈時間外学習〉領域「表現」のねらいと内容について熟読しておくこと 2 音・動き・形の表現について① 〈時間外学習〉講義内容の復習 3 音・動き・形の表現について② 〈時間外学習〉講義内容の復習 4 音・動き・形の表現について③ 〈時間外学習〉小レポート作成 (45分) 5 表現する過程の探求1 主体的・対話的学びについて 〈時間外学習〉小レポート作成 (45分) 6 表現する過程の探求2 テーマに沿ったグループ演習 (音・動き・形) ① 〈時間外学習〉ワークシートの作成 (30分) 7 表現する過程の探求3 テーマに沿ったグループ演習 (音・動き・形) ② 〈時間外学習〉ワークシートの作成 (30分) 8 表現する過程の探求4 テーマに沿ったグループ演習 (音・動き・形) ③ 〈時間外学習〉小レポート作成 (45分) 9 ICTの活用について (全体) 一写真や動画の活用についてグループ分け・演習 〈時間外学習〉写真・映像の編集ができるよう練習をしておくこと 10 グループ演習1 〈時間外学習〉写真・映像による学習記録 (45分) 11 グループ演習2 〈時間外学習〉写真・映像による学習記録 (45分) 12 ICTの活用による発表資料 (ドキュメンテーション・ポスター) 作成 〈時間外学習〉発表資料の仕上げ 13 ICTの活用による発表 (写真や映像による) ドキュメンテーション・ポスター発表 14 ICTの活用による発表 (写真や映像による) ドキュメンテーション・ポスター発表 15 全体の振り返り 〈時間外学習〉全体のレポート作成 (120分)

学修に関する留意事項	※時間外の学習が含まれますので毎回の授業で確認してください。 ※本授業は受講生の主体的姿勢が求められます。
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	
成績評価方法・基準	グループ演習の取り組み（到達目標1, 2） 50% レポート・学習記録（到達目標1、2、3） 30% 発表（到達目標2、3） 20%
書名①	平成29年告示 幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領 原本
著者名①	内閣府，文部科学省，厚生労働省
出版社①	チャイルド本社
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	
参考URL	
特記事項	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2	2	選択
担当教員			
中條 敦仁			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
講義	子ども学科	1C4131	
添付ファイル			

授業種類	授業担当教員 <input type="checkbox"/> 科目に関連した実務経験のある教員が担当している 科目に関連した実務内容 アクティブラーニング要素 <input type="checkbox"/> ディスカッション、ディベート <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク
------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	社会がSociety5.0に突入した新たな時代において、教員のさらなる資質・能力向上、新たな教育方法・技術の習得が課題となっています。そこで、本講義のテーマを、①「これまで学んできた5領域に関連する教育方法・技術の統合」、②「ICT機器の活用を含めた現場で使える具体的教育方法と技術の習得」とします。
-----	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

到達目標	「次世代を担う子どもが未来を切り開くために必要な資質・能力を楽しく身につけるための教育方法と技術を他者との協働を通して考えること」とし、以下の3つの目標達成をめざします。1. 5領域を核に、教育方法と必要な技術について説明することができる。2. 他者と対話をとおして、教育に有用な教材・教具を仕上げることができる。3. 課題に対する自らの考えを主体的に表現することができる。
------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

授業概要	本講義の内容は、いくつかの教育実践方法の実践を通して教育の基本原則を理解すること、制作した教材・教具を保育・教育に活かす方法や技術を再確認すること、今後広がっていくICT機器の現場における具体的活用方法を探ることの3点です。実践的活動を踏まえた思考活動をおこなうことで、さまざまな教育方法の習得と指導技術の向上をめざします。
------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

授業計画	<p>1 【話題】講義概要と教育方法の基礎【教育方法に関する基礎】【概要】基礎理論を踏まえ、保育・幼児教育現場で展開される教育方法をグループワークにより書き出す。 〈時間外学習〉 【予習】保育・幼児教育現場で展開されている教育方法を書き出す。(30分) 【復習】保育・幼児教育で展開される教育方法の特徴を個々にまとめる。(20~40分)</p> <p>2 【話題】保育士・幼稚園教諭に必要な知識や技術【知識や教育技術に関する基礎】【概要】教育方法(教育実践)をおこなう上で、必要となる知識や技術をグループワークを通して整理する。 〈時間外学習〉 【予習】保育士・幼稚園教諭に必要な知識や技術を書き出す。(30分) 【復習】必要な知識や技術を整理し、まとめる(30分)</p> <p>3 【話題】周囲にある環境の調査【5領域 環境】【概要】高田短期大学の周囲にある環境を調査をする。 〈時間外学習〉 【予習】高田短期大学の周囲にある環境が保育・幼児教育に活かせるか考える。(20分) 【復習】調査した結果を整理し、AAAに指定期日までに提出する。(20~40分)</p> <p>4 【話題】調査した環境をもとに保育・幼児教育方法の可能性を考える【5領域 環境】【概要】調査した環境の保育・幼児教育への活用の可能性を、グループワークによって整理する。 〈時間外学習〉 【予習】調査結果をもとに、自分ならどのようにその環境を活用するかを考える。(30分) 【復習】グループワークの結果を踏まえ一つ活用方法を考え、まとめる。(20~50分)</p> <p>5 【話題】手遊び・手遊び歌の活用の効果・意義【5領域 表現】【概要】予習として収集してきた手遊び歌をもとに、手遊びの活用の効果を、グループワークによって考える。 〈時間外学習〉 【予習】手遊び歌を収集し、実演できるようにする。(40分) 【復習】手遊び・手遊びの効果や意義を考え、AAAに指定期日までに提出する。(20~40分)</p> <p>6 【話題】人間関係形成や心身の健康を促す手遊び・手遊び歌【5領域 人間関係・健康】【概要】人間関係や健康に関連する手遊びを、グループワークによって考える。 〈時間外学習〉 【予習】人間関係や健康に関連する手遊びを探す。(40分) 【復習】人間関係形成や心身の健康に活かすことに対する見解を、AAAに指定期日までに提出する。(20~40分)</p> <p>7 【話題】絵本の読み聞かせの教育的効果【5領域 言葉】【概要】絵本の読み聞かせの保育的、教育的効果を知り、簡易の絵本の構想を練る(作り方の説明も含む)。 〈時間外学習〉 【予習】絵本の読み聞かせの効果を考える。(30~50分) 【復習】簡易絵本の構想を完成させ、制作に備える。(20~40分)</p> <p>8 【話題】簡易絵本の制作【5領域 環境】【概要】簡易絵本(2コマ絵本の予定)の制作を通して、そのねらいと効果について考える。 〈時間外学習〉 【予習】簡易絵本の構想を完成させ、土台となる用紙の制作をする。(40分) 【復習】簡易絵本のデータを指定箇所に提出する。(20~40分)</p> <p>9 【話題】ICT機器活用方法の概観とデジタル紙芝居について【情報機器活用】【概要】Society5.0とICT機器活用実践を概観し、なぜICT機器の活用が必要となるのかをディスカッションにより考える。</p>
------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

	<p>〈時間外学習〉 【予習】 幼児の身の回りにあるICT機器を書き出す。(20分) 【復習】 保育所・幼稚園におけるICT機器の活用場面や効果について、復習をしておく。</p> <p>10 【話題】 PowerPointの機能とデジタル紙芝居の構想【情報機器活用 5領域 全】 【概要】 デジタル紙芝居を作成するためのPowerPointの機能の解説と絵コンテを描く。</p> <p>〈時間外学習〉 【予習】 PowerPointの基本的な使い方を調べたり、思い出したりしておく。(40分) 【復習】 絵コンテを完成させる。(20～40分)</p> <p>11 【話題】 デジタル紙芝居の原版の描画・彩色【情報機器活用 5領域 全】 【概要】 絵コンテをもとに、デジタル紙芝居の原版となる原稿を描く。</p> <p>〈時間外学習〉 【予習】 絵コンテをもとに、下絵を描いておく。(50分) 【復習】 デジタル紙芝居の原版となる原稿を完成させる。(20～40分)</p> <p>12 【話題】 デジタル紙芝居の原版のデータ化と音声データの作成【情報機器活用 5領域 全】 【概要】 デジタル紙芝居の原版を電子データ化し、音声データを作成する。</p> <p>〈時間外学習〉 【予習】 セリフや効果音などの最終チェックをする。(30分) 【復習】 PowerPointデータを動画化し、指定期日までに指定箇所に提出する。(20～40分)</p> <p>13 【話題】 デジタル紙芝居の発表と使用方法・ねらい【情報機器活用 5領域 全】 【概要】 作成したデジタル紙芝居のいくつかの発表を通して、その使用場面やねらいを考える。</p> <p>〈時間外学習〉 【予習】 事前にデジタル紙芝居を見ておく。(50分) 【復習】 デジタル紙芝居作成の経験を通して、デジタル紙芝居のねらいや使用場面を考える。(20～40分)</p> <p>14 【話題】 いくつかのICT機器紹介と活用の可能性とICT活用のまとめ【情報機器活用 5領域 全】 【概要】 教育に使えるICT機器や活用方法を知る。</p> <p>〈時間外学習〉 【予習】 タブレットを保育現場で活用する場合、どのような使い方ができるか考える。(20～40分) 【復習】 今後の保育・教育現場におけるICT機器活用の可能性を考える。(20～40分)</p> <p>15 【話題】 教育の方法と技術に関する総まとめ【5領域 全 情報機器活用】 【概要】 教育の方法および保育・教育者に必要な技術について振り返りと今後の展望についても考える。</p> <p>〈時間外学習〉 【予習】 これまでの講義内容をふり返しておく。(30分) 【振り返り】 講義内容を振り返り、AAAに設定された最終レポートを指定期日までに提出する(必須課題・45分)。</p>
学修に関する留意事項	①最終レポートは、評価を付して返却する。②成績は、授業支援システムへの課題提出や制作物を重視するが、講義の振り返りとしての最終レポートが未提出の場合は、単位を認定しない。
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	
成績評価方法・基準	授業支援システムへの課題の提出と充実度(到達目標1) 30% 制作物の提出・仕上がり(到達目標2) 30% 最終レポート(振り返り)の提出と充実度(到達目標3) 40%
書名①	各回講義用資料を配布する
著者名①	
出版社①	
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	保育所保育指針(平成29年告示)、幼稚園教育要領(平成29年告示)、幼保連携型認定こども園教育・保育要領(平成29年告示)
参考URL	
特記事項	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2	2	選択
担当教員			
樹下のぞみ			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
講義	子ども学科	1C4133	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員</p> <p>■科目に関連した実務経験のある教員が担当している</p> <p>科目に関連した実務内容</p> <p>県の総合教育センターで教育相談（プレイセラピー）を行っている。</p> <p>アクティブラーニング要素</p> <p>■ディスカッション、ディベート</p> <p>■グループワーク</p> <p>□プレゼンテーション</p> <p>□実習、フィールドワーク</p>
テーマ	「カウンセリング」の学びを通して子どもの心理的理解を深める
到達目標	<p>1. カウンセリングの基礎知識を身につけ、カウンセリングマインドをもった関わりができる。</p> <p>2. 子どもや保護者理解に必要な心理学的知識や視点を活用できる。</p> <p>3. 自分も他者も一人のかけがえのない人として尊重し、人それぞれ固有の価値観や背景があることへ深い思慮をもつ。</p>
授業概要	様々な背景を抱えた子どもや保護者への支援を行うために必要となる心理的援助の知識、方法、技術について学び考えていく。また、人のこころに寄り添うためには自分について知ること必要であり、様々なディスカッションやワークを通して自分を振り返る。
授業計画	<p>#1 イントロダクションーカウンセリングマインドー 専門家としてカウンセリングを行うのではない、カウンセリングマインドをもった関わりについて学ぶ。 [ディスカッション] 普段の会話とカウンセリングマインドをもった関わりとの違いについて [時間外] 普段の生活でカウンセリングマインドを意識してみる (15分)</p> <p>#2 カウンセリングの基礎知識 カウンセラーに必要な3つの条件や、カウンセリングにおける約束事とその意味について学ぶ。 [ワーク] 「傾聴」を実践する [時間外] 学んだ約束事がないとどうなるかを想像してみたり、実体験を振り返る (15分)</p> <p>#3 カウンセリングの技法 様々なカウンセリングの技法について学ぶ。またカウンセリング（心の支援）の基盤となる人の心の構造について紹介する。 [ワーク] 心の構造を自分の心で考えてみる [時間外] 様々なカウンセリングがどのような場所で行われているか調べる (15分)</p> <p>#4 子どもの心理的発達 子どもの心理的発達について発達理論をいくつか紹介しながら（ピアジェ、ワロンなど）考える。 [グループワーク] 心理的発達の知識をもとにどんなかわりができるか話し合う [時間外] 大人の感覚で子どもたちを見ていないか振り返ってみる (15分)</p> <p>#5 子どもの抱える問題①「発達障害」 昨今話題になっている子どもの抱える問題について取り上げる。第1回は「発達障害」について。発達障害という言葉のなりたちや、そう総称される子どもたちの特徴を学ぶ。 [グループワーク] 素朴な感想を共有する [時間外] 子どもの発達障害をインターネットで検索し、関心の高まりに触れる (15分)</p> <p>#6 子どもの抱える問題②「虐待」 昨今話題になっている子どもの抱える問題について取り上げる。第2回は「虐待」について。虐待の種類や虐待の起こる背景、虐待による心の傷などを学ぶ。 [ワーク] 虐待について考えたことを自分の言葉でまとめる [時間外] 虐待を防ぐために自分が今できることを考える (20分)</p> <p>#7 困った行動をする子どもへの理解と支援 困った行動をする子どもを「困っている子」と捉え、どのような背景があるか理解しその支援について学ぶ。 [ディスカッション] 紹介した事例の子どもについて自分ならどのような支援ができそうか話し合う [時間外] 困った行動を具体的にいくつか挙げ、支援の方法について考える (20分)</p> <p>#8 個と集団についてー子どもと子どもの関係性ー 子どもたちは保育園・幼稚園、そして学校でと、集団の中で育つ。子ども一人一人への丁寧なまなざしだけでなく、集団へのまなざしも必要となる。心理学的な観点から個と集団について学ぶ。</p>

	<p>〔ディスカッション〕1対1と集団で子どもの見え方の違いについて体験を元に話す 〔時間外〕自分が集団の中で学んできたこと、身に付けてきたことを振り返る（10分）</p> <p>#9 自分を知るーパーソナリティについてー 様々な人格理論を紹介し、パーソナリティという切り口からの人間理解を学び、自分の考え方の癖や性格について知る。 〔ワーク〕性格特性の手がかりになりそうな簡単なテストをします 〔時間外〕自分と周囲の友人との考え方や価値観の違いを振り返ってみる（15分）</p> <p>#10 カウンセリング実習ー相談場面のロールプレイをしてみようー 模擬的な相談場面を設定してロールプレイを行う。 〔ワーク〕相談場面のロールプレイ 〔時間外〕ロールプレイを振り返って改善できるところを見つける（10分）</p> <p>#11 カウンセリング実習ー芸術療法を体験してみようー 実際に心理療法の場面でも使用される絵画療法の技法を体験する。 〔ワーク〕芸術療法の体験 〔時間外〕（ワークは心をつかうものなので）心と体を休める</p> <p>#12 保護者支援①ー子育ての社会史ー 社会の中で子育てがどのように変遷してきたかを紹介する。 〔ディスカッション〕素朴な感想を言い合う 〔時間外〕自分がどのような社会環境で育ってきたか調べる（10分）</p> <p>#13 保護者支援②ー現代の子育て支援ー 現代の子育てにおける問題や難しさ、情報化社会ならではのメリット・デメリット等を学び、その中でできる支援について考える。 〔グループワーク〕子育てしたいと思える社会について話し合い、保育者としてできることを挙げる 〔時間外〕子育てについて検索し、その多様な情報に触れる（10分）</p> <p>#14 チームでの支援と他機関との連携 子どもや保護者への心理的支援を行うためには、園全体でのチームとしての取り組みと、専門機関との連携が必須となる。内外でどのような連携ができるのか、必要なかを学ぶ。 〔グループワーク〕困った時に助けを求めるとはどのようなかアイデアを考える 〔時間外〕身近な専門機関について調べる（10分）</p> <p>#15 振り返りとまとめ これまでの授業を振り返りまとめる。最後にレポート試験を行います。</p>
学修に関する留意事項	毎回コメントカードを提出してもらうので、授業に関連するニュースやメディアなどに日々意識を向けておくこと。また子どもの発達などこれまでの授業で得た知識を振り返っておくこと。素朴な疑問をもつこと、積極的な質問を評価します。
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	コメントカードの内容は毎回次の授業の冒頭でフィードバックします。
成績評価方法・基準	試験（到達目標1, 2）50% 授業毎のコメントカード（到達目標1, 2, 3）40% 授業中の課題への取り組み（到達目標3）10%
書名①	
著者名①	
出版社①	
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	「子ども臨床とカウンセリング」伊藤健次（編）（2013）みらい 「子ども理解とカウンセリングマインドー保育臨床の視点からー」青木久子・間藤侑・河邊貴子（著）（2001）萌文書林 ※その他、適宜授業内で紹介します
参考URL	
特記事項	人のところは本当にさまざま、ひとつとして同じものではなく、時と場合によって色々変化するものです。ここに正解や不正解はありません。そんなところの理解には自分のところの理解が必要となります。まずは自分のところに耳を傾けることから始めてみましょう。みなさんの素朴な疑問や感想を大事にしたいと思っています。

講義科目名称： 子育て支援

授業コード： 54450A 54450B 54450C

英文科目名称： Childcare Support

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2	2	選択
担当教員			
河内 純子			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
演習	子ども学科	1C3236	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員</p> <p>■科目に関連した実務経験のある教員が担当している</p> <p>科目に関連した実務内容</p> <p>幼稚園教諭としての実務経験あり。また、未就園児の会の専任スタッフとしての経験あり。</p> <p>アクティブラーニング要素</p> <p>■ディスカッション、ディベート</p> <p>■グループワーク</p> <p>■プレゼンテーション</p> <p>□実習、フィールドワーク</p>
------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	様々な子育て家庭の状況を理解し、支援のスキルを学ぶ。
到達目標	1, 保育士の行う保育の専門性を背景とした保護者に対する支援の視点から、考えたり、実践したりしてより良い親子のかかわりについて理解する。 2, 様々な場や対象に即した支援の方法及び技術を実践やグループワーク、事例学習等を通して具体的に理解する。3, 考えたことをいろいろな手段を用いて表現することができ、他者にわかりやすく伝えることができる。
授業概要	いろいろな子育て家庭の状況を理解し、授業やグループワーク、時間外学習等の中で、具体的な支援の方法を考えたり、創ったり、体験したりして実践力を養う。
授業計画	<p>1 子育て・親育ちを支える子育て支援と保育者の専門性 時間外学習：保育所保育指針解説 第4章を読んでおく (30分)</p> <p>2 保育の場における子育て支援の特性 時間外学習：授業内容のまとめ (30分)</p> <p>3 現代の家庭・子育て状況と求められる支援 時間外学習：授業内容のまとめ (30分)</p> <p>4 とも育てを支える保育の場(園)における支援 時間外学習：振り返りシート作成 (30分)</p> <p>5 子育て・子育てを支える支援の計画・実践・評価について① 時間外学習：事例検討 (30分)</p> <p>6 子育て・子育てを支える支援の計画・実践・評価について② 時間外学習：事例検討とまとめ (30分)</p> <p>7 実習を通して(子育て支援の視点から)グループワーク 時間外学習：提出課題作成 (30分)</p> <p>8 地域の子育て家庭に対する支援 親子ふれあい遊びの計画① 時間外学習：ふれあい遊びの計画作成 (30分)</p> <p>9 保育参加と保育参観 親子ふれあい遊びの計画② 時間外学習：ふれあい遊びの計画作成 (30分)</p> <p>10 とも育てを支える相談支援の基礎 時間外学習：授業内容のまとめ (30分)</p> <p>11 気になる子ども・障がいのある子どもとその家族に対する支援 親子ふれあい遊びの計画・実践・評価① 時間外学習：遊びの計画シート作成 (30分)</p> <p>12 親子ふれあい遊びの計画・実践・評価② 時間外学習：遊びの計画及び評価シートの作成 (30分)</p> <p>13 親子ふれあい遊びの計画・実践・評価③ 時間外学習：遊びの計画及び評価シートの作成 (30分)</p> <p>14 特別な配慮を要する子どもとその家族に対する支援 時間外学習：授業内容のまとめ (30分)</p> <p>15 子ども虐待の予防と方法 まとめ 時間外学習：子育て支援についてのレポート作成 (1時間)</p>

学修に関する留意事項	子どもの最善の利益を目指し、子どもも大人も安心感や幸福感をもつことができるよう、保護者に寄り添った、心をつなぐ子育て支援をみんなで考えていきましょう。事例検討や遊びの実践等、グループワークでの具体的な学習を大切に、意欲的に意見を出し合いきましょう。
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	
成績評価方法・基準	授業の取り組み（到達目標1・2）30% グループワーク（到達目標2・3）20% 提出書類50%
書名①	シードブック 子育て支援演習 2019年度 新保育士養成課程 対応
著者名①	太田 光洋（編著）
出版社①	建帛社
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	平成29年度告示 幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領（原本）
参考URL	
特記事項	幼稚園教諭としての実務経験あり。また、未就園児の会の専任スタッフとしての経験あり。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2	2	選択必修
担当教員			
福西 朋子、山本 敦子、若井由美子、星合 智美、岡本加奈子、田端香代子、木下 和美、小柴 雅子、丸山 亮子、勝井 由紀、松江咲恵子			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
演習	子ども学科	1C4223	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員</p> <p>■科目に関連した実務経験のある教員が担当している</p> <p>科目に関連した実務内容</p> <p>アクティブラーニング要素</p> <p>■ディスカッション、ディベート</p> <p>■グループワーク</p> <p>■プレゼンテーション</p> <p>□実習、フィールドワーク</p>
------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	子どもの音楽表現活動を支え、展開できる音楽表現技術と実践方法の習得
到達目標	<p>1. 子どものリズム活動に対応できるピアノ表現技術とアレンジ方法の習得</p> <p>2. 子どもの歌唱活動を広げる弾き歌い技術、歌唱表現力の習得</p> <p>3. 子どもの音楽表現活動を展開するための方法と技術を学ぶ</p>
授業概要	<p>保育実践との関わりから子どもの歌唱活動やリズム活動を研究したり、新しい表現方法の可能性を探求したりする。</p> <p>実技レッスンではこれまでの学習を生かし、表現活動を創造的に展開するための歌唱およびピアノの技術を習得し、様々な楽曲のレパートリーを広げる。</p>
授業計画	<p>1 一斉授業 オリエンテーション 一斉授業：リズム表現活動と音楽表現技術1 保育とリトミック（勝井）</p> <p>2 実技レッスンと一斉授業 実技レッスン：課題（リズム曲、子どもの歌、ピアノ表現曲等）によるグループレッスン <時間外学修>下記「学修に関する留意事項」参照 一斉授業：リズム表現活動と音楽表現技術2 リズムと動き（勝井） <時間外学修>振り返りシートの作成（20分）</p> <p>3 実技レッスンと一斉授業 実技レッスン：課題（リズム曲、子どもの歌、ピアノ表現曲等）によるグループレッスン <時間外学修>下記参照 一斉授業：リズム表現活動と音楽表現技術3 リズム曲のアレンジ方法（勝井） <時間外学修>グループ別表現活動の準備（40分）</p> <p>4 実技レッスンと一斉授業 実技レッスン：課題（リズム曲、子どもの歌、ピアノ表現曲等）によるグループレッスン <時間外学修>下記参照 一斉授業：リズム表現活動と音楽表現技術4 グループ別リズム表現活動（勝井） <時間外学修>グループ別表現活動の振り返り（40分）</p> <p>5 実技レッスンと一斉授業 実技レッスン：課題（リズム曲、子どもの歌、ピアノ表現曲等）によるグループレッスン 一斉授業：歌唱表現活動と音楽表現技術1 子どもの成長発達と歌（木下） <時間外学修>下記参照</p> <p>6 実技レッスンと一斉授業 実技レッスン：課題（リズム曲、子どもの歌、ピアノ表現曲等）によるグループレッスン 一斉授業：歌唱表現活動と音楽表現技術2 保育者としての歌唱表現技術（木下） <時間外学修>下記参照</p> <p>7 実技レッスンと一斉授業 実技レッスン：課題（リズム曲、子どもの歌、ピアノ表現曲等）によるグループレッスン 一斉授業：歌唱活動と音楽表現技術3 子どもの歌の表現方法（木下） <時間外学修>下記参照</p> <p>8 実技レッスン 実技レッスン：課題（リズム曲、子どもの歌、ピアノ表現曲等）によるグループレッスン <時間外学修>下記参照</p> <p>9 一斉授業 歌唱活動と音楽表現技術4 合唱と独唱の楽しみ（木下）</p> <p>10 成果発表（歌唱とピアノ演奏の試験） <時間外学修>振り返りシートの作成（15分）</p>

	11	一斉授業 新しい表現方法の探求1 計画・練習・制作 (山本) <時間外学修>演奏技術の習得等 (30分)
	12	一斉授業 新しい表現方法の探求2 計画・練習・制作 (山本) <時間外学修>演奏技術の習得等 (30分)
	13	一斉授業 新しい表現方法の探求3 計画・練習・制作 (山本) <時間外学修>演奏技術の習得等 (30分)
	14	一斉授業 新しい表現方法の探求4 計画・練習・制作 (山本) <時間外学修>発表・まとめの準備 (30分)
	15	一斉授業 新しい表現方法の探求5 発表・まとめ (山本) <時間外学修>発表・まとめの振り返り (30分)
学修に関する留意事項		<時間外学修：実技レッスン> ・実技レッスンでは事前準備・練習(予習)と事後の振り返り(復習)を必ず行うこと。 <成績評価のポイント> ・実技レッスンでは取り組み状況(課題選曲内容、グループ学習の意識、計画性)も重視する。 ・一斉授業では、個々の創意工夫やグループでの共同の取り組みを重視する。
試験やレポート等の課題のフィードバック方法		フィードバックが必要な場合はAAAまたはペーパー等にて対応する。
成績評価方法・基準		授業の取り組み (到達目標1~3) 60% 実技試験 (到達目標1~2) 40%
書名①		保育・幼児教育のためのMusic Text
著者名①		高田短期大学音楽研究室
出版社①		
書名②		歌のカレンダー
著者名②		伊藤嘉子ほか 編
出版社②		エー・ティー・エヌ
書名③		
著者名③		
出版社③		
参考文献		
参考URL		
特記事項		・本科目では、音楽表現技術Ⅰ・Ⅱ、子どもと音楽Ⅰの学習内容をもとに授業展開していきます。 ・就職試験の音楽実技課題のレッスン等は、授業外でも対応しますので、随時相談してください。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2	2	選択必修
担当教員			
松山 智道			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
演習	子ども学科	1C4226	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員 <input type="checkbox"/> 科目に関連した実務経験のある教員が担当している</p> <p>科目に関連した実務内容</p> <p>アクティブラーニング要素 <input type="checkbox"/> ディスカッション、ディベート <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク</p>
------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	仏教の教えとまことの保育
到達目標	1. 仏教の教えとまことの保育の関連を理解している。2. 「生かされて生きている」いのちに目覚め、共に育ちあうことの大切さを知っている。3. 自分の価値観が普遍的でないことを知り、人として守り行うべき道について考え、それを実践することができる。
授業概要	子どもの育ちで大事なことは、自尊感情であり、自己肯定感や知的好奇心、社会力など、子ども自らが学び、育つ力を伸ばし培うことであるが、その基盤となるものが仏教保育であることを学ぶ。
授業計画	<p>1 はじめに（仏教と幼児教育・保育について） （時間外学習）テキスト全体を読んでおくこと。（随時）</p> <p>2 「まことの保育」の課題と保育の「質」 （時間外学習）講義の初めに前回の講義内容を確認するので、復習しておくこと。（15分）</p> <p>3 まことの宗教 （時間外学習）講義の初めに前回の講義内容を確認するので、復習しておくこと。（15分）</p> <p>4 「まことの保育」の必要性 （時間外学習）講義の初めに前回の講義内容を確認するので、復習しておくこと。（15分）</p> <p>5 「まことの保育」の理念 （時間外学習）講義の初めに前回の講義内容を確認するので、復習しておくこと。（15分）</p> <p>6 「まことの保育」の課程① （時間外学習）講義の初めに前回の講義内容を確認するので、復習しておくこと。（15分）</p> <p>7 「まことの保育」の課程② （時間外学習）講義の初めに前回の講義内容を確認するので、復習しておくこと。（15分）</p> <p>8 「まことの保育」の課程③ （時間外学習）講義の初めに前回の講義内容を確認するので、復習しておくこと。（15分）</p> <p>9 合同礼拝と行事① （時間外学習）講義の初めに前回の講義内容を確認するので、復習しておくこと。（15分）</p> <p>10 合同礼拝と行事② （時間外学習）講義の初めに前回の講義内容を確認するので、復習しておくこと。（15分）</p> <p>11 合同礼拝と行事③ （時間外学習）講義の初めに前回の講義内容を確認するので、復習しておくこと。（15分）</p> <p>12 まことの保育者の心得 （時間外学習）講義の初めに前回の講義内容を確認するので、復習しておくこと。（15分）</p> <p>13 まことの保育Q&A① （時間外学習）講義の初めに前回の講義内容を確認するので、復習しておくこと。（15分）</p> <p>14 まことの保育Q&A② （時間外学習）講義の初めに前回の講義内容を確認するので、復習しておくこと。（15分）</p> <p>15 実践上の課題 （時間外学習）講義の初めに前回の講義内容を確認するので、復習しておくこと。（15分）</p>
学修に関する留意事項	授業で講義する内容は、幼児教育や保育の現場で活用できるものです。どのように活用できるかを考えながら受講してください。後期中に時間外学習としてレポート等の作成を行います（2時間程度）。

試験やレポート等の課題のフィードバック方法	
成績評価方法・基準	授業に対する取り組み（到達目標1）10% 試験（到達目標1・2・3）90%
書名①	真宗の教えとまことの保育
著者名①	
出版社①	浄土真宗本願寺派保育連盟
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	授業の中で指示
参考URL	
特記事項	

講義科目名称：ゼミナールⅡ－B

授業コード：55900A 55900B 55900C

英文科目名称：Seminar Ⅱ－B

55900D 55900E 55900F

55900G 55900H 55900I

55900J 他2件

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2	2	必修
担当教員			
福西 朋子、山本 敦子、林 幹士、青木 信子、長倉 里加、松山 智道、尾高 慶彦、榊原 尉津子、亀澤 朋恵、權部 良子、中嶋 麻衣、古谷 淳			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
演習	子ども学科	1D4202	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員</p> <p><input type="checkbox"/>科目に関連した実務経験のある教員が担当している</p> <p>科目に関連した実務内容</p> <p>アクティブラーニング要素</p> <p><input type="checkbox"/>ディスカッション、ディベート</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>グループワーク</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>プレゼンテーション</p> <p><input type="checkbox"/>実習、フィールドワーク</p>
------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	保育や幼児教育に関する課題研究
-----	-----------------

到達目標	<p>1. 保育・幼児教育に関する課題研究に主体的に取り組むことができる。</p> <p>2. 課題の探求において、思考・判断・表現する力を高め、他者に論理的に伝達できる。</p> <p>3. 保育者、社会人になるための基礎能力を高め、自身の課題についても認識ができる。</p>
------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

授業概要	「ゼミナールⅡ－B」の発展科目として、保育や幼児教育に関する課題の研究と発表を行う。また、2年間の「総仕上げ期」でもあるため、社会に出る自覚を持ち、保育者、及び社会人として必要な基礎能力を高める。
------	----------------------------------------------------------------------------------------------------

授業計画	<p>1 オリエンテーション-2年次後期の計画と目標-</p> <p>2 保育者に求められる専門性と社会人としての基礎能力について 時間外学習：ワークシートの作成 (30分)</p> <p>3 社会人としての基礎力演習① -立案と計画- 時間外学習：ワークシートの作成 (30分)</p> <p>4 社会人としての基礎力演習② -チームワーク- 時間外学習：ワークシートの作成 (30分)</p> <p>5 課題研究演習B-① 研究テーマによる演習</p> <p>6 課題研究演習B-② 研究テーマによる演習</p> <p>7 保育現場での学びと課題① -保育者に求められる資質・能力について：グループワーク-</p> <p>8 保育現場での学びと課題② -保育者に求められる役割について：グループワーク-時間外学習： 保育現場での学びと課題についての小レポートの作成 (2時間)</p> <p>9 課題研究演習B-③ 研究テーマによる演習</p> <p>10 課題研究演習B-④ 研究テーマによる演習</p> <p>11 課題研究の成果発表準備① 時間外学習：研究成果の発表資料作成 (1時間)</p> <p>12 課題研究の成果発表準備② 時間外学習：研究成果の発表資料作成 (1時間)</p> <p>13 課題研究の成果発表① 時間外学習：成果発表についての小レポートの作成 (30分)</p> <p>14 課題研究の成果発表② 時間外学習：成果発表についての小レポートの作成 (30分)</p> <p>15 まとめ-2年間の学びのふりかえり- 時間外学習：2年間の学びについての小レポートの作成 (1時間)</p>
------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

学修に関する留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・本授業は、学生の自主的態度、能動的な取り組みを重視する。 ・課題の研究は、自ずと時間外学習が必要である。自ら、学びを深めるための学習を行うこと。 ・「ゼミナールⅡ-A」と本授業を通じて、各自、積極的に社会貢献活動、ボランティア活動を行うこと。
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	・小レポートは、コメントを付して返却する。
成績評価方法・基準	課題研究およびレポート作成（到達目標1、2）60% 授業・活動への取り組み（到達目標2、3）20% グループワーク（到達目標3）20%
書名①	必要に応じて、資料等を配付する。
著者名①	
出版社①	
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	
参考URL	
特記事項	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2	2	選択
担当教員			
福西 朋子、尾高 慶彦、伊藤 拓也			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
演習	子ども学科	1D4204	
添付ファイル			

授業種類	授業担当教員 <input type="checkbox"/> 科目に関連した実務経験のある教員が担当している 科目に関連した実務内容 アクティブラーニング要素 <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション、ディベート <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク
------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	2年間の学修の省察と幼児教育者・保育者としての実践力の習得
到達目標	1. これまでの学修の振り返りから自分なりの課題を把握できる。 2. 現代保育者の具体的実践力について理解し、最低限のものが身に付いている。 3. 協働的な取り組みや他者との交流を通して、保育実践や子どもの背景にある状況などへの視点を持ち、考察することができる。
授業概要	これまでの学修の振り返り、自己の課題について省察する。・使命感、責任感や教育的愛情の涵養・社会性や対人関係能力の育成・現場実習、現職職員による講義、グループディスカッション、発表などを通して、保育のあり方についての考えを深める
授業計画	1 オリエンテーション：本演習の目的、計画、評価 〈時間外学習：履修カルテの整理、課題への取組（60分）〉 2 保育職に就くにあたって、特別講義に向けた事前指導 〈時間外学習：特別講義受講のための事前課題への取組み（60分）〉 3 特別講義① 〈時間外学習：特別講義に関する課題（60分）〉 4 特別講義② 〈時間外学習：特別講義に関する課題（60分）〉 5 特別講義での学びの共有：グループ発表 〈時間外学習：グループ課題の発表準備、発表後の課題への取り組み（60分）〉 6 動画視聴を通じたエピソード分析 〈時間外学習：視聴を通じた個人課題への取組み（60分）〉 7 動画視聴を通じたエピソード分析 〈時間外学習：視聴を通じた個人課題への取組（60分）〉 8 動画視聴を通じたエピソード分析の共有とグループワーク 〈時間外学習：視聴を通じた個人課題及びグループワーク（60分）〉 9 動画視聴を通じたエピソード分析の共有とグループワーク 〈時間外学習：視聴を通じた個人課題及びグループワーク（60分）〉 10 エピソードに関するグループ発表準備 〈時間外学習：パワーポイント作成などの発表準備（60分）〉 11 エピソードに関するグループ発表 〈時間外学習：発表データの作成と個人課題（60分）〉 12 エピソードに関するグループ発表 〈時間外学習：発表データの作成と個人課題（60分）〉 13 2年間を通じた実習の振り返りと自己課題の検討 〈時間外学習：日誌等を活用した振り返りと分析（60分）〉 14 2年間を通じた実習の振り返りと自己課題の検討 〈時間外学習：日誌等を活用した振り返りと分析（60分）〉 15 まとめ 〈時間外学習：履修カルテ作成及び課題への取組（60分）〉

学修に関する留意事項	2年間の学びの集大成となる科目です。履修カルテ等で自己の学びに履歴を十分復習した上で積極的に授業に臨んでください。特別講義と動画視聴に関しては、協力していただく各市の関係者や園との調整の上で実施されます。
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	
成績評価方法・基準	期末課題（到達目標3）50% 小レポート（到達目標1,2）30% 授業での取り組み（到達目標1,2,3）20%
書名①	特に指定しません
著者名①	
出版社①	
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	特に指定しません
参考URL	
特記事項	

講義科目名称： 保育実習Ⅱ

授業コード： 56420A

英文科目名称： Teaching Practice Ⅱ

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2	2	選択
担当教員			
尾高 慶彦			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
実習	子ども学科	1E4408	
添付ファイル			

授業種類	授業担当教員 <input type="checkbox"/> 科目に関連した実務経験のある教員が担当している 科目に関連した実務内容 アクティブラーニング要素 <input type="checkbox"/> ディスカッション、ディベート <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input checked="" type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク
------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	保育所における参加・部分・責任実習など
到達目標	1. 保育実習Ⅰの学びを活かして、保育所保育の基本を理解する。2. 乳幼児が自発的な活動を行うための環境構成及び援助の在り方を学ぶ。3. 個性・特徴を理解した上で、計画の立案や活用方法を学び、保育活動を実践する。4. 家庭や地域と連携を図りながら、保育に携わる保育所の実態に触れる。5. 得た理論を自ら応用しながら実践することを通して、保育士としての専門性や資質を理解し、自らの保育観・児童観を持つようになる。
授業概要	本実習では、保育実習Ⅰの経験や学内で学習した内容を活かしながら、保育所における保育実践を体験することをねらいとする。また、乳幼児の実態に即した指導計画の作成・環境構成・指導の実際について体験を通して学び、反省と評価を繰り返しながら、保育所保育の実際を総合的に学ぶ。
授業計画	1 1) 実習先および期間実習園：原則として学生の出身地域の公立・私立保育所期間：2024年11月5日（火）～11月16日（土）おおむね10日間2) 事前訪問・オリエンテーションの内容 ①園の概要・保育方針・保育課程（年間指導計画、週案、日案、主な行事等） ②実習生としての心構えとマナー（職務・服装・持ち物・態度・その他留意点等） ③実習の流れ（乳幼児の実態、乳幼児への関わり方、安全配慮等の留意点等） 3) 実習内容（園によって多少違いがある） ①乳幼児の様子を観察し、子どもの発達を理解する。 ②保育所での勤務を体験しながら、保育士の職務の実際を学ぶ。 ③指導保育士の指導を受けて、参加実習・部分実習を体験する。 ④部分実習・責任実習の指導案を書き、乳幼児への指導の実際を体験する。 ⑤降園後、環境整備や翌日の環境構成の手伝いを積極的に行い、1日の実習を反省する。 ⑥実習日誌を書き、翌日指導保育士に提出して指導を受ける。
学修に関する留意事項	保育実習指導Ⅱの学びを活かして、事前準備・事後学習に努めることを望みます。指定された書類が期限内に提出されない場合は実習に行くことができません。※指定された実習日数の3分の1欠席があった場合、実習を中止することがあります。
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	
成績評価方法・基準	実習園の実習評価70% 実習日誌30%
書名①	『実習の心得』
著者名①	
出版社①	
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	平成29年告示 幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領 原本
参考URL	
特記事項	2年間の最終実習であるため、明確に課題を持ち、集大成として実り多い実習になるよう積極的に行ってください

い。また、責任実習等では、乳幼児の姿に基づいて綿密な立案をし、日々の園生活の流れを重視しながら充実した保育ができるように、意欲的に取り組んでください。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2	1	選択
担当教員			
尾高 慶彦			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
演習	子ども学科	1E4207	
添付ファイル			

授業種類	授業担当教員 <input type="checkbox"/> 科目に関連した実務経験のある教員が担当している 科目に関連した実務内容 アクティブラーニング要素 <input type="checkbox"/> ディスカッション、ディベート <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク
------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	保育実習Ⅱ（保育所）に関する事前・事後学習
到達目標	1. 保育実習Ⅱの意義・目的・内容を理解し、自己課題を明確化する。2. 実習における援助・実践の方法及び心構えを主体的に取り組み理解する。3. 実習後の総括及び自己評価を通して、2年間の実習を振り返り自己省察をする。
授業概要	本授業では、保育実習Ⅰの経験や学びを活かして、保育所保育の基本、園児の実情に応じた保育士の援助や環境構成の在り方、立案・実践の方法などを総合的に理解することで、保育実習Ⅱの目的や意義を学ぶことをねらいとする。加えて、実習の心構えや望ましい実習態度についても学習する。また、実習終了後に本実習を振り返ると同時に2年間の実習成果と自己課題を認識することも併せてねらいとする。
授業計画	1 保育実習Ⅱの意義と目的 時間外学習：保育実習Ⅱに関する課題の作成(30分)、テキスト第4章を読んでおくこと(30分) 2 保育実習Ⅱにおける指導計画の立案(1)・模擬保育の指導案の作成 時間外学習：部分実習指導案の作成(2時間) 3 保育実習Ⅱにおける指導計画の立案(2)・模擬保育実施のためのグループワーク 時間外学習：模擬保育実践の計画・準備(1時間) 4 保育実習Ⅱにおける指導計画の立案と実践(1)・模擬保育の実施 時間外学習：模擬保育の振り返りシートの作成(1時間) 5 保育実習Ⅱにおける指導計画の立案と実践(2)・模擬保育の実施 時間外学習：模擬保育の振り返りシートの作成(1時間) 6 保育実習Ⅱにおける指導計画の立案と実践(3)・模擬保育の実施 時間外学習：模擬保育の振り返りシートの作成(1時間) 7 保育実習Ⅱの事後指導における総括と自己評価 時間外学習：実習を行ったことに対する振り返りシートの作成(1時間) 8 保育現場で求められる保育実践力 時間外学習：保育職に就くにあたり、将来に向けた振り返りシートの作成(1時間)
学修に関する留意事項	本授業では、保育実習Ⅱの実施に向けて模擬保育、グループワークを行います。そのため主体的・積極的に取り組む姿を評価します。時間外学習として授業前に『実習の心得』の熟読と復習を積極的に行ってください。また上記の他に、次の2つのガイダンスを行うので、必ず参加してください。ガイダンス①事前訪問説明 事前訪問に際してガイダンス②実習直前指導 実習前の最終確認
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	
成績評価方法・基準	グループワーク(到達目標1.2.3)40% 課題への取り組み(到達目標1.2.3)60%
書名①	『実習の心得』
著者名①	
出版社①	
書名②	
著者名②	

出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	平成29年告示 幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領 原本、保育実習・教育実習
参考URL	
特記事項	2年間最後の実習として、本授業を通じて、実習に臨む基礎知識の講義及び模擬保育を行いますので理解を深めてください。また、保育士資格に必須の科目が3科目以上不可の場合や「実習にあたって」「事前訪問報告書」が片方でも未提出の場合は不可となり、実習に行くことはできません。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2	2	選択
担当教員			
福西朋子 中嶋麻衣 谷慶子			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
演習	子ども学科	1F4200	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員</p> <p>■科目に関連した実務経験のある教員が担当している</p> <p>科目に関連した実務内容</p> <p>自然体験活動総括指導者（NEALコーディネーター）による演習</p> <p>アクティブラーニング要素</p> <p><input type="checkbox"/>ディスカッション、ディベート</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>グループワーク</p> <p><input type="checkbox"/>プレゼンテーション</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>実習、フィールドワーク</p>
------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	自然と子どもをつなぐ保育の探求
到達目標	<p>1. 自然体験活動を行うための知識・技術を習得する</p> <p>2. 保育における自然体験や自然あそびの実践力を身につける</p> <p>3. 自ら自然に触れ、実体験を通してセンス・オブ・ワンダー（美しもの、未知なもの、神秘的なものに目を見る感性）を育む心を理解する</p>
授業概要	自然と子どもをつなぐ保育について自然体験活動や自然あそびを実践することを通して理解を深める。また、自然体験活動指導者（NEAL）資格取得を目指すことで保育者に求められる知識・技術を習得するとともに保育の場に応じた活動内容・方法を考え実践する力を身につける。
授業計画	<p>1 ガイダンス：授業計画について・NEAL資格について 自然体験活動指導者認定制度の仕組みとNEALリーダーの役割の理解 ・自然保育のイメージ共有…個人ワーク・グループワーク ・保育者の在り方・心構え…プレゼンテーション</p> <p>2 【NEAL資格】自然体験活動の特質1 地域の自然体験活動の特色を理解する ・講義 ・フィールドワーク</p> <p>3 【NEAL資格】自然体験活動の特質2 自然体験活動の意義と課題を理解する ・講義 ・ディスカッション</p> <p>4 【NEAL資格】自然体験活動の安全管理1 自然体験活動における基本的な安全管理を理解 ・講義 ・グループワーク</p> <p>5 【NEAL資格】自然体験活動の技術1 様々な自然体験のプログラムを体験する。プログラムの流れ構成を理解する ・フィールドワーク ・講義</p> <p>6 【NEAL資格】自然体験活動の技術2 様々な自然体験のプログラムを体験する ・フィールドワーク ・講義</p> <p>7 【NEAL資格】自然体験活動の技術3 様々な自然体験活動にはそれぞれ必要な基本的な技術や適切な活動場所があることの理解 ・フィールドワーク ・講義</p> <p>8 【NEAL資格】自然体験活動の安全管理2 応急処置を理解する ・講義 ・実習（ファーストエイドなど）</p> <p><時間外学習>認定試験準備（60分）</p> <p>9 【NEAL資格】認定試験 筆記試験・レポート</p> <p>10 三重県における自然保育 <時間外学習>小レポート作成（60分）</p> <p>11 自然保育実践演習1（演習説明） 自然体験活動のアクティビティデザインについて理解する ・講義 ・グループワーク</p> <p>12 自然保育実践演習2（グループワーク）</p>

	<p><時間外学習>グループで実践内容を計画する (60分)</p> <p>13 自然保育実践演習3 (グループワーク) <時間外学習>グループで実践準備を行う (60分)</p> <p>14 自然保育実践演習4 (発表・評価) <時間外学習>グループワークのふりかえりレポート (60分)</p> <p>15 まとめ 授業の振り返り 実践するための行動目標 (宣言) づくり グループワーク・プレゼンテーション</p>
学修に関する留意事項	<p>① 自然体験活動指導者 (NEAL) 資格取得は幼稚園教諭免許または保育士資格を取得見込みである学生に限り ます。</p> <p>② 自然体験活動指導者 (NEAL) 資格取得に必要な授業回 (第1回～第8回) を欠席すると認定試験 (第9回) の 受験ができません。また当該資格は本科目の単位が認定されなければ取得できません。</p> <p>③ 屋外での演習の際は次の服装・持ち物等で参加すること 長袖、長ズボン、帽子、タオル、飲み物、運動靴、軍手持参</p> <p>④時間外学習「各回振り返りシート作成」 (20分)</p>
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	試験や小レポート、グループワークシートなどにはコメントを付して返却する
成績評価方法・基準	<p>① 授業の取組み (到達目標1.2.3) : 40%</p> <p>② グループワーク・グループ発表 (到達目標1・2) : 30%</p> <p>③ 小レポート (到達目標2・3) : 10%</p> <p>④ NEAL資格認定試験 (到達目標1) : 20%</p>
書名①	自然体験活動指導者養成講習会 参加者用テキスト ～自然体験活動指導者 (リーダー) 版～
著者名①	全国体験活動指導者認定委員会 自然体験活動部会
出版社①	NPO法人 自然体験活動推進協議会
書名②	自然体験活動指導者 安全管理ハンドブック
著者名②	NPO法人 自然体験活動推進協議会
出版社②	NPO法人 自然体験活動推進協議会
書名③	センス・オブ・ワンダー
著者名③	レイチェル・カーソン
出版社③	新潮社版
参考文献	<p>キャンプ指導者入門 著者：日本キャンプ協会指導者養成委員会 出版：公益財団法人日本キャンプ協会</p> <p>自然体験指導者 安全管理ハンドブック 著者：NPO法人 自然体験活動推進協議会</p> <p>身近な自然を活かした保育実践とカリキュラム 著者：松本信吾 出版：中央法規</p> <p>森とこどものための本 著者・出版：NPO法人 森のようちえん全国ネットワーク連盟</p> <p>自然*植物 あそび一年中 著者：出原 大 出版：Gakken</p>
参考URL	<p>https://neal.gr.jp/about.html</p> <p>https://cone.jp/</p> <p>https://www.safetyoutdoor.net/</p> <p>https://camping.or.jp/</p> <p>https://shizenhoiku.com/</p> <p>https://morinoyouchien.org/</p>
特記事項	<p>実践を多く用いた授業になります。体験活動を通して主体的に関わり、知識や技術を身に着け実践に繋がる授 業を目指します。</p> <p>自然と人と自分との対話を重ねながら、共に育ち合い学びを深めていく授業を一緒に創っていきましょう。</p>

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2	2	選択
担当教員			
青木信子 河内純子			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
演習	子ども学科	1F4201	
添付ファイル			

授業種類	授業担当教員 <input type="checkbox"/> 科目に関連した実務経験のある教員が担当している 科目に関連した実務内容 アクティブラーニング要素 <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション、ディベート <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input checked="" type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク
------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	現代の子育て支援を理解し、支援活動について実践的に学ぶ。
到達目標	1. 現代の子育ての現状、及び子育て支援の意義と必要性を理解する。 2. 実際の子育て支援活動への参画を通じて、実践力とともに計画力を修得する。
授業概要	現代の子育て家庭を取り巻く社会状況と子育ての現状を概観し、保育者の行う保育の専門性に基づく子育て支援の必要性、及び保護者に対する支援の具体的な展開過程とその実際を学ぶ。また、実際の子育て支援活動に参画し、支援の計画・準備・実践・振り返りを行う。
授業計画	第1回 オリエンテーション [時間外学習] 授業内容の整理 (1時間) 第2回 子育て支援の理念とその機能・役割 [時間外学習] 授業内容の整理 (1時間) 第3回 活動の準備① [時間外学習] 授業内容の整理 (1時間) 第4回 子育て支援活動の実践① [時間外学習] 授業内容の整理 (1時間) 第5回 活動の振り返り① [時間外学習] 授業内容の整理 (1時間) 第6回 活動の準備② [時間外学習] 授業内容の整理 (1時間) 第7回 子育て支援活動の実践② [時間外学習] 授業内容の整理 (1時間) 第8回 活動の振り返り② [時間外学習] 授業内容の整理 (1時間) 第9回 活動の準備③ [時間外学習] 授業内容の整理 (1時間) 第10回 子育て支援活動の実践③ [時間外学習] 授業内容の整理 (1時間) 第11回 活動の振り返り③ [時間外学習] 授業内容の整理 (1時間) 第12回 活動の準備④ [時間外学習] 授業内容の整理 (1時間) 第13回 子育て支援活動の実践④ [時間外学習] 授業内容の整理 (1時間) 第14回 活動の振り返り④ [時間外学習] 授業内容の整理 (1時間) 第15回 まとめ [時間外学習] 授業内容の整理 (1時間)
学修に関する留意事項	

試験やレポート等の課題のフィードバック方法	
成績評価方法・基準	実践への参加と準備及び振り返りレポート(到達目標1.2) 80% 授業態度(到達目標1.2) 20%
書名①	
著者名①	
出版社①	
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	
参考URL	
特記事項	

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2	2	選択
担当教員			
浦中浩一			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
演習	子ども学科	1F4202	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員 <input type="checkbox"/>科目に関連した実務経験のある教員が担当している</p> <p>科目に関連した実務内容 保育士としての実務経験あり</p> <p>アクティブラーニング要素 <input checked="" type="checkbox"/>ディスカッション、ディベート <input checked="" type="checkbox"/>グループワーク <input type="checkbox"/>プレゼンテーション <input checked="" type="checkbox"/>実習、フィールドワーク</p>
テーマ	保育現場に活用できる知識や技術を学ぶ。
到達目標	(1) 子どもの発達と絵本、5領域を通してあそび等に関する知識と技術を学ぶ。(2) 子どもとあそびについての理解 (3) 子どもの経験や様々な表現活動を結ぶあそびの展開についての知識と技術を習得する。(4) 保育現場でのあそび、表現活動について学ぶ。
授業概要	1年生時の選択授業「子どもとあそび」の授業をより保育現場に近づけた内容。実際に作った保育教材をどのように使用するか?の解説、演習。 「今」の保育について、保育所保育指針等を使用しながら進めていく。
授業計画	<p>1 子どもの発達と言葉遊びの特性/授業の説明とあそびについてのグループワーク 内容：15回の授業説明を中心に行います。 時間外学習：言葉遊びの資料収集と演じ方の練習(30分)</p> <p>2 子どもの発達・シアターの特性と理解：<製作> 内容：実際に教材を作り、「楽しい」「面白い」「嬉しい」のきっかけ作りからの保育現場での利用について学ぶ 時間外学習：シアターの特性・理解、次回の授業準備(1時間)</p> <p>3 子どもの発達とシアターの特性と理解<制作・発表について> 内容：2回目の授業で学んだことから製作を行う 時間外学習：シアターの理解(30分)</p> <p>4 子どもの発達とシアターの特性と理解<発表> 内容：グループ発表 時間外学習：シアターの理解(30分)</p> <p>5 子どもの発達と造形遊びについての特性と理解1<水性ペンを使った表現方法> 内容：造形遊びとは何かについて学び、実際に保育現場で行うにはどうしていけばいいかを考える 時間外学習：グループ別プレゼンテーションの準備・練習(1時間)</p> <p>6 子どもの発達と造形遊びについての特性と理解2<水性ペンを使った表現方法> 内容：前回の授業から実際に子どもたちと共々制作することを想定し活動する 自然物を使ったものなど保育現場を意識したものを制作予定 時間外学習：グループ別プレゼンテーションの準備・練習(1時間)</p> <p>7 子どもの発達と造形遊びについての特性と理解3<水性ペンを使った表現方法> 内容：実際に作ったものを発表。保育現場での応用等も説明する。 時間外学習：グループ別プレゼンテーションの準備・練習(1時間)</p> <p>8 子どもの発達とシアターあそび、行事についての特性と理解1 内容：ペープサート(ストロー人形)の理解を深める/グループで制作をし物語を作る 時間外学習：グループ別プレゼンテーションの準備・練習(1時間)</p> <p>9 子どもの発達とシアターあそび、行事についての特性と理解2 内容：グループで制作したものを発表に向けての準備 製作 時間外学習：グループ別プレゼンテーションの準備・練習(1時間)</p> <p>10 子どもの発達とシアターあそび、行事についての特性と理解3 内容：グループでの発表 時間外学習：保育現場の理解、環境、年齢に合わせた内容を考える。次回の授業準備(1時間)</p> <p>11 子どもの発達あそびの特性と理解1(模倣あそび1) 内容：忍者遊びを通して模倣遊びの楽しさを学ぶ 使用テキスト：1年生の時に使用した「保育園・幼稚園で2歳からたのしい忍者あそびがいっぱい」 時間外学習：グループ別プレゼンテーションの振り返り、次回の授業準備(1時間)</p>

	12	子どもの発達あそびの特性と理解2（模倣あそび2） 内容：どのような展開で模倣遊びが楽しめるのか？を学ぶ（製作） 使用テキスト：1年生の時に使用した「保育園・幼稚園で2歳からたのしい忍者あそびがいっぱい」 時間外学習：保育現場について、環境についての理解（30分）
	13	子どもの発達あそびの特性と理解3（模倣あそび3） 内容：グループ発表 使用テキスト：1年生の時に使用した「保育園・幼稚園で2歳からたのしい忍者あそびがいっぱい」 時間外学習：保育現場について、環境についての理解（30分）
	14	子どもの発達とあそび歌・絵本の特性と理解1 内容：あそび歌を通して保育現場でのあそびの展開を学ぶ 時間外学習：グループ別プレゼンテーションの振り返り、次回の授業準備（1時間）
	15	学習の総まとめ 時間外学習：学習の振り返り（30分）
学修に関する留意事項	実践に近い製作・実技・演習・グループでの発表があります。実際に保育現場で働くことを目的に行います。 ●教材製作について必要な教材を各自準備していただきます。詳しくは1回目の授業で説明します。●評価のポイント、授業への参加態度を重視する。実践向けのあそびへの積極的参加、忘れ物、提出物、授業への取り組み等●シラバスの内容通り進めていく予定ですが、準備物等により若干の変更等がある場合もあります、その都度授業でお知らせします。	
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	その都度対面にてフィードバック、またはAAAにて行う。	
成績評価方法・基準	授業への参加態度（1.2.3）55% ミニレポート／製作物提出（1.2.3）15% グループワーク（1.3）20% 確認テスト（2.3）10%	
書名①	1年中つくれる！0～5歳児の制作・造形あそび	
著者名①	浦中こういち	
出版社①	ナツメ社	
書名②		
著者名②		
出版社②		
書名③		
著者名③		
出版社③		
参考文献	保育所保育指針解説、幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領、子どもがおしえてくれましたほんとうの本のおもしろさ 使用テキスト：1年生の時に使用した「保育園・幼稚園で2歳からたのしい忍者あそびがいっぱい」（著：浦中こういち／かもがわ出版）	
参考URL		
特記事項	子どものことを中心に考え、実際に保育現場に立つことを考えた授業となります。積極的な授業参加を求めます。楽しく学びましょう。現在、絵本作家／あそび作家として活動しております。絵本作家として活動をしながら、あそび作家として、全国各地の保育園、幼稚園、こども園、福祉施設等でのあそびライブ、造形ワークショップ、保育士、幼稚園教諭の研修会などの講師を務める。保育士としての実務経験あり。	

講義科目名称： 人生と仏教 I

授業コード： 50000C

英文科目名称： Life and Buddhism I

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1	2	必修
担当教員			
清水谷 正尊			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
講義	キャリア育成学科	2A1101	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員</p> <p>■科目に関連した実務経験のある教員が担当している</p> <p>科目に関連した実務内容</p> <p>アクティブラーニング要素</p> <p><input type="checkbox"/>ディスカッション、ディベート</p> <p><input type="checkbox"/>グループワーク</p> <p><input type="checkbox"/>プレゼンテーション</p> <p><input type="checkbox"/>実習、フィールドワーク</p>
------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	積尊の生涯とその教え
到達目標	1. 積尊の生涯とその教えを理解している。2. 教育の理念である「やわらか心」を理解し、あらゆるいのちの平等・尊厳に深く思い至ることができる。3. 「生かされて生きている」ことに感謝し、他を生かす活動の大切さを知っている。
授業概要	積尊の生涯とその教えを学ぶことを通して、人間とは何か、人間としていかに生きるべきかという視点から人生を考える。
授業計画	<p>1 はじめに（宗教とカルト）</p> <p>2 積尊の生涯 1 <時間外学習>講義初めに前回講義の内容を確認するので、前回の講義の復習をしておくこと。 (30分)</p> <p>3 苦しみとその原因 <時間外学習>講義初めに前回講義の内容を確認するので、前回の講義の復習をしておくこと。 (30分)</p> <p>4 苦しみの解決 <時間外学習>講義初めに前回講義の内容を確認するので、前回の講義の復習をしておくこと。 (30分)</p> <p>5 縁起 <時間外学習>講義初めに前回講義の内容を確認するので、前回の講義の復習をしておくこと。 (30分)</p> <p>6 積尊の生涯 2 <時間外学習>講義初めに前回講義の内容を確認するので、前回の講義の復習をしておくこと。 (30分)</p> <p>7 仏教行事（宗祖降誕会、5月20日）</p> <p>8 積尊の最後 <時間外学習>講義初めに前回講義の内容を確認するので、前回の講義の復習をしておくこと。 (30分)</p> <p>9 四諦八正道（1） <時間外学習>講義初めに前回講義の内容を確認するので、前回の講義の復習をしておくこと。 (30分)</p> <p>10 四諦八正道（2） <時間外学習>講義初めに前回講義の内容を確認するので、前回の講義の復習をしておくこと。 (30分)</p> <p>11 仏教行事（灌仏会、6月17日）</p> <p>12 大乘仏教 <時間外学習>講義初めに前回講義の内容を確認するので、前回の講義の復習をしておくこと。 (30分)</p> <p>13 積尊の生涯 3 <時間外学習>講義初めに前回講義の内容を確認するので、前回の講義の復習をしておくこと。 (30分)</p> <p>14 積尊の教え <時間外学習>講義初めに前回講義の内容を確認するので、前回の講義の復習をしておくこと。</p>

	15 (30分) まとめ
学修に関する留意事項	授業で講義する内容は、日常生活の中でも確認できるものです。自分の日常生活の中で、仏教的な考え方を実践してみてください。前期中に時間外学習としてアンケートやレポート等の作成を行います。
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	
成績評価方法・基準	授業に対する取り組み (到達目標1) 10% 試験 (到達目標1・2・3) 90%
書名①	仏教を読むー釈尊のさとり親鸞のおしえー
著者名①	上山大峻
出版社①	本願寺出版社
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	授業の中で指示
参考URL	
特記事項	「仏教なんて自分には関係がない」と考えている人が多いと思いますが、授業を通して、実は自分に関係のある身近な教えであることが分かってもらえると思います。人間として生きていく上で大切なものは何か、一緒に考えていきましょう。真宗高田派専修寺鑑学及び青巖寺住職としての実務経験があります。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1	2	選択必修
担当教員			
鷲尾 敦			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
演習	キャリア育成学科	2A1203	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員</p> <p>■科目に関連した実務経験のある教員が担当している</p> <p>科目に関連した実務内容 システムエンジニア</p> <p>アクティブラーニング要素</p> <p><input type="checkbox"/>ディスカッション、ディベート</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>グループワーク</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>プレゼンテーション</p> <p><input type="checkbox"/>実習、フィールドワーク</p>
テーマ	パソコンやネットワークを学習の道具として活用できる能力を身につける
到達目標	<p>1. 基本ソフトWindowsの役割を知り、環境設定やPCの管理ができ、ノートPCを有効に活用できる</p> <p>2. 画像や動画などの様々な形式のメディアの扱いやそれらのファイルを管理することができる</p> <p>3. テーマに則したプレゼン資料やポスタなどの作品をパソコンで制作することができる</p>
授業概要	ICTを活用して本学での学習ができるよう、学内ネット環境の使い方、ノートPCの取り扱い方、基本ソフトWindowsの基礎を学びます。利用する過程で皆さんが遭遇する課題を相互に出し合いながら解決していきます。プレゼン作品やポスタ作品、教材作品などの制作を通して、画像、音声などの各種メディアの取り扱い方の基礎能力と表現力をつけ、PCを学習に活用する能力と姿勢を身につけます。
授業計画	<p>1 授業ガイダンスと学習環境、ノートPCについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ガイダンス：授業内容、評価の方法など ・学習環境：学内ネットワーク、AAA, Classroom等の使い方 ・ノートPC：利用方法、インタフェース、キーボード、パッドジェスチャー、マニュアル、追加周辺機器 <p>PCネットワーク利用のマナー ＜時間外学習＞マニュアル・教科書・配付資料の閲覧（30分）</p> <p>2 本学メールの使い方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メールの送受信、返信、添付メール、携帯とのメール ・メールの作法（CC, BCC、署名）、メールの管理、署名の作成方法 <p>＜時間外学習＞メール課題、配布資料の閲覧（30分）</p> <p>3 ノートパソコンの基本とファイル管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハードウェアの確認 ・Windows11の基本操作：デスクトップ画面の名称と利用方法、アプリの起動、ウィンドウ操作、仮想デスクトップ ・エクスプローラによるファイル管理 <p>フォルダの管理とエクスプローラの操作（ドキュメント、学内共有、USB間のファイル操作） USBメモリの取り扱い ＜時間外学習＞教科書・資料の閲覧（30分）</p> <p>4 インターネットの活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ブラウザソフトEdgeの利用：閲覧、お気に入り登録、お気に入りバー ・URLの見方と意味 ・Google検索 ・学修に関する様々なサイト <p>＜時間外学習＞紹介したサイトの閲覧（30分）、教科書・資料の閲覧（30分）</p> <p>5 PowerPoint 基本 ポスタ制作</p> <p>事例紹介（ポスタ、プレゼン、ゲーム、電子紙芝居・絵本、教材） ポスタ発表とは（説明とポスタ設定）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パワーポイントの説明：図形・テキストボックスの挿入と編集、文字入力と編集 ・画像の挿入・加工（トリミング、加工）、スマートアート <p>・ポスタ課題の説明「学んできたことを伝える」 ＜時間外学習＞ポスター課題制作（60分）、配布資料の閲覧（20分）</p> <p>6 PowerPoint 基本 ポスタ制作</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パワーポイント補足説明 ・ポスター課題制作 ・ポスタのPDF化と印刷 <p>＜時間外学習＞ポスター課題（60分）、配布資料の閲覧（20分）</p> <p>7 アプリの利用とアプリケーションのインストール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Windowsにおけるアプリの入手方法

	<ul style="list-style-type: none"> ・インストール事例：terapad、ほか ・カメラアプリの利用 ・フォトアプリの利用 ・写真ファイルのタグ情報とプロパティ ・位置情報とGoogleマップ ・インストール課題について：GIMP, GoogleChrome, LINE <p><時間外学習>配布資料の閲覧(20分)、アプリインストール課題(30分)</p>
8	<ul style="list-style-type: none"> ・様々なアプリの利用 ・フォトレタッチソフトGIMP の利用 写真の様々な加工、合成 ・音声編集ソフト等 ・課題説明 <p><時間外学習>アプリの利用課題(60分)</p>
9	<p>プレゼンテーション資料作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アウトラインによる骨格作り ・制作方法：テキストボックス編集（行頭文字、段落番号、行間、フォント、インデント）、レイアウト変更 デザイン・各スライドの背景等、画面切り替え ・プレゼン課題の説明と先輩作品事例の紹介 <p><時間外学習>プレゼン課題テーマ検討、情報収集(60分)</p>
10	<p>プレゼンテーション資料作成の続き</p> <ul style="list-style-type: none"> ・制作説明補足 動きの設定(画面切替効果、アニメーション設定、音声、ビデオ) ハイパーリンク、印刷、ノート形式、発表支援、 ・課題制作 <p><時間外学習>プレゼン課題制作(90分)</p>
11	<p>プレゼンテーション資料作成とプレゼン動画制作</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相互評価について ・評価ルーブリック説明 ・発表ツールの使い方 ・プレゼン動画の制作方法 <p><時間外学習>発表練習、プレゼン動画制作(120分)</p>
12	<p>課題プレゼンテーション(グループ内発表)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループ分け ・発表と評価方法について説明 ・グループ内発表と評価コメント ・資料の提出 <p><時間外学習>発表の振り返りルーブリック、プレゼン動画制作(60分)</p>
13	<p>教材作品(コンテンツ)制作</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題について ・作品事例 ・教材コンテンツの作り方 パワーポイントの動き(アニメーション設定)、ボタンの機能付け(ハイパーリンク、スライド移動、音声等) <p><時間外学習>課題テーマ検討、ストーリーボード制作(90分)</p>
14	<p>教材作品(コンテンツ)制作</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題制作 <p><時間外学習>課題制作(120分)</p>
15	<p>教材作品(コンテンツ)制作</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材制作 ・グループ内発表 ・相互評価 ・振り返り
学修に関する留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・課題提出のメ切に間に合うよう、計画を立てて、制作を進めましょう。 ・普段から、様々な学習や趣味、活動において、積極的にノートPCを活用してください。その際、利用方法について疑問があれば、積極的に授業で質問しましょう。 ・毎回の授業の最後に授業振り返りのアンケートを実施します。PC活用に関する質問をどんどんしてわからないことを解決していく姿勢を育ててください。
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	毎回の授業終了時に授業振り返りアンケートを実施します。そこで出た質問は、次回の授業で説明します。
成績評価方法・基準	<p>課題(ポスタ、プレゼン、教材作品) (目標2、3) 60%</p> <p>毎回の授業の振り返りアンケート(目標1) 10%</p> <p>プレゼン発表と相互評価(目標3) 10%</p> <p>小課題(メール、その他) (目標1、2) 20%</p>
書名①	情報リテラシー 総合編 Windows 11 / Office 2021対応
著者名①	富士通ラーニングメディア
出版社①	FOM出版
書名②	その他プリントを適宜配付します
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	

出版社③	
参考文献	適宜紹介していきます
参考URL	
特記事項	本学のネットワーク、AAA, Classroomなどの学習環境に慣れ、さらに自分のノートPCを使いこなせるよう一緒に学んでいきましょう。ノートPCについての疑問は、この授業で説明していきたいと思います。どんなことでも、まずは聞いてください。その質問は、他の人の学習にもつながります。みんなで学び合い教え合いができる授業にしましょう。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1	2	選択必修
担当教員			
寺家 尚美			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
演習	キャリア育成学科	2A1203	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員</p> <p>■科目に関連した実務経験のある教員が担当している</p> <p>科目に関連した実務内容</p> <p>SIベンダーでの情報システム企画</p> <p>アクティブラーニング要素</p> <p><input type="checkbox"/>ディスカッション、ディベート</p> <p><input type="checkbox"/>グループワーク</p> <p>■プレゼンテーション</p> <p><input type="checkbox"/>実習、フィールドワーク</p>
------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	<p>パソコンを学習に活用するための基礎を身につける</p> <p>積極的に取り組み、学ぶ姿勢を養う</p> <p>日本語のタイピング力を高め、パソコンを使った学習に役立てる</p>
-----	---------------------------------------------------------------------------------------------

到達目標	<p>1. パソコンの基本操作を身につけ、積極的に活用することができる</p> <p>2. デーマに即した創造的な作品を作ることができ、日本語で表現・発表することができる</p> <p>3. 短大での学習に必要なファイルの管理や印刷、学習支援システムを利用することができる</p>
------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

授業概要	<p>ノートPCを学習に活用できるよう、Windows11の基本操作やインターネットの活用方法について学びます。MS-Officeアプリケーションを使ったポスター制作やプレゼン発表など様々な演習を行い、表現力を身につけます。</p>
------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

授業計画	<p>1 授業ガイダンスとノートPC</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業内容、評価の方法 ・ 学内ネットワーク環境について (Wi-fi、プリンタ、共有フォルダ、学習支援システム・学内でのPC、ネットワーク利用のマナー) ・ Googleクラスルーム <p><時間外学習> ノートPCで配布した資料を閲覧しておく (30分)</p> <p>2 ノートPCの活用1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Windows11の基本操作 ・ フォルダ管理とエクスプローラー操作 ・ USBメモリの取り扱いと活用 ・ 日本語タイピング <p><時間外学習> タイピング練習 (30分)</p> <p>3 ノートPCの活用2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Edgeの利用 ・ 検索、お気に入り登録、その他設定 ・ Googleドライブ、Meet <p><時間外学習> サイト検索 (30分)、タイピング練習 (30分)</p> <p>4 日本語入力を学ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Wordの基本 ・ 様々な文字の入力と変換 ・ 文書の保存・印刷 <p><時間外学習> 自己紹介文の作成 (60分)</p> <p>5 メールの利用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 短大メール (Outlook) の利用 ・ 送受信、返信、添付ファイル、同報メール <p><時間外学習> メール課題 (30分)</p> <p>6 Word基本操作1</p> <p>文書作成の基本</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ページ設定、さまざまな書式設定 <p><時間外学習> 書式設定確認課題と文章入力課題 (60分)</p> <p>7 Word基本操作2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 表の挿入
------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

	8	<p><時間外学習>案内文書作成課題 (60分)</p> <p>Word基本操作3</p> <ul style="list-style-type: none"> ・写真やイラストの挿入 ・図形描画
	9	<p><時間外学習>案内文書作成課題 (90分)</p> <p>PowerPoint基本操作</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スライドの作成 ・文字や表の挿入 ・イラストや写真の挿入
	10	<p><時間外学習>ポスター課題の準備 (60分)</p> <p>PowerPoint活用1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図形描画 ・オリジナルイラスト作り ・ポスター作りに必要な設定
	11	<p><時間外学習>イラスト作成課題 (60分)</p> <p>PowerPoint活用2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポスター制作 ・介護現場で利用できるポスター作り
	12	<p><時間外学習>ポスター課題作成 (90分)</p> <p>PowerPoint活用3</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーション資料制作 ・画面切替 ・アニメーション効果 ・スライドショー ・スライドの印刷
	13	<p><時間外学習>資料課題作成 (90分)</p> <p>まとめの課題制作</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題説明 ・テーマの検討、素材収集 ・決められた時間内に効果的な表現で発表するためのアウトライン作成
	14	<p><時間外学習>課題制作 (90分)</p> <p>まとめの課題制作</p> <ul style="list-style-type: none"> ・セリフやBGM挿入 ・発表用ノートの作成 ・プレゼンテーションの記録 (日本語での発表記録)
	15	<p><時間外学習>課題制作 (90分)</p> <p>まとめの課題制作</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題制作 ・ビデオに変換と提出 <p><時間外学習>課題制作に対する自己評価 (90分)</p>
学修に関する留意事項		<ul style="list-style-type: none"> ・ノートパソコン、電源アダプタ、テキストは毎回持参すること ・わからないことは積極的に質問すること ・課題は計画的に進め、締め切りを守ること
試験やレポート等の課題のフィードバック方法		
成績評価方法・基準		<p>授業に臨む態度 (到達目標1, 2, 3) 30%</p> <p>提出課題 (到達目標1, 2, 3) 60%</p> <p>タイピング結果 (到達目標1) 10%</p>
書名①		留学生のためのかんたん Word/Excel/PowerPoint入門
著者名①		榎村麻里子, 松下孝太郎, 津木裕子, 平井智子, 山本光, 両澤敦子 著
出版社①		技術評論社
書名②		
著者名②		
出版社②		
書名③		
著者名③		
出版社③		
参考文献		
参考URL		http://www.asahi-net.or.jp/~BG8J-IMMR/
特記事項		ノートPCや学内ネットワークを利用した学習環境に慣れ、積極的にノートPCを使っていきましょう。わからないことは、授業の中でどんどん質問してください。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1	2	選択必修
担当教員			
駒田 ゆき子			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
演習	キャリア育成学科	2A1204	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員 <input type="checkbox"/> 科目に関連した実務経験のある教員が担当している</p> <p>科目に関連した実務内容</p> <p>アクティブラーニング要素 <input type="checkbox"/> ディスカッション、ディベート <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク</p>
テーマ	海外旅行先でのさまざまな場面でのコミュニケーションに必要な語彙やフレーズを学ぶことを通して、英語や異文化に対する関心を深め、コミュニケーションの楽しさを実感する。
到達目標	1. 海外旅行先でのコミュニケーションに必要な語彙を習得する。2. 海外旅行先でのコミュニケーションに必要なフレーズを習得する。3. 海外旅行先でのさまざまな場面で、必要に応じて適切に会話ができる。
授業概要	この授業は以下のコンセプトで英語力を養っていきます。各ユニットの前半では一つの基本フレーズを学習し、そのフレーズを使って会話の練習をする。後半では、旅行先で読めると便利な内容や聞き取りなどの実践的なアクティビティに取り組む。時間外学習についてはその都度指示、説明します。
授業計画	<p>1 Introduction Unit 音声ファイルのダウンロード 授業の進め方とテキストの構成についての説明</p> <p>2 Unit 1 On the Plane <~, please. ~をお願いします。~をください> 基本語彙、基本フレーズの学習 時間外学習 授業で配布するWorksheetを完成させる (20分)</p> <p>3 Unit 1 On the Plane <~, please. ~をお願いします。~をください> 読解、リスニング、このユニットのまとめと復習 時間外学習 語彙やフレーズ、リスニングを中心に小テストの予習 (30分)</p> <p>4 Unit 1 の小テストUnit 2 At the Currency Exchange <I'd like to ~. ~したいのですが> 基本語彙、基本フレーズの学習 時間外学習 授業で配布するWorksheetを完成させる (20分)</p> <p>5 Unit 2 At the Currency Exchange <I'd like to ~. ~したいのですが> 読解、リスニング、このユニットのまとめと復習 時間外学習 語彙やフレーズ、リスニングを中心に小テストの予習 (30分)</p> <p>6 Unit 2 の小テストUnit 3 At the Hotel 1 <Could you ~. ~していただけますか> 基本語彙、基本フレーズの学習 時間外学習 授業で配布するWorksheetを完成させる (20分)</p> <p>7 Unit 3 At the Hotel 1 <Could you ~. ~していただけますか> 読解、リスニング、このユニットのまとめと復習 時間外学習 語彙やフレーズ、リスニングを中心に小テストの予習 (30分)</p> <p>8 Unit 3 の小テストUnit 4 At the Hotel 2 <Is/Are there ~? ~はありますか> 基本語彙、基本フレーズの学習 時間外学習 授業で配布するWorksheetを完成させる (20分)</p> <p>9 Unit 4 At the Hotel 2 <Is/Are there ~? ~はありますか> 読解、リスニング、このユニットのまとめと復習 時間外学習 語彙やフレーズ、リスニングを中心に小テストの予習 (30分)</p> <p>10 Unit 4 の小テストUnit 5 On the Train/Bus <Does this ~? これは~しますか> 基本語彙、基本フレーズの学習 時間外学習 授業で配布するWorksheetを完成させる (20分)</p> <p>11 Unit 5 On the Train/Bus <Does this ~? これは~しますか> 読解、リスニング、このユニットのまとめと復習 時間外学習 語彙やフレーズ、リスニングを中心に小テストの予習 (30分)</p> <p>12 Unit 5 の小テストUnit 6 Sightseeing 1 <Where is/are ~? ~はどこですか> 基本語彙、基本フレーズの学習</p>

	<p>時間外学習 授業で配布するWorksheetを完成させる (20分)</p> <p>13 Unit 6 Sightseeing 1 <Where is/are ~? ~はどこですか> 読解、リスニング、このユニットのまとめと復習</p> <p>時間外学習 語彙やフレーズ、リスニングを中心に小テストの予習 (30分)</p> <p>14 Unit 6 の小テストReview Unit 1-6の復習 (テキストp56-59の解説)</p> <p>時間外学習 Review Unit のworksheet を完成させる (20分)</p> <p>15 これまでの総復習、worksheet や小テストの振り返り、口頭での会話テスト、まとめのテスト</p>
学修に関する留意事項	授業での会話の練習や発音練習など授業内でのアクティビティが大切です。積極的な授業参加を望みます。クラスメートや教師と積極的に英語を話す努力をすること。
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	
成績評価方法・基準	<p>会話練習への取り組み(到達目標1, 2, 3)25%</p> <p>小テスト、Worksheet(到達目標1, 2)25%</p> <p>まとめのテスト(到達目標1, 2, 3)50%</p>
書名①	My First Trip 工藤多恵 著 センゲージラーニング(株)
著者名①	
出版社①	
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	
参考URL	
特記事項	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1	1	選択必修
担当教員			
小澤 亮二			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
実技	キャリア育成学科	2A4507	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員</p> <p>■科目に関連した実務経験のある教員が担当している</p> <p>科目に関連した実務内容</p> <p>アクティブラーニング要素</p> <p><input type="checkbox"/>ディスカッション、ディベート</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>グループワーク</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>プレゼンテーション</p> <p><input type="checkbox"/>実習、フィールドワーク</p>
テーマ	スポーツ本来の楽しさや身体を動かすことの大切さを、様々なスポーツ活動を通じて理解し主体的に学ぶ。
到達目標	1. 実技に参加し、各競技の特徴を理解している。2. 各回にあった内容を提案し実施することができる。3. 自身の健康増進について考えをまとめ、レポートを作成することができる。
授業概要	スポーツの実践を通して、自身の生涯とスポーツとの関わり、健康増進について主体的に学んでいくための授業。本授業では、各回の実技内容や状況に合わせてルールを設定し進めていく。様々な状況に合わせたスポーツの楽しみ方やその指導法について学ぶ。
授業計画	<p>1 ガイダンス授業内容・出欠・取り組み方・評価について 【時間外学習】サッカーの特性を調べておく(15分)</p> <p>2 サッカー①ルールの確認・基本技能の練習・ゲーム 【時間外学習】サッカーの「攻撃」の特徴を調べておく(15分)</p> <p>3 サッカー②基本技能の練習・ゲーム 【時間外学習】サッカーの「守備」の特徴を調べておく(15分)</p> <p>4 サッカー③ゲーム 【時間外学習】バスケットボールの特性を調べておく。(15分)</p> <p>5 バスケットボール①ルールの確認・基本技能の練習・ゲーム 【時間外学習】バスケットボールの「攻撃」の特徴を調べておく(15分)</p> <p>6 バスケットボール②基本技能の練習・ゲーム 【時間外学習】バスケットボールの「守備」の特徴を調べておく(15分)</p> <p>7 バスケットボール③ゲーム 【時間外学習】バドミントンの特性を調べておく。(15分)</p> <p>8 バドミントン①ルールの確認・基本技能の練習・ゲーム 【時間外学習】バスケットボールの「ショット」の種類を調べておく(15分)</p> <p>9 バドミントン②基本技能の練習・ゲーム 【時間外学習】バレーボールの特性を調べておく。(15分)</p> <p>10 バレーボール①ルールの確認・基本技能の練習・ゲーム 【時間外学習】バレーボールの「攻撃」の特徴を調べておく(15分)</p> <p>11 バレーボール②基本技能の練習・ゲーム 【時間外学習】バレーボールの「ローテーション」の特徴を調べておく(15分)</p> <p>12 バレーボール③ゲーム 【時間外学習】レクリエーションについて調べておく。(15分)</p> <p>13 レクリエーションレクリエーションの意義と実践・ゲーム 【時間外学習】スポーツ大会の「意義」について調べておく(15分)</p> <p>14 スポーツ大会の計画及び内容の決定 【時間外学習】スポーツ大会の準備(15分)</p> <p>15 スポーツ大会の実施</p>
学修に関する留意事項	・定期試験は行わない。・指定された課題のレポートを作成し、提出する。・体調を整えて参加する。・運動のできる服装、シューズで参加する。

試験やレポート等の課題のフィードバック方法	
成績評価方法・基準	授業に対する取り組み(到達目標1)50% 各回の方法の設定(到達目標1.2)20% レポート(到達目標3)30%
書名①	
著者名①	
出版社①	
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	
参考URL	
特記事項	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1	2	必修
担当教員			
野呂 健一			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
演習	キャリア育成学科	2A1208	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員</p> <p><input type="checkbox"/> 科目に関連した実務経験のある教員が担当している</p> <p>科目に関連した実務内容</p> <p>アクティブラーニング要素</p> <p>■ ディスカッション、ディベート</p> <p><input type="checkbox"/> グループワーク</p> <p><input type="checkbox"/> プレゼンテーション</p> <p><input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク</p>
------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	社会生活や学習活動で求められる基本的な日本語表現能力（主に文章作成能力）の習得
到達目標	<p>1. 書き言葉の基礎を身につけ、文章作成のポイントを理解する。</p> <p>2. 与えられたテーマに基づき、情報を収集し、論理的な文章が書けるようになる。</p> <p>3. 敬語の基本を理解したうえで、実際の場面で適切な敬語使用ができるようになる。</p>
授業概要	日常生活や学習活動で求められる日本語表現能力を伸ばすため、文の構成やつながり方等、論理的文章を書くための基礎的事項について概説し、実際に文章を書く練習を繰り返す。次に、論理的文章を書く際に必要な表現について学んだうえで、実際にレポート作成に取り組む。また、表現を豊かにするために必要な、言葉に関する知識について学習する。第13回以降では、目上の人との会話で必須の敬語表現について学び、実際の場で実践できることを目指す。
授業計画	<p>1 授業ガイダンス、日本語表現能力の自己診断 ＜時間外学習＞診断テストの復習（10分）</p> <p>2 話し言葉と書き言葉：文末表現の統一、場面にふさわしい言葉づかい ＜時間外学習＞教科書の予習・復習（技能編第1回・知識編第1回）（30分）</p> <p>3 文の組立て：文の骨組みを整える ＜時間外学習＞教科書の予習・復習（技能編第2回・知識編第2回）（30分）</p> <p>4 視点：文の視点を統一する ＜時間外学習＞教科書の予習・復習（技能編第3回・知識編第3回）（30分）</p> <p>5 文のつながり方：適切な接続表現 ＜時間外学習＞教科書の予習・復習（技能編第4回・知識編第4回）（30分）</p> <p>6 意味の限定：誤解されない表現のために ＜時間外学習＞教科書の予習・復習（技能編第5回・知識編第5回）（30分）</p> <p>7 言葉の順序：理解しやすい順序 ＜時間外学習＞教科書の予習・復習（技能編第6回・知識編第6回）（30分）</p> <p>8 定義・分類の表現 ＜時間外学習＞教科書の予習・復習（技能編第7回・知識編第7回）（30分）</p> <p>9 比較・対照する表現 ＜時間外学習＞教科書の予習・復習（技能編第8回・知識編第8回）（30分）</p> <p>10 列挙・順序・因果関係の表現 ＜時間外学習＞教科書の予習・復習（技能編第9回・知識編第9回）（30分）</p> <p>11 レポートの書き方①：レポートと作文との違い、レポート作成のルール ＜時間外学習＞教科書の予習・復習（知識編第10回）、配布プリントの復習（30分）</p> <p>12 レポートの書き方②：レポート作成の手順 ＜時間外学習＞教科書の予習・復習（知識編第11回）、配布プリントの復習（30分）</p> <p>13 敬語の基本 ＜時間外学習＞教科書の予習・復習（技能編第11回・知識編第12回）、期末レポート作成準備（1時間）</p> <p>14 注意すべき敬語 ＜時間外学習＞教科書の予習・復習（技能編第12回）、期末レポート作成準備（1時間）</p> <p>15 敬語のまとめ ＜時間外学習＞期末レポート作成・提出（1時間）</p>

学修に関する留意事項	漢字力や語彙力の醸成のための小テストを毎回授業冒頭を実施するので、テキストの該当部分について各自学習しておくこと。授業で取り組む演習問題について、授業後に十分復習し、理解を深めておくこと（随時定着度を図るための確認テストを実施する）。
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	小テストや提出課題については、採点及び必要に応じてコメントを記入し、次回授業時に返却する。
成績評価方法・基準	授業への取組（授業内課題、確認テスト等）（到達目標 1、3）45% 漢字・語彙テスト（到達目標 1）15% 期末レポート（到達目標 2）40%
書名①	書き込み式日本語表現ノート
著者名①	名古屋大学日本語表現研究会編
出版社①	三弥井書店
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	
参考URL	
特記事項	社会人として必要な日本語力とは、優れた文章・美しい文章を書くことではありません。分かりやすい文章、自分の伝えたいことが誤解なく読み手に伝わる文章を書く力を身につけましょう。

講義科目名称： 日本語表現

授業コード： 60050D

英文科目名称： Japanese Expressions

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1	2	必修
担当教員			
石川 節子			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
演習	キャリア育成学科	2A1208	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員</p> <p><input type="checkbox"/> 科目に関連した実務経験のある教員が担当している</p> <p>科目に関連した実務内容</p> <p>アクティブラーニング要素</p> <p><input type="checkbox"/> ディスカッション、ディベート</p> <p><input type="checkbox"/> グループワーク</p> <p><input type="checkbox"/> プレゼンテーション</p> <p><input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク</p>
------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	日本語学習の初級～中級を復習し、大学での勉学に必要な日本語力の基礎固めを行う。
到達目標	1. 初級～中級の学習項目を正確に使い、自分の伝えたいことを表現できる。2. 日本語能力試験 (JLPT)N3～N4 相当の漢字の読み書きができる。3. 短文 中級程度の文章を素早く性格に理解し、内容について話すことができる。4. 自身の能力について把握し、今後の学習計画を立てる。
授業概要	日本語の初級～中級を復習し、練習問題や作文練習を繰り返すことで正確な表現の定着を図る。速読練習を続け、より速く内容を正確に読み取り、内容について話す力をつける。日本語学習の様々な項目について理解し、自身の得意／不得意を把握した上で学習計画を立てる。毎回、前回の学習内容についての小テストを行う。時間外学習用教材として漢字プリントを配布。漢字テストを行う。(全3回)
授業計画	<p>1 授業内容・評価・時間外学習についての説明レベルチェックテスト 時間外学習：授業内容の復習／漢字プリント① (60分)</p> <p>2 レベルチェックテストのフィードバック授業計画についての説明／学習計画を立てる文法練習問題・短文作成練習① 時間外学習：授業内容の復習／漢字プリント② (60分)</p> <p>3 速読①／文法練習問題・短文作成練習② 時間外学習：授業内容の復習／漢字プリント③ (60分)</p> <p>4 速読②／文法練習問題・短文作成練習③ 時間外学習：授業内容の復習／漢字プリント④ (60分)</p> <p>5 速読③／文法練習問題・短文作成練習④ 時間外学習：授業内容の復習／漢字プリント⑤ (60分)</p> <p>6 漢字テスト① (漢字プリント①～④) / 文法練習問題・短文作成練習⑤ 時間外学習：授業内容の復習／漢字プリント⑥ (60分)</p> <p>7 第7回までのまとめ／文法練習問題・短文作成練習⑥ 時間外学習：授業内容の復習／漢字プリント⑦ (60分)</p> <p>8 速読④／文法練習問題・短文作成練習⑦ 時間外学習：授業内容の復習／漢字プリント⑧ (60分)</p> <p>9 速読⑤／文法練習問題・短文作成練習⑧ 時間外学習：授業内容の復習／漢字プリント⑨ (60分)</p> <p>10 漢字テスト② (漢字プリント⑨～⑫) / 文法練習問題・短文作成練習⑨ 時間外学習：授業内容の復習／漢字プリント⑩ (60分)</p> <p>11 JLPT対策 時間外学習：授業内容の復習／漢字プリント⑪ (60分)</p> <p>12 JLPT対策 時間外学習：授業内容の復習／漢字プリント⑫ (60分)</p> <p>13 速読⑥／文法練習問題・短文作成練習⑩ 時間外学習：授業内容の復習／漢字プリント⑬ (60分)</p> <p>14 漢字テスト③ (漢字プリント⑨～⑫) 第1回～第14回のまとめ 時間外学習：第1回～第14回の復習 (120分)</p> <p>15 総復習</p>

学修に関する留意事項	毎回、前回の学習内容に関する小テストを行う。時間外学習用の漢字プリントを配布、漢字テストを行う。(全3回)
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	
成績評価方法・基準	授業への取り組み(到達目標1~3) 30% 小テスト・漢字テスト(到達目標1・2) 30% テスト(到達目標1・2) 40%
書名①	プリント教材を随時配布します。
著者名①	
出版社①	
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	
参考URL	
特記事項	

講義科目名称： スタートアップゼミナール

授業コード： 50850N 508500 50850P

英文科目名称： Startup Seminar

50850Q 50850R 50850S
50850T 50850U 50850V

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1	2	必修
担当教員			
野呂 健一、川喜田 多佳子、伊東 秀幸、江淵 剛、杉本あゆみ、中川 千代、上山 由紀子、長谷川恭子、東海林藍			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
演習	キャリア育成学科	2A1200	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員</p> <p><input type="checkbox"/> 科目に関連した実務経験のある教員が担当している</p> <p>科目に関連した実務内容</p> <p>https://webportal.takada-jc.ac.jp/aa_web/syllabus/image/btn/btn_preview3.gif</p> <p>アクティブラーニング要素</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ ディスカッション、ディベート ■ グループワーク ■ プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク
------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	大学での学びの基本的な姿勢やスキル、社会的なルールやマナーなどを身につけることで、短大生として主体的に学び、ふさわしい行動をとるための準備をする。
-----	---------------------------------------------------------------------------

到達目標	<p>1. 大学で学ぶための基本的な姿勢を身につけ、課題を持って意欲的に学ぶことができる。</p> <p>2. 課題の解決に向け、「聴く」「考える」「伝える」等の基本的な力が身につく。</p> <p>3. 社会的なルールやマナー、倫理、規範などを理解して、しっかりと行動できる。</p>
------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

授業概要	まず、短大で学ぶためのスキル（図書館の使い方、情報収集の方法、発表の仕方、レジュメ作成など）について学ぶ。次に、様々なテーマのもとに、ゼミ内での発表やディスカッションを繰り返すことで、自分の意見をまとめ伝えるスキル、相手の意見を聴くスキルを身につける。あわせて、短大生としてふさわしい行動ができるように、社会で求められるルールやマナーについて考える。
------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

授業計画	<p>1 オリエンテーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ シラバスの説明 ・ 自分自身のことをゼミメンバーに知ってもらうために自己紹介を行う。 <p>〈時間外学習〉新聞記事スクラップ (30分)</p> <p>2 図書館の利用の仕方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図書館にある資料の種類を理解する。 ・ 図書館の使い方や利用マナーを理解し、実践する。 <p>〈時間外学習〉新聞記事スクラップ (30分)</p> <p>3 大学生活のデザイン</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 入学後の大学生活を振り返る。 ・ 大学生活の目標を立てる。 <p>〈時間外学習〉新聞記事スクラップ (30分)、電子メール作成 (10分)</p> <p>4 高田短大について学ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高校と大学の違いについて考える。 ・ 高田短大の教育の理念や歴史、学科及びコースの特徴について調べる。 <p>〈時間外学習〉新聞記事スクラップ (30分)</p> <p>5 プレゼンテーションの仕方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ わかりやすいプレゼンテーションにするための方法を学ぶ。 <p>〈時間外学習〉新聞記事スクラップ (30分)、プレゼンテーションの準備 (30分)</p> <p>6 インターネットによる情報収集</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ インターネットを使った資料収集を実践する。 ・ インターネット利用上のルールや注意点を学ぶ。 <p>〈時間外学習〉新聞記事スクラップ (30分)、レポート作成 (1時間)</p> <p>7 プレゼンテーションの実践</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第5回授業で学んだ内容をふまえ、ゼミ内でプレゼンテーションを実践する。 <p>〈時間外学習〉新聞記事スクラップ (30分)、プレゼンテーションの振り返り (10分)</p> <p>8 レジュメの作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ レジュメに盛り込むべき内容や、作成のポイントを学ぶ。 ・ ゼミ内で発表するためのレジュメ作成を実践する。 <p>〈時間外学習〉新聞記事スクラップ (30分)、レジュメ作成 (1時間)</p> <p>9 本の紹介をする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図書館で借りて読んだ本を読みブックレビュー（批評・評論）を作成する。 ・ ゼミ内でブックレビューについて、発表と質疑応答を行う。 <p>〈時間外学習〉新聞記事スクラップ (30分)、ブックレビュー作成 (3時間)</p> <p>10 話し合いの基本①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ディスカッションの留意点について学ぶ。 ・ 簡単なテーマでディスカッションを行う。 <p>〈時間外学習〉新聞記事スクラップ (30分)</p>
------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

	11	話し合いの基本② ・社会生活を営む上で求められるマナーを題材に、ディスカッションを行う。 ・自分の行動について振り返り、行動計画をたて発表する。 〈時間外学習〉新聞記事スクラップ (30分)
	12	問題解決手法を学ぶ ・情報やアイデアを効率よく整理する手法を学ぶ。 ・指定されたテーマについて問題解決手法を実践する。 〈時間外学習〉新聞記事スクラップ (30分)
	13	レジュメによる発表の実践 ・興味のある新聞記事について掘り下げて調べ、レジュメにまとめ発表する。 〈時間外学習〉新聞記事スクラップ (30分)
	14	ゼミナール I (後期) に向けて① ・後期の基礎ゼミナールをスムーズに始めるために、それぞれのゼミで担当教員の下にどのようなことを学ぶのかを概観する。 ・大学祭での展示発表に向けて、分かりやすいポスター作成について学ぶ。 〈時間外学習〉新聞記事スクラップ (30分)、大学祭での展示発表についての計画作成 (1時間)
	15	ゼミナール I (後期) に向けて② ・半年間の短大生活を振り返り、どのような力が身についたかを自己診断するとともに、卒業までの短大生活をイメージし、今後取り組むべき課題について考える。 〈時間外学習〉新聞記事スクラップ (30分)
学修に関する留意事項		・演習形式で進めるので、受動的な姿勢ではなく、積極的に参加し授業に貢献することが必要となる。 ・毎週の時間外課題として、新聞記事のスクラップノートを作成し、要約と感想を記載することが求められる。
試験やレポート等の課題のフィードバック方法		
成績評価方法・基準		発表 (到達目標 1、2) 35% グループワーク (到達目標 1、2、3) 15% 授業内提出物 (到達目標 1、3) 20% 課題・レポート (到達目標 1、2、3) 30%
書名①		スタディスキルズ・トレーニング改訂版
著者名①		吉原恵子・間瀬泰尚・富江英俊・小針誠
出版社①		実教出版
書名②		
著者名②		
出版社②		
書名③		
著者名③		
出版社③		
参考文献		
参考URL		
特記事項		

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1	1	必修
担当教員			
杉本 あゆみ			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
演習	キャリア育成学科	2G1200	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員</p> <p><input type="checkbox"/> 科目に関連した実務経験のある教員が担当している</p> <p>科目に関連した実務内容</p> <p>アクティブラーニング要素</p> <p>■ ディスカッション、ディベート</p> <p>■ グループワーク</p> <p><input type="checkbox"/> プレゼンテーション</p> <p><input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク</p>
テーマ	キャリアデザインの意味、目的を理解する。短期、中期、長期的なキャリアを描き、実現に向けて取り組む姿勢を身につける。
到達目標	1. 自身で目標を定めて学修に取り組み、自己を向上させる姿勢を身に付ける。2. 短期（在学中）、中・長期のキャリアをデザインするために必要な知識を修得する。3. 自律的キャリア形成の重要性を理解する。
授業概要	本学が育成を目指している人材像、社会が求めている人材像、知っておくべき社会環境などについて把握し、自らのワークキャリアとライフキャリアについての考えを深める。グループワークを通じて、考える力、伝える力、聴く力、協働する力、コミュニケーション力の向上を目指す。また、それらの活動を通じて自己理解を深め、キャリアをデザインする力を身に付ける。
授業計画	<p>1 オリエンテーション：授業の進め方・成績評価方法などの説明 イン트로ダクション ＜時間外学習＞キャリアデザインとは何なのかを考える 90分</p> <p>2 現代社会の理解① 人生に必要なお金を理解する ＜時間外学習＞課題シート 90分</p> <p>3 現代社会の理解② ファイナンシャルプランニングについて理解する ＜時間外学習＞課題シート 90分</p> <p>4 多様な職業① 世の中に存在する職業を知る ＜時間外学習＞課題シート 90分</p> <p>5 現代社会の理解③ 社会の流れを理解する ＜時間外学習＞課題シート 90分</p> <p>6 現代社会の理解④ AIと共存する未来について考える ＜時間外学習＞課題シート 90分</p> <p>7 求められる人材 社会で求められている人材について考える ＜時間外学習＞課題シート 90分</p> <p>8 人間関係構築 コミュニケーションの重要性について理解する ＜時間外学習＞課題シート 90分</p> <p>9 自己分析① 自分自身を知る ＜時間外学習＞課題シート 90分</p> <p>10 自己をアピールする① 自己のアピールの仕方を学ぶ ＜時間外学習＞課題シート 90分</p> <p>11 自己をアピールする② 自己アピールスキルを身に付ける ＜時間外学習＞課題シート 90分</p> <p>12 自己分析② 自分POP作成 ＜時間外学習＞課題シート 90分</p> <p>13 多様な職業② 先輩の経験から学ぶ ＜時間外学習＞課題シート 90分</p> <p>14 ライフプランニング 自身の人生を設計する ＜時間外学習＞課題シート 90分</p> <p>15 まとめ 総括</p>

学修に関する留意事項	「キャリアをデザインする」とは、自分自身の人生をどのように生きていくのかを、真剣に考えることです。長期的な視野で自分の人生を捉えることを目指しましょう。
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	
成績評価方法・基準	授業に対する取り組み（到達目標 1、2、3）30% 総合演習（到達目標 1、2、3）40% 提出物（到達目標 2）30%
書名①	プレステップ11 キャリアデザイン<第5版>
著者名①	岩井洋ほか【著】
出版社①	弘文堂
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	
参考URL	
特記事項	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1	1	必修
担当教員			
前田 恵里			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
演習	キャリア育成学科	2G1200	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員 <input type="checkbox"/> 科目に関連した実務経験のある教員が担当している</p> <p>科目に関連した実務内容</p> <p>アクティブラーニング要素 <input type="checkbox"/> ディスカッション、ディベート <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク</p>
------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	日本で学び、社会に出て働く上で必要となる知識を得る。学生生活を通して、日本社会での長期的なキャリアを描く力をつける
到達目標	1. 目標を定めて学習活動に取り組む力をつける。2. 就職後や生活する上で必要となる知識を得る。3. 現在の自分を知り、それを踏まえながら将来の展望を描く重要性を理解する。
授業概要	現在住んでいる地域の状況や、日本で働き、生活する上で知っておくべき社会制度やルールを知り、それを踏まえ自分自身のキャリアについて考える。自分自身に関する作文を作成することで、日本語能力を向上させ、キャリアデザインの重要性を理解する。
授業計画	<p>1 オリエンテーション（授業の進め方・評価方法の説明）自己紹介 授業外学習：自分のことについて考える（30分）</p> <p>2 日本での生活①・日本について・三重県について【自分を知る】小学校時代をふり返る 授業外課題：小学校時代をふり返る作文を書く</p> <p>3 日本での生活②・各種手続きについて・在留資格について【自分を知る】中学校時代をふり返る 授業外課題：中学校時代をふり返る作文を書く</p> <p>4 日本での生活③日本で働く（1）働く前に知っておくことを知る【自分を知る】 高校時代から来日までをふり返る 授業外課題：高校時代から来日までをふり返る作文を書く</p> <p>5 日本での生活④日本で働く（2）働く時のルールを知る【自分を知る】来日から短大入学までをふり返る 授業外課題：来日から短大入学までをふり返る作文を書く</p> <p>6 日本での生活⑤日本で働く（3）働き方と待遇について知る【自分を知る】過去と日本のつながりを考える 授業外課題：過去と日本のつながりについての作文を書く</p> <p>7 日本での生活⑥社会保険制度について知る【自分を知る】近い将来（1～3年後）について考える 授業外課題：近い将来（1～3年後）についての作文を書く</p> <p>8 日本での生活⑦医療保険について知る【自分を知る】将来（3～5年後）について考える 授業外課題：将来（3～5年後）についての作文を書く</p> <p>9 日本での生活⑧年金・税金について知る【自分を知る】作文のテーマを考える 授業外課題：決めたテーマについての作文を書く</p> <p>10 日本での生活⑨教育について知る【自分を知る】作文を書く1 授業外課題：決めたテーマについての作文を書く</p> <p>11 日本での生活⑩緊急・災害について知る【自分を知る】作文を書く2 授業外課題：決めたテーマについての作文を書く</p> <p>12 日本での生活⑪交通について知る【自分を知る】作文の見直し 授業外課題：作文の見直しをする</p> <p>13 日本での生活⑫学んだことのまとめ【自分を知る】作文発表の方法を学ぶ 授業外課題：作文発表の準備をする</p> <p>14 作文発表授業外課題：作文発表の準備をする</p> <p>15 まとめ</p>

学修に関する留意事項	自分自身のことをふり返り、まとまった文章を書く力が求められます。意識して多くの日本語に触れて、日本を理解し、日本語力をアップさせてください。
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	課題の作成及び返却はAAAで行う。小テストのフィードバックは授業内で行う。
成績評価方法・基準	授業への取り組み（到達目標1.2.3）30% 確認テスト（到達目標1.2）15% 作文提出（到達目標1.3）15% 作文発表（到達目標1.3）20% 試験（到達目標2.3）20%
書名①	プリントを配布する。
著者名①	
出版社①	
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	出入国在留管理庁『生活・仕事ガイドブック』
参考URL	生活・仕事ガイドブック（出入国在留管理庁） https://www.moj.go.jp/isa/support/portal/guidebook_index.html
特記事項	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1	1	選択
担当教員			
野呂 健一、江淵 剛、鈴木 晴美			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
演習	キャリア育成学科	2G1204	
添付ファイル			

授業種類	授業担当教員 <input type="checkbox"/> 科目に関連した実務経験のある教員が担当している 科目に関連した実務内容 アクティブラーニング要素 <input type="checkbox"/> ディスカッション、ディベート <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク
------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	就職試験における一般常識試験等に対応できる基礎学力の獲得
到達目標	1 一般常識試験等で求められる基礎学力を身につける 2 社会人として必要な幅広い教養を身につける 3 基礎学力や教養を向上させようとする意欲を高める
授業概要	短大での学びや就職試験のための基礎学力向上、及び、企業の筆記試験や公務員試験対策のため、一般常識（国語、英語、社会）や時事問題を取り扱う。毎回の授業では、基本事項を整理したあと問題演習を行い、社会人として求められる教養を身につける。
授業計画	1 授業ガイダンス、国語①漢字（漢字の読み・書き、同音異義語・同訓異字、間違えやすい漢字）、文章理解 <時間外学習>授業内容の復習、次回小テストの学習（30分） 2 英語①単語（アクセント、発音、語形変化、数の読み方、数量を表す形容詞、対義語・同義語） <時間外学習>授業内容の復習、次回小テストの学習（30分） 3 社会①日本史、日本のおもなできごと、歴史上の人物 <時間外学習>授業内容の復習、次回小テストの学習（30分） 4 国語②語句-1（対義語・同義語、三字熟語・四字熟語）、文章理解 <時間外学習>授業内容の復習、次回小テストの学習（30分） 5 英語②文法-1（基本英文、基本時制、前置詞、接続詞、命令文、感嘆文） <時間外学習>授業内容の復習、次回小テストの学習（30分） 6 社会②世界史、世界のおもなできごと、歴史上の人物 <時間外学習>授業内容の復習、次回小テストの学習（30分） 7 国語③語句-2（ことわざ・慣用句・故事成語）、文章理解 <時間外学習>授業内容の復習、次回小テストの学習（30分） 8 英語③文法-2（不定詞、動名詞、分詞、助動詞、比較、受動態） <時間外学習>授業内容の復習、次回小テストの学習（30分） 9 社会③地理、世界の地形・気候・産業、日本の地形・気候・産業 <時間外学習>授業内容の復習、次回小テストの学習（30分） 10 国語④表現（文法、敬語、手紙の書き方）、文章理解 <時間外学習>授業内容の復習、次回小テストの学習（30分） 11 語④文法-3（付加疑問、間接疑問、関係代名詞、現在完了・過去完了・現在完了進行形、仮定法） <時間外学習>授業内容の復習、次回小テストの学習（30分） 12 社会④政治、憲法、国会・内閣・裁判所、地方自治、選挙 <時間外学習>授業内容の復習、次回小テストの学習（30分） 13 国語⑤文学史（日本の文学、短歌・俳句）、文章理解 <時間外学習>授業内容の復習、期末テストのための学習（1時間） 14 英語⑤日常英語（標示語、ことわざ、時事英語、外来語、和製英語、イディオム、会話文） <時間外学習>授業内容の復習、期末テストのための学習（1時間） 15 社会⑤経済、経済活動の主体、財政・金融政策、通貨と物価、労働者の保護・権利、社会保障制度 <時間外学習>授業内容の復習、期末テストのための学習（1時間）

学修に関する留意事項	授業冒頭に確認テストを実施する（第4回以降）。前回学んだ知識等を定着させるために必ず授業後に復習をしておくこと。また、時事問題対策として、新聞などに目を通しておくことが望まれる。
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	
成績評価方法・基準	確認テスト（到達目標1、2）40% 期末テスト（到達目標1、2）30% 授業への取り組み（到達目標3）30%
書名①	一般常識トレーニングブック
著者名①	
出版社①	実務教育出版
書名②	その他、随時プリントを配布します。
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	
参考URL	
特記事項	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1	1	選択
担当教員			
杉本 あゆみ			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
演習	キャリア育成学科	2I1200	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員</p> <p><input type="checkbox"/> 科目に関連した実務経験のある教員が担当している</p> <p>科目に関連した実務内容</p> <p>アクティブラーニング要素</p> <p>■ ディスカッション、ディベート</p> <p>■ グループワーク</p> <p><input type="checkbox"/> プレゼンテーション</p> <p><input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク</p>
------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	企業で働くための基礎知識を身に付け、人間関係構築に必要なビジネスマナーを習得する。
到達目標	1. ビジネスマナーの知識を得るだけでなく、技術を身に付け、現場で応用できるレベルを目指す。2. 信頼される社会人になるため、自ら考えて行動できる力を身に付ける。3. 良好な人間関係を築くためのコミュニケーション能力を身に付ける。
授業概要	接客対応などのビジネスコミュニケーションについては、演習を通じて体得します。また、この科目を受講することでどのような能力を身に付けるのかを自身で考え、目標を定め、目標に到達できるように学修計画を立てていただきます。
授業計画	<p>1 オリエンテーション ビジネスマナーとは ＜時間外学習＞ビジネスマナーの必要性について考える 90分</p> <p>2 身だしなみ、立ち居振る舞い、お辞儀の仕方を学ぶ ＜時間外学習＞身だしなみとおしゃれの違いについて考える 90分</p> <p>3 言葉遣い①：正しい敬語、ビジネスシーンに相応しい言葉遣いを学ぶ ＜時間外学習＞敬語の必要性について考える 90分</p> <p>4 言葉遣い②：クッション言葉、場面に応じた挨拶を学ぶ ＜時間外学習＞挨拶の必要性について考える 90分</p> <p>5 人間関係構築に役立つビジネスコミュニケーションについて理解する① ＜時間外学習＞コミュニケーションとは何かについて考える 90分</p> <p>6 人間関係構築に役立つビジネスコミュニケーションについて理解する② ＜時間外学習＞ビジネスコミュニケーションとは何かについて考える 90分</p> <p>7 人間関係構築に役立つビジネスコミュニケーションについて理解する③ ＜時間外学習＞良好な人間関係構築の必要性について考える 90分</p> <p>8 来客対応について学ぶ ＜時間外学習＞来客対応時の注意点について考える 90分</p> <p>9 電話対応について学ぶ ＜時間外学習＞電話対応時の注意点について考える 90分</p> <p>10 サービス接客検定 模擬試験① ＜時間外学習＞サービス接客検定実問題集での学習 90分</p> <p>11 サービス接客検定 模擬試験② ＜時間外学習＞サービス接客検定実問題集での学習 90分</p> <p>12 サービス接客検定 模擬試験③ ＜時間外学習＞サービス接客検定実問題集での学習 90分</p> <p>13 電話対応 総合演習① ＜時間外学習＞相手に失礼のない電話対応ができるように練習する 90分</p> <p>14 電話対応 総合演習② ＜時間外学習＞相手に失礼のない電話対応ができるように練習する 90分</p> <p>15 電話対応 総合演習③ ＜時間外学習＞相手に失礼のない電話対応ができるように練習する 90分</p>

学修に関する留意事項	日常生活で受けるサービスを意識し、具体的なサービス内容から学びを得るようにすること。授業では、演習や発表などの積極的な取り組みを評価します。
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	
成績評価方法・基準	授業に対する取り組み（到達目標 1、3）30% 総合演習（到達目標 1、2、3）40% 提出物（到達目標 2）30%
書名①	サービス接遇検定1-2級実問題集(第52回-第58回)
著者名①	公益財団法人実務技能検定協会 編
出版社①	早稲田教育出版
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	
参考URL	
特記事項	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1	1	選択
担当教員			
伊東 秀幸、江淵 剛			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
演習	キャリア育成学科	2J1200	
添付ファイル			

授業種類	授業担当教員 <input type="checkbox"/> 科目に関連した実務経験のある教員が担当している 科目に関連した実務内容 アクティブラーニング要素 <input type="checkbox"/> ディスカッション、ディベート <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク
------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	社会において求められる力を社会体験実習で身につけるにあたり、求められる知識・スキルを事前学習する。
-----	---------------------------------------------------

到達目標	1 社会の状況や仕組み、社会が必要としている基本的なビジネス実務を把握できるようになる。 2 履歴書を作成できるようになる。ビジネスマナーを学び、実践できるようになる。 3 主体的に活動でき、良好な人間関係を築く力を身につける。
------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

授業概要	夏期休暇中に参加する「社会体験実習」の目的、社会体験実習に当たっての心構えを理解するほか、事業所訪問の心得、履歴書の書き方、ビジネスマナー・接遇、ビジネス社会の仕組みと特色、コミュニケーション、お礼状の書き方などに関する知識・技能を修得する。
------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

授業計画	1 オリエンテーション：社会体験実習の目的と方向性（授業の進め方・成績評価方法などを含む） <時間外学習>現時点の進路希望についてまとめる 30分 2 ビジネス社会について <時間外学習>学生と社会人の違いについてまとめる 60分 3 ボランティア活動に求められる心構えと能力 <時間外学習>在学中のボランティア意義についてまとめる 30分 4 履歴書の書き方① <時間外学習>高短キャンパスネットの整備 45分 5 履歴書の書き方② <時間外学習>高短キャンパスネットの整備 45分 6 三重県内の実習先紹介、希望調査の実施 <時間外学習>先輩の実習先を参考に研究する 30分 7 三重県内の実習先紹介、希望調査の実施 <時間外学習>先輩の実習先を参考に研究する 30分 8 実習先訪問の心得 <時間外学習>電話でのアポイントメントのとり方を予習する 30分 9 実習先の調整・決定 <時間外学習>先輩の実習先を参考に意思決定する 30分 10 アポイントメントのとり方 <時間外学習>電話でのアポイントメントのとり方を復習する 30分 11 実習先訪問の心得 <時間外学習>電話でのアポイントメントのとり方を予習する 30分 12 お礼状の書き方 <時間外学習>お礼状の書式を理解する 30分 13 社会体験実習の心得、ワークブックの活用法 <時間外学習>ワークブックの実習前の心構えの部分を熟読する 30分 14 社会体験実習報告会の進め方 <時間外学習>発表会に向けて準備すべき事柄の整理・確認 60分 15 期末試験 <時間外学習>期末試験の解答状況から自身の到達度を内省する 30分
------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

学修に関する留意事項	今後の学生生活をより有意義なものとしていくためにも必要となる知識・技能を学びます。自らの社会人像を思い描くと共に自分と向き合い、今後の進路を考える上での有効な手段としてもらえることを期待します。なお、シラバスを参考にして次回の講義に該当するテキストの箇所を熟読して講義に臨んでください。
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	課題が提出された翌週に、対面でフィードバックします。
成績評価方法・基準	試験（到達目標1、2、3）40% レポート提出（到達目標2）30% 取り組み姿勢（到達目標3）30%
書名①	『オフィスワークの教科書』
著者名①	中畑裕之・日下清佳・杉谷哲也他
出版社①	
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	
参考URL	
特記事項	「社会体験実習」とともに履修すること。ただし、「社会体験学習」における評価の結果によって、「社会体験実習」の受講可否が決定することに留意すること。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1	2	選択
担当教員			
伊東 秀幸、江淵 剛			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
実習	キャリア育成学科	2J1401	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員</p> <p><input type="checkbox"/> 科目に関連した実務経験のある教員が担当している</p> <p>科目に関連した実務内容</p> <p>アクティブラーニング要素</p> <p>■ ディスカッション、ディベート</p> <p>■ グループワーク</p> <p><input type="checkbox"/> プレゼンテーション</p> <p>■ 実習、フィールドワーク</p>
------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	職業人に求められる資質・スキルを理解するとともに、実社会を体験することで新たな自分を発見する。
到達目標	<p>1 実社会での体験を通してビジネス実務で求められる幅広い教養と各専門領域でも求められる知識・スキルを理解・修得することができる。</p> <p>2 価値観・年代が異なる多様な人とコミュニケーションを円滑にするスキルや問題解決力を習得し、社会性および責任感を培うことができる。</p> <p>3 前期講義を通して修得した知識・技能を具体的に活かすとともに卒業までの課題を発見する。</p>
授業概要	<p>「組織におけるルールを体験し、社会人としての自覚を促す」「これまで学んできた各自の考え方の妥当性を確かめ、これから学ぶべき課題や方向性を見いだす」ために、指定のワークブックを活用しながら公官庁・企業・病院などの事業所で現場実習を行う。</p> <p>また、実習後は実習内容及び修得した知識・技能を振り返りながら実習先へお礼状を出すほか、体験内容の報告会を実施する。</p>
授業計画	<p>実習の概要</p> <p>I. 実習先・・・本学が設定している「社会体験実習」の主旨を理解いただいたうえで協力・実行していただける事業所で行う。主として三重県内に所在する事業所であるが、学生の帰省先によっては県外の事業所で実施することもある。II. 事前訪問・・・実習開始までに学生各自で実習先へアポイントをとり、履歴書持参の上、必ず事前訪問を実施する。III. 実習期間・・・原則として夏期休業中（8月17日～31日）の間で64時間以上実習に参加する。IV. 実習中の学生の課題①社会体験学習を通じて学んだことを活かして主体的・積極的に実習に取り組む。②実習を通じて社会人として働くうえで自らの課題を発見し、今後の学生生活における目標を設定する。③自らが考えていた社会人として必要な能力と、実社会が必要としている能力の違いについて考える。④企業（組織）の仕組みを学ぶ。⑤自分の担当する業務を通じて働くことの意義を学ぶ。V. 実習の目安①実習先事業所の就業規則・ルール・マナーなどを知り遵守する。②事業所の方々から指導を受けながら具体的な業務を遂行し、その仕組み等を知り、体得する。③業務に対して、積極的に取り組み、成功体験をする。VI. 実習終了後の学生の課題①実習終了後は指定の報告書を作成して提出する。②実習終了後は実習先にお礼状を出す。③社会体験実習報告会用データ（Power Point）を作成する。④社会体験実習報告会へ参加する。⑤実習先社会体験反省会へ参加する。</p>
学修に関する留意事項	<p><時間外学習>に関しては、日々の実習に向かう前に一日の目標を明確に持ち行動すること、実習後はワークブックへの記入とともに一日の行動を振り返り改善意識を持つこと。この実習は新たな自分を発見できる大きなチャンスです。何かを与えられるのを待ち、それをこなすだけではなく、自ら積極的かつ貪欲に業務を遂行し知識や技能を身に付けて下さい。</p>
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	報告時に対面でフィードバックします。
成績評価方法・基準	<p>実習先の評価50%</p> <p>提出物（お礼状、ワークブック、スライド）40%</p> <p>実習報告10%</p>
書名①	『オフィスワークの教科書』
著者名①	中畑裕之・日下清佳・杉谷哲也他
出版社①	
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	

著者名③	
出版社③	
参考文献	特に無し。
参考URL	
特記事項	「社会体験学習」とともに履修すること。ただし、「社会体験学習」における評価の結果によって、「社会体験実習」の受講可否が決定することに留意すること。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	1	1	選択
担当教員			
伊東 秀幸、江淵 剛			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
実習	キャリア育成学科	2J1402	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員</p> <p>■科目に関連した実務経験のある教員が担当している</p> <p>科目に関連した実務内容</p> <p>高等学校において、地域資源を活用した商品開発を指導し、観光関連団体や企業と連携して商品化を実現した。</p> <p>アクティブラーニング要素</p> <p><input type="checkbox"/>ディスカッション、ディベート</p> <p><input type="checkbox"/>グループワーク</p> <p>■プレゼンテーション</p> <p>■実習、フィールドワーク</p>
------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	オフィスワークの専門的な知識や技能を地域社会で活かし、実践から得た学びを人生設計につなげる。
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 学内において習得した知識や技能の活用方法を人生設計に応じて判断することができる。 2 オフィスワークの専門的な知識や技能を地域社会の実態に応じて表出することができる。 3 学外において実践した活動から人生設計に必要な自己調整力を考察することができる。
授業概要	学内において習得した知識や技能の実践を目的として、地域社会において実施されるボランティア活動に参加する。また、実践を通じて、学びを人生設計に活かす自己調整力の確立を目指す。
授業計画	<p>第1講 前期オリエンテーション（4月下旬のコース科目がないコマ） ＜時間外学習＞自身の強みとなる知識や技能を把握する。（30分）</p> <p>第2講 ボランティア活動の紹介①（5月上旬のコース科目がないコマ） ＜時間外学習＞自身の強みとなる知識や技能に適したボランティア活動を選定する。（30分）</p> <p>第3講～第5講 学外ボランティア活動①（5月～7月） ＜時間外学習＞決定したボランティア活動の申込書を作成し、必要な用具を準備する。（30分）</p> <p>第6講 前期反省会・ボランティア活動の紹介②（7月下旬の補講期間） ＜時間外学習＞前期のボランティア活動を振り返り、自己調整力を発揮して新たなボランティア活動を選定する。（30分）</p> <p>第7講～第9講 学外ボランティア活動②（8月～9月） ＜時間外学習＞決定したボランティア活動の申込書を作成し、必要な用具を準備する。（30分）</p> <p>第10講 後期オリエンテーション・ボランティア活動の紹介③（10月上旬のコース科目がないコマ） ＜時間外学習＞夏期休業期間のボランティア活動を振り返り、自己調整力を発揮して新たなボランティア活動を選定する。（30分）</p> <p>第11講～第13講 学外ボランティア活動③（10月～12月） ＜時間外学習＞決定したボランティア活動の申込書を作成し、必要な用具を準備する。（30分）</p> <p>第14講～第15講 報告会（1月下旬の補講期間） ＜時間外学習＞報告会のフィードバックを活かし、人生設計に必要な自己調整力を内省する。（30分）</p>
学修に関する留意事項	原則として、担当教員のオフィスアワーがボランティア活動に関する連絡・調整の時間です。それ故、短期大学は高等学校と異なり、学生自身によるタイムマネジメントが問われます。言い換えると、人生設計につながる貴重な時間を本人の意思でつくり出すこともできます。専門的な知識や技能を地域社会において積極的に表出し、人生設計に必要な自己調整力を磨いてください。
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	通常は、申込書や報告書の提出時に研究室でフィードバックします。また、報告会は発表後に実施教室でフィードバックします。
成績評価方法・基準	<p>単位を修得する前提として、学外で合計18時間以上（1回につき3時間以上）のボランティア活動に参加することが求められます。</p> <p>その上で、ボランティア活動に関する</p> <p>① 申込書・報告書の提出状況・記入内容（到達目標1、2）70%</p> <p>② 報告会の発表内容・発表技能（到達目標3）30%</p>

	に基づいて評価します。
書名①	『オフィスワークの教科書』
著者名①	中畑裕之・日下清佳・杉谷哲也他
出版社①	
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	必要に応じて紹介します。
参考URL	
特記事項	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1	1	選択
担当教員			
伊東 秀幸			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
演習	キャリア育成学科	2K1200	
添付ファイル			

授業種類	授業担当教員 <input type="checkbox"/> 科目に関連した実務経験のある教員が担当している 科目に関連した実務内容 アクティブラーニング要素 <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション、ディベート <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク
テーマ	チームワークの深化を図り、ヒューマンスキル（対人的能力）を向上させる。
到達目標	1 群れ、集団、組織の差異を認識し、チームワークの深化に必要な要素を理解することができる。 2 チーム内において自己の意見を主張するとともに、他者の意見を受容することができる。 3 メンバーの強みを把握するとともに、自己の強みをチームの実態に応じて表出することができる。 4 向上したヒューマンスキルを活かし、与えられた課題をチームとして考察することができる。
授業概要	新型コロナウイルス感染症の感染拡大を契機として、わが国においてもテレワークが浸透し、日本の雇用システムが見直されつつある。そこで、社会が求めるヒューマンスキルを不易と流行に分解し、いかに社会が変化しようとも自律と協調の両立を図る自己調整力の確立を目指す。
授業計画	第1講 オリエンテーション：授業計画の確認 <時間外学習>自身の成長をスライドにまとめる。(30分) 第2講 自己理解：成長の評価規準 <時間外学習>チームで活動した経験をスライドにまとめる。(30分) 第3講 他者理解：チームワークの評価規準 <時間外学習>障害のある方と関わった経験をスライドにまとめる。(30分) 第4講 共生社会の実現：アンコンシャス・バイアスの理解 <時間外学習>アンコンシャス・バイアスの解消に必要な要素をスライドにまとめる。(30分) 第5講 共生社会の実現：視覚障害の理解 <時間外学習>視覚障害の支援方法をスライドにまとめる。(30分) 第6講 共生社会の実現：聴覚障害の理解 <時間外学習>聴覚障害の支援方法をスライドにまとめる。(30分) 第7講 テレワークの実践：基礎知識 <時間外学習>テーマ設定の意図をスライドにまとめる。(30分) 第8講 テレワークの実践：ディベートのテーマ設定 <時間外学習>テーマの予備知識をスライドにまとめる。(30分) 第9講 ディベートの実践：基礎知識 <時間外学習>立論、反対尋問の資料を作成する。(60分) 第10講 ディベートの実践：立論、反対尋問 <時間外学習>反駁、最終弁論の資料を作成する。(60分) 第11講 ディベートの実践：反駁、最終弁論、判定 <時間外学習>ヒューマンスキルを自身が考える不易と流行に分解してスライドにまとめる。(30分) 第12講 ヒューマンスキルの考察：不易と流行 <時間外学習>自身が考える自律と協調に必要なヒューマンスキルをスライドにまとめる。(30分) 第13講 ヒューマンスキルの考察：自律と協調 <時間外学習>報告会の資料を作成する。(60分) 第14講 ヒューマンスキルの考察：報告会 <時間外学習>報告会の内容を評価する。(30分) 第15講 振り返り <時間外学習>報告会の評価に基づいて報告書を作成する。(60分)

学修に関する留意事項	学びに向かう姿勢は、自律と協調を共通して支える要素です。自己の強みを積極的に表出し、チームの一員として必要な自己調整力を磨いてください。
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	課題が提出された翌週に、対面でフィードバックします。
成績評価方法・基準	毎時の振り返り（到達目標 1、2）10% スライドの内容（到達目標 1、3）30% ディベートの内容（到達目標 2、3）20% 報告会の内容（到達目標 3、4）20% 報告書の内容（到達目標 3、4）20%
書名①	随時、プリント等を配付します。
著者名①	
出版社①	
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	
参考URL	
特記事項	

講義科目名称： 数学演習

授業コード： 18800A

英文科目名称： Mathematics Exercise

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1	1	選択
担当教員			
村野 温志			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
演習	キャリア育成学科	2L1200	
添付ファイル			

授業種類	授業担当教員 <input type="checkbox"/> 科目に関連した実務経験のある教員が担当している 科目に関連した実務内容 アクティブラーニング要素 <input type="checkbox"/> ディスカッション、ディベート <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク
------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	楽しく、積極的に問題に取り組み、一題でも多くの問題を解くことを目指していく過程において、社会に出て通用する数理的な考察力や処理能力を養う。
到達目標	1. 数学を解く楽しさを知る。2. 計算力を習得するとともに経理事務の基礎力を身につけることができる。3. 数学的思考力・表現力を身につけることができる。4. 社会生活に必要な問題を多く演習し、応用力を身につけることができる。
授業概要	授業を通して社会で必要とされる計算力及び数学的思考力を身につけるとともに就職試験にも役立つ力を養う。
授業計画	1 整数の性質 2 計算 3 展開と因数分解 4 方程式 5 関数 6 規則性 7 比と割合 8 速さ 9 特殊算 10 場合の数と確率 11 図形の基本 12 円の性質 13 合同と相似 14 三平方の定理 15 総復習と整理
学修に関する留意事項	毎回の授業は教員作成のプリントを使って行います。授業では遠慮なく質問してください。授業中に練習問題を解いてもらいます。

試験やレポート等の課題のフィードバック方法	
成績評価方法・基準	筆記試験（到達目標 1, 2, 3, 4）60% 授業中および授業外の課題への取り組み（到達目標 1, 2, 3, 4）40%
書名①	
著者名①	
出版社①	
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	最新！SPI3完全版、文系学生のためのSPI3完全攻略問題集、畑中敦子の算数・数学の超キホン！
参考URL	
特記事項	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1	2	選択
担当教員			
枝光 悠			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
講義	キャリア育成学科	2N1100	
添付ファイル			

授業種類	授業担当教員 <input type="checkbox"/> 科目に関連した実務経験のある教員が担当している 科目に関連した実務内容 アクティブラーニング要素 <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション、ディベート <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク
------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	秘書業務に関する知識と技能を学ぶ
到達目標	1. 秘書業務に関する知識を学び、上司や周囲のよき補佐役としての機能や役割を理解する。 2. 秘書業務に関する技能を学び、社会人生活で実践できる実務スキルを身につける。 3. 基本的な秘書業務について理解し、秘書検定2級合格レベルに到達する。
授業概要	本講義では、秘書学の理論を通して『秘書』の仕事について学びながら、組織の一員としての役割や仕事への向き合い方を考える。 また秘書検定のテキストを用いて、秘書業務に関する知識と技能を学び、職場で活かせるオフィス実務スキルの修得を目指す。
授業計画	1 オリエンテーション、秘書学導入『秘書学とは～秘書理論と秘書実務の関係～』 〈時間外学習〉課題プリント、アンケート (30分) 2 『組織における秘書の機能と役割』 〈時間外学習〉課題プリント (30分) 3 『秘書の資質』 〈時間外学習〉課題プリント (30分) 4 『秘書のマナーと接遇』電話応対、来客接遇 〈時間外学習〉課題プリント (30分) 5 『秘書の交際業務』交際、贈答 〈時間外学習〉テキスト巻末の模擬試験「仕上げ1」(120分以内) 6 『秘書の文書業務』文書作成 〈時間外学習〉課題プリント (30分) 7 『秘書の情報管理と総務業務』情報取扱、会議、日程管理、身の回りの世話と環境整備 〈時間外学習〉テキスト巻末の模擬試験「仕上げ2」(120分以内) 8 秘書検定2級：秘書検定概要説明、模擬試験(第1回目)、解説 〈時間外学習〉過去問題1回分を解く(120分) 9 秘書検定2級：模擬試験(第2回目)、解説 〈時間外学習〉過去問題1回分を解く(120分) 1 0 『秘書を取り巻く社会変容』 〈時間外学習〉課題プリント(30分) 1 1 『秘書に必要な関連知識』 〈時間外学習〉課題プリント(30分) 1 2 『秘書のパーソナリティ』 〈時間外学習〉課題プリント(30分) 1 3 『秘書の人間関係』 〈時間外学習〉課題プリント(30分) 1 4 『これからの秘書と課題』 〈時間外学習〉課題プリント(30分) 1 5 まとめ

学修に関する留意事項	講義への積極的な参加、意見交換の場での積極的な発言を評価する。 講義で取り組んだ内容については、授業後に十分復習し、理解を深めること。 また、秘書検定を受験する学生は、講義内容を参考のうえ計画的に受験対策を進めること。	
試験やレポート等の課題のフィードバック方法		
成績評価方法・基準	授業に対する取り組み姿勢 (到達目標 1, 2, 3)	50%
	レポート・課題プリント (到達目標 1, 2, 3)	50%
書名①	秘書検定集中講義 2 級 改訂版	
著者名①	実務技能検定協会	
出版社①	早稲田教育出版	
書名②	秘書検定実問題集 2 級 2024年度版	
著者名②	実務技能検定協会	
出版社②	早稲田教育出版	
書名③		
著者名③		
出版社③		
参考文献		
参考URL		
特記事項		

講義科目名称： 経済学

授業コード： 60010A

英文科目名称： Economics

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1	2	選択
担当教員			
金子 満来			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
講義	キャリア育成学科	201101	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員</p> <p><input type="checkbox"/> 科目に関連した実務経験のある教員が担当している</p> <p>科目に関連した実務内容</p> <p>アクティブラーニング要素</p> <p><input type="checkbox"/> ディスカッション、ディベート</p> <p><input type="checkbox"/> グループワーク</p> <p><input type="checkbox"/> プレゼンテーション</p> <p><input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク</p>
------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	経済学の基礎
到達目標	経済学の基本用語や独特の考え方に慣れる。 マクロ経済学やミクロ経済学、その応用となる国際経済学の知識を身に着ける。
授業概要	本講義では、経済学の基礎知識や諸理論について解説する。適宜、新聞などのメディアを活用に現実の経済問題についても取り扱う予定である。
授業計画	<p>1 イントロダクション マクロ経済学の基本</p> <p>2 国民経済計算の概念 (1)</p> <p>3 国民経済計算の概念 (2)</p> <p>4 経済政策と日本経済</p> <p>5 マクロ編の応用とまとめ</p> <p>6 ミクロ経済とは</p> <p>7 市場の均衡と需給曲線のシフト</p> <p>8 需給曲線のシフトと均衡価格の変化</p> <p>9 均衡価格の変化と価格弾力性</p> <p>10 余剰分析と価格規制の影響</p> <p>11 貿易の利益</p> <p>12 貿易政策</p> <p>13 比較優位理論</p> <p>14 外国為替と交易条件</p> <p>15 総括・まとめ</p>
学修に関する留意事項	

試験やレポート等の課題のフィードバック方法	
成績評価方法・基準	
書名①	入門 経済学
著者名①	伊藤元重
出版社①	日本評論社
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	
参考URL	
特記事項	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1	2	選択
担当教員			
山口 昌和、田中 三雄			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
講義・演習	キャリア育成学科	2P1302	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員</p> <p><input type="checkbox"/> 科目に関連した実務経験のある教員が担当している</p> <p>科目に関連した実務内容</p> <p>アクティブラーニング要素</p> <p><input type="checkbox"/> ディスカッション、ディベート</p> <p><input type="checkbox"/> グループワーク</p> <p><input type="checkbox"/> プレゼンテーション</p> <p><input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク</p>
------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	簿記は、企業の経営活動を記録・計算・整理する技術です。個人企業を含むすべての企業に必須のビジネスツールで、簿記を抜きにして良好な企業活動を行うことはできません。就職して企業や官公庁等でオフィス勤務する人をはじめ自営業を営む人や起業する人などにとっても、在学中に学んだ簿記の知識・技能はきっと大いに役立つことでしょう。また、学習した成果として取得した検定試験の合格証は一生の財産となります。科目「簿記演習」と合わせて本科目では、簿記の基礎的・基本的な理論と実践力を身につけることを目標に、まったくの初歩から、一歩ずつ着実に学んでいきます。
-----	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 自ら意欲的・積極的かつ誠実な態度で、学習および授業に取り組むことができる。 2. 時間外の学習や課題にも真摯に取り組む、時間外課題を着実に提出することができる。 3. 簿記の基礎的・基本的な理論と実践力が身についている。
------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

授業概要	簿記についてまったくの初歩から学び、簿記の基礎的・基本的な理論と実践力が着実に身につくよう、一歩ずつ段階を追いながら授業を進めていきます。
------	-----------------------------------------------------------------------

授業計画	<p>講義1 簿記の意義と仕組み1（資産・負債・資本と貸借対照表） 学習した内容についての時間外課題（60分程度）等による復習</p> <p>講義2 簿記の意義と仕組み2（収益・費用と損益計算書） 学習した内容についての時間外課題（60分程度）等による復習</p> <p>講義3 簿記の意義と仕組み3（仕訳と転記） 学習した内容についての時間外課題（60分程度）等による復習</p> <p>講義4 各種取引の処理1（現金預金） 学習した内容についての時間外課題（60分程度）等による復習</p> <p>講義5 各種取引の処理2（商品売買） 学習した内容についての時間外課題（60分程度）等による復習</p> <p>講義6 各種取引の処理3（売掛金と買掛金、その他の債権・債務） 学習した内容についての時間外課題（60分程度）等による復習</p> <p>講義7 各種取引の処理4（手形、電子記録債権・債務） 学習した内容についての時間外課題（60分程度）等による復習</p> <p>講義8 各種取引の処理5（固定資産） 学習した内容についての時間外課題（60分程度）等による復習</p> <p>講義9 各種取引の処理6（貸倒れと貸倒引当金、資本） 学習した内容についての時間外課題（60分程度）等による復習</p> <p>講義10 各種取引の処理7（収益と費用、税金） 学習した内容についての時間外課題（60分程度）等による復習</p> <p>講義11 伝票会計 学習した内容についての時間外課題（60分程度）等による復習</p> <p>講義12 決算の予備手続き（試算表、精算表） 学習した内容についての時間外課題（60分程度）等による復習</p> <p>講義13 決算の本手続き（帳簿決算） 学習した内容についての時間外課題（60分程度）等による復習</p> <p>講義14 決算の結果報告（損益計算書・貸借対照表） 学習した内容についての時間外課題（60分程度）等による復習</p> <p>講義15 授業の総括</p>
------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

臨時テスト（60分）と授業評価アンケートの実施	
学修に関する留意事項	前期は本科目「簿記論Ⅰ」と「簿記演習」をセットにして授業が進みますので、どちらの科目も履修する必要があります。本科目で理論を学び、その学んだ内容について「簿記演習」で演習に取り組みます。簿記の学習は復習がとても大切です。繰り返し問題を解いていけば着実に力がついてきていることが実感できるようになり、きっと簿記の学習が楽しくなります。
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	
成績評価方法・基準	授業に対する取組状況（到達目標の1と3） 30% 時間外学習に対する取り組みと課題提出の状況（到達目標の2） 20% 臨時テスト（到達目標の3） 50%
書名①	「よくわかる簿記シリーズ 合格テキスト 日商簿記3級」
著者名①	TAC出版
出版社①	TAC出版
書名②	「よくわかる簿記シリーズ 合格トレーニング 日商簿記3級」
著者名②	TAC出版
出版社②	TAC出版
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	適宜、必要に応じて紹介します。
参考URL	
特記事項	同一の学習内容で、クラスAは山口が、クラスBは田中が担当します。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1	1	選択
担当教員			
山口 昌和、田中 三雄			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
演習	キャリア育成学科	2P1203	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員</p> <p><input type="checkbox"/> 科目に関連した実務経験のある教員が担当している</p> <p>科目に関連した実務内容</p> <p>アクティブラーニング要素</p> <p><input type="checkbox"/> ディスカッション、ディベート</p> <p><input type="checkbox"/> グループワーク</p> <p><input type="checkbox"/> プレゼンテーション</p> <p><input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク</p>
------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	簿記は、企業の経営活動を記録・計算・整理する技術です。個人企業を含むすべての企業に必須のビジネスツールで、簿記を抜きにして良好な企業活動を行うことはできません。就職して企業や官公庁等でオフィス勤務する人をはじめ自営業を営む人や起業する人などにとっても、在学中に学んだ簿記の知識・技能はきっと大いに役立つことでしょう。また、学習した成果として取得した簿記検定の合格証は一生の財産となります。科目「簿記論Ⅰ」と合わせて本科目では、簿記の基礎的・基本的な理論と実践力を身につけることを目標に、まったくの初歩から、一歩ずつ着実に学んでいきます。
-----	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 自ら意欲的・積極的かつ誠実な態度で、学習および授業に取り組むことができる。 2. 時間外の学習や課題にも真摯に取り組む、時間外課題を着実に提出することができる。 3. 簿記の基礎的・基本的な理論と実践力が身についている。
------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

授業概要	簿記についてまったくの初歩から学び、簿記の基礎的・基本的な理論と実践力が着実に身につくよう、一歩ずつ段階を追いながら授業を進めていきます。
------	-----------------------------------------------------------------------

授業計画	<p>演習1 簿記の意義と仕組み1（資産・負債・資本と貸借対照表） 学習した内容についての時間外課題（60分程度）等による復習</p> <p>演習2 簿記の意義と仕組み2（収益・費用と損益計算書） 学習した内容についての時間外課題（60分程度）等による復習</p> <p>演習3 簿記の意義と仕組み3（仕訳と転記） 学習した内容についての時間外課題（60分程度）等による復習</p> <p>演習4 各種取引の処理1（現金預金） 学習した内容についての時間外課題（60分程度）等による復習</p> <p>演習5 各種取引の処理2（商品売買） 学習した内容についての時間外課題（60分程度）等による復習</p> <p>演習6 各種取引の処理3（売掛金と買掛金、その他の債権・債務） 学習した内容についての時間外課題（60分程度）等による復習</p> <p>演習7 各種取引の処理4（手形、電子記録債権・債務） 学習した内容についての時間外課題（60分程度）等による復習</p> <p>演習8 各種取引の処理5（固定資産） 学習した内容についての時間外課題（60分程度）等による復習</p> <p>演習9 各種取引の処理6（貸倒れと貸倒引当金、資本） 学習した内容についての時間外課題（60分程度）等による復習</p> <p>演習10 各種取引の処理7（収益と費用、税金） 学習した内容についての時間外課題（60分程度）等による復習</p> <p>演習11 伝票会計 学習した内容についての時間外課題（60分程度）等による復習</p> <p>演習12 決算の予備手続き（試算表、精算表） 学習した内容についての時間外課題（60分程度）等による復習</p> <p>演習13 決算の本手続き（帳簿決算） 学習した内容についての時間外課題（60分程度）等による復習</p> <p>演習14 決算の結果報告（損益計算書・貸借対照表） 学習した内容についての時間外課題（60分程度）等による復習</p> <p>演習15 授業の総括</p>
------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

臨時テスト（60分）および評価アンケートの実施	
学修に関する留意事項	前期は本科目「簿記演習」と「簿記論Ⅰ」をセットにして授業が進みますので、どちらの科目も履修する必要があります。「簿記論Ⅰ」で理論を学び本科目で演習することで、簿記の基礎的・基本的な理論と実践力を身につけていきます。 簿記の学習は復習がとても大切です。繰り返し問題を解いていけば着実に力がついてきていることが実感できるようになり、きっと簿記の学習が楽しくなります。
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	
成績評価方法・基準	授業に対する取組状況（到達目標の1と3） 30% 時間外学習に対する取り組みと課題提出の状況（到達目標の2） 20% 臨時テスト（到達目標の3） 50%
書名①	「よくわかる簿記シリーズ 合格テキスト 日商簿記3級」
著者名①	TAC出版
出版社①	TAC出版
書名②	「よくわかる簿記シリーズ 合格トレーニング 日商簿記3級」
著者名②	TAC出版
出版社②	TAC出版
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	適宜、必要に応じて紹介します。
参考URL	
特記事項	同一の学習内容で、クラスAは山口が、クラスBは田中が担当します。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1	1	選択
担当教員			
山口 昌和、田中 三雄			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
演習	キャリア育成学科	2P1204	
添付ファイル			

授業種類	授業担当教員 <input type="checkbox"/> 科目に関連した実務経験のある教員が担当している 科目に関連した実務内容 アクティブラーニング要素 <input type="checkbox"/> ディスカッション、ディベート <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク
------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	日本商工会議所主催簿記3級検定の合格を目指す科目です。 前期「簿記論Ⅰ」「簿記演習」での学習に続き、後期は「簿記論Ⅱ」と本科目のセットで授業を進め、検定合格まで導きます。また、検定合格に向けた学習を通じて簿記の基礎的・基本的な理論と実践力を身につけます。
-----	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

到達目標	1. 自ら意欲的・積極的かつ誠実な態度で、学習および授業に取り組むことができる。 2. 時間外の学習や課題にも真摯に取り組み、時間外課題を着実に提出することができる。 3. 簿記の基礎的・基本的な理論と実践力が身につけている。
------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

授業概要	前期「簿記論Ⅰ」「簿記演習」で学習してきた内容を、検定試験に応じて項目別に総復習します。後期は「簿記論Ⅱ」と本科目を合わせた学習・演習によって簿記の基礎的・基本的な理論と実践力を着実に高め、3級検定合格を目指します。
------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------

授業計画	演習1 第1問出題傾向の分析と対策1（各取引と必要な会計処理1） 学習した内容についての時間外課題（60分程度）等による復習 演習2 第1問出題傾向の分析と対策2（各取引と必要な会計処理2） 学習した内容についての時間外課題（60分程度）等による復習 演習3 第1問出題傾向の分析と対策3（各取引と証ひょう） 学習した内容についての時間外課題（60分程度）等による復習 演習4 第2問出題傾向の分析と対策1（諸帳簿1） 学習した内容についての時間外課題（60分程度）等による復習 演習5 第2問出題傾向の分析と対策2（諸帳簿2） 学習した内容についての時間外課題（60分程度）等による復習 演習6 第2問出題傾向の分析と対策3（伝票会計） 学習した内容についての時間外課題（60分程度）等による復習 演習7 第3問出題傾向の分析と対策1（試算表と精算表） 学習した内容についての時間外課題（60分程度）等による復習 演習8 第3問出題傾向の分析と対策2（財務諸表） 学習した内容についての時間外課題（60分程度）等による復習 演習9 総合演習1 学習した内容についての時間外課題（60分程度）等による復習 演習10 総合演習2 学習した内容についての時間外課題（60分程度）等による復習 演習11 総合演習3 学習した内容についての時間外課題（60分程度）等による復習 演習12 検定模擬試験1 学習した内容についての時間外課題（60分程度）等による復習 演習13 検定模擬試験2 学習した内容についての時間外課題（60分程度）等による復習 演習14 検定模擬試験3 学習した内容についての時間外課題（60分程度）等による復習 演習15 授業の総括 臨時テストおよび授業評価アンケートの実施
------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

学修に関する留意事項	後期は、本科目「簿記総合演習」と「簿記論Ⅱ」をセットにして授業が進みますので、どちらの科目も履修する必要があります。 3級検定合格を目指して「簿記論Ⅱ」で理論を学び、本科目「簿記総合演習」で演習に取り組みます。
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	
成績評価方法・基準	授業に対する取組状況（到達目標の1と3） 30% 時間外学習に対する取り組みと課題提出の状況（到達目標の2） 20% 臨時テスト（到達目標の3） 50%
書名①	「よくわかる簿記シリーズ 本試験問題集 日商簿記3級 2024年AW対策」 8月下旬頃に販売される最新版を授業で使用しますので、それ以前のものを誤って購入しないように注意してください。
著者名①	TAC出版
出版社①	TAC出版
書名②	「2024年度試験をあてる TAC予想模試+解き方テキスト 日商簿記3級」 適当な時期に紹介します。
著者名②	TAC出版
出版社②	TAC出版
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	適宜、必要に応じて紹介します。
参考URL	
特記事項	同一の学習内容で、クラスAは山口が、クラスBは田中が担当します。

講義科目名称： 商業簿記論

授業コード： 28510A

英文科目名称： Commercial bookkeeping Theory

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1	2	選択
担当教員			
田中 三雄			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
講義・演習	キャリア育成学科	2P1306	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員</p> <p><input type="checkbox"/> 科目に関連した実務経験のある教員が担当している</p> <p>科目に関連した実務内容</p> <p>アクティブラーニング要素</p> <p><input type="checkbox"/> ディスカッション、ディベート</p> <p><input type="checkbox"/> グループワーク</p> <p><input type="checkbox"/> プレゼンテーション</p> <p><input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク</p>
------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	<p>後期科目「商業簿記演習」と合わせて、日本商工会議所主催簿記2級検定の合格を目指す科目です。</p> <p>2級検定は商業簿記と工業簿記の両分野から出題されますが、本科目では商業簿記の分野を学習します。</p> <p>2級検定合格に向けた学習を通じて、中級程度の商業簿記の理論と実践力を身につけます。</p>
-----	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

到達目標	<p>1. 自ら意欲的・積極的かつ誠実な態度で、学習および授業に取り組むことができる。</p> <p>2. 時間外の学習や課題にも真摯に取り組み、時間外課題を着実に提出することができる。</p> <p>3. 中級程度の商業簿記の理論と実践力が身につけている。</p>
------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

授業概要	<p>日商簿記3級検定の合格者または3級の学習内容が理解できている人を前提として、後期科目「商業簿記演習」とセットで授業を進め、簿記2級検定合格を目指します。</p>
------	-------------------------------------------------------------------------------------

授業計画	<p>講義1 各種取引の処理1（現金預金と債権譲渡） 学習した内容についての時間外課題（60分程度）等による復習</p> <p>講義2 各種取引の処理2（手形、電子記録債権・債務） 学習した内容についての時間外課題（60分程度）等による復習</p> <p>講義3 各種取引の処理3（有価証券、その他の債権・債務） 学習した内容についての時間外課題（60分程度）等による復習</p> <p>講義4 各種取引の処理4（商品売買） 学習した内容についての時間外課題（60分程度）等による復習</p> <p>講義5 各種取引の処理5（固定資産） 学習した内容についての時間外課題（60分程度）等による復習</p> <p>講義6 各種取引の処理6（引当金、収益・費用） 学習した内容についての時間外課題（60分程度）等による復習</p> <p>講義7 各種取引の処理7（株式会社の純資産） 学習した内容についての時間外課題（60分程度）等による復習</p> <p>講義8 各種取引の処理8（税金、リース会計） 学習した内容についての時間外課題（60分程度）等による復習</p> <p>講義9 各種取引の処理9（外貨建取引、税効果会計） 学習した内容についての時間外課題（60分程度）等による復習</p> <p>講義10 決算および財務諸表の作成1 学習した内容についての時間外課題（60分程度）等による復習</p> <p>講義11 決算および財務諸表の作成2 学習した内容についての時間外課題（60分程度）等による復習</p> <p>講義12 本支店会計 学習した内容についての時間外課題（60分程度）等による復習</p> <p>講義13 連結会計1 学習した内容についての時間外課題（60分程度）等による復習</p> <p>講義14 連結会計2 学習した内容についての時間外課題（60分程度）等による復習</p> <p>講義15 授業の総括 臨時テストおよび授業評価アンケートの実施</p>
------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

学修に関する留意事項	1) 6月実施の日商簿記2級検定に合格した場合、成績にプラス評価します。ネット試験等で合格した場合も同様にプラス評価しますので、合格したら速やかに授業担当者に申し出てください。 2) 2級検定は商業簿記と工業簿記の両分野から出題されますので、前期では「工業簿記論」も履修してください。
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	
成績評価方法・基準	授業に対する取組状況(到達目標の1と3) 30% 時間外学習に対する取り組みと課題提出の状況(到達目標の2) 20% 臨時試験(到達目標の3) 50%
書名①	「日商簿記2級にとおるテキスト 商業簿記(第3版)」
著者名①	桑原知之
出版社①	ネットスクール出版
書名②	「日商簿記2級にとおるトレーニング 商業簿記(第3版)」
著者名②	桑原知之
出版社②	ネットスクール出版
書名③	「合格するための本試験問題集 日商簿記2級 2024年AW対策」 授業では例年8月下旬頃に販売される最新版を使用しますので、購入する時期に注意してください。
著者名③	TAC出版
出版社③	TAC出版
参考文献	
参考URL	
特記事項	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1	2	選択
担当教員			
細井 薫			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
講義・演習	キャリア育成学科	2P1308	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員</p> <p>■科目に関連した実務経験のある教員が担当している</p> <p>科目に関連した実務内容 会計事務所等の経理実務</p> <p>アクティブラーニング要素</p> <p><input type="checkbox"/>ディスカッション、ディベート <input type="checkbox"/>グループワーク <input type="checkbox"/>プレゼンテーション <input type="checkbox"/>実習、フィールドワーク</p>
テーマ	材料などを外部から仕入れ、それを加工して製造したものの（製品）を外部に販売する企業、いわゆる製造業で用いられる簿記が工業簿記です。製品を売るためには、製品1個につきいくらかかったか計算する（これを原価計算という）必要があります。工業簿記ではこの原価計算を中心に学習していきます。
到達目標	1. 意欲的に誠実な態度で学習・課題に取り組むことができる。2. 工業簿記の基本原則が理解できる。3. 日商簿記2級合格を目標に、工業簿記分野を学習する。
授業概要	工業簿記の基本原則を学び、総合原価計算、標準原価計算、直接原価計算、個別原価計算といった原価計算の基本を理解し、財務諸表を作成する。
授業計画	<p>1 ①工業簿記の全体像 ②総合原価計算の基礎 〈時間外学習〉復習のための課題に取り組む。(60分)</p> <p>2 ①組別総合原価計算 ②等級別総合原価計算 〈時間外学習〉復習のための課題に取り組む。(60分)</p> <p>3 ①工程別総合原価計算 ②材料の追加投入 ③仕損・減損の処理方法 〈時間外学習〉復習のための課題に取り組む。(60分)</p> <p>4 ①工業簿記の勘定連絡 ②損益計算書と貸借対照表の作成 ③製造原価報告書の作成 〈時間外学習〉復習のための課題に取り組む。(60分)</p> <p>5 総合原価計算のまとめ 〈時間外学習〉復習のための課題に取り組む。(60分)</p> <p>6 標準原価計算-1 〈時間外学習〉復習のための課題に取り組む。(60分)</p> <p>7 標準原価計算-2 〈時間外学習〉復習のための課題に取り組む。(60分)</p> <p>8 標準原価計算のまとめ 〈時間外学習〉復習のための課題に取り組む。(60分)</p> <p>9 直接原価計算-1 〈時間外学習〉復習のための課題に取り組む。(60分)</p> <p>10 直接原価計算-2 〈時間外学習〉復習のための課題に取り組む。(60分)</p> <p>11 ①本社・工場会計 ②個別原価計算 〈時間外学習〉復習のための課題に取り組む。(60分)</p> <p>12 個別原価計算の応用-1 〈時間外学習〉復習のための課題に取り組む。(60分)</p> <p>13 個別原価計算の応用-2 〈時間外学習〉復習のための課題に取り組む。(60分)</p> <p>14 工業簿記の総まとめ 〈時間外学習〉復習のための課題に取り組む。(60分)</p> <p>15 臨時試験授業評価アンケート 〈時間外学習〉復習のための課題に取り組む。(60分)</p>
学修に関する留意事項	工業簿記の学習では特に復習が大切です。毎時間、復習のための課題を出しますので、実際に自分の手を使って何度も問題を解いてみましょう。繰り返し問題を解くことによって苦手意識を持ちやすい工業簿記がきっと

	得意科目となることでしょう。建設業などの就職においても工業簿記の知識が必ず役に立つはずで
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	
成績評価方法・基準	授業に対する取り組み（到達目標1・2・3）30% 時間外学習、成果物の提出（到達目標1）20% 臨時試験（到達目標2・3）50%
書名①	日商簿記2級に"とおる"テキスト 工業簿記第2版
著者名①	著) 桑原 知之
出版社①	出) ネットスクール
書名②	日商簿記2級に"とおる"トレーニング 工業簿記第2版
著者名②	著) 桑原 知之
出版社②	出) ネットスクール
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	必要に応じて指示します。
参考URL	
特記事項	職業訓練指導員、会計事務所勤務等実務経験があります。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1	1	選択
担当教員			
川喜田 多佳子			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
演習	キャリア育成学科	2Q1201	
添付ファイル			

授業種類	授業担当教員 <input type="checkbox"/> 科目に関連した実務経験のある教員が担当している 科目に関連した実務内容 アクティブラーニング要素 <input type="checkbox"/> ディスカッション、ディベート <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク
------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	正しいタイピング姿勢を固めつつ、OAツールの中心であるWordを使いこなす。
到達目標	1. 正しい指使いでのタッチタイピングを実践できる。2. 与えられた時間内にさまざまなビジネス文書が体裁よく作成することができる。3. Wordの特質を知り、環境に応じた応用オプションの変更ができる
授業概要	授業開始10分程度美佳タイプを行い、タッチタイプの経験値を増やす。また、Wordの基本操作をマスターし、ビジネス文書やレポートなどを体裁よく作成するための演習を繰り返す。またワープロ検定受験により、効率よく課題を処理する力を身につけていく。Wordの環境オプションの仕組みを理解し、必要に応じたカスタマイズ設定学ぶことにより、コンピューター利用の自信をつけていく。
授業計画	<p>1 オリエンテーション、タイピング姿勢のチェック授業概要、教材確認 <時間外学習>購入した検定教科書に目を通し、夏・冬に受験する検定への目標をしっかりと立て、タイピング練習に力を入れる。(30分)</p> <p>2 授業内容：正しい姿勢でのタッチタイピング ・ タイピングソフト (美佳タイプ) の利用 ・ VDT作業の注意点 ・ Wordの基本操作 (起動と終了、コマンドの選択) <時間外学習>美佳タイプを使い、キーボード見ずに打つ練習を継続する。(30分)</p> <p>3 授業内容：MS-IME (日本語入力システム) を使う ・ 文字入力の基本 IME 言語バーを使いこなす <時間外学習>正しい文節変換を心がけた文書入力練習を行う。(30分)</p> <p>4 授業内容：Wordの基本操作 ・ コマンドの選択方法 (リボン、ダイアログボックスの表示) ・ 範囲選択 ・ フォント書式と段落書式 フォント書式の効果について <時間外学習>図書館やインターネットを利用し、フォントや配色の持つ意味を調べる。</p> <p>5 授業内容：ビジネス文書の作成1 ・ ページ設定 ・ Wordのオプション変更 <時間外学習>教科書付録、ビジネス文書の書き方を読み、社内外文書の違いやその構成を理解する (30分)</p> <p>6 授業内容：ビジネス文書の作成2 ・ ページ設定の応用 ・ 印刷の設定 <時間外学習>学内各所のプリンター、自宅のプリンターの設定の違いを確認しておく。(30分)</p> <p>7 授業内容：表作成 ・ 表の挿入 ・ 表編集 <時間外学習>表の構成 (セル、行、列、表) の理解を深めるため、繰り返し練習を行う。(1時間)</p> <p>8 授業内容：表作成2 ・ 複雑な表作成 ・ 表編集の応用 <時間外学習>理解が浅い箇所があれば積極的に教員を訪ねて指導を受けるなど理解を深める。(1時間)</p> <p>9 授業内容：表現力をアップした文書作成 ・ 図、ワードアートの挿入、ページ罫線 ・ タブ設定 ・ 段組 <時間外学習>教科書の巻末問題に取り組み、理解を深める。(1時間)</p> <p>10 授業内容：図形描画の基礎 ・ 図形を描く ・ 図形の書式設定 ・ 配色を考える <時間外学習>プロが作ったチラシやポスターなど、新聞や雑誌の広告をみて研究しておく。(30分)</p> <p>11 授業内容：図形描画を使った文書作成 ・ 見栄えの良い案内文の作成 <時間外学習>学祭模擬店のポスターやチケットのデザインも検討する。(30分)</p> <p>12 授業内容：様々な環境でWordを使うためには1 ・ 互換フォントの調整 ・ 状況に応じた保存形式を知る <時間外学習>バージョンや環境の違いなどで起こっているWordの問題をインターネットで調べ</p>

	<p>る(1時間) 13 授業内容：様々な環境でWordを使うためには2 ・Wordの応用オプションを知る ・規定書式の変更 <時間外学習>教員の推薦図書(図書館に蔵書)を読み、Wordの奥深い部分を探ってみる。(1時間)</p> <p>14 授業内容：まとめ1 総合練習 ・WordとExcelを提携した文書作成 <時間外学習>ワープロ検定初段の問題が大変参考になるので何題か解いてみる。(1時間)</p> <p>15 授業内容：まとめ2 総合練習 ・人の目を引くチラシ・ポスターの作成 ・キャッチコピーを考える。</p>
学修に関する留意事項	・授業と検定対策は平行して行うが、授業時間外にも練習時間を多くとらないと合格は難しい。・ワープロ検定の日程・申込方法については、掲示板で確認すること(7月、12月、2月学内実施) ※教科書「情報リテラシー総合編 Windows 11・Office 2021対応」は、ビジネス情報演習1,2と2年次の川喜田授業でも使用する。
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	
成績評価方法・基準	授業に臨む態度(到達目標1,2)40% 課題への取り組み(到達目標2,3)40% グループ学習(到達目標1,2)20%
書名①	情報リテラシー 総合編 Windows 11 / Office 2021対応 (ビジネス情報演習1,2と共通)
著者名①	富士通FOM
出版社①	FOM出版
書名②	日本ワープロ検定試験 模擬問題集2級・準2級
著者名②	日本情報処理検定協会
出版社②	日本情報処理検定協会
書名③	日本ワープロ検定試験 模擬問題集1級・準1級
著者名③	日本情報処理検定協会
出版社③	日本情報処理検定協会
参考文献	Microsoft Office Specialist Microsoft Word 対策テキスト& 問題集、日本ワープロ検定試験 模擬問題集初段
参考URL	
特記事項	Wordは学生生活の中でも一番多く使用するソフトです。簡単そうですが、ごまかしながら使用し続けると体裁の良い資料作成はできません。教科書には書かれていない教員の講義内容はしっかりメモをとりましょう。自己流タイピングが抜けない人は、ここからもう一度やり直しておかないと後で苦勞します。検定でも結果を残すことができません。ホームポジションからキーボードを見ないで打てるようにすることが大事です。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1	1	選択
担当教員			
川喜田 多佳子			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
演習	キャリア育成学科	2Q1204	
添付ファイル			

授業種類	授業担当教員 <input type="checkbox"/> 科目に関連した実務経験のある教員が担当している 科目に関連した実務内容 アクティブラーニング要素 <input type="checkbox"/> ディスカッション、ディベート <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク
テーマ	ビジネスで非常によく使われているExcelを活用し、さまざまな表やグラフを作成する
到達目標	1. Excelの基本機能を理解し、活用できる 2. 見やすい表の設計と数式の入力ができる 3. 決められた時間内に課題を処理することができる
授業概要	Excelの主要機能である、表計算、グラフ作成、データベース機能を使い、効率よく表作成やデータ処理ができる力を身につける。表計算検定受験対策を行い、検定合格を目指す。
授業計画	<p>1 授業内容：ガイダンス、教材確認 ・Excelの基本操作 ・ワークシートの構成 ・セルへのデータ入力、コピー、移動 ・オートフィル <時間外学習>テキストの閲覧、基本操作の復習(30分)</p> <p>2 授業内容：表作成の基本 ・数式の入力(四則演算の練習) ・見やすい表の作成(書式設定、列幅調整など) ・罫線の設定 ・カンマや¥マークを設定する <時間外学習>表の作成 問題集(60分)</p> <p>3 授業内容：表の編集と印刷 ・行、列の挿入や削除 ・セルの書式設定、書式のコピー ・印刷 <時間外学習>表の作成と編集 問題集(60分)</p> <p>4 授業内容：関数の利用1 ・関数の構成 ・様々な関数の入力方法(1. 関数の挿入利用 2. キーボードからの手入力) ・合計、平均、最大、最小、データの個数 <時間外学習>式の中身を理解し、慌てず間違いの無い計算式を立てる自信が付きまで練習を繰り返す。(60分)</p> <p>5 授業内容：関数の利用2 ・四捨五入、切り捨て、切り上げ <時間外学習>問題集 ROUND系関数の引数である桁数については、覚えるまで手元に置いて確認できる独自の表などを作成しておく。(60分)</p> <p>6 授業内容：セルの参照方法 ・相対参照、絶対参照 <時間外学習>教科書をよく読み、セル参照の仕組みを理解しておく(30分)</p> <p>7 授業内容：応用関数の利用1 ・IF関数 ・RANK関数 <時間外学習>演習問題集(60分)</p> <p>8 授業内容：応用関数の利用2 ・IF関数の応用(3段階以上の評価方法) ・VLOOKUP関数 <時間外学習>関数のネスト(入れ子)がスムーズにできるよう、演習問題に取り組む(60分)</p> <p>9 授業内容：表計算検定対策1 ・試験の概要、受験レベルについて ・問題への取り組み方法 <時間外学習>検定問題集に目を通し7月受験に向け計画目標を立てる。(30分)</p> <p>10 授業内容：グラフの作成 ・グラフの役割 ・基本グラフ(棒グラフと円グラフの作成と編集) ・グラフの要素について ・各要素の名称と役割を理解する <時間外学習>演習問題集課題(60分)</p> <p>11 授業内容：表計算検定対策2と基礎固め ・効率よく表を作成する方法 ・データベース機能とは ・並べ替え ・抽出 <時間外学習>検定問題集に取り組み、しっかり練習しておく(60分)</p> <p>12 授業内容：表計算検定対策3 ・模擬試験形式 <時間外学習>図書館に蔵書している過去問題集にも着手し、さまざまな問題傾向に対応できるよう練習する。(60分)</p>

	13	授業内容：応用関数の利用3 <時間外学習>かつ、または、ともに、いずれかの表現がどの関数に当たるのか、理解できるよう繰り返し練習する。(60分)	・IF関数とAND関数、OR関数の組み合わせ
	14	授業内容：複数シートの操作 ト間集計 <時間外学習>複数のシートを扱う際に効率よく作業できる方法を理解できるよう演習問題で練習する。(60分)	・作業グループと別シートのセル参照 ・シート
	15	授業内容：まとめの課題 <時間外学習>演習問題集 課題 (60分)	・VLOOKUPを使いこなす(trueの利 用) ・演習問題
学修に関する留意事項	7月、12月、2月実施の検定受験に向けて、取得級の計画を立てて進めていくこと。検定は本学で実施される。		
試験やレポート等の課題のフィードバック方法			
成績評価方法・基準	授業に臨む態度(到達目標1,2)30% 時間外学習(検定対策)(到達目標3)30% 課題への取り組み(到達目標1,2,3)40%		
書名①	情報リテラシー 総合編 Windows 11 / Office 2021対応(文書情報演習1と共通)		
著者名①	富士通FOM		
出版社①	FOM出版		
書名②	Excelマスター演習問題集 基礎編 2019対応		
著者名②	ムゲンダイ出版		
出版社②	ムゲンダイ出版		
書名③	情報処理技能検定試験 表計算模擬問題集3,4級、情報処理技能検定試験 表計算模擬問題集2・準2級編		
著者名③	日本情報処理検定協会		
出版社③	日本情報処理検定協会		
参考文献	日本ワープロ検定試験 模擬問題集 初段、よくわかるExcel2021応用(図書館に蔵書)		
参考URL			
特記事項	この授業では基礎からしっかり学び、ビジネスで必要となる知識を演習を通して身につけていきます。初学者は苦手意識を持たずゆっくりと、経験者は高校時代に曖昧だった点を確実にしていきましょう。それぞれの学びに合わせたサポートをしていきます。わからないこと、うまくできなかったことはどんどん質問してください。また、出てきた質問や疑問をみんなで共有し、お互いを高め合っていきます。		

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1	2	選択
担当教員			
長谷川 恭子			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
講義	キャリア育成学科	2T1100	
添付ファイル			

授業種類	授業担当教員 ■科目に関連した実務経験のある教員が担当している 科目に関連した実務内容 アクティブラーニング要素 <input type="checkbox"/> ディスカッション、ディベート <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク
------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	レクリエーション・インストラクターに必要な理論や技術の修得
到達目標	1. レクリエーションを体験し、対象者に合わせたレクリエーションを実践することができる。 2. レクリエーション支援者として基本的なコミュニケーションの重要性を理解している。 3. レクリエーション支援の特色を理解している。
授業概要	講義を中心に、演習やグループワークを通してレクリエーション・インストラクターに必要な知識・技術を習得する。
授業計画	1 オリエンテーション、現場実習の進め方 <時間外学習>現場実習についての説明プリントを見直し、復習する。(30分) 2 アイスブレイキング グループワークを行い、他者とコミュニケーションを図りながらレクリエーションの楽しさについて学ぶ <時間外学習> (予習) テキストP4～8を読む (20分) (復習) 配布プリント「アイスブレイキングについて」を読む (10分) 3 レクリエーション概論～レクリエーションの始まり・歴史 <時間外学習> (予習) テキスト第1章「レクリエーション支援とは」を読む (20分) (復習) 授業での自筆ノートやプリントを見返す (20分) 4 レクリエーション概論～レクリエーションインストラクターの役割 <時間外学習> (予習) テキスト第1章「レクリエーションインストラクターの2つの役割」を読む (20分) (復習) 授業での自筆ノートやプリント見返す (20分) 5 楽しさと心の元気づくりの理論①～グループワークを通し、レクリエーションの楽しさを学ぶ <時間外学習> (予習) テキスト第2章第1節を読む (20分) (復習) 授業での自筆ノートやプリント見返す (20分) 6 楽しさと心の元気づくりの理論② <時間外学習> (予習) テキスト第2章第2節を読む (20分) (復習) 授業での自筆ノートやプリント見返す (20分) 7 レクリエーション支援の理論① <時間外学習> (予習) テキスト第3章第1節を読む (20分) (復習) 授業での自筆ノートやプリント見返す (20分) 8 レクリエーション支援の理論② <時間外学習> (予習) テキスト第3章第2節を読む (20分) (復習) 授業での自筆ノートやプリント見返す (20分) 9 レクリエーション支援の理論③ <時間外学習> (予習) テキスト第3章第3節を読む (20分) (復習) 授業での自筆ノートやプリント見返す (20分) 10 レクリエーション支援の方法①～ホスピタリティについてグループワークを行う <時間外学習> (予習) テキスト第4章第1節を読む (20分) (復習) 授業での自筆ノートやプリント見返す (20分) 11 レクリエーション支援の方法②～アイスブレイキングのプログラム作成 <時間外学習> (予習) テキスト第4章第2節を読む (20分) (復習) 授業での自筆ノートやプリント見返す (20分) 12 レクリエーション支援の方法③～アイスブレイキングのプログラム作成及び実践 <時間外学習> (予習) テキスト第4章第2節を読む (20分) (復習) 授業での自筆ノートやプリント見返す (20分) 13 レクリエーション支援の方法④～レクリエーション活動の展開 <時間外学習> (予習) テキスト第4章第3節を読む (20分) (復習) 授業での自筆ノートやプリント見返す (20分)

	14 レクリエーション支援の方法⑤～レクリエーション活動を対象者に合わせるアレンジ <時間外学習> (予習) 配布プリント及びテキスト第4章を読む (20分) (復習) 授業での自筆 ノートやプリント見返す (20分)
	15 学修の振り返り <時間外学習>授業での配布プリントや自筆ノート、テキストを読む (30分)
学修に関する留意事項	様々なレクリエーション活動に目を向け、関心をもつこと。提出物は、期限を守り提出できるようにすること。グループワーク等積極的に関わり、支援者としての態度が身につくよう意識していこう。
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	
成績評価方法・基準	授業の取り組み(到達目標1. 2) 40% 提出物 (到達目標2. 3) 20% 試験 (到達目標1. 3) 40%
書名①	楽しさをおとした心の元気づくり レクリエーション支援の理論と方法
著者名①	公益財団法人 日本レクリエーション協会
出版社①	公益財団法人 日本レクリエーション協会
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	
参考URL	
特記事項	レクリエーション・インストラクターの資格を取得するための基礎になる授業です。また、介護実習に出る際に役に立つレクリエーションの知識・技術が学べます。質問はいつでも受け付けます。研究室に気軽に来てください。介護福祉士として実務経験があります。

講義科目名称： 現場実習

授業コード： 57200A

英文科目名称： Practice of Recreation

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	1	1	選択
担当教員			
長谷川 恭子			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
実習	キャリア育成学科	2T1401	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員 <input type="checkbox"/> 科目に関連した実務経験のある教員が担当している</p> <p>科目に関連した実務内容</p> <p>アクティブラーニング要素 <input type="checkbox"/> ディスカッション、ディベート <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク</p>
テーマ	レクリエーション事業の現場実習
到達目標	<p>1. 地域で行われるレクリエーション事業の実習を通し、楽しむことの大切さを理解している。</p> <p>2. ニュースポーツやレクリエーションゲームを主体的に実践することができる。</p> <p>3. 実践後は振り返りを行い、期日までにレポートを提出できている</p>
授業概要	レクリエーション各科目で学習した理論と実技をもとに、レクリエーション協会主催の事業、地域の子供会活動、高齢者や障害者へのボランティア活動等に参加する。地域社会の人々と交流を重ね、スタッフやリーダーとして積極的に支援できるように取り組む。
授業計画	<p>1</p> <p>1. 実習先及び期間 実習先：三重県（日本）レクリエーション協会主催の事業、担当教員紹介のレクリエーション事業 実習期間：1年次後期授業終了（1年次1月末）までに、休日や長期休暇を利用して各自で申し込む 2. 実習内容 レクリエーションの実習では、①「事業参加」と②「スタッフ参加」の2種類の参加方法があり、①②ともに参加しなくてはならない。①「事業参加」は、地域において実施されているレクリエーション支援に関わる事業に、休日等を利用して3時間以上かつ2回以上参加すること。②「スタッフ参加」は、地域において実施されているレクリエーション支援に関わる事業に運営スタッフとして6時間以上参加すること。ただし、介護実習Ⅰもしくは教育実習Ⅰを単位修得すれば、「スタッフ参加」として読み替えることができる。 3. 実習手続き ①実習に参加する前日までに「参加希望調書」を担当教員に提出すること。②実習当日は「現場実習参加記録カード」に事業名・主催団体・日付を記入し、主催者に認印をいただくこと。③実習終了後は「現場実習レポート」を記入し担当教員に提出すること。④実習を規定回数終了した時点で、「現場実習参加記録カード」を担当教員に提出すること。 ※これらの書類は、すべてボールペン書き（消せるペン不可）で記入すること。 ※以上の①～④のいずれかが欠けている場合は実習不参加とみなします。</p>
学修に関する留意事項	地域において実施されているレクリエーション支援にかかわる事業に自ら積極的に関心を持ち、支援者としてのマナーを大切に、計画的に行動してください。実習先では、主催者の方の指示に従い、絶対に勝手な行動をしないこと。場に適した服装で参加すること。やむを得ず欠席する場合は、主催者へ早めに連絡を入れること。参加しているときは、周りの人（主催者及び一般参加者）に迷惑をかけないよう気をつけてください。
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	
成績評価方法・基準	レクリエーション協会等が主催する事業への参加状況 40% 参加記録カード・レポート提出60%
書名①	
著者名①	
出版社①	
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	

参考文献	
参考URL	
特記事項	参加記録カードは紛失しないよう、各自保管して下さい。紛失してしまった場合、不参加とみなします。期間内に再度新しいカードを教員から受け取り、やり直すことになりますので留意してください。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1	2	選択
担当教員			
世古口 正臣			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
講義	キャリア育成学科	2U1110	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員</p> <p>■科目に関連した実務経験のある教員が担当している</p> <p>科目に関連した実務内容 特別養護老人ホーム、ショートステイサービスセンターでの介護経験、生活相談員、施設長としての実務経験</p> <p>アクティブラーニング要素</p> <p><input type="checkbox"/>ディスカッション、ディベート</p> <p><input type="checkbox"/>グループワーク</p> <p><input type="checkbox"/>プレゼンテーション</p> <p><input type="checkbox"/>実習、フィールドワーク</p>
------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	私たちの生活とそれを支える地域共生社会の実現に向けた社会保障制度について学ぶ
到達目標	1. 社会と生活のしくみについて学ぶ 2. 地域共生社会の実現に向けた社会保障制度について学ぶ
授業概要	私たちの生活とそれを取り巻く地域・社会の変化について、振り返りながら理解を深め、これから私たちが目指す地域共生社会の実現に向けて、今ある社会保障制度について学ぶとともに、より良く生きることについても考えていきましょう。
授業計画	<p>1 1. 社会と生活のしくみ (1) 生活を幅広くとらえる ①「人間」をとらえる複合的視点 ②複合的にしてんに関する代表的な学説 ③「社会生活」のメカニズム 予習(所要時間:20分)復習:授業中にまとめたノート振り返る復習(所要時間:10分)</p> <p>2 1. 社会と生活のしくみ (2) 生活の基本機能 ①生活の多様性をとらえる視点 ②「家族」と「家庭」の違い ③家庭機能の特徴 予習:教科書の該当範囲の予習(所要時間:20分)復習:授業中にまとめたノート振り返る復習(所要時間:10分)</p> <p>3 1. 社会と生活のしくみ (3) ライフスタイルの変化 ①生活と働き方の変化 ②少子高齢化と健康寿命 予習:教科書の該当範囲の予習(所要時間:20分)復習:授業中にまとめたノート振り返る復習(所要時間:10分)</p> <p>4 1. 社会と生活のしくみ (4) 家族の機能と役割 ①家族の概念とその変容、②家族の構造や形態 ③家族の機能とその変化、④家族観の多様化 (5) 社会・組織の機能と役割 ①社会・組織の概念、②社会・組織の機能と役割、③グループ支援、組織化、エンパワメント 予習:教科書の該当範囲の予習(所要時間:20分)復習:授業中にまとめたノート振り返る復習(所要時間:10分)</p> <p>5 1. 社会と生活のしくみ (6) 地域・地域社会 ①地域・地域社会の概念、②産業化・都市化・過疎化、③自助・互助・共助・公助 (7) 地域社会における生活支援 ①地域社会の変化、②地域の集団、組織による生活支援 予習:教科書の該当範囲の予習(所要時間:20分)復習:授業中にまとめたノート振り返る復習(所要時間:10分)</p> <p>6 2. 地域共生社会の実現に向けた制度や施策 (1) 地域福祉の発展 ①地域福祉の理念 ②地域福祉の歴史的展開 ③地域福祉の充実 ④災害と地域社会 予習:教科書の該当範囲の予習(所要時間:20分)復習:授業中にまとめたノート振り返る復習(所要時間:10分)</p> <p>7 2. 地域共生社会の実現に向けた制度や施策 (2) 地域共生社会 ①地域共生社会をめざす社会的背景、②地域共生社会の理念、③地域共生社会の実現に向けた取り組み (3) 地域包括ケア ①地域包括ケアの理念、②地域包括ケアシステム 予習:教科書の該当範囲の予習(所要時間:20分)復習:授業中にまとめたノート振り返る復習(所要時間:10分)</p> <p>8 3. 社会保障制度 (1) 社会保障の基本的な考え方 ①社会保障のイメージをつかむ ②社会保障の意義と役割 予習:教科書の該当範囲の予習(所要時間:20分)復習:授業中にまとめたノート振り返る復習(所要時間:10分)</p> <p>9 3. 社会保障制度 (1) 社会保障の基本的な考え方 ③社会保障の目的と機能 ④ライフサイクルからみた社会保障 予習:教科書の該当範囲の予習(所要時間:20分)復習:授業中にまとめたノート振り返る復習(所要時間:10分)</p> <p>10 3. 社会保障制度 (2) 日本の社会保障制度の発達 ①社会保障制度の歴史を学ぶ意義、②日本国憲法と社会保障、③戦後社会と社会保障の基盤整備、④国民皆保険・皆年金の確立、⑤社会保</p>

	<p>障の拡充、⑥社会保障の見直し、⑦介護保険と福祉の考え方の変化、⑧社会保障改革 予習:教科書の該当範囲の予習(所要時間:20分)復習:授業中にまとめたノート振り返る復習(所要時間:10分)</p> <p>11 3. 社会保障制度(3) 日本の社会保障制度のしくみ ①社会保障を支えるもの ②社会保障の実施体制 ③社会保障のしくみ 予習:教科書の該当範囲の予習(所要時間:20分)復習:授業中にまとめたノート振り返る復習(所要時間:10分)</p> <p>12 3. 社会保障制度(3) 日本の社会保障制度のしくみ ④社会保障制度の体系 ⑤年金保険 ⑥医療保険 予習:教科書の該当範囲の予習(所要時間:20分)復習:授業中にまとめたノート振り返る復習(所要時間:10分)</p> <p>13 3. 社会保障制度(3) 日本の社会保障制度のしくみ ⑦介護保険 ⑧雇用保険と労働者災害補償保険 ⑨各種社会扶助 予習:教科書の該当範囲の予習(所要時間:20分)復習:授業中にまとめたノート振り返る復習(所要時間:10分)</p> <p>14 3. 社会保障制度(4) 現代社会と社会保障制度 ①少子高齢化の進行と社会保障 ②財政問題と社会保障 ③社会保障における給付と負担の関係 ④持続可能な社会保障制度への道 予習:教科書の該当範囲の予習(所要時間:20分)復習:授業中にまとめたノート振り返る復習(所要時間:10分)</p> <p>15 ・「優生思想と向き合う?戦時ドイツと現代の日本?」・授業全体の振り返りとまとめ予習:キーワード「優生思想」について 予習(所要時間:20分)復習:授業中にまとめた全てのノートを振り返る復習(所要時間:10分)</p>
学修に関する留意事項	各授業回に予定している授業内容に該当する内容を、次回の授業までに予習すること。(各20分程度)各授業中にまとめたノートを振り返り、授業の全体を復習すること。(所要時間:各10分)
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	
成績評価方法・基準	最終レポート70% 授業に対する態度・積極的な姿勢30%
書名①	最新 介護福祉士養成講座2「社会の理解」
著者名①	介護福祉士養成講座編集委員会 編集
出版社①	中央法規
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	
参考URL	
特記事項	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1	2	選択
担当教員			
杉谷 美華			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
講義	キャリア育成学科	2U1120	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員</p> <p>■科目に関連した実務経験のある教員が担当している</p> <p>科目に関連した実務内容</p> <p>アクティブラーニング要素</p> <p>■ディスカッション、ディベート</p> <p>■グループワーク</p> <p>□プレゼンテーション</p> <p>□実習、フィールドワーク</p>
------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	ボランティアが果たす役割を理解し、社会貢献活動への道標とする
到達目標	1. 現代社会が抱える課題を分析しながら、国際社会・地域社会が期待する貢献策の策定能力をつける。2. 社会に貢献できる自分の輝きをイメージし、具現化につなぐ。3. 自己の潜在的な能力を開発し、ボランティア活動の原動力をつくる。
授業概要	現代社会の中でのボランティアが担う役割と期待されるボランティア像をデザイン化し、ボランティアでない人と実現し難い課題解決の道筋を探りながら、ボランティア活動に不可欠な能力を磨く。
授業計画	<p>1 オリエンテーション／授業の進め方 ＜時間外学習＞輝く自分発見（自己紹介文作成）（30分）</p> <p>2 ボランティアに関する概念Ⅰ／活動の種類と精心 ＜時間外学習＞紹介文を基に自分のキャッチコピーの作成（30分）</p> <p>3 ボランティアに関する概念Ⅱ／活動の魅力と意義・役割 ＜時間外学習＞輝く他人発見Ⅰ（自分のキャッチコピーを使ってコミュニケーションを取り情報収集）（30分）</p> <p>4 ボランティアに関する概念Ⅲ／情報収集と分析 ＜時間外学習＞情報収集を基に他人のキャッチコピーの作成（30分）</p> <p>5 ボランティア活動の範囲／活動の分野（小グループから法人格付与団体まで） ＜時間外学習＞輝く他人発見Ⅱ（キャッチコピー作成より伝えたいことの見極め）（30分）</p> <p>6 ボランティア活動の責任Ⅰ／注意義務の自覚と危険の回避 ＜時間外学習＞ボランティアカラーイメージ作成（30分）</p> <p>7 ボランティア活動の責任Ⅱ／活動中の事故とボランティア保険 ＜時間外学習＞ボランティア事例を用いて情報収集（30分）</p> <p>8 地域社会の仕組み・役割／活動の定義・まちづくり ＜時間外学習＞ボランティア活動志願票の作成（30分）</p> <p>9 地域課題Ⅰ／課題解決に向けて、趣味、得意技の活かし方 ＜時間外学習＞ボランティア活動参加への反省と評価（活動記録の提出）（30分）</p> <p>10 地域課題Ⅱ／求められるリーダー像とコーディネーターの仕方 ＜時間外学習＞発表原稿の作成（30分）</p> <p>11 地域課題Ⅲ／各地域への理解・分析を踏まえた活動のあり方 ＜時間外学習＞発表原稿の作成（30分）</p> <p>12 実践に向けてのプログラム作成Ⅰ／実施要綱作成方法・仕方 ＜時間外学習＞実施要綱作成（30分）</p> <p>13 実践に向けてのプログラム作成Ⅱ／発表の仕方 ＜時間外学習＞実施要綱作成（30分）</p> <p>14 ボランティア力／学びと喜び ＜時間外学習＞ふりかえり（チェックシート作成・グループ検証）（30分）</p> <p>15 まとめ</p>
学修に関する留意事項	ボランティア活動はあらゆる縛りに左右されずに、自分の想いを実現できる素晴らしさがあります。自分らしさを見つける良い機会となり、人とつながることで人生の豊かさを味わうきっかけとなるでしょう。

試験やレポート等の課題のフィードバック方法	その都度口頭で指示します。
成績評価方法・基準	授業に対する取り組み（予習・復習）（到達目標1・2・3）40% 講義の理解度（試験）（到達目標1・2・3）60%
書名①	その都度プリントを配布します。
著者名①	
出版社①	
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	その都度紹介します。
参考URL	
特記事項	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1	2	選択
担当教員			
服部 優子			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
演習	キャリア育成学科	2V1204	
添付ファイル			

授業種類	授業担当教員 ■科目に関連した実務経験のある教員が担当している 科目に関連した実務内容 介護福祉士 アクティブラーニング要素 ■ディスカッション、ディベート ■グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション ■実習、フィールドワーク
------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	介護におけるレクリエーション活動の理解と技術の習得
到達目標	1. くらしの中での介護とレクリエーションの関係について理解する。2. レクリエーション支援の方法と技術を身につける。

授業概要	介護を必要とする高齢者・障害者のレクリエーションを生活やくらしの観点から捉えるための学習。主に音楽・脳トレニングと体操の分野を取り上げ、実技演習を通して高齢者や障害者のくらしに応じたレクリエーション支援の方法と技術を身につける。また、楽しさや心地よさを活用して人々の生きがいを支援する基礎的な理論を学ぶ。
------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

授業計画	1 オリエンテーションー高齢者・障害者のくらしとレクリエーションーレクリエーションの目的・注意点 2 レクリエーション企画書の書き方 <時間外学習>講義で得た資料の整理をする (10分) 3 高齢者と「なじみのうた」日本の童謡や歌謡曲を知る ワイヤレスイヤホン、スマートホン、ノートPCなどを使用します。 <時間外学習>講義で得た資料の整理をする (10分) 4 体操や脳トレを使ったレクリエーション <時間外学習>講義で得た資料の整理をする (10分) 5 レクリエーション活動の準備をしよう①グループワーク <時間外学習>発表に備え計画したレクリエーションの準備、練習をすすめる (60分) 6 レクリエーション活動の準備をしよう②グループワーク <時間外学習>発表に備え計画したレクリエーションの準備、練習をすすめる (60分) 7 レクリエーションを発表、体験しよう① 実習 <時間外学習>発表や体験の感想をノートにまとめる (60分) 8 レクリエーションを発表、体験しよう② 実習 <時間外学習>発表や体験の感想をノートにまとめる。(60分) 9 発表、体験の振り返り グループワークと講義 <時間外学習>振り返って学んだこと、気づいたことをノートにまとめる。(60分) 10 ゲーム系レクリエーションの目的と注意点 <時間外学習> 講義で学んだ内容をノートにまとめる。(30分) 11 作業系レクリエーションの目的と注意点 <時間外学習> 講義で学んだ内容をノートにまとめる。(30分) 12 セラピー系レクリエーションの目的と注意点 <時間外学習> 講義で学んだ内容をノートにまとめる。(30分) 13 レクリエーションを体験しよう① 実習 <時間外学習> 体験の感想をノートにまとめる (30分) 14 レクリエーションを体験しよう② 実習 <時間外学習> 体験の感想をノートにまとめる (30分)
------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

	15 振り返り ＜時間外学習＞ 振り返って学んだこと、気づいたことをノートにまとめる。(60分)
学修に関する留意事項	・普段から日本の行事や文化、芸能等に目を向け関心を持つこと。・授業で習う歌や体操の仕方を覚えるようにすること。・グループでの共同作業や個々の創意工夫を生かして、自ら積極的に参加することを期待します。・動きやすい服装で参加してください。
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	
成績評価方法・基準	授業の取り組み(到達目標1, 2) 50% 課題の発表、提出(到達目標1, 2) 50%
書名①	資料を配布します。
著者名①	
出版社①	
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	
参考URL	
特記事項	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1	1	選択
担当教員			
倉田 町子			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
演習	キャリア育成学科	2V1210	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員</p> <p>■科目に関連した実務経験のある教員が担当している</p> <p>科目に関連した実務内容 保健師、看護師、介護支援専門員、医療ソーシャルワーカー、カウンセラー（産業カウンセラー）</p> <p>アクティブラーニング要素</p> <p>■ディスカッション、ディベート ■グループワーク ■プレゼンテーション □実習、フィールドワーク</p>
------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	介護福祉実践に必要なコミュニケーション能力の開発
到達目標	<p>1. 介護福祉実践におけるコミュニケーションの役割を知る。</p> <p>2. コミュニケーション技術の基本を知り、活用できる。</p> <p>3. 自己理解を深める。</p>
授業概要	自己理解を深めながらコミュニケーションスキルを学び、人間関係をよりよくする。
授業計画	<p>1 オリエンテーション、コミュニケーションの意義・目的・役割の理解〈演習・自己開示〉 〈時間外学習〉挨拶の実践。テキストP.2～10を読む</p> <p>2 自己理解を深める①〈演習・自分の性格を多角的に捉える〉 〈時間外学習〉本日の授業内容の振り返り。自分自身に関心をもつ。</p> <p>3 自己理解を深める②〈演習・他者から見た自分〉 〈時間外学習〉演習内容を振り返る。配布プリントを読み返す。</p> <p>4 介護福祉実践におけるコミュニケーションの役割、援助関係、援助原則 〈時間外学習〉テキストP.11～19を読む</p> <p>5 コミュニケーションの基本技術 ①傾聴（アクティブリスニング）〈演習〉 〈時間外学習〉テキストP.22～27を読む</p> <p>6 コミュニケーションの基本技術 ②沈黙、質問 〈演習〉 〈時間外学習〉質問の仕方を意識して会話する。沈黙の意味を考える。</p> <p>7 コミュニケーションの基本技術 ③受容、共感、感情の反射、要約・対人距離 〈時間外学習〉テキストP.28～34を読む</p> <p>8 言語・非言語・準言語コミュニケーションの基本 〈演習〉 〈時間外学習〉テキストP.35～40を読む</p> <p>9 感情表現、感情をあらわす言葉 〈演習〉 〈時間外学習〉自分の感情に意識を向けてみる。</p> <p>10 動機付け、ものの見方（リフレーミング）、意思決定を支援するためのコミュニケーション 〈演習〉 〈時間外学習〉テキストP.43～57を読む</p> <p>11 客観と主観について理解する 〈演習〉 〈時間外学習〉自分の受け止めたことが事実なのか、思い込みなのか意識する。</p> <p>12 多様な価値観があることを知り、認め合う 〈時間外学習〉他者の価値観を否定せず認める。</p> <p>13 アサーティブなコミュニケーション、クッションことば 〈時間外学習〉アサーティブな姿勢でコミュニケーションを行う</p> <p>14 コミュニケーション技術の基本ポイントの確認・まとめ 〈時間外学習〉ワークシートの作成</p> <p>15 学習の振り返り 〈時間外学習〉前期授業の配布プリントを読み返す。試験に備える。</p>

学修に関する留意事項	授業で行う演習には積極的に取り組みましょう。しっかり取り組んでいる学生はより評価します。演習の中で行ったことを普段の生活の中（時間外学習）でも意識して行ってみて、どうすれば自分のメッセージがうまく伝わるのか工夫し考えるようにしてみましょう。また、相手のメッセージがきちんと理解できているのか振り返るようにしよう。
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	
成績評価方法・基準	授業に対する取り組み（到達目標1、2、3）30% 課題レポート（到達目標1、2、3）20% 試験（到達目標1、2）50%
書名①	最新介護福祉士養成講座5「コミュニケーション技術」
著者名①	介護福祉士養成講座編集委員会編
出版社①	中央法規出版
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	「自分がわかる心理テスト 知らない自分が見えてくる」 出）講談社 著）芦原睦
参考URL	
特記事項	保健師、看護師、介護支援専門員、医療ソーシャルワーカー、カウンセラー（産業カウンセラー）の実務経験があります。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1	1	選択
担当教員			
中川 千代			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
演習	キャリア育成学科	2V1222	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員</p> <p>■科目に関連した実務経験のある教員が担当している</p> <p>科目に関連した実務内容</p> <p>アクティブラーニング要素</p> <p><input type="checkbox"/>ディスカッション、ディベート</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>グループワーク</p> <p><input type="checkbox"/>プレゼンテーション</p> <p><input type="checkbox"/>実習、フィールドワーク</p>
テーマ	個々の利用者に対しての自立に向けた汎用性のある生活支援能力を養う
到達目標	<p>1. 人間の尊厳を尊重し、潜在能力を引き出し自立に向かう視点を持った適切な介護の知識・技術(環境整備、入浴、装い)を知る。</p> <p>2. 環境整備、入浴、装いに関する基本的技術を身につける。</p>
授業概要	利用者の生活上の課題を見極める視点を養う。自立に向けた環境整備、入浴、装いのための知識と基本的技術を演習する。
授業計画	<p>1 生活支援技術の基本を学ぶことの意義、ボディメカニクスの原則を知る。～演習時の身だしなみについて理解する。介護場面に必要となる姿勢の種類について学ぶ。自立支援、安全、安楽の視点。 〈時間外学習〉(復習) 本時の内容と専門用語を覚える。(30分)</p> <p>2 プライバシー空間の必要性と環境整備～良質な睡眠環境の条件、寝床の選択条件、ベッドメイキングの留意点。「介護場面に必要となる姿勢の種類」の小テストを行う。 〈時間外学習〉(予習) 事前に爪を整える。髪を結う。(10分) / (復習) 専門用語を覚える。(20分)</p> <p>3 リネン類のたたみ方と寝具の様式について、ベッドの取り扱いなどグループ演習する。姿勢の種類、名称、身体の部位の名称を知る。「介護場面に必要となる姿勢の種類」の小テストを行う。 〈時間外学習〉(予習) 事前に爪を整える。髪を結う。(10分) / (復習) 専門用語を覚える。(20分)</p> <p>4 ベッドメイキング(三角コーナーなど)の方法をグループ演習する。「姿勢の種類、名称、身体の部位の名称」の小テストを行う。 〈時間外学習〉 ベッドメイキングのコツを覚える。専門用語を覚える。(30分)</p> <p>5 ベッドメイキング(クローズベッドの整え方)、効率的な物品の準備について学ぶ。「姿勢の種類、名称、身体の部位の名称」の小テストを行う。ボディメカニクスの原則を活用した身体の動かし方、仰臥位から側臥位にする方法を具体的に学ぶ。 〈時間外学習〉 ベッドメイキングをマスターできるよう練習する。(60分)</p> <p>6 ベッドメイキング(利用者が就床したまま)の演習、リネン類の効率よいたたみ方などをグループ演習する。 〈時間外学習〉 技術確認試験までにベッドメイキングをマスターできるよう練習する。(30分)</p> <p>7 入浴の介助技術①(機械浴槽を使用した入浴)、実際にお湯の入った機械浴槽に順番に入り、利用者の立場の理解と介助の際の留意点を演習する。 〈時間外学習〉(復習) 課題レポート作成のため、自身の考えをまとめる。(60分)</p> <p>8 入浴の介助技術②(家庭用個別浴槽を使用した入浴)～入浴に関する福祉用具の理解を含め、実際にお湯を入れた浴槽に片麻痺利用者が入浴する際の介助の留意点をグループ演習する。 〈時間外学習〉(復習) 課題レポートを作成し期限までに提出する。(60分)</p> <p>9 技術確認(ベッドメイキング)～個別に手技を行い、制限時間内に必要な技術の習得ができることを目指す。 〈時間外学習〉(予習) 制限時間内に必要な技術ができるよう練習する。(60分)</p> <p>10 自立支援を支える入浴・清潔保持の意義と目的 〈時間外学習〉(復習) 専門用語を覚える。(30分)</p> <p>11 清潔保持の介助(手浴・足浴)の演習(実際にお湯を使用する)。 〈時間外学習〉(復習) 本時の内容を復習する。(20分)</p> <p>12 ベッド上仰臥位での洗髪演習(実際にお湯を使用する)。</p>

	<p>〈時間外学習〉（復習）本時の演習を絵に描き説明文を加え提出する。（40分）</p> <p>13 装うことの意味、衣服着用の楽しみの理解～残存機能を活用したパジャマの着脱。</p> <p>〈時間外学習〉技術確認試験までに、声のかけ方も含め、マスターできるよう練習する。（60分）</p> <p>14 技術確認（パジャマの着脱）～個別に手技を行い、制限時間内に必要な技術の習得ができることを目指す。</p> <p>〈時間外学習〉（予習）制限時間内に必要な技術ができるよう練習する。（60分）</p> <p>15 まとめ 技術確認の補足、この科目で学んだことを確認する。学びを用紙にまとめる。</p>
学修に関する留意事項	授業で習った技術は自己で復習し覚えてください。その際、手順だけを覚えるのではなく、なぜ、何のために、そのようにするのかをしっかりとっておさえてください。反復練習することで身につくことが多いので、介護実習室を積極的に活用してください。介護実習Ⅰに入るまでに基本をしっかり身につける必要があるため、自己学習が必須です。
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	
成績評価方法・基準	授業に対する取組（到達目標1、2）40% 提出物（到達目標1、2）10% 技術確認試験（到達目標1、2）50%
書名①	最新介護福祉士養成講座6 生活支援技術Ⅰ
著者名①	介護福祉士養成講座編集委員会
出版社①	中央法規出版
書名②	最新介護福祉士養成講座7 生活支援技術Ⅱ
著者名②	介護福祉士養成講座編集委員会
出版社②	中央法規出版
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	根拠からわかる介護技術の基本
参考URL	
特記事項	頭で考えるだけでなく、自ら動いて体験し考える。同じような介護を受けているはずなのに快・不快を感じるのは、何が影響しているのか。どこに違いがあるのか。それらを意識しながら、安全で的確な基本的技術が身につくよう皆さんが主体的に学べる機会にします。介護福祉士としての実務経験あります。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1	1	選択
担当教員			
東海林 藍			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
演習	キャリア育成学科	2V1223	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員</p> <p>■科目に関連した実務経験のある教員が担当している</p> <p>科目に関連した実務内容 介護福祉士としての経験がある。</p> <p>アクティブラーニング要素</p> <p><input type="checkbox"/>ディスカッション、ディベート</p> <p><input type="checkbox"/>グループワーク</p> <p><input type="checkbox"/>プレゼンテーション</p> <p><input type="checkbox"/>実習、フィールドワーク</p>
------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	自立と尊厳を意識した基本的な介護技術（移動・移乗・休息・睡眠）の習得
到達目標	1. 利用者を尊重し、残存能力を引き出し自立に向かう視点を持った適切な介護の知識・技術（環境整備、移動、移乗、車いすの操作）を知る。2. 環境整備、移動、移乗、車いす操作に関する基本的技術を身につける。
授業概要	利用者の生活上の課題を見つける視点を養う。自立に向けた基本的な身体の動かし方や移動、移乗等のための介護の知識と基本的技術を講義、演習を通して学ぶ。
授業計画	<p>1 生活支援技術の基本を学ぶことの意義、基本的な用語の意味 <時間外学習>（復習）授業で習った用語の意味を覚えること（60分）</p> <p>2 ボディメカニクス①（自然な身体の動き・姿勢・座位） <時間外学習>テキスト6巻「ボディメカニクス」の項目を読んでおくこと（15分）授業で習った内容をノートにまとめること（60分）</p> <p>3 ボディメカニクス②（自然な身体の動き・立位・座位） <時間外学習>テキスト6巻「ボディメカニクス」の項目を読んでおくこと（15分）授業で習った内容をノートにまとめること（60分）</p> <p>4 車いすの構造と操作方法、移動方法① <時間外学習>テキスト6巻「車いすの部品名」に目を通して覚えること（30分）</p> <p>5 車いすの構造と操作方法、移動方法② <時間外学習>（予習）テキスト6巻「車いすの介助」の項目を読んでおくこと（30分）（復習） 授業で習った技術を練習し各自の課題に取り組むこと（60分）</p> <p>6 車いすの構造と操作方法、移動方法③ <時間外学習>（予習）テキスト6巻「車いすの介助」の項目を読んでおくこと（30分）（復習） 授業で習った技術を練習し各自の課題に取り組むこと（60分）</p> <p>7 休息・睡眠の介護①（ベッドメイキング） <時間外学習>テキスト7巻「休息、睡眠環境を整える（ベッドメイキング）」を読んでおくこと（60分）</p> <p>8 休息・睡眠の介護② <時間外学習>テキスト7巻「休息、睡眠の介護」の項目を読んでおくこと（60分）</p> <p>9 寝返りの介助、起居動作① <時間外学習>テキスト7巻「休息、睡眠の介護」の項目を読んでおくこと（60分）</p> <p>10 寝返りの介助、起居動作② <時間外学習>（予習）テキスト6巻「水平移動・上方移動」の項目を読んでおくこと（30分） （復習）授業で習った技術を練習し各自の課題に取り組むこと（60分）</p> <p>11 寝返りの介助、起居動作③ <時間外学習>（予習）テキスト6巻「移乗介助」の項目を読んでおくこと（30分）（復習） 授業で習った技術を練習し各自の課題に取り組むこと（60分）</p> <p>12 寝返りの介助、起居動作④（ベッドから車いすへの移乗・一部介助） <時間外学習>（予習）テキスト6巻「移乗介助」の項目を読んでおくこと（30分）（復習） 授業で習った技術を練習し各自の課題に取り組むこと（60分）</p> <p>13 寝返りの介助、起居動作⑤（ベッドから車いすへの移乗・全介助） <時間外学習>（予習）テキスト6巻「移乗介助」の項目を読んでおくこと（30分）（復習） 授業で習った技術を練習し各自の課題に取り組むこと（60分）</p> <p>14 振り返り①</p> <p>15 振り返り②</p>

学修に関する留意事項	授業で学んだ技術は手順だけでなく、根拠についても理解してください。何度も練習して復習してください。
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	
成績評価方法・基準	授業に対する取り組み（到達目標1, 2）50% 試験（到達目標1, 2）50%
書名①	生活支援技術Ⅰ 最新 介護福祉士養成講座6
著者名①	介護福祉士養成講座編集委員会
出版社①	中央法規
書名②	生活支援技術Ⅱ 最新 介護福祉士養成講座7
著者名②	介護福祉士養成講座編集委員会
出版社②	中央法規
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	
参考URL	
特記事項	根拠を意識しながら何度も練習しましょう。授業中の取り組みの姿勢を重視します。介護福祉士としての実務経験があります。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1	1	選択
担当教員			
松枝 桂子			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
演習	キャリア育成学科	2V1230	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員</p> <p><input type="checkbox"/> 科目に関連した実務経験のある教員が担当している</p> <p>科目に関連した実務内容</p> <p>アクティブラーニング要素</p> <p><input type="checkbox"/> ディスカッション、ディベート</p> <p><input type="checkbox"/> グループワーク</p> <p><input type="checkbox"/> プレゼンテーション</p> <p><input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク</p>
------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	介護過程の意義・目的を理解し、利用者にとって「よりよい生活・人生」を実現するための生活支援を理解する視点を養う
到達目標	1. 利用者の全体像や生活課題をとらえることができる。2. 介護過程のプロセスが理解できる。介護過程の展開ができる
授業概要	介護過程の基本視点から、利用者の生活支援の中での介護過程の必要性、およびその活用方法について学ぶ。
授業計画	<p>1 オリエンテーション（授業の進め方・成績評価・時間外学習等の説明）介護過程とは</p> <p>2 介護過程（意義と目的） 時間外学習：テキストの介護過程、意義・目的の項を読んでおく。（60分）</p> <p>3 介護過程（展開のプロセス） 時間外学習：利用者が望む「よりよい生活・人生」について発表準備。（60分）</p> <p>4 介護過程のプロセス（日常生活動作等） 時間外学習：ADLとIADLについてレポート作成。（60分）</p> <p>5 介護過程の理解（介護過程の全体像） 時間外学習：テキスト介護過程の全体像の項を読んでおく（30分）</p> <p>6 介護過程の理解（アセスメントの方法） 時間外学習：テキストアセスメントの項を読んでおく（30分）</p> <p>7 介護過程の理解（アセスメントに必要な関連知識等） 時間外学習：「その人らしさ」について発表準備。（60分）</p> <p>8 介護過程の理解（アセスメントの実際と活用について①） 時間外学習：介護過程の全体像のレポート作成。（60分）</p> <p>9 介護過程の理解（アセスメントの実際と活用について②） 時間外学習：介護過程の段階のレポート作成。（60分）</p> <p>10 介護過程の成り立ち 時間外学習：情報収集とアセスメントツールについてレポート作成。（60分）</p> <p>11 介護計画の立案（ICF） 時間外学習：ICFについて展開図で復習・理解する。（30分）</p> <p>12 介護計画 時間外学習：アセスメント表で具体的な流れを再確認する。（30分）</p> <p>13 介護福祉士における介護過程の役割 時間外学習：演習（実際にアセスメント表を作成する）（1時間）</p> <p>14 介護過程についてのふり返り 時間外学習：事例にて介護過程の全体像作成。（1時間）</p> <p>15 まとめ</p>
学修に関する留意事項	介護福祉士としての専門的な科目であることを認識して、講義内容を少しでも理解する姿勢で授業に臨んでください。理解できないところがあればその都度確認してください。毎回、時間外学習等自己学習での授業のふり返りを行い、学んだ知識が次の授業につなげられるようにしていきましょう。

試験やレポート等の課題のフィードバック方法	
成績評価方法・基準	試験（実技・筆記）（到達目標 1. 2）60% 提出物（到達目標 1. 2）20% 授業の取り組み（到達目標1.2）20%
書名①	最新 介護福祉士養成講座 9 『介護過程』
著者名①	
出版社①	
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	
参考URL	
特記事項	看護師・介護支援専門員として実務経験があります。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1	1	選択
担当教員			
上山 由紀子、東海林 藍			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
演習	キャリア育成学科	2V1240	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員 <input type="checkbox"/> 科目に関連した実務経験のある教員が担当している</p> <p>科目に関連した実務内容</p> <p>アクティブラーニング要素 <input type="checkbox"/> ディスカッション、ディベート <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク</p>
テーマ	介護実習の意義や重要性の理解、介護実習が効果的に実施できるための準備学修
到達目標	1. 2年間の実習全体の流れや、実習意義と重要性を理解することができる。2. 実習の注意点や心構えを理解できる。 3. 実習 I の自己目標を明確にする。
授業概要	介護実習の意義や介護実習 I の位置づけを認識し、利用者の生活についての理解を深める。生活の場での実習であることを理解し、注意点や心構えを意識できる。実習先で円滑なコミュニケーションがとれるための土台づくりを行う。関係書類や日々の日誌等それぞれの意味を理解し、記入の仕方がわかる。実習目標の意味を理解し、実習 I の自己目標を明確にする。
授業計画	<p>1 介護実習の意義、目的 (時間外学習) 介護実習の手引きの内容確認(30分)</p> <p>2 実習に対する注意点・心構え (時間外学習) 介護実習の手引きの内容確認(30分)</p> <p>3 実習施設の理解① (時間外学習) 介護実習の手引きや介護総合演習の本で実習施設の内容を理解する(30分)</p> <p>4 実習施設の理解② (時間外学習) 介護実習の手引きや介護総合演習の本で実習施設の内容を理解する(30分)</p> <p>5 実習施設の理解③ (時間外学習) 介護実習の手引きや介護総合演習の本で実習施設の内容を理解する(30分)</p> <p>6 実習施設の理解④ (時間外学習) 介護実習の手引きや介護総合演習の本で実習施設の内容を理解する(30分)</p> <p>7 実習施設の理解⑤ (時間外学習) 介護実習の手引きや介護総合演習の本で実習施設の内容を理解する(30分)</p> <p>8 コミュニケーションについて、挨拶・自己紹介の仕方 (時間外学習) コミュニケーションのとり方をプリントや本で復習をする(30分)</p> <p>9 記録の書き方、ケアカンファレンスの仕方、感染対策の基礎 (時間外学習) 感染対策についてプリントや本で復習し、手洗いの仕方を確認する(30分)</p> <p>10 手洗いの仕方、実習施設の決定、自己目標を考える (時間外学習) 感染対策の基礎を復習する。自己目標を考える(30分)</p> <p>11 実習個人票・個人目標・誓約書の作成 (時間外学習) 実習個人票・個人目標・誓約書を仕上げる(60分)</p> <p>12 実習個人票・個人目標・誓約書の作成 (時間外学習) 実習個人票・個人目標・誓約書を仕上げる(30分)</p> <p>13 実習個人票・個人目標・誓約書・評価票・出席簿の作成 (時間外学習) 実習個人票・個人目標・誓約書を仕上げる(30分)</p> <p>14 実習ファイルを作る。事前訪問について、電話のかけ方 (時間外学習) 実習施設を調べる。事前訪問で知りたいことを確認する(30分)</p> <p>15 実習ファイルの確認、実習への最終確認 (時間外学習) ファイルの綴じ方を確認する。実習でわからないことがないか確認をする(30分)</p>

学修に関する留意事項	・介護実習総合演習Ⅰの科目において、担当教員が定めた期日内に個人票、実習自己目標、誓約書、評価票、出席簿等の実習書類が提出できない場合は、介護実習Ⅰを認めない。・授業時間以外に個人作業等の取り組みも必要となります。積極的に取り組みましょう。
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	
成績評価方法・基準	授業の取り組み、グループワーク(到達目標1.2)30%、(到達目標1.2.3)提出物40%、課題レポート(到達目標1.2.3)30%
書名①	最新 介護福祉士養成講座「介護総合演習・介護実習」
著者名①	中央法規出版
出版社①	三重県版介護実習の手引き 介護実習ノート
書名②	三重県介護福祉士養成施設協会
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	
参考URL	
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・報告、連絡、相談ができるようになるため、わからないことはまずは先生に質問することから始めましょう。 ・介護福祉士としての実務経験があります(中川、長谷川、東海林) ・看護師としての実務経験があります(上山)

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1	2	選択
担当教員			
上山 由紀子、長谷川 恭子、中川 千代、東海林 藍			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
実習	キャリア育成学科	2V1450	
添付ファイル			

授業種類	授業担当教員 ■科目に関連した実務経験のある教員が担当している 科目に関連した実務内容 アクティブラーニング要素 <input type="checkbox"/> ディスカッション、ディベート <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input checked="" type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク
テーマ	介護実習の意義と重要性について学ぶ介護実践現場において、利用者とのコミュニケーションの重要性を理解し、利用者の個々のニーズに合わせた介護ケアの必要性を学び、実践できるようにする
到達目標	1. 高齢者、障害者とのコミュニケーション能力を高める。 2. 挨拶など基本的マナーが理解でき、実践できる。 3. 施設の概要が理解でき、実習生としての学びの姿勢が取れる。
授業概要	介護実習の意義や実習 I の位置づけを学習し、対象の理解と対象者の生活の場について理解を深めるさらに、学内での基本的な介護の知識や技術を確かめながら、実習 II 望む準備を進めていく。
授業計画	1 10日間（行動目標）・基本的な挨拶ができる・利用者の生活の場として多様な介護現場があることを知る・利用者・家族との関わりを通じたコミュニケーションが取れる・生活者として対象者ととらえられる・利用者の生活リズム、生活環境がわかる・介護職の役割を知る・他職種の役割を知る・生活支援技術を介護士の指導のもと、実践できるようになる・施設の行事に参加できる・日々の記録・報告・連絡・相談ができる・実習 II に向けた継続した学びができる
学修に関する留意事項	コミュニケーション能力を高める挨拶・礼儀など人としての基本的なマナーが理解できていること安全、安楽な介護技術の習得施設の概要を理解する高齢者の特徴を理解する実習 I につなげられる知識・技術を学ぶ。定められた書類が期日までに提出されない場合は実習に行くことができません。
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	
成績評価方法・基準	介護実習 I 評価表による施設評価（目標1.2.3）40% 介護実習 I 評価表による教員評価（目標1.2.3）40% 提出物等（目標1.2.3）20%
書名①	新・介護福祉養成講座 10 「介護総合演習・介護実習」
著者名①	
出版社①	中央法規出版
書名②	介護実習の手引き 介護実習ノート(三重県版)
著者名②	
出版社②	三重県介護福祉士養成施設協議会
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	
参考URL	
特記事項	担当教員の実習巡回時には、分からないことを積極的に聞いてください。施設職員とのコミュニケーションもしっかり取り、なんでも聞ける関係をつくりましょう。介護福祉士としての実務経験があります（中川、長谷川、東海林）。看護師としての実務経験があります（上山）。学校での学習の予習・復習をしておきましょう。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1	2	必修
担当教員			
玉利 健悟			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
講義	キャリア育成学科	2W1100	
添付ファイル			

授業種類	授業担当教員 <input type="checkbox"/> 科目に関連した実務経験のある教員が担当している 科目に関連した実務内容 アクティブラーニング要素 <input type="checkbox"/> ディスカッション、ディベート <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク
------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	正常な人体の構造と機能
到達目標	1. 人体の臓器の名称やその働きについて理解できる。2. 人体の構造と機能について他人に概説できる。 3. 人体の知識を利用して介護の仕方を想定できる。
授業概要	プリントを中心に正常な人体の構造と機能を整理し、適宜、教科書を用いて講義する。授業外学習として、動画を視聴し授業では演習問題を解答することで、知識の定着を促す。成績評価は筆記試験で行い、知識の理解を確認するものから、介護に関連した応用問題まで出題する。
授業計画	1 オリエンテーション、解剖生理学総論 <時間外>臓器の名称とはたらきについて、ノートにまとめる (30分) その他があれば別途授業中に指示します。 2 細胞生物学 <時間外>教科書第2章第1節P46-49を読み、ノートにまとめる (30分) その他があれば別途授業中に指示します。 3 消化器系 <時間外>教科書第2章第1節P60-63を読み、ノートにまとめる (30分) その他があれば別途授業中に指示します。 4 呼吸器系 <時間外>教科書第2章第1節P56-58を読み、ノートにまとめる (30分) その他があれば別途授業中に指示します。 5 循環器系 <時間外>教科書第2章第1節P58-60を読み、ノートにまとめる (30分) その他があれば別途授業中に指示します。 6 泌尿器系 <時間外>教科書第2章第1節P63-64を読み、ノートにまとめる (30分) その他があれば別途授業中に指示します。 7 生殖器系 <時間外>教科書第2章第1節P72-74を読み、ノートにまとめる (30分) その他があれば別途授業中に指示します。 8 内分泌系 <時間外>教科書第2章第1節P74-78を読み、ノートにまとめる (30分) その他があれば別途授業中に指示します。 9 神経系1 <時間外>教科書：第2章第1節P49-51を読み、ノートにまとめる (30分) その他があれば別途授業中に指示します。 10 神経系2 <時間外>教科書：第2章第1節P52-53を読み、ノートにまとめる (30分) その他があれば別途授業中に指示します。 11 感覚器系1 <時間外>教科書：第2章第1節53-55を読み、ノートにまとめる (30分) その他があれば別途授業中に指示します。 12 感覚器系2 <時間外>教科書：第2章第1節55-56を読み、ノートにまとめる (30分) その他があれば別途授業中に指示します。 13 筋・骨格系 <時間外>教科書第2章第2節P65-72を読み、ノートにまとめる (30分) その他があれば別途授業中に指示します。

	14 血液・免疫系 ＜時間外＞教科書第2章第1節P78-80を読み、ノートにまとめる（30分） その他があれば別途授業中に指示します。
	15 臨時試験 ＜時間外＞教科書：指定の全範囲（1時間）
学修に関する留意事項	健康、人体、医療などに関する身近な情報や日常体験への関心を高めておく。
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	
成績評価方法・基準	演習問題への取り組み（到達目標1）30% 筆記試験での評価（到達目標2、3）70%
書名①	新・介護福祉士養成講座14 こころとからだのしくみ
著者名①	介護福祉士養成講座編集委員会
出版社①	中央法規
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	適宜紹介する。
参考URL	
特記事項	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1	2	選択
担当教員			
伊藤 利美			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
講義	キャリア育成学科	2W1101	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員</p> <p>■科目に関連した実務経験のある教員が担当している</p> <p>科目に関連した実務内容 看護師実務経験があります。</p> <p>アクティブラーニング要素</p> <p><input type="checkbox"/>ディスカッション、ディベート</p> <p><input type="checkbox"/>グループワーク</p> <p><input type="checkbox"/>プレゼンテーション</p> <p><input type="checkbox"/>実習、フィールドワーク</p>
テーマ	『こころとからだのしくみ』の中の『移動・身じたく・食事』について理解を深め、利用者の日常生活の具体的な介護にその知識を活用する。
到達目標	1・人の『こころとからだのしくみ』が理解できる。 2・利用者の心身機能及び障害を理解することができる。 3・尊厳をもって安心・安全な生活支援ができる知識を養う。
授業概要	人体の構造・心身機能の学びと共に、その根拠をもって利用者の『移動・身じたく・食事』について安心・安全かつ・尊厳ある生活支援ができるように学習する。
授業計画	<p>1 オリエンテーション（授業の進め方・学習概要等の説明・評価方法など） 時間外学習：本科目の専用ノートの作成方法を指導します。早速準備して本日の学習内容を整理する（30分以上・以下同様）</p> <p>2 『移動・身じたく・食事』に関する医学的知識を学ぶ。 時間外学習：本科目を学習していく上での「医学的知識」の必要性を理解し専用ノートに整理する。</p> <p>3 『移動』に関連したこころとからだのしくみ①なぜ移動をするのか・基本的体位・基本的な動きなど 時間外学習：学習したことを専用ノートに整理して理解を深める。（30分以上・以下同様）</p> <p>4 「移動」の関連②ボディメカニクス 時間外学習：学習したことを専用ノートに整理し理解を深める。</p> <p>5 「移動」の関連③体位について 時間外学習：学んだことを専用ノートに整理し理解を深める。</p> <p>6 「移動」の関連④精神・身体機能の低下が移動に及ぼす影響について 時間外学習：学んだことを専用ノートに整理し理解を深める。</p> <p>7 『身じたくのしくみ』に関連したこころとからだのしくみ①なぜ身じたくを整えるのか 時間外学習：学んだことを専用ノートに整理し理解を深める。</p> <p>8 「身じたくのしくみ」②身じたくと五感の関係 時間外学習：学んだことを専用ノートに整理し理解を深める。</p> <p>9 「身じたくのしくみ」③心身機能が身じたくに及ぼす影響 時間外学習：学んだことを専用ノートに整理し理解を深める。</p> <p>10 『身じたくのしくみ』④変化の気づき・観察のポイント 時間外学習：本日学習した内容について復習し専用ノートに整理し理解を深める（30分以上）</p> <p>11 『食事』に関連したこころとからだのしくみ①食事の意義（栄養と水分について） 時間外学習：本日学習した内容について復習し専用ノートに整理し理解を深める（30分以上）</p> <p>12 「食事」のしくみ②食事に関する消化器官の働きについて 時間外学習：誤嚥について専用ノートに整理し理解を深める（30分以上）</p> <p>13 「食事」のしくみ③心身の機能低下が食事に及ぼす影響について 時間外学習：各種機能低下に影響する要因等を専用ノートに整理し理解を深める（30分以上）</p> <p>14 『移動・身じたく・食事』に関する「こころとからだのしくみ」まとめ 時間外学習：これまで学習したことを具体的に総復習する（60分以上）</p> <p>15 こころとからだのしくみ（移動・身じたく・食事）についての理解と確認</p>

学修に関する留意事項	医学的な専門知識が求められることを認識し、常にその観点から根拠を持った視点をもって、安全な介護が提供できるように学んでいきましょう。
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	随時、授業後に「時間外学習課題」のプリント等を配布予定（口頭でも説明します）ので、次回の講義前に提出して下さい。提出状況や内容は成績評価に反映します。
成績評価方法・基準	筆記試験（到達目標.1.2.3）60% 課題への取り組み（到達目標.1.2.3）20% 提出物の内容（到達目標.1.2.3）20%
書名①	最新介護福祉士養成講座11 ころとからだのしくみ
著者名①	
出版社①	中央法規出版
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	
参考URL	
特記事項	疑問や不明な点は、なるべく「その都度」質問等で解決していくようにしましょう。学んだことが次につながるように授業後の復習・予習は大切です。提出物は必ず期限を守り「ていねいに」書きましょう。※なお、講義内容や授業形態は、その時の社会状況や学習環境等により変更することがあります。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1	2	選択
担当教員			
山口 明日香			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
講義	キャリア育成学科	2W1110	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員</p> <p>■科目に関連した実務経験のある教員が担当している</p> <p>科目に関連した実務内容</p> <p>臨床心理士・公認心理師の資格を持ち、総合病院にて心理療法士としての実務経験を持っています。発達知能検査は数千件実施しており、人間の認知発達・精神発達を専門にしています。この講義は老年期のみならず、出生前からの生涯発達についての最新の知見を扱って進めていきます。</p> <p>アクティブラーニング要素</p> <p><input type="checkbox"/>ディスカッション、ディベート</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>グループワーク</p> <p><input type="checkbox"/>プレゼンテーション</p> <p><input type="checkbox"/>実習、フィールドワーク</p>
------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	人の生涯を通じた発達過程を学び、老年期の心理発達の側面を中心に理解していく。
到達目標	人間発達の基礎知識と発達課題を理解でき、説明できるようになることを目標とする。 1. 乳児期から老年期までの発達の概要が理解できること 2. 老年期の心理医学的な側面の発達について理解すること 3. 老年期の人に対して客観的評価ができ受容姿勢を身につけること
授業概要	人間発達の基礎知識と発達課題を乳児期から老年期の生涯発達を通じて理解する。加えて老年期を中心に心理医学的側面から理解し客観的見方と受容姿勢を学ぶ。
授業計画	<p>1 人間の成長と発達の基礎知識 【時間外学習（予習・30分）第1章第1・2・3節を読んでおくこと】</p> <p>2 発達理論 【時間外学習（予習・30分）第2章1・2節を読んでおくこと】</p> <p>3 発達段階の概要 小テスト①※テキスト持ち込み可 【時間外学習（予習・30分）第2章第1・2節を読んでおくこと】 【時間外学習（1時間）小テストの範囲（第1・2回分の授業内容とテキスト）の勉強をしておくこと】</p> <p>4 身体的機能と発達 【時間外学習（予習・30分）第2章第3・4節を読んでおくこと】</p> <p>5 社会機能の発達 小テスト②※テキスト持ち込み可 【時間外学習（予習・30分）第2章第5節表を読んでおくこと】 【時間外学習（1時間）小テストの範囲（第3・4回分の授業内容とテキスト）の勉強をしておくこと】</p> <p>6 老年期の特徴と発達課題① 【時間外学習（予習）第3章第1・2・3節を読んでおくこと】</p> <p>7 老年期の特徴と発達課題② 【時間外学習（予習）第3章第3節を読んでおくこと】</p> <p>8 老化にともなう社会的な変化と生活への影響① 小テスト③※テキスト持ち込み可 【時間外学習（予習・30分）第4章第3節を読んでおくこと】 【時間外学習（1時間）小テストの範囲（第5・6・7回分の授業内容とテキスト）の勉強をしておくこと】</p> <p>9 老化にともなう社会的な変化と生活への影響② 【時間外学習（予習・30分）第4章第3節を読んでおくこと】</p> <p>10 老化にともなう心理的な変化と生活への影響 【時間外学習（予習・30分）第4章第2節を読んでおくこと】</p> <p>11 老化にともなう身体的な変化と生活への影響① 【時間外学習（予習・30分）第4章第1節を読んでおくこと】</p> <p>12 老化にともなう身体的な変化と生活への影響②</p>

	<p>小テスト④※持ち込み可 【時間外学習（予習・30分）第4章第1節を読んでおくこと】</p> <p>13 映画から学ぶ：知能と老化の影響①（前半） 【時間外学習（予習・30分）第4章第1・2節を読んでおくこと】</p> <p>14 映画から学ぶ：知能と老化の影響②（後半） 映画の感想レポート 【時間外学習（予習・30分）第4章第1・2節を読んでおくこと】</p> <p>15 まとめ</p>
学修に関する留意事項	授業への積極的な参加姿勢を評価する。
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	紙ベースにて実施する。
成績評価方法・基準	筆記試験：50% 小テスト4回：40% レポート2回：10%
書名①	発達と老化の理解 第2版
著者名①	介護福祉養成講座編集委員会
出版社①	中央法規
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	
参考URL	
特記事項	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1	1	選択
担当教員			
石川 節子			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
演習	キャリア育成学科	2Z1200	
添付ファイル			

授業種類	授業担当教員 <input type="checkbox"/> 科目に関連した実務経験のある教員が担当している 科目に関連した実務内容 アクティブラーニング要素 <input type="checkbox"/> ディスカッション、ディベート <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク
------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	日本語学習の初級から中級を復習し、大学での勉学に必要な日本語力の基礎固めを行う。場面に応じ、適切な表現が使えるようになる。
到達目標	1. 日本語初級～中級で学んだ語彙／文型を用いて場面に応じた会話ができる。2. 語彙／文法知識をさらに増やし、会話で使えるようにする。3. 学習内容についての復習、時間外学習の習慣をつける。
授業概要	場面に応じ、適切な語彙や文型を用いてコミュニケーションがとれるよう、練習する。JLPT形式の問題を通して新たな知識を増やし、使えるよう練習する。復習するときのポイントやノートのまとめ方を学ぶ。毎回、前回の学習内容に関する小テストを行う。
授業計画	1 授業内容・評価・時間外学習についての説明／自己紹介シートの記入 時間外学習：次回授業の予習プリント（語彙①）（40分） 2 授業計画についての説明／自己紹介／語彙①／会話の文法・会話練習① 時間外学習：授業内容の復習／次回授業の予習プリント（語彙②）（60分） 3 語彙② 会話の文法・会話練習② 時間外学習：授業内容の復習／次回授業の予習プリント（語彙③）（60分） 4 語彙③ 会話の文法・会話練習③ 時間外学習：授業内容の復習／次回授業の予習プリント（語彙④）（60分） 5 語彙④ 会話の文法・会話練習④ 時間外学習：授業内容の復習／次回授業の予習プリント（語彙⑤）（60分） 6 語彙⑤ 会話の文法・会話練習⑤ 時間外学習：授業内容の復習／次回授業の予習プリント（語彙⑥）（60分） 7 語彙⑥ 第7回までのまとめ（語彙／会話の文法） 時間外学習：授業内容の復習／次回授業の予習プリント（語彙⑦）（60分） 8 語彙⑦ 会話の文法・会話練習⑥ 時間外学習：授業内容の復習／次回授業の予習プリント（語彙⑧）（60分） 9 語彙⑧ 会話の文法・会話練習⑦ 時間外学習：授業内容の復習／次回授業の予習プリント（語彙⑨）（60分） 10 語彙⑨ 会話の文法・会話練習⑧ 時間外学習：授業内容の復習／次回授業の予習プリント（語彙⑩）（60分） 11 語彙⑩ JLPT対策 時間外学習：学習内容の復習／次回授業の予習プリント（語彙⑪）（60分） 12 語彙⑪ JLPT対策 時間外学習：学習内容の復習／次回授業の予習プリント（語彙⑫）（60分） 13 語彙⑫ 会話の文法／会話練習⑨ 時間外学習：授業内容の復習／次回授業の予習プリント（語彙⑬）（60分） 14 語彙⑬ 第1回～第14回の授業のまとめ（語彙／会話の文法） 時間外学習：第1回～第14回の授業内容の復習（120分） 15 総復習
学修に関する留意事項	毎回、前回の学習内容に関する小テストを行う。レベルチェックテストの結果により、授業内容を変更する場合があります。

試験やレポート等の課題のフィードバック方法	
成績評価方法・基準	授業への取り組み（到達目標1～3） 30% 小テスト（到達目標1,2） 30% テスト（到達目標1,2） 40%
書名①	プリント教材を随時配布します。
著者名①	
出版社①	
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	
参考URL	
特記事項	

講義科目名称： 法学(日本国憲法)

授業コード： 50310C

英文科目名称： Law (Japanese Constitution)

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2	2	選択必修
担当教員			
長谷川 博			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
講義	キャリア育成学科	2A3105	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員</p> <p><input type="checkbox"/> 科目に関連した実務経験のある教員が担当している</p> <p>科目に関連した実務内容</p> <p>アクティブラーニング要素</p> <p><input type="checkbox"/> ディスカッション、ディベート</p> <p><input type="checkbox"/> グループワーク</p> <p><input type="checkbox"/> プレゼンテーション</p> <p><input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク</p>
------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	日本の最高法規である日本国憲法の成立背景とその内容について考える。
到達目標	1 日本国憲法がどのように成立したか理解する。2 日本国憲法の内容を大日本国憲法の内容と比較しつつ理解する。3 憲法の規定が私たちの暮らしとどのように結びついているか理解する。
授業概要	「マンガでわかる日本国憲法」木山泰嗣監修 池田書店をテキストとして、講義プリントを中心に学習する。
授業計画	<p>1 終戦と日本国憲法成立について ～ ①講義プリントの調べ学習 (30分)</p> <p>2 終戦と日本国憲法成立について ～ ②講義プリントの調べ学習 (30分)</p> <p>3 日本国憲法前文とその原理について講義プリントの調べ学習 (30分)</p> <p>4 天皇の存在とは ～ 戦前と戦後を比較して講義プリントの調べ学習 (30分)</p> <p>5 戦争放棄について (第9条1項2項) 講義プリントの調べ学習 (30分)</p> <p>6 基本的人権とは ～ 自由と権利について考える (第12条) 講義プリントの調べ学習 (30分)</p> <p>7 差別について考える (第14条) 講義プリントの調べ学習 (30分)</p> <p>8 請願権や賠償責任について (第16条・第17条) 講義プリントの調べ学習 (30分)</p> <p>9 日本高憲法と合衆国憲法との関係講義プリントの調べ学習 (30分)</p> <p>10 ささまざまな自由について (第19条～第21条) 講義プリントの調べ学習 (30分)</p> <p>11 日本国憲法で定めた夫婦や家族の関係について (第24条) 講義プリントの調べ学習 (30分)</p> <p>12 生存権とは何か (第25条) 講義プリントの調べ学習 (30分)</p> <p>13 教育を受ける権利と義務教育について (第26条) 明治以降の日本における教育の歴史について講義プリントの調べ学習 (30分)</p> <p>14 憲法で定めた地方自治とは (第92条)・第94条講義プリントの調べ学習 (30分)</p> <p>15 憲法改正のしくみ (第96条) 講義プリントの調べ学習 (30分) まとめ (60分)</p>
学修に関する留意事項	1 テキストと講義プリントを用いて学習を進めます。2 毎時学習する授業内容や関係する条文を事前学習しておいてください。3 講義3回終了ごとに、次の授業で確認テスト(主に記号式)を実施します。

試験やレポート等の課題のフィードバック方法	
成績評価方法・基準	筆記試験（到達目標1, 2, 3）60% 確認テスト4回（到達目標3）20% 授業への取り組み（到達目標1, 2, 3）20%
書名①	マンガでわかる日本国憲法 木山泰嗣監修 池田書店
著者名①	
出版社①	
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	日本国憲法
参考URL	
特記事項	

講義科目名称：暮らしと政治

授業コード： 50320B

英文科目名称： Everyday Life and Politics

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2	2	選択必修
担当教員			
長谷川 博			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
講義	キャリア育成学科	2A2109	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員 <input type="checkbox"/> 科目に関連した実務経験のある教員が担当している</p> <p>科目に関連した実務内容</p> <p>アクティブラーニング要素 <input type="checkbox"/> ディスカッション、ディベート <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク</p>
------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	私たちの日々の暮らしが政治とどのようにつながっているのか、基本的な知識を理解する。
到達目標	1 民主政治と三権分立について理解する。2 地方自治の役割と地方分権の動きを理解する。3 身近な暮らしの中で政治や法がどのように関わっているかを理解する。
授業概要	将来、社会人として活躍するために、知っておくべき基礎知識が身につくように講義プリントや時事問題に関する資料を用いて学習する。高等学校の現代社会・歴史的分野の学習内容を踏まえて学習する。基本用語が身につくよう学習する。
授業計画	<p>1 民主政治とは ～ ギリシア・ローマの民主政治 三大市民革命について講義プリントの調べ学習 (30分)</p> <p>2 主権とは何か ～ 民主政治の形態について講義プリントの調べ学習 (30分)</p> <p>3 民主政治と選挙 ～ 議会制民主主義と選挙の4大原則講義プリントの調べ学習 (30分)</p> <p>4 わが国の選挙制度の歴史について講義プリントの調べ学習 (30分)</p> <p>5 現在の選挙制度と問題点講義プリントの調べ学習 (30分)</p> <p>6 司法権の独立 ～ 大津事件の歴史的意義とは講義プリントの調べ学習 (30分)</p> <p>7 憲法の番人とは ～ 違憲立法審査権について講義プリントの調べ学習 (30分)</p> <p>8 三審制と人権の尊重 ～ 裁判の種類 冤罪と再審請求講義プリントの調べ学習 (30分)</p> <p>9 三権分立について講義プリントの調べ学習 (30分)</p> <p>10 国と地方自治体との関係①講義プリントの調べ学習 (30分)</p> <p>11 国と地方自治体との関係②講義プリントの調べ学習 (30分)</p> <p>12 地方自治と主権者意識 ～ 住民の政治参加意識と投票率について講義プリントの調べ学習 (30分)</p> <p>13 地方自治の役割と課題講義プリントの調べ学習 (30分)</p> <p>14 あるべき地方自治とは ～ 地方自治の理想と現実講義プリントの調べ学習 (30分)</p> <p>15 生活の中にある法講義プリントの調べ学習 (30分) まとめ (60分)</p>

学修に関する留意事項	1 講義プリントを用いて学習します。2 高校時代の教科書・副読本を活用して授業に取り組んでください。3 講義3回終了ごとに、次の講義で確認テスト（主に記号式）を行います。
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	
成績評価方法・基準	筆記試験（到達目標1, 2, 3）60% 確認テスト4回（到達目標3）20% 授業への取り組み（到達目標2, 3）20%
書名①	
著者名①	
出版社①	
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	高等学校現代社会, 政治経済, 歴史的分野の教科書・副読本
参考URL	
特記事項	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2	1	選択
担当教員			
中川 千代			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
演習	キャリア育成学科	2V3232	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員</p> <p>■科目に関連した実務経験のある教員が担当している</p> <p>科目に関連した実務内容</p> <p>アクティブラーニング要素</p> <p>■ディスカッション、ディベート</p> <p>■グループワーク</p> <p>□プレゼンテーション</p> <p>□実習、フィールドワーク</p>
------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	介護課題解決のための介護過程の実践的展開ができる
到達目標	1. 介護過程の展開方法を習得し、効果的な介護計画が立案できる。2. 課題解決のため介護目標に沿った具体的な介護内容が考案でき、他者と共有できる。3. 医学モデル・社会モデルの両視点から実現可能な介護目標・介護内容の立案につなげられる。
授業概要	1年次の介護実習Ⅱにおいて受け持った利用者の介護過程の展開を振り返り、より効果的な介護過程を実践できるように、施設職員との情報共有、報告・連絡・相談のあり方についても具体的に学び、次の介護実習Ⅲでの取り組みにつなげられるようにする。
授業計画	<p>1 介護実習Ⅱにおける個々の介護過程展開の振り返り①～五感を用いた観察 受け持ち利用者の様子を思い出して画用紙に再現してみる。絵を描いて表現する。 〈時間外学習〉（予習）実習Ⅱでのメモ帳の整理（10分）／（復習）「情報収集」項目を見直す（10分）</p> <p>2 介護実習の手引き（三重県版）「介護過程のアウトラインをおさえるノート」を用いて全体の流れを復習する 〈時間外学習〉（予習）介護実習の手引き（三重県版）「介護過程のアウトラインをおさえるノート」を読んでおく（20分）／（復習）書き込んだ解答（内容）の読み込みおよび自身の介護過程展開を説明できるようにしておく（20分）</p> <p>3 介護実習Ⅱにおける個々の介護過程展開の振り返り②～グループワーク 自分の受け持った利用者についての情報を他者にわかりやすく伝える。 〈時間外学習〉（予習）絵を仕上げておく（20分）／（復習）他者の受け持ち利用者の状況をおさえる（10分）</p> <p>4 介護過程展開の事例演習①～グループワーク グループ内でこれから皆で検討し直す事例を1事例選ぶ。その事例に関して、再度情報を整理する。 〈時間外学習〉（予習）ICFの視点の見直し（20分）／（復習）本時の内容を復習する（10分）</p> <p>5 介護過程展開の事例演習②～グループワーク グループ内で選んだ事例を深く掘り下げていく。 〈時間外学習〉（予習）ICFの視点の見直し（20分）／（復習）本時の内容を復習する（10分）</p> <p>6 介護過程展開の事例演習③～グループワーク グループ内で選んだ事例を深く掘り下げ、生活課題を再考し介護目標・介護内容を見直す。 〈時間外学習〉（予習）ICFの視点の見直し（20分）／（復習）本時の内容を復習する（10分）</p> <p>7 介護過程展開の事例演習④～グループワーク 見直した介護内容について、役割分担をしながら報告できるようにパワーポイントでまとめる。 〈時間外学習〉（予習）ICFの視点「医学モデル、社会モデル」での障害のとらえ方を理解する（20分）／（復習）本時の内容を復習する（10分）</p> <p>8 介護過程展開の事例演習⑤～グループワーク 各グループで考え直した介護過程展開の見直しポイント等を役割分担をしながらわかりやすくパワーポイントでまとめる。 〈時間外学習〉（予習）ICFの視点「医学モデル、社会モデル」での障害のとらえ方を理解する（20分）／（復習）本時の内容を復習する（10分）</p> <p>9 介護過程展開の事例演習⑥～グループワーク 各グループで考え直した介護過程展開の見直しポイント等を役割分担をしながらわかりやすくパワーポイントでまとめる。 〈時間外学習〉（予習）ICFの視点「医学モデル、社会モデル」での障害のとらえ方を理解する（20分）／（復習）本時の内容を復習する（10分）</p> <p>10 介護過程展開の報告会① 各グループで考え直した介護過程展開の見直しポイント等をそれぞれ報告し合い、1事例毎に意</p>

	<p>見交換する。 (時間外学習) (予習) 報告の練習、役割分担 (30分) / (復習) 本時の内容を復習する (10分)</p> <p>1 1 介護過程展開の報告会② 各グループで考え直した介護過程展開の見直しポイント等をそれぞれ報告し合い、1事例毎に意見交換する。 (時間外学習) (予習) 報告の練習、役割分担 (30分) / (復習) 本時の内容を復習する (10分)</p> <p>1 2 介護過程展開の報告会③ 各グループで考え直した介護過程展開の見直しポイント等をそれぞれ報告し合い、1事例毎に意見交換する。 (時間外学習) (予習) 報告の練習、役割分担 (30分) / (復習) 本時の内容を復習する (10分)</p> <p>1 3 アセスメントの3つの視点 事例展開演習を通して、自立の視点、快適の視点、安全の視点について考える。 (時間外学習) (予習) 教科書の該当ページの読み込み (15分) / (復習) 本時の内容を復習する (10分)</p> <p>1 4 報告・連絡・相談のあり方 事例展開演習を通して、実習指導者とどの時期にどのように報告・連絡・相談をすることが望ましいのかを確認する。 (時間外学習) (予習) 教科書の該当ページの読み込み (15分) / (復習) 本時の内容を復習する (10分)</p> <p>1 5 総まとめ 介護実習Ⅲに向けて介護過程を展開するにあたっての心構えと準備。 (時間外学習) (予習) 再度、介護過程の意義・目的を見直す (15分) / (復習) 本時の内容を復習する (10分)</p>
学修に関する留意事項	介護実習Ⅱで各々の学生が受け持った利用者の介護過程について振り返りながら、効果的な介護計画についてより深く学びます。個人情報の取り扱いに充分留意し、情報収集シート、介護過程展開シートにまとめられた内容をもとにグループワークを行います。自己のメモ帳、それぞれのシートのコピーを準備しておいてください。
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	
成績評価方法・基準	授業に対する取り組み (到達目標 1. 2) 40% 課題等の提出物、発表 (到達目標 2. 3) 40% 試験 (到達目標 1. 2. 3) 20%
書名①	最新介護福祉士養成講座9 介護過程
著者名①	介護福祉士養成講座編集委員会
出版社①	中央法規出版
書名②	介護実習の手引き、介護実習ノート三重県版
著者名②	三重県介護福祉士養成協議会
出版社②	中央法規出版
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	介護過程実践モデル集 三重県版
参考URL	
特記事項	介護福祉士として根拠のある介護を継続的に提供できる『求められる人』になれるように介護過程の展開を身につけ、専門的な介護が提供できるように学びましょう。グループワークが主になります。率先して考え、人任せにしない積極的な意見交換ができるように学び合ひましょう。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2	1	選択
担当教員			
松枝 桂子			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
演習	キャリア育成学科	2V3233	
添付ファイル			

授業種類	授業担当教員 <input type="checkbox"/> 科目に関連した実務経験のある教員が担当している 科目に関連した実務内容 アクティブラーニング要素 <input type="checkbox"/> ディスカッション、ディベート <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク
------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	介護過程の実践的展開
到達目標	1、今までに学習した知識や技術を用いて介護過程を展開し、利用者の自立に向けた個別援助計画を作成することができる。2、根拠に基づいた適切な介護内容を考えることができる。
授業概要	事例演習を通して介護過程展開の各段階を理解し、利用者の状態・状況に応じた個別援助計画の作成方法を学習する。
授業計画	1 介護過程の基本概念について <時間外学習>授業の内容、用語の意味についてノートにまとめておくこと (60分) 2 アセスメントの視点と方法① <時間外学習>授業の内容、用語の意味についてノートにまとめておくこと (60分) 3 アセスメントの視点と方法② <時間外学習>配布プリントの整理をしておくこと (10分) 4 アセスメントの視点と方法③ <時間外学習>テキスト「アセスメント」についての関連項目を読んでおくこと (60分) 5 到達目標の表現演習 <時間外学習>授業で学んだ内容をノートにまとめること (30分) 6 介護計画の作成演習 (時間外学習) 介護計画の立てるときのポイントについてまとめること (30分) 7 事例展開演習① <時間外学習>テキストの「介護過程の展開」や配布資料に目を通し、演習で示された事例課題に取り組むこと (60分) 8 事例展開演習② <時間外学習>演習で示された事例課題に取り組むこと (60分) 9 事例展開演習③ <時間外学習>演習で示された事例課題に取り組むこと (60分) 10 事例展開演習④ 11 事例展開演習⑤ <時間外学習>発表の準備を行うこと (60分) 12 事例展開演習⑥ <時間外学習>発表の準備を行うこと (60分) 13 事例展開演習⑥ <時間外学習>発表の準備を行うこと (60分) 14 事例展開発表① 15 事例展開発表②まとめ
学修に関する留意事項	個別ワークやグループワークにおける積極的な取り組みの姿勢を評価します。

試験やレポート等の課題のフィードバック方法	
成績評価方法・基準	授業の取り組み（到達目標1,2）40% 提出物（到達目標1.2）30% 課題発表30%
書名①	最新 介護福祉士養成講座9 『介護過程』
著者名①	
出版社①	中央法規
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	
参考URL	
特記事項	看護師・介護支援専門員として実務経験があります。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2	1	選択
担当教員			
長谷川 恭子			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
演習	キャリア育成学科	2V3242	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員</p> <p>■科目に関連した実務経験のある教員が担当している</p> <p>科目に関連した実務内容</p> <p>アクティブラーニング要素</p> <p><input type="checkbox"/>ディスカッション、ディベート</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>グループワーク</p> <p><input type="checkbox"/>プレゼンテーション</p> <p><input type="checkbox"/>実習、フィールドワーク</p>
テーマ	介護実習Ⅲに向けて必要な知識や技術の学び直し、自己の不得意分野を知る介護過程の展開を含めた、介護実践を的確に行えるための準備を行う。
到達目標	1. 介護実習Ⅲの目標・課題を明確にし、効果的な実践を行うための創意工夫ができる。2. 実習施設の概要を理解し、多職種との連携の重要性を知る。報告・連絡・相談ができる。3. 利用者の状態に合ったアセスメントと介護目標に沿った介護実践を適切に記録できる。
授業概要	介護実習Ⅲでの実践が円滑に行え学びが深められるよう、各分野の内容を具体的に自ら学び理解できるよう授業を展開する。
授業計画	<p>1 介護実習Ⅲの概要について 〈時間外学習〉シラバスを確認し、この授業で何を学ぶのか確認しておく。自分の介護実習Ⅱについて振り返っておく。(30分)</p> <p>2 介護実習Ⅱの振り返り① 介護実習Ⅰとの違いと新たな学びについての振り返り 〈時間外学習〉介護実習Ⅱでの自己評価票をもとに振り返りを記録する。受け持ち利用者の介護計画を振り返る。(30分)</p> <p>3 介護実習Ⅱの振り返り② 受け持ち利用者の介護計画について 〈時間外学習〉介護実習Ⅱでの自己評価票をもとに振り返りを記録する。受け持ち利用者の介護計画を振り返る。(30分)</p> <p>4 介護実習Ⅱの振り返り③ 個々の振り返りをもとにグループワークを行う 〈時間外学習〉介護実習Ⅱでの自己評価票をもとに振り返りを記録する。受け持ち利用者の介護計画を振り返る。(30分)</p> <p>5 介護実習Ⅲに向けた取り組み① 実習に必要な記録物の書き方を改めて確認する。 〈時間外学習〉実習ノート記録物の記録例を読んでおく。(30分)</p> <p>6 介護実習Ⅲに向けた取り組み② 実習施設の概要等を調べる 〈時間外学習〉教科書、実習ノートの施設紹介の項目に目を通しておく。(30分)</p> <p>7 介護実習Ⅲの自己目標・到達度の確認 〈時間外学習〉介護実習Ⅱで認識した各自の課題を文章化しておく。(30分)</p> <p>8 介護実習Ⅲに向けた実習関係書類の作成① 〈時間外学習〉施設提出に向けた書類作成の準備をしておく。(60分)</p> <p>9 介護実習Ⅲに向けた実習関係書類の作成② 〈時間外学習〉施設への交通手段の確認、施設提出に向けた書類作成の準備をしておく。(60分)</p> <p>10 介護実習Ⅱ 施設からのコメント 個別指導① 〈時間外学習〉介護実習Ⅱでの受け持ち利用者の介護計画を振り返る。(30分)</p> <p>11 介護実習Ⅱ 施設からのコメント 個別指導② 〈時間外学習〉介護実習Ⅱでの受け持ち利用者の介護計画を振り返る。(30分)</p> <p>12 介護実習Ⅲに向けた心構えと留意点の指導① 〈時間外学習〉電話連絡の方法など、今までの実習でどのように行ったか振り返る(30分)</p> <p>13 介護実習Ⅲに向けた心構えと留意点の指導② 〈時間外学習〉事前訪問について、資料に調べた内容を書き込む(30分)</p> <p>14 介護実習Ⅲ 実習ファイル準備を完成させる。 〈時間外学習〉施設提出に向けた書類作成の準備をしておく。(30分)</p> <p>15 介護実習Ⅲの事前準備、施設書類の確認、大学への提出書類の確認、注意事項についての最終確認</p>

	〈時間外学習〉事前訪問時までには、施設に確認しておきたい項目を整理する。(30分)
学修に関する留意事項	準備の進行具合によって順番、内容が変動することがあります。介護実習Ⅲは大学の2年間の実習の総まとめになり、知識・技術の獲得状況を確認し自信につなげる必要があります。協力して励みましょう。担当教員が指定した期限に提出書類が出せない場合、また報告、連絡、相談が出来ず実習施設に著しく迷惑がかかると学校が判断した場合、実習に行くことができません。注意してください。
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	
成績評価方法・基準	授業への取り組み(到達目標1, 2, 3) 50% 提出物(到達目標1, 3) 30% 試験(到達目標1, 2, 3) 20%
書名①	最新介護福祉士養成講座10「介護総合演習・介護実習」
著者名①	介護福祉士養成講座編集委員会編
出版社①	中央法規
書名②	三重県版介護実習の手引き、介護実習ノート
著者名②	三重県介護福祉士養成施設協議会
出版社②	中央法規
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	最新介護福祉士養成講座9「介護過程」
参考URL	
特記事項	介護福祉士としての実務経験があります。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	2	4	選択
担当教員			
中川 千代、長谷川 恭子、上山 由紀子、東海林 藍			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
実習	キャリア育成学科	2V2451	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員</p> <p>■科目に関連した実務経験のある教員が担当している</p> <p>科目に関連した実務内容</p> <p>アクティブラーニング要素</p> <p><input type="checkbox"/>ディスカッション、ディベート</p> <p><input type="checkbox"/>グループワーク</p> <p><input type="checkbox"/>プレゼンテーション</p> <p>■実習、フィールドワーク</p>
テーマ	特別養護老人ホーム、老人介護保健施設での実習において、施設で生活している高齢者を理解し、個々人それぞれのニーズに合わせた介護の必要性を理解する。また、介護実践が展開できるようになる。
到達目標	<p>1. 施設のケアプランに基づいた基本的な生活支援を理解でき、支援方法を考えられる（基本的な生活支援を行うことができるようになる）。</p> <p>2. 多職種との連携を通じ、チームの一員としての介護福祉士の役割について理解する。</p> <p>3. 実践から学び、介護計画が立てられるようになる。</p>
授業概要	・担当教員及び実習指導者の指導を受けながら実習を進められるように、介護実習Ⅱにおける自己目標等を明確にしておく。・安全・安楽に配慮した生活支援技術が身につくよう、利用者と積極的に関わりを持つ。・実習Ⅰを基本に、介護全般についてステップアップを目指す。
授業計画	<p>1</p> <p>20日間（行動目標）・利用者個々の生活リズムと個性がわかる・個別性のある介護の必要性がわかる・利用者の介護計画に基づいた生活支援の基本が実践できる・安全・安楽に配慮した生活支援技術が提供できる・多職種協働や関係機関との連携を通じてチームの一員としての介護福祉士の役割を知る・チームカンファレンスを通じ、利用者の生活の質を向上させる取り組みを学ぶ・施設行事の準備から参加まで実施できる・実習施設の目的、役割、構造がわかる・地域で生活する対象者への生活支援活動がわかる</p>
学修に関する留意事項	<p>・利用者個々人の生活がよりよくなるよう、学んだ知識や技術を活かして一生懸命取り組むことが重要です。これまでに学習した基礎知識をもとに、介護実践に応用できるよう考えて行動しましょう。</p> <p>・介護実習Ⅱは1年前期の介護福祉士必修科目と卒業必修科目のうち、単位を修得できなかった科目が合計3科目以上あった場合は実習に行くことができません。・実習に必要な書類を担当教員の指定した期日までに提出できない場合は、実習に行けません。</p>
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	
成績評価方法・基準	<p>介護実習Ⅱ評価票による施設評価（目標1.2.3）40%</p> <p>介護実習Ⅱ評価票による教員評価（目標1.2.3）40%</p> <p>課題提出物（目標1.2.3）20%</p>
書名①	最新介護福祉士養成講座10「介護総合演習・介護実習」
著者名①	介護福祉士養成講座編集委員会編
出版社①	中央法規出版
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	三重県版 介護実習の手引き 介護実習ノート
参考URL	
特記事項	担当教員の巡回指導時に、分からないところを積極的に聞きましょう。記録物は毎日丁寧に書き、遅れないよ

うに提出しましょう。報告・連絡・相談をしっかりと実践しましょう。介護福祉士としての実務経験があります（中川、長谷川、東海林）。看護師としての実務経験があります（上山）。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	2	4	選択
担当教員			
中川 千代、長谷川 恭子、上山 由紀子、東海林 藍			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
実習	キャリア育成学科	2V3452	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員</p> <p>■科目に関連した実務経験のある教員が担当している</p> <p>科目に関連した実務内容</p> <p>アクティブラーニング要素</p> <p><input type="checkbox"/>ディスカッション、ディベート</p> <p><input type="checkbox"/>グループワーク</p> <p><input type="checkbox"/>プレゼンテーション</p> <p>■実習、フィールドワーク</p>
テーマ	既習の知識や技術を統合し、利用者に合わせた生活支援技術を実践できる。介護計画に沿った介護支援が展開できる。
到達目標	<p>1. 利用者の生活課題に着目した介護技術の展開ができるよう、助言のもと実践する中で、その能力を身につけ、利用者に合わせた生活支援技術を学ぶ。</p> <p>2. 受け持ち利用者に必要な介護計画を立案し、援助・評価・考察などを実践し介護過程の一連の流れが理解できる。</p>
授業概要	・担当教員及び実習指導者の指導を受けながら実習する。・受け持ち利用者の全体像を把握したうえで、その人らしい生活により近づく生活支援を、介護計画立案から評価・考察までできるようにする。
授業計画	<p>1</p> <p>20日間（行動目標）・利用者を全人的に理解できる・受け持ち利用者に必要な介護計画を立案し、援助、評価、考察ができる・利用者の状態に合わせた生活支援技術が実践できる・多職種の活動実態を見学し、専門性を理解する・行事の企画運営を、支援を受け実施できる・デイサービス、ショートステイなどの居宅介護サービスに参加できる・夜間援助に参加し、利用者の夜間の過ごし方と支援方法を学ぶ・家族との連携を学ぶ・機会があれば終末期ケアの利用者と関わらせていただく・実習におけるマナーを守りましょう・介護計画立案・実施をしましょう</p>
学修に関する留意事項	<p>・利用者が思っても口に出せない思いや、ご本人も気づいていないニーズを察知できるようになるために受け持ち利用者に積極的に関わり、指導者の助言に耳を傾けましょう。</p> <p>・介護実習Ⅲは1年後期の介護福祉士必修科目と卒業必修科目のうち、単位を修得できなかった科目が合計3科目以上あった場合は実習に行くことができません。・実習に必要な書類を担当教員の指定した期日までに提出できない場合は、実習に行けません。</p>
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	
成績評価方法・基準	<p>介護実習Ⅲ評価票による施設評価（目標1.2）40%</p> <p>介護実習Ⅲ評価票による教員の評価（目標1.2）40%</p> <p>課題提出物（目標1.2）20%</p>
書名①	最新介護福祉士養成講座10「介護総合演習・介護実習」
著者名①	介護福祉士養成講座編集委員会編
出版社①	中央法規出版
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	三重県版介護実習の手引き、介護実習ノート
参考URL	
特記事項	介護実習Ⅲは2年間の総まとめの実習であるので、疑問点を残さないように積極的に質問し、学びとってください。担当教員の巡回時に分からないことは質問しましょう。報告・連絡・相談をしっかりと実践しましょう。

介護福祉士としての実務経験があります（中川、長谷川、東海林）。看護師としての実務経験があります（上山）。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2	2	選択
担当教員			
上山 由紀子、福田 洋子			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
講義	キャリア育成学科	2W3103	
添付ファイル			

授業種類	授業担当教員 <input type="checkbox"/> 科目に関連した実務経験のある教員が担当している 科目に関連した実務内容 アクティブラーニング要素 <input type="checkbox"/> ディスカッション、ディベート <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク
------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	人のこころのしくみを理解する。(基本的欲求、心理的発達段階) 脳の構造や機能を学び、記憶について理解する。
到達目標	人の基本的欲求の種類と内容を理解する。心理的な発達段階を理解する。脳の構造や機能を学び、記憶について理解する。
授業概要	基本的欲求や発達段階を学ぶ。脳の構造や機能を理解するとともに、記憶に関する基礎知識をつける。
授業計画	1 終末期にある人の理解①：死に関連した定義と用語を学ぶ 時間外学習：授業で習ったことをまとめ、次の授業に活かす (30分) (福田洋子) 2 終末期にある人の理解②：死に関した考え方の学習 時間外学習：授業で習ったことをまとめ、次の授業に活かす (30分) (福田洋子) 3 終末期にある人の理解③：自分のみじかな死について 時間外学習：授業で習ったことをまとめ、次の授業に活かす (30分) (福田洋子) 4 終末期にある人の理解④：医療職と多職種連携について 時間外学習：授業で習ったことをまとめ、次の授業に活かす (30分) (福田洋子) 5 終末期にある人の理解⑤：死を取り巻く医療的ケア 時間外学習：授業で習ったことをまとめ、次の授業に活かす (30分) (福田洋子) 6 終末期にある人の理解⑥：エンディングノート、グリーフケアについて 時間外学習：授業で習ったことをまとめ、次の授業に活かす (30分) (福田洋子) 7 終末期にある人の理解⑦：死者を送る方法 時間外学習：授業で習ったことをまとめ、次の授業に活かす (30分) (福田洋子) 8 基本的欲求について(マズロー)、発達段階について(エリクソン) 【上山】 (時間外学習) 授業の復習(30分) 9 こころのしくみの基礎①脳の構造としくみ 【上山】 (時間外学習) 授業の復習(30分) 10 こころのしくみの基礎②記憶、学習 【上山】 (時間外学習) 授業の復習(30分) 11 こころのしくみの基礎③思考とは、妄想について 【上山】 (時間外学習) 授業の復習(30分) 12 こころのしくみの基礎④適応機制、ライチャードによる高齢者の人格の分類 【上山】 (時間外学習) 授業の復習(30分) 13 各項目について復習をする 【上山】 (時間外学習) 授業の復習(30分) 14 まとめ 【上山】 (時間外学習) 授業の復習(30分) 15 総まとめ (時間外学習) 授業の復習(30分)
学修に関する留意事項	図書館の本を利用し、人間発達、生きること、死ぬことについて深く学びましょう。介護福祉士としての発達観、死生観を養いましょう。終末期ケアについて深く学び、終末期における介護福祉士の役割を理解しましょう。

試験やレポート等の課題のフィードバック方法	
成績評価方法・基準	授業態度(課題提出物等)20%、試験80%
書名①	最新 介護福祉士養成講座11 「こころとからだのしくみ」
著者名①	中央法規出版
出版社①	
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	
参考URL	
特記事項	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2	2	選択
担当教員			
長谷川 恭子			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
講義	キャリア育成学科	2W3121	
添付ファイル			

授業種類	授業担当教員 ■科目に関連した実務経験のある教員が担当している 科目に関連した実務内容 アクティブラーニング要素 ■ディスカッション、ディベート ■グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク
------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	認知症について理解を深める。
到達目標	1. 認知症高齢者の生活を理解する。2. 認知症高齢者の介護の基本を理解する。3. 認知症に関する制度を理解する。
授業概要	「認知症の理解Ⅰ」で学んだ基本的事項を基に、認知症の人の生活、介護の基礎を学ぶ。その上で、認知症高齢者の家族への理解やレスパイトケアについて学びを深める。また、認知症に関する制度について、概要を学ぶ。
授業計画	1 授業ガイダンス 「認知症の理解Ⅰ」の復習、確認 <時間外学習> (予習) シラバスに目を通し、この講義で何を学ぶのかを理解しておくこと。 「認知症の理解Ⅰ」の自筆ノートの見直し、配布プリントの確認 (30分) 2 認知症の基礎的理解①国家試験「認知症の理解」の分野に取り組む <時間外学習> (予習) テキスト第1章を読んでおく。(30分) (復習) 配布プリントの確認 (20分) 3 認知症の基礎的理解②国家試験「認知症の理解」の分野に取り組む <時間外学習> (予習) テキスト第1章、第2章を読んでおく。(30分) (復習) 配布プリントの確認 (20分) 4 認知症の症状・診断～演習：長谷川式認知症スケール <時間外学習> (予習) テキスト第2章第4節を読む (30分) (復習) 配布プリントの確認 (20分) 5 認知症の原因疾患と症状・生活障害 <時間外学習> (予習) テキスト第2章第5節を読んでおく。(30分) (復習) 配布プリントの確認 (20分) 6 認知症高齢者への関わりの基本～グループワークを行い、認知症ケアについて学びを深める <時間外学習> (予習) 今までの実習で出会った認知症の方との関わりについてまとめておく。 (30分) (復習) 配布プリントの確認 (20分) 7 認知症の進行に応じた介護 <時間外学習> テキスト第3章第1節を読んでおく。(30分) 8 認知症ケアの実際①～認知症当事者の視点からみえるもの <時間外学習> テキスト第3章第3節を読んでおく。(30分) (復習) 配布プリントの確認 (20分) 9 認知症ケアの実際②～パーソンセンタードケアについて <時間外学習> テキスト第4章第1.2節を読んでおく。(30分) (復習) 配布プリントの確認 (20分) 10 認知症ケアの実際③～コミュニケーションと環境づくり <時間外学習> テキスト第4章第3.4.7節を読んでおく。(30分) (復習) 配布プリントの確認 (20分) 11 認知症の治療・予防 <時間外学習> テキスト第2章第6.7節を読んでおく。(30分) (復習) 配布プリントの確認 (20分) 12 介護者支援～家族・介護福祉職への支援 <時間外学習> テキスト第5章を読んでおく。(30分) (復習) 配布プリントの確認 (20分) 13 家族へのレスパイトケア～演習：家族へのかかわり <時間外学習> テキスト第5章を読んでおく。(30分) (復習) 配布プリントの確認 (20分) 14 認知症の人の介護事例から考える～演習：本人の思いを考える <時間外学習> 配布プリントの確認 (20分)

	15 まとめ ＜時間外学習＞この授業での学びを振り返り、自分なりにまとめる。苦手分野の克服
学修に関する留意事項	認知症の人がどんな気持ちで日々をすごしているか、どんなサポートを求めているかを考えながら学んでください。
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	
成績評価方法・基準	授業の取り組み、グループワーク（到達目標1,2）40% 試験（到達目標1,2,3）60%
書名①	新・介護福祉士養成講座 12 認知症の理解
著者名①	介護福祉士養成講座
出版社①	中央法規
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	
参考URL	
特記事項	認知症ケア専門士の資格を取得しています。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2	2	選択
担当教員			
千草 篤磨			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
講義	キャリア育成学科	2W3122	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員</p> <p><input type="checkbox"/> 科目に関連した実務経験のある教員が担当している</p> <p>科目に関連した実務内容</p> <p>アクティブラーニング要素</p> <p><input type="checkbox"/> ディスカッション、ディベート</p> <p><input type="checkbox"/> グループワーク</p> <p><input type="checkbox"/> プレゼンテーション</p> <p><input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク</p>
------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	障害特性と障害者の心の理解
到達目標	1. 障害者の心理的特性を理解し、介護福祉実践に応用できるようになることを到達目標とする。具体的には、①各障害の基礎的理解ができること。②各障害に対する援助方法の基礎的理解ができること。③障害受容についての基礎的理解ができること。
授業概要	障害種別による障害の特徴や心理的特性について事例を通して解説する。また、援助を必要とする人への心理的対応についてもテキストや資料に基づいて授業を進める。
授業計画	<p>1 障害の基本的な考え方について (時間外学習) テキスト第1章を読んでおくこと (30分)</p> <p>2 国際障害分類 (ICIDH) と国際生活機能分類 (ICF) について (時間外学習) テキスト第1章を読んでおくこと (30分)</p> <p>3 運動機能障害の概要と障害種別について (時間外学習) テキスト第2章を読んでおくこと (30分)</p> <p>4 運動機能障害の心理について (時間外学習) テキスト第2章を読んでおくこと (30分)</p> <p>5 視覚障害の概要と心理について (時間外学習) テキスト第4章を読んでおくこと (30分)</p> <p>6 聴覚障害の概要と心理について (時間外学習) テキスト第5章を読んでおくこと (30分)</p> <p>7 言語障害の概要と心理について (時間外学習) テキスト第6章を読んでおくこと (30分)</p> <p>8 言語障害の心理について (時間外学習) テキスト第6章を読んでおくこと (30分)</p> <p>9 発達障害について (時間外学習) テキスト第7章Ⅰ、Ⅱを読んでおくこと (30分)</p> <p>10 知的障害の概要についてーダウン症を中心にーダウン症を中心にー (時間外学習) テキスト第7章Ⅲを読んでおくこと (30分)</p> <p>11 自閉症、アスペルガー障害の概要について (時間外学習) テキスト第7章Ⅳを読んでおくこと (30分)</p> <p>12 学習障害 (LD)、注意欠陥多動性障害 (ADHD) の概要について (時間外学習) 配布資料を読んでおくこと (30分)</p> <p>13 てんかんの概要について (時間外学習) テキスト第7章Ⅴを読んでおくこと (30分)</p> <p>14 障害の具体的事例について (時間外学習) 配付資料を読んでおくこと (30分)</p> <p>15 まとめ (時間外学習) 章末確認テストを復習しておくこと (1時間)</p>
学修に関する留意事項	国家試験問題を取り入れて授業を進めます。

試験やレポート等の課題のフィードバック方法	
成績評価方法・基準	筆記試験（目標1・2・3）80% ミニレポート課題（目標1・2・3）20%
書名①	最新 介護福祉士養成講座 14 障害の理解
著者名①	著) 編集 介護福祉士養成講座編集委員会
出版社①	出) 中央法規
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	
参考URL	
特記事項	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2	2	選択
担当教員			
上山 由紀子			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
講義	キャリア育成学科	2X3101	
添付ファイル			

授業種類	授業担当教員 ■科目に関連した実務経験のある教員が担当している 科目に関連した実務内容 アクティブラーニング要素 <input type="checkbox"/> ディスカッション、ディベート <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク
------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	医療的ケア演習に向けて、安全・安楽な方法で実施できるよう、喀痰吸引と経管栄養実施に必要な基礎知識を深める。
到達目標	1. 医療的ケアに必要な専門的基礎知識が習得できる。2. 安全・安楽に配慮した医療的ケアの方法を学ぶ。
授業概要	医療的ケア演習を安全・安楽に根拠をもって行えるように、人体のしくみや機能を学習し、観察力や留意点を理解する。
授業計画	1 医療的ケアⅠの復習をする。安全な療養生活、リスクマネジメント、ヒヤリハット・アクシデントについて 〈時間外学習〉教科書の復習(30分) 2 救急蘇生、清潔保持と感染予防 〈時間外学習〉教科書の復習(30分) 3 健康状態を知る項目(バイタルサインなど) 〈時間外学習〉教科書の復習(30分) 4 喀痰吸引の基礎知識 〈時間外学習〉教科書の復習(30分) 5 喀痰吸引の基礎知識 〈時間外学習〉教科書の復習(30分) 6 喀痰吸引の基礎知識 〈時間外学習〉教科書の復習(30分) 7 喀痰吸引の基礎知識 実施手順の説明をする 〈時間外学習〉教科書の復習(30分) 8 経管栄養の基礎知識 〈時間外学習〉教科書や評価票で手順の確認をする(30分) 9 経管栄養の基礎知識 〈時間外学習〉教科書の復習(30分) 10 経管栄養の基礎知識 〈時間外学習〉教科書の復習(30分) 11 経管栄養の基礎知識 実施手順の説明をする 〈時間外学習〉教科書の復習(30分) 12 喀痰吸引実施手順の確認 〈時間外学習〉教科書や評価票で手順の確認をする(30分) 13 喀痰吸引実施手順の確認 〈時間外学習〉教科書や評価票で手順の確認をする(30分) 14 喀痰吸引・経管栄養実施手順の確認 〈時間外学習〉教科書や評価票で手順の確認をする(30分) 15 喀痰吸引・経管栄養の理解度チェック、まとめ 〈時間外学習〉教科書の復習(30分)
学修に関する留意事項	医療的ケア演習を安全・安楽に行うために、重要な授業です。他教科で学んだことも活用して理解していきましょう。

試験やレポート等の課題のフィードバック方法	
成績評価方法・基準	最終理解度チェック(到達目標1.2)70% 授業への取り組み30%
書名①	介護福祉士養成講座15 医療的ケア
著者名①	
出版社①	中央法規出版
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	
参考URL	
特記事項	医療的ケアに必要な専門用語、器具の名称を覚えてください。医療的ケアに必要な基礎知識を復習し理解しておいてください。医療的ケアの講師経験があります。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2	1	選択
担当教員			
伊東 秀幸			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
演習	キャリア育成学科	2G2203	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員 □科目に関連した実務経験のある教員が担当している</p> <p>科目に関連した実務内容</p> <p>アクティブラーニング要素 □ディスカッション、ディベート ■グループワーク ■プレゼンテーション ■実習、フィールドワーク</p>
テーマ	就職活動に向けて、必要な知識、情報、スキルを身に付ける就職活動に自ら踏み出す力を付ける自身の進路選択を自立的に行うことが出来るようになる
到達目標	<p>1 履歴書・エントリーシートの作成、面接対応、就活に向けたビジネスマナーなど就活に必要なスキルが身に付く。</p> <p>2 地域の企業の方と意見交換を行ったり、就活イベントに積極的に参加するなど、一歩踏み出す力をつける。</p> <p>3 自己分析や業界研究・企業研究、職種・職業の理解などを基に、進路の選択を自立的に行えるようになる</p>
授業概要	<p>就職活動全般について教員より講義を行うほか、就職活動を成功させるために重要となる面接やビジネスマナー、メイクアップ、情報収集などのスキルについては、外部の専門家による実践的な授業を行う。</p> <p>また、進路先ともなる地域企業の方々と接したり、意見・情報交換を行う場を設けることで地域企業への理解を深め、企業等との間に感じている壁を低くし、就職活動に踏み出しやすくする。</p> <p>さらに、時間外学習として振り返りを行うことで、学んだことや自己の気づきの定着を図る。</p>
授業計画	<p>1 就職活動の流れ、全体像を知る。三重県の産業と求人・就職環境について。合同企業説明会・インターンシップについて。 ＜時間外学習：振り返りのレポートを作成30分＞</p> <p>2 社会体験実習反省会 ＜時間外学習：振り返りのレポートを作成30分＞</p> <p>3 企業訪問・面談等に向けてのビジネスマナー・所作等について（外部講師予定） ＜時間外学習：振り返りのレポートを作成30分＞</p> <p>4 採用選考の方法・流れ、履歴書・エントリーシート作成の注意点、面接・WEB面接の受け方等について（外部講師予定） ＜時間外学習：振り返りのレポートを作成30分＞</p> <p>5 業界研究セミナー。進路となる主要業界の方より当該業界につき説明。企業の方との情報交換、意見交換 ＜時間外学習：振り返りのレポートを作成30分＞</p> <p>6 業界研究セミナー。進路となる主要業界の方より当該業界につき説明。企業の方との情報交換、意見交換 ＜時間外学習：振り返りのレポートを作成30分＞</p> <p>7 業界・企業研究の進め方。自己PR、履歴書・エントリーシート作成の留意点（外部講師予定） ＜時間外学習：振り返りのレポートを作成30分＞</p> <p>8 個人面接練習、所作・ビジネスマナーの確認。キャリアカルテの入力と活用法、業界研究・企業研究 ＜時間外学習：振り返りのレポートを作成30分＞</p> <p>9 就活に向けてのメイクアップ講座（外部講師予定） ＜時間外学習：振り返りのレポートを作成30分＞</p> <p>10 集団面接講座（外部講師予定） ＜時間外学習：振り返りのレポートを作成30分＞</p> <p>11 集団面接講座（外部講師予定） ＜時間外学習：振り返りのレポートを作成30分＞</p> <p>12 企業の選び方、合同企業説明会参加の注意点、WEB面接の留意点、エントリーサイト登録（外部講師予定） ＜時間外学習：振り返りのレポートを作成30分＞</p>

	13	履歴書・エントリーシート作成、企業訪問、面接等に係る留意点、ビジネスマナー再確認 <時間外学習：振り返りのレポートを作成30分>
	14	就活イベントの参加（業界研究セミナー、合同企業説明会などの就活イベントにエントリーし、1回以上参加する。） <時間外学習：振り返りのレポートを作成30分> ※第15回は2年生前期、4月に実施予定する
	15	就職活動時の諸注意、就活イベント情報提供、キャリアカルテへの入力指導、内定後の対応について、就職活動状況の確認 <時間外学習：振り返りのレポートを作成30分> 関連して以下の就職講座を予定しているの、合わせて受講すること。 1 1年生前期にプレ就職講座として、SPI模擬試験、一般常識模擬試験の実施を予定。 2 2年生の前期に就職活動のフォローアップ講座、卒業前の2月に就職前講座の実施を予定。
学修に関する留意事項		卒業後就職を希望する学生は必ず受講してください。なお、次の講義の内容を念頭に、自身でも準備をして臨んでください。 1 1年生の後期から2年生前期（4月）にかけて、学年をまたいでの開講となります。通常の時間割とは異なり、別に講義時間を設定しますので、ガイダンスや掲示をよく確認してください。 2 受講にあたっては基本スーツ着用のこととします。
試験やレポート等の課題のフィードバック方法		課題が提出された翌週に、対面でフィードバックします。
成績評価方法・基準		提出物（振り返りのレポートなど：到達目標1、2、3）40% 取り組み姿勢（積極性、準備状況、取り組みの様子など：到達目標1、2、3）40% 受講態度（到達目標1、2）20%
書名①		
著者名①		
出版社①		
書名②		
著者名②		
出版社②		
書名③		
著者名③		
出版社③		
参考文献		『オフィスワークの教科書』
参考URL		
特記事項		オフィスワークコースの教員全員が関わる科目となります。皆さんの就職活動を全教員で支援します。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2	1	選択
担当教員			
伊東 秀幸			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
演習	キャリア育成学科	2K3202	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員</p> <ul style="list-style-type: none"> ■科目に関連した実務経験のある教員が担当している <p>科目に関連した実務内容</p> <p>高等学校において、地域資源を活用した商品開発を指導し、観光関連団体や企業と連携して商品化を実現した。</p> <p>アクティブラーニング要素</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ディスカッション、ディベート ■グループワーク ■プレゼンテーション ■実習、フィールドワーク
------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	地域マネジメントに関する専門的な知識や技能を地域社会で実践し、企画立案能力を確立させる。
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 チームプロジェクト演習Ⅰにおいて習得した知識や技能の活用方法をチームの実態に応じて判断することができる。 2 地域マネジメントに関する専門的な知識や技能を地域社会の実態に応じて表出することができる。 3 確立した企画立案能力を実践し、地域社会の課題をチームとして解決することができる。
授業概要	地域マネジメントに関する専門的な知識や技能の実践を目的として、津市の観光資源が持つ魅力をビジター向けにデザインする。演習を通じて、オフィスワーカーとして求められる企画立案能力の確立を目指す。
授業計画	<p>第1講 オリエンテーション（授業計画の確認） <時間外学習>津市の観光資源が持つ魅力を若者目線と子育て目線に分解してスライドにまとめる。（30分）</p> <p>第2講 津市の説明書づくり①（役割別のまなざし） <時間外学習>津市の観光資源が持つ魅力を中年目線と高年目線に分解してスライドにまとめる。（30分）</p> <p>第3講 津市の説明書づくり②（年代別のまなざし） <時間外学習>津市の観光資源が持つ魅力を住民目線とビジター目線に分解してスライドにまとめる。（30分）</p> <p>第4講 津市の説明書づくり③（居住地別のまなざし） <時間外学習>津市の観光資源が持つ魅力を日本のビジター目線と外国のビジター目線に分解してスライドにまとめる。（30分）</p> <p>第5講 津市の説明書づくり④（国別のまなざし） <時間外学習>津市の観光政策が持つ展望をスライドにまとめる。（30分）</p> <p>第6講 政策課題の実態把握①（展望） <時間外学習>津市の観光政策が持つ課題をスライドにまとめる。（30分）</p> <p>第7講 政策課題の実態把握②（課題） <時間外学習>津市の観光政策に関する質問をスライドにまとめる。（30分）</p> <p>第8講 フィールドワークの実践 <時間外学習>津市の観光政策に対する行政の見解をスライドにまとめる。（30分）</p> <p>第9講 フィールドワークの実践 <時間外学習>津市の観光政策に対する地域住民の見解をスライドにまとめる。（30分）</p> <p>第10講 フィールドワークの実践 <時間外学習>津市の観光政策に対するビジターの見解をスライドにまとめる。（30分）</p> <p>第11講 フィールドワークの実践 <時間外学習>津市の観光資源が持つ魅力をビジター向けにデザインする政策をスライドにまとめる。（60分）</p> <p>第12講 報告準備 <時間外学習>津市の観光資源が持つ魅力をビジター向けにデザインする政策をスライドにまとめる。（60分）</p> <p>第13講 予備報告 <時間外学習>報告会の答弁書を作成する。（60分）</p> <p>第14講 報告会 <時間外学習>報告会の評価に基づいてチームプロジェクト演習Ⅱの報告書を作成する。（120分）</p>

	分) 第15講 振り返り <時間外学習>チームプロジェクト演習Ⅱの報告書に基づいてチームプロジェクト演習Ⅱの引継書を作成する。(60分)
学修に関する留意事項	本学の学生は、津市の地域住民に間近で寄り添える頼もしい存在です。地域住民の郷土愛を可視化し、持続可能な地域づくりを実現してください。
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	課題が提出された翌週に、対面でフィードバックします。
成績評価方法・基準	毎時の振り返り(到達目標1、2) 10% スライドの内容(到達目標1、2) 50% 報告会の内容(到達目標2、3) 20% 報告書の内容(到達目標2、3) 10% 引継書の内容(到達目標2、3) 10%
書名①	
著者名①	
出版社①	
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	
参考URL	
特記事項	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2	1	選択
担当教員			
野呂 健一			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
演習	キャリア育成学科	2H3302	
添付ファイル			

授業種類	授業担当教員 <input type="checkbox"/> 科目に関連した実務経験のある教員が担当している 科目に関連した実務内容 アクティブラーニング要素 <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション、ディベート <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク
------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	効果的なプレゼンテーション
到達目標	1. プレゼンテーションの構成の仕方を理解し、実践できる。 2. 自分の考えを分かりやすく伝えるための表現技術を身につける。 3. プレゼンテーションの内容を補う効果的な視覚資料を作成することができる。
授業概要	プレゼンテーションの目的・構成から、表現技術、視覚資料の作成、実施まで、効果的なプレゼンテーションについて講義・演習（グループワークを含む）を繰り返す。クラスの前での3回の発表と発表後の自己評価を通してプレゼンテーションスキルを養成する。
授業計画	1 授業ガイダンス：授業の目的と概要の説明 2 プレゼンテーションとは何か <時間外学習>教科書第1章の予習（30分） 3 プレゼンテーションの構成(1) <時間外学習>教科書第2章の予習（30分） 4 プレゼンテーションの構成(2)、第1回発表の準備 <時間外学習>教科書第2章の予習（1時間） 5 第1回発表 自分らしさが伝わるように自己紹介をする <時間外学習>プレゼンテーションの準備、発表後の振り返りシート作成（1時間） 6 表現技術を身につける(1) <時間外学習>教科書第3章の予習（30分） 7 表現技術を身につける(2) <時間外学習>教科書第3章の予習（30分） 8 表現技術を身につける(3)、第2回発表の準備 <時間外学習>教科書第3章の予習（30分） 9 第2回発表 新聞記事をもとに自分の意見を述べる <時間外学習>プレゼンテーションの準備、発表後の振り返りシート作成（1時間） 10 視覚資料の作成(1) <時間外学習>教科書第4章の予習（30分） 11 視覚資料の作成(2) <時間外学習>教科書第4章の予習（30分） 12 視覚資料の作成(3) 第3回発表の準備（視覚資料の作成） <時間外学習>視覚資料の完成（30分） 13 第3回発表 会社紹介（または地域紹介）のプレゼンテーション <時間外学習>プレゼンテーションの準備、発表後の振り返りシート作成（1時間） 14 第3回発表 会社紹介（または地域紹介）のプレゼンテーション <時間外学習>プレゼンテーションの準備、発表後の振り返りシート作成（1時間） 15 学習の振り返り・まとめ <時間外学習>教科書・授業内容の総復習（1時間）

学修に関する留意事項	3回実施するプレゼンテーションに際して、発表前の準備（原稿・資料作成）と予行演習、発表後の自己評価シートの作成を授業時間外に行うことが必須となる。
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	毎回授業最後に提出する振り返りシート等については、コメントをつけて返却する。
成績評価方法・基準	授業への取り組み（振り返りシートの提出等）（目標1, 2, 3）25% プレゼンテーション（目標1, 2, 3）45% 期末試験（目標1, 2, 3）30%
書名①	ビジネスプレゼンテーション 改訂版
著者名①	森脇道子監修
出版社①	実教出版
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	
参考URL	
特記事項	プレゼンテーションは、就職活動や営業活動などあらゆる場面で求められ、円滑な社会生活を送るために必要なスキルの一つです。人前で話すことが苦手だと感じている学生には是非受講してもらいたいと思います。ただし、プレゼンテーションスキルは受身の姿勢では身につかないので、授業への積極的な参加が求められます。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2	1	選択
担当教員			
石川 節子			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
演習	キャリア育成学科	2Z3203	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員 <input type="checkbox"/> 科目に関連した実務経験のある教員が担当している</p> <p>科目に関連した実務内容</p> <p>アクティブラーニング要素 <input type="checkbox"/> ディスカッション、ディベート <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク</p>
テーマ	漢字及び語彙・文法等の学習を通じ、既習表現を含めてより正確な日本語での表現力を養う。まとまった文章の内容を理解し、筆者の主張を読み取る。
到達目標	1. 日本語能力試験（JLPT）N3・N2相当の漢字/語彙/文法を習得し、正確な文の組み立てができる。2. 作文練習を通して既習表現を正確に使えるようになる。3. まとまった文章を素早く正しく理解し、内容や筆者の主張を読み取ることができる。
授業概要	既習の表現の正確性を高めるとともに、さらに高度な表現を学習し、より場面にあった表現が使えるよう作文練習を行う。様々なタイプの文章を読み、時間内に内容を正確に読み取る練習を行う。また、内容について意見交換を行う。毎回、前回の学習内容に関する小テストを行う。時間外学習用教材として漢字プリントを配布し、漢字テストを行う。
授業計画	<p>1 授業内容・評価・時間外学習についての説明 レベルチェックテスト 時間外学習：授業内容の復習／漢字プリント①（60分）</p> <p>2 レベルチェックテストのフィードバック 文字・語彙①-1 時間外学習：授業内容の復習／漢字プリント②（60分）</p> <p>3 文字・語彙①-2 速読① 文法・練習問題／短文作成練習① 時間外学習：授業内容の復習／漢字プリント③（60分）</p> <p>4 文字・語彙②-1 速読② 文法・練習問題／短文作成練習② 時間外学習：授業内容の復習／漢字プリント④（60分）</p> <p>5 文字・語彙②-2 速読③ 文法・練習問題／短文作成練習③ 時間外学習：授業内容の復習／漢字プリント⑤（60分）</p> <p>6 漢字テスト①（漢字プリント①～④） 文字・語彙③-1 文法・練習問題／短文作成練習④ 時間外学習：授業内容の復習／漢字プリント⑥（60分）</p> <p>7 文字・語彙③-2 速読④ 文法・練習問題／短文作成練習⑤ 時間外学習：授業内容の復習／漢字プリント⑦（60分）</p> <p>8 文字・語彙④-1 第8回までのまとめ 時間外学習：授業内容の復習／漢字プリント⑧（60分）</p> <p>9 文字・語彙④-2 速読⑤ 文法・練習問題／短文作成練習⑥ 時間外学習：授業内容の復習／漢字プリント⑨（60分）</p> <p>10 漢字テスト②（漢字プリント⑤～⑧） 文字・語彙⑤-1 文法・練習問題／短文作成練習⑦ 時間外学習：授業内容の復習／漢字プリント⑩（60分）</p> <p>11 文字・語彙⑤-2 JLPT対策 時間外学習：授業内容の復習／漢字プリント⑪（60分）</p> <p>12 文字・語彙⑥-1 JLPT対策 時間外学習：授業内容の復習／漢字プリント⑫（60分）</p> <p>13 文字・語彙⑥-2 速読⑥ 文法・練習問題／短文作成練習⑧ 時間外学習：授業内容の復習／漢字プリント⑬（60分）</p> <p>14 漢字テスト③（漢字プリント⑨～⑫） 第1回～第14回のまとめ 時間外学習：第1回～第14回の授業内容の復習（120分）</p> <p>15 総復習</p>

学修に関する留意事項	漢字の自習プリントを宿題として配布します。毎回、前回の学習内容についての小テストを行います。
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	
成績評価方法・基準	授業への取り組み（到達目標1～3） 30% 小テスト（到達目標1～3） 30% テスト（到達目標1～3） 40%
書名①	プリント教材を随時配布します
著者名①	
出版社①	
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	
参考URL	
特記事項	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2	2	選択
担当教員			
鷲尾 敦			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
講義・演習	キャリア育成学科	2L3301	
添付ファイル			

授業種類	授業担当教員 <input type="checkbox"/> 科目に関連した実務経験のある教員が担当している 科目に関連した実務内容 アクティブラーニング要素 <input type="checkbox"/> ディスカッション、ディベート <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク
------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	統計と分析手法の基礎を学び、データ分析を身近なものにしよう！
到達目標	1. 基本統計量、ヒストグラム、相関、回帰分析などの基本的な統計の考え方を理解できる。 2. EXCELのデータ分析ツールやソルバー、統計関数、ピボットなどの機能を活用してデータ分析をすることができる 3. データから適切なツールを選び分析を行い、適切なグラフを選んで分析結果を可視化し、その意味を読み取ることができる
授業概要	統計やデータ分析の基礎を学びます。そのツールは、EXCELを用います。具体的には、基本統計量、ヒストグラム、相関、回帰分析などの分析ツールや、ゴールシーク、ソルバーなどの機能、統計関数などを用います。また、結果を可視化する様々なグラフ作成を体験し、最適なグラフ作成能力を高めます。最終課題は、テーマを自分で選び、データを集め、分析し、そこから言えることをまとめる統計グラフポスタを作成します。
授業計画	1 授業ガイダンス 統計とは何か、データ分析とは何か (第1章) ・ 授業ガイダンス ・ 統計とは何か、データ分析とは何か (第1章) <時間外学習>度数分布表の作成課題 (30分) 2 統計の基礎 代表値 (第2章) ・ 基本統計量 平均、メジアン、モード、分散、標準偏差等 ・ EXCEL関数 ・ 分析ツール 基本統計量 <時間外学習>基本統計量課題 (30分) 3 統計の基礎 度数分布とヒストグラム (第3章Step5) ・ 分布図と代表値の読み方 特に、標準偏差、歪度・歪み度 ・ 度数分布の作り方 <時間外学習>ヒストグラム課題 (60分) 4 統計の基礎 度数分布とヒストグラム (第3章Step5) ・ ヒストグラムの作り方 ・ 統計グラフの方法 ・ 分析ツールのヒストグラム (アドインの利用) の方法 ・ 総復習課題 都道府県別最低賃金の分析 <時間外学習>都道府県別最低賃金の分析課題 (30分) 5 ピボットテーブルを使ったクロス集計分析 (第3章Step2) ・ ピボットテーブル解説 ・ ピボットテーブル課題 <時間外学習>ピボットテーブル課題 (30分) 6 視覚化 様々なグラフ表現 (第3章Step1, 3, 4, 6) ・ 視覚化とは ・ グラフ表現 ・ ヒートマップ <時間外学習>視覚化課題 (30分) 7 相関分析による予測分析 (第5章Step1, 2, 3) ・ 都道府県別最低賃金の分析課題の回答例 ・ 散布図 ・ 相関について グラフ、相関関数、分析ツール (相関) <時間外学習>相関分析課題 (60分) 8 単回帰分析を使った予測分析 (第5章Step4) ・ 回帰分析解説 ・ 回帰直線とグラフ、グラフの回帰式による予測

	<ul style="list-style-type: none"> ・分析ツール（回帰分析）による予測、単回帰分析予測関数、標準誤差関数
9	<p><時間外学習>単回帰分析による予測分析課題（60分） 重回帰分析を使った要因分析と予測分析（第5章Step5）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重回帰分析の説明 ・分析ツール（回帰分析）による要因分析と予測分析 ・多変数の予測関数 ・重回帰分析による要因分析及び予測
10	<p><時間外学習>重回帰分析による要因及び予測課題（60分） アンケート調査の集計方法とデータの整理（付録）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・データの表現 ・データの準備（付録） ・集計の方法 ・アンケート調査分析課題
11	<p><時間外学習>アンケート調査分析課題（30分） シミュレーション（ゴールシークとソルバー）（第6章）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゴールシーク ・事例：損益分岐点とグラフ化 ・ソルバー
12	<p><時間外学習>シミュレーション課題（30分） シミュレーション（ゴールシークとソルバー）（第6章）と統計グラフポスタ課題説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ソルバー、シナリオ統計グラフポスタ課題 ・課題説明 ・先輩作品事例の紹介 ・様々な統計データサイトの紹介 ・テーマ検討
13	<p><時間外学習>テーマ検討（30分） 統計グラフポスタ課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テーマの検討 ・制作計画とデータ収集 ・統計グラフポスター制作
14	<p><時間外学習>統計グラフポスター制作（30分） 統計グラフポスタ課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・データの収集 ・統計グラフポスター制作
15	<p><時間外学習>・統計グラフポスター制作課題（30分） 統計グラフポスタ課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・統計グラフポスター作品提出 ・まとめ ・振り返り
学修に関する留意事項	EXCELを使った分析手法については、参考文献にその内容が記載されています。授業外でしっかり統計を学びたい場合は、参考文献を入手して学習してください。EXCELのグラフ作成・編集機能は、知っていて当然の機能とありますが、自信のない人は、参考文献のテキスト等で学習すること。なお、授業においてグラフ作成のTIPSを紹介します。
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	
成績評価方法・基準	毎回の授業の振り返り記述(目標1, 2, 3) 10% 毎回の小課題(目標1, 2, 3) 30% 試験(目標1, 2, 3) 40% 統計グラフポスター課題(目標1, 2, 3) 20%
書名①	Excelではじめるデータ分析 関数・グラフ・ピボットテーブルから分析ツールまで
著者名①	富士通ラーニングメディア
出版社①	FOM出版
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	仕事に役立つEXCELビジネスデータ分析第4版、初歩からしっかり学ぶ 実習 統計学入門 EXCEL演習でぐんぐん 力がつく、EXCEL ビジネス統計分析 第3版、統計学の基礎から学ぶ Excelデータ分析の全知識 (できるビジネス)
参考URL	http://www.stat.go.jp/naruhodo/index.htm http://www.sinfonica.or.jp/tokei/graph/index.html http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/eStatTopPortal.do https://www.toukei-kentei.jp/ https://www.cao.go.jp/statistics/ https://www.mhlw.go.jp/toukei_hakusho/hakusho/index.html http://www.pref.mie.lg.jp/databox/index.htm https://trends.google.co.jp/trends/?geo=JP https://www.stat.go.jp/data/

特記事項	授業内に毎回課題が出ます。復習のつもりで、しっかりと課題を進めてください。課題を考えることによって理解が深まります。考える力をこの授業では身につけてもらいたいと思います。最後の課題、統計グラフポスターは、統計グラフコンクールサイトに受賞者の作品があるので、それを参考にして、自分が作成するポスターのテーマを事前に考え、データを探しておきましょう。
------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2	2	選択
担当教員			
立石 佳代			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
講義・演習	キャリア育成学科	2L3302	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 科目に関連した実務経験のある教員が担当している <p>科目に関連した実務内容</p> <p>アクティブラーニング要素</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ ディスカッション、ディベート ■ グループワーク ■ プレゼンテーション □ 実習、フィールドワーク
テーマ	市場調査の概念や手法を学習し、適切な市場調査が実施できる。
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 市場調査に必要な基礎知識とスキルを修得する。 2. 市場調査の役割や調査方法についての理解を深め、説明することができる。 3. 適切な調査方法や分析方法を選択・実行し、その結果をわかりやすく報告することができる。
授業概要	本授業では、市場調査の基礎的な理論や技術を理解し、事例研究やデータ分析を通して、市場調査全体の枠組みと手順を実践的に学ぶ。また、マーケティング・リサーチプロジェクトに参加し、課題の設定、調査のデザイン、アンケート・フォームの作成、データ収集、データ分析およびプレゼンテーションに取り組むことで、将来の実務に活用できるスキルを獲得する。
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 ガイダンス、マーケティング活動と市場調査 市場調査が果たす役割についてのグループディスカッション (30分) 2 市場調査の必要性 事例研究：商品開発における市場調査 (30分) (時間外学習) 講義初めに前回講義の内容を確認するので、前回講義の復習をしておくこと。 (30分) 3 マーケティング環境の捉え方 演習：マーケティング環境の分析 (30分) (時間外学習) 講義初めに前回講義の内容を確認するので、前回講義の復習をしておくこと。 (30分) 4 市場調査の分野 市場調査の分野についてのグループディスカッション(30分) (時間外学習) 講義初めに前回講義の内容を確認するので、前回講義の復習をしておくこと。 (30分) 5 市場調査の進め方 調査の企画・設計が重要な理由についてのグループディスカッション(30分) (時間外学習) 講義初めに前回講義の内容を確認するので、前回講義の復習をしておくこと。 (30分) 6 市場調査のデータの種類 事例研究：ヒット商品を挙げて、この商品をつくるにあたり、どのようなデータが必要であるかを考える。(30分) (時間外学習) 講義初めに前回講義の内容を確認するので、前回講義の復習をしておくこと。 (30分) 7 調査の実施 (時間外学習) 講義初めに前回講義の内容を確認するので、前回講義の復習をしておくこと。 (30分) 8 調査結果の分析と報告 (時間外学習) 講義初めに前回講義の内容を確認するので、前回講義の復習をしておくこと。 (30分) 9 市場調査における注意点 市場調査の進め方の小レポート作成 (50分)

	10	マーケティング・リサーチプロジェクト1 グループワーク：テーマ設定、マーケティング課題、調査課題の明確化(60分) (時間外学習) 市場調査に関する探索とデータ収集 (60分)
	11	マーケティング・リサーチプロジェクト2 グループワーク：調査のデザイン、アンケート・フォーム等の作成(60分) (時間外学習) 調査(60分)
	12	マーケティング・リサーチプロジェクト3 グループワーク：データ分析、課題解決(60分)
	13	マーケティング・リサーチプロジェクト4 グループワーク：プレゼンテーションの準備・練習(60分)
	14	マーケティング・リサーチプロジェクト5 プレゼンテーションの実施
	15	これからの市場調査を考える、まとめ
学修に関する留意事項	授業外の時間を利用して、前回講義の復習、市場調査に関する探索・情報収集および調査を行う。 時間外学習「前回講義内容の復習」(各30分) 時間外学習「市場調査に関する探索・情報収集」(60分) 時間外学習「調査」(60分)	
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	小レポートはコメントを記して返却する。 グループワーク、マーケティング・リサーチプロジェクトに対しては授業内に講評する。	
成績評価方法・基準	筆記試験(到達目標 1.2) 40% グループワーク(到達目標 2.3) 10% 小レポート(到達目標 1.2) 20% 課題への取り組み(到達目標 1,2,3) 30%	
書名①	マーケティング・リサーチ入門	
著者名①	星野崇宏・上田雅夫	
出版社①	有斐閣 ISBN 978-4-641-22116-1	
書名②		
著者名②		
出版社②		
書名③		
著者名③		
出版社③		
参考文献	授業の中で指示	
参考URL		
特記事項	市場調査について積極的に学び、グループワーク、マーケティング・リサーチプロジェクトには主体的かつ協働的に取り組むようにしてください。	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2	1	必修
担当教員			
野呂 健一			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
演習	キャリア育成学科	2M3201	
添付ファイル			

授業種類	授業担当教員 <input type="checkbox"/> 科目に関連した実務経験のある教員が担当している 科目に関連した実務内容 アクティブラーニング要素 <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション、ディベート <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク
------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語表現能力及びコミュニケーション能力の向上 ・母語としての日本語に対する理解
-----	------------------------------------------------------------------------------------------------------

到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 言葉やコミュニケーションに対する理解を深める。 2. 各自のテーマに基づき分析・考察を行い、論理的思考力を向上させる。 3. 効果的なプレゼンテーションを行うことができる。
------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

授業概要	前期のゼミナールでは、卒業研究レポート作成の基盤作りを行う。課題発見の方法について学んだあと、各自が言葉やコミュニケーションに関するテーマを決定する。次に、情報の収集・整理について学んだあと、各自のテーマ案に関する文献を収集し、概要を発表する。 また、オープンキャンパスでゼミ生による体験コーナーを予定しており、ゼミナール内で実施に向けた準備を行う。
------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 オリエンテーション、前期ゼミの進め方 2 課題発見力1 自分の興味関心を探る <時間外学習>卒業研究レポートのテーマ案の検討 (30分) 3 課題発見力2 発想を広げ論点を考える <時間外学習>卒業研究レポートのテーマ案の検討 (30分) 4 課題発見力3 論点を絞りレポートの方針を決める <時間外学習>卒業研究レポートのテーマ案の検討 (30分) 5 テーマ案の発表 <時間外学習>発表の準備 (1時間) 6 情報探索・整理 情報探索の基本的方法の確認、文献の入手と整理 <時間外学習>各自のテーマに基づき、情報を収集する (30分) 7 発表①各自のテーマに関する先行研究の概観 (各回3名) <時間外学習>各自の発表に備え、発表資料を作成する。 (1時間) 8 発表①各自のテーマに関する先行研究の概観 (各回3名) <時間外学習>各自の発表に備え、発表資料を作成する。 (1時間) 9 発表①各自のテーマに関する先行研究の概観 (各回3名) <時間外学習>各自の発表に備え、発表資料を作成する。 (1時間) 10 発表①各自のテーマに関する先行研究の概観 (各回3名) <時間外学習>各自の発表に備え、発表資料を作成する。 (1時間) 11 発表②先行研究の概観+研究の方向性 (各回3名) <時間外学習>各自の発表に備え、発表資料を作成する。 (1時間) 12 発表②先行研究の概観+研究の方向性 (各回3名) <時間外学習>各自の発表に備え、発表資料を作成する。 (1時間) 13 発表②先行研究の概観+研究の方向性 (各回3名) <時間外学習>各自の発表に備え、発表資料を作成する。 (1時間) 14 発表②先行研究の概観+研究の方向性 (各回3名) <時間外学習>各自の発表に備え、発表資料を作成する。 (1時間) 15 研究計画報告・今後の研究計画について <時間外学習>研究計画書の提出 (1時間)
------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

学修に関する留意事項	資料・データ収集、分析・考察など、卒業研究レポートの準備及び作成には、授業時間以外に多くの時間を要するので、計画的に研究を進めること。
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	
成績評価方法・基準	授業に対する取り組み（目標 1, 2, 3）30% 発表（目標 1, 2, 3）20% グループワーク（目標 1, 2）30% 研究計画書の提出（目標 1, 2）20%
書名①	必要に応じて、随時プリント等を配付します。
著者名①	
出版社①	
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	学生のレポート・論文作成トレーニング
参考URL	
特記事項	1年間かけて卒業研究レポートに取り組むことは貴重な経験となるはずですが、自分の興味・関心の基にテーマを掘り下げ、いろいろな角度から考察してみましょう。研究の面白さを少しでも感じていただけたらと願っています。中途半端に取り組むことなく、納得のできるレポートを完成させましょう。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2	1	必修
担当教員			
鷲尾 敦			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
演習	キャリア育成学科	2M3201	
添付ファイル			

授業種類	授業担当教員 <input type="checkbox"/> 科目に関連した実務経験のある教員が担当している 科目に関連した実務内容 アクティブラーニング要素 <input type="checkbox"/> ディスカッション、ディベート <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク
------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	卒業研究テーマと計画を作成する テーマ関連の知識を増やす
到達目標	1. 卒業研究のテーマを明確にし研究計画を立てることができる 2. テーマ関連の知識を増やし、多くの文献を探し、読むことができる 3. 自分の卒業研究のテーマや内容、研究活動状況をまとめ、説明することができる
授業概要	卒業研究レポートの作成に向けて、まずテーマを検討します。次にテーマの分野について知識を増やすため、文献を広く集め、学習し、その内容を整理します。次に研究計画をたて、その内容をゼミ内で発表します。
授業計画	1 授業ガイダンス ・コース全体ガイダンス ・ゼミ内ガイダンス(年間計画) <時間外学習>卒業研究テーマの分野を検討する(60分) 2 テーマ・分野の検討、先輩の卒研レポートの選定 ・各自のテーマを発表・意見交換 ・卒業研究の進め方について学ぶ(文献、活動、実験、調査等) ・先輩の卒業研究レポートを探し、興味あるレポートを2点選ぶ <時間外学習>先輩の卒業研究レポートを2点読み、報告書を作成する(60分) 3 先輩の研究レポートを読む ・選んだ先輩のレポートを紹介するとともに感想を発表する ・卒業研究レポートで取り組みたい題材について考える(ディスカッション、マインドマップ等) <時間外学習>取り組みたい題材を検討する(60分) 4 取り組む分野・領域(テーマ)を決める ・取り組みたい題材を検討する ・テーマを検討する文献の収集方法について学ぶ(ネットでの検索方法) ・取り組みたい題材(領域、テーマ)についての資料を探す。 <時間外学習>取り組みたい題材に関連する資料を探し、目を通す(60分) 5 取り組む分野・領域(テーマ)の文献の検索、その分野の知識を増やす ・取り組みたい題材(分野、領域、テーマ)を決め、文献を探す ・探した文献を読む ・選んだ文献に何が書いてあるかをまとめる <時間外学習>文献を読み、内容を整理する(60分) 6 収集文献の発表 ・収集した文献の記録、整理の方法を学ぶ ・収集した文献に何が書いてあるかを整理する ・次回の発表に向けてレジメを作成する <時間外学習>発表用のレジメを作成する(60分) 7 収集文献の発表 ・作成したレジメをもとに研究領域に関する論文に何が書いてあったか発表する ・リサーチ・クエスチョン(問い)の設定方法について学ぶ <時間外学習>リサーチクエスチョンを検討する(60分) 8 リサーチクエスチョンのための情報収集 ・リサーチクエスチョンを検討する ・リサーチクエスチョンのための情報収集、文献収集を行う ・各自文献を読み、整理する <時間外学習>各自文献を読み整理するとともに、リサーチ・クエスチョンを検討する(60分) 9 リサーチクエスチョンのための情報整理 ・ブレインストーミングによって発想を広げる

	<ul style="list-style-type: none"> ・KJ法により情報を整理する ・各自文献を読み、整理する <p><時間外学習>各自文献を読むとともに、KJ法で整理してリサーチ・クエスチョンを検討する (60分)</p>
10	<p>リサーチクエッションの決定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マインドマップにより知識を整理する ・各自文献を読み、整理する ・リサーチクエッションを決定する <p><時間外学習>関連する文献を読み整理するとともに、マインドマップを完成させ、リサーチクエッションを決定する(60分)</p>
11	<p>リサーチクエッションの発表、研究計画の作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リサーチ・クエスチョンを発表し意見交換する ・研究計画の策定方法を学ぶ ・研究計画を書き始める <p><時間外学習>研究計画の下書きを書く、関連する文献を読み整理する(60分)</p>
12	<p>研究計画の作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究計画を作成する <p><時間外学習>研究計画の修正(60分)</p>
13	<p>研究計画の発表</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作成した研究計画をもとに、研究計画を発表する <p><時間外学習>研究活動 (60分)</p>
14	<p>研究活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各自の研究活動 ・夏の具体的な活動を検討する <p><時間外学習>夏の計画を具体化することを検討する (60分)</p>
15	<p>前期研究活動のまとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究活動前期まとめを口頭で発表する ・研究活動の夏休み計画を発表する <p><夏休みの時間外学習>研究計画に基づいた研究活動を夏休みに行う</p>
学修に関する留意事項	<p>研究テーマは、相談した上で決めます。自ら進めなければ何も進みません。テーマに関連する分野の様々な資料をたくさん読んで知識を増やし、テーマを掘り下げて行きましょう。テーマは自分が知識を持った中で、疑問に思うことを最終的な卒業研究テーマとします。できれば、1年後期に学んできた会計や金融に関する話題の中からテーマを見つけましょう。</p> <p>教科書ではありませんが、参考図書の「論文の教室(レポートから卒論まで)」をぜひ読んでください。</p> <p>研究活動は、まず問いから始まります。まずは問いを見つけてください。</p> <p>ゼミナール活動は、各自の研究活動を共有し、互いに意見交換しながら、切磋琢磨して質の高い活動としたいものです。</p>
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	
成績評価方法・基準	<p>授業での発表や意見交換での発言態度や聞く姿勢、質問状況(目標3) 30%</p> <p>日頃の研究活動の状況、取り組み姿勢(目標1, 2) 30%</p> <p>研究計画書、分野についての情報のまとめなどの提出物(目標1, 3) 40%</p>
書名①	
著者名①	
出版社①	
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	論文の教室(レポートから卒論まで) NHKブックス 戸田山和久
参考URL	
特記事項	卒業研究レポートのテーマは、自由ですが、1年後期に学んできた会計や金融に関する話題の中からテーマを見つけましょう。また、レポートを書く上で、参考図書の「論文の教室(レポートから卒論まで)」を読みましよう。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2	1	必修
担当教員			
川喜田 多佳子			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
演習	キャリア育成学科	2M3201	
添付ファイル			

授業種類	授業担当教員 <input type="checkbox"/> 科目に関連した実務経験のある教員が担当している 科目に関連した実務内容 アクティブラーニング要素 <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション、ディベート <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input checked="" type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク
------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	サービス・ラーニングによるチームワークの実践2 地域地域貢献への意義をより深める
到達目標	・地域商店街との協働を通して、社会性を身につける・地域貢献を理解し、交流・関わりなど積極的に活動できる・ゼミ活動の中から興味・課題を探求し、ゼミナール3での研究活動につなげることができる。
授業概要	・ゼミナール1の後半に立ち上げた「ISEIMOは高田を救う ISEIMO RANGER2023」を本格的に始動。一身田寺内町 高田会館×春乃舎との和菓子共同開発と、会館エントランス改装に向け、メンバーで意見を出し合い、結果を残す。
授業計画	1 全体ガイダンス（スキルアワード等）・ゼミ内ガイダンス（スケジュール） ・就活状況の報告 ・大学祭準備について <時間外学習>2年次履修科目の確認、見直し(30分) 2 白子公民館パソコン教室ボランティアの反省・今後のボランティア活動について・大学祭準備について <時間外学習>取得するスキルアワード対象資格について計画を立てる（30分） 大学祭ブース、展示課題(30分) 3 一身田寺内町 高田会館×春乃舎との和菓子共同開発「ISEIMOは高田を救う ISEIMO RANGER」プロジェクト始動 ・ゼミナールⅠでのプロジェクト活動の整理 <時間外学習>日経クロステック内から興味のある記事を選び、調べまとめる。レジュメとPPスライドを作成し、ゼミ内発表の準備をする(60分) 4 「ISEIMOは高田を救う ISEIMO RANGER」プロジェクト <時間外学習>発表したメンバーへのフィードバックについて、コメントを残す。自分が発表するための準備をする(60分) 5 「ISEIMOは高田を救う ISEIMO RANGER」プロジェクト <時間外学習>発表したメンバーへのフィードバックについて、コメントを残す。自分が発表するための準備をする(60分) 6 「ISEIMOは高田を救う ISEIMO RANGER」プロジェクト <時間外学習>発表したメンバーへのフィードバックについて、コメントを残す。自分が発表するための準備をする(60分) 7 「ISEIMOは高田を救う ISEIMO RANGER」プロジェクト <時間外学習>青年団の活動、過去の一身田七夕まつりイベント内容について、各自調べておく(30分) 8 「ISEIMOは高田を救う ISEIMO RANGER」プロジェクト <時間外学習>七夕まつりの中で自分たちにできそうなテーマを考えておく(60分) 9 「ISEIMOは高田を救う ISEIMO RANGER」プロジェクト <時間外学習>決まったテーマについてどう展開していけばよいか考える。自分の役割を探す(30分) 10 「ISEIMOは高田を救う ISEIMO RANGER」プロジェクト <時間外学習>企画立案案を深く掘り下げ、課題・問題点を洗い出してみる(60分) 11 「ISEIMOは高田を救う ISEIMO RANGER」プロジェクト <時間外学習>企画立案・共同作業への準備(60分) 12 「ISEIMOは高田を救う ISEIMO RANGER」プロジェクト <時間外学習>企画立案の遂行、共同作業の遂行(60分) 13 「ISEIMOは高田を救う ISEIMO RANGER」プロジェクト <時間外学習>当日運営に向けての準備、リハーサル(60分)

	14 15	<p>オフィスワークコースセミナー 9月実施予定である、パソコン教室の企画案検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゼミパソコン教室ボランティア参加への意義を考える ・ ・広報津への掲載内容の検討 ・ <p><時間外学習>今回の活動について反省、課題点などをレポートにまとめる(60分)</p> <p>卒業研究にむけて・ゼミナール3卒業研究について (テーマの決め方、レポート作成(評価)への注意点)</p> <p><時間外学習>提示した参考資料を熟読し、レポートの展開、表現方法等を理解しておく(宿題への取り組み)</p>
学修に関する留意事項		7月に実施される一身田七夕まつり物産展でのお披露目を目標に、高田会館・春乃舎を行き来しながらプロジェクト完了にむけ、一致団結しながら活動をする。課外活動は基本ボランティアですが、ゼミではサービス・ラーニングの位置づけで評価していきます。 また、活動を行う中で卒業研究テーマ探索にむけ、興味、課題も見つけてください。ニュースやトレンドにもアンテナを張ること。
試験やレポート等の課題のフィードバック方法		ゼミ内・Googleクラスルームでの活発な提案などの発言 レポート提出
成績評価方法・基準		授業内での取り組み(到達目標1,2,3) 40% 企画イベントへの参加(1,2) 30% ゼミ内発表・課題提出(到達目標3) 30%
書名①		適宜プリントを配布する
著者名①		
出版社①		
書名②		
著者名②		
出版社②		
書名③		
著者名③		
出版社③		
参考文献		ノート・手帳・メモが変わる「絵文字」の技術 永田 豊志 中経出版
参考URL		<ul style="list-style-type: none"> ・立教大学 サービスラーニング https://www.rikkyo.ac.jp/education/system/service_learning.html ・立命館大学 サービスラーニングセンター https://www.ritsumeit.ac.jp/slc/
特記事項		<p>社会にでて働くということは、業種業界は違えど、自分以外の人のために仕事をするに違いはない。ボランティアは、組織(ゼミ)を通して、人(顧客)のために働くために必要なマインドを身につける場である。</p> <p>ゼミでの取組は、関連するボランティア活動にむけ準備するため、基本は参加する意志で取り組んで欲しい。取組姿勢として評価する。</p> <p>1年生が運営する、「オフィスワークコースセミナー パソコン教室」運営ボランティアにも是非参加して欲しい。</p> <p>「サービスラーニング」の意義を理解すること。</p>

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2	1	必修
担当教員			
伊東 秀幸			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
演習	キャリア育成学科	2M3201	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員</p> <ul style="list-style-type: none"> ■科目に関連した実務経験のある教員が担当している <p>科目に関連した実務内容</p> <p>高等学校において、地域資源を活用した商品開発を指導し、観光関連団体や企業と連携して商品化を実現した。</p> <p>アクティブラーニング要素</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ディスカッション、ディベート ■グループワーク ■プレゼンテーション ■実習、フィールドワーク
------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	地域マネジメントに関する専門的な知識や技能を地域社会で活かし、企画立案能力を向上させる。
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 ゼミナールⅠにおいて習得した知識や技能の活用方法をゼミナールの実態に応じて判断することができる。 2 地域マネジメントに関する専門的な知識や技能を地域社会の実態に応じて表出することができる。 3 向上した企画立案能力を活かし、地域社会の課題をゼミナールとして考察することができる。
授業概要	ジョン・アーリが提唱した「観光のまなざし」の概念によると、ある特定の景色に対するまなざしは、その個人が有する体験や思い出によって決まる。ゼミナールⅠの活動に基づいて、津市の景色を「若者」や「よそ者」の目線からデザインし、地域社会の担い手として、持続可能な相互補完・相互支援関係の確立を目指す。
授業計画	<p>第1講 オリエンテーション（授業計画の確認） ＜時間外学習＞ゼミナールⅡの研究計画書を精読する。（60分）</p> <p>第2講 ベンチマーキング①（ベストプラクティスの発見） ＜時間外学習＞地域マネジメントのベストプラクティスをスライドにまとめる。（30分）</p> <p>第3講 ベンチマーキング②（ベンチマークの設定） ＜時間外学習＞地域マネジメントのベンチマークをスライドにまとめる。（30分）</p> <p>第4講 ベンチマーキング③（ギャップの分析） ＜時間外学習＞地域マネジメントのギャップをスライドにまとめる。（30分）</p> <p>第5講 経営改善①（ヒト） ＜時間外学習＞居住地域の経営資源（ヒト）をスライドにまとめる。（30分）</p> <p>第6講 経営改善②（モノ） ＜時間外学習＞居住地域の経営資源（モノ）をスライドにまとめる。（30分）</p> <p>第7講 経営改善③（カネ） ＜時間外学習＞居住地域の経営資源（カネ）をスライドにまとめる。（30分）</p> <p>第8講 経営改善④（情報） ＜時間外学習＞居住地域の経営資源（情報）をスライドにまとめる。（30分）</p> <p>第9講 フィールドワーク ＜時間外学習＞居住地域の地域マネジメントを評価してスライドにまとめる。（60分）</p> <p>第10講 フィールドワーク ＜時間外学習＞居住地域の地域マネジメントを評価してスライドにまとめる。（60分）</p> <p>第11講 最終報告（報告準備） ＜時間外学習＞地域マネジメントの比較対象をスライドにまとめる。（60分）</p> <p>第12講 最終報告（報告準備） ＜時間外学習＞最終報告のスライド答弁書を作成する。（60分）</p> <p>第13講 最終報告（予備報告） ＜時間外学習＞最終報告の答弁書を作成する。（60分）</p> <p>第14講 最終報告（報告会） ＜時間外学習＞最終報告の評価に基づいてゼミナールⅡの報告書を作成する。（120分）</p> <p>第15講 振り返り ＜時間外学習＞ゼミナールⅡの報告書に基づいて卒業研究レポートの研究計画書を作成する。</p>

	(60分)
学修に関する留意事項	あなたの周りに、あなたの知らない津市があります。専門的な知識や技能を地域住民の目線に合わせて積極的に表出し、互いに高みを目指して認め合えることが成功の鍵を握っています。固定観念に囚われることなく、地域社会の景色を複眼的に捉え、未だ見ぬ新しい津市を築いてください。
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	課題が提出された翌週に、対面でフィードバックします。
成績評価方法・基準	毎時の振り返り（到達目標 1、2）10% スライドの内容（到達目標 1、2）50% 報告会の内容（到達目標 2、3）20% 報告書の内容（到達目標 2、3）10% 研究計画書の内容（到達目標 3）10%
書名①	随時、プリント等を配付します。
著者名①	
出版社①	
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	
参考URL	
特記事項	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2	1	必修
担当教員			
江淵 剛			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
演習	キャリア育成学科	2M3201	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員</p> <p>■科目に関連した実務経験のある教員が担当している</p> <p>科目に関連した実務内容</p> <p>年金資産運用の投資判断における経済、資産運用環境見通しの取り纏め</p> <p>アクティブラーニング要素</p> <p>■ディスカッション、ディベート</p> <p>■グループワーク</p> <p>■プレゼンテーション</p> <p>■実習、フィールドワーク</p>
テーマ	<p>経済学やマーケティングの基礎的知識を身に付け、地域との連携活動では、その知識を活かした活動に取り組みます。</p> <p>地域の方との連携活動や演習形式での学びを通じて実践的に経済について学び、自身の興味、関心に基づいて研究テーマについて考えます。</p>
到達目標	<p>1. 経済学やマーケティングの基礎的知識を備え、自身の視点で「経済」について考えられるようになる。</p> <p>2. 授業や地域の方との連携活動を通じて自身の興味や関心に基づいてゼミナールⅢでの卒業研究レポートのテーマをイメージできるようになる。</p> <p>3. 演習形式での授業やグループワークを通じてゼミのメンバーと協力、協調し役割分担しながら取り組むことができるようになる。</p>
授業概要	<p>経済学やマーケティングの基礎的知識を身に付け、地域の方との連携活動において、そのアウトプット（活用）の実践を目指します。ゼミナールⅠでの学びを活かしつつ、ゼミナールⅡでは地域に向けて地域経済活性化に関する情報発信等を行うことを予定しています。また、ゼミナールⅢでの卒業研究レポート作成準備として、自身の研究テーマについても考えます。</p>
授業計画	<p>1 オリエンテーション：ゼミの進め方、卒業研究レポートの紹介、マーケティングに関する調査、発表の割り振り（輪読担当） 〈授業外学習〉 卒業研究レポートの事例に触れ、自身の研究テーマについてイメージする（1時間）</p> <p>2 地域の方との連携活動（地域経済活性化に向けた提案）準備、マーケティング輪読① 〈授業外学習〉 輪読の担当となった箇所の調査、発表準備（1時間）</p> <p>3 地域の方との連携活動（地域経済活性化に向けた提案）準備、マーケティング輪読② 〈授業外学習〉 輪読の担当となった箇所の調査、発表準備（1時間）</p> <p>4 地域の方との連携活動（地域経済活性化に向けた提案）準備、マーケティング輪読発表① 〈授業外学習〉 輪読の担当となった箇所の調査、発表準備、ゼミメンバー発表の振り返り（1時間）</p> <p>5 地域の方との連携活動（地域経済活性化に向けた提案）準備、マーケティング輪読発表② 〈授業外学習〉 輪読の担当となった箇所の調査、発表準備、ゼミメンバー発表の振り返り（1時間）</p> <p>6 地域の方との連携活動（地域経済活性化に向けた提案）準備、マーケティング輪読発表③ 〈授業外学習〉 輪読の担当となった箇所の調査、発表準備、ゼミメンバー発表の振り返り（1時間）</p> <p>7 地域に向けた地域活性化案の報告 〈授業外学習〉 報告会の振り返り（1時間）</p> <p>8 地域に向けた地域活性化案の報告振り返り 〈授業外学習〉 取り組み報告書の作成（2時間）</p> <p>9 地域経済活性化案報告の振り返りについて、取り組み報告書の作成。地域へのフィードバック 〈授業外学習〉 テキストやマーケティング関連図書、資料より自身の興味や関心のある箇所について調べる。（1時間）</p> <p>10 マーケティングに関するテキストや資料の輪読① 〈授業外学習〉 テキストやマーケティング関連図書、資料より自身の興味や関心のある箇所について調べる。（1時間）</p>

	11	マーケティングに関するテキストや資料の輪読② 〈授業外学習〉 テキストやマーケティング関連図書、資料より自身の興味や関心のある箇所について調べる。 (1時間)
	12	マーケティングに関するテキストや資料の輪読③ 〈授業外学習〉 テキストやマーケティング関連図書、資料より自身の興味や関心のある箇所について調べる。 (1時間)
	13	レポート作成のための図表作成ソフトの取り扱い① 卒業研究レポート作成に向けて、図表の作成手法として、エクセルの活用方法について学びます。 〈授業外学習〉 演習で習ったことを振り返り、自身の興味のあるデータに基づく「図表」(グラフ)を作成する。 (1時間半)
	14	レポート作成のための図表作成ソフトの取り扱い② 卒業研究レポート作成に向けて、図表の作成手法として、エクセルの活用方法について学びます。 〈授業外学習〉 演習で習ったことを振り返り、自身の興味のあるデータに基づく「図表」(グラフ)を作成する。 (1時間半)
	15	卒業研究レポートのテーマ案の設定と書き方について ゼミナールⅢで進める卒業研究レポートのテーマと構成案について検討します。 〈授業外学習〉 卒業研究レポートを執筆するにあたっての、執筆計画、参考文献、調査方法などについて考え、取りまとめてください。 (1時間半)
学修に関する留意事項		演習での輪読やグループワーク、地域との連携活動といった場面での学生の皆さんの積極的な取り組みを期待します。調査報告や学園祭などの場では、ゼミメンバーとの協力が不可欠となります。自身の役割を意識した上で主体的な参加を期待します。経済学、マーケティング、地域経済について学んだ内容を活かしながら、ゼミナールⅢでの卒業研究レポートの執筆がすすめられるよう、意識して取り組んでください。
試験やレポート等の課題のフィードバック方法		
成績評価方法・基準		フィールドワークに対する取り組み状況：積極性やスキルの発揮(到達目標 2.3) 40% グループ活動への貢献：リーダーシップ、協調性、責任感、規律(到達目標 3) 40% マーケティングに係る感覚・知識(到達目標 1) 20%
書名①		『ビジュアル マーケティングの基本 第4版』
著者名①		野口 智雄
出版社①		日本経済新聞出版
書名②		
著者名②		
出版社②		
書名③		
著者名③		
出版社③		
参考文献		
参考URL		
特記事項		

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2	1	必修
担当教員			
中川 千代			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
演習	キャリア育成学科	2M3201	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員 <input type="checkbox"/> 科目に関連した実務経験のある教員が担当している</p> <p>科目に関連した実務内容</p> <p>アクティブラーニング要素 <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション、ディベート <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク</p>
------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	介護福祉を実践的に研究する力および地域福祉の実践力を身につける
到達目標	1. 介護福祉研究の目的・意義を理解する。2. 世の中の動きに関心を持ち、新聞等のメディアを活用した情報収集ができる。3. 1年次のゼミナール活動で習得した技術を活かして各自が介護福祉に関するテーマを絞り研究レポートの骨子が作成できる。
授業概要	介護福祉に関する各自のテーマに真剣に向かい合えるよう実践的な課題を通して介護福祉士としてのあるべき姿を考える。地域に目を向け、実践的な活動を行い、身近なテーマに沿った課題研究、議論、発表、まとめなどを小集団による演習を通して学ぶ。
授業計画	<p>1 オリエンテーション (時間外学習) (予習) 新聞等を活用し福祉に関心を持つこと / (復習) ゼミナールⅠでの自己のレポートを確認し振り返りを行う (20分)</p> <p>2 ゼミナールⅠの研究内容の振り返り (時間外学習) (予習) 新聞等を活用し福祉に関心を持つこと / (復習) ゼミナールⅠでの自己のレポートについての課題を検討する (30分)</p> <p>3 ゼミナールⅢでの報告会に向け、1年次の自己のテーマをさらに深くプレゼンテーションする① (時間外学習) (予習) 1年次のレポートの発表練習 / (復習) 他者の発表を聞いてさらに練習する (30分)</p> <p>4 ゼミナールⅢでの報告会に向け、1年次の自己のテーマをさらに深くプレゼンテーションする② (時間外学習) (予習) 1年次のレポートの発表練習 / (復習) 関心のある新しいテーマの概要を調べる (30分)</p> <p>5 ゼミナールⅡ・Ⅲでの自己の研究テーマを考案する① (時間外学習) (予習) 新聞等を活用し福祉に関心を持つこと / (復習) 関心のある新しいテーマの概要を調べる (30分)</p> <p>6 ゼミナールⅡ・Ⅲでの自己の研究テーマを考案する② (時間外学習) (予習) 関心のある新しいテーマの課題を探る / (復習) テーマに沿った資料収集、情報収集を行う (30分)</p> <p>7 研究テーマの設定① (時間外学習) (予習) 新聞記事のスクラップをする / (復習) 関心のあるテーマの課題を探る (30分)</p> <p>8 研究テーマの設定②～ゼミメンバーでの研究テーマの共有 (時間外学習) (予習) 新聞記事のスクラップを行い自己の介護福祉に関する研究テーマを絞る / (復習) ゼミメンバーの研究テーマを知ったうえで自己のテーマを再考する (30分)</p> <p>9 研究資料の収集① (時間外学習) (予習) 決まったテーマについてどう展開していけばよいか考える / (復習) どのような方法で研究を進めていくのか計画する (30分)</p> <p>10 研究資料の収集② (時間外学習) (予習) 自己の研究テーマを確定し研究の方向性を探る / (復習) 研究方法について考える (30分)</p> <p>11 研究資料の収集③ (時間外学習) (予習) テーマに沿った資料収集、情報収集 / (復習) 本時の課題を各自完成させる (30分)</p> <p>12 研究テーマに関する意見交換 (時間外学習) (予習) 意見交換できるように自分のこれまでの活動をまとめる / (復習) 研究の進め方・内容について各自再考する (30分)</p> <p>13 12月の研究レポート完成に向けての計画づくり (時間外学習) (予習) 自己の研究は介護福祉に関連した内容かを見直す / (復習) 計画を完成</p>

	<p>14 させる (30分) 中間報告会に向けての研究骨子の作成 (時間外学習) (予習) 研究レポートの骨子作成 / (復習) 自分の研究テーマについて具体的な骨子を挙げまとめる (30分)</p> <p>15 中間報告会 (時間外学習) (予習) 研究レポートの骨子を報告できるようにまとめる / (復習) 後期までにしておくべきことをリストアップし、中間報告会で指摘された部分を修正し自身で取りかかれる準備をする (30分)</p>
学修に関する留意事項	介護福祉研究の基礎を身につけるため、広範な領域への関心と興味を持つため、新聞は毎日読み社会に目を向けよう。ゼミナール時以外の自主的な学びが必要です。コツコツ主体的に取り組もう。
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	
成績評価方法・基準	授業に対する取り組み (到達目標1, 2, 3) 30% 自身のテーマの絞り込み (到達目標2, 3) 30% 中間報告・課題提出 (到達目標2, 3) 40%
書名①	
著者名①	
出版社①	
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	
参考URL	
特記事項	目標達成に向けて、協調性を育みながら積極的に活動していきます。わからないことはそのままにせず、学生同士協力したり、研究室に気軽に訪ねてきてください。報告、連絡、相談がきっちりできるよう日頃から心がけましょう。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2	1	必修
担当教員			
上山 由紀子			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
演習	キャリア育成学科	2M3201	
添付ファイル			

授業種類	授業担当教員 <input type="checkbox"/> 科目に関連した実務経験のある教員が担当している 科目に関連した実務内容 アクティブラーニング要素 <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション、ディベート <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク
------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	介護福祉を実践的に研究する力を身につける。
到達目標	1. 介護福祉研究の目的・意義を理解する。2. 世の中の動きに関心を持ち、新聞等のメディアを活用した情報収集ができる。3. 1年次のゼミナール活動で習得した技術を活かして、各自が介護福祉に関するテーマを絞り研究レポートの骨子が作成できる。
授業概要	介護福祉に関する各自のテーマに真剣に向かい合えるよう、実践的な課題を通して、介護福祉士としてあるべき姿を考える。テーマにそった研究、議論、発表、まとめなどを小集団による演習を通して学ぶ。
授業計画	1 オリエンテーション ゼミナールⅠの振り返りとゼミナールⅡの進め方についての確認 〈時間外学習〉(予習)シラバスを確認し、ゼミナールⅡで何を学修するのかを把握しておく(30分)(復習)ゼミナールⅠでの自己レポートを確認し振り返りを行う(20分) 2 ゼミナールⅠの研究内容の振り返り① 〈時間外学習〉(予習)新聞等を活用し福祉に関心を持つこと(30分)(復習)ゼミナールⅠでの自己のレポートについての課題を検討する(30分) 3 ゼミナールⅠの研究内容の振り返り② 〈時間外学習〉(予習)新聞等を活用し福祉に関心を持つこと(30分)(復習)関心のあるテーマの概要を調べる。(30分) 4 ゼミナールⅡ・Ⅲの展開について① 〈時間外学習〉(予習)新聞等を活用し福祉に関心を持つこと(30分)(復習)関心のあるテーマの概要を調べる。(30分) 5 ゼミナールⅡ・Ⅲの展開について② 〈時間外学習〉(予習)新聞等を活用し福祉に関心を持つこと。(30分)(復習)関心のあるテーマの概要を調べる。(30分) 6 ゼミナールⅡ・Ⅲの展開について③ 〈時間外学習〉(予習)新聞等を活用し福祉に関心を持つこと。(30分)(復習)関心のあるテーマの概要を探る。(30分) 7 研究テーマの設定、資料・文献・情報等の活用について① 〈時間外学習〉(予習)ゼミナール時にテーマが発表できるよう準備する。(30分)(復習)関心のあるテーマの概要を探る。(30分) 8 研究テーマの設定、資料・文献・情報等の活用について② 〈時間外学習〉(予習)ゼミナール時にテーマが発表できるよう準備する。(30分)(復習)関心のあるテーマの課題を探る。(30分) 9 研究テーマの発表 〈時間外学習〉(予習)テーマから研究の方向性を探る。(30分)(復習)自己の研究テーマについて再度考える。(30分) 10 研究資料の収集① 〈時間外学習〉(予習)テーマに沿った資料収集、情報収集。(30分)(復習)自己の研究テーマについて再度考える。(30分) 11 研究資料の収集② 〈時間外学習〉(予習)テーマに沿った資料収集、情報収集。(30分)(復習)本時の課題を各自完成する。(30分) 12 研究計画の作成① 〈時間外学習〉(予習)新聞や図書館の本、インターネットを活用し福祉に関心を持つこと。(復習)本時の課題を各自完成する。(30分) 13 研究計画の作成② レジюмеの作成 〈時間外学習〉(予習)新聞や図書館の本、インターネットを活用し福祉に関心を持つこと。(復習)研究レポートの骨子作成、レジюмеの作成。(30分)

	14	レジュメの提出、中間報告会① 〈時間外学習〉(予習)研究レポートの骨子作成。(60分)(復習)骨子の中間報告で指摘された部分の修正。(30分)
	15	中間報告会② 〈時間外学習〉(予習)研究レポートの骨子作成、又は骨子の中間報告で指摘された部分の修正。(60分)(復習)後期までにしておくべきことをリストアップし、自身で取り掛かれる準備をする。(30分)
学修に関する留意事項	介護福祉研究の基礎を身につけるため、又、広範な領域への関心と興味を持つため、新聞等で毎日情報を知ろう。ゼミナール時以外の自主的な学びが必要です。コツコツ主体的に取り組もう。	
試験やレポート等の課題のフィードバック方法		
成績評価方法・基準	授業に対する取り組み(到達目標1.2.3)30%、レポート(到達目標2.3)40%、発表(到達目標2.3)30%	
書名①		
著者名①		
出版社①		
書名②		
著者名②		
出版社②		
書名③		
著者名③		
出版社③		
参考文献		
参考URL		
特記事項	わからないことはそのままにせず、ゼミナール学生同士協力したり、気軽に声をかけてください。報告、連絡、相談がきっちりできるよう日頃から心がけましょう。提出物は期限を守り、こまめに教員に確認するようにして下さい。	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2	1	必修
担当教員			
長谷川 恭子			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
演習	キャリア育成学科	2M3201	
添付ファイル			

授業種類	授業担当教員 <input type="checkbox"/> 科目に関連した実務経験のある教員が担当している 科目に関連した実務内容 アクティブラーニング要素 <input type="checkbox"/> ディスカッション、ディベート <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク
------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	介護福祉を実践的に研究する力および地域福祉の実践力を身につける
到達目標	1. 介護福祉研究の目的・意義を理解する。2. 世の中の動きに関心を持ち、新聞等のメディアを活用した情報収集ができる。3. 1年次のゼミナール活動で習得した技術を活かして各自が介護福祉に関するテーマを絞り研究レポートの骨子が作成できる。
授業概要	介護福祉に関する各自のテーマに真剣に向かい合えるよう実践的な課題を通して介護福祉士としてのあるべき姿を考える。テーマに沿った研究、議論、発表、まとめなどを小集団による演習を通して学ぶ。
授業計画	1 オリエンテーション ゼミナールⅠの振り返りとゼミナールⅡの進め方についての確認 〈時間外学習〉(予習) シラバスを確認し、ゼミナールⅡで何を学修するのかを把握しておく (30分) (復習) ゼミナールⅠでの自己のレポートを確認し振り返りを行う (20分) 2 ゼミナールⅠの研究内容の振り返り① 〈時間外学習〉(予習) 新聞等を活用し福祉に関心を持つこと (30分) (復習) ゼミナールⅠでの自己のレポートについての課題を検討する (30分) 3 ゼミナールⅠの研究内容の振り返り② 〈時間外学習〉(予習) 新聞等を活用し福祉に関心を持つこと (30分) (復習) 関心のあるテーマの概要を調べる (30分) 4 ゼミナールⅡ・Ⅲの展開について① 〈時間外学習〉(予習) 新聞等を活用し福祉に関心を持つこと (30分) (復習) 関心のあるテーマの概要を調べる (30分) 5 ゼミナールⅡ・Ⅲの展開について② 〈時間外学習〉(予習) 新聞等を活用し福祉に関心を持つこと (30分) (復習) 関心のあるテーマの概要を調べる (30分) 6 ゼミナールⅡ・Ⅲの展開について③ 〈時間外学習〉(予習) 新聞等を活用し福祉に関心を持つこと (30分) (復習) 関心のあるテーマの課題を探る (30分) 7 研究テーマの設定、資料・文献・情報等の活用について① 〈時間外学習〉(予習) ゼミナール時にテーマが発表できるよう準備する (30分) (復習) 関心のあるテーマの課題を探る (30分) 8 研究テーマの設定、資料・文献・情報等の活用について② 〈時間外学習〉(予習) ゼミナール時にテーマが発表できるよう準備する (30分) (復習) 関心のあるテーマの課題を探る (30分) 9 研究資料の収集① 〈時間外学習〉(予習) 発表したテーマから研究の方向性を探る (30分) (復習) 自己の研究テーマについて再度考える (30分) 10 研究資料の収集② 〈時間外学習〉(予習) テーマに沿った資料収集、情報収集 (30分) (復習) 自己の研究テーマについて再度考える (30分) 11 研究資料の収集③ 〈時間外学習〉(予習) テーマに沿った資料収集、情報収集 (30分) (復習) 本時の課題を各自完成する (30分) 12 研究計画の作成① 〈時間外学習〉(予習) 新聞や図書館の本、インターネットを活用し福祉に関心を持つこと (30分) (復習) 本時の課題を各自完成する (30分) 13 研究計画の作成② 〈時間外学習〉(予習) 新聞や図書館の本、インターネットを活用し福祉に関心を持つこと (30分) (復習) 研究レポートの骨子作成 (30分)

	14	レジュメ作成及び中間報告会① 〈時間外学習〉（予習）研究レポートの骨子作成（60分）（復習）骨子の中間報告で指摘された部分の修正（30分）
	15	中間報告会② 〈時間外学習〉（予習）骨子の中間報告で指摘された部分の修正（60分）（復習）後期までにしておくべきことをリストアップし、自身で取り掛かれる準備をする（30分）
学修に関する留意事項	介護福祉研究の基礎を身につけるため、また、広範な領域への関心と興味を持つため、新聞は毎日読もう。ゼミナール時以外の自主的な学びが必要です。コツコツ主体的に取り組もう。	
試験やレポート等の課題のフィードバック方法		
成績評価方法・基準	授業に対する取り組み（到達目標1）30% 課題提出（到達目標2.3）40% 中間発表（到達目標2.3）30%	
書名①		
著者名①		
出版社①		
書名②		
著者名②		
出版社②		
書名③		
著者名③		
出版社③		
参考文献		
参考URL		
特記事項	わからないことはそのままにせず、ゼミナール学生同士協力したり、気軽に声をかけてください。報告、連絡、相談がきっちりできるよう日頃から心がけましょう。提出物は期日を守り、こまめに教員に確認するようにして下さい。	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2	1	必修
担当教員			
杉本 あゆみ			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
演習	キャリア育成学科	2M3201	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員 □科目に関連した実務経験のある教員が担当している</p> <p>科目に関連した実務内容</p> <p>アクティブラーニング要素</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ディスカッション、ディベート ■グループワーク ■プレゼンテーション ■実習、フィールドワーク
------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	労働市場における女性の就労とキャリア形成
到達目標	1. 労働市場における女性の就労環境と自律的キャリア形成の重要性を理解する。2. 自身の興味・関心・問題意識に基づき、新聞などを活用して情報収集を行うことが出来る。3. 文献などを活用し、各自のテーマに沿った調査や報告が出来る。
授業概要	前期のゼミナールでは、卒業研究レポート作成の基盤づくりを行う。各自の興味・関心・問題意識に基づき、卒業研究のテーマを決定する。情報収集の仕方やレポートの書き方などを学び、研究計画書を作成する。
授業計画	<p>1 オリエンテーション 1年次ゼミナールの振り返りと前期ゼミナールの進め方の説明 <時間外学習>新聞スクラップ (30分) /1年次の自身の研究に対する成果と課題を振り返り、メモしておく (60分)</p> <p>2 卒業研究の進め方① 卒業生のレポートなどを参考に、どの様なレポートを作成するか学ぶ <時間外学習>新聞スクラップ (30分) /卒業研究レポートのテーマ選びに向けて、様々な資料を読む (60分)</p> <p>3 卒業研究の進め方② 研究計画書の作成について <時間外学習>新聞スクラップ (30分) /卒業研究レポートのテーマ選びに向けて、様々な資料を読む (60分)</p> <p>4 卒業研究の進め方③ 研究資料・文献の探し方について <時間外学習>新聞スクラップ (30分) /卒業研究レポートのテーマ選びに向けて、様々な資料を読む (60分)</p> <p>5 研究テーマの検討・設定① 各自の検討テーマについて発表及び意見交換 <時間外学習>新聞スクラップ (30分) /研究テーマの課題を考える (60分)</p> <p>6 研究テーマの検討・設定② 各自の検討テーマについて発表及び意見交換 <時間外学習>新聞スクラップ (30分) /研究テーマの課題を考える (60分)</p> <p>7 研究資料・文献の収集① 各自の集めた資料・文献について発表及び意見交換 <時間外学習>新聞スクラップ (30分) /レジュメ作成 (60分)</p> <p>8 研究資料・文献の収集② 各自の集めた資料・文献について発表及び意見交換 <時間外学習>新聞スクラップ (30分) /レジュメ作成 (60分)</p> <p>9 研究テーマ決定① 各自の研究テーマについて発表及び意見 <時間外学習>新聞スクラップ (30分) /レジュメ作成 (60分)</p> <p>10 研究テーマ決定② 各自の研究テーマについて発表及び意見 <時間外学習>新聞スクラップ (30分) /研究計画書作成 (60分)</p> <p>11 研究計画発表① 各自の研究計画について発表及び意見交換 <時間外学習>新聞スクラップ (30分) /研究計画書作成 (60分)</p> <p>12 研究計画発表② 各自の研究計画について発表及び意見交換 <時間外学習>新聞スクラップ (30分) /研究計画書作成 (60分)</p> <p>13 研究活動①/研究計画書提出 情報の収集・文献の読み込み・情報の記録 <時間外学習>新聞スクラップ (30分) /研究活動 (120分)</p> <p>14 研究活動② 情報の収集・文献の読み込み・情報の記録 <時間外学習>新聞スクラップ (30分) /研究活動 (120分)</p> <p>15 中間発表と前期振り返り <時間外学習>夏休み中の活動計画作成 (90分)</p>

学修に関する留意事項	卒業研究レポートの準備・作成には多くの時間を要します。計画的に研究を進めましょう。また、仲間との意見交換から得る気づきは、互いを大きく成長させてくれるものです。他者への思いやりと前向きな姿勢を評価します。
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	
成績評価方法・基準	授業に対する取り組み（到達目標 2、3）30% 発表（レジュメ作成を含む）（到達目標 1、2、3）40% 提出物（研究計画書含む）（到達目標 2、3）30%
書名①	
著者名①	
出版社①	
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	山本幸司著「大学一年生の文章作法」岩波書店
参考URL	
特記事項	このゼミでは、女性が労働市場においてどのような環境下に置かれているのかを学ぶと共に、自律的にキャリアを形成していく事の重要性を学んでいきます。女性の就労環境は男性の就労環境に大きく影響されています。女子学生だけでなく、男子学生の皆さんも一緒に学んでいきましょう。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2	2	選択
担当教員			
杉本 あゆみ			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
講義	キャリア育成学科	2N3102	
添付ファイル			

授業種類	授業担当教員 <input type="checkbox"/> 科目に関連した実務経験のある教員が担当している 科目に関連した実務内容 アクティブラーニング要素 <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション、ディベート <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク
------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	ビジネスの場で起きている環境変化を理解し、ビジネスの現場で求められている実務や知識を知る。
到達目標	1. 現代社会におけるビジネス環境の変化を把握できるようになる。2. ビジネス実務の基本を理解し、実務能力を実践的に使えるようになる。3. オフィスワーカーの立場から実践的に考えることができる力が身に付く。4. 卒業後、組織人として働いていく上で必要となる知識や実務を理解し、組織の目的実現のために有効な役割を担い、組織にとって必要な人材になる。

授業概要	現在起きているビジネス環境の変化、また、ビジネスの現場でオフィスワーカーとして働くにあたり必要となる知識やスキルを身に付ける科目です。知識やスキルの習得だけにとどまらず、オフィスワーカーの立場から実践的に考えることができる力を育成するため、授業では事例を基に意見を共有するグループワークを積極的に実施します。
------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

授業計画	1 オリエンテーション、ビジネスの定義、ビジネスの組織 ≪時間外学習≫課題レポート (90分) 2 成熟社会におけるビジネス、ビジネスの動き ≪時間外学習≫課題レポート (90分) 3 ビジネス環境をとらえる① 経済のグローバル化、高度情報化・技術革新とビジネス ≪時間外学習≫課題レポート (90分) 4 ビジネス環境をとらえる② 地球環境問題、少子・高齢化、人口減少社会とビジネス ≪時間外学習≫課題レポート (90分) 5 ビジネス環境をとらえる③ 男女共同参画社会、ワーク・ライフバランス、働き方改革と職場 ≪時間外学習≫課題レポート (90分) 6 ビジネス現場をとらえる 日本の雇用システムの転換、ワークスタイルの変化、多様化と共生 ≪時間外学習≫課題レポート (90分) 7 ビジネス実務を学ぶ ビジネス実務を学ぶ ビジネス実務学習のねらい、ビジネス実務の実際 ≪時間外学習≫課題レポート (90分) 8 ビジネス実務の基本 ビジネスとサービス活動 ≪時間外学習≫課題レポート (90分) 9 ビジネス実務の基本 ビジネスと表現活動1 (グループワーク) ≪時間外学習≫課題レポート (90分) 10 ビジネス実務の基本 ビジネスと表現活動2 (グループワーク) ≪時間外学習≫課題レポート (90分) 11 ビジネス実務の基本 ビジネスと情報活用、ビジネスと組織活動 ≪時間外学習≫課題レポート (90分) 12 ビジネス実務の活動をとらえる 金融、金融リテラシー (外部講師による講演) ≪時間外学習≫課題レポート (90分) 13 ビジネス実務の活動を捉える オペレーション活動、マーケティング活動、人的資源管理 ≪時間外学習≫課題レポート (90分) 14 ビジネス実務を創造する コスト、資金の流れとバランス、キャリアデザイン ≪時間外学習≫まとめに向けての準備 (120分) 15 まとめ
------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

学修に関する留意事項	現代社会におけるビジネス環境についてのプリントを配布し、説明、解説をした後は、事例についてそれぞれの意見を共有するグループワークを行います。また、授業で取り上げたテーマからレポート課題を出します。
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	
成績評価方法・基準	確認テスト（到達目標1、2、3）40% レポート（到達目標1、2、3）40% 授業に対する取り組み姿勢（到達目標2、3）20%
書名①	
著者名①	
出版社①	
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	ビジネス実務総論 付加価値創造のための基礎実務 改定版 紀伊国屋書店、改訂版 社会人基礎力 千葉商科大学大学院客員教授 株式会社ジーアップキャリア研究センター代表取締役 加賀博
参考URL	
特記事項	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2	2	選択
担当教員			
中畑 裕之			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
講義	キャリア育成学科	203100	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員</p> <p>■科目に関連した実務経験のある教員が担当している</p> <p>科目に関連した実務内容</p> <p>地方シンクタンクの百五総合研究所にて、住民意識調査や雇用労働問題、過疎地域、産業振興に関する調査を行ってきました。また、市町の総合計画策定支援や国・県の地域計画策定の支援などを行いました。</p> <p>アクティブラーニング要素</p> <p>■ディスカッション、ディベート</p> <p>■グループワーク</p> <p>■プレゼンテーション</p> <p>□実習、フィールドワーク</p>
テーマ	社会問題を理解し、問題点を整理し、自らの意見、提案などの表現を行うことができるようになる。社会問題の背景や関連性を学び、関心を持つ
到達目標	<p>1. 社会問題を整理、分析し第三者へ伝えられるようになる</p> <p>2. 問題の本質や関連性を理解し追及できる</p> <p>3. 社会問題について考えることで、知識や思考力、高い共感性を持つ</p>
授業概要	授業の前半は講義形式で社会問題について説明します。後半はその説明を基に受講者の皆さんでグループディスカッションを行い、自身の意見を述べるとともに、グループとしての考えをまとめてもらいます。毎回異なるテーマを扱いますので、統一感がないように感じるかもしれませんが、様々なところで問題が繋がっていることを理解してください。
授業計画	<p>1 オリエンテーション。社会学について本講義の進め方、成績評価について 《時間外学習》 授業の振り返り、次回授業テーマにつき新聞等を読み込む</p> <p>2 少子・高齢化とその影響について考える。統計データや制度など現状の基本情報、新聞等でニュースとなっている話題を提供する。それを基にグループディスカッションを行い意見をとりまとめ、発表する 《時間外学習》 授業の振り返り、授業のテーマに関する小レポートを作成（30分）</p> <p>3 家族・家庭と社会の関係について考える（子育て、ワークライフバランスなど）。統計データや制度など現状の基本情報、新聞等でニュースとなっている話題を提供する。それを基にグループディスカッションを行い意見をとりまとめ、発表する 《時間外学習》 授業の振り返り、授業のテーマに関する小レポートを作成（30分）</p> <p>4 働くについて考える。統計データや制度など現状の基本情報、新聞等でニュースとなっている話題を提供する。それを基にグループディスカッションを行い意見をとりまとめ、発表する 《時間外学習》 授業の振り返り、授業のテーマに関する小レポートを作成（30分）</p> <p>5 正社員・非正社員について考える。統計データや制度など現状の基本情報、新聞等でニュースとなっている話題を提供する。それを基にグループディスカッションを行い意見をとりまとめ、発表する 《時間外学習》 授業の振り返り、授業のテーマに関する小レポートを作成（30分）</p> <p>6 貧困、格差の問題について考える。統計データや制度など現状の基本情報、新聞等でニュースとなっている話題を提供する。それを基にグループディスカッションを行い意見をとりまとめ、発表する 《時間外学習》 授業の振り返り、授業のテーマに関する小レポートを作成（30分）</p> <p>7 差別について考える。統計データや制度など現状の基本情報、新聞等でニュースとなっている話題を提供する。それを基にグループディスカッションを行い意見をとりまとめ、発表する 《時間外学習》 授業の振り返り、授業のテーマに関する小レポートを作成（30分）</p> <p>8 日本の福祉事情（セーフティーネット等）について考える。統計データや制度など現状の基本情報、新聞等でニュースとなっている話題を提供する。それを基にグループディスカッションを行い意見をとりまとめ、発表する 《時間外学習》 授業の振り返り、授業のテーマに関する小レポートを作成（30分）</p> <p>9 地域社会・コミュニティについて考える。統計データや制度など現状の基本情報、新聞等でニュースとなっている話題を提供する。それを基にグループディスカッションを行い意見をとりまとめ、発表する 《時間外学習》 授業の振り返り、授業のテーマに関する小レポートを作成（30分）</p>

	10	若者の社会参加と社会課題について考える。統計データや制度など現状の基本情報、新聞等でニュースとなっている話題を提供する。それを基にグループディスカッションを行い意見をとりまとめ、発表する 《時間外学習》 授業の振り返り、授業のテーマに関する小レポートを作成 (30分)
	11	グローバル化について考える。統計データや制度など現状の基本情報、新聞等でニュースとなっている話題を提供する。それを基にグループディスカッションを行い意見をとりまとめ、発表する 《時間外学習》 授業の振り返り、授業のテーマに関する小レポートを作成 (30分)
	12	情報化、技術革新の影響について考える。統計データや制度など現状の基本情報、新聞等でニュースとなっている話題を提供する。それを基にグループディスカッションを行い意見をとりまとめ、発表する 《時間外学習》 授業の振り返り、授業のテーマに関する小レポートを作成 (30分)
	13	社会調査とその手法について 《時間外学習》 授業の振り返り、授業のテーマに関する小レポートを作成 (30分)
	14	社会問題をどう捉え、考えるか 《時間外学習》 まとめ準備 (2時間)
	15	まとめ
学修に関する留意事項	毎回プリントを配布しますので、そこに講義内容を書き込み、自身の教科書としてください。グループでの話し合いが大きな比重を占めます。グループディスカッションへの参画状況、グループでのとりまとめの成果を評価します。ほぼ毎回授業テーマの中から課題を出しますので、短いレポートにまとめて提出してもらいます。自分の考えや提案を書き込んでください。	
試験やレポート等の課題のフィードバック方法		
成績評価方法・基準	レポート (到達目標1.2.3) 40% 筆記試験 (到達目標2.3) 30% 講義、グループディスカッションへの取り組み姿勢 (到達目標1.2.3) 30%	
書名①	プリント配布	
著者名①		
出版社①		
書名②		
著者名②		
出版社②		
書名③		
著者名③		
出版社③		
参考文献	必要に応じて参考図書を紹介する	
参考URL		
特記事項	日頃から新聞、ニュースなどを見て、社会の状況や問題につき関心と知識を持ってこの授業に参加してください。	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2	2	選択
担当教員			
江淵 剛			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
講義	キャリア育成学科	203105	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員</p> <p>■科目に関連した実務経験のある教員が担当している</p> <p>科目に関連した実務内容 投資判断にあたっての企業の事業分析、評価</p> <p>アクティブラーニング要素</p> <p><input type="checkbox"/>ディスカッション、ディベート</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>グループワーク</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>プレゼンテーション</p> <p><input type="checkbox"/>実習、フィールドワーク</p>
テーマ	企業活動の内容や仕組み、企業という組織が効果的に活動できるようになる対応などについて学びます。経営管理に関する考え方や実際の企業での実例を交えながら企業の経営管理に対する理解を深めます。
到達目標	<p>本講義における到達目標は次の2点です。</p> <p>①経営管理に関する基本的な用語について理解できるようになる。</p> <p>②経営管理の考え方に基づいて、実際の企業の活動について自分なりに整理できるようになる。</p>
授業概要	教員が用意する資料に沿って講義をすすめます。経営学や経営管理に関する理論の講義のみでなく、実際の企業活動でみられる実践的な事例についてもできるだけ多くご紹介する予定です。受講生の皆さんもニュースや新聞などで企業の活動に関心を持っていただけると、講義の内容理解も深まることと思います。また、実際の企業活動の調査、分析をテーマとしたグループワーク、報告にも取り組みます。
授業計画	<p>1 イントロダクション</p> <ul style="list-style-type: none"> 各講義の予定内容、進め方及び成績評価方法についてご説明します。 <p>[時間外学習]</p> <ul style="list-style-type: none"> 経済学や経営学など履修済みの隣接科目の内容について振り返りを行ってください。(30分) ニュースや新聞などより経済や経営に関するトピックに触れておいてください。(30分) <p>2 経営学の復習と経営管理論について</p> <ul style="list-style-type: none"> 「経営管理」の基礎となる経営学の内容について復習します。 企業、組織、人材について学びます。 <p>[時間外学習]</p> <ul style="list-style-type: none"> 経済学や経営学など履修済みの隣接科目の内容について振り返りを行って下さい。(30分) 授業で配布した資料(穴埋め、用語説明)を見返し、授業内容の理解を深めて下さい。(30分) <p>3 企業とは何か</p> <ul style="list-style-type: none"> 代表的な会社の形態としての株式会社について学びます 株式会社の組織の構造について学びます。 <p>[時間外学習]</p> <ul style="list-style-type: none"> 株式会社とその他の企業形態の違いについて振り返りを行ってください。(30分) 授業で配布した資料(穴埋め、用語説明)を見返し、授業内容の理解を深めて下さい。(30分) <p>4 マネジメントとは何か</p> <ul style="list-style-type: none"> 会社を効率的にまとめる手法としてのマネジメントの内容について学びます 現代の会社におけるマネジメントの実際について学びます <p>[時間外学習]</p> <ul style="list-style-type: none"> 組織における「人間関係」について、皆さんの身近な事例を踏まえて考えてみましょう。(30分) 授業で配布した資料(穴埋め、用語説明)を見返し、授業内容の理解を深めて下さい。(30分) <p>5 組織マネジメントの展開について</p> <ul style="list-style-type: none"> 広く「組織」について学びます 組織における人間の行動や意思決定について学びます <p>[時間外学習]</p> <ul style="list-style-type: none"> 「組織」として有効に機能するに重要な要因を考えてみましょう。(30分) 授業で配布した資料(穴埋め、用語説明)を見返し、授業内容の理解を深めて下さい。(30分) <p>6 モチベーション論について</p> <ul style="list-style-type: none"> 人間の行動に大きく影響を与えるモチベーションについて学びます 経営管理においてモチベーションを効果的に向上させる要因をさぐります <p>[時間外学習]</p> <ul style="list-style-type: none"> みなさんが具体的に「やる気がわく」と感じる時はどんな時でしょうか。会社で働くことをイメージする時、どのような会社側の工夫が従業員のやる気を高めるのでしょうか。このことについて考えてみましょう。(30分)

7	<ul style="list-style-type: none"> ・授業で配布した資料（穴埋め、用語説明）を見返し、授業内容の理解を深めて下さい。（30分） リーダーシップ論について <ul style="list-style-type: none"> ・企業経営におけるリーダーシップについて学びます ・企業組織で求められるリーダーシップの内容について学びます。 [時間外学習] <ul style="list-style-type: none"> ・実際の企業のリーダー（たとえば社長など）をイメージし、そのリーダーシップの内容（持って生まれた資質か、経験により身に着けたものかなど）について考えてみましょう。（30分） ・授業で配布した資料（穴埋め、用語説明）を見返し、授業内容の理解を深めて下さい。（30分）
8	<ul style="list-style-type: none"> 組織構造のマネジメント <ul style="list-style-type: none"> ・企業の組織の内容、構造の類型について学びます。 ・企業の組織と戦略との関係について学びます。 [時間外学習] <ul style="list-style-type: none"> ・皆さんのアルバイトや知っている企業の組織図について確認したり、イメージしたりして、講義で見たどのタイプの組織構造か、考えてみましょう。（30分） ・授業で配布した資料（穴埋め、用語説明）を見返し、授業内容の理解を深めて下さい。（30分）
9	<ul style="list-style-type: none"> 組織文化のマネジメント <ul style="list-style-type: none"> ・企業が特有に持つ企業文化について学びます。 ・企業文化と企業の業績との関係について考えます。 [時間外学習] <ul style="list-style-type: none"> ・皆さんのアルバイト先やサークルなど身近な「組織」の中での「当たり前」はどのようなものでしょうか。その「当たり前」はその組織にとっての強みでしょうか（弱みでしょうか）。考えてみましょう。（30分） ・授業で配布した資料（穴埋め、用語説明）を見返し、授業内容の理解を深めて下さい。（30分）
10	<ul style="list-style-type: none"> 経営組織の環境適応 <ul style="list-style-type: none"> ・企業組織と環境適応について学びます。 ・企業が環境適応していく際の類型について学びます。 [時間外学習] <ul style="list-style-type: none"> ・環境変化に伴って企業がどのように適応（対応）してきたでしょうか。具体的なケースについて考えてみましょう。（30分） ・授業で配布した資料（穴埋め、用語説明）を見返し、授業内容の理解を深めて下さい。（30分）
11	<ul style="list-style-type: none"> 企業戦略について <ul style="list-style-type: none"> ・企業の経営戦略について学びます。 ・企業の事業領域（どういう分野でビジネスを行うのか）の特定について学びます。 [時間外学習] <ul style="list-style-type: none"> ・企業の経営戦略や中心的な事業領域について、企業の「中期経営計画」を参考に調べてみましょう。（30分） ・授業で配布した資料（穴埋め、用語説明）を見返し、授業内容の理解を深めて下さい。（30分）
12	<ul style="list-style-type: none"> 競争戦略について <ul style="list-style-type: none"> ・企業の競争をめぐる理論について学びます。 ・企業の競争を分析する理論について学びます。 [時間外学習] <ul style="list-style-type: none"> ・企業活動においては、他社との競争やそれを分析した上での経営戦略が重要となります。具体的な企業やその商品をイメージしながら、授業で見た「差別化優位」の観点で考えてみましょう。（30分） ・授業で配布した資料（穴埋め、用語説明）を見返し、授業内容の理解を深めて下さい。（30分）
13	<ul style="list-style-type: none"> 企業のイノベーションについて <ul style="list-style-type: none"> ・イノベーションに関する理論を学びます ・イノベーションの発生源について考えます [時間外学習] <ul style="list-style-type: none"> ・イノベーションが起こる前後で企業や企業が取り扱う商品が大きく変わることがあります。イノベーションの前後で変わったこのような事例について考えてみましょう。（30分） ・授業で配布した資料（穴埋め、用語説明）を見返し、授業内容の理解を深めて下さい。（30分）
14	<ul style="list-style-type: none"> 企業における人のマネジメントについて <ul style="list-style-type: none"> ・人的資源管理について学びます ・日本企業に特有な経営（日本的経営）の観点から企業の人材について学びます [時間外学習] <ul style="list-style-type: none"> ・「人手不足」と言われる中で企業の「人材（従業員）」をめぐる対応にも新しい動きが見られ始めています。最近のニュースよりこのような事例について考えてみましょう。（30分） ・授業で配布した資料（穴埋め、用語説明）を見返し、授業内容の理解を深めて下さい。（30分）
15	<ul style="list-style-type: none"> コーポレートガバナンスと授業のまとめ <ul style="list-style-type: none"> ・企業統治について学びます ・「経営管理論」全体の振り返りを行います [時間外学習] <ul style="list-style-type: none"> ・企業統治の失敗（企業不祥事の発生など）とその原因、近年、コーポレートガバナンスが着目されるようになった背景について考えてみましょう。（30分） ・授業で配布した資料（穴埋め、用語説明）を見返し、授業内容の理解を深めて下さい。（30分）
学修に関する留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・各講義では、資料を配布しますので授業内容の整理として活用してください。 ・グループワーク（数回）を予定しています。学生の皆さんの積極的な行動、発言を期待しています。
試験やレポート等の課題のフィード	

バック方法	
成績評価方法・基準	<ul style="list-style-type: none"> ・レポート：40% ・筆記試験：30% ・講義、グループワークでの取り組み姿勢：30%
書名①	
著者名①	
出版社①	
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	
参考URL	
特記事項	<p>教員は、前職では10年超にわたって、資産運用（年金）の業務に就いていました。その経験より講義では、「投資家」目線での企業の見方についてもご紹介いたします。ファイナンシャル・プランナーや証券アナリストなど金融関連資格や金融業界への就職に興味のある学生の皆さんからのご質問等もお待ちしています。</p>

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2	2	選択
担当教員			
伊東 秀幸			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
講義	キャリア育成学科	203106	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員</p> <p>■科目に関連した実務経験のある教員が担当している</p> <p>科目に関連した実務内容</p> <p>高等学校において、地域資源を活用した商品開発を指導し、観光関連団体や企業と連携して商品化を実現した。</p> <p>アクティブラーニング要素</p> <p>■ディスカッション、ディベート</p> <p>■グループワーク</p> <p>□プレゼンテーション</p> <p>□実習、フィールドワーク</p>
------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	地域マネジメントに関する専門的な知識や技能を習得し、持続可能な地域づくりの実現につなげる。
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 地域マネジメントに関する専門的な知識や技能を理解することができる。 2 地域マネジメントに関する専門的な知識や技能を活かし、事例を抽象化することができる。 3 地域マネジメントに関する専門的な知識や技能を活かし、理論を具象化することができる。
授業概要	地域マネジメントに関する専門的な知識や技能の習得を目的として、事例の抽象化と理論の具象化を進める。地域社会の景色を複眼的に捉え、未だ見ぬ新しい景色の創出を目指す。
授業計画	<p>第1講 オリエンテーション（授業計画の確認） ＜時間外学習＞地域マネジメントに関する基礎的な知識や技能をシートにまとめる。（30分）</p> <p>第2講 地域マネジメントの動向 ＜時間外学習＞地域マネジメントの動向をシートにまとめる。（30分）</p> <p>第3講 社会科学的視点の地域マネジメント ＜時間外学習＞社会科学的視点で求められる要素をシートにまとめる。（30分）</p> <p>第4講 人文科学的視点の地域マネジメント ＜時間外学習＞人文科学的視点で求められる要素をシートにまとめる。（30分）</p> <p>第5講 自然科学的視点の地域マネジメント ＜時間外学習＞自然科学的視点で求められる要素をシートにまとめる。（30分）</p> <p>第6講 世界の地域マネジメント ＜時間外学習＞世界の地域マネジメントに対する自身の展望をシートにまとめる。（30分）</p> <p>第7講 日本の地域マネジメント ＜時間外学習＞日本の地域マネジメントに対する自身の展望をシートにまとめる。（30分）</p> <p>第8講 三重県の地域マネジメント ＜時間外学習＞三重県の地域マネジメントに対する自身の展望をシートにまとめる。（30分）</p> <p>第9講 津市の地域マネジメント ＜時間外学習＞津市の地域マネジメントに対する自身の展望をシートにまとめる。（30分）</p> <p>第10講 地域マネジメントの抽象化①（マクロ事例） ＜時間外学習＞マクロ事例を抽象化してシートにまとめる。（30分）</p> <p>第11講 地域マネジメントの抽象化②（マイクロ事例） ＜時間外学習＞マイクロ事例を抽象化してシートにまとめる。（30分）</p> <p>第12講 地域マネジメントの具象化①（マイクロ理論） ＜時間外学習＞マイクロ理論を具象化してシートにまとめる。（30分）</p> <p>第13講 地域マネジメントの具象化②（マクロ理論） ＜時間外学習＞マクロ理論を具象化してシートにまとめる。（30分）</p> <p>第14講 地域マネジメントの手法（マイクロマネジメント） ＜時間外学習＞マイクロマネジメントで求められる要素をシートにまとめる。（30分）</p> <p>第15講 地域マネジメントの手法（マクロマネジメント） ＜時間外学習＞マクロマネジメントで求められる要素をシートにまとめる。（30分）</p>

学修に関する留意事項	地域マネジメントを試みた先行研究は数多くありますが、普遍的な概念が形成されていると言い難く、現在も研究の余地が残されています。個人の価値観がマネジメントの行方を左右することを理解し、持続可能な地域づくりの実現に活かしてください。
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	課題が提出された翌週に、対面でフィードバックします。
成績評価方法・基準	毎時の振り返り（到達目標1）10% 筆記試験（到達目標1）50% レポート（到達目標2、3）40%
書名①	『地域再生の失敗学』（2016）
著者名①	飯田泰之・木下斉・川崎一泰・入山章栄・林直樹・熊谷俊人著
出版社①	光文社
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	飯田泰之編（2017）『これからの地域再生』晶文社
参考URL	
特記事項	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2	2	選択
担当教員			
前田 恵里			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
講義・演習	キャリア育成学科	2Z3305	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員</p> <p><input type="checkbox"/> 科目に関連した実務経験のある教員が担当している</p> <p>科目に関連した実務内容</p> <p>アクティブラーニング要素</p> <p><input type="checkbox"/> ディスカッション、ディベート</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> グループワーク</p> <p><input type="checkbox"/> プレゼンテーション</p> <p><input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク</p>
------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	日本について書かれた日本語の文章を読み、日本の社会と文化についての知識を学ぶ。自国と日本の文化や制度の違いを知り、日本への理解を深めるとともに自分自身の見解を持つ。
到達目標	1. 目標に向けて学習活動に取り組む力をつける。2. 様々なテーマで書かれた日本語を読み、読解力や語彙力をつける。3. 日本についてさまざまな観点から理解を深め、自分自身の意見を述べられるようになる。
授業概要	様々なテーマについて書かれた文章を読んで日本の地理、歴史、文化等を理解し、自分の意見を日本語で述べる。介護に関する専門用語と周辺語彙を、実際の介護の場面を意識して学ぶ。
授業計画	<p>1 オリエンテーション（授業の進め方、評価について）【基本のことば】施設のことば（1-50） 授業外課題：私の興味のある日本について（作文）30分</p> <p>2 日本ってどんな国？①【基本のことば】施設のことば（50-103） 授業外課題：授業内容の復習 30分</p> <p>3 日本ってどんな国？②【基本のことば】施設のことば（104-150） 授業外課題：授業内容の復習 30分</p> <p>4 都市の暮らし・地方の暮らし①【基本のことば】施設のことば、体・体調のことば（151-220） 授業外課題：授業内容の復習 30分</p> <p>5 都市の暮らし・地方の暮らし②【基本のことば】体・体調のことば（221-283） 授業外課題：授業内容の復習 30分</p> <p>6 日本の旅を楽しもう①【基本のことば】体・体調のことば（284-331） 授業外課題：授業内容の復習 30分</p> <p>7 日本の旅を楽しもう②【基本のことば】体・体調のことば（332-382） 授業外課題：授業内容の復習 30分</p> <p>8 いただきます！①【基本のことば】体・体調のことば（383-432） 授業外課題：授業内容の復習 30分</p> <p>9 いただきます！②【基本のことば】体・体調のことば（433-485） 授業外課題：授業内容の復習 30分</p> <p>10 季節を楽しむ年中行事①【基本のことば】体・体調のことば（486-530） 授業外課題：授業内容の復習 30分</p> <p>11 季節を楽しむ年中行事②【基本のことば】体・体調のことば（531-580） 授業外課題：授業内容の復習 30分</p> <p>12 知っておきたい日本の歴史①【基本のことば】体・体調のことば（581-635） 授業外課題：授業内容の復習 30分</p> <p>13 知っておきたい日本の歴史②【基本のことば】体・体調のことば（636-682） 授業外課題：授業内容の復習 30分</p> <p>14 伝統文化体験【基本のことば】体・体調のことば（683-748） 授業外課題：授業内容の復習 30分</p> <p>15 まとめ</p>
学修に関する留意事項	毎回の授業で、前回授業の確認のための確認テストをします。授業以外でも、積極的に日本のテレビを見たり、本を読んだりして、日本語に触れるようにしてください。

試験やレポート等の課題のフィードバック方法	確認テストのフィードバックは授業内で行う。
成績評価方法・基準	授業への取り組み（到達目標1.2.3）30% 確認テスト（到達目標1.2）30% テスト（到達目標2.3）40%
書名①	『はじめて学ぶ介護の日本語 基本のことば』
著者名①	三橋麻子、丸山真貴子、堀内貴子、西己加子
出版社①	スリーエーネットワーク
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	佐々木瑞枝『クローズアップ日本事情15－日本語で学ぶ社会と文化』ジャパンタイムズ
参考URL	
特記事項	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2	2	選択
担当教員			
西川 孝幸			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
講義	キャリア育成学科	2P3101	
添付ファイル			

授業種類	授業担当教員 ■科目に関連した実務経験のある教員が担当している 科目に関連した実務内容 税理士 アクティブラーニング要素 <input type="checkbox"/> ディスカッション、ディベート <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク
------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	租税法の原則を学び、我が国の租税体系を概観することで租税法法律主義の意識を理解する。主要な国税について自主的に納税できる素地をつくる。
-----	---------------------------------------------------------------------

到達目標	1. 租税の原則を理解する。 2. 我が国の主要な国税について簡単な計算ができるようになる。
------	---------------------------------------------------

授業概要	租税法をすべて理解しようとするのは難解です。しかし、難解な租税法も生活に即して理解すれば学ぶことができます。積極的に授業に参加して楽しみましょう。
------	---------------------------------------------------------------------------

授業計画	1 租税理論 【時間外学習】授業の復習 30分 2 消費税 1 【時間外学習】授業の復習 30分 3 消費税 2 【時間外学習】授業の復習 30分 4 消費税 3 【時間外学習】授業の復習 30分 5 消費税 4 【時間外学習】授業の復習 30分 6 所得税 1 【時間外学習】授業の復習 30分 7 所得税 2 【時間外学習】授業の復習 30分 8 所得税 3 【時間外学習】授業の復習 30分 9 所得税 4 【時間外学習】授業の復習 30分 10 所得税 5 【時間外学習】授業の復習 30分 11 所得税 6 【時間外学習】授業の復習 30分 12 所得税 7 【時間外学習】授業の復習 30分 13 所得税 8 【時間外学習】授業の復習 30分 14 租税法のまとめ 【時間外学習】授業の復習 30分 15 租税法のまとめ 【時間外学習】授業の復習 30分
------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

学修に関する留意事項	練習問題は用意するものの授業では限られた設問を解説します。そのために授業で触れなかった問題を自宅学習することを望みます。
------------	--------------------------------------------------------------

試験やレポート等の課題のフィードバック方法	
成績評価方法・基準	まとめ試験 50% 租税に関するレポート 30% 授業への取り組み 20%
書名①	
著者名①	
出版社①	
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	
参考URL	
特記事項	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2	1	選択
担当教員			
川喜田 多佳子			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
演習	キャリア育成学科	2Q3203	
添付ファイル			

授業種類	授業担当教員 <input type="checkbox"/> 科目に関連した実務経験のある教員が担当している 科目に関連した実務内容 アクティブラーニング要素 <input type="checkbox"/> ディスカッション、ディベート <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク
------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	情報の伝達や意志確認をするためのビジネス文書の作成を学ぶ
到達目標	1. Wordの活用に幅広い知識をもち、職業人として必要なビジネス文書の作成ができる2. 自分の意見や考えを状況に応じた事象・業務に対応した文書表現することができる3. 責任感・使命感をもってビジネス文書表現をすることができる
授業概要	業種・業界を問わず、誰もが書かなければならないビジネス文書の書き方を学ぶ。課題を通し、定型的な書類をはじめイレギュラーな事例からの文書作成など、職場での日常業務や他の社員との円滑なコミュニケーションを図ることができる資料作成の方法を学ぶ。
授業計画	1 授業内容：オリエンテーション 授業概要 ・授業の狙い 課題：WordとExcelを連携した報告書作成（前期の復習）の提出 <時間外学習>Word（ビジネス文書）の基礎となる、段落機能、ページ設定などで理解が曖昧な点があれば復習して理解を深めておく。（30分） 2 授業内容：PC業務を素早くスムーズにするために ・ファイル名命名のルールについて ・フォルダ管理 課題：ファイリング整理課題：職場自分のPC内の環境準備をする（事例からフォルダ階層を考える） <時間外学習>自分のUSBメモリ内も整理しなおしてみる。（1時間） 3 授業内容：ビジネス文書とは ・ビジネスとは？事務業務とは ・ビジネス文書作成の目的（社内と社内の違い） 課題：ビジネス文書の基本確認 <時間外学習>ワープロ検定問題集のビジネス文書問題がどのような内容であったか、再度書き手の目線でみてみる。（30分） 4 授業内容：社外文書の作成1 課題文書1 <時間外学習>作成する文書の目的を調べる（60分） 5 授業内容：社外文書の作成2 課題文書2 <時間外学習>作成する文書の目的を調べる（60分） 6 授業内容：社外文書の作成3 課題文書3 <時間外学習>作成する文書の目的を調べる（60分） 7 授業内容：社外文書の作成4 課題文書4 <時間外学習>作成する文書の目的を調べる（60分） 8 授業内容：社外文書の作成5 課題文書5 <時間外学習>作成する文書の目的を調べる（60分） 9 授業内容：社内文書の作成1 課題文書6 <時間外学習>作成する文書の目的を調べる（60分） 10 授業内容：社内文書の作成2 課題文書7 <時間外学習>作成する文書の目的を調べる（60分） 11 授業内容：社内文書の作成3 課題文書8 <時間外学習>作成する文書の目的を調べる（60分） 12 授業内容：社内文書の作成4 課題文書9 <時間外学習>作成する文書の目的を調べる（60分） 13 授業内容：社内文書の作成5 課題文書10 <時間外学習>作成する文書の目的を調べる（60分） 14 まとめの課題1 <時間外学習>会社の各部署において作成されるビジネス文書について調べ、理解しておく。

	15 まよめの課題2 <時間外学習>会社の各部署において作成されるビジネス文書について調べ、理解しておく。
学修に関する留意事項	・毎回テーマに合わせた課題を課す。基本1, 2枚のシンプルな文書作成である。課題提出は締め切り日厳守とする。これもビジネス文書の取り扱いにおいて重要なポイント。・Wordの全機能を身につけておきたい人にはMOS検定を勧める。
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	提出された課題文書から見えた問題点をピックアップし、次回授業の冒頭で解説。自分が作成した文書の問題点を振り返ってもらう。
成績評価方法・基準	課題への取り組み(毎回の課題提出必須)(到達目標1)60% 授業への取り組み姿勢(主体的な姿勢)(到達目標2,3)40%
書名①	Word2021応用(1年後期 文書情報演習2で購入したものを使用する)
著者名①	FOM出版
出版社①	富士通FOM
書名②	日本情報処理検定協会ワープロ問題集(課題作成の参考になる)
著者名②	日本情報処理検定協会
出版社②	日本情報処理検定協会
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	情報リテラシー総合編 Windows11 Office2021(1年次文書情報演習・ビジネス情報演習で使用)
参考URL	
特記事項	具体的な事例を元に、白紙から社内外文書を作成する力を付けていきます。この授業で取り組む課題には完成例はありませんし、一つの解答があるわけでもありません。教員は各種書類に盛り込むべき要点のみ、教授します。就職先で「書けません。教えてください」とは言いにくいビジネス文書。検定受験を通してレイアウトは身につけているはず。あとは「書くべき内容」を押さえ、自信をつけ、社会人デビューに備えましょう。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2	1	選択
担当教員			
鷲尾 敦			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
演習	キャリア育成学科	2Q3208	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員</p> <p>■科目に関連した実務経験のある教員が担当している</p> <p>科目に関連した実務内容</p> <p>システムエンジニアとして、データベースを核としたシステム開発に従事した。</p> <p>アクティブラーニング要素</p> <p><input type="checkbox"/>ディスカッション、ディベート</p> <p><input type="checkbox"/>グループワーク</p> <p><input type="checkbox"/>プレゼンテーション</p> <p><input type="checkbox"/>実習、フィールドワーク</p>
------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	ACCESSを使ったデータベースの構築方法を学ぶ
到達目標	1. リレーショナルデータベースの基礎概念を理解する。 2. ACCESSのデータベースのオブジェクト(テーブル、クエリ、フォーム、レポート)の作成方法を理解し作成できる。 3. ACCESSを使ってデータベースを構築する方法を理解し作成できる。
授業概要	リレーショナルデータベースの基礎概念と、MicorsoftのデータベースソフトウェアであるACCESSを使ってデータベースを構築できるよう、テーブル、クエリ、フォーム、レポートの作成方法を学び、リレーションシップの設定方法を学び実践します。
授業計画	<p>1 授業ガイダンスと復習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業ガイダンス ・1年次定期試験の解説 <p><時間外学習>定期試験の解答作成(60分)</p> <p>2 復習 データベース検定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・データベース検定3級問題 <p><時間外学習>データベース検定3級完成、問題集Step6Lesson1予習(30分)</p> <p>3 Step6 参照整合性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題集 Step6 Lesson1 ・問題集 Step6 Lesson2 <p><問題集Spte6Lesson2完成</p> <p>4 Step6Lesson4, 5 クロス集計、パラメタクエリ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Step6 Lesson4(2)クロス集計クエリ ・Step6 Lesson5 パラメタクエリ ・問題集Step6Lesson3, 4, 5, 6(前年度復習 集計クエリまで) ・問題集Step6Lesson7, 8, 9, 10 <p><時間外学習>問題集Step6完成(30分)</p> <p>5 練習問題 アクションクエリ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・練習13(集計クエリ、クロス集計クエリ) ・練習14(パラメタクエリ) ・アクションクエリ(テーブル作成クエリ) <p><時間外学習>データベース検定2級問題完成(30分)</p> <p>6 アクションクエリ データベース検定2級</p> <ul style="list-style-type: none"> ・更新 ・追加 ・削除クエリ <p>データベース2級問題</p> <p><時間外学習>データベース2級問題完成(30分)</p> <p>7 Step7 Lesson1 メイン/サブフォーム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メイン/サブフォーム制作 <p><時間外学習>教科書の復習(30分)</p> <p>8 Step7 Lesson2 入力しやすいフォーム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンボボックスの作成 ・タブオーダー・タブストップ <p><時間外学習>教科書の復習(30分)</p> <p>9 問題集 Step7 Lesson1, 2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題集実践 <p><時間外学習>問題集の完成(30分)</p>

	10	問題集 Step7 Lesson3 と 漫画本貸出管理データベースの構築 <ul style="list-style-type: none"> ・問題集実践 ・漫画本貸出管理で一た一べす問題説明 ・システムの構造説明 ・作成手順の説明 ・マスターテーブルデザイン
	11	漫画本貸出管理データベースの構築 <ul style="list-style-type: none"> ・マスターテーブル用フォームのデザイン ・マスターデータの入力 ・メインフォーム用のクエリの作成 ・メインフォームの作成
	12	漫画本貸出管理データベースの構築 <ul style="list-style-type: none"> ・メインフォーム用のカスタマイズ ・貸出管理データの入力 ・貸出中クエリの作成・未返却者クエリの作成
	13	漫画本貸出管理データベースの構築 <ul style="list-style-type: none"> ・貸出統計クエリの作成（書籍別貸出数、会員別貸出数など） ・未返却者レポートの作成 ・貸出情報レポートの作成
	14	漫画本貸出管理データベースの構築 <ul style="list-style-type: none"> ・督促状レポートの作成 ・全体の見直し
	15	学んだことの振り返り課題システムの提出 <ul style="list-style-type: none"> ・学んだことの振り返り ・まとめ ・課題システムの提出
学修に関する留意事項	1週間に1度しかない授業です。前回の復習をして授業に臨んでください。	
試験やレポート等の課題のフィードバック方法		
成績評価方法・基準	毎回の授業の振り返り（到達目標1）10% 提出課題（到達目標2, 3）40% 試験（到達目標1, 2, 3）50%	
書名①	誰でも使えるデータベース！Access（一年次の教科書です、購入は不要）	
著者名①		
出版社①	NOA出版	
書名②		
著者名②		
出版社②		
書名③		
著者名③		
出版社③		
参考文献	コンとコンピュータのICT活用入門	
参考URL	https://358dokari.com/accessmatome https://dekiru.net/category/windows-office/access/ https://lab.pasona.co.jp/data-operation/skill/984/	
特記事項	テキストの問題を確実にやり、Accessの利用経験値を高めることで理解が増し、技術が定着します。データベース検定合格を支援しますので、是非挑戦してください。	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2	2	選択
担当教員			
ソラスト (坂本、前川、水野)			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
講義・演習	キャリア育成学科	2R3300	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員</p> <p>■科目に関連した実務経験のある教員が担当している</p> <p>科目に関連した実務内容 診療報酬請求事務</p> <p>アクティブラーニング要素</p> <p><input type="checkbox"/>ディスカッション、ディベート</p> <p><input type="checkbox"/>グループワーク</p> <p><input type="checkbox"/>プレゼンテーション</p> <p><input type="checkbox"/>実習、フィールドワーク</p>
テーマ	医療事務管理士技能認定試験または医療事務技能認定試験の合格と医療保障制度、保険診療と診療報酬の成り立ち、医療事務者の必要性を請求事務の観点から理解する
到達目標	1. 医療保険制度のしくみについて理解をすると同時に保険証の記載事項を正しく読み取ることができる2. 診療録の内容を読み取ることが出来る3. 診療行為ごとの算定のルールを理解することができる4. 診療報酬明細書の記載方法を理解することができる
授業概要	医療保険制度の仕組みから診療録の記載内容を読み取り、各診療行為ごとの算定ルール、診療報酬明細書（レセプト）の記載ルールを学習します
授業計画	<p>1 病院概要、保険制度1（医療機関と分類）保険診療と保険調剤、医療保障制度の体系と医療保険制度（保険の種類、被保険者証の記載事項）確認問題（解答・解説） （時間外学習）テキストを再読し、医療保険制度の保険の種類や対象者を再確認する（30分）</p> <p>2 保険給付のしくみ（給付の種類、高額療養費制度等）確認問題（解答・解説）その他の保険制度（公費負担医療制度、労災保険、介護保険の概要） （時間外学習）テキストを再読し、医療保険とその他の制度との関係や対象者、対象疾病を確認し整理する。（30分）</p> <p>3 医療事務の基礎知識（守秘義務、料金計算、日常業務から請求事務のしくみ）第1回理解度チェック課題 （時間外学習）講義の中でできなかつた部分を実施し、理解度チェック課題を完成させる。（40分）</p> <p>4 初・再診料（初診料、再診料、外来診療料の算定）、確認問題（解答・解説） （時間外学習）テキストを再読し、基本診療料の算定ポイントを整理する。（40分）</p> <p>5 第2回理解度チェック課題（問1～問3） （時間外学習）講義の中でできなかつた部分を実施し、理解度チェック課題を完成させる。（40分）</p> <p>6 医学管理等①（特定疾患療養管理料、特定疾患治療管理料等） （時間外学習）テキストを再読し、各項目の特徴を整理する。（30分）</p> <p>7 医学管理等②（その他の医学管理等）、在宅医療（往診、訪問診療、在宅療養指導管理等） （時間外学習）テキストを再読し、確認問題を実施し、算定のポイントを整理する。（40分）</p> <p>8 第2回理解度チェック課題（問4～問5）、投薬①（薬剤の基礎知識～薬剤料、調剤料、処方料の基礎） （時間外学習）講義の中でできなかつた部分を実施し、理解度チェック課題を完成させる。テキストを再読し、投薬の基本項目を整理する。（60分）</p> <p>9 投薬②（内服、屯服、外用薬の算定と加算等）、確認問題（解答・解説） （時間外学習）テキストを再読し、薬剤区分ごとの算定のポイントを整理する。（40分）</p> <p>10 投薬③（処方箋料と調基の関係等）、第2回理解度チェック課題（問6） （時間外学習）講義の中でできなかつた部分を実施し、完成させる。（40分）</p> <p>11 診療報酬明細書作成演習（トレーニングブック1号） （時間外学習）講義の中でできなかつた部分を実施し、完成させる。（理解不能な部分は次の講義の際、質疑できるように準備する）（60分）</p> <p>12 診質疑・応答、療報酬明細書作成演習、第2回理解度チェック課題（問10） （時間外学習）講義の中でできなかつた部分を実施し、完成させる。（理解不能な部分は次の講義の際、質疑できるように準備する）（90分）</p> <p>13 注射①（薬剤の基礎知識、皮内、皮下及び筋肉内注射、静脈内注射）とレセプトの記載方法 （時間外学習）テキストを再読し、注射料の算定のポイントを整理する。（40分）</p>

	14 注射②（その他の注射等）とレセプトの記載方法、確認問題（解答・解説）、第2回理解度チェック課題（問7） （時間外学習）講義の中でできなかった部分を実施し、完成させる。（理解不能な部分は次の講義の際、質疑できるように準備する）トレーニングブック3号～5号までを実施する。（90分） 15 確認問題（保険制度～注射まで） （時間外学習）講義内でできなかった部分を実施し、完成させる。（90分）
学修に関する留意事項	欠席した場合は自主学習を行い、不明な点は質問をし、理解することが必要です。理解度チェック課題（全3回分）の提出が必須です。医療事務Ⅱ、Ⅲとの併修が必要です。
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	
成績評価方法・基準	理解度チェック課題提出（到達目標1.2.3.4）50% 授業への取り組み姿勢（到達目標2.3）20% 確認テスト（到達目標1.2.3.4）30%
書名①	テキスト1～4、レセプトの書き方、理解度チェック課題、資料ブック、レセプト用紙、薬価表、医科診療報酬点数表
著者名①	株式会社ソラスト
出版社①	株式会社ソラスト
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	
参考URL	
特記事項	医療事務Ⅱ、Ⅲとの併修が必要です。使用するテキストは共通です。1年後期において医療接遇演習を履修した場合、テキスト1の購入は必要ありません。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2	2	選択
担当教員			
ソラスト (坂本、前川、水野)			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
講義・演習	キャリア育成学科	2R3301	
添付ファイル			

授業種類	授業担当教員 ■科目に関連した実務経験のある教員が担当している 科目に関連した実務内容 診療報酬請求事務 アクティブラーニング要素 <input type="checkbox"/> ディスカッション、ディベート <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク
------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	医療事務管理士技能認定試験または医療事務技能認定試験の合格と医療保険制度と診療報酬の成り立ち、医療事務者の必要性と役割を理解する。
到達目標	1. 医療保険制度のしくみについて理解をすると同時に保険証の記載事項を正しく読み取ることができる2. 診療行為ごとの算定のルールを理解することができる3. 診療報酬明細書の記載方法を理解することができる4. 診療報酬明細書 (レセプト) の点検ができる
授業概要	医療保険制度の仕組みから点数算定のルール、診療報酬明細書 (レセプト) の点検、作成基礎を学習します
授業計画	1 処置① (算定の基礎、算定上のポイント、創傷処置～救急処置) とレセプトの記載方法 (時間外学習) テキストを再読し、処置料算定の基礎を整理する。(40分) 2 処置② (皮膚科処置～ギプスの算定) とレセプトの記載方法、確認問題 (解答・解説) 第2回理解度チェック課題 問8～問9 (時間外学習) 講義の中でできなかった部分を実施し、理解度チェック課題を完成させる。(40分) 3 リハビリテーション料とレセプトの記載方法、確認問題 (解答・解説) (時間外学習) テキストを再読し、リハビリテーションの各項目と算定のポイントを整理する。(30分) 4 検査①検体検査 (検体検査料の算定) とレセプトの記載方法 (時間外学習) テキストを再読し、確認問題を実施し、算定のポイントを整理する。(40分) 5 検査②生体検査 (生体検査料の算定) とレセプトの記載方法 (時間外学習) テキストを再読し、確認問題を実施し、算定のポイントを整理する。(40分) 6 病理診断 (病理診断の算定) とレセプトの記載方法、確認問題 (解答・解説)、第3回理解度チェック課題 (問1～問3) (時間外学習) 講義の中で完成できなかった部分を実施し、理解度チェック課題を完成させ、不明点、疑問点を洗い出し次回の講義で質問できるよう整理する。(90分) 7 質疑・応答、トレーニングブック (6号～10号) (時間外学習) 講義の中で出来なかった部分を実施し完成させる。トレーニングブック3号～5号までを実施する (1時間30分) 8 質疑・応答、手術① (通則、主な手術料等) 算定とレセプトの記載方法、輸血 (時間外学習) テキストを再読し、算定のポイントを整理する。(60分) 9 手術②確認問題 (解答・解説)、第3回理解度チェック課題 (問4) (時間外学習) 講義の中でできなかった部分を実施し、理解度チェック課題を完成させる。(40分) 10 麻酔料の算定とレセプトの記載方法、確認問題 (解答・解説)、第3回理解度チェック課題 (問5) (時間外学習) 講義の中で出来なかった部分を実施し、理解度チェック課題を完成させる。(40分) 11 トレーニングブック (11号～12号)、質疑・応答 講義の中で出来なかった部分を実施し完成させる。トレーニングブックを実施し、不明点、疑問点を整理する。(90分) 12 質疑・応答、画像診断① (エックス線) 算定とレセプトの記載方法、第3回理解度チェック課題 (問6) (時間外学習) 講義の中でできなかった部分を実施し、理解度チェック課題を完成させる。(30分) 13 画像診断② (核医学診断、コンピューター断層診断) 算定とレセプトの記載方法、確認問題 (解答・解説)

	<p>(時間外学習) テキストを再読し、画像診断算定のポイントを整理する。(40分)</p> <p>14 トレーニングブック (13号~15号) 質疑・応答精神科専門療法・放射線治療とレセプトの書き方 第3回理解度チェック課題 (問7)</p> <p>(時間外学習) 講義の中でできなかった部分を実施し、理解度チェック課題を完成させる。不明点、疑問点、算定のポイントを整理する (90分)</p> <p>15 確認問題 (処置~画像診断)</p> <p>(時間外学習) 講義内でできなかった部分を実施し、完成させる。(60分)</p>
学修に関する留意事項	欠席した場合は自主学習を行い、不明な点は質問をし、理解することが必要です。理解度チェック課題 (全3回分) の提出が必須です。医療事務Ⅰ、Ⅲとの併修が必要です。
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	
成績評価方法・基準	理解度チェック課題提出 (到達目標1.2.3.4) 50% 授業への取り組み姿勢 (到達目標2.3) 20% 確認テスト (到達目標1.2.3.4) 30%
書名①	テキスト1~4、レセプトの書き方、理解度チェック課題、資料ブック、レセプト用紙、薬価表、医科診療報酬点数表
著者名①	株式会社ソラスト
出版社①	株式会社ソラスト
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	
参考URL	
特記事項	医療事務Ⅰ、Ⅲとの併修が必要です。使用するテキストは共通です。1年後期において医療接遇演習を履修している場合、テキスト1の購入は必要ありません。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2	2	選択
担当教員			
橋本 景子			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
講義	キャリア育成学科	2S3101	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員</p> <p>■科目に関連した実務経験のある教員が担当している</p> <p>科目に関連した実務内容 カウンセラーとして35年間、中学校、高校、専門学校、市役所などで、のべ2万人を超えるカウンセリングを行ってきた。 現在は、「いじめ」に関連する問題にも多く関わっている。</p> <p>アクティブラーニング要素</p> <p>■ディスカッション、ディベート ■グループワーク <input type="checkbox"/>プレゼンテーション <input type="checkbox"/>実習、フィールドワーク</p>
テーマ	「カウンセリング」とは何か理解する
到達目標	1. 心の仕組みについて理解する。2. カウンセリングというものを理解する。3. 人には様々な考え方、価値観があることを知る。
授業概要	なぜ人はカウンセリングを受けることで変わっていきけるのか、そのためには「受容・共感・傾聴」が如何に大切であるか、様々な症状の背景を考えることで学んでいく。
授業計画	<p>1 カウンセリングと相談の違い 今後の生活において「カウンセリング」の視点を意識する (10分)</p> <p>2 「受容・共感・傾聴」の大切さ、心の構造 (意識・無意識) 自分の心の奥を振り返る (15分)</p> <p>3 DSMとICD 友達といろいろな「症状」について話し合ってみよう (15分)</p> <p>4 イド・エゴ・スーパーエゴ、境界性人格障害について 症状の「背景」にあるものを考える (20分)</p> <p>5 心理療法 (1) 症状の「背景」にあるものを考え、発表できるようにしておくこと (20分)</p> <p>6 心理療法 (2) 新聞を読んだりニュースを見るときに役立ててください (15分)</p> <p>7 多重人格とPTSD 「ストレス」について考える (15分)</p> <p>8 多重人格 (実際の映像から考える)、ディスカッション 「ストレス」について考える (20分)</p> <p>9 Freud (心の構造、防衛機制、発達段階)、Eriksonの生涯発達論 図書館にあるわかりやすいもので復習しておくといい (30分)</p> <p>10 Jungの理論、Rogersの理論 図書館にあるわかりやすいもので復習しておくといい (30分)</p> <p>11 精神疾患(1)、エゴグラムテストで自分を知る 「自分」を振り返る機会とする (20分)</p> <p>12 精神疾患(2) 前回に引き続き、「自分」というものを振り返ってみる (15分)</p> <p>13 ワーク「私の価値観」 価値観には違いがあることを知るためにもいろんな人と積極的に話し、人の価値観にも耳を傾けよう (20分)</p> <p>14 その他の心理療法 心理面で日頃疑問に思っていることをこれまで学んだことを基に、改めて考えてみよう (15分)</p> <p>15 まとめと振り返り 質問を用意しておいてください (15分)</p>

学修に関する留意事項	出席は「課題への取り組み」の中で点数化します。遅刻3回で欠席1回と見做しますので注意すること（30分近い欠席を3回したら1回の欠席とほぼ同じです）。新聞記事やニュース、ドラマ、映画などは見方によっては大変貴重な教材となります。疑問に思ったことはメモをして授業に持ち込んでください。
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	翌週に口頭で講義の一環としてフィードバックする。
成績評価方法・基準	小レポート 4回提出（到達目標1/2/3）20% 課題への取り組み（到達目標1/3）20% 試験（到達目標1/2）60%
書名①	使用せず
著者名①	
出版社①	
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	
参考URL	
特記事項	私たちは人と接するとき、知らず知らずのうちに自分の弱みがいろいろな形で現れてきます。それが人間関係に影響を与えます。そこでまず「自分」というものを見直すことから始めましょう。自分も相手も、お互いに気持ちよく生きたい（行きたい）ものです。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期集中	2	2	選択
担当教員			
ソラスト (坂本、前川、水野)			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
講義・演習	キャリア育成学科	2R2203	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員</p> <p>■科目に関連した実務経験のある教員が担当している</p> <p>科目に関連した実務内容 診療報酬請求事務</p> <p>アクティブラーニング要素</p> <p><input type="checkbox"/>ディスカッション、ディベート <input type="checkbox"/>グループワーク <input type="checkbox"/>プレゼンテーション <input type="checkbox"/>実習、フィールドワーク</p>
テーマ	医療事務管理士技能認定試験または医療事務技能認定試験の合格を目指し、医療保険制度と診療報酬の成り立ち、医療事務者の必要性と役割を理解する
到達目標	1. 入院料の算定が正しく出来る 2. 外来と入院の算定の違いを知る 3. 外来と入院の診療報酬明細書の記載方法を理解することができる 4. 入院の診療報酬明細書の点検ができる
授業概要	入院料の算定ルール、診療報酬明細書（レセプト）の作成基礎と点検のポイントを学習します。
授業計画	<p>1 入院1（入院の算定、入院基本料） （時間外学習）テキストを再読し、診療報酬を資料ブックまたは点数表で確認、整理する。（30分）</p> <p>2 入院2（入院基本料等加算） （時間外学習）テキストを再読し、診療報酬や算定のルールを再確認する。（40分）</p> <p>3 入院3（外泊、特定入院料、短期滞在手術等基本料、入院料以外の項目） （時間外学習）テキストを再読し、外来と入院の算定の違いを確認、整理する。（40分）</p> <p>4 入院4（入院料以外の項目）確認問題（解答・解説） （時間外学習）講義の中でできなかった部分を実施し、不明点、疑問点を整理する。（40分）</p> <p>5 質疑・応答、診療報酬明細書作成演習、第3回理解度チェック課題（問10入院） （時間外学習）講義内でできなかった部分を実施し、不明点、疑問点を整理する。（90分）</p> <p>6 質疑・応答、診療報酬明細書作成演習、第3回理解度チェック課題（問10入院） （時間外学習）講義の中でできなかった部分を実施し、理解度チェック課題を完成させる。（60分）</p> <p>7 診療報酬明細書作成演習、第3回理解度チェック課題（問8外来） （時間外学習）講義の中でできなかった部分を実施し、理解度チェック課題を完成させる。（40分）</p> <p>8 レセプトの点検（外来・入院）確認問題（解答・解説） （時間外学習）テキストを再読し、点検のポイントを整理する。（30分）</p> <p>9 試験対策1、質疑・応答 （時間外学習）外来の講義内容を再度復習、レセプト記載内容を正しく理解する。（60分）</p> <p>10 試験対策2、質疑・応答 （時間外学習）外来の講義内容を再度復習、レセプト記載内容を正しく理解する。（60分）</p> <p>11 試験対策3、質疑・応答 （時間外学習）外来時における各項目の算定のポイントを整理する。（60分）</p> <p>12 試験対策4、質疑・応答 （時間外学習）外来と入院のレセプトの記載方法を整理する。（60分）</p> <p>13 総復習（外来算定）、質疑・応答 （時間外学習）外来時における各項目の算定のポイントを整理する。（90分）</p> <p>14 総復習（入院算定）、質疑・応答 （時間外学習）入院時における各項目の算定のポイントを整理する。（90分）</p> <p>15 確認問題（外来・入院）（解答・解説） （時間外学習）テキストを再読し、全体を通じ各項目の算定ポイント、レセプトの記載方法を整理する。（90分）</p>

学修に関する留意事項	欠席した場合は、その部分は自主学習を行い、不明な点は質問するなどして理解することが必要です。理解度チェック課題（全3回分）の提出が必須です。医療事務Ⅰ、Ⅱとの併修が必要です。
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	
成績評価方法・基準	理解度チェック課題の提出（到達目標1.2.3.4）50% 授業への取り組み姿勢（到達目標1.2）20% 確認テスト（到達目標1.2.3.4）30%
書名①	テキスト1～4、資料ブック、理解度チェック課題、レセプト用紙、薬価表、医科診療報酬点数表
著者名①	株式会社ソラスト
出版社①	株式会社ソラスト
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	
参考URL	
特記事項	医療事務Ⅰ、Ⅱの併修が必要です。使用するテキストは共通です。1年後期において医療接遇演習を履修した場合、テキスト1の購入は必要ありません。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2	2	選択
担当教員			
蒔田 勝義			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
講義	キャリア育成学科	2U3112	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員</p> <p>■科目に関連した実務経験のある教員が担当している</p> <p>科目に関連した実務内容</p> <p>社会福祉協議会の職員として30余年、様々な福祉分野との交流から幅広い知識があり、かつ、社会福祉士として他大学で当科目を担当していた経験もある。</p> <p>アクティブラーニング要素</p> <p><input type="checkbox"/>ディスカッション、ディベート</p> <p><input type="checkbox"/>グループワーク</p> <p><input type="checkbox"/>プレゼンテーション</p> <p><input type="checkbox"/>実習、フィールドワーク</p>
------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	私たちの命と暮らしを守る社会保障について、成立の背景や制度の概要を学ぶ。
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 社会保障制度の概要が理解できる。 2. 我が国の個々の社会保障制度が理解できる。 3. 福祉専門職としての基礎力を養成し、業務遂行上の知識とできる。 4. 日頃から新聞等に興味を持ち、日常的に読むようになる。
授業概要	社会保障制度が生まれてきた歴史や背景を学び、社会保障の役割について学ぶ。特に、我が国の具体的な社会保障の諸制度について詳しく学ぶ。新聞等で報道される最新情報の紹介等により、さらに理解を深める。
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 社会保障とは何か、社会保障の概念について理解する 復習として、本日学んだことを簡単にまとめる（30分程度） 2 社会保障の基礎理論について理解する 復習として、本日学んだことを簡単にまとめる（30分程度） 3 社会保障と経済学等諸科学との関係を理解する 復習として、本日学んだことを簡単にまとめる（30分程度） 4 各ライフステージにおける社会保障の概要について理解する 復習として、本日学んだことを簡単にまとめる（30分程度） 5 社会保障と労働との関係について理解する 復習として、本日学んだことを簡単にまとめる（30分程度） 6 欧米や我が国における社会保障を巡る歴史の概要について理解する 復習として、本日学んだことを簡単にまとめる（30分程度） 7 我が国の社会保障の実施体制の概要について理解する 復習として、本日学んだことを簡単にまとめる（30分程度） 8 我が国の年金保険制度の概要について理解する 復習として、本日学んだことを簡単にまとめる（30分程度） 9 我が国の医療保険制度の概要について理解する 復習として、本日学んだことを簡単にまとめる（30分程度） 10 我が国の介護保険制度の概要について理解する 復習として、本日学んだことを簡単にまとめる（30分程度） 11 我が国の労働保険制度の概要について理解する 復習として、本日学んだことを簡単にまとめる（30分程度） 12 我が国の社会福祉制度の概要について理解する 復習として、本日学んだことを簡単にまとめる（30分程度） 13 社会保障制度の改革の課題について理解する 復習として、本日学んだことを簡単にまとめる（30分程度） 14 民間保険の概要や欧米の社会保障制度の概要について理解する 復習として、本日学んだことを簡単にまとめる（30分程度） 15 まとめ・試験

学修に関する留意事項	予習・復習を必ず行うとともに、日頃から社会保障のニュース等の情報を把握するよう努めること。
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	
成績評価方法・基準	試験(到達目標1, 2, 3)80% 授業に対する取り組み(到達目標1, 2, 3, 4) 20%
書名①	よくわかる社会保障
著者名①	坂口正之 他
出版社①	ミネルヴァ書房
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	
参考URL	
特記事項	市社協及び県社協職員として30数年の中で、個別支援における各種社会保障制度支援の実務経験がある。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2	2	選択
担当教員			
福田 洋子			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
講義	キャリア育成学科	2U3122	
添付ファイル			

授業種類	授業担当教員 ■科目に関連した実務経験のある教員が担当している 科目に関連した実務内容 アクティブラーニング要素 <input type="checkbox"/> ディスカッション、ディベート <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク		
テーマ	災害時の要配慮者への支援ができる知識や技術、マネジメント力をつける。		
到達目標	1. 災害の全般的な理解ができる2. 災害における介護福祉士としての支援の在り方が理解できる3. 災害時の避難所のマネジメントの在り方を考察できる4. 要配慮者への命と生活を護る行動がとれるようになる		
授業概要	これまでの災害から、要配慮者の命と生活をどのように守るのか、介護福祉士としてどのような行動が求められているのか考察できるようになる。さらに、専門家として要配慮者の発信能力を上げられるようになるための知識や技術を身につけていく。		
授業計画	1	日本の災害の歴史の変遷からの課題 予習：メディアで災害関連のことを調べておきましょう (30分)	復習：自宅の周辺状況を調べてみましょう
	2	災害の種類と地震について 予習：メディアで災害関連のことを調べておきましょう (30分)	復習：今日学んだことを振り返って次に生かしましょう (30分)
	3	災害の被害状況と課題 予習：メディアで災害関連のことを調べておきましょう (30分)	復習：今日学んだことを振り返って次に生かしましょう (30分)
	4	災害の福祉支援体制、地域支援体制、施設支援体制の違いと課題 予習：メディアで災害関連のことを調べておきましょう (30分)	復習：今日学んだことを振り返って次に生かしましょう (30分)
	5	消防からの防災、減災体制（特別授業） 予習：メディアで災害関連のことを調べておきましょう (30分)	復習：今日学んだことを振り返って次に生かしましょう (30分)
	6	被害はなぜ拡大するのか、ハザードマップの読み解き方（グループワーク） 予習：メディアで災害関連のことを調べておきましょう (30分)	復習：今日学んだことを振り返って次に生かしましょう (30分)
	7	災害全般（特別授業） 予習：メディアで災害関連のことを調べておきましょう (30分)	復習：今日学んだことを振り返って次に生かしましょう (30分)
	8	災害時の備え、要配慮者の生活（食事・排泄・入浴等）支援を学び、考える 予習：メディアで災害関連のことを調べておきましょう (30分)	復習：今日学んだことを振り返って次に生かしましょう (30分)
	9	災害調整本部との連携、多団体との連携とマネジメント（特別授業） 予習：メディアで災害関連のことを調べておきましょう (30分)	復習：今日学んだことを振り返って次に生かしましょう (30分)
	10	南海トラフ地震を想定した避難所のマネジメント 予習：メディアで災害関連のことを調べておきましょう (30分)	復習：今日学んだことを振り返って次に生かしましょう (30分)
	11	南海トラフ地震を想定した避難所のマネジメント 予習：メディアで災害関連のことを調べておきましょう (30分)	復習：今日学んだことを振り返って次に生かしましょう (30分)
	12	南海トラフ地震を想定した避難所のマネジメント グループ発表 課題の明確化 予習：メディアで災害関連のことを調べておきましょう (30分)	復習：今日学んだことを振り返って次に生かしましょう (30分)
	13	忍者研究から学ぶ災害時の迅速な動きとマネジメント（特別授業） 予習：メディアで災害関連のことを調べておきましょう (30分)	復習：今日学んだことを振り返って次に生かしましょう (30分)

	14 災害時の障害者対策と対応予習：メディアで災害関連のことを調べておきましょう 予習：メディアで災害関連のことを調べておきましょう 復習：今日学んだことを振り返って次に生かしましょう(30分) 15 まとめ まとめ
学修に関する留意事項	追加資料は、その都度配布いたします。災害時に対応できる知識と技術、さらにマネジメント力を身につけましょう。
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	
成績評価方法・基準	筆記試験（到達目標1.2.3）60% 最終理解度チェック（到達目標1.2.3）20% 学習への参加状況（到達目標1.2.3）20%
書名①	保存版 新しい防災のきほん事典
著者名①	永田宏和、石井美恵子（監修）橋田誠（発行者）
出版社①	朝日新聞社
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	
参考URL	
特記事項	外部講師の予定により、授業予定日が変更になる場合があります。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2	2	選択
担当教員			
伊藤 利美			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
講義	キャリア育成学科	2V3101	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員</p> <p>■科目に関連した実務経験のある教員が担当している</p> <p>科目に関連した実務内容 看護師としての実務経験があります。</p> <p>アクティブラーニング要素</p> <p><input type="checkbox"/>ディスカッション、ディベート</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>グループワーク</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>プレゼンテーション</p> <p><input type="checkbox"/>実習、フィールドワーク</p>
------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	利用者の生活における安全管理と感染症対策等の知識を養い、心身共に豊かな生活支援ができる。
到達目標	1・利用者の『尊厳ある暮らし』を支えるための安全確保を学ぶ 2・リスクマネジメント等についての知識を学ぶ 3・利用者が安心・安全のもとで、心身共に『豊かな生活』ができるための知識を学ぶ
授業概要	介護福祉士として利用者の日常生活を安心・安全に提供できる知識や、感染症・事故及び生活環境等のリスクマネジメントについて学び、利用者が心身共に穏やかで豊かな生活ができる視点を学ぶ。
授業計画	<p>1 介護管理について（授業の進め方・評価方法・その他オリエンテーション含む） 時間外学習：本科目の専用ノートを作成し、本日学習したことを整理し理解を深める。 （毎回・具体的に口頭でも説明します。以下同様）（毎回30分以上）</p> <p>2 リスクマネジメントの必要性について（安全を守る視点とQOLの視点から） 時間外学習：介護における安全の確保について専用ノートに整理し理解を深める。</p> <p>3 リスクマネジメント②事故および安全対策について 時間外学習：本日の学習を専用ノート等にまとめ理解を深める。</p> <p>4 感染症①感染症の基本視点（感染3原則ほか） 時間外学習：本日の学習を専用ノート等にまとめ理解を深める。</p> <p>5 感染症②各疾患について 時間外学習：本日の学習を専用ノート等にまとめ理解を深める。</p> <p>6 感染症③対応・対策など 時間外学習：本日の学習を専用ノート等にまとめ理解を深める。</p> <p>7 介護における『ホスピタリティ』の基本視点を学ぶ 時間外学習：本日の学習を専用ノート等にまとめ理解を深める。</p> <p>8 ホスピタリティ②（ホスピタリティの基本視点およびグループワークの準備など） 時間外学習：本日の学習を踏まえ、グループワークで協議した事をまとめて次に活用する。</p> <p>9 ホスピタリティ③（グループ協議） 時間外学習：グループ協議が、次の演習に活かせるように整理し準備する。</p> <p>10 ホスピタリティ④（グループ協議およびプレゼン準備など） 時間外学習：メンバーと協力の元、プレゼンテーションの準備を進め本番に活かす。</p> <p>11 ホスピタリティ⑤（各グループによるプレゼンテーション） 時間外学習：自分達のグループ演習は勿論、他グループの演習などプレゼンテーションから学んだ事を反省点も踏まえてまとめる。</p> <p>12 ホスピタリティ⑥利用者が心身ともに豊かに暮らすことへの支援について確認する。 時間外学習：利用者にとって心身共の「豊かな暮らし」について考え、更には・今後実際の介護場面でどのように学んだ事が活用できるか考える。</p> <p>13 多職種との協働 時間外学習：多職種との協働の必要性について専用ノートにまとめて理解を深める。</p> <p>14 介護に携わる人の健康管理について 時間外学習：働く人の労働安全の視点や、介護者の心身の疲労とその予防対策について理解を深める（60分以上）</p> <p>15 『介護管理』まとめ：総復習（学んだ事の一つひとつが、今後の介護に活用できるように～）</p>

学修に関する留意事項	身近な生活の中での事故や感染症等について、その予防策や感染拡大防止についての知識を養うと共に、その中で、利用者が日々の暮らしを豊かに過ごせる視点をグループ演習等を通して具体的に学習しましょう。
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	毎回の授業後に「時間外学習」の課題用紙等配布・もしくは口頭で伝えますので、次回の授業前に必ず提出して下さい。提出状況や、提出物の内容は成績評価に反映します。解答はもちろんですが、ていねいに書きましょう。
成績評価方法・基準	筆記試験 (到達目標1.2.3) 60% 課題への取り組み (到達目標1.2.3) 20% 提出物の内容 (到達目標1.2.3) 20%
書名①	新・介護福祉士養成講座4 介護の基本Ⅱ
著者名①	
出版社①	中央法規
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	
参考URL	
特記事項	どんな些細なことでも、疑問や不明な点はなるべくその都度質問などして解決していくようにしましょう。学んだことが、次の学習につなげられるように、毎回の予習・復習は大切です。提出物の内容の充実をはかり、提出期限を守りましょう。※なお、講義内容や授業形態は、その時の社会状況や学習環境等により変更することがあります。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2	2	選択
担当教員			
大川 達			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
講義	キャリア育成学科	2V3105	
添付ファイル			

授業種類	授業担当教員 <input type="checkbox"/> 科目に関連した実務経験のある教員が担当している 科目に関連した実務内容 アクティブラーニング要素 <input type="checkbox"/> ディスカッション、ディベート <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク
------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	障害を持ちながらも普通の生活に近づけるリハビリテーション技術を学ぶ。
到達目標	1. リハビリテーションの理念の理解 2. 障害別リハビリテーションの理解 3. 基本的なリハビリテーション技術の習得

授業概要	疾病と障害の関係を学び、機能回復や機能維持及び機能低下予防を学ぶ
------	----------------------------------

授業計画	1 オリエンテーション・総論 [時間外学習] リハビリテーションに関する資料収集 (1時間)。 2 ICF [時間外学習] 自分自身の生活行為1日間を小レポート (2時間)。 3 リハビリテーションの役割と領域 [時間外学習] チームリハビリに関する資料収集 (1時間)。 4 筋力と関節可動域 [時間外学習] 筋力と関節可動域に関する資料収集 (1時間)。 5 社会資源 [時間外学習] 社会資源に関する資料収集 (1時間)。 6 リハビリテーションと福祉用具 [時間外学習] 福祉用具に関する資料収集 (1時間)。 7 リハビリテーションと介護保険 [時間外学習] 介護保険に関する資料収集 (1時間)。 8 脳卒中 [時間外学習] 脳卒中に関する資料収集 (1時間)。 9 循環器と呼吸器疾患のリハビリテーション [時間外学習] 循環器と呼吸器疾患に関する資料収集 (1時間)。 10 脊髄損傷のリハビリテーション [時間外学習] 脊髄損傷に関する資料収集 (1時間)。 11 関節リウマチと高齢者の骨折 [時間外学習] 関節リウマチと高齢者の骨折に関する資料収集 (1時間)。 12 パーキンソン病のリハビリテーション [時間外学習] パーキンソン病に関する資料収集 (1時間)。 13 摂食・嚥下リハビリテーション [時間外学習] 摂食・嚥下に関する資料収集 (1時間)。 14 ALSのリハビリテーション [時間外学習] 振り返り、各週の授業をまとめる (2時間)。 15 学習の振り返りまとめ
------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

学修に関する留意事項	授業中の実技への積極的な取り組みを評価する
------------	-----------------------

試験やレポート等の課題のフィード	
------------------	--

バック方法	
成績評価方法・基準	筆記試験（到達目標1, 2）50% 課題レポート（到達目標1, 2）20% 授業と実技への取り組み（到達目標1, 2, 3）30%
書名①	
著者名①	
出版社①	
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	リハビリテーションビジュアルブック第2版、リハビリテーション論
参考URL	
特記事項	

講義科目名称： 生活の理解 I

授業コード： 18900A

英文科目名称： Invitation to Living I

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2	1	選択
担当教員			
和田 欣子			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
演習	キャリア育成学科	2V3220	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員</p> <p>■科目に関連した実務経験のある教員が担当している</p> <p>科目に関連した実務内容</p> <p>アクティブラーニング要素</p> <p><input type="checkbox"/>ディスカッション、ディベート</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>グループワーク</p> <p><input type="checkbox"/>プレゼンテーション</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>実習、フィールドワーク</p>
------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	生活支援のために必要な食分野の知識を学ぶ
到達目標	1. 栄養・食品に関する基本的な知識と技術を習得する 2. 継承されてきた日本の食文化を理解し、高齢者との共有を目指す 3. 高齢者・障がい者の特徴を知り、食生活を支援する方法を学ぶ
授業概要	講義及び演習や実習を通して、食事の栄養と食品、消化と吸収、食生活の安全・衛生など、食生活分野の基礎的な知識・技術を身につける。高齢者・障がい者の特徴を知り、栄養のバランスの良い食事、適切な食品や調理方法の選択等について学び、生活の支援方法を身につける。
授業計画	<p>1 日本の食文化について 1 (時間外学習) 行事食についての小レポート作成 (1時間)</p> <p>2 日本の食文化について 2 (時間外学習) 郷土食についての小レポート作成 (1時間)</p> <p>3 栄養素各論 1 (時間外学習) 配布プリントを読んでおく (0,5時間) 炭水化物・脂質・たんぱく質についてのまとめプリント (1時間)</p> <p>4 栄養素各論 2 (時間外学習) 配布プリントを読んでおく (0,5時間) ミネラル・ビタミンについてのまとめプリント (1時間)</p> <p>5 消化と吸収 (時間外学習) 消化と吸収についてのまとめプリント (1時間)</p> <p>6 食品の分類 (時間外学習) 配布プリントを読んでおく (0,5時間) 食品についてのまとめプリント (1時間)</p> <p>7 食品群と献立作成 (時間外学習) 献立作成時の留意点についてのまとめプリント (1時間)</p> <p>8 調理の基本 (時間外学習) 調理の基本用語についてのまとめプリント (1時間)</p> <p>9 調理実習 1 (時間外学習) 実習記録の作成 (1時間)</p> <p>10 食の安全 (時間外学習) 教科書p227~228を読んでおく (0,5時間) 食中毒についてのまとめプリント (1時間)</p> <p>11 調理実習 2 (時間外学習) 実習記録の作成 (1時間)</p> <p>12 食生活の現状をテーマとしたグループワーク (時間外学習) 食生活によって起こる問題についてのまとめプリント (1時間)</p> <p>13 調理実習 3 (時間外学習) 実習記録の作成 (1時間)</p> <p>14 高齢者の栄養と食生活 (時間外学習) 高齢者の身体機能と食についてのまとめプリント (1時間)</p> <p>15 学修の振り返り (時間外学習) 食事のマナーについてのレポート作成 (0,5時間)</p>

学修に関する留意事項	テキスト及びプリントによる事前学習を課す。振り返りプリントをまとめて提出する。提出期限は厳守する。
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	
成績評価方法・基準	演習への取り組み（到達目標1. 2. 3） 40% 提出物（到達目標1, 2, 3） 40% 筆記試験（到達目標1） 20%
書名①	生活支援技術 I
著者名①	介護福祉士養成講座編集委員会編
出版社①	中央法規出版
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	
参考URL	
特記事項	食分野の基本的知識や日本の食文化について理解し、高齢者の食支援に必要な資質を育てましょう

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2	1	選択
担当教員			
村尾 悠			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
講義・演習	キャリア育成学科	2V3228	
添付ファイル			
応用生活支援技術ⅢR6年度.docx		学生配布用シラバス	

授業種類	授業担当教員 <input type="checkbox"/> 科目に関連した実務経験のある教員が担当している 科目に関連した実務内容 アクティブラーニング要素 <input type="checkbox"/> ディスカッション、ディベート <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク
テーマ	内部障害と難病の理解と支援
到達目標	1. 内部障害（心機能、呼吸機能、腎機能、膀胱・直腸機能、小腸機能、HIVによる免疫機能、肝機能）と難病（筋萎縮性側索硬化症（ALS）、パーキンソン病、悪性関節リウマチ、筋ジストロフィー）の症状の特徴と理解 2. 障害の特徴に合わせた生活上での観察・注意することへの理解
授業概要	内部障害の原因疾患について理解し、その利用者の状況に合わせた観察と援助の視点を学ぶ。難病の特徴を理解し、その利用者の状況に合わせた観察と援助の視点を学ぶ。
授業計画	1 授業のオリエンテーション、バイタルサイン・体の主な臓器と役割について 〈時間外学習〉バイタルサインと体のおもな臓器と役割について予習・復習する 2 心機能障害の理解と日常生活で観察・注意することについて 〈時間外学習〉心機能障害について復習する 介護福祉士養成講座⑧「生活支援技術Ⅲ」P75-90を読む 3 呼吸機能障害の理解と日常生活で観察・注意することについて 〈時間外学習〉呼吸機能障害について復習する 介護福祉士養成講座⑧「生活支援技術Ⅲ」P91-107を読む 4 腎機能障害の理解と日常生活で観察・注意することについて 〈時間外学習〉腎機能障害について復習する 介護福祉士養成講座⑧「生活支援技術Ⅲ」P108-120を読む 5 膀胱・直腸機能障害の理解と日常生活で観察・注意することについて 〈時間外学習〉膀胱・直腸機能障害について復習する 介護福祉士養成講座⑧「生活支援技術Ⅲ」P121-133を読む 6 小腸機能障害の理解と日常生活で観察・注意することについて 〈時間外学習〉小腸機能障害について復習する 介護福祉士養成講座⑧「生活支援技術Ⅲ」P134-145を読む 7 HIVによる免疫機能障害の理解と日常生活で観察・注意することについて 〈時間外学習〉HIVによる免疫機能障害について復習する 介護福祉士養成講座⑧「生活支援技術Ⅲ」P146-157を読む 8 肝機能障害の理解と日常生活で観察・注意することについて 〈時間外学習〉肝機能障害について復習する 介護福祉士養成講座⑧「生活支援技術Ⅲ」P158-169を読む 9 内部障害のある人への支援方法を考える 〈時間外学習〉内部障害のある人への支援方法が発表できるように準備を行う 10 内部障害のある人への支援方法の発表 〈時間外学習〉内部障害のある人への支援方法を復習する 介護福祉士養成講座⑧「生活支援技術Ⅲ」P75-169を読む 11 筋萎縮性側索硬化症（ALS）の理解と日常生活で観察・注意することについて 〈時間外学習〉筋萎縮性側索硬化症（ALS）について復習する 介護福祉士養成講座⑧「生活支援技術Ⅲ」P249-261を読む 12 パーキンソン病の理解と日常生活で観察・注意することについて 〈時間外学習〉パーキンソン病について復習する 介護福祉士養成講座⑧「生活支援技術Ⅲ」P262-276を読む 13 悪性関節リウマチの理解と日常生活で観察・注意することについて 〈時間外学習〉悪性関節リウマチについて復習する 介護福祉士養成講座⑧「生活支援技術Ⅲ」P277-292を読む 14 筋ジストロフィーの理解と日常生活で観察・注意することについて

	<p>〈時間外学習〉筋ジストロフィーについて復習する 介護福祉士養成講座⑧「生活支援技術Ⅲ」P293-305を読む</p> <p>15 難病のある人への支援方法を考え、発表する</p> <p>〈時間外学習〉難病のある人への支援方法を復習する 介護福祉士養成講座⑧「生活支援技術Ⅲ」P249-305を読む</p>
学修に関する留意事項	<p>内容が複雑なので、復習と予習をお願いします。 提出課題やレポートの決められたことは必ず守ってください。 小テストを行います。</p>
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	<p>小テストは返却します。 レポート課題の返却はしませんが、その他の課題は随時返却していきます。 評価が気になる方は評価の説明をします。</p>
成績評価方法・基準	<p>筆記試験（小テストを含む）（到達目標1.2）50% 授業の取り組み（到達目標1.2）20% 提出物（到達目標1.2）30%</p>
書名①	最新 介護福祉士養成講座8 生活支援技術Ⅲ
著者名①	編集) 介護福祉士養成講座編集委員会
出版社①	中央法規出版株式会社
書名②	最新 介護福祉士養成講座12 発達と老化の理解
著者名②	編集) 介護福祉士養成講座編集委員会
出版社②	中央法規出版株式会社
書名③	最新 介護福祉士養成講座14 障害の理解
著者名③	編集) 介護福祉士養成講座編集委員会
出版社③	中央法規出版株式会社
参考文献	
参考URL	
特記事項	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2	1	選択
担当教員			
服部 優子、東海林 藍			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
演習	キャリア育成学科	2V3229	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員</p> <p>■科目に関連した実務経験のある教員が担当している</p> <p>科目に関連した実務内容 介護福祉士</p> <p>アクティブラーニング要素</p> <p>■ディスカッション、ディベート ■グループワーク □プレゼンテーション ■実習、フィールドワーク</p>
------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	自立を尊重し、利用者の意欲を引き出す生活支援技術の習得
到達目標	1、自立支援や利用者の状態・状況に応じた潜在能力を引き出す介護技術が身についている。2、コミュニケーションを通して利用者の気持ちを考えながら生活支援を行うための基本的技術を実践することができる。
授業概要	「基礎生活支援技術」「応用生活支援技術」で学んだ知識・技術を総合し、利用者の状態・状況に応じた的確な介護実践ができるよう演習を行う。
授業計画	<p>1 介護実習Ⅱにおける介護技術の振り返り① ＜時間外学習＞（予習）実習メモや日誌等を参考に、実習Ⅱで各自がつまづいた援助内容についてノートにまとめること（120分）</p> <p>2 介護実習Ⅱにおける介護技術の振り返り②グループワーク 自分がどのような学びを得たか、どんな事に困ったかを他者と共有し、意見を交換しましょう。</p> <p>3 介護実習Ⅱにおける介護技術の振り返り③グループワーク 自分がどのような学びを得たか、どんな事に困ったかを他者と共有し、意見を交換しましょう。</p> <p>4 介護の原則（自立支援、個人の尊厳を守る、安全・安楽）の再確認 ＜時間外学習＞（復習）「尊厳を意識した声かけ」について考えノートにまとめること（20分）</p> <p>5 尊厳を意識したコミュニケーションを意識した演習① ＜時間外学習＞（復習）「尊厳を意識した環境」について考えノートにまとめること（20分）</p> <p>6 尊厳を意識したコミュニケーションを意識した演習② ＜時間外学習＞（復習）「尊厳を意識した身体の動き」について考えノートにまとめること（20分）</p> <p>7 自立支援を意識した演習① ＜時間外学習＞（復習）「自立支援を意識した介助」について考えノートにまとめること（30分）</p> <p>8 自立支援を意識した演習② ＜時間外学習＞（復習）「自立支援を意識した介助」について考えノートにまとめること（30分）</p> <p>9 安全・安楽（危険行為を避ける）を意識した技術① ＜時間外学習＞（予習）各自が苦手とする援助内容とその理由をノートに挙げておくこと（30分）</p> <p>10 安全・安楽（危険行為を避ける）を意識した技術②グループワーク ＜時間外学習＞各自が苦手とする援助内容を練習すること（60分）</p> <p>11 安全・安楽（危険行為を避ける）を意識した技術③グループワーク ＜時間外学習＞（復習）練習によって苦手な援助がどう変化したか、その理由をノートにまとめること（60分）</p> <p>12 安全・安楽（危険行為を避ける）を意識した技術④グループワーク ＜時間外学習＞（復習）練習によって苦手な援助がどう変化したか、その理由をノートにまとめること（60分）</p> <p>13 学習のふりかえり①</p> <p>14 学習のふりかえり②</p> <p>15 学習のふりかえり③</p>

学修に関する留意事項	介護福祉士として利用者の心身の状態に合わせた支援ができるよう、利用者像を想像しながら反復練習をしてください。
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	
成績評価方法・基準	授業の取り組み（到達目標1, 2）50% 試験50%
書名①	生活支援技術Ⅰ 最新 介護福祉士養成講座6
著者名①	介護福祉士養成講座編集委員会
出版社①	中央法規
書名②	生活支援技術Ⅱ 最新 介護福祉士養成講座7
著者名②	介護福祉士養成講座編集委員会
出版社②	中央法規
書名③	生活支援技術Ⅲ 最新 介護福祉士養成講座8
著者名③	介護福祉士養成講座編集委員会
出版社③	中央法規
参考文献	
参考URL	
特記事項	今までに学んだ授業のノートや実習日誌を活用することがあります。

講義科目名称： 人生と仏教Ⅱ

授業コード： 50050C

英文科目名称： Life and BuddhismⅡ

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1	2	必修
担当教員			
清水谷 正尊			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
講義	キャリア育成学科	2A2102	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員</p> <p>■科目に関連した実務経験のある教員が担当している</p> <p>科目に関連した実務内容</p> <p>アクティブラーニング要素</p> <p><input type="checkbox"/>ディスカッション、ディベート</p> <p><input type="checkbox"/>グループワーク</p> <p><input type="checkbox"/>プレゼンテーション</p> <p><input type="checkbox"/>実習、フィールドワーク</p>
------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	親鸞聖人の生涯とその教え
到達目標	1. 親鸞聖人の生涯とその教えを理解している。2. 自分の価値観が普遍的ではないことを知り、あらゆる存在がそれぞれ絶対的な尊厳性をもって生きていることに気づいている。3. 「生かされて生きている」者として、他を生かす活動を主体的に実践している。
授業概要	親鸞聖人の生涯とその教えを学ぶことを通して、人間の真相により深く迫るとともに、聖人の生き方に照らし、自らの人生を考える。
授業計画	<p>1 はじめに（縁起の復習）</p> <p>2 いろいろの仏教 <時間外学習>講義初めに前回講義の内容を確認するので、前回の講義の復習をしておくこと。 (30分)</p> <p>3 仏教行事（追弔会、10月14日）</p> <p>4 親鸞聖人の生涯1 <時間外学習>講義初めに前回講義の内容を確認するので、前回の講義の復習をしておくこと。 (30分)</p> <p>5 親鸞聖人の生涯2 <時間外学習>講義初めに前回講義の内容を確認するので、前回の講義の復習をしておくこと。 (30分)</p> <p>6 親鸞聖人の生涯3 <時間外学習>講義初めに前回講義の内容を確認するので、前回の講義の復習をしておくこと。 (30分)</p> <p>7 自力と他力 <時間外学習>講義初めに前回講義の内容を確認するので、前回の講義の復習をしておくこと。 (30分)</p> <p>8 阿弥陀仏 <時間外学習>講義初めに前回講義の内容を確認するので、前回の講義の復習をしておくこと。 (30分)</p> <p>9 念仏と信心 <時間外学習>講義初めに前回講義の内容を確認するので、前回の講義の復習をしておくこと。 (30分)</p> <p>10 聖道門と浄土門 <時間外学習>講義初めに前回講義の内容を確認するので、前回の講義の復習をしておくこと。 (30分)</p> <p>11 無慚無愧の自己・自他同一の世界 <時間外学習>講義初めに前回講義の内容を確認するので、前回の講義の復習をしておくこと。 (30分)</p> <p>12 仏教行事（報恩講、12月16日）</p> <p>13 親鸞聖人の生涯とその言葉 <時間外学習>講義初めに前回講義の内容を確認するので、前回の講義の復習をしておくこと。 (30分)</p> <p>14 阿弥陀仏の救い＝本当の人間になる <時間外学習>講義初めに前回講義の内容を確認するので、前回の講義の復習をしておくこと。</p>

	15 (30分) まとめ
学修に関する留意事項	授業で講義する内容は、日常生活の中でも確認できるものです。自分の日常生活の中で、仏教的な考え方を実践してみてください。後期中に時間外学習としてアンケートやレポート等の作成を行います。
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	
成績評価方法・基準	授業に対する取り組み（到達目標1）10% 試験（到達目標1・2・3）90%
書名①	仏教を読む－釈尊のさとり親鸞のおしえ－
著者名①	上山大峻
出版社①	本願寺出版社
書名②	「仏教なんて自分には関係がない」と考えている人が多いと思いますが、授業を通して、実は自分に関係のある身近な教えであることが分かってもらえると思います。人間として生きていく上で大切なものは何か、一緒に考えていきましょう。真宗高田派専修寺鑑学及び青巖寺住職としての実務経験があります。
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	授業の中で指示
参考URL	
特記事項	

講義科目名称：暮らしと数学

授業コード： 50340B

英文科目名称： Everyday Life and Mathematics

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1	2	選択必修
担当教員			
村野 温志			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
講義	キャリア育成学科	2A3110	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員</p> <p><input type="checkbox"/> 科目に関連した実務経験のある教員が担当している</p> <p>科目に関連した実務内容</p> <p>アクティブラーニング要素</p> <p><input type="checkbox"/> ディスカッション、ディベート</p> <p><input type="checkbox"/> グループワーク</p> <p><input type="checkbox"/> プレゼンテーション</p> <p><input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク</p>
テーマ	今まで学んできた数学を暮らしの中の事象で考えていくことによって、数学の楽しさ、必要性を体得し、社会での生きる力を養う。
到達目標	1. 数学の楽しさを知る。2. 一つ一つの事象の中に数学的な関係を見つけ、それを「数式」で表現することができる。3. 値のわかっていないものを含んだ簡単な等式（方程式）を解くことができ、その結果を正しく解釈し、物事をより深く理解することができる。4. 条件付の文から論理的な推論を積み上げて正しい結論に到達できる。
授業概要	数学の学び直しを主な課題とした授業で、「割合」、「速さ」、「濃度」、「確率」、「空間把握」など、数学的なことからの基礎的な部分を習得し、身につけた基礎的な数学力を暮らしの中で生かしていく一歩とするとともに、就職試験にも役立つ力を養う。
授業計画	<p>1 簡単な計算力のチェック</p> <p>2 割合、比の基礎力のチェック</p> <p>3 整数</p> <p>4 割合、比</p> <p>5 損益算、仕事算</p> <p>6 濃度算</p> <p>7 速さ</p> <p>8 場合の数</p> <p>9 確率</p> <p>10 推論</p> <p>11 判断推理</p> <p>12 空間把握</p> <p>13 資料の読み取り</p> <p>14 物流</p> <p>15 ブラックボックス</p>

学修に関する留意事項	授業は教員作成のプリントを使って行います。授業では遠慮なく質問してください。授業中に練習問題を解いてもらいます。
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	
成績評価方法・基準	筆記試験（到達目標 1, 2, 3）60% 授業中, および授業外の課題への取り組み（到達目標 1, 2, 3）40%
書名①	
著者名①	
出版社①	
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	文系学生のためのSPI3完全攻略問題集、最新！SPI3完全版 柳本新二
参考URL	
特記事項	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1	1	選択
担当教員			
江淵 剛			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
演習	キャリア育成学科	2G2201	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員</p> <p><input type="checkbox"/> 科目に関連した実務経験のある教員が担当している</p> <p>科目に関連した実務内容</p> <p>アクティブラーニング要素</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション、ディベート</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> グループワーク</p> <p><input type="checkbox"/> プレゼンテーション</p> <p><input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク</p>
テーマ	多様なキャリアを積んだロールモデルの講演から、社会に出るにあたり必要な力、社会が求める人物像、スキル、倫理観・社会性、責任感などを知る短・中・長期的キャリアを自らデザインする力を養う
到達目標	1. 業種、職種、就職先で必要とされる知識を理解して、自ら進路選択できるようになる 2. 短・中・長期的キャリアをデザインできるようになる 3. 協調性、積極性、コミュニケーション力を身につける
授業概要	WORK（仕事）とLIFE（生活）の調和のとおり方は人によって年代によって異なる。異なったキャリア構築をされてきた方、異なった職種や業種で活躍されている先輩をゲストスピーカーとして招き講演いただく。講演会は学生が主体となって、グループで担当し、役割分担をしながら実施する。短・中期のキャリアデザイン実現に向け、自己分析、ライフプラン・キャリアプランの作成などを行う。
授業計画	<p>1 オリエンテーション：講義の進め方・成績評価方法などの説明ゲストスピーカーによる講演の進め方キャリアデザイン、生涯キャリアの考え方 時間外学習：自身のライフプラン・キャリアプランをイメージする。講義の復習（30分）</p> <p>2 グループ分け、グループ内役割分担決定依頼状、礼状の書き方、レポートのまとめ方 ＜時間外学習＞ゲストスピーカーとの連絡、配布物の準備（担当グループ以下同じ）。講義の復習（30分）</p> <p>3 自身のキャリアプランを考える。キャリアプランシートの作成1ゲストスピーカーによる講演運営の予行 ＜時間外学習＞：ゲストスピーカーとの連絡、配布物の準備。講演会運営のイメージづくり・グループ内での役割分担確認（30分）</p> <p>4 ゲストスピーカーによる講演1、及び、講演会運営講演レポートの作成（各自） ＜時間外学習＞ゲストスピーカーとの連絡、配布物の準備、記録の作成。講演内容の振り返り（30分）</p> <p>5 ゲストスピーカーによる講演2、及び、講演会運営講演レポートの作成（各自） ＜時間外学習＞ゲストスピーカーとの連絡、配布物の準備、記録の作成。講演内容の振り返り（30分）</p> <p>6 ワークキャリアとライフキャリアについて（講義） ＜時間外学習＞ゲストスピーカーとの連絡、配布資料の準備。講義の復習（30分）</p> <p>7 グループディスカッションと発表。ゲストスピーカー1・2で学んだこと、印象に残った言葉、自分たちがこれからどう取り組むかなど ＜時間外学習＞：ゲストスピーカーとの連絡、配布資料の準備。グループディスカッションの振り返り（30分）</p> <p>8 ゲストスピーカーによる講演3、及び、講演会運営講演レポートの作成（各自） ＜時間外学習＞ゲストスピーカーとの連絡、配布物の準備、記録の作成。講演内容の振り返り（30分）</p> <p>9 ゲストスピーカーによる講演4、及び、講演会運営講演レポートの作成（各自） ＜時間外学習＞ゲストスピーカーとの連絡、配布物の準備、記録の作成。講演内容の振り返り（30分）</p> <p>10 ゲストスピーカーによる講演5、及び、講演会運営講演レポートの作成（各自） ＜時間外学習＞ゲストスピーカーとの連絡、配布物の準備、記録の作成。講演内容の振り返り（30分）</p> <p>11 職業選択について。男性のキャリア事例について（講義） ＜時間外学習＞ゲストスピーカーとの連絡、配布物の準備。グループディスカッションに向けてゲストによる講演の振り返り、講義の復習（1時間）</p> <p>12 グループディスカッションと発表。ゲストスピーカー3・4・5で学んだこと、印象に残った言葉、自分たちのこれからの取組など ＜時間外学習＞：ゲストスピーカーとの連絡、配布資料の準備。グループディスカッションの振</p>

	<p>13 繰り返し（30分） ゲストスピーカーによる講演6、及び、講演会運営講演レポートの作成（各自） <時間外学習>ゲストスピーカーとの連絡、記録の作成。講演内容の振り返り、キャリアプランシート作成に向け、自身のライフプラン・キャリアプランをイメージする（1時間）</p> <p>14 キャリアをデザインする：全体総括（講義）キャリアプランシートの作成2 <時間外学習>まとめの準備、高短キャンパスネット「キャリアカルテ」への入力（2時間）</p> <p>15 まとめ</p>
学修に関する留意事項	講演レポートでは講演内容をにまとめるだけでなく、自身がどのように感じ、どのように行動しようと考えたかなどを記述してください。講演については、準備からお礼状発信などアフターフォローまで、グループで協力・分担して実施してもらいます。グループとしての成果や各自の積極的関りを評価します。グループディスカッションへの取り組み状況も評価します。
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	
成績評価方法・基準	レポート（到達目標1.2）35% 筆記試験（到達目標1.2）30% 講演会運営（到達目標3）15% 取り組み姿勢（到達目標3）20%
書名①	特になし
著者名①	
出版社①	
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	特になし
参考URL	
特記事項	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1	1	選択
担当教員			
中畑 裕之、杉本 あゆみ			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
演習	キャリア育成学科	2G2202	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員</p> <p>■科目に関連した実務経験のある教員が担当している</p> <p>科目に関連した実務内容</p> <p>中畑は、前職の百五総合研究所にて雇用・労働問題、採用・定着に係る調査研究などを行っていました。また、地域企業向けの新入生研修に関わっていました。</p> <p>アクティブラーニング要素</p> <p>■ディスカッション、ディベート</p> <p>■グループワーク</p> <p>□プレゼンテーション</p> <p>□実習、フィールドワーク</p>
------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	短期的キャリアの目標を明確に定め、それを実現する方法を修得する。
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 短期的キャリアの目標を明確に設定できるようになる 2. 自身の目指す業界、職種に必要な力を理解し、それを身に付ける方法を見つける 3. 的確な自己分析を行い、それを文章や言葉で明確に表現できるようになる
授業概要	短期的キャリアを思考し、多角的なものの見方や考え方を身に付ける。 実社会で生き抜くために必要な力を身につける。
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 オリエンテーション 講義の目的。私にとっての「働く・就職する」とは？ 《時間外学習》就活への不安を克服するためにできること 30分 2 社会から求められる人になるために一社会で求められる力とは 《時間外学習》社会人基礎力向上に向けての行動計画 30分 3 自己分析① なぜ自分を知りたいのか 《時間外学習》マイナビ登録。診断ツール等を使用 4 自己分析② 環境をとおして自分を知る 《時間外学習》自身の価値観について考える 30分 5 自己分析③ 職業との関りから自分を知る 《時間外学習》身近な人の「職業」について調べる 30分 6 自己分析④ 「私らしさ」とは 《時間外学習》理解した「自分」を整理する 30分 7 業界・企業研究① 産業と職業 《時間外学習》業界研究セミナー面談希望先調査 8 業界・企業研究② 職業世界を眺める 《時間外学習》業界研究セミナー参加企業についての研究 30分 9 業界・企業研究③ 業界・企業研究（グループワーク） 《時間外学習》業界・企業研究ノート作成 60分 10 業界・企業研究④ 業界研究セミナーの振り返り 《時間外学習》業種・職種・企業の選択についてレポート 30分 11 自己PR作成 《時間外学習》180字、300字の自己PR文作成 60分 12 作文&小論文対策 《時間外学習》作文作成 30分 13 面接対策 《時間外学習》面接練習 30分 14 就活のマナー 《時間外学習》授業の振り返り 60分 15 まとめ

学修に関する留意事項	本講義は、主に卒業後の進路（就職）を見据えた短期的キャリアに焦点を置き、主体的にキャリアを描き実現できるようになることを目指しています。そのための自己理解、環境理解、産業や職業への理解は必須要件となります。ワークや自己分析ツールを活用し、自分自身を見つめなおす機会としてください。
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	
成績評価方法・基準	試験（到達目標1, 2, 3）40% 課題作成（到達目標2, 3）30% 授業に対する取組（到達目標1, 2, 3）30%
書名①	大学生のためのキャリアデザイン 「自分を知る・社会を知る・未来を考える」
著者名①	川崎友嗣編著
出版社①	ミネルヴァ書房
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	
参考URL	
特記事項	指示があるときはPCを持参してください。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1	1	選択
担当教員			
伊東 秀幸			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
演習	キャリア育成学科	2G2203	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員 □科目に関連した実務経験のある教員が担当している</p> <p>科目に関連した実務内容</p> <p>アクティブラーニング要素 □ディスカッション、ディベート ■グループワーク ■プレゼンテーション ■実習、フィールドワーク</p>
テーマ	就職活動に向けて、必要な知識、情報、スキルを身に付ける就職活動に自ら踏み出す力を付ける自身の進路選択を自立的に行うことが出来るようになる
到達目標	<p>1 履歴書・エントリーシートの作成、面接対応、就活に向けたビジネスマナーなど就活に必要なスキルが身に付く。</p> <p>2 地域の企業の方と意見交換を行ったり、就活イベントに積極的に参加するなど、一歩踏み出す力をつける。</p> <p>3 自己分析や業界研究・企業研究、職種・職業の理解などを基に、進路の選択を自立的に行えるようになる</p>
授業概要	<p>就職活動全般について教員より講義を行うほか、就職活動を成功させるために重要となる面接やビジネスマナー、メイクアップ、情報収集などのスキルについては、外部の専門家による実践的な授業を行う。</p> <p>また、進路先ともなる地域企業の方々と接したり、意見・情報交換を行う場を設けることで地域企業への理解を深め、企業等との間に感じている壁を低くし、就職活動に踏み出しやすくする。</p> <p>さらに、時間外学習として振り返りを行うことで、学んだことや自己の気づきの定着を図る。</p>
授業計画	<p>1 就職活動の流れ、全体像を知る。三重県の産業と求人・就職環境について。合同企業説明会・インターンシップについて。 ＜時間外学習：振り返りのレポートを作成30分＞</p> <p>2 社会体験実習反省会 ＜時間外学習：振り返りのレポートを作成30分＞</p> <p>3 企業訪問・面談等に向けてのビジネスマナー・所作等について（外部講師予定） ＜時間外学習：振り返りのレポートを作成30分＞</p> <p>4 採用選考の方法・流れ、履歴書・エントリーシート作成の注意点、面接・WEB面接の受け方等について（外部講師予定） ＜時間外学習：振り返りのレポートを作成30分＞</p> <p>5 業界研究セミナー。進路となる主要業界の方より当該業界につき説明。企業の方との情報交換、意見交換 ＜時間外学習：振り返りのレポートを作成30分＞</p> <p>6 業界研究セミナー。進路となる主要業界の方より当該業界につき説明。企業の方との情報交換、意見交換 ＜時間外学習：振り返りのレポートを作成30分＞</p> <p>7 業界・企業研究の進め方。自己PR、履歴書・エントリーシート作成の留意点（外部講師予定） ＜時間外学習：振り返りのレポートを作成30分＞</p> <p>8 個人面接練習、所作・ビジネスマナーの確認。キャリアカルテの入力と活用法、業界研究・企業研究 ＜時間外学習：振り返りのレポートを作成30分＞</p> <p>9 就活に向けてのメイクアップ講座（外部講師予定） ＜時間外学習：振り返りのレポートを作成30分＞</p> <p>10 集団面接講座（外部講師予定） ＜時間外学習：振り返りのレポートを作成30分＞</p> <p>11 集団面接講座（外部講師予定） ＜時間外学習：振り返りのレポートを作成30分＞</p> <p>12 企業の選び方、合同企業説明会参加の注意点、WEB面接の留意点、エントリーサイト登録（外部講師予定） ＜時間外学習：振り返りのレポートを作成30分＞</p>

	13	履歴書・エントリーシート作成、企業訪問、面接等に係る留意点、ビジネスマナー再確認 <時間外学習：振り返りのレポートを作成30分>
	14	就活イベントの参加（業界研究セミナー、合同企業説明会などの就活イベントにエントリーし、1回以上参加する。） <時間外学習：振り返りのレポートを作成30分>
	15	※第15回は2年生前期、4月に実施予定する 就職活動時の諸注意、就活イベント情報提供、キャリアカルテへの入力指導、内定後の対応について、就職活動状況の確認 <時間外学習：振り返りのレポートを作成30分> 関連して以下の就職講座を予定しているため、合わせて受講すること。 1年生前期にプレ就職講座として、SPI模擬試験、一般常識模擬試験の実施を予定。 2年生の前期に就職活動のフォローアップ講座、卒業前の2月に就職前講座の実施を予定。
学修に関する留意事項		卒業後就職を希望する学生は必ず受講してください。なお、次の講義の内容を念頭に、自身でも準備をして臨んでください。 1 1年生の後期から2年生前期（4月）にかけて、学年をまたいでの開講となります。通常の時間割とは異なり、別に講義時間を設定しますので、ガイダンスや掲示をよく確認してください。 2 受講にあたっては基本スーツ着用のこととします。
試験やレポート等の課題のフィードバック方法		課題が提出された翌週に、対面でフィードバックします。
成績評価方法・基準		提出物（振り返りのレポートなど：到達目標1、2、3）40% 取り組み姿勢（積極性、準備状況、取り組みの様子など：到達目標1、2、3）40% 受講態度（到達目標1、2）20%
書名①		
著者名①		
出版社①		
書名②		
著者名②		
出版社②		
書名③		
著者名③		
出版社③		
参考文献		『オフィスワークの教科書』
参考URL		
特記事項		オフィスワークコースの教員全員が関わる科目となります。皆さんの就職活動を全教員で支援します。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1	1	選択
担当教員			
野呂 健一、江淵 剛、鈴木 晴美			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
演習	キャリア育成学科	2G2205	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員 <input type="checkbox"/>科目に関連した実務経験のある教員が担当している</p> <p>科目に関連した実務内容</p> <p>アクティブラーニング要素 <input type="checkbox"/>ディスカッション、ディベート <input type="checkbox"/>グループワーク <input type="checkbox"/>プレゼンテーション <input type="checkbox"/>実習、フィールドワーク</p>
テーマ	就職試験における一般常識試験等に対応できる基礎学力の獲得
到達目標	1 一般常識試験等で求められる基礎学力を身につける 2 社会人として必要な幅広い教養を身につける 3 基礎学力や教養を向上させようとする意欲を高める
授業概要	短大での学びや就職試験のための基礎学力向上、及び、企業の筆記試験や公務員試験対策のため、一般常識（国語、英語、社会）や時事問題を取り扱う。毎回の授業では、問題演習を繰り返し行い、就職試験への意識を高める。
授業計画	<p>1 授業ガイダンス、国語①同音異義語、部首、ことわざ等／文章理解 <時間外学習>授業内容の復習、次回小テストの学習（30分）</p> <p>2 英語①時制、基本5文型、前置詞、助動詞 <時間外学習>授業内容の復習、次回小テストの学習（30分）</p> <p>3 社会①政治 <時間外学習>授業内容の復習、次回小テストの学習（30分）</p> <p>4 国語②四字熟語、同音異義語、同訓異字等／文章理解 <時間外学習>授業内容の復習、次回小テストの学習（30分）</p> <p>5 英語②接続詞、命令文、勧誘文、依頼文、感嘆文、疑問文 <時間外学習>授業内容の復習、次回小テストの学習（30分）</p> <p>6 社会②経済 <時間外学習>授業内容の復習、次回小テストの学習（30分）</p> <p>7 国語③ことわざ、四字熟語、故事成語等／文章理解 <時間外学習>授業内容の復習、次回小テストの学習（30分）</p> <p>8 英語③完了時制、受動態、不定詞・動名詞Ⅰ <時間外学習>授業内容の復習、次回小テストの学習（30分）</p> <p>9 社会③地理、日本史、世界史<時間外学習> <時間外学習>授業内容の復習、次回小テストの学習（30分）</p> <p>10 国語④対義語、同音異義語、和歌・俳句・文学史等／文章理解 <時間外学習>授業内容の復習、次回小テストの学習（30分）</p> <p>11 英語④不定詞・動名詞Ⅱ、現在分詞・過去分詞・分詞構文、比較 <時間外学習>授業内容の復習、次回小テストの学習（30分）</p> <p>12 社会④時事問題（政治、国際情勢、社会問題、技術・情報） <時間外学習>授業内容の復習、次回小テストの学習（30分）</p> <p>13 国語⑤故事成語・ことわざ、対義語、手紙文、四字熟語等／文章理解 <時間外学習>授業内容の復習、期末テストのための学習（1時間）</p> <p>14 英語⑤関係詞Ⅰ、関係詞Ⅱ、仮定法 <時間外学習>授業内容の復習、期末テストのための学習（1時間）</p> <p>15 社会⑤一般常識（自然科学、文化・芸術、雑学） <時間外学習>授業内容の復習、期末テストのための学習（1時間）</p>
学修に関する留意事項	授業冒頭に確認テストを実施する（第4回以降）。前回学んだ知識等を定着させるために必ず授業後に復習をしておくこと。また、時事問題対策として、新聞などに目を通しておくことが望まれる。

試験やレポート等の課題のフィードバック方法	
成績評価方法・基準	確認テスト（到達目標 1、2）40% 期末テスト（到達目標 1、2）30% 授業への取り組み（到達目標 3）30%
書名①	一般常識Drill
著者名①	
出版社①	実務教育出版
書名②	その他、随時プリントを配布します。
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	
参考URL	
特記事項	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1	2	選択
担当教員			
野呂 健一			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
講義・演習	キャリア育成学科	2H2300	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員</p> <p><input type="checkbox"/> 科目に関連した実務経験のある教員が担当している</p> <p>科目に関連した実務内容</p> <p>アクティブラーニング要素</p> <p>■ ディスカッション、ディベート</p> <p>■ グループワーク</p> <p>■ プレゼンテーション</p> <p><input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク</p>
------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	グループワークによるコミュニケーション能力の向上
到達目標	<p>1. 意見や立場の違いを理解したうえで、相手の情報を正しく受け止めることができる。</p> <p>2. 自分の持っている情報を分かりやすく、聞き手に伝えることができる。</p> <p>3. グループワークに、主体的に取り組むことができる。</p>
授業概要	ディスカッション、ロールプレイ等のグループワークや、プレゼンテーション、ディベート等の発表を行い、実践的なコミュニケーション能力の向上を目指す。また、グループでの話し合いでは、各自の気づきを共有することを大切にする。
授業計画	<p>1 授業ガイダンス</p> <p>2 聴き手に求められる力：話しやすい場を提供するための聴く姿勢や態度について学ぶ。 ＜時間外学習＞振り返りシートの提出（15分）</p> <p>3 受容的に聴く力：相手が自分の気持ちを受けとめられたと感じるような聴き方を身につける。 ＜時間外学習＞振り返りシートの提出、授業内容を踏まえた課題の提出（1時間）</p> <p>4 相手の気持ちを理解する力：自分の心の動きを客観的にとらえる力や、相手の立場に立って考える力を身につける。 ＜時間外学習＞振り返りシートの提出（15分）</p> <p>5 相手を意欲的にする力：他者を認め、ほめる体験を通して、相手の意欲を引き出す力について学ぶ。 ＜時間外学習＞振り返りシートの提出（15分）</p> <p>6 的確な指示を行う力：相手にわかりやすく的確に指示する話し方を学ぶとともに、相手の指示を理解し意図を推察するための聴き方を身につける。 ＜時間外学習＞振り返りシートの提出（15分）</p> <p>7 話を盛り上げ効果的に伝える力：より分かりやすく、印象に残るスピーチを行うために、話の内容に合ったハンドジェスチャーを行う。 ＜時間外学習＞振り返りシートの提出（15分）</p> <p>8 身振りで情報を伝える力：身振り・手振り・顔の表情など視角情報を駆使した情報伝達を体験する。 ＜時間外学習＞振り返りシートの提出（15分）</p> <p>9 自分も相手も大切にしたい対応を行う力：先輩、同僚、後輩に指示、注意をする際に必要となる話し方と態度を考える。 ＜時間外学習＞振り返りシートの提出、授業内容を踏まえた課題の提出（1時間）</p> <p>10 プレゼンテーションの筋書きを作る力：論理的な筋書きを作る方法を学ぶ。 ＜時間外学習＞振り返りシートの提出（15分）</p> <p>11 プレゼンテーションの実施：プレゼンテーションの論理的な筋書きを作り、発表後、相互評価を通じて自分のプレゼンテーションの改善点に気づくことができる。 ＜時間外学習＞プレゼンテーションの準備、振り返りシートの提出（30分）</p> <p>12 議論に負けない力：ディベートを通じて、自分の意見を論理的に主張し説得する方法を学ぶ。 ＜時間外学習＞振り返りシートの提出（15分）</p> <p>13 問題を明快に分析する力：ロジックツリーを用いて、複雑に絡み合った問題の原因を探る。 ＜時間外学習＞振り返りシートの提出（15分）</p>

	14 15	<p>解決策を提案する力：ロジックツリーを用いた目的分析の手法を用いて、複雑な問題に対する解決策を見つけ出し提案する。 <時間外学習>振り返りシートの提出、授業内容を踏まえた課題の提出（1時間）</p> <p>総合演習 <時間外学習>振り返りシートの提出（15分）</p>
学修に関する留意事項	授業では、議論と振り返りを中心とするグループワークを行うため、毎回の出席と積極的な参加が望まれる。また、授業内容を踏まえた課題（小レポート）を課すほか、プレゼンテーション実施回には、発表前後の準備と振り返りを行う必要がある。	
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	提出された課題（小レポート）については、評価及び適宜コメントを記入し返却する。	
成績評価方法・基準	授業への取り組み（振り返りシートの提出等）（目標1、2、3）60% 提出物（小レポート等）（目標1、2）40%	
書名①	なし（毎回、プリントを配布）	
著者名①		
出版社①		
書名②		
著者名②		
出版社②		
書名③		
著者名③		
出版社③		
参考文献		
参考URL		
特記事項	毎回様々な体験学習を経験することにより、円滑な人間関係のために必要なコミュニケーション能力の向上を目指します。「恥ずかしい」とか「照れくさい」という気持ちがあると学習に影響します。意欲的・積極的な参加が求められます。	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1	2	選択
担当教員			
野呂 健一			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
講義	キャリア育成学科	2H2101	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員</p> <p><input type="checkbox"/> 科目に関連した実務経験のある教員が担当している</p> <p>科目に関連した実務内容</p> <p>アクティブラーニング要素</p> <p><input type="checkbox"/> ディスカッション、ディベート</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> グループワーク</p> <p><input type="checkbox"/> プレゼンテーション</p> <p><input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク</p>
------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	論理的で分かりやすい文章を書く
到達目標	<p>1. 文章を書くために最低限必要な知識を身につける。</p> <p>2. 文章作成の手順を学び、現代社会で求められる文章能力を身につける。</p> <p>3. 電子メールや手紙文、エントリーシートなど様々なジャンルの文書が書けるようになる。</p>

授業概要	文章能力の向上には実際に書くことが不可欠であるため、毎回の授業や時間外学習において、文章作成の練習を繰り返す。また、授業冒頭に小テストを行い、語彙力の強化を図る。第8～10回授業では、グループでのレポート作成を行う。
------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------

授業計画	<p>1 オリエンテーション、文体の書き分け、あらたまった表現 ＜時間外学習＞課題の提出（30分）</p> <p>2 紹介文を書く1 ＜時間外学習＞小テストの準備、課題の提出（30分）</p> <p>3 紹介文を書く2 ＜時間外学習＞小テストの準備、課題の提出（30分）</p> <p>4 賛成・反対の意見文を書く1 ＜時間外学習＞小テストの準備、課題の提出（30分）</p> <p>5 賛成・反対の意見文を書く2 ＜時間外学習＞小テストの準備、課題の提出（30分）</p> <p>6 自分の変化についての説明文を書く ＜時間外学習＞小テストの準備、課題の提出（30分）</p> <p>7 社会的な変化についての説明文を書く ＜時間外学習＞小テストの準備、課題の提出（30分）</p> <p>8 レポートの準備・構成・書き方 グループワーク1 ＜時間外学習＞小テストの準備（10分）</p> <p>9 レポートの準備・構成・書き方 グループワーク2 ＜時間外学習＞小テストの準備、分担箇所の文章作成（1時間）</p> <p>10 レポートの準備・構成・書き方 グループワーク3 ＜時間外学習＞小テストの準備、レポートの完成（1時間）</p> <p>11 電子メールの書き方 ＜時間外学習＞小テストの準備、課題の提出（30分）</p> <p>12 手紙の書き方 ＜時間外学習＞小テストの準備、課題の提出（30分）</p> <p>13 履歴書・エントリーシート1 ＜時間外学習＞小テストの準備、課題の提出（30分）</p> <p>14 履歴書・エントリーシート2 ＜時間外学習＞小テストの準備、課題の提出（30分）</p> <p>15 学習の振り返り・まとめ ＜時間外学習＞学習内容の復習（30分）</p>
------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

学修に関する留意事項	各授業後、文章作成の課題を課すので、期限までに提出することが求められる。第8～10回ではグループワークでレポートを作成するため、必要に応じて授業時間外に情報交換や分担箇所の執筆を行う。また、基本的な語彙力（漢字の読み書き、四字熟語等）の小テストを毎回行う。
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	小テストや提出課題については、採点及びコメントを記入し次回授業時に返却する。また、全体に伝えるべき事項については、授業冒頭でフィードバックする。
成績評価方法・基準	小テスト（目標1）15% 提出課題（目標2, 3）45% 期末テスト（目標2, 3）40%
書名①	大学生のための文章表現練習帳 第2版
著者名①	坂東実子
出版社①	国書刊行会
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	
参考URL	
特記事項	文章能力を向上させるには「書く」練習を繰り返すしかありません。授業中に行う演習に積極的に取り組むのはもちろんのこと、課題についても欠かさず提出するようにしましょう。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1	1	選択
担当教員			
駒田 ゆき子			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
演習	キャリア育成学科	2H2203	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員 <input type="checkbox"/> 科目に関連した実務経験のある教員が担当している</p> <p>科目に関連した実務内容</p> <p>アクティブラーニング要素 <input type="checkbox"/> ディスカッション、ディベート <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク</p>
テーマ	海外旅行先でのさまざまな場面でのコミュニケーションに必要な語彙やフレーズを学ぶことを通して、英語や異文化に対する関心を深め、コミュニケーションの楽しさを実感する。
到達目標	1. 海外旅行先でのコミュニケーションに必要な語彙を習得する。2. 海外旅行先でのコミュニケーションに必要なフレーズを習得する。3. 海外旅行先でのさまざまな場面で、必要に応じて適切に会話ができる。
授業概要	この授業は以下のコンセプトで英語力を養っていきます。各ユニットの前半では一つの基本フレーズを学習し、そのフレーズを使って会話の練習をする。後半では、旅行先で読めると便利な内容や聞き取りなどの実践的なアクティビティに取り組む。時間外学習についてはその都度指示、説明します。
授業計画	<p>1 Introduction音声ファイルのダウンロード 授業の進め方とテキストの構成についての説明</p> <p>2 Unit 7 Shopping 1 <May I ~ ? ~してもいいですか。~できますか。> 基本語彙、基本フレーズの学習 時間外学習 授業で配布するWorksheetを完成させる (20分)</p> <p>3 Unit 7 Shopping 1 <May I ~ ? ~してもいいですか。~できますか。> 読解、リスニング、このユニットのまとめと復習 時間外学習 語彙やフレーズ、リスニングを中心に小テストの予習 (30分)</p> <p>4 Unit 7 の小テストUnit 8 Shopping 2 <I'm looking for ~. ~を探しているのですが> 基本語彙、基本フレーズの学習 時間外学習 授業で配布するWorksheetを完成させる (20分)</p> <p>5 Unit 8 Shopping 2 <I'm looking for ~. ~を探しているのですが> 読解、リスニング、このユニットのまとめと復習 時間外学習 語彙やフレーズ、リスニングを中心に小テストの予習 (30分)</p> <p>6 Unit 8 の小テストUnit 9 At the Post Office <How much is / are ~? ~はいくらですか> 基本語彙、基本フレーズの学習 時間外学習 授業で配布するWorksheetを完成させる (20分)</p> <p>7 Unit 9 At the Post Office <How much is / are ~? ~はいくらですか> 読解、リスニング、このユニットのまとめと復習 時間外学習 語彙やフレーズ、リスニングを中心に小テストの予習 (30分)</p> <p>8 Unit 9 の小テストUnit 10 Sightseeing 2 <Do you have ~? ~はありますか> 基本語彙、基本フレーズの学習 時間外学習 授業で配布するWorksheetを完成させる (20分)</p> <p>9 Unit 10 Sightseeing 2 <Do you have ~? ~はありますか> 読解、リスニング、このユニットのまとめと復習 時間外学習 語彙やフレーズ、リスニングを中心に小テストの予習 (30分)</p> <p>10 Unit 10 の小テストUnit 11 At the Restaurant <Could I have ~? ~をもらえますか> 基本語彙、基本フレーズの学習 時間外学習 授業で配布するWorksheetを完成させる (20分)</p> <p>11 Unit 11 At the Restaurant <Could I have ~? ~をもらえますか> 読解、リスニング、このユニットのまとめと復習 時間外学習 語彙やフレーズ、リスニングを中心に小テストの予習 (30分)</p> <p>12 Unit 11 の小テストUnit 12 At the Hospital / Pharmacy <I have ~ (症状) です。~があります> 基本語彙、基本フレーズの学習 時間外学習 授業で配布するWorksheetを完成させる (20分)</p>

	13	Unit 12 At the Hospital / Pharmacy < I have ~ ~ (症状) です。 ~があります> 読解、リスニング、このユニットのまとめと復習 時間外学習 語彙やフレーズ、リスニングを中心に小テストの予習 (30分)
	14	Unit 12 の小テストReview Unit 7-12の復習 (テキストp.108-111の解説) 時間外学習 Review Unit のWorksheet を完成させる (20分)
	15	これまでの総復習、Worksheet や小テストの振り返り、口頭での会話テスト、まとめのテスト
学修に関する留意事項	授業での会話の練習や発音練習など授業内でのアクティビティが大切です。積極的な授業参加を望みます。クラスメートや教師と積極的に英語を話す努力をすること。	
試験やレポート等の課題のフィードバック方法		
成績評価方法・基準	会話練習への取り組み (到達目標1, 2, 3) 25% 小テスト、Worksheet (到達目標1, 2) 25% まとめのテスト(到達目標1, 2, 3) 50%	
書名①	My First Trip 工藤多恵 著 センゲージラーニング(株)	
著者名①		
出版社①		
書名②		
著者名②		
出版社②		
書名③		
著者名③		
出版社③		
参考文献		
参考URL		
特記事項		

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1	1	選択
担当教員			
杉本 あゆみ			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
演習	キャリア育成学科	2I2201	
添付ファイル			

授業種類	授業担当教員 <input type="checkbox"/> 科目に関連した実務経験のある教員が担当している 科目に関連した実務内容 アクティブラーニング要素 <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション、ディベート <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク
------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	企業で働く際に必要となるビジネススキルの習得とサービス接客検定2級の取得を目指す。
到達目標	1. ビジネスマナーⅠで学んだ内容をもとに、総合的対応スキルを身に付ける。2. 様々な場面で発揮できる接客対応能力を身に付ける。3. 培った知識やスキル、ホスピタリティを活用し、サービス接客検定2級の取得を目指す。
授業概要	学んだ知識やスキルをビジネスの場面で総合的に発揮できるよう、実習を中心に実践練習を行う。
授業計画	1 オリエンテーション：前期授業の振り返りと後期授業の進め方説明 <時間外学習>サービス接客検定実問題集での学習 90分 2 サービス接客検定2級 模擬試験① <時間外学習>サービス接客検定実問題集での学習 90分 3 サービス接客検定2級 模擬試験② <時間外学習>サービス接客検定実問題集での学習 90分 4 サービス接客検定2級 模擬試験③ <時間外学習>サービス接客検定実問題集での学習 90分 5 サービス接客検定2級 模擬試験④ <時間外学習>サービス接客検定実問題集での学習 90分 6 ビジネス文書① <時間外学習>社内文書について理解を深める 90分 7 ビジネス文書② <時間外学習>社外文書について理解を深める 90分 8 ビジネス文書③ <時間外学習>社交文書について理解を深める 90分 9 来客対応① <時間外学習>授業で学んだ動作をスムーズにできるように練習する 90分 10 来客対応② <時間外学習>授業で学んだ動作をスムーズにできるように練習する 90分 11 来客対応③ <時間外学習>授業で学んだ動作をスムーズにできるように練習する 90分 12 総合演習① 来客対応実践 <時間外学習>授業で学んだ動作をスムーズにできるように練習する 90分 13 総合演習② 来客対応実践 <時間外学習>授業で学んだ動作をスムーズにできるように練習する 90分 14 総合演習③ 来客対応実践 <時間外学習>授業で学んだ動作をスムーズにできるように練習する 90分 15 まとめ <時間外学習>これまでの授業で学んだ内容を整理、復習する 90分
学修に関する留意事項	日常生活で自身が受けるサービスを意識し、学びを得るようにすること。授業では、演習や発表などでの積極的な取り組みを評価します。

試験やレポート等の課題のフィードバック方法	
成績評価方法・基準	授業に対する取り組み（到達目標 1、2）30% 総合演習（到達目標 1、2、3）40% 提出物（到達目標 1、3）30%
書名①	サービス接遇検定実問題集1-2級(第52回-第58回)
著者名①	公益財団法人実務技能検定協会 編
出版社①	早稲田教育出版
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	
参考URL	
特記事項	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1	1	選択
担当教員			
伊東 秀幸			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
演習	キャリア育成学科	2K2201	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員</p> <ul style="list-style-type: none"> ■科目に関連した実務経験のある教員が担当している <p>科目に関連した実務内容</p> <p>高等学校において、地域資源を活用した商品開発を指導し、観光関連団体や企業と連携して商品化を実現した。</p> <p>アクティブラーニング要素</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ディスカッション、ディベート ■グループワーク ■プレゼンテーション ■実習、フィールドワーク
------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	キャリア育成に関する専門的な知識や技能を地域社会で活かし、企画立案能力を向上させる。
-----	--------------------------------------------

到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 学内において習得した知識や技能の活用方法をチームの実態に応じて判断することができる。 2 キャリア育成に関する専門的な知識や技能を地域社会の実態に応じて表出することができる。 3 向上した企画立案能力を活かし、地域社会の課題をチームとして考察することができる。
------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

授業概要	キャリア育成に関する専門的な知識や技能の活用を目的として、津市の観光資源が持つ魅力をビジター向けにデザインする。演習を通じて、オフィスワーカーとして求められる企画立案能力の向上を目指す。
------	-----------------------------------------------------------------------------------------------

授業計画	<p>第1講 オリエンテーション（授業計画の確認） ＜時間外学習＞自身が考える観光の動機をスライドにまとめる。（30分）</p> <p>第2講 観光の動向 ＜時間外学習＞自身が望む観光地を国内と国外に分解してスライドにまとめる。（30分）</p> <p>第3講 世界の観光資源 ＜時間外学習＞世界の観光資源が持つ差異をスライドにまとめる。（30分）</p> <p>第4講 日本の観光資源 ＜時間外学習＞日本の観光資源が持つ差異をスライドにまとめる。（30分）</p> <p>第5講 三重県の観光資源 ＜時間外学習＞三重県の観光資源が持つ差異をスライドにまとめる。（30分）</p> <p>第6講 津市の観光資源 ＜時間外学習＞津市の観光資源が持つ差異をスライドにまとめる。（30分）</p> <p>第7講 政策課題の実態把握 ＜時間外学習＞津市の観光政策が持つ課題をスライドにまとめる。（30分）</p> <p>第8講 フィールドワークの実践 ＜時間外学習＞津市の観光資源が持つ魅力を若者目線でスライドにまとめる。（30分）</p> <p>第9講 フィールドワークの実践 ＜時間外学習＞津市の観光資源が持つ魅力を住民目線でスライドにまとめる。（30分）</p> <p>第10講 フィールドワークの実践 ＜時間外学習＞津市の観光資源が持つ魅力をビジター目線でスライドにまとめる。（30分）</p> <p>第11講 フィールドワークの実践 ＜時間外学習＞津市の観光資源が持つ魅力をビジター向けにデザインする方法をスライドにまとめる。（60分）</p> <p>第12講 報告準備 ＜時間外学習＞津市の観光資源が持つ魅力をビジター向けにデザインする課題をスライドにまとめる。（60分）</p> <p>第13講 予備報告 ＜時間外学習＞報告会の答弁書を作成する。（60分）</p> <p>第14講 報告会 ＜時間外学習＞報告会の評価に基づいてチームプロジェクト演習 I の報告書を作成する。（120分）</p> <p>第15講 振り返り ＜時間外学習＞チームプロジェクト演習 I の報告書に基づいてチームプロジェクト演習 II の活動</p>
------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

	計画書を作成する。(60分)
学修に関する留意事項	本学の学生は、津市の地域住民に間近で寄り添える頼もしい存在です。地域住民の郷土愛を可視化し、持続可能な地域づくりを実現してください。
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	課題が提出された翌週に、対面でフィードバックします。
成績評価方法・基準	毎時の振り返り(到達目標1、2) 10% スライドの内容(到達目標1、2) 50% 報告会の内容(到達目標2、3) 20% 報告書の内容(到達目標2、3) 10% 活動計画書の内容(到達目標2、3) 10%
書名①	『観光ビジネス』商業739
著者名①	徳江順一郎監修 伊東秀幸・笠木秀樹・小見山秀彦・櫻井潤著
出版社①	東京法令出版
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	
参考URL	
特記事項	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1	1	必修
担当教員			
野呂 健一			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
演習	キャリア育成学科	2M2200	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員</p> <p><input type="checkbox"/> 科目に関連した実務経験のある教員が担当している</p> <p>科目に関連した実務内容</p> <p>アクティブラーニング要素</p> <p>■ ディスカッション、ディベート</p> <p>■ グループワーク</p> <p>■ プレゼンテーション</p> <p><input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク</p>
------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語表現能力及びコミュニケーション能力の向上 ・母語である日本語に対する理解
-----	-----------------------------------------------------------------------------------------------------

到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 自分の考えを文章及び口頭で明確かつ適切に伝えることができる。 2. 身近な言葉に対する疑問を取り上げ、調査・分析を行い、資料を作成して発表することができる。 3. 言葉（日本語）やコミュニケーションに対する理解を深める。
------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

授業概要	<p>言葉やコミュニケーションに関するテーマを各自が選び、文献の講読等で調べたことをもとに発表を行う。また、ゼミ活動の一環として、統一したテーマのもとに小グループに分かれ調査を行い、報告書にまとめる。昨年度は、新語についての調査を行った。今年度取り上げるテーマは、ゼミ生と相談して決定する。</p>
------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

授業計画	<p>1 オリエンテーション</p> <p>2 展示発表準備 ＜時間外学習＞進捗状況に応じて発表準備を進める（1時間）</p> <p>3 展示発表準備 ＜時間外学習＞進捗状況に応じて発表準備を進める（1時間）</p> <p>4 グループワーク説明 ＜時間外学習＞グループワークで扱うテーマについて検討する（1時間）</p> <p>5 グループ活動① ＜時間外学習＞グループ協議の結果をもとに、各自の調査を行う（1時間）</p> <p>6 グループ活動② ＜時間外学習＞グループ協議の結果をもとに、各自の調査を行う（1時間）</p> <p>7 グループ活動③ ＜時間外学習＞グループ協議の結果をもとに、各自の調査を行う（1時間）</p> <p>8 グループ活動④ ＜時間外学習＞グループ協議の結果をもとに、各自の調査を行う（1時間）</p> <p>9 グループ活動⑤ ＜時間外学習＞グループ協議の結果をもとに、各自の調査を行う（1時間）</p> <p>10 分析結果の発表① ＜時間外学習＞グループ発表に備えスライド作成等の準備を行う（1時間）</p> <p>11 分析結果の発表② ＜時間外学習＞グループ発表に備えスライド作成等の準備を行う（1時間）</p> <p>12 分析結果の修正 ＜時間外学習＞修正意見やコメントをもとに分析結果を修正する（1時間）</p> <p>13 活動報告書のまとめ ＜時間外学習＞活動報告書の作成に向けて、分析結果修正を完成させる（1時間）</p> <p>14 卒業研究レポート発表会に参加 ＜時間外学習＞過去の卒業研究レポートを読み、自分の研究の方向性を検討する（2時間）</p> <p>15 まとめ、春季休暇中の課題指示 ＜時間外学習＞春季休暇中の目標を立てる（30分）</p>
------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

学修に関する留意事項	・日本語表現能力及びコミュニケーション能力の向上を目指すゼミナールであるため、本ゼミナール生は「コミュニケーションスキル」「文書技法」「プレゼンテーション」を必ず履修してください。
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	
成績評価方法・基準	授業に対する取り組み（目標 1, 3）20% グループ活動、発表（目標 1, 2, 3）40% 提出物（目標 1, 3）40%
書名①	必要に応じて、随時プリント等を配付します。
著者名①	
出版社①	
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	
参考URL	
特記事項	このゼミでは、普段意識せず使っている言葉や私たちのコミュニケーションをテーマに、自分自身で問題点を発見し解決していく姿勢を身につけます。TV・新聞等で用いられる日本語や自身の言語生活に見られる、言葉の微妙な使い分けや言葉の変化に関心のある人は、ぜひ参加してください。また、ゼミ生には日頃から自らの言葉の使い方について意識を向けるように指導していますので、言葉遣いやマナーの向上にもつながると思います。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1	1	必修
担当教員			
江淵 剛			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
演習	キャリア育成学科	2M2200	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員</p> <p>■科目に関連した実務経験のある教員が担当している</p> <p>科目に関連した実務内容 年金資産運用の投資判断における経済、資産運用環境見通しの取り纏め</p> <p>アクティブラーニング要素</p> <p>■ディスカッション、ディベート ■グループワーク ■プレゼンテーション ■実習、フィールドワーク</p>
------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	経済に関する基礎的知識の習得を目指します。学内での演習では、国内経済や地域経済についてデータ（数字）を確認しながら経済を身近に捉えます。学外での現地調査では、地域経済の実態に触れ、「経済」を実践的に学びます。
-----	----------------------------------------------------------------------------------------------------------

到達目標	<p>1. 経済に関する基礎的知識を身に付け、自らの興味や関心のある事項について進んで調べることができるようになる。</p> <p>2. 地域での実地調査を通じて地域経済の特色について自らの視点で考えることができるようになる。</p> <p>3. 演習形式での授業や活動を通じてゼミのメンバーと協力、協調し役割分担しながら取り組むことができるようになる。</p>
------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

授業概要	経済の基礎的知識を備えるとともに、実地調査を通じて地域経済の実態に触れることで身近なこととして「経済」を実践的に学びます。
------	---------------------------------------------------------------

授業計画	<p>1 オリエンテーション ゼミの進め方、経済（日本経済）に関するテキストに基づく調査割り振り（輪読/日本経済についてデータで捉える①） 〈授業外学習〉 輪読の担当となった箇所の調査（1時間）</p> <p>2 日本経済についてデータで捉える②、学園祭の検討 〈授業外学習〉 輪読の担当となった箇所の調査（1時間）</p> <p>3 地域経済実地調査の説明（地域経済の視点） 〈授業外学習〉 輪読の担当となった箇所の調査（1時間） 実地調査対象地域について調べる（30分）</p> <p>4 経済についての調査報告①、実地調査に向けた準備、ディスカッション 〈授業外学習〉 輪読の担当となった箇所の調査（1時間） 実地調査対象地域について調べる（30分）</p> <p>5 実地調査（学外） 〈授業外学習〉 フィールドワーク振り返り（1時間）</p> <p>6 実地調査振り返り 〈授業外〉 輪読の担当となった箇所の調査（1時間）</p> <p>7 経済、地域経済について 経済についての調査報告② 〈授業外学習〉 輪読の担当となった箇所の調査（1時間） ニュースや新聞等で経済（地域経済）に関する出来事を見ておく（30分）</p> <p>8 経済、地域経済について 経済についての調査報告③ 〈授業外学習〉 輪読の担当となった箇所の調査（1時間） ニュースや新聞等で経済（地域経済）に関する出来事を見ておく（30分）</p> <p>9 グループワーク① 実地調査や講義、自身の調査に基づく問題意識（視点）に基づいて地域と協同で活動するアイデアについて考える。 〈授業外学習〉 地域経済に関する自らの視点について、他メンバーにも伝わるように整理する。（1時間） ニュースや新聞等で経済（地域経済）に関する出来事を見ておく（30分）</p> <p>10 グループワーク②</p>
------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

11	<p>実地調査や講義、自身の調査に基づく問題意識（視点）に基づいて地域と協同で活動するアイデアについて考える。</p> <p><授業外学習> 地域経済に関する自らの視点について、他メンバーにも伝わるように整理する。（1時間） ニュースや新聞等で経済（地域経済）に関する出来事を見ておく（30分）</p> <p>グループワーク③</p>
12	<p>実地調査や講義、自身の調査に基づく問題意識（視点）に基づいて地域と協同で活動するアイデアについて考える。</p> <p><授業外学習> 地域経済に関する自らの視点について、他メンバーにも伝わるように整理する。（1時間） ニュースや新聞等で経済（地域経済）に関する出来事を見ておく（30分）</p> <p>グループワークのふりかえり①</p>
13	<p>実地調査やグループワークを振り返り、今後の地域との協同活動に向けた具体的アイデアや課題について検討する。</p> <p><授業外学習> 地域経済に関する自らの視点について、他メンバーにも伝わるように整理する。（1時間） ニュースや新聞等で経済（地域経済）に関する出来事を見ておく（30分）</p> <p>グループワークのふりかえり②</p>
14	<p>実地調査やグループワークを振り返り、今後の地域との協同活動に向けた具体的アイデアや課題について検討する。</p> <p><授業外学習> 地域経済に関する自らの視点について、他メンバーにも伝わるように整理する。（1時間） ニュースや新聞等で経済（地域経済）に関する出来事を見ておく（30分）</p> <p>グループワークのふりかえりと報告書作成①</p>
15	<p>実地調査やグループワークの振り返り、今後の地域との協同活動に向けた具体的アイデアや課題、ゼミナールⅡでの取り組み方針等を取りまとめる。</p> <p><授業外学習> 地域経済に関する自らの視点について、他メンバーにも伝わるように整理する。（1時間） ニュースや新聞等で経済（地域経済）に関する出来事を見ておく（30分）</p> <p>グループワークのふりかえりと報告書作成②</p>
学修に関する留意事項	<p>ゼミナールでの活動への積極的な取り組みを重視します。調査報告や学園祭などの場では、ゼミメンバーとの協力が不可欠となります。自身の役割を意識した上で主体的な参加を期待します。</p> <p>また、地域での実地調査等の際には地域の方とのコミュニケーションやマナーも大切となります。</p> <p>地域経済について学んだ内容を活かしながら、「経済」の視点から「地域」を考え、また、見るようにしてください。</p>
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	
成績評価方法・基準	<p>実地調査、グループワークに対する取り組み状況：積極性やスキルの発揮（到達目標 2.3）40%</p> <p>グループ活動への貢献：リーダーシップ、協調性、責任感、規律（到達目標 3）40%</p> <p>経済学に係る感覚・知識（到達目標 1）20%</p>
書名①	『ビジュアル日本経済の基本 第5版』
著者名①	小峰 隆夫
出版社①	日本経済新聞出版
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	
参考URL	
特記事項	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1	1	必修
担当教員			
川喜田 多佳子			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
演習	キャリア育成学科	2M2200	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員</p> <ul style="list-style-type: none"> ■科目に関連した実務経験のある教員が担当している <p>科目に関連した実務内容</p> <p>東海三県自治体・民間企業等での職員研修講座の企画・講師（PC関係）</p> <p>アクティブラーニング要素</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ディスカッション、ディベート ■グループワーク ■プレゼンテーション ■実習、フィールドワーク
テーマ	サービス・ラーニングによるチームワークの実践1パソコン講座運営と商業デザインや情報分野の探求活開と、ゼミ単位でのボランティア活動に「情熱」を注ぐ
到達目標	1. 学園祭、ボランティアなどのゼミ活動に向け、活発な意見と行動ができる 3. 情報を伝えるためのプレゼンテーションやデモンストレーションができる 2. 自身のパソコンスキルの向上に加え、わかりやすい表現で人に教えることもできる。
授業概要	学祭にむけ、来場者と共に自分たちも楽しめる企画を考えていきます。また、2年生から引き継ぐ「地域の方向け学内実施のパソコン講座」運営に向け、インストラクションや参加者への接遇スキルを固めていきます。教員担当のオープンキャンパスブース運営にも積極的にに関わりながら、アシスタントとしての正しい姿勢やマナーも磨いていきます。
授業計画	<p>1 全体ガイダンス（スキルアワード、今後の流れについて）、ゼミガイダンス（ゼミナール I の進め方）</p> <p>2 高短祭模擬店アイデアとゼミポスター発表テーマについて ・高短祭についてのアイデア話し合いとゼミポスター発表について ポスター発表資料は、各自平行して進めていく。</p> <p><時間外学習>ゼミGoogleクラスルームでメンバーと活発な意見交換をしながら学祭テーマをつめる（60分）</p> <p>3 高短祭模擬店準備 ・高短祭ブース準備 <時間外学習>課外時間にゼミメンバーと協力し、必要物品や模擬店ブース作成活動を行う。</p> <p>4 課題発表：パソコン講座アシスタントの所作やマナーについて 内容の検討、役割について <時間外学習>メンバーのフィードバックを元にデモンシナリオを見直し修正（30分）</p> <p>5 課題発表：インストラクションの種類を知る1 インストラクションとはパソコン講座の準備2 ・講座カリキュラム表とタイムテーブルの編集 ・オリジナルテキスト作成（見出し、スタイルの検討） <時間外学習>講師カリキュラム、タイムテーブルの作成（1時間）</p> <p>6 課題発表：インストラクションの種類を知る2 インストラクションとはパソコン講座の準備2 ・講座カリキュラム表とタイムテーブルの編集 ・オリジナルテキスト作成（見出し、スタイルの検討） <時間外学習>メンバーのフィードバックを元に講師カリキュラムとタイムテーブルを見直し修正（30分）</p> <p>7 課題発表：インストラクションの種類を知る3 プレゼンテーションとは -レポート資料とスライドデザインの違いを知るパソコン講座の準備 ・質問の仕方・受け方の手法 ・タイムテーブル、テキストの編集 <時間外学習>調べた情報関連記事、周辺機器情報プレゼンテーションの作成（1時間）</p> <p>8 課題発表：インストラクションの種類を知る3 プレゼンテーションとは -レポート資料とスライドデザインの違いを知るパソコン講座の準備 ・質問の仕方・受け方の手法 ・タイムテーブル、テキストの編集 <時間外学習>調べた情報関連記事、周辺機器情報プレゼンテーションの作成（1時間）</p> <p>9 パソコン講座運営活動準備 パソコン講座で求められるソーシャルスキルとは ・全体プログラムの確認 ・グループ内インストラクション練習（相互評価を行う） <時間外学習>友達や家族と質問の受け方、返し方のロールプレイングを行う（30分）</p> <p>10 パソコン講座運営活動準備 ・全体プログラムの確認 ・グループ内インストラクション練習（相互評価を行う）</p>

	<p>11 <時間外学習>全体の流れを把握し、自分の担当箇所については持ち時間内で実施できるようイメージトレーニングをしておく (1時間) パソコン講座運営活動準備 ・全体プログラムの確認 ・グループ内インストラクション練習 (相互評価を行う)</p> <p>12 <時間外学習>全体の流れを把握し、自分の担当箇所については持ち時間内で実施できるようイメージトレーニングをしておく (1時間) パソコン講座最終確認 ・役割確認、事前準備</p> <p>13 <時間外学習>自分がインストラクションする項目について、家族の前で教えて見る (1時間) パソコン講座最終確認 ・備品の準備、参加者配布物の確認</p> <p>14 <時間外学習>参加者層のキャラクターはどのような特徴がある世代なのかなどを調べ、感じの良い対応所作やよい雰囲気作りについて考えてみる (60分) パソコン講座最終確認 ・様々なシーンを想定した動きを確認する 参加者を和ませるタイミング、とっさのトラブル対処法</p> <p>15 <時間外学習>参加者層のキャラクターはどのような特徴がある世代なのかなどを調べ、感じの良い対応所作やよい雰囲気作りについて考えてみる (60分) 1年の振り返り、今後の活動スケジュール確認 <時間外学習>パソコン教室は15回終了後でのボランティア活動となるが、メンバーで密に連絡を取りながら、活動を継続する。</p>
学修に関する留意事項	<p>9月・2月に実施予定である学内実施のパソコン講座運営にむけゼミ活動でボランティアを行います。「静かに黙って人任せでいよう」「私が一人全部やった方が良い」「自分のためになることだけしよう」「一人で興味のあることだけに没頭したい」と思っている人はこのゼミには向きません。正解のない意見をドシドシ出し合っていこう。かげがえのない仲間との出会いを大切に、特別なものに。サービス・ラーニングの実践を通し、チームの団結力を高めていきましょう。 また、日頃から身の回りにある身近な品物、さらにはコンピューター利活用や周辺機器、にこだわりと興味を持ち知識を高めましょう。</p>
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	<p>授業内、全体に向けフィードバックをし、互いを評価する姿勢とその内容を反映する。 最終レポートの提出。</p>
成績評価方法・基準	<p>高短祭・パソコン講座運営、教員指定のボランティア活動取り組み姿勢 (到達目標1, 2, 3) 60% 提出物(企画案、シナリオ等) (到達目標1, 2) 40%</p>
書名①	適宜プリントを配布する
著者名①	
出版社①	
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	<p>・あらゆることが好転していくご挨拶の法則 林田正光 あさ出版 ・メモが変わる「絵文字」の技術 永田 豊志 中経出版</p>
参考URL	
特記事項	<p>9月、2月に実施する地域の方を対象にしたパソコン教室運営メンバーとして、教員担当のオープンキャンパスコーナー運営メンバーの中心として課外活動も行います。ゼミ内ではインストラクション・デモンストレーション・プレゼンテーションの各スキルに加え、ソーシャルスキルを織り交ぜた所作を身につけていきます。日頃から新しい技術や機器事情に視野を広げ、課題探求のテーマを絞り込んで欲しいと思います。 6月には川喜田ゼミ限定で依頼されたボランティアが入ってきました。就活の自己PRエピソードを膨らませていこう。</p>

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1	1	必修
担当教員			
杉本 あゆみ			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
演習	キャリア育成学科	2M2200	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員 □科目に関連した実務経験のある教員が担当している</p> <p>科目に関連した実務内容</p> <p>アクティブラーニング要素</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ディスカッション、ディベート ■グループワーク ■プレゼンテーション ■実習、フィールドワーク
------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	テーマ：地域探究プログラム【自身の住む地域を深く理解する】
到達目標	1. チームによる協働を通じて産業・経済・文化その他、様々な角度から地域の姿を理解し、課題を見出し、解決方法を構想することができる。 2. 状況を的確に判断し、改善のための方策を提案し、解決できる。 3. 地域企業等と連携して課題を見出し、解決に向けた活動を構想できる。
授業概要	特定の地域について、産業・経済・文化その他、様々な観点から課題を見出し、自ら研究活動を行う。学外での情報・資料収集のためのフィールドワーク手法を身に付け、グループ内での話し合いを通じて課題解決策を探る。
授業計画	<p>1 オリエンテーション 学習の流れ、評価方法等の説明 ＜時間外学習＞研究テーマに繋がる興味のある事柄について考える 90分</p> <p>2 研究テーマに沿った研究計画を立てる ＜時間外学習＞自分の役割に合わせた研究計画を立てる 90分</p> <p>3 研究計画に沿って具体的な分担や日程を検討する ＜時間外学習＞研究対象施設について調べる 90分</p> <p>4 ゼミメンバーで話し合い、研究方法について検討を加える ＜時間外学習＞研究方法、研究の流れについて考える 90分</p> <p>5 テーマに沿った研究活動①文献調査など ＜時間外学習＞調査内容を整理し、まとめる 90分</p> <p>6 テーマに沿った研究活動②結果整理など ＜時間外学習＞調査内容を整理し、まとめる 90分</p> <p>7 テーマに沿った研究活動③検討提案など ＜時間外学習＞調査内容を整理し、まとめる 90分</p> <p>8 中間発表に向けた準備 ＜時間外学習＞中間発表資料を仕上げる 90分</p> <p>9 中間発表 討論 ＜時間外学習＞発表後の討論内容を踏まえ、今後の研究計画を見直す 90分</p> <p>10 テーマに沿った研究活動④内容追加など ＜時間外学習＞調査内容を整理し、まとめる 90分</p> <p>11 テーマに沿った研究活動⑤内容整理など ＜時間外学習＞調査内容を整理し、まとめる 90分</p> <p>12 テーマに沿った研究活動⑥内容分析など ＜時間外学習＞調査内容を整理し、まとめる 90分</p> <p>13 研究の仕上げ、発表資料の作成 ＜時間外学習＞発表資料を作る 90分</p> <p>14 研究発表準備 ＜時間外学習＞発表資料を仕上げる 90分</p> <p>15 研究発表 総括 ＜時間外学習＞今後の研究にどう繋げるかを考える 90分</p>

学修に関する留意事項	主体的にフィールドワークに取り組んでください。また、グループメンバーと協力しながら積極的に取り組む意識を持って参加してください。さらに、この授業を通じて、地域の方々と接する際のマナーやコミュニケーション力、調査を行うにあたってのデータの収集・分析力を身に付けられるようにしてください。
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	
成績評価方法・基準	フィールドワークに対する取り組み状況、積極性やスキルの発揮（到達目標1、2、3）40% グループ活動への貢献度、リーダーシップ、協調性、責任感（到達目標1、2、3）40% 地域理解度（到達目標1、2、3）20%
書名①	
著者名①	
出版社①	
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	
参考URL	
特記事項	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1	1	必修
担当教員			
東海林 藍			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
演習	キャリア育成学科	2M2200	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員 <input type="checkbox"/> 科目に関連した実務経験のある教員が担当している</p> <p>科目に関連した実務内容</p> <p>アクティブラーニング要素 <input type="checkbox"/> ディスカッション、ディベート <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク</p>
テーマ	介護福祉士に必要な基礎知識を深め、協調性や探求心を育み、介護福祉についての基礎力を身につける
到達目標	1. ヒト、命、暮らしを見つめなおすことを通じて、介護福祉について自己の考えを持てるような基礎力を身につける。2. 介護福祉について自分の意見を持ち、人に伝え、言葉で表現できる力及び他者の意見を聴く態度を身につける。
授業概要	ヒト、命、暮らしを見つめなおすことを通じて、介護福祉に関する自分の身近な課題について調べたいと思えるように授業を進める。リーダーを中心に協調性を持って課題解決に自ら取り組めるよう行動することを学ぶ。
授業計画	<p>1 オリエンテーション：ゼミナール I の学習の流れを説明する。高短祭の事前準備、役割分担等をリーダーを中心に計画する。 〈時間外学習〉（予習）新聞や関連図書を読み、介護福祉に関心を持つ。（30分）／（復習）ゼミナール I のテキストを読む。（20分）</p> <p>2 ゼミナール I のレポート作成について学ぶ（介護福祉に関連した自分の取り組みたい課題を探す） ①。高短祭の事前準備、模擬店運営に関する情報収集、仕入れ値段や予算管理などを話し合い合意形成をする。 〈時間外学習〉（予習）新聞や関連図書を読み、介護福祉に関心を持つ。（30分）／（復習）高短祭事前準備の確認と個々の役割の遂行。（30分）</p> <p>3 ゼミナール I のレポート作成について学ぶ（介護福祉に関連した自分の取り組みたい課題を探す） ②。高短祭の役割確認、当日と前日の必要な行動の確認。 〈時間外学習〉（予習）新聞や関連図書を読み、介護福祉に関心を持つ。（30分）／（復習）高短祭に向けた最終調整。（60分）</p> <p>4 資料・文献・情報等の活用法について（介護福祉に関連した自分の取り組みたい課題を絞る）、高短祭の振り返り。 〈時間外学習〉（予習）ゼミナール I テキスト等を参考に自己の取り組み課題を明確にする。（30分）／（復習）介護福祉に関する情報収集を行う。（30分）</p> <p>5 ゼミレポート・報告の書き方（介護福祉に関連した自分の取り組みたい課題について表現する） ①、ゼミナール I テキストを使って説明する。 〈時間外学習〉（予習）ゼミナール I テキスト等を参考に自己の取り組み課題を明確にする。（30分）／（復習）介護福祉に関する情報収集を行う。（30分）</p> <p>6 ゼミレポート・報告の書き方（介護福祉に関連した自分の取り組みたい課題について表現する） ②、レポートの骨子を作成する。 〈時間外学習〉（予習及び復習）自分の考えを文章にまとめる練習をする。（60分）</p> <p>7 ゼミレポートの作成（各自、教員の個別指導を受ける） 〈時間外学習〉（予習及び復習）自分の考えを文章にまとめる練習をする。教員から指導された内容を反映させレポート作成を進める。（60分）</p> <p>8 中間報告（各自の課題についてゼミナール生同士伝えあい、意見を聴く） 〈時間外学習〉（予習）中間報告の準備を行う。（60分）／（復習）意見を反映させ内容を吟味する。</p> <p>9 ゼミレポートの作成（各自、教員の個別指導を受ける） 〈時間外学習〉（予習及び復習）自分の考えを文章にまとめる。教員から指導された内容を反映させレポート作成を進める。（60分）</p> <p>10 ゼミレポートの完成を目指す。完成させた者からパワーポイントで発表抄録を作成する。 〈時間外学習〉（予習）教員から指導された内容を反映させレポート作成を進める。（60分）／（復習）ゼミ内での報告会資料を作成する。（60分）</p> <p>11 ゼミ内での報告会 ゼミナールの学生同士で報告し合い、合同報告会の代表者を決める① 〈時間外学習〉（予習）時間内に発表できるよう練習する。（60分）</p>

	12	2年生のゼミナール合同報告会に参加する。報告会の持ち方、プレゼンテーションの方法等を学ぶ。 〈時間外学習〉 〈復習〉 自己のレポート内容の再修正を行う。(60分)
	13	ゼミ内での報告会 ゼミナールの学生同士で報告し合い、合同報告会の代表者を決める② 〈時間外学習〉 〈復習〉 教員から指導された内容を反映させ自身の関心事をまとめレポートを完成する。(60分) 各自の役割が果たせるよう準備する。(30分)
	14	発表抄録をまとめ介護福祉コース全員で冊子作りを行う。報告会に向けての役割を話し合い決める。 〈時間外学習〉 〈予習〉 パワーポイントと発表抄録を完成しておく。 / 〈復習〉 パワーポイントの確認と発表の練習を行う。(60分)
	15	報告会 〈時間外学習〉 〈予習及び復習〉 質問事項や講評を参考にレポートを再構成し提出する。ゼミレポートの最終提出(各自の課題についてまとめ完成させる)。
学修に関する留意事項		ヒト、命、暮らしを見つめなおし、介護福祉に関する自己の考えを持てるよう新聞等のメディアを活用して情報(ニーズ)を集め、あらゆる出来事に関心・疑問を持つ姿勢を身につけてほしい。ゼミナールの授業時間外での取り組みが増えるので、時間をうまく活用できる工夫をし、担当教員に積極的に相談・助言を受けるようにしよう。
試験やレポート等の課題のフィードバック方法		
成績評価方法・基準		授業に対する取組(到達目標1、2) 30% 課題(レポート)提出(到達目標1、2) 40% 発表(到達目標1、2) 30%
書名①		ゼミナール I テキスト (高田短期大学キャリア育成学科介護福祉コース作成)
著者名①		
出版社①		
書名②		
著者名②		
出版社②		
書名③		
著者名③		
出版社③		
参考文献		介護福祉用語辞典、社会福祉小六法
参考URL		
特記事項		自ら考え、行動する姿勢を磨いてください。コミュニケーションは介護の基本です。他人の考えを聞き、自分の考えをしっかりと話す。まず学生同士でそのことができなければ介護を必要とする人々の思いや考えを受け止めることは困難です。積極的に授業時間を活用しましょう。また、オフィスアワー等それ以外でも担当教員と密に連絡を取り合い助言が受けられるよう行動していくことも成長につながります。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1	1	必修
担当教員			
伊東 秀幸			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
演習	キャリア育成学科	2M2200	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員</p> <ul style="list-style-type: none"> ■科目に関連した実務経験のある教員が担当している <p>科目に関連した実務内容</p> <p>高等学校において、地域資源を活用した商品開発を指導し、観光関連団体や企業と連携して商品化を実現した。</p> <p>アクティブラーニング要素</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ディスカッション、ディベート ■グループワーク ■プレゼンテーション ■実習、フィールドワーク
------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	地域マネジメントに関する専門的な知識や技能を地域社会で活かし、企画立案能力を向上させる。
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 学内において習得した知識や技能の活用方法をゼミナールの実態に応じて判断することができる。 2 地域マネジメントに関する専門的な知識や技能を地域社会の実態に応じて表出することができる。 3 向上した企画立案能力を活かし、地域社会の課題をゼミナールとして考察することができる。
授業概要	ジョン・アーリが提唱した「観光のまなざし」の概念によると、ある特定の景色に対するまなざしは、その個人が有する体験や思い出によって決まる。ゼミナールの活動を通じて、津市の景色を「若者」や「よそ者」の目線から考察し、地域社会の担い手として、持続可能な相互補完・相互支援関係の確立を目指す。
授業計画	<p>第1講 オリエンテーション（授業計画の確認） ＜時間外学習＞居住地域の地域資源をスライドにまとめる。（30分）</p> <p>第2講 居住地域の地域資源（調査準備） ＜時間外学習＞居住地域の地域資源が持つ強みと弱みをスライドにまとめる。（30分）</p> <p>第3講 居住地域の地域資源（調査報告） ＜時間外学習＞地域社会の担い手として活躍する大学生をスライドにまとめる。（30分）</p> <p>第4講 地域の担い手として活躍する大学生（調査準備） ＜時間外学習＞地域社会の担い手として活躍する大学生に必要な要素をスライドにまとめる。（30分）</p> <p>第5講 地域の担い手として活躍する大学生（調査報告） ＜時間外学習＞地域資源の掘り起こしに必要な観点を整理して調査票を作成する。（60分）</p> <p>第6講 第1回フィールドワーク ＜時間外学習＞フィールドワークで調査した地域資源が持つ強みと弱みをスライドにまとめる。（60分）</p> <p>第7講 中間報告（報告準備） ＜時間外学習＞中間報告の答弁書を作成する。（60分）</p> <p>第8講 中間報告（報告会） ＜時間外学習＞中間報告の評価に基づいて津市のSWOT分析をスライドにまとめる。（60分）</p> <p>第9講 津市のSWOT分析 ＜時間外学習＞中間報告の評価に基づいて津市のブルーオーシャン戦略をスライドにまとめる。（60分）</p> <p>第10講 津市のブルーオーシャン戦略 ＜時間外学習＞地域資源の磨き上げに必要な観点を整理して調査票を作成する。（60分）</p> <p>第11講 第2回フィールドワーク ＜時間外学習＞地域資源の磨き上げに本学の学生が携わる方法をスライドにまとめる。（60分）</p> <p>第12講 最終報告（報告準備） ＜時間外学習＞地域資源の磨き上げに本学の学生が携わる課題をスライドにまとめる。（60分）</p> <p>第13講 最終報告（予備報告） ＜時間外学習＞最終報告の答弁書を作成する。（60分）</p> <p>第14講 最終報告（報告会） ＜時間外学習＞最終報告の評価に基づいてゼミナール I の報告書を作成する。（120分）</p> <p>第15講 振り返り</p>

	＜時間外学習＞ゼミナールⅠの報告書に基づいてゼミナールⅡの研究計画書を作成する。（60分）
学修に関する留意事項	あなたの周りに、あなたの知らない津市があります。専門的な知識や技能を地域住民の目線に合わせて積極的に表出し、互いに高みを目指して認め合えることが成功の鍵を握っています。固定観念に囚われることなく、地域社会の景色を複眼的に捉え、未だ見ぬ新しい津市を築いてください。
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	課題が提出された翌週に、対面でフィードバックします。
成績評価方法・基準	毎時の振り返り（到達目標1、2）10% スライドの内容（到達目標1、2）50% 報告会の内容（到達目標2、3）20% 報告書の内容（到達目標2、3）10% 研究計画書の内容（到達目標3）10%
書名①	随時、プリント等を配付します。
著者名①	
出版社①	
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	
参考URL	
特記事項	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1	1	必修
担当教員			
中川 千代			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
演習	キャリア育成学科	2M2200	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員 <input type="checkbox"/> 科目に関連した実務経験のある教員が担当している</p> <p>科目に関連した実務内容</p> <p>アクティブラーニング要素 <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション、ディベート <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク</p>
------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	介護福祉士に必要な基礎知識を深め、協調性や探求心を育み、介護福祉についての基礎力を身につける
到達目標	1. ヒト、命、暮らしを見つめなおすことを通じて、介護福祉について自己の考えを持てるような基礎力を身につける。2. 介護福祉について自分の意見を持ち、人に伝え、言葉で表現できる力及び他者の意見を聴く態度を身につける。
授業概要	ヒト、命、暮らしを見つめなおすことを通じて、介護福祉に関する自分の身近な課題について調べたいと思えるように授業を進める。リーダーを中心に協調性を持って課題解決に自ら取り組めるよう行動することを学ぶ。
授業計画	<p>1 オリエンテーション：ゼミナール I の学習の流れを説明する。高短祭の事前準備、役割分担等をリーダーを中心に計画する。 〈時間外学習〉（予習）新聞や関連図書を読み、介護福祉に関心を持つ。（30分）／（復習）ゼミナール I のテキストを読む。（20分）</p> <p>2 ゼミナール I のレポート作成について学ぶ（介護福祉に関連した自分の取り組みたい課題を探す） ①. 高短祭の事前準備、模擬店運営に関する情報収集、仕入れ値段や予算管理などを話し合い合意形成をする。 〈時間外学習〉（予習）新聞や関連図書を読み、介護福祉に関心を持つ。（30分）／（復習）高短祭事前準備の確認と個々の役割の遂行。（30分）</p> <p>3 ゼミナール I のレポート作成について学ぶ（介護福祉に関連した自分の取り組みたい課題を探す） ②. 高短祭の役割確認、当日と前日の必要な行動の確認。 〈時間外学習〉（予習）新聞や関連図書を読み、介護福祉に関心を持つ。（30分）／（復習）高短祭に向けた最終調整。（60分）</p> <p>4 資料・文献・情報等の活用法について（介護福祉に関連した自分の取り組みたい課題を絞る）、高短祭の振り返り。 〈時間外学習〉（予習）ゼミナール I テキスト等を参考に自己の取り組み課題を明確にする。（30分）／（復習）介護福祉に関する情報収集を行う。（30分）</p> <p>5 ゼミレポート・報告の書き方（介護福祉に関連した自分の取り組みたい課題について表現する） ①、ゼミナール I テキストを使って説明する。 〈時間外学習〉（予習）ゼミナール I テキスト等を参考に自己の取り組み課題を明確にする。（30分）／（復習）介護福祉に関する情報収集を行う。（30分）</p> <p>6 ゼミレポート・報告の書き方（介護福祉に関連した自分の取り組みたい課題について表現する） ②、レポートの骨子を作成する。 〈時間外学習〉（予習及び復習）自分の考えを文章にまとめる練習をする。（60分）</p> <p>7 ゼミレポートの作成（各自、教員の個別指導を受ける） 〈時間外学習〉（予習及び復習）自分の考えを文章にまとめる練習をする。教員から指導された内容を反映させレポート作成を進める。（60分）</p> <p>8 中間報告（各自の課題についてゼミナール生同士伝えあい、意見を聴く） 〈時間外学習〉（予習）中間報告の準備を行う。（60分）／（復習）意見を反映させ内容を吟味する。</p> <p>9 ゼミレポートの作成（各自、教員の個別指導を受ける） 〈時間外学習〉（予習及び復習）自分の考えを文章にまとめる。教員から指導された内容を反映させレポート作成を進める。（60分）</p> <p>10 ゼミレポートの完成を目指す。完成させた者からパワーポイントで発表抄録を作成する。 〈時間外学習〉（予習）教員から指導された内容を反映させレポート作成を進める。（60分）／（復習）ゼミ内での報告会資料を作成する。（60分）</p> <p>11 ゼミ内での報告会 ゼミナールの学生同士で報告し合い、合同報告会の代表者を決める① 〈時間外学習〉（予習）時間内に発表できるよう練習する。（60分）</p>

	12	2年生のゼミナール合同報告会に参加する。報告会の持ち方、プレゼンテーションの方法等を学ぶ。 〈時間外学習〉（復習）自己のレポート内容の再修正を行う。（60分）
	13	ゼミ内での報告会 ゼミナールの学生同士で報告し合い、合同報告会の代表者を決める② 〈時間外学習〉（復習）教員から指導された内容を反映させ自身の関心事をまとめレポートを完成する。（60分）各自の役割が果たせるよう準備する。（30分）
	14	発表抄録をまとめ介護福祉コース全員で冊子作りを行う。報告会に向けての役割を話し合い決める。 〈時間外学習〉（予習）パワーポイントと発表抄録を完成しておく。／（復習）パワーポイントの確認と発表の練習を行う。（60分）
	15	報告会 〈時間外学習〉（予習及び復習）質問事項や講評を参考にレポートを再構成し提出する。ゼミレポートの最終提出(各自の課題についてまとめ完成させる)。
学修に関する留意事項		ヒト、命、暮らしを見つめなおし、介護福祉に関する自己の考えを持てるよう新聞等のメディアを活用して情報(ニーズ)を集め、あらゆる出来事に関心・疑問を持つ姿勢を身につけてほしい。ゼミナールの授業時間外での取り組みが増えるので、時間をうまく活用できる工夫をし、担当教員に積極的に相談・助言を受けるようにしよう。
試験やレポート等の課題のフィードバック方法		
成績評価方法・基準		授業に対する取組(到達目標1、2) 30% 課題(レポート)提出(到達目標1、2) 40% 発表(到達目標1、2) 30%
書名①		ゼミナールⅠテキスト(高田短期大学キャリア育成学科介護福祉コース作成)
著者名①		
出版社①		
書名②		
著者名②		
出版社②		
書名③		
著者名③		
出版社③		
参考文献		介護福祉用語辞典、社会福祉小六法
参考URL		
特記事項		自ら考え、行動する姿勢を磨いてください。コミュニケーションは介護の基本です。他人の考えを聞き、自分の考えをしっかりと話す。まず学生同士でそのことができなければ介護を必要とする人々の思いや考えを受け止めることは困難です。積極的に授業時間を活用しましょう。また、オフィスアワー等それ以外でも担当教員と密に連絡を取り合い助言が受けられるよう行動していくことも成長につながります。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1	1	必修
担当教員			
長谷川 恭子			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
演習	キャリア育成学科	2M2200	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員</p> <p>■科目に関連した実務経験のある教員が担当している</p> <p>科目に関連した実務内容</p> <p>アクティブラーニング要素</p> <p>■ディスカッション、ディベート</p> <p>■グループワーク</p> <p>□プレゼンテーション</p> <p>□実習、フィールドワーク</p>
------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	介護福祉士に必要な基礎知識を深め、協調性や探求心を育み、介護福祉についての基礎力を身につける
到達目標	1. ヒト、命、暮らしを見つめなおすことを通じて、介護福祉について自己の考えを持てるような基礎力を身につける。2. 介護福祉について自分の意見を持ち、人に伝え、言葉で表現できる力及び他者の意見を聴く態度を身につける。
授業概要	ヒト、命、暮らしを見つめなおすことを通じて、介護福祉に関する自分の身近な課題について調べたいと思えるように授業を進める。リーダーを中心に協調性を持って課題解決に自ら取り組めるよう行動することを学ぶ。
授業計画	<p>1 オリエンテーション：ゼミナール I の学習の流れを説明する。高短祭の事前準備、役割分担等をリーダーを中心に計画する。 〈時間外学習〉（予習）新聞や介護福祉関連の図書を読む。（30分）／（復習）ゼミナール I のテキストを読む。（20分）</p> <p>2 ゼミナール I のレポート作成について学ぶ（介護福祉に関連した自分の取り組みたい課題を探す） ①. 高短祭の事前準備、模擬店運営に関する情報収集、仕入れ値段や予算管理などを話し合い合意形成をする。 〈時間外学習〉（予習）（30分）新聞や介護福祉関連の図書を読む。（30分）／（復習）高短祭事前準備の確認と個々の役割の遂行。（30分）</p> <p>3 ゼミナール I のレポート作成について学ぶ（介護福祉に関連した自分の取り組みたい課題を探す） ②. 高短祭の役割確認、当日と前日の必要な行動の確認。 〈時間外学習〉（予習）新聞や関連図書を読み、介護福祉に関心を持つ。（30分）／（復習）高短祭に向けた最終調整。（60分）</p> <p>4 ゼミレポート・報告の書き方（介護福祉に関連した自分の取り組みたい課題について表現する）、ゼミナール I テキストを使って説明する。 〈時間外学習〉（予習）ゼミナール I テキスト等を参考に自己の取り組み課題を明確にする。（30分）／（復習）介護福祉に関する情報収集を行う。（30分）</p> <p>5 資料・文献・情報等の活用法について（介護福祉に関連した自分の取り組みたい課題を絞る） 〈時間外学習〉（予習）ゼミナール I テキスト等を参考に自己の取り組み課題を明確にする。（30分）／（復習）介護福祉に関する情報収集を行う。（30分）</p> <p>6 ゼミレポート・報告の書き方（介護福祉に関連した自分の取り組みたい課題について表現する）、レポートの骨子を作成する。 〈時間外学習〉（予習及び復習）自分の考えを文章にまとめる練習をする。（60分）</p> <p>7 ゼミレポートの作成（各自、教員の個別指導を受ける） 〈時間外学習〉（予習及び復習）自分の考えを文章にまとめる練習をする。教員から指導された内容を反映させレポート作成を進める。（60分）</p> <p>8 中間報告①（各自の課題についてゼミナール生同士伝えあい、意見を聴く） 〈時間外学習〉（予習）中間報告の準備を行う。（60分）／（復習）意見を反映させ内容を吟味する。</p> <p>9 中間報告②（各自の課題についてゼミナール生同士伝えあい、意見を聴く） 〈時間外学習〉（予習）中間報告の準備を行う。（60分）／（復習）意見を反映させ内容を吟味する。</p> <p>10 ゼミレポートの作成（各自、教員の個別指導を受ける） 〈時間外学習〉（予習及び復習）自分の考えを文章にまとめる。教員から指導された内容を反映させレポート作成を進める。（60分）</p> <p>11 ゼミ内での報告会 ゼミナールの学生同士で報告し合い、合同報告会の代表者を決める① 〈時間外学習〉（予習）時間内に発表できるよう練習する。（60分）</p> <p>12 2年生のゼミナール合同報告会に参加する。報告会の持ち方、プレゼンテーションの方法等を学</p>

	<p>ぶ。</p> <p>13 〈時間外学習〉（復習）自己のレポート内容の再修正を行う。（60分）</p> <p>ゼミ内での報告会 ゼミナールの学生同士で報告し合い、合同報告会の代表者を決める②</p> <p>14 〈時間外学習〉（復習）教員から指導された内容を反映させ自身の関心事をまとめレポートを完成する。（60分）各自の役割が果たせるよう準備する。（30分）</p> <p>発表抄録をまとめ介護福祉コース全員で冊子作りを行う。報告会に向けての役割を話し合い決める。</p> <p>15 〈時間外学習〉（予習）パワーポイントと発表抄録を完成しておく。／（復習）パワーポイントの確認と発表の練習を行う。（60分）</p> <p>報告会</p> <p>〈時間外学習〉（予習及び復習）質問事項や講評を参考にレポートを再構成し提出する。ゼミレポートの最終提出(各自の課題についてまとめ完成させる)。</p>
学修に関する留意事項	ヒト、命、暮らしを見つめなおし、介護福祉に関する自己の考えを持てるよう新聞等のメディアを活用して情報(ニーズ)を集め、あらゆる出来事に関心・疑問を持つ姿勢を身につけてほしい。ゼミナールの授業時間外での取り組みが増えるので、時間をうまく活用できる工夫をし、担当教員に積極的に相談・助言を受けるようにしましょう。
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	
成績評価方法・基準	授業に対する取組み（到達目標1、2）30% 課題(レポート)提出（到達目標1、2）40% 発表（到達目標1、2）30%
書名①	ゼミナールⅠテキスト（高田短期大学キャリア育成学科介護福祉コース作成）
著者名①	
出版社①	
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	介護福祉用語辞典、社会福祉小六法
参考URL	
特記事項	自ら考え、行動する姿勢を磨いてください。コミュニケーションは介護の基本です。他人の考えを聞き、自分の考えをしっかりと話す。まず学生同士でそのことができなければ介護を必要とする人々の思いや考えを受け止めることは困難です。積極的に授業時間を活用しましょう。また、オフィスアワー等それ以外でも担当教員と密に連絡を取り合い助言が受けられるよう行動していくことも成長につながります。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1	1	必修
担当教員			
上山 由紀子			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
演習	キャリア育成学科	2M2200	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員 <input type="checkbox"/> 科目に関連した実務経験のある教員が担当している</p> <p>科目に関連した実務内容</p> <p>アクティブラーニング要素 <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション、ディベート <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク</p>
テーマ	介護福祉士に必要な基礎知識を深め、協調性や探求心を育み、介護福祉についての基礎力を身につける。
到達目標	1. ヒト、命、暮らしを見つめなおすことを通じて、介護福祉について自己の考えをもてるような基礎力を身につける。2. 介護福祉について自分の意見を持ち、人に伝え、言葉で表現できる力及び他者の意見を聞く態度を身につける。
授業概要	ヒト、命、暮らしを見つめなおすことを通じて、介護福祉に関する自分の身近な課題について調べたいと思えるように授業を進める。リーダーを中心に協調性を持って、課題解決に自ら取り組めるよう行動することを学ぶ。
授業計画	<p>1 オリエンテーション、高短祭の事前準備、役割分担等をリーダー中心に計画する。 (時間外学習) (予習) シラバスに目を通し、ゼミナール I で何を学修するのかを把握しておく。(30分) (復習) ゼミナール I のテキストを読む。(30分)</p> <p>2 ゼミナール I のレポート作成について学ぶ(介護福祉に関連した自分の取り組みたい課題を探す) ① 高短祭の事前準備、模擬店運営に関する情報収集、仕入れ値段や予算管理などを話し合い、合意形成をする。 (時間外学習) (予習) 新聞や関連図書を読み、介護福祉に関心を持つ。(30分) (復習) 高短祭事前準備の確認と個々の役割遂行。(30分)</p> <p>3 ゼミナール I のレポート作成について学ぶ(介護福祉に関連した自分の取り組みたい課題を探す) ② 高短祭の役割確認、当日・前日の必要な行動の確認。 (時間外学習) (予習) 新聞や関連図書を読み、介護福祉に関心を持つ。(30分) (復習) 高短祭に向けた最終調整。(60分)</p> <p>4 資料・文献・情報等の活用法について(介護福祉に関連した自分の取り組みたい課題を絞る)高短祭の振り返り。 (時間外学習) (予習) ゼミナール I のテキスト等を参考に自己の取り組みを明確にする。(30分) (復習) 介護福祉に関する情報収集を行う。(30分)</p> <p>5 ゼミレポートの書き方(介護福祉に関連した自分の取り組みたい課題について表現する)① (時間外学習) (予習) ゼミナール I のテキスト等を参考に自己の取り組みを明確にする。(30分) (復習) 介護福祉に関する情報収集を行う(30分)</p> <p>6 ゼミレポートの書き方(介護福祉に関連した自分の取り組みたい課題について表現する)② レポートの骨子を作成する。 (時間外学習) (予習及び復習) 自分の考えを文章にまとめる練習をする。(60分)</p> <p>7 ゼミレポートの作成(各自、教員の個別指導を受ける) (時間外学習) (予習及び復習) 自分の考えを文章にまとめる練習をする。教員から指導された内容を反映させレポート作成を進める。(60分)</p> <p>8 中間報告①(各自の課題についてゼミナール生同士伝えあい、意見を聴く) (時間外学習) (予習及び復習) 中間報告の準備を行う。意見を反映させ内容を吟味する。(60分)</p> <p>9 中間報告②(各自の課題についてゼミナール生同士伝えあい、意見を聴く) (時間外学習) (予習及び復習) 中間報告の準備を行う。意見を反映させ内容を吟味する。(60分)</p> <p>10 ゼミレポートの作成(各自、教員の個別指導を受ける) (時間外学習) (予習及び復習) 自分の考えを文章にまとめる。教員から指導された内容を反映させレポート作成を進める。(60分)</p> <p>11 ゼミレポートの作成、報告会に向けて役割を決める。 (時間外学習) (予習及び復習) 教員から指導された内容を反映させ、自身の関心事をまとめレポートを完成する。(60分)</p> <p>12 ゼミ内での発表会① (時間外学習) (予習及び復習) レポート等の確認をする。又発表の練習を行う。(60分)</p>

	13	ゼミ内での発表会② 〈時間外学習〉(予習及び復習)レポート等の確認をする。又発表の練習を行う。(60分)
	14	合同発表会に向けて、介護福祉コース全員で冊子作りを行う。 〈時間外学習〉(予習及び復習)合同発表会での発表者はパワーポイント等の確認と練習を行う。 抄録集に目を通し、質問を考える。質問事項や講評を参考にレポートを修正する。(60分)
	15	合同発表会 〈時間外学習〉(予習及び復習)質問事項や講評を参考にレポートを再構成し提出する。(60分)
学修に関する留意事項		ヒト、命、暮らしを見つめなおし、介護福祉に関する自己の考えを持てるよう新聞等のメディアを活用して情報(ニーズ)を集め、あらゆる出来事に関心・疑問を持つ姿勢を身につけてほしい。ゼミナールの授業時間外での取り組みが増えるので、時間をうまく活用できる工夫をし、担当教員に積極的に相談・助言を受けるようにしよう。
試験やレポート等の課題のフィードバック方法		
成績評価方法・基準		授業に対する取り組み(到達目標1、2)30%、課題(レポート)(到達目標1、2)40%、発表会(到達目標1、2)30%
書名①		ゼミナール I テキスト(高田短期大学キャリア育成学科介護福祉コース作成)
著者名①		
出版社①		
書名②		
著者名②		
出版社②		
書名③		
著者名③		
出版社③		
参考文献		
参考URL		
特記事項		自ら考え、行動する姿勢を磨いてください。コミュニケーションは介護の基本です。他人の考えを聞き、自分の考えをしっかりと話す。まず学生同士でそのことができなければ介護を必要とする人々の思いや考えを受け止めることは困難です。積極的に授業時間を活用しましょう。また、オフィスアワー等それ以外でも担当教員と密に連絡を取り合い、助言が受けられるよう行動していくことも成長につながります。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1	2	選択
担当教員			
枝光 悠			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
講義	キャリア育成学科	2N2101	
添付ファイル			

授業種類	授業担当教員 <input type="checkbox"/> 科目に関連した実務経験のある教員が担当している 科目に関連した実務内容 アクティブラーニング要素 <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション、ディベート <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク
------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	秘書業務に関する知識と技能を学ぶ
到達目標	1. 上級秘書の業務に関する知識を学び、求められる職能や資質を理解する。 2. 上級秘書の業務に関する技能を学び、実践・応用できるスキルを身につける。 3. 秘書業務についての基本と応用を理解し、秘書検定準1級合格レベルに到達する。
授業概要	本講義では、秘書学の理論を通して『秘書』の仕事について多角的・実践的に学びながら、自身のキャリア育成や社会人として目指すべき姿について考える。 また、秘書検定に対応した内容で秘書業務に関する知識・技能を幅広く学ぶとともに、実務演習による実践・応用スキルの修得を目指す。
授業計画	1 オリエンテーション、『上級秘書とは～秘書比較論から考える上級秘書のあり方～』 〈時間外学習〉課題プリント、アンケート (30分) 2 『秘書の実際』 〈時間外学習〉課題プリント (30分) 3 『秘書の専門分化と国際化』 〈時間外学習〉課題プリント (30分) 4 『秘書と機密』 〈時間外学習〉課題プリント (30分) 5 秘書検定準1級：概要説明、記述問題の回答方法について 〈時間外学習〉記述問題プリント (30分) 6 秘書検定準1級：模擬試験(1回目) 〈時間外学習〉記述問題プリント (30分) 7 秘書検定準1級：模擬試験(2回目) 〈時間外学習〉過去問題 (120分) 8 『秘書と情報』 〈時間外学習〉課題プリント (30分) 9 『秘書と表現力』 〈時間外学習〉課題プリント、ニュース調べ (30分) 10 実務演習：秘書業務の実践(1) 概要説明、ポイントの確認、ニュース題材の選定 〈時間外学習〉ニュース調べ (30分) 11 実務演習：秘書業務の実践(2) グループワークによる発表準備 〈時間外学習〉ワークシートの完成、発表の練習 (30分) 12 実務演習：秘書業務の実践(3) ポイントの再確認、発表とフィードバック、振り返り 〈時間外学習〉評価シートの完成 (30分) 13 『秘書とモチベーション』 〈時間外学習〉課題プリント(30分) 14 『秘書のキャリアと自己啓発』 〈時間外学習〉課題プリント(30分) 15 まとめ

学修に関する留意事項	講義への積極的な参加、意見交換の場での積極的な発言を評価する。 講義で取り組んだ内容については、授業後に十分復習し、理解を深めること。 また、秘書検定を受験する学生は、講義内容を参考のうえ計画的に受験対策を進めること。	
試験やレポート等の課題のフィードバック方法		
成績評価方法・基準	授業に対する取り組み姿勢 (到達目標 1, 2, 3)	40%
	レポート・課題プリント (到達目標 1, 2, 3)	40%
	実務演習への参加姿勢 (到達目標 2, 3)	20%
書名①	秘書検定集中講義 2 級 改訂版	
著者名①	実務技能検定協会	
出版社①	早稲田教育出版	
書名②	秘書検定実問題集 2 級 2024年度版	
著者名②	実務技能検定協会	
出版社②	早稲田教育出版	
書名③		
著者名③		
出版社③		
参考文献		
参考URL		
特記事項		

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1	2	選択
担当教員			
江淵 剛			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
講義	キャリア育成学科	202102	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員</p> <p>■科目に関連した実務経験のある教員が担当している</p> <p>科目に関連した実務内容 投資判断にあたっての企業の事業分析と評価</p> <p>アクティブラーニング要素</p> <p>■ディスカッション、ディベート ■グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク</p>
テーマ	<p>経営学は、企業（会社）を中心に組織が「どのように活動しているのか」「さらによりよく活動するには」などについて考える、企業の活動やそこで働く人に注目する学問です。このことは、アルバイトやサークル活動などの場面で社会に出てキャリアを重ねていく前の学生の皆さんにとっても非常に身近な学びです。企業の「活動」に踏み込み、受講生の皆さんがその基礎的内容を身に付けられるよう、意識しながら講義を展開していきます。</p>
到達目標	<p>本講義受講による到達目標は、次の3点です。</p> <p>①企業の活動をめぐる基礎的内容（仕組みや用語）について理解できるようになる ②経営学の考え方に沿って、実際の企業の活動に対する興味や関心を持つことができるようになる ③経営学の考えに基づき、企業活動について進んで調査することができるようになる</p>
授業概要	<p>教員が用意する資料に沿って講義をすすめます。経営学の考え方や理論に加えて、実際の企業の具体的な事例についても積極的に講義の中に取り入れたいと考えています。</p>
授業計画	<p>1 イントロダクション：経営学の学びと講義のすすめ方について ・経営学の概要について説明します。経営学で学ぶことの対象、経営学の枠組みや考え方についてご案内します。 <時間外学習> ・授業で配布した資料を読み返し、振り返りを行ってください。（1時間）</p> <p>2 企業制度の特徴 経営学が主な分析の対象とする「企業」について説明します。ここでは、現代の企業の代表的な形態である株式会社を取り上げ、詳しく見ていきます。また、株式会社以外の形態による企業、組織についても取り上げます。 <時間外学習> ・授業で配布した資料を読み返し、振り返りを行ってください。（1時間）</p> <p>3 経営学と経済学 経営学で主に注目する企業は、広く経済社会の中で活動しています。その企業の活動に着目するにあたっては、経済社会や私たちの生活の周りで活動している他の主体についても知っておくことが重要となります。本講義では、経済学の枠組みで、企業、国、消費者（労働者）の関係について説明します。 <時間外学習> ・授業で配布した資料を読み返し、振り返りを行ってください。（1時間）</p> <p>4 企業・組織の目的と経営戦略 企業活動を行っていく上での企業の考え方、価値観や目的とその達成を目指すための方策としての経営戦略について学びます。 <時間外学習> ・授業で配布した資料を読み返し、振り返りを行ってください。（1時間）</p> <p>5 企業の事業と経営戦略 企業では、複数の「事業」を行っていることが一般的です。また、自社の目的や成長さらには外部の社会経済環境とを照らし合わせて、自社にとって最適な事業を組み合わせ実施する企業戦略が重要となります。本講義では、企業の事業やその構造について考えます。 <時間外学習> ・授業で配布した資料を読み返し、振り返りを行ってください。（1時間）</p> <p>6 企業の組織構造 企業の戦略と組織のあり方は深く関係しています。どのような組織構造を形作るのか、は企業の戦略や成長にとって重要な意思決定となります。ここでは、企業の組織構造の内容を説明した上で実際の企業の公開資料より、組織構造を比較、検討してみたいと思います。 <時間外学習> ・授業で配布した資料を読み返し、振り返りを行ってください。（1時間）</p> <p>7 企業の資金調達 株式会社は「株式」を発行することを通じて広く自社への「投資」（投資家）を募ります。一</p>

	<p>方、投資家は企業の所有者となる株主となり、企業の利益の一部を受け取ることができるようになったりします。本講義では、株式市場の仕組み、投資家、企業の資金調達や投資家に対する取り組みについて学びます。</p> <p><時間外学習></p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業で配布した資料を読み返し、振り返りを行ってください。（1時間） <p>事例研究1 グループワーク（調査と発表準備）</p> <p>これまでの講義で学んできた内容を活かして、実際の企業の活動について調べ発表してください。グループでの調査にあたっては、「地域にゆかりのある企業（地場産業、地元の企業）」と「国内の大手企業（上場企業）」を1社ずつ取り上げ、それぞれの特徴とその違いを取り上げてください。次回の講義で調査内容を取り纏め、グループごとで発表してもらいます。また、調査結果の取りまとめの方法についてもご説明します。</p> <p><時間外学習></p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業で配布した資料を読み返し、振り返りを行ってください。（1時間） <p>事例研究2 グループワーク（発表準備と発表）</p> <p>前回講義で調査したことを取り纏め、グループごとに発表していただきます。「発表グループ」と「検討グループ（質問）」に分かれ、各グループの調査内容についての共有と理解を深めます。</p> <p><時間外学習></p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業で配布した資料を読み返し、振り返りを行ってください。（1時間）
8	<p>企業の組織文化</p> <p>企業の目的や戦略は、企業ごとでさまざまですが、各企業の特性を表すものが組織文化です。組織文化は、企業のオフィスの違いにみられたり、社訓や社歌として表している会社もあります。学生の皆さんのアルバイト先の会社や所属するサークル、クラブまたは学校などをイメージしながら組織文化について考えてみたいと思います。</p> <p><時間外学習></p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業で配布した資料を読み返し、振り返りを行ってください。（1時間）
9	<p>企業の人事について（1） 一企業経営と雇用一</p> <p>企業で働く「人」に注目します。企業で働く従業員（社員）は、「人的資源」ともいわれ、企業の目的達成、成長には欠かせません。どのような社員を雇用し、教育し配置するのか、はその企業の行方を左右する重要な意思決定となります。講義では、企業の人的資源をめぐる管理として「人事」に着目し、その内容について学びます。</p> <p><時間外学習></p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業で配布した資料を読み返し、振り返りを行ってください。（1時間）
10	<p>企業の人事について（2） 一人材をめぐる注目の高まり一</p> <p>少子高齢化の進展で「働き手不足」感が強まる中で、企業は自社の成長に貢献してくれるような従業員の育成や従業員の活動をより活性化するような仕組みづくり、企業文化の形成が重要となっています。本講義では、近年の人事をめぐる注目事項について、皆さんの就職活動での活用を見据えながら説明します。</p> <p><時間外学習></p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業で配布した資料を読み返し、振り返りを行ってください。（1時間）
11	<p>持続可能な企業経営</p> <p>これまで企業は利益の追求の側面が強調されてきましたが、近年では従業員や取引先、地域、消費者といった各利害関係者との持続可能性が問われるようになってきました。持続可能な開発目標（SDGs）を視野に入れたビジネスの展開も広く社会から注目されるようになってきました。ここでは、企業の社会的責任（CSR）をテーマにその具体例について紹介しながら講義を進めます。</p> <p><時間外学習></p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業で配布した資料を読み返し、振り返りを行ってください。（1時間）
12	<p>経営と地域経済</p> <p>「グローカル」（Global/Localの合成語）という言葉にあるように現代においてはグローバル（世界規模）な出来事や影響と身近な地域社会（ローカル）を繋げて考えることの重要性が高まっています。講義では、地域経済について学び、地域での企業経営について考えます。</p> <p><時間外学習></p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業で配布した資料を読み返し、振り返りを行ってください。（1時間）
13	<p>国内企業の経営</p> <p>本講義の取り纏め、総括として実際の国内企業を取り上げ、組織、戦略、CSRなど、講義で取り上げてきた経営学の視点で具体的に探ります。皆さんの企業を「見る目」の向上を図ります。</p> <p><時間外学習></p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業で配布した資料を読み返し、振り返りを行ってください。（1時間）
14	<p>国内企業の経営</p> <p>本講義の取り纏め、総括として実際の国内企業を取り上げ、組織、戦略、CSRなど、講義で取り上げてきた経営学の視点で具体的に探ります。皆さんの企業を「見る目」の向上を図ります。</p> <p><時間外学習></p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業で配布した資料を読み返し、振り返りを行ってください。（1時間）
15	<p>国内企業の経営</p> <p>本講義の取り纏め、総括として実際の国内企業を取り上げ、組織、戦略、CSRなど、講義で取り上げてきた経営学の視点で具体的に探ります。皆さんの企業を「見る目」の向上を図ります。</p> <p><時間外学習></p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業で配布した資料を読み返し、振り返りを行ってください。（1時間）
学修に関する留意事項	<p>講義に用いる教材は教員が準備します。分からない箇所があれば質問して下さい。その他、テキストや新聞などでの経済や経営に係ることで疑問や質問等があれば教員までお寄せください。講義の内外でお答えしたいと思います。</p>
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	
成績評価方法・基準	<ul style="list-style-type: none"> ・レポート：40% ・筆記試験：30% ・講義、グループワークでの取り組み姿勢：30%
書名①	
著者名①	
出版社①	
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	

著者名③	
出版社③	
参考文献	
参考URL	
特記事項	<p>教員は、前職では10年超にわたって、資産運用（年金）の業務に就いていました。その経験より講義では、「投資家」目線での企業の見方についてもご紹介いたします。</p> <p>ファイナンシャル・プランナーや証券アナリストなど金融関連資格や金融業界への就職に興味のある学生の皆さんからのご質問等もお待ちしています。</p>

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1	2	選択
担当教員			
山口 昌和、田中 三雄			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
講義・演習	キャリア育成学科	2P2305	
添付ファイル			

授業種類	授業担当教員 <input type="checkbox"/> 科目に関連した実務経験のある教員が担当している 科目に関連した実務内容 アクティブラーニング要素 <input type="checkbox"/> ディスカッション、ディベート <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク
------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	日本商工会議所主催簿記3級検定の合格を目指す科目です。前期「簿記論Ⅰ」「簿記演習」での学習に続き、後期は本科目と「簿記総合演習」をセットにして授業を進め、検定合格まで導きます。また、検定合格に向けた学習を通じて簿記の基礎的・基本的な理論と実践力を身につけます。
-----	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

到達目標	1. 自ら意欲的・積極的かつ誠実な態度で、学習および授業に取り組むことができる。 2. 時間外の学習や課題にも真摯に取り組み、時間外課題を着実に提出することができる。 3. 簿記の基礎的・基本的な理論と実践力が身についている。
------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

授業概要	前期「簿記論Ⅰ」「簿記演習」で学習してきた内容を検定試験に応じて項目別に総復習します。後期では本科目と「簿記総合演習」を合わせた学習・演習によって簿記の基礎的・基本的な理論と実践力を着実に高め、3級検定合格を目指します。
------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------

授業計画	講義1 第1問出題傾向の分析と対策1（各取引と必要な会計処理1） 学習した内容についての時間外課題（60分程度）等による復習 講義2 第1問出題傾向の分析と対策2（各取引と必要な会計処理2） 学習した内容についての時間外課題（60分程度）等による復習 講義3 第1問出題傾向の分析と対策3（各取引と証ひょう） 学習した内容についての時間外課題（60分程度）等による復習 講義4 第2問出題傾向の分析と対策1（諸帳簿1） 学習した内容についての時間外課題（60分程度）等による復習 講義5 第2問出題傾向の分析と対策2（諸帳簿2） 学習した内容についての時間外課題（60分程度）等による復習 講義6 第2問出題傾向の分析と対策3（伝票会計） 学習した内容についての時間外課題（60分程度）等による復習 講義7 第3問出題傾向の分析と対策1（試算表と精算表） 学習した内容についての時間外課題（60分程度）等による復習 講義8 第3問出題傾向の分析と対策2（財務諸表） 学習した内容についての時間外課題（60分程度）等による復習 講義9 総合演習1 学習した内容についての時間外課題（60分程度）等による復習 講義10 総合演習2 学習した内容についての時間外課題（60分程度）等による復習 講義11 総合演習3 学習した内容についての時間外課題（60分程度）等による復習 講義12 検定模擬試験1 学習した内容についての時間外課題（60分程度）等による復習 講義13 検定模擬試験2 学習した内容についての時間外課題（60分程度）等による復習 講義14 検定模擬試験3 学習した内容についての時間外課題（60分程度）等による復習 講義15 授業の総括 臨時テストおよび授業評価アンケートの実施
------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

学修に関する留意事項	後期は本科目「簿記論Ⅱ」と「簿記総合演習」をセットにして授業が進みますので、どちらの科目も履修する必要があります。 3級検定合格を目指して本科目で理論を学び、その学んだ内容について「簿記総合演習」で演習に取り組みます。
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	
成績評価方法・基準	授業に対する取組状況（到達目標の1と3） 30% 時間外学習に対する取り組みと課題提出の状況（到達目標の2） 20% 臨時テスト（到達目標の3） 50%
書名①	「よくわかる簿記シリーズ 本試験問題集 日商簿記3級 2024年AW対策」 8月下旬頃に販売される最新版を授業で使用しますので、それ以前のを誤って購入しないように注意してください。
著者名①	TAC出版
出版社①	TAC出版
書名②	「2024年度試験をあてる TAC予想模試+解き方テキスト 日商簿記3級」 適当な時期に紹介します。
著者名②	TAC出版
出版社②	TAC出版
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	適宜、必要に応じて紹介します。
参考URL	
特記事項	同一の学習内容で、クラスAは山口が、クラスBは田中が担当します。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1	1	選択
担当教員			
田中 三雄			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
演習	キャリア育成学科	2P2207	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員</p> <p><input type="checkbox"/> 科目に関連した実務経験のある教員が担当している</p> <p>科目に関連した実務内容</p> <p>アクティブラーニング要素</p> <p><input type="checkbox"/> ディスカッション、ディベート</p> <p><input type="checkbox"/> グループワーク</p> <p><input type="checkbox"/> プレゼンテーション</p> <p><input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク</p>
------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	<p>日本商工会議所主催簿記2級検定の合格を目指す科目です。</p> <p>2級検定は商業簿記と工業簿記の両分野から出題されますが、本科目では前期「商業簿記論」に続いて商業簿記の分野を演習中心で学習します。</p> <p>2級検定合格に向けた学習を通じて、中級程度の商業簿記の理論と実践力を身につけます。</p>
-----	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

到達目標	<p>1. 自ら意欲的・積極的かつ誠実な態度で、学習および授業に取り組むことができる。</p> <p>2. 時間外の学習や課題にも真摯に取り組み、時間外課題を着実に提出することができる。</p> <p>3. 中級程度の商業簿記の理論と実践力が身につけている。</p>
------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

授業概要	<p>日商簿記3級検定の合格者または3級の学習内容が理解できている人を前提として、前期「商業簿記論」の学習に続いて授業を進め、簿記2級検定合格を目指します。</p>
------	------------------------------------------------------------------------------------

授業計画	<p>演習1 第1問出題傾向の分析と対策1 学習した内容についての時間外課題（60分程度）等による復習</p> <p>演習2 第1問出題傾向の分析と対策2 学習した内容についての時間外課題（60分程度）等による復習</p> <p>演習3 第1問出題傾向の分析と対策3 学習した内容についての時間外課題（60分程度）等による復習</p> <p>演習4 第2問出題傾向の分析と対策1 学習した内容についての時間外課題（60分程度）等による復習</p> <p>演習5 第2問出題傾向の分析と対策2 学習した内容についての時間外課題（60分程度）等による復習</p> <p>演習6 第3問出題傾向の分析と対策1 学習した内容についての時間外課題（60分程度）等による復習</p> <p>演習7 第3問出題傾向の分析と対策2 学習した内容についての時間外課題（60分程度）等による復習</p> <p>演習8 第3問出題傾向の分析と対策3 学習した内容についての時間外課題（60分程度）等による復習</p> <p>演習9 第3問出題傾向の分析と対策4 学習した内容についての時間外課題（60分程度）等による復習</p> <p>演習10 総合演習1 学習した内容についての時間外課題（60分程度）等による復習</p> <p>演習11 総合演習2 学習した内容についての時間外課題（60分程度）等による復習</p> <p>演習12 総合演習3 学習した内容についての時間外課題（60分程度）等による復習</p> <p>演習13 2級検定模擬試験1 学習した内容についての時間外課題（60分程度）等による復習</p> <p>演習14 2級検定模擬試験2 学習した内容についての時間外課題（60分程度）等による復習</p> <p>演習15 授業の総括 臨時テストおよび授業評価アンケートの実施</p>
------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

学修に関する留意事項	1) 簿記2級検定に合格した場合、成績にプラス評価します。ネット試験等で合格した場合も同様にプラス評価しますので、合格したら速やかに授業担当者に申し出てください。 2) 2級検定は商業簿記と工業簿記の両分野から出題されますので、後期では「工業簿記演習」も履修してください。
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	
成績評価方法・基準	授業に対する取組状況(到達目標の1と3) 30% 時間外学習に対する取り組みと課題提出の状況(到達目標の2) 20% 臨時テスト(到達目標の3) 50%
書名①	「日商簿記2級にとおるテキスト 商業簿記(第3版)」
著者名①	桑原知之
出版社①	ネットスクール出版
書名②	「日商簿記2級にとおるトレーニング 商業簿記(第3版)」
著者名②	桑原知之
出版社②	ネットスクール出版
書名③	「合格するための本試験問題集 日商簿記2級 2024年AW対策」 授業では例年8月下旬頃に販売される最新版を使用しますので、購入する時期に注意してください。
著者名③	TAC出版
出版社③	TAC出版
参考文献	
参考URL	
特記事項	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1	1	選択
担当教員			
細井 薫			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
演習	キャリア育成学科	2P2209	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員</p> <p>■科目に関連した実務経験のある教員が担当している</p> <p>科目に関連した実務内容 会計事務所等実務経験</p> <p>アクティブラーニング要素</p> <p><input type="checkbox"/>ディスカッション、ディベート</p> <p><input type="checkbox"/>グループワーク</p> <p><input type="checkbox"/>プレゼンテーション</p> <p><input type="checkbox"/>実習、フィールドワーク</p>
テーマ	材料などを外部から仕入れ、それを加工して製造したもの（製品）を外部に販売する企業、いわゆる製造業で用いられる簿記が工業簿記です。製品を売るためには、製品1個につきいくらかかったか計算する（これを原価計算という）必要があります。工業簿記ではこの原価計算を中心に学習していきます。
到達目標	1. 意欲的に誠実な態度で学習・課題に取り組むことができる。2. 工業簿記の基本原則が理解できる。3. 日商簿記2級合格を目標に、工業簿記分野を学習する。
授業概要	工業簿記の基本原則を学び、総合原価計算、標準原価計算、直接原価計算、個別原価計算といった原価計算などを理解し、財務諸表を作成する。
授業計画	<p>1 ①工業簿記の全体像 ②総合原価計算の基礎 〈時間外学習〉復習のための課題に取り組む。(60分)</p> <p>2 ①組別総合原価計算 ②等級別総合原価計算 〈時間外学習〉復習のための課題に取り組む。(60分)</p> <p>3 ①工程別総合原価計算 ②材料の追加投入 ③仕損・減損の処理方法 〈時間外学習〉復習のための課題に取り組む。(60分)</p> <p>4 ①工業簿記の勘定連絡 ②損益計算書と貸借対照表の作成 ③製造原価報告書の作成 〈時間外学習〉復習のための課題に取り組む。(60分)</p> <p>5 総合原価計算のまとめ 〈時間外学習〉復習のための課題に取り組む。(60分)</p> <p>6 標準原価計算-1 〈時間外学習〉復習のための課題に取り組む。(60分)</p> <p>7 標準原価計算-2 〈時間外学習〉復習のための課題に取り組む。(60分)</p> <p>8 標準原価計算のまとめ 〈時間外学習〉復習のための課題に取り組む。(60分)</p> <p>9 直接原価計算-1 〈時間外学習〉復習のための課題に取り組む。(60分)</p> <p>10 直接原価計算-2 〈時間外学習〉復習のための課題に取り組む。(60分)</p> <p>11 ①本社・工場会計 ②個別原価計算 〈時間外学習〉復習のための課題に取り組む。(60分)</p> <p>12 個別原価計算の応用-1 〈時間外学習〉復習のための課題に取り組む。(60分)</p> <p>13 個別原価計算の応用-2 〈時間外学習〉復習のための課題に取り組む。(60分)</p> <p>14 工業簿記の総まとめ 〈時間外学習〉復習のための課題に取り組む。(60分)</p> <p>15 臨時試験授業評価アンケート</p>
学修に関する留意事項	工業簿記の学習では特に復習が大切です。毎時間、復習のための課題を出しますので、実際に自分の手を使って問題を解いてみましょう。聞いただけではわかってるつもりでも実際は結構わかっていないことも多いもの

	です。商業簿記もそうですが、繰り返し問題を解くことによって最初はとっつきにくいな、と思われるかもしれない工業簿記がきっと得意科目となることでしょう。
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	
成績評価方法・基準	授業への取り組み(到達目標1.2) 30% 時間外学習の課題成果物の提出(到達目標1) 20% 臨時試験(到達目標2.3) 50%
書名①	日商簿記2級に"とおる"テキスト 工業簿記第2版
著者名①	著) 桑原 知之
出版社①	出) ネットスクール
書名②	日商簿記2級に"とおる"トレーニング 工業簿記第2版
著者名②	著) 桑原 知之
出版社②	出) ネットスクール
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	必要に応じて指示します。
参考URL	
特記事項	職業訓練指導員、会計事務所等の実務経験があります

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1	2	選択
担当教員			
鷲尾 敦			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
講義・演習	キャリア育成学科	2Q2300	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員</p> <p>■科目に関連した実務経験のある教員が担当している</p> <p>科目に関連した実務内容</p> <p>システムエンジニアとして、情報システムの開発に従事した経験がある。</p> <p>アクティブラーニング要素</p> <p><input type="checkbox"/>ディスカッション、ディベート</p> <p><input type="checkbox"/>グループワーク</p> <p><input type="checkbox"/>プレゼンテーション</p> <p><input type="checkbox"/>実習、フィールドワーク</p>
------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	コンピュータとネットワークを活用するための知識と技能を身につけよう
到達目標	1. コンピュータを自信をもって活用できる知識を身につける 2. ネットワークを自信をもって活用できる知識を身につける 3. コンピュータとネットワークを自信をもって活用できる
授業概要	コンピュータやネットワークに関連する知識として、情報の単位や表現、コンピュータの仕組み、プログラム開発方法、インターネットサービスやセキュリティの仕組みを学びます。さらに、クラウドサービスとして Google workspace を使ってネットワークの活用実践をします。
授業計画	<p>1 授業ガイダンス と 情報の単位と情報量</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業の目標、内容、評価等情報とは何か？ ・情報の単位と情報量 <p><時間外学習>情報量の課題 (30分)</p> <p>2 コンピュータ内部で情報はどう表現されているか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カラーコードとは何か？ ・文字コードとは何か？ ・メディアの表現と情報量 <p><時間外学習>様々なメディア表現課題 (30分)</p> <p>3 コンピュータはどのような仕組みで動いているか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5大機能とは何か？ ・プログラム内蔵逐次処理方式とはどんな原理か？ <p><時間外学習>コンピュータの仕組み課題 (30分)</p> <p>4 パソコンの性能はどうしたらわかるか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・CPUの性能とベンチマークテスト ・メモリの性能 ・ドライブ装置の役割と性能 ・カタログの見方 <p><時間外学習>カタログ課題 (30分)</p> <p>5 ソフトウェアはどんな役割を持っているか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本ソフトウェアの役割と機能 ・ファイル管理 ・応用ソフトウェアの役割と種類 <p><時間外学習>ソフトウェア課題 (30分)</p> <p>6 ブラウザを使いこなそう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ブラウザの種類 ChromeとEdge ・ブラウザと検索サイト ・アカウントを使ってブラウザ活用 ・各種設定 ・ブックマークの活用と編集 <p><時間外学習>ブラウザの活用課題 (30分)</p> <p>7 Google for Educationを活用しよう (G for Workspace)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Classroomの利用 ・ドライブの利用 ・互換オフィスの利用 ・ネットワークの共有作業 <p><時間外学習>互換オフィス課題 (30分)</p> <p>8 Google for Educationをさらに活用しよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Googleカレンダーの利用 ・Googleマップの利用 ・Googleフォームの利用

	9	<p><時間外学習>Googleフォーム課題 (30分)</p> <p>ソフトウェアはどうやって開発されているのか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ソフトウェア開発の流れ ・アルゴリズムとは何か？ ・フローチャートで表現してみよう ・様々なアルゴリズムを考えてみよう
	10	<p><時間外学習>アルゴリズム課題 (30分)</p> <p>プログラミングとは何か？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プログラム言語とは何か？ ・様々なプログラミング言語
	11	<p><時間外学習>プログラミング課題 (30分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Scratchでプログラミングを体験 ChatGPT体験 ・Scratchでのプログラミング ・ChatGPT体験
	12	<p><時間外学習>プログラミング課題 (30分)</p> <p>インターネットはどんな仕組みでつながっているか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ネットワークとは ・LANとは ・インターネットとは ・パケットとは ・IPアドレス ・ドメインとURL、DNSサーバー
	13	<p><時間外学習>インターネットの仕組み課題 (30分)</p> <p>各種サーバーの役割と仕組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パケットとドメインとIPアドレスのまとめ ・LANで使われるサーバー ・インターネットで使われるサーバー
	14	<p><時間外学習>サーバー課題 (30分)</p> <p>情報セキュリティと情報モラル</p> <ul style="list-style-type: none"> ・著作権と知的財産権 ・個人情報とモラル ・ファイヤーウォールの働き ・ウィルス ・暗号化の仕組み
	15	<p><時間外学習>セキュリティ課題 (30分)</p> <p>まとめと振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まとめ
学修に関する留意事項	積極的にパソコンを使ってください。授業は、各自のノートパソコンを必ず持ってきてください。	
試験やレポート等の課題のフィードバック方法		
成績評価方法・基準	授業振り返りアンケート(目標 1, 2, 3) 10% 実践課題 (目標 3) 40% 試験 (目標 1, 2) 50%	
書名①	これだけは知っておこう！情報リテラシー	
著者名①	noa出版	
出版社①	noa出版	
書名②		
著者名②		
出版社②		
書名③		
著者名③		
出版社③		
参考文献		
参考URL		
特記事項	学生生活や学習、そして就職してからも使うパソコンやネットワークの仕組みを理解して、自信をもって活用するための能力と、さらに学び続けていく力をみにつけます。	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1	1	選択
担当教員			
寺家 尚美			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
演習	キャリア育成学科	2Q1201	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員</p> <p>■科目に関連した実務経験のある教員が担当している</p> <p>科目に関連した実務内容</p> <p>SIベンダーでの情報システム企画</p> <p>アクティブラーニング要素</p> <p><input type="checkbox"/>ディスカッション、ディベート</p> <p><input type="checkbox"/>グループワーク</p> <p><input type="checkbox"/>プレゼンテーション</p> <p><input type="checkbox"/>実習、フィールドワーク</p>
テーマ	社会人として通用する文書作りをパソコンで作成することができる
到達目標	<p>1 Wordの様々な機能を使いこなすことができる</p> <p>2 見やすい、読みやすいレイアウトを設定した文書の書き方を理解する</p> <p>3 向上心を持って課題に取り組み、正しい文書作成ができる</p> <p>4 タッチタイピングの習得</p>
授業概要	短大におけるレポート作りや、卒業後の様々な現場で必要となる文書作成に必要な文書の構成や、Wordでの文書作りの正しい技法を身につけます。介護現場で使用される文書を想定した内容の文書作成を行います。また、その前提となるタッチタイプを修得します。
授業計画	<p>1 オリエンテーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業内容、評価等について ・タッチタイピング タッチタイプとは、身に付けるには ・タイピングソフトのインストール (USBへ) と練習方法 <p><時間外学習>タッチタイプ練習 (15分×4回以上)</p> <p>2 ビジネス文書とは</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビジネス文書について、書き方の説明 ・文字の入力と編集 ・保存と印刷 ・タイピング練習 <p><時間外学習>タッチタイプ練習 (15分×4回以上)</p> <p>3 文書作成の基本1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ページ設定 ・書式設定 (文字書式、段落書式) ・タブ ・インデント <p><時間外学習>文書作成課題 (30分)、タッチタイプ練習 (15分×4回以上)</p> <p>4 文書作成の基本2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表の利用 ・タイピング練習 <p><時間外学習>文書作成課題 (30分)、タッチタイプ練習</p> <p>5 文書作成の基本3</p> <ul style="list-style-type: none"> ・画像 (文字の折り返し) の挿入、画像の編集 ・図形、テキストボックスの利用 ・ページ罫線 <p><時間外学習>文書作成課題 (30分)、タッチタイプ練習</p> <p>6 文書作成の応用1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワードアート ・SmartArt <p><時間外学習>タッチタイプ練習</p> <p>7 文書作成の応用2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Excelとの連携 Excelの表やグラフをWordに貼り付ける <p><時間外学習>タッチタイプ練習</p>

	8	文書作成の応用3 ・縦書き文書の作成
	9	<時間外学習>縦書き文書課題 (90 分)、タッチタイプ練習 差し込み印刷 ・設定方法と実践例
	10	<時間外学習>実践例 (30分)、タッチタイプ練習 差し込み印刷課題 ・課題説明と実践
	11	<時間外学習>差し込み印刷課題 (60分)、タッチタイプ練習 長文作成1 ・見出し ・アウトライン番号 ・表紙 ・目次
	12	<時間外学習>テキストで復習をしておく (60分)、タッチタイプ練習 長文作成2 ・スタイル ・課題説明と実践
	13	<時間外学習>長文課題 (60分)、タッチタイプ練習 文書作成の実践課題 ・施設だより制作 課題の説明 (条件設定)、制作例と制作における注意点 (個人情報、肖像権、著作権) ・素材の入手と作成 ・テーマの検討、制作
	14	<時間外学習>課題の作成 (60 分)、タッチタイプ練習 文書作成の実践課題 ・施設だより制作 ・提出
	15	<時間外学習>課題の作成 (90 分)、タッチタイプ練習 まとめの総合問題 ・総合問題 ・タイピングチェック
		<時間外学習>総合問題 (90 分)
学修に関する留意事項		職場においてパソコンを活用した文書作りをすることを想定して、学習を主体的に進めてください。 USBメモリをもってくること
試験やレポート等の課題のフィードバック方法		
成績評価方法・基準		毎回の授業振り返りアンケート (目標 1, 2, 3) 10% タイピングの速度と正確さ (目標 4) 20% 課題の評価 (目標 1, 2, 3) 70%
書名①		よくわかる Microsoft Word 2021 応用
著者名①		富士通ラーニングメディア
出版社①		FOM出版
書名②		
著者名②		
出版社②		
書名③		
著者名③		
出版社③		
参考文献		
参考URL		https://www.asahi-net.or.jp/~bg8j-immr/
特記事項		文書作りは簡単だと思いませんか。しかし、Wordを使いこなすのは至難の業です。しかし、理解していると文書作りがとても簡単で楽しいものになります。学んだ人と学んでいない人との差は歴然です。卒業レポートを作成するときに恥をかかないためにも、しっかりと学び、パソコンによる文書作りの技法を身に付けましょう。どんな職場でも役立つ技能です。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1	1	選択
担当教員			
川喜田 多佳子			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
演習	キャリア育成学科	2Q2202	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員 <input type="checkbox"/> 科目に関連した実務経験のある教員が担当している</p> <p>科目に関連した実務内容</p> <p>アクティブラーニング要素 <input type="checkbox"/> ディスカッション、ディベート <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク</p>
------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	Wordの発展的な活用を行う。
到達目標	1. Wordが持つ様々な機能を使いこなすことができる 2. MS-Officeアプリケーションの簡単な連携ができる 3. 授業課題や検定上位級取得に対し、向上心を持って取り組むことができる
授業概要	複雑な書式設定、印刷方法など、さらに発展的なWordの活用方法を学ぶ。
授業計画	<p>1 授業内容：オリエンテーション、教材確認 ・タイピングチェックテスト ・ 図表を用いた文書作成 〈時間外学習〉前期で学んだことも絡めながら、学んだことを応用活用する。(30分)</p> <p>2 授業内容：ダイレクトメールの作成 ・差し込み印刷の利用 (メイン文書1 差し込み フィールドの設計) 〈時間外学習〉メイン文書とデータファイルの仕組みを理解するため、専門用語の復習と予習を する。(30分)</p> <p>3 授業内容：ダイレクトメールの作成 ・差し込み印刷の利用 (メイン文書2 宛名ラベル の作成) 〈時間外学習〉ビジネス業務の中で差し込み印刷がどのように活用されているか、調べ理解を深 める。(30分)</p> <p>4 授業内容：高度な書式設定 ・セクションを理解する(ページ単位の書式変更) 〈時間外学習〉配布された自分のパソコンにインストールされたWordステータスバーの表示情報を変 更し環境を整えておく。(30分)</p> <p>5 授授業内容：高度な書式設定 ・セクションを管理する(セクション区切りの変更) 〈時間外学習〉セクション区切りの利便性について口頭で説明できるよう、理解を深める。</p> <p>6 授業内容：グループワーク セクション区切りの応用 ・演習課題1 イベント案内の作 成 〈時間外学習〉課外時間に友人と共に課題に取り組み、理解を深める。(1時間)</p> <p>7 授業内容：セクション単位の書式設定 ・演習課題2 通知文の作成 〈時間外学習〉家族の人にセクション区切りの利便性と活用方法を教えてみる。(1時間)</p> <p>8 授業内容：文書を校正機能を使う ・検索・置換、スペルチェックをする ・ コメントをつける ・辞書機能を使う 〈時間外学習〉これまで作成したレポート課題等に対して文書校正機能を使い、チェックしてみ る。(30分)</p> <p>9 授業内容：上級検定対策 ・就活でPRできる上位級受験を目指す(目標設 定) ・正しいタイピングの再チェック 〈時間外学習〉受験級については高い目標を設定し、可能な限り課外練習を行う。(1時間)</p> <p>10 授業内容：上級検定対策 ・就活でPRできる上位級受験を目指す(目標設 定) ・正しいタイピングの再チェック 〈時間外学習〉受験級については高い目標を設定し、可能な限り課外練習を行う。(1時間)</p> <p>11 授業内容：上級検定対策 ・就活でPRできる上位級受験を目指す(目標設 定) ・正しいタイピングの再チェック 〈時間外学習〉受験級については高い目標を設定し、可能な限り課外練習を行う。(1時間)</p> <p>12 授業内容：まとめの課題1 ・縦書き文書の作成 〈時間外学習〉作成する文書が縦書き・横書きどちらに適しているか判断できるよう、友人と共 に調べ知識を深める。(30分)</p> <p>13 授業内容：グループ学習 まとめ課題2 ・複雑な図形描画(組織図、見取り図を描</p>

	<p>く)</p> <p>14 <時間外学習>難解な表の課題を課すので、見栄え良く、かつ効率よく完成させるための方法を友人と共に考えながら取り組む。(1時間) 授業内容：まとめの課題と上級検定対策 ・社内文書の作成</p> <p>15 <時間外学習>教科書や人に頼らず、差し込み印刷の機能が迷わず使えるようになるまで練習を繰り返す。さらには、ビジネスでの発展的な活用方法を調べてみる。(30分) 授業内容：まとめの課題と上級検定対策 ・Word総合問題に取り組む</p>
学修に関する留意事項	・授業と検定対策は平行して行う・課題内容はボリュームがあるので、課外でしっかり学習すること。一人悩まず友人と共に高め合って取り組むことを期待する。・課外での検定練習時間を多く取り、グループで高めあう取り組みが合格につながっていく。
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	
成績評価方法・基準	授業に臨む態度、積極的な検定受験(到達目標1)20% 課題への取り組み(到達目標2,3)60%
書名①	よくわかる Word2021応用
著者名①	富士通FOM
出版社①	FOM出版
書名②	日本ワープロ検定試験 模擬問題集 (前期購入したものすべて)
著者名②	日本情報処理検定協会
出版社②	日本情報処理検定協会
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	Microsoft Office Specialist Microsoft 対策テキスト& 問題集 (図書館に蔵書)、日本ワープロ検定試験 模擬問題集 初段
参考URL	http://mos.odyssey-com.co.jp/index.html 、 https://manabi.benesse.ne.jp/gakushu/typing/
特記事項	Wordの基本操作をしっかりとめする授業です。就活時の自己PRに間に合わせる形で、上位級の検定取得を目指します。高い目標を立てて臨みましょう。教員も惜しめないサポートをします。この後は2年生前期に開講される実践的な授業、「オフィス文書処理実践」につなげていきます。段落や表の編集等の基礎知識はここでコンプリートさせておきましょう。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1	1	選択
担当教員			
寺家 尚美			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
演習	キャリア育成学科	2Q2205	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員</p> <p>■科目に関連した実務経験のある教員が担当している</p> <p>科目に関連した実務内容</p> <p>SIベンダーでの企業向け情報システムの企画</p> <p>アクティブラーニング要素</p> <p><input type="checkbox"/>ディスカッション、ディベート</p> <p><input type="checkbox"/>グループワーク</p> <p><input type="checkbox"/>プレゼンテーション</p> <p>■実習、フィールドワーク</p>
------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	前期のビジネス情報演習Ⅰで身につけた表計算基礎知識を進歩させながら、発展的に活用する力をつける
到達目標	<p>1. Excelの関数や機能を使って、データの集計や処理方法を身につける</p> <p>2. 自ら考え、最適な表の作成ができる力を身につける</p> <p>3. 表計算検定で上級合格を目指す</p>
授業概要	前期で学んだExcelの基礎をより確実にしながら、発展的な機能を学ぶ 社会に出てから即戦力となれるよう、様々な職場で活用されているExcel機能の実践的な内容を学ぶ
授業計画	<p>1 ガイダンス、前期の復習 教材確認・前期までの理解度の確認</p> <p><時間外学習>前期の学びで理解が浅かった内容を復習しておく(30分)</p> <p>2 応用関数の利用1 ・文字列を操作する関数 (CONCATINETE, LEFT, RIGHT, PHONETIC等)</p> <p><時間外学習>演習問題(60分)</p> <p>3 応用関数の利用2 ・データベース関数 (DSUM, DAVERAGE, DCOUNTなど)</p> <p><時間外学習>演習問題(60分)</p> <p>4 応用関数の利用3 ・条件にあったデータの集計をする関数 (SUMIF, COUNTIFなど)</p> <p><時間外学習>演習問題(60分)</p> <p>5 応用グラフの作成1 ・複合グラフなど、様々なグラフの作成及び設定を行う</p> <p><時間外学習>どのようなときにどのグラフを使用するかを理解するため、色々なグラフ作成に取り組む。(60分)</p> <p>6 応用グラフの作成2 ・レーダーチャート</p> <p><時間外学習>12月、2月実施の検定に向けて高い目標を立て、問題集に取り組む。(60分)</p> <p>7 表計算検定対策1 ・模擬試験形式・過去問</p> <p><時間外学習>たくさんの模擬問題に取り組むことで、時間内に処理できるよう繰り返し練習する(60分)</p> <p>8 表計算検定対策2 ・模擬試験形式・過去問</p> <p><時間外学習>図書館に蔵書している過去問題集にも着手し、さまざまな問題傾向に対応できるよう練習をする。(60分)</p> <p>9 表計算検定対策3 ・模擬試験形式・過去問</p> <p><時間外学習>図書館に蔵書している過去問題集にも着手し、さまざまな問題傾向に対応できるよう練習をする。(60分)</p>

	10	自動集計機能を使う 1 ・ピボットテーブルの作成 <時間外学習>ピボットテーブルの使い方を理解し、いろいろな集計ができるまで復習する。 (30分)
	11	自動集計機能を使う 2 ・グループ単位の小計表の作成 <時間外学習>小計機能の手順が理解できるまで復習する。(30分)
	12	Excelの便利な機能を使った発展的な表設計1 ・条件付き書式 <時間外学習>2月の検定合格に向け練習を行う(60分)
	13	Excelの便利な機能を使った発展的な表設計2 ・ユーザ定義の表示形式 <時間外学習>2月の検定合格に向け練習を行う(60分)
	14	上級検定対策 ・応用関数、関数の組み合わせの復習・1級対策 <時間外学習>2月の検定合格に向け練習を行う(60分)
	15	総まとめ ・仕上げの総合問題 <時間外学習>最終課題、2月の検定合格に向け練習を行う(90分)
学修に関する留意事項		・前期のビジネス情報演習 I で使用した情報リテラシー(総合編)のテキストも引き続き使用する。 ・表計算検定は12月、2月に実施予定。各自のレベルに合わせて、できるだけ高い意識を持って取り組むこと。
試験やレポート等の課題のフィードバック方法		
成績評価方法・基準		授業に取り組む態度(到達目標1, 2, 3) 30% 課題への取り組み(到達目標1, 2) 40% 検定対策(到達目標2, 3) 30%
書名①		日本情報処理検定協会 表計算問題集 1・準1級
著者名①		日本情報処理検定協会
出版社①		日本情報処理検定協会
書名②		Excelマスター演習問題集 応用編 2019対応
著者名②		ムゲンダイ出版
出版社②		ムゲンダイ出版
書名③		
著者名③		
出版社③		
参考文献		日本情報処理検定協会 表計算検定模擬問題集 初段
参考URL		https://dekiru.net/category/windows-office/excel-kansu/
特記事項		Excelのビジネス活用能力を高めつつ上級検定合格、スキルアワード表彰をめざし頑張ってください。 Excelは様々な職場で使用されています。実務を想定した内容を学び、社会に出てからExcelを活用できる力をつけていきましょう

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1	2	選択
担当教員			
鷲尾 敦			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
講義・演習	キャリア育成学科	2Q2307	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員</p> <p>■科目に関連した実務経験のある教員が担当している</p> <p>科目に関連した実務内容</p> <p>システムエンジニアとして、データベースを核としたアプリ開発を担当した</p> <p>アクティブラーニング要素</p> <p><input type="checkbox"/>ディスカッション、ディベート</p> <p><input type="checkbox"/>グループワーク</p> <p><input type="checkbox"/>プレゼンテーション</p> <p><input type="checkbox"/>実習、フィールドワーク</p>
------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	データベースの概念とACCESSを使ってのデータベースの構築方法の基礎を学ぶ
到達目標	<p>1. リレーショナルデータベースの基礎概念を理解する。</p> <p>2. ACCESSのデータベースのオブジェクト(テーブル、クエリ、フォーム、レポート)の基本的な制作ができる。</p> <p>3. ACCESSを使って簡単なデータベースを構築する方法を理解する。</p>
授業概要	リレーショナルデータベースの基礎概念と、マイクロソフトのデータベースソフトACCESSを使ってデータベースの基礎を学ぶ授業です。ACCESSのデータベースオブジェクトであるテーブル、クエリ、フォーム、レポートの作成方法やリレーションシップの設定方法を学びます。
授業計画	<p>1 授業ガイダンスとデータベースの概念</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業ガイダンス (内容、進め方、評価) ・Step1 データベースの概念、サンプルデータベースの参照、テーブルの利用、フォームフィルター <p><時間外学習>概念の復習(30分)</p> <p>2 データベースの作成とテーブルの作成 (Step2 Lesson1-2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空のデータベースの作成 ・テーブルの作成 <p><時間外学習>教科書の復習 問題集 Step1 (30分)</p> <p>3 テーブル作成補足と実践 (問題集 Step2 Lesson1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テーブルの作成補足 フリガナ設定、郵便番号設定、定型入力、IME設定、日程の書式設定テーブルの作成課題 ・問題集による実践練習 <p><時間外学習>問題集(30分)</p> <p>4 インポート (Step2 Lesson3 データのインポート)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インポートの方法 ・インポートの実践 <p><時間外学習>問題集 (30分)</p> <p>5 データのインポート (Step2 Lesson3) とコピー&ペースト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・データのインポート ・データのコピー&ペースト <p><時間外学習>教科書の復習 (30分)</p> <p>6 テーブルの活用 (Step2 Lesson4データシート編集) とテーブルの復習課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題集 Step2 Lesson2,4 ・テーブル作成課題課題の説明と実践 問題1 名刺管理(テキストデータ例) 問題2 生徒の成績一覧(数値データ例)< <p>時間外学習>問題1, 2の完成(60分)</p> <p>7 フォーム機能 (Step3)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フォームの考え方と作り方 (設定とカスタマイズ) <p><時間外学習>教科書の復習、練習問題(30分)</p> <p>8 フォームの作成演習 (問題集 STEP3)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題集にてフォームの作成・カスタマイズ練習 <p><時間外学習>問題集の完成(30分)</p> <p>9 クエリ機能 (STEP4)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クエリの説明 ・選択クエリ(単一、複合、比較条件、複合条件、比較演算子、Between演算子、比較演算子) <p><時間外学習>練習問題(30分)</p> <p>10 クエリとレポート機能 (Step5Lesson1,2)</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・クエリ制作の補足 ・レポートの概念 ・レポートの作り方 (設定とカスタマイズ) ・練習問題9, 10 <p><時間外学習>練習問題(30分)</p> <p>11 レポートのカスタマイズ (Step5Lesson3)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題集にてレポートの作成・カスタマイズ (Step5Lesson1～3) <p><時間外学習>問題集Step5レポート(30分)</p> <p>12 リレーションシップ (Step3Lesson1, 2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リレーションシップの概念 (参照整合性は除く) ・リレーションシップの設定 <p><時間外学習>教科書の復習(30分)</p> <p>13 計算クエリと集計クエリ (Step3Lesson3-4)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Step6リレーションシップ ・Lesson4 集計クエリデータベース検定集計クエリの設定方法 <p><時間外学習>データベース検定完成(30分)</p> <p>14 データベース検定3級</p> <ul style="list-style-type: none"> ・データベース検定の内容について ・実践 ・回答解説 <p><時間外学習>問題集残り完成(30分)</p> <p>15 まとめ問題授業を振り返って まとめ 振り返り</p>
学修に関する留意事項	1週間に1度しかない授業です。前回の復習をして授業に臨んでください。
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	定期試験の結果は、データベースⅡの最初の時間に返却、答え合わせをします 通常の授業の課題は、後日回答をします。 毎日の疑問は、授業振り返りアンケートに質問をしていただくと次の授業で回答します。
成績評価方法・基準	毎回の授業の振り返り (到達目標1) 10% 提出課題(到達目標2, 3) 30% 試験 (到達目標1, 2) 60%
書名①	誰でも使えるデータベース! Access
著者名①	
出版社①	NOA出版
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	コンとコンピュータのICT活用入門
参考URL	https://358dokari.com/accessmatome https://dekiru.net/category/windows-office/access/ https://lab.pasona.co.jp/data-operation/skill/984/
特記事項	テキストの問題を確実にを行い、Accessの利用経験値を高めることで理解が増し、技術が定着します。 2月には、データベース検定に挑戦しましょう。そのための基礎作りががんばってください。 授業は、テキストの途中で終わります。続きは2年次のデータベースⅡで学習します。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1	2	選択
担当教員			
山口 明日香			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
講義	キャリア育成学科	2U2101	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員</p> <p>■科目に関連した実務経験のある教員が担当している</p> <p>科目に関連した実務内容</p> <p>講師は臨床心理士・公認心理師の資格を持ち、総合病院にて心理療法士としての実務経験を持っています。幼児から高齢者までの方との関わりを持ち、多角的な面から相手を理解しコミュニケーションを取ることを行ってきました。この講義では高齢者との円滑なコミュニケーションを行うための技法獲得を目指します。</p> <p>アクティブラーニング要素</p> <p><input type="checkbox"/>ディスカッション、ディベート</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>グループワーク</p> <p><input type="checkbox"/>プレゼンテーション</p> <p><input type="checkbox"/>実習、フィールドワーク</p>
テーマ	高齢者とその家族への相談援助、人間関係の理解とその心理およびコミュニケーション技術について学ぶ。
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 高齢者との対人関係におけるコミュニケーションの重要性と方法が理解できる。 2. 個別相談援助についての基礎的理解ができる。 3. 自己のコミュニケーション方法や特性について理解することができる。
授業概要	人間関係の形成やコミュニケーションの基礎について学び、グループワークを通して体験する。また回想法やヴァリデーションセラピーなどを始めとする高齢者へのセラピーについて、理論を通して様々な視点からの関わりを理解し技術を学ぶ。心理学やカウンセリングの理論などを学習することで、自己のコミュニケーション法に気づきを与え、実践に活かせる技術を身につける。
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 コミュニケーションの基本 【時間外学習（予習1時間）第1章第1・2・3節を読んでおくこと】 小レポート①：グループワークの感想 2 コミュニケーションの技術 【時間外学習（予習1時間）第1章第4・5節を読んでおくこと】 課題レポート①：パーソナルスペースについて 3 人間の成長発達 【時間外学習（予習1時間）前期の「人間発達の理解 I」を復習する。第2章第1節を読んでおくこと】 4 社会性の発達 乳児期・乳幼児期・学童期 【時間外学習（予習1時間）第2章第2節を読んでおくこと】 5 社会性の発達 青年期・成人期・中年期 【時間外学習（予習1時間）第2章第2節を読んでおくこと】 6 社会性の発達 老年期 【時間外学習（予習1時間）第2章第2節を読んでおくこと】 7 発達特性とコミュニケーション 【時間外学習（予習1時間）前期の「人間発達の理解 I」を復習する。第2章第3節を読んでおくこと】 課題レポート②：過去のコミュニケーション場面について 8 Highly Sensitive Person (HSP) とストレス 【時間外学習（予習1時間）HSPについて調べておくこと】 9 ALS患者への支援とコミュニケーション 【時間外学習（予習1時間）ALSの症状や支援方法について調べておくこと】 小レポート②：動画の感想 10 個人の援助とコミュニケーション① 【時間外学習（予習1時間）第3章第1節を読んでおくこと】 11 個人の援助とコミュニケーション② 【時間外学習（予習1時間）第3章第2節を読んでおくこと】 12 事例を通してコミュニケーションを考える 【時間外学習（予習1時間）授業で行ったコミュニケーションの技法を復習しておくこと】 課題レポート③：授業を通して自身について振り返る 13 高齢者への心理療法①

	<p>【時間外学習（予習1時間）高齢者とのコミュニケーション方法について復習し、高齢者に適した心理療法について調べておくこと】</p> <p>14 高齢者への心理療法②</p> <p>【時間外学習（予習1時間）高齢者とのコミュニケーション方法について復習し、高齢者に適した心理療法について調べておくこと】</p> <p>15 まとめ</p>
学修に関する留意事項	グループワークを始め、積極的な参加を求める。
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	紙ベースにて実施する。
成績評価方法・基準	筆記試験：50% 小レポート（2回）：10% 課題（3回）：30% 取り組み姿勢：10%
書名①	人間関係のコミュニケーション
著者名①	野村豊子
出版社①	ミネルヴァ書房
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	
参考URL	
特記事項	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1	2	選択
担当教員			
中川 千代			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
講義	キャリア育成学科	2V2100	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員</p> <p>■科目に関連した実務経験のある教員が担当している</p> <p>科目に関連した実務内容</p> <p>アクティブラーニング要素</p> <p>■ディスカッション、ディベート</p> <p>■グループワーク</p> <p>■プレゼンテーション</p> <p>□実習、フィールドワーク</p>
テーマ	「介護の理念」その人の尊厳が保持され、その人の自立(自律)がより望ましい方向に向かい、その人の自己実現が図られることなどを目的とする対人援助であることについて理解する。
到達目標	1. 介護福祉士を取り巻く社会状況から、介護福祉士に求められる社会的役割について知る。2. 利用者本位の介護サービスを提供する専門職として、基本となる理念、理論、知識を理解する。3. 各介護専門科目、介護実習等に役立てられる基礎力を身につける。
授業概要	「介護」のイメージを膨らませていけるよう、身近な出来事から考えていく。「介護を必要とする人」が主人公であることを理解し、「生活者の視点」から物事を見ていけるよう学ぶ。ノートをしっかりとして整理しながら自ら学びをまとめ、後に活用できる手法を身につける。
授業計画	<p>1 介護・介護福祉士に対するイメージ～授業の取り組み方、授業ノートの作成について説明する。 (時間外学習) (復習) 授業ノートの準備をする。(20分)</p> <p>2 要介護状態での生活の理解、要介護の対象者とはどのような疾患や障害があり、日常生活に支障を来しているのかを知る。卒業生の実体験から学ぶ。 (時間外学習) (予習及び復習) 新しい用語のまとめ、ノートの整理、配布プリントの読み込みを行う。(30分)</p> <p>3 自立と生活の質(QOL)向上と自己実現～「介護を受ける」ことを主体的に自己選択・自己決定する「自律」の視点 (時間外学習) (予習及び復習) 新しい用語のまとめ、ノートの整理、配布プリントの読み込み、宿題レポートに取り組む。(40分)</p> <p>4 介護福祉士を取り巻く現状(介護福祉士の誕生、定義と義務、心身の状況に応じた介護、利用者支援の実際) (時間外学習) (予習及び復習) 新しい用語のまとめ、ノートの整理、教科書P.100・配布プリントの読み込みを行う。(30分)</p> <p>5 介護福祉士の役割と機能を支えるしくみ～名称独占と業務独占の意味、専門職能団体の活動、日本介護福祉士会倫理綱領を理解する。 (時間外学習) (予習及び復習) ノートの整理、教科書P.97・配布プリントの読み込みを行う。(30分)</p> <p>6 要介護者に対する理解の変遷、介護政策の展開、介護に関する現行制度の理解。授業ノートを提出する(1回目)。 (時間外学習) (予習) 授業ノートの提出のための確認、整理を行う。(20分) / (復習) 本時の内容を教科書で振り返る。(15分)</p> <p>7 介護保険制度のしくみ①～介護保険法の概要、施設サービス、居宅サービスの種類と内容、グループワークを通して学ぶ。 (時間外学習) (予習及び復習) 新しい用語のまとめ、ノートの整理、教科書P.70～72・配布プリントの読み込みを行う。(30分)</p> <p>8 介護保険制度のしくみ②～サービスの内容、運用、利用、要介護認定、保険給付などの理解 (時間外学習) (予習及び復習) 新しい用語のまとめ、ノートの整理、教科書P.76～78、P.82～87・配布プリントの読み込みを行う。(30分)</p> <p>9 介護実践のための職種理解～介護サービスの担い手(職種の理解)と連携、チームワークについて(ロールプレイを通して) (時間外学習) (予習及び復習) 新しい用語のまとめ、ノートの整理、教科書P.94～99、P.118～120・配布プリントの読み込みを行う。(30分)</p> <p>10 生活支援技術に必要な自立支援、安全、個別性、プライバシー保護の視点、ADL動作およびIADLの理解とその支援。授業ノートを提出する(2回目)。 (時間外学習) (予習) 授業ノートの提出のための確認、整理を行う。(20分) / (復習) 本時の内容を教科書で振り返る。(15分)</p> <p>11 介護予防支援(在宅における利用者の自立支援、自立継続支援)、地域支援(社会資源、地域包括支</p>

	<p>援センターの役割)。 〈時間外学習〉(予習及び復習)新しい用語のまとめ、ノートの整理、教科書P.112~114・配布プリントの読み込みを行う。(30分)</p> <p>12 高齢者虐待防止法、身体拘束の禁止についてディベートを通して学ぶ。 〈時間外学習〉(予習)教科書P.56~58・配布プリントの読み込みを行う。(20分) / (復習)ディベートで出た意見をまとめる。(20分)</p> <p>13 生活課題(ニーズ)の把握、正確な情報収集の手段、リスクマネジメント(不適切なケアを見抜く力)、福祉用具について 〈時間外学習〉(予習及び復習)新しい用語のまとめ、ノートの整理、教科書P.132~135・配布プリントの読み込みを行う。(20分)</p> <p>14 福祉職にかかわる医行為の問題、報告・連絡・相談のあり方をグループワークを行い学ぶ。 〈時間外学習〉(予習及び復習)新しい用語のまとめ、ノートの整理、教科書P.129~131・配布プリントの読み込みを行う。(20分)</p> <p>15 介護実践のための職種理解~生活課題解決のための多職種連携の必要性と介護福祉士の気づき(グループ毎の発表) 〈時間外学習〉授業ノートを完成する(最終チェックを受ける)。</p>
学修に関する留意事項	教科書に出てくる主要な専門用語は大変重要です。「介護福祉用語辞典」と併用しながら、用語の違いを自分の言葉として解釈できるように学んでほしい。要介護者やその家族に説明するつもりで、簡単な言葉でわかりやすく用語の内容を理解できるよう積極的に学んでいきましょう。自分がわかりやすいノートを時間外学習のなかで作っていくことをすすめます。
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	
成績評価方法・基準	授業に対する取組(到達目標1、2) 20% 課題ノート提出(到達目標2、3) 30% 試験(到達目標1、2、3) 50%
書名①	福祉実践をサポートする介護概論
著者名①	菊池信子 他
出版社①	保育出版社
書名②	介護福祉用語辞典
著者名②	中央法規出版編集部
出版社②	中央法規出版
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	
参考URL	
特記事項	介護福祉士を目指す学生には基礎となる科目です。授業に前向きに参加し専門用語の理解に努め、テキストを自分でも何度も読むことが大切です。理解できないことは遠慮なく質問してください。自分がわからないことは一緒に授業を受けている他の学生にもわからないことであるかもしれません。皆で学び合い授業時間を有意義なものにしていきましょう。介護福祉士としての実務経験あります。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1	2	選択
担当教員			
世古口 正臣			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
講義	キャリア育成学科	2V2102	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員</p> <p>■科目に関連した実務経験のある教員が担当している</p> <p>科目に関連した実務内容 特別養護老人ホーム、ショートステイサービスセンターでの介護経験、生活相談員、施設長としての実務経験</p> <p>アクティブラーニング要素</p> <p><input type="checkbox"/>ディスカッション、ディベート</p> <p>■グループワーク</p> <p><input type="checkbox"/>プレゼンテーション</p> <p><input type="checkbox"/>実習、フィールドワーク</p>
------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	高齢者の暮らしとそれを支えるしくみ、暮らしを支える生活環境とケアを学ぶ
到達目標	1. 介護福祉を必要とする人を理解する 2. 介護福祉を必要とする人の生活を支えるしくみを理解する 3. 施設を暮らしの場にするユニットケアを理解する 4. 高齢者の暮らしを個別にケアする方法を習得する
授業概要	介護福祉を必要としている人の「その人らしさ」とは何かを考え、介護福祉を必要とする人の生活を支えるしくみについて学びましょう。また、高齢者の尊厳ある暮らしを支えるためには、生活環境としての空間のあり方とケアのあり方の両面から考える必要があります。施設を高齢者の住まいにするノウハウを学ぶとともに、高齢者の暮らしを個別にケアするために大切にしなければならない視点と、その方法として24Hシートの作り方を習得しましょう。
授業計画	<p>1 オリエンテーション（授業の流れ）</p> <p>2 1. 介護福祉を必要とする人の理解（1）私たちの生活の理解 ①生活とは何か、②生活にとって大切な要素、③生活の特性予習 予習:教科書の該当範囲の予習(所要時間:20分)復習:授業中にまとめたノート振り返る復習(所要時間:10分)</p> <p>3 1. 介護福祉を必要とする人の理解（2）介護福祉を必要とする人たちの暮らし ①介護福祉を必要とする人たちの「暮らし」を理解すること ②介護福祉を必要とする高齢者の暮らし予習:教科書の該当範囲の予習(所要時間:20分)復習:授業中にまとめたノート振り返る復習(所要時間:10分)</p> <p>4 1. 介護福祉を必要とする人の理解（2）介護福祉を必要とする人たちの暮らし ③介護福祉を必要とする障害者の暮らし予習:教科書の該当範囲の予習(所要時間:20分)復習:授業中にまとめたノート振り返る復習(所要時間:10分)</p> <p>5 1. 介護福祉を必要とする人の理解（3）「その人らしさ」と「生活ニーズ」の理解 ①「その人らしさ」とは何か、②「その人らしさ」の背景、③「その人らしさ」の介護福祉における活用、④「生活ニーズ」の理解、⑤個々の生活ニーズにどこまでこたえるか予習:教科書の該当範囲の予習(所要時間:20分)復習:授業中にまとめたノート振り返る復習(所要時間:10分)</p> <p>6 1. 介護福祉を必要とする人の理解（4）「生活のしづらさ」の理解とその支援 ①「生活のしづらさ」について考える、②日常生活から考える「生活のしづらさ」、③「生活のしづらさ」に対する支援、④家族介護者への支援予習:教科書の該当範囲の予習(所要時間:20分)復習:授業中にまとめたノート振り返る復習(所要時間:10分)</p> <p>7 2. 介護福祉を必要とする人の生活を支えるしくみ（1）生活を支えるフォーマルサービスとは ①高齢者のためのフォーマルサービスの概要 ②障害者のためのフォーマルサービスの概要予習:教科書の該当範囲の予習(所要時間:20分)復習:授業中にまとめたノート振り返る復習(所要時間:10分)</p> <p>8 2. 介護福祉を必要とする人の生活を支えるしくみ（2）生活を支えるインフォーマルサービスとは ①費用負担による区分、②フォーマルサービスとの関係、③インフォーマルサービスの種類、④インフォーマルサービスの提供者、⑤介護福祉士に求められる支援の視点予習:教科書の該当範囲の予習(所要時間:20分)復習:授業中にまとめたノート振り返る復習(所要時間:10分)</p> <p>9 2. 介護福祉を必要とする人の生活を支えるしくみ（3）地域連携 ①地域連携の意義と目的 ②地域連携にかかわる機関の理解 ③利用者を取り巻く地域連携の実際予習:教科書の該当範囲の予習(所要時間:20分)復習:授業中にまとめたノート振り返る復習(所要時間:10分)</p>

	10	3. 施設を暮らしの場にするユニットケア (1) ユニットケアの特徴 (2) 制度からみたユニットケア (3) ユニットケア4つのポイント ①少人数ケア体制をつくるフォーム 予習(所要時間:20分)復習:授業中にまとめたプリントを振り返る復習(所要時間:10分)
	11	3. 施設を暮らしの場にするユニットケア (3) ユニットケア4つのポイント ②入居者が自分の住まいと思えるハード 予習:プリントの該当範囲の予習(所要時間:20分)復習:授業中にまとめたプリントを振り返る復習(所要時間:10分)
	12	3. 施設を暮らしの場にするユニットケア (3) ユニットケア4つのポイント ③今までの暮らしを続けられるソフト 予習:プリントの該当範囲の予習(所要時間:20分)復習:授業中にまとめたプリントを振り返る復習(所要時間:10分)
	13	4. 高齢者の暮らしを個別にケアする (1) 入居者の日々の暮らしを知る方法 (2) 24シートの作成とその流れ 予習:プリントの該当範囲の予習(所要時間:20分)復習:授業中にまとめたプリントを振り返る復習(所要時間:10分)
	14	4. 高齢者の暮らしを個別にケアする方法 (3) 24シートの活用場面 (4) 課題①、課題② 予習:プリントの該当範囲の予習(所要時間:20分)復習:授業中にまとめたプリントを振り返る復習(所要時間:10分)
	15	授業全体の振り返りとまとめ予習:取り組んでいる最中の課題について 予習:取り組んでいる最中の課題について予習(所要時間:20分)復習:授業を通してまとめたノート、プリントを振り返る復習(所要時間:10分)
学修に関する留意事項	各授業回に予定している授業内容に該当する内容を、次回の授業までに予習すること。(各20分程度) 各授業中にまとめたノートを振り返り、授業の全体を復習すること。(所要時間:各10分)	
試験やレポート等の課題のフィードバック方法		
成績評価方法・基準	課題①「聞き取りシート」20% 課題②「24Hシート」20% 最終レポート40% 授業に対する態度・積極的な姿勢20%	
書名①	最新 介護福祉士養成講座4「介護の基本Ⅱ」	
著者名①	介護福祉士養成講座編集委員会 編集	
出版社①	中央法規	
書名②		
著者名②		
出版社②		
書名③		
著者名③		
出版社③		
参考文献		
参考URL		
特記事項		

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1	1	選択
担当教員			
倉田 町子			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
演習	キャリア育成学科	2V2211	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員</p> <p>■科目に関連した実務経験のある教員が担当している</p> <p>科目に関連した実務内容 保健師、看護師、介護支援専門員、医療ソーシャルワーカー、産業カウンセラーの実務経験があります。</p> <p>アクティブラーニング要素</p> <p>■ディスカッション、ディベート ■グループワーク ■プレゼンテーション □実習、フィールドワーク</p>
------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	介護福祉実践に必要なコミュニケーション能力の開発
到達目標	<p>①介護福祉実践におけるコミュニケーションの役割を知る</p> <p>②対象者との信頼関係の構築や、チームケア実践のためのコミュニケーション技術を学ぶ</p> <p>③コミュニケーション技術を学び、実際のコミュニケーションに活かすことができる</p>
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションの果たす役割を理解し、利用者や家族への関わり方について学ぶ ・体験学習を通してチームコミュニケーションを学ぶ ・対象者の特性に応じたコミュニケーションを学ぶ
授業計画	<p>1 コミュニケーション技術の応用（前期の学びの活用） 〈演習〉 〈時間外学習〉 ワークシートの作成</p> <p>2 介護福祉職としてコミュニケーション技術を学ぶ意義、コミュニケーションアセスメント 〈演習〉 〈時間外学習〉 テキストP74～83を読んでおく。</p> <p>3 さまざまなコミュニケーション障害（視力障害、聴覚障害） 〈時間外学習〉 テキストP84～98を読んでおく。</p> <p>4 さまざまなコミュニケーション障害（言語障害） 〈時間外学習〉 テキストP99～111を読んでおく。</p> <p>5 さまざまなコミュニケーション障害（構音障害、失語症） 〈演習〉 〈時間外学習〉 テキストP165～166を読んで授業で行う演習の概要を理解しておく。</p> <p>6 さまざまなコミュニケーション障害（認知症） 〈時間外学習〉 テキストP113～124を読んでおく。</p> <p>7 さまざまなコミュニケーション障害（うつ病、統合失調症） 〈時間外学習〉 テキストP124～134を読んでおく。</p> <p>8 家族とのコミュニケーション 〈演習〉 〈時間外学習〉 テキストP168～189を読んでおく。</p> <p>9 集団におけるコミュニケーション技術、チームのコミュニケーション① 〈時間外学習〉 テキストP59～71、P192～197を読んでおく。</p> <p>10 チームのコミュニケーション② コンフリクト、合意形成 〈体験学習、グループワーク、発表〉 〈時間外学習〉 振り返りシートの記入</p> <p>11 チームのコミュニケーション③ 情報共有、課題解決 〈体験学習、グループワーク、発表〉 〈時間外学習〉 振り返りシートの記入</p> <p>12 チームのコミュニケーション④ 報告、連絡、相談の技術。 〈個別ワーク・グループワーク〉 〈時間外学習〉 テキストP198～206を読んでおく。</p> <p>13 チームのコミュニケーション⑤ 記録の技術、ヒヤリハット 〈個別ワーク、グループワーク〉 〈時間外学習〉 テキストP207～227を読んでおく。</p> <p>14 チームのコミュニケーション⑥ 会議の目的、役割。会議参加の留意点。 〈グループワーク・発表〉 〈時間外学習〉 テキストP228～241を読んでおく。</p>

	15 学習の振り返り (時間外学習) 配布プリントを学習しておく。試験に備える。
学修に関する留意事項	・授業で行う演習には積極的に取り組みましょう。・演習などで学んだことを日常生活の中で実践していきましょう。
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	
成績評価方法・基準	授業に対する取り組み(到達目標1.2.3) 40% 筆記試験(到達目標1.2.3) 40% 提出物(到達目標1.2.3) 20%
書名①	最新介護福祉士養成講座5「コミュニケーション技術」
著者名①	編集 介護福祉士養成講座編集委員会
出版社①	中央法規
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	「プロセス・エデュケーション」(出) 金子書房 著) 津村俊充
参考URL	
特記事項	保健師、看護師、介護支援専門員、医療ソーシャルワーカーとしての実務経験があります。 カウンセラー(産業カウンセラー)としての相談経験があります

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1	1	選択
担当教員			
和田 欣子			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
演習	キャリア育成学科	2V2221	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員</p> <p>■科目に関連した実務経験のある教員が担当している</p> <p>科目に関連した実務内容</p> <p>アクティブラーニング要素</p> <p><input type="checkbox"/>ディスカッション、ディベート</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>グループワーク</p> <p><input type="checkbox"/>プレゼンテーション</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>実習、フィールドワーク</p>
------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	生活支援に必要な被服の知識と技術を学ぶ。高齢者・障がい者が安心・安全に暮らすことができる住まいについて学ぶ。
-----	--------------------------------------------------------

到達目標	1. 衣生活・住生活に関する知識と技術を学ぶ 2. 衣生活を支援するために必要な実践力を身につける 3. 安全で快適な住生活を支援する方法を考えることができる
------	---------------------------------------------------------------------------------

授業概要	講義及び演習や実習を通して、衣服や住居について基本的な知識を身に付ける。高齢者・障がい者にとって快適な衣生活及び住生活を支援する方法を考える。被服分野では管理、製作実習、住分野では実測による簡単な図面作成を行う予定。
------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------

授業計画	<p>1 衣服の役割と機能 (時間外学習) 衣服機能についてのまとめプリント (1時間)</p> <p>2 繊維の種類と特性 (時間外学習) 繊維の特徴についてのまとめプリント (1時間)</p> <p>3 素材と品質表示・サイズについてのグループワーク (時間外学習) 衣類の表示について確認してくる (0,5時間) 品質表示、取り扱い表示についてのまとめプリント (1時間)</p> <p>4 織組織・編組織の特徴 (時間外学習) 三原組織、メリアス編組織の作成 (2時間) 組織の特徴についてのまとめプリント (1時間)</p> <p>5 衣服の管理についてのグループワーク (時間外学習) 洗剤の種類と特徴についてのまとめプリント (1時間)</p> <p>6 寝具の衛生管理、高齢者・障がい者の衣服 (時間外学習) 高齢者の身体的特徴と衣服についてのまとめプリント (1時間)</p> <p>7 被服実習基礎 1 (時間外学習) アイロン、手縫いの練習 (1時間)</p> <p>8 被服実習基礎 2 (時間外学習) ボタン、スナップ付けの練習 (1時間)</p> <p>9 被服製作実習 1 (時間外学習) しるしつけと並縫いの補填 (1時間)</p> <p>10 被服製作実習 2 (時間外学習) ミシン縫いとまつり縫いの補填 (1時間)</p> <p>11 被服製作実習 3 (時間外学習) ボタン、スナップ付けの補填 (1時間)</p> <p>12 住まいの役割と住空間 (時間外学習) 住まいの機能についてのまとめプリント (1時間)</p> <p>13 快適・安全な住生活 (時間外学習) 快適・安全な住居についてのまとめプリント (1時間)</p> <p>14 高齢者・障がい者の住居 (時間外学習) 高齢者の特性と配慮すべき点についての小レポート作成 (1時間)</p> <p>15 学修の振り返り (時間外学習) 衣生活、住生活における生活支援についてのまとめプリント (1時間)</p>
------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

学修に関する留意事項	実習への積極的な取り組みを評価する。振り返りプリントを提出する。実習作品は必ず完成させ提出する。提出期限は厳守する。
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	
成績評価方法・基準	演習への取り組み（到達目標1, 2, 3）40% 提出物（到達目標1, 2, 3）40% 筆記試験（到達目標1）20%
書名①	生活支援技術 I
著者名①	介護福祉士養成講座編集委員会編
出版社①	中央法規出版
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	
参考URL	
特記事項	被服や住居についての知識を増やし、介護の幅を広げましょう。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1	1	選択
担当教員			
松枝 桂子、東海林 藍			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
演習	キャリア育成学科	2V2224	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員</p> <p><input type="checkbox"/> 科目に関連した実務経験のある教員が担当している</p> <p>科目に関連した実務内容</p> <p>アクティブラーニング要素</p> <p><input type="checkbox"/> ディスカッション、ディベート</p> <p><input type="checkbox"/> グループワーク</p> <p><input type="checkbox"/> プレゼンテーション</p> <p><input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク</p>
------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	個々の利用者に対しての自立に向けた汎用性のある生活支援能力を養う。
到達目標	1. 人間の尊厳を尊重し、潜在能力を引き出し自立に向かう視点を持った適切な介護の知識・技術(食事・口腔ケア・着脱援助等)を知る。2. 食事支援・口腔ケア・着衣の交換(身支度)への援助等に関する基本的技術を身につける。
授業概要	利用者の生活上の課題を見極める視点を養う。自立に向けた食事支援・口腔ケア支援・身支度(更衣)の知識・技術の演習をする。
授業計画	<p>1 食事の意義と目的、食事におけるアセスメント (時間外学習) 配布プリントの確認 (30分)</p> <p>2 「おいしく食べる」ための支援のあり方(環境づくり、雰囲気づくり) (時間外学習) 行事食についての課題レポート(60分)</p> <p>3 食事摂取の過程、摂食・嚥下のしくみと誤嚥～食欲・摂食・咀嚼・食塊形成・嚥下など食事摂取において、普段なにげなくできている動作について、具体的に演習を通じ学ぶ (時間外学習) 配布プリントの確認 (30分)</p> <p>4 介護食の形態と調理の工夫、摂食時の基本姿勢 (時間外学習) 教科書第4章第1節を読む (30分)</p> <p>5 脱水予防の必要性、食事介護の原則～安全面、自立支援の面から必要な知識・技術を学ぶ (時間外学習) 教科書第4章第2節を読む (30分)</p> <p>6 安全で的確な食事介助の技法(演習) (時間外学習) 演習レポートの作成、期限までに提出(60分)</p> <p>7 口腔ケアの意義・全身への効果 (時間外学習) テキスト「口腔ケア」の項目を読む (60分)</p> <p>8 口腔ケアに必要な知識と技術 (時間外学習) テキスト「口腔ケアに必要な知識と技術に関する項目を読む(30分)</p> <p>9 歯磨き介助の実習 (時間外学習) 歯磨き介助の手順を読む(30分)</p> <p>10 衣服の着脱介助～座位時の更衣、準備、着脱方法、後始末など演習する (時間外学習) 声かけ方法を含めた練習をする (60分)</p> <p>11 技術確認～個別に手技を行い、制限時間内に必要な技術の習得ができることを目指す (時間外学習) 本時に学んだ技術の手順・声かけ・ポイントをまとめ提出 (60分)</p> <p>12 衣服の着脱介助(寝たままでの寝衣交換)～和式寝巻のたたみ方、準備、着脱方法、後始末など演習する (時間外学習) 声かけ方法を含めた練習をする (60分)</p> <p>13 衣服の着脱介助～片麻痺のある利用者に対しての和式寝巻の交換演習 (時間外学習) 声かけ方法を含めた練習をする (60分)</p> <p>14 技術確認～個別に手技を行い、制限時間内に必要な技術の習得ができることを目指す (時間外学習) 本時に学んだ技術の手順・声かけ・ポイントをまとめ提出 (60分)</p> <p>15 技術確認～個別に手技を行い、制限時間内に必要な技術の習得ができることを目指す (時間外学習) 本時に学んだ技術の手順・声かけ・ポイントをまとめ提出 (60分) 振り返り</p>

学修に関する留意事項	授業で習った技術は自己で復習し覚えてください。その際、手順だけを覚えるのではなく、なぜ、何のために、そのようにするのかをしっかりと覚えてください。反復練習することで身につくことが多いので、介護実習室を積極的に活用してください。介護実習Ⅱでは、特養・老健など介護度の高い利用者に接することになるので、基本がしっかりと身につくよう自己学習が必須です。
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	
成績評価方法・基準	試験（実技・筆記）（到達目標1.2）60% 授業の取り組み（到達目標1.2）20% 提出物（到達目標1.2）20%
書名①	最新 介護福祉士養成講座 7 生活支援技術Ⅱ
著者名①	
出版社①	中央法規
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	
参考URL	
特記事項	人は一人一人違います。その人にふさわしい介護が提供できるようになるためには、基本をしっかり学ぶことが大切です。演習では利用者として接している気持ちで行い、「あなたに介護してもらえてうれしい」と感じてもらえるよう学びましょう。看護師・介護支援専門員として実務経験があります。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1	1	選択
担当教員			
長谷川 恭子、東海林 藍			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
演習	キャリア育成学科	2V2225	
添付ファイル			

授業種類	授業担当教員 ■科目に関連した実務経験のある教員が担当している 科目に関連した実務内容 アクティブラーニング要素 <input type="checkbox"/> ディスカッション、ディベート <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク
------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	自立と尊厳を意識した基本的な介護技術（環境整備・排泄）の習得人生の終末期とそのケアについて学ぶ
到達目標	1. 生活を支える排泄の介護技術の基本的な知識と技術を身につけることができる。2. 実践する技術の根拠が理解できる。3. その人らしさについて考え、尊厳を守り、排泄及び人生の終末期についての技術と知識を身につけることができる。
授業概要	この授業では、介護を必要とする利用者の心身の状態・状況に応じた適切な排泄方法と留意点について学ぶ。事例を通して気づきを深め、利用者の状態・状況に応じた介護福祉職としての適切な対応を考察することを目標とする。
授業計画	1 プライバシー空間の必要性和環境整備について①～介護実習Ⅰの振り返り、個別ワークを実施 <時間外学習>シラバスの確認（この授業で何を学修するのか）（30分） 2 プライバシー空間の必要性和環境整備について②前回まとめたものをグループワークで共有し、発表する。 <時間外学習>（復習）他のグループが発表した内容をノートにまとめる（30分） 3 自立に向けた排泄の介護排泄の意義と目的～利用者の状態に合った排泄の介護方法とは <時間外学習>前回の授業の配布プリントを見直す（20分）（予習）テキスト7巻「排泄の介助」の項目を読んでおく（30分） 4 自立に向けた排泄の介護排泄の意義と目的～利用者の状態に合った排泄の介護ができるよう、利用者を観察する視点を学ぶ <時間外学習>（予習）テキスト7巻「排泄の介助」の項目を読んでおく（30分） 5 利用者の排泄の状態に応じた排泄の留意点～介護を必要とする利用者の心身の状態・状況に応じた適切な排泄方法を学ぶ。 <時間外学習>（復習）授業で学んだ内容をノートにまとめる（30分） 6 紙おむつでの排泄の介助①ベッド上でのおむつ交換の介助方法と留意点について <時間外学習>（復習）授業で学んだ内容をノートにまとめる（30分） 7 紙おむつでの排泄の介助②ベッド上でのおむつ交換の介助方法と留意点について <時間外学習>（復習）授業で学んだ内容をノートにまとめる（30分） 8 紙おむつおよび布おむつ排泄の介助②布おむつ交換の介助方法と留意点について <時間外学習>（復習）演習で行った内容について復習しておく。（30分） 9 尿器、差し込み便器での排泄の介助 およびトイレでの排泄介助方法 <時間外学習>（復習）演習で行った内容について復習しておく。（30分） 10 トイレでの排泄介助方法 利用者の尊厳を遵守したトイレでの排泄介助方法 <時間外学習>（復習）演習で行った内容について復習しておく。（30分） 11 ポータブルトイレでの排泄の介助方法①利用者の尊厳を遵守したポータブルトイレでの排泄介助方法と留意点について学び考える <時間外学習>（復習）授業で学んだ内容をノートにまとめる（30分） 12 ポータブルトイレでの排泄の介助方法②利用者の尊厳を遵守したポータブルトイレでの排泄介助方法と留意点について学び考える。 <時間外学習>（復習）授業で学んだ内容をノートにまとめる（30分） 13 終末期にある人の理解①～国家試験の問題を通して死の用語を学ぶ <時間外学習>（予習）終末期ケアについて読んでおく（30分） 14 終末期にある人の理解②～死の用語と定義について学ぶ

	<p><時間外学習> (復習) 配布プリントを見てポイントを復習する。</p> <p>15 学修の振り返り</p> <p><時間外学習> (復習) この授業で配布したプリントと自作ノートを活用し復習する。</p>
学修に関する留意事項	<p>演習時の身だしなみ、服装はきちんと整えてください。特に爪はきちんと切っておいてください。</p> <p>演習に支障がある服装の場合、講義を受けることはできません。授業で学んだ技術は手順だけでなく、根拠についても理解してください。何度も練習して復習してください。</p>
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	
成績評価方法・基準	<p>授業の取り組み (到達目標 1, 2, 3) 50% 試験 (到達目標 1, 2, 3) 50%</p>
書名①	生活支援技術Ⅰ 新・介護福祉士養成講座6
著者名①	介護福祉士養成講座編集委員会
出版社①	中央法規
書名②	生活支援技術Ⅱ 新・介護福祉士養成講座7
著者名②	介護福祉士養成講座編集委員会
出版社②	中央法規
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	「新しい排泄介護の技術 移乗技術+福祉用具=イキイキ・ラクラク介助！」 (中央法規)
参考URL	
特記事項	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1	1	選択
担当教員			
村尾 悠			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
演習	キャリア育成学科	2V2226	
添付ファイル			
応用生活支援技術 I R6年度. docx		学生配布用シラバス	

授業種類	授業担当教員 <input type="checkbox"/> 科目に関連した実務経験のある教員が担当している 科目に関連した実務内容 アクティブラーニング要素 <input type="checkbox"/> ディスカッション、ディベート <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク
テーマ	肢体不自由、重症心身障害、廃用症候群、高次脳機能障害の理解と支援
到達目標	1. 肢体不自由、重症心身障害、廃用症候群、高次脳機能障害の症状や特徴の理解、障害の原因疾患の理解 2. 障害の特徴に合わせた介助を行うための必要な技術と根拠の理解
授業概要	運動機能障害・脳機能障害の原因疾患について理解する。また、利用者の状態や状況に応じた介助の留意点と援助方法を学ぶ。
授業計画	1 授業のオリエンテーション、麻痺の種類について <時間外学習> (復習) 麻痺の種類について復習する 2 片麻痺になる病気 (脳卒中) について 使用する教科書：介護福祉士養成講座⑫「発達と老化の理解」 <時間外学習> (復習) 脳卒中の特徴と症状について復習する 介護福祉士養成講座⑫「発達と老化の理解」 P220を読む 3 片麻痺の人への支援方法を考える 使用する教科書：介護福祉士養成講座⑧「生活支援技術Ⅲ」 <時間外学習> (復習) 片麻痺の人への支援方法について復習する 介護福祉士養成講座⑧「生活支援技術Ⅲ」 P12-28を読む 4 杖歩行の介助演習 介護実習室での演習予定 (実習服と実習靴が必要) 使用する教科書：介護福祉士養成講座⑥「生活支援技術Ⅰ」 <時間外学習> (課題) 「杖歩行演習用事例」を考えイメージする (復習) 杖歩行の介助について復習する 介護福祉士養成講座⑧「生活支援技術Ⅰ」 P135-142を読む 5 杖歩行の介助演習 介護実習室での演習予定 (実習服と実習靴が必要) 使用する教科書：介護福祉士養成講座⑥「生活支援技術Ⅰ」 <時間外学習> (復習) 介護福祉士養成講座⑧「生活支援技術Ⅰ」 P135-142を読む (課題) 「杖歩行時の介助」についてレポートを書く 6 脊髄損傷について 使用する教科書：介護福祉士養成講座⑧「生活支援技術Ⅲ」 <時間外学習> (復習) 脊髄損傷の特徴と症状について復習する 介護福祉士養成講座⑧「生活支援技術Ⅲ」 P12-28を読む 7 脳性麻痺・重症心身障害について 使用する教科書：介護福祉士養成講座⑧「生活支援技術Ⅲ」 <時間外学習> (復習) 脳性麻痺・重症心身障害の特徴と症状について復習する 介護福祉士養成講座⑧「生活支援技術Ⅲ」 P12-28、P170-179を読む 8 福祉用具について 介護実習室での講義・演習予定 (実習服と実習靴が必要) 使用する教科書：介護福祉士養成講座⑥「生活支援技術Ⅰ」 <時間外学習> (復習) 福祉用具について復習する 介護福祉士養成講座⑥「生活支援技術Ⅰ」 P196-217を読む 9 脊髄損傷の人、脳性麻痺の人への支援方法を考える グループワーク予定 授業時間と時間外学習で次回発表できるように準備を行う 10 脊髄損傷の人、脳性麻痺の人への支援方法の発表 前回の学習の発表 <時間外学習> 発表内容の振り返り、介護福祉士養成講座⑧「生活支援技術Ⅲ」 P12-28 11 廃用症候群について

	<p>使用する教科書：介護福祉士養成講座⑫「発達と老化の理解」 (時間外学習) (復習) 廃用症候群について復習する 介護福祉士養成講座⑫「発達と老化の理解」P198-199を読む</p> <p>12 体位変換・ポジショニングの演習 介護実習室での演習予定(実習服と実習靴が必要) 使用する教科書：介護福祉士養成講座⑥「生活支援技術Ⅰ」 (時間外学習) (復習) 介護福祉士養成講座⑥「生活支援技術Ⅰ」P97-107、124-134を読む 水平移動、ポジショニングについて復習する</p> <p>13 体位変換・ポジショニングの演習 介護実習室での演習予定(実習服と実習靴が必要) 使用する教科書：介護福祉士養成講座⑥「生活支援技術Ⅰ」 (時間外学習) (復習) 介護福祉士養成講座⑥「生活支援技術Ⅰ」P97-107、124-134を読む (課題) 「安楽な体勢への介助」についてレポートを書く</p> <p>14 高次脳機能障害について 使用する教科書：介護福祉士養成講座⑧「生活支援技術Ⅲ」 (時間外学習) (復習) 高次脳機能障害の特徴と症状について復習する 介護福祉士養成講座⑧「生活支援技術Ⅲ」P219-229を読む</p> <p>15 今までの学修の振り返り</p>
学修に関する留意事項	<p>障害の症状・特徴に合わせた介助とは何かを考えて必要な技術と知識を習得しましょう。 授業後に復習を行ってください。 提出課題やレポートの決められたことは必ず守ってください。</p>
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	<p>提出課題の評価の返却を希望する人には、注釈をつけて返却します。</p>
成績評価方法・基準	<p>筆記試験(到達目標1.2.3) 50% 授業の取り組み(到達目標1.2.3) 20% 提出物(到達目標1.2.3) 30%</p>
書名①	<p>最新 介護福祉士養成講座8 生活支援技術Ⅲ</p>
著者名①	<p>編集) 介護福祉士養成講座編集委員会</p>
出版社①	<p>中央法規出版株式会社</p>
書名②	<p>最新 介護福祉士養成講座6 生活支援技術Ⅰ</p>
著者名②	<p>編集) 介護福祉士養成講座編集委員会</p>
出版社②	<p>中央法規出版株式会社</p>
書名③	<p>最新 介護福祉士養成講座12 発達と老化の理解</p>
著者名③	<p>編集) 介護福祉士養成講座編集委員会</p>
出版社③	<p>中央法規出版株式会社</p>
参考文献	
参考URL	
特記事項	<p>看護師として実務経験があります。</p>

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1	1	選択
担当教員			
蒔田 勝義			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
演習	キャリア育成学科	2V2227	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員</p> <p>■科目に関連した実務経験のある教員が担当している</p> <p>科目に関連した実務内容</p> <p>手話通訳士として30年近い手話通訳の経験があり、かつ、介護福祉士養成専門学校や地域の手話講習会でも永年にわたり指導している。</p> <p>アクティブラーニング要素</p> <p><input type="checkbox"/>ディスカッション、ディベート</p> <p><input type="checkbox"/>グループワーク</p> <p><input type="checkbox"/>プレゼンテーション</p> <p><input type="checkbox"/>実習、フィールドワーク</p>
------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	聴覚障害者福祉の基本的な流れや手話の基本を学び、聴覚障害者および手話への理解を深める
到達目標	①聴覚障害者の言語である手話を学び自己紹介ができるようにする。 ②聴覚に障害を持つことや暮らしについて学び、聴覚障害者への理解を深める。 ③多様性を理解し、他人を尊重したコミュニケーションが出来るようにする。
授業概要	①初歩的な手話の実技 ②テキストや副教材を基本とした講義 ③障害当事者による講義と実技 (3回)
授業計画	<p>1 オリエンテーション講義：手話の特徴や成り立ちについて、実技：自己紹介・挨拶の手話を覚えよう 復習：覚えた手話を何度も練習する (30分程度)</p> <p>2 講義：聴覚に障害が起きる仕組みについて、実技：時を表す手話を覚えよう 復習：覚えた手話を何度も練習する (30分程度)</p> <p>3 実技：指文字と数字の手話を覚えよう、挨拶の例文の手話を覚えよう 復習：クラスメイトの名前を練習する (30分程度)</p> <p>4 講義：ろう者とのコミュニケーションと情報保障、実技：自己紹介の例文の手話を覚えよう 復習：自己紹介が出来るように練習する (30分程度)</p> <p>5 実技：自己紹介の幅を広げよう 復習：自己紹介がスムーズに出来るように練習する (30分程度)</p> <p>6 実技：場所を表す手話を覚えよう 復習：覚えた手話を何度も練習する (30分程度)</p> <p>7 講義：ろう者の職業について、実技：仕事についての手話を覚えよう 復習：覚えた手話を何度も練習する (30分程度)</p> <p>8 講義：ろう教育について、実技：疑問を表す手話を覚えよう 復習：覚えた手話を何度も練習する (30分程度)</p> <p>9 実技：動詞を表す手話を覚えよう、講習会の例文の手話を覚えよう 復習：覚えた手話を何度も練習する (30分程度)</p> <p>10 講義：ろう者の生活について、実技：いろいろな質問に答えよう 復習：ろう者が生活の中で苦労していることや工夫についてまとめる (30分程度)</p> <p>11 実技：形容詞等の手話を覚えよう、家庭生活での例文の手話を覚えよう 復習：覚えた手話を何度も練習する (30分程度)</p> <p>12 講義：手話の反対語を探そう、買い物の例文の手話を覚えよう 復習：覚えた手話を何度も練習する (30分程度)</p> <p>13 実技：同音異義語の手話を覚えよう、郵便局での例文の手話を覚えよう 復習：覚えた手話を何度も練習する (30分程度)</p> <p>14 実技：自己紹介を中心とする手話を復習しよう 復習：自己紹介がスムーズに出来るように練習する (30分程度)</p> <p>15 実技：表現試験、読み取り試験筆記：聴覚障害者についての筆記試験</p>

学修に関する留意事項	①手話は視覚言語とも言われているので、しっかり見て手を動かし、繰り返し練習をしましょう。
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	
成績評価方法・基準	授業態度(到達目標1, 2, 3) 20% 筆記試験 (到達目標2) 30% 実技試験 (表現・読み取り) (到達目標1, 3) 50%
書名①	新手話ハンドブック
著者名①	全日本ろうあ連盟
出版社①	三省堂
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	
参考URL	
特記事項	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1	1	選択
担当教員			
中川 千代			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
演習	キャリア育成学科	2V2231	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員</p> <p>■科目に関連した実務経験のある教員が担当している</p> <p>科目に関連した実務内容</p> <p>アクティブラーニング要素</p> <p>■ディスカッション、ディベート</p> <p>■グループワーク</p> <p>□プレゼンテーション</p> <p>□実習、フィールドワーク</p>
テーマ	介護課題解決のための方法論を学ぶ
到達目標	1. 介護過程展開のプロセスを習得する。2. 介護過程の基盤になる ICF の概念・枠組みがわかる。3. 介護過程の各段階を記録物に表現できる。
授業概要	介護過程展開の各段階を理解し、実践に生かせる個別援助計画を立案するための基礎を学ぶ。介護実習Ⅱに備え、その科目で行う具体的な取り組みについての方法を身につけ、自ら記録できるよう指導する。
授業計画	<p>1 介護課題解決のための介護過程～介護実習Ⅰを終えて、施設での利用者の生活を見たとえで介護過程の必要性を再確認する。日本介護福祉士会倫理綱領に照らし合わせて振り返る（グループワーク）。</p> <p>〈時間外学習〉（復習）授業中に配布する資料を整えるためのファイルを準備する。（10分）</p> <p>2 介護過程の4段階の展開プロセスについて全体の流れを復習する。本学で実習時に使用する情報収集（アセスメント）シートを理解する。</p> <p>〈時間外学習〉（予習及び復習）用語等の確認。介護過程演習Ⅰの振り返りをしておく。（20分）</p> <p>3 きめ細かな情報収集について～利用者の生きてきた時代背景やその人の生活史を知り、現在のその人の姿の手がかりにする。</p> <p>〈時間外学習〉（復習）1964年、1970年に起こった出来事を調べ、当時の日本の生活様式をまとめる。（宿題30分）</p> <p>4 情報収集に必要な気づきの視点～先入観や偏見を持たないようにして、利用者に関心をよせ、立体感のある人間像を知る（グループワーク）。他のグループから出された意見も共有し合う。</p> <p>〈時間外学習〉（復習）本時で演習した気づきの視点について振り返る。（10分）</p> <p>5 ICF（国際生活機能分類）の基本概念とモデルの理解</p> <p>〈時間外学習〉（予習）テキストP.109～P.111を読んでおく。（20分）／（復習）用語の理解のため配布プリントを読み込む。（10分）</p> <p>6 具体的事例①による、情報収集シートの記入演習。ICFの基本モデルに添った情報の整理について学ぶ。</p> <p>〈時間外学習〉（予習）テキストP.57～P.63を読んでおく。（20分）／（復習）グループ演習が効率よくすすめられるよう事例を読み込んでおく。（20分）</p> <p>7 「している活動」「できる活動」に注目し、生活課題を明確化する（具体的事例①）～情報収集シートの具体的記入方法について学ぶ。</p> <p>〈時間外学習〉（予習）テキストP.64～P.66を読んでおく。（20分）／（復習）事例を通して、情報収集シートを完成させる課題に取り組む。（30分）</p> <p>8 生活課題を見いだす際の根拠（情報分析）、重大性と緊急性の判断基準、日常生活自立度について、ICFの視点及び基本モデルと情報収集シートとの関係を学ぶ。</p> <p>〈時間外学習〉（予習）テキストP.70～P.73を読んでおく。（20分）／（復習）本時での学びを振り返る。資料をわかりやすく整理・保管する。（10分）</p> <p>9 具体的事例①による、生活課題を明確化するための演習（グループワーク）、情報から「客観的事実」と「誰かの判断が入った情報」を意識する。</p> <p>〈時間外学習〉（予習）グループ演習が効率よくすすめられるよう事例を読み込んでおく。（20分）／（復習）資料をわかりやすく整理・保管する。（10分）</p> <p>10 介護過程展開シートの記入方法～明確化された課題の表現方法、留意点（生活課題のとらえ方、目標の表記）を学び、ペーパーシミュレーションをグループで行う。</p> <p>〈時間外学習〉（予習）これまでの授業でわからないところを明確にする。（30分）／（復習）本時で行った部分のシートを完成する。（15分）</p> <p>11 介護過程展開シートの記入方法～介護計画の立案（到達目標と介護計画内容の設定）、介護の実施の記録方法。ペーパーシミュレーションをグループで行う。</p>

	<p>〈時間外学習〉グループ演習が効率よくすすめられるよう予習・復習する。(30分)</p> <p>12 具体的事例②による、情報収集シートおよび介護過程展開シートの記入演習(介護計画内容を考え、詳しく表現する)、グループで意見交換する。</p> <p>〈時間外学習〉グループ演習が効率よくすすめられるよう予習・復習する。(30分)</p> <p>13 具体的事例②による、情報収集シートおよび介護過程展開シートの記入演習(生活課題のとらえ方、目標の表記) I C Fの視点を基にした働きかけ～医学モデルと社会モデルのとらえ方を学び、両面から考えられる思考の大切さを知る。</p> <p>〈時間外学習〉(予習)介護実習Ⅱで介護過程が展開できるようわからないところを明確にする。テキストP.112～P.114を読んでおく。(20分)</p> <p>14 具体的事例②による、情報収集シートおよび介護過程展開シートの記入演習(医学モデルと社会モデルのとらえ方を意識して介護計画内容を考え、詳しく表現する)。グループで出された内容案を発表し、他グループの案と比較しながら学びを深める。</p> <p>〈時間外学習〉(予習)介護実習Ⅱで介護過程が展開できるようわからないところを明確にする。(10分)</p> <p>15 まとめ 介護の実施(実践)の表現方法、評価・修正について</p> <p>〈時間外学習〉(予習)介護過程の進め方、手順を再確認する。(20分)</p>
学修に関する留意事項	単に衣食住が安定するだけの支援にとどまらない介護ができるような視点を持ったうえ、計画内容を具体的に言葉で表現してみることが大切です。授業中に、たくさんの資料を配布するので、自己管理し必要に応じてすぐ活用できるようまとめていくことが上達のポイントです。情報収集シート・介護過程展開シートは、具体的に記入した事例を通して学びます。授業時間外を活用し事例をしっかりと読み込み、疑問点は質問できるよう事前にまとめておいてください。
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	
成績評価方法・基準	授業に対する取組(到達目標1、2) 20% 課題等の提出物(到達目標2、3) 20% 試験(到達目標1、2、3) 60%
書名①	最新介護福祉士養成講座9 介護過程
著者名①	介護福祉士養成講座編集委員会
出版社①	中央法規出版
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	楽しく学ぶ介護過程、介護過程の展開 基礎的理解と実践演習
参考URL	
特記事項	利用者に関わるすべての過程が介護過程です。介護福祉士として根拠のある介護を継続的に提供できる『求められる人』になれるよう介護過程の展開を身につけ、常に自分に問いかけながら行動できるための知識・技術を学びましょう。わからないことをわからないままにしない努力をしましょう。介護福祉士としての実務経験があります。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1	1	選択
担当教員			
中川 千代			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
演習	キャリア育成学科	2V2241	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員</p> <p>■科目に関連した実務経験のある教員が担当している</p> <p>科目に関連した実務内容</p> <p>アクティブラーニング要素</p> <p>■ディスカッション、ディベート</p> <p>■グループワーク</p> <p>□プレゼンテーション</p> <p>□実習、フィールドワーク</p>
------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	介護実習Ⅱに向けて必要な知識や技術の学び直し、自己の不得意分野を知る介護過程の展開を含めた、介護実践を的確に行えるための準備学修
到達目標	1. 介護実習Ⅱの目標・課題を明確にし、効果的な実践を行うため準備ができる。2. 記録の重要性を理解し、主観と客観的事実を区別した表現がわかる。3. 対象者を理解した生活支援技術が提供でき、適切な記録が書ける。
授業概要	介護実習Ⅱでの実践が円滑に行え学びが深められるよう、意義・目的を理解し施設を利用する対象者の生活を理解できるよう自ら学べるような場とします。介護実習Ⅰで感じた疑問点、自身の未熟さを解決できるよう進めます。
授業計画	<p>1 介護実習Ⅱの概要について、介護実習Ⅰとの違いについて学ぶ 〈時間外学習〉自分の介護実習Ⅰについて振り返っておく。(20分)</p> <p>2 介護実習Ⅰの振り返りを行い、介護に関する疑問、施設に関する疑問、自己の課題の明確化を図る① 教科書P.74～108.132～179 〈時間外学習〉介護実習Ⅰでの自己評価票をもとに振り返りを記録する。(30分)</p> <p>3 介護実習Ⅰの振り返りを行い、学生同士の発表を通して自己の課題の明確化を図る② 〈時間外学習〉介護実習Ⅰでの自己評価票をもとに振り返りを記録する。(30分)</p> <p>4 介護実習Ⅰの振り返りを行い、各自が発表を通して自己の課題の明確化を図る③ 〈時間外学習〉介護実習Ⅰでの自己評価票をもとに振り返りを記録する。他者の発表を聞きさらに感じたことを自分なりにまとめる。(30分)</p> <p>5 介護を必要とする対象者の理解①～DVDを見て利用者像を深める 教科書P.109～131.180～203～個別指導(介護実習Ⅰの反省と課題)を並行して行う。 〈時間外学習〉実習ノート「介護福祉士倫理綱領」を読んでおく。プロセスレコードを作成する。(30分)</p> <p>6 介護を必要とする対象者の理解②～DVDを見て利用者像を深める。対象者の違いによる介護の提供方法の違いを知る。～個別指導(介護実習Ⅰの反省と課題)を並行して行う。 〈時間外学習〉施設の特徴、対象者の障害別理解を復習する。(30分)</p> <p>7 介護実習Ⅱの自己目標・到達度の確認と指導～個別指導(介護実習Ⅰの反省と課題)を並行して行う。 〈時間外学習〉介護実習Ⅰで認識した各自の課題を文章化しておく。(30分)</p> <p>8 実習関係書類の作成①～自分が体験したい施設を選ぶ(目標、根拠を明確にする) 〈時間外学習〉施設提出に向けた書類作成の準備をしておく。(60分)</p> <p>9 実習日誌の書き方、何をどう表現するのか。主観と客観。 〈時間外学習〉自己の介護実習Ⅰの実習日誌から上手く書けたと思うものを選んでおく。(30分)</p> <p>10 実習関係書類の作成②～実習施設への交通手段の確認～ 〈時間外学習〉施設提出に向けた書類作成の準備をしておく。(60分)</p> <p>11 介護実習Ⅱに向けた心構えと留意点の指導①～電話連絡の方法についての確認と指導～ 〈時間外学習〉各自、疑問点や解決したい内容をまとめておく。(30分)</p> <p>12 介護実習Ⅱに向けた心構えと留意点の指導②～事前訪問、カンファレンスの持ち方についての確認と指導～ 〈時間外学習〉施設提出に向けた書類作成の準備をしておく。(60分)</p> <p>13 実習関係書類の作成③～実習ファイル準備を完成させる。同じ施設に行く学生同士の連携。 〈時間外学習〉介護過程について自らの課題を整理する。(30分)</p>

	14 介護過程の展開について～受け持ち利用者への関わり 〈時間外学習〉各自、疑問点や解決したい内容をまとめておく。(30分)
	15 介護実習Ⅱの事前準備、施設書類の確認、出校日、大学への提出書類の確認 〈時間外学習〉事前訪問時まで、施設に確認しておきたい項目を整理する。(30分)
学修に関する留意事項	介護実習Ⅱは受け持ち利用者の介護過程を体験し介護の本質を学びます。学生同士で高め合っていけるよう協力しながら効果的に学びましょう。この授業で担当教員が定めた期日までに実習関係書類が提出できない場合、介護実習Ⅱに行くことができません。
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	
成績評価方法・基準	授業への取り組み(到達目標1, 2, 3) 30% 提出物(到達目標1, 2, 3) 40% 課題レポート(到達目標1, 2, 3) 30%
書名①	最新介護福祉士養成講座10「介護総合演習・介護実習」
著者名①	介護福祉士養成講座編集委員会編
出版社①	中央法規出版
書名②	三重県版介護実習の手引き、介護実習ノート
著者名②	三重県介護福祉士養成施設協議会
出版社②	中央法規出版
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	最新介護福祉士養成講座9「介護過程」、介護過程の展開 基礎的理解と実践演習
参考URL	
特記事項	わからないことは積極的に聴き解決できるようにしていきましょう。研究室に訪ねてきてください。提出物の期限を守りましょう。介護福祉士としての実務経験があります。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1	2	選択
担当教員			
福田 洋子			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
講義	キャリア育成学科	2W2102	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員</p> <p>■科目に関連した実務経験のある教員が担当している</p> <p>科目に関連した実務内容</p> <p>アクティブラーニング要素</p> <p><input type="checkbox"/>ディスカッション、ディベート</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>グループワーク</p> <p><input type="checkbox"/>プレゼンテーション</p> <p><input type="checkbox"/>実習、フィールドワーク</p>
テーマ	これまで学習した知識と技術を統合して「からだのしくみ」について学びを深め、利用者の生活に活かす。
到達目標	1. 排泄・入浴・睡眠に関した心とからだのしくみが理解できる2. 排泄・入浴・睡眠に関する利用者の心身機能及び障害を理解することができる3. 排泄・入浴・睡眠に関する安心・安楽な生活支援を通し、利用者が尊厳を持ってケアを受けられる支援ができるようになる
授業概要	排泄・入浴・睡眠に関する人体の構造と心身機能の知識を踏まえ、根拠を持って利用者の安心で、安全かつ尊厳のある生活支援ができるように学習する
授業計画	<p>1 オリエンテーション：今後の進め方・評価の仕方などの説明、どのようなことを学ぶのか説明 時間外学習：本日学んだことをまとめておく</p> <p>2 排泄に関したところとからだのしくみ①排泄に関する医学知識 時間外学習：本日学んだことをまとめておく・課題（30分）</p> <p>3 排泄に関したところとからだのしくみ②排泄に関する医学知識に基づく介護知識 時間外学習：本日学んだことをまとめておく・課題（30分）</p> <p>4 排泄に関したところとからだのしくみ③若者の排泄と高齢者の排泄の違いからくるケアの仕方について 時間外学習：本日学んだことをまとめておく・課題（30分）</p> <p>5 排泄に関したところとからだのしくみ④正常な排泄行為と動作の確認、NG動作と言葉かけなど 時間外学習：本日学んだことをまとめておく・課題（30分）</p> <p>6 排泄に関したところとからだのしくみ⑤病的な排泄とケアの仕方 時間外学習：本日学んだことをまとめておく・課題（30分）</p> <p>7 排泄に関したところとからだのしくみ⑥排便のしくみ 時間外学習：本日学んだことをまとめておく・課題（30分）</p> <p>8 排泄に関したところとからだのしくみ⑦人工膀胱、人工肛門・オストメイト・ストーマについて 時間外学習：本日学んだことをまとめておく・課題（30分）</p> <p>9 排泄に関したところとからだのしくみ⑧排泄にまつわる心の変化とケアの仕方 時間外学習：本日学んだことをまとめておく・課題（30分）</p> <p>10 入浴・清潔保持のしくみに関したところとからだのしくみ① 時間外学習：本日学んだことをまとめておく・課題（30分）</p> <p>11 入浴・清潔保持のしくみに関したところとからだのしくみ②陰部の清潔・尿路感染について 時間外学習：本日学んだことをまとめておく・課題（30分）</p> <p>12 入浴・清潔保持のしくみに関したところとからだのしくみ③心身機能低下が及ぼす影響について（皮膚状態と疾患の関係） 時間外学習：本日学んだことをまとめておく・課題（30分）</p> <p>13 睡眠に関したところとからだのしくみ①睡眠のしくみと睡眠環境について 時間外学習：本日学んだことをまとめておく・課題（30分）</p> <p>14 睡眠に関したところとからだのしくみ②心身機能の低下が休息・睡眠に及ぼす影響について 時間外学習：本日学んだことをまとめておく・課題（30分）</p> <p>15 まとめ</p>

学修に関する留意事項	1年生で習った医学知識や障害の知識について復習しておくこと常にその関連知識から根拠を持った介護が提供できる知識を養う
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	
成績評価方法・基準	筆記試験（到達目標1.2.3）50% 課題への取り組み（到達目標1.2.3）30% 提出物の内容（到達目標1.2.3）20%
書名①	最新介護福祉士養成講座11 ころとからだのしくみ
著者名①	
出版社①	中央法規出版
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	図書館に関連書籍があるので参考にしてください
参考URL	
特記事項	授業で分からなかったことは、その時に解決できるよう質問すること学んだことが、次の学習に繋がるように予習、復習をしておくこと渡された資料の専門用語を覚えてください。課題は、出す時と出さない時があります。課題があるときは忘れずに提出しましょう。看護師の経験があります。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1	2	選択
担当教員			
森尾 邦正			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
講義	キャリア育成学科	2W2111	
添付ファイル			

授業種類	授業担当教員 <input type="checkbox"/> 科目に関連した実務経験のある教員が担当している 科目に関連した実務内容 アクティブラーニング要素 <input type="checkbox"/> ディスカッション、ディベート <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク
------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	高齢者と健康
到達目標	1. 高齢者に多い症状、疾患の特徴を理解する2. 高齢者に多い症状、疾患とその留意点について理解する3. 介護を要する高齢者によくみられる病気・病態について介護者の視点から理解する
授業概要	教科書（5章）の重要事項を中心に、プリントを用いて正常構造および機能と対比させて高齢者の病態を講義する。
授業計画	1 高齢者の症状・疾患の特徴 〈時間外学習〉教科書の該当ページを読み、概要を理解する（60分） 2 高齢者に多い疾患・症状と生活上の留意点1（骨格系・筋系） 〈時間外学習〉教科書の該当ページを読み、概要を理解する（60分） 3 高齢者に多い疾患・症状と生活上の留意点2（脳・神経系、皮膚・感覚器系） 〈時間外学習〉教科書の該当ページを読み、概要を理解する（60分） 4 高齢者に多い疾患・症状と生活上の留意点3（循環器系） 〈時間外学習〉教科書の該当ページを読み、概要を理解する（60分） 5 高齢者に多い疾患・症状と生活上の留意点4（呼吸器系） 〈時間外学習〉教科書の該当ページを読み、概要を理解する（60分） 6 高齢者に多い疾患・症状と生活上の留意点5（消化器系） 〈時間外学習〉教科書の該当ページを読み、概要を理解する（60分） 7 高齢者に多い疾患・症状と生活上の留意点6（腎・泌尿器系） 〈時間外学習〉教科書の該当ページを読み、概要を理解する（60分） 8 高齢者に多い疾患・症状と生活上の留意点7（内分泌・代謝系） 〈時間外学習〉教科書の該当ページを読み、概要を理解する（60分） 9 高齢者に多い疾患・症状と生活上の留意点8（歯・口腔疾患、悪性新生物(がん)） 〈時間外学習〉教科書の該当ページを読み、概要を理解する（60分） 10 高齢者に多い疾患・症状と生活上の留意点9（感染症） 〈時間外学習〉教科書の該当ページを読み、概要を理解する（60分） 11 高齢者に多い疾患・症状と生活上の留意点10（精神疾患、その他） 〈時間外学習〉教科書の該当ページを読み、概要を理解する（60分） 12 保健医療職との連携 〈時間外学習〉教科書の該当ページを読み、概要を理解する（60分） 13 演習①（第1～6回の復習） 〈時間外学習〉教科書、配布資料の該当ページを読み、総復習をする（60分） 14 演習②（第7～12回の復習） 〈時間外学習〉教科書、配布資料の該当ページを読み、総復習をする（60分） 15 まとめ 時間外学習）演習①、②で理解不足の項目を復習する（60分）
学修に関する留意事項	健康、人体、医療などに関する身近な情報や日常体験への感性を高める。前期の「心と身体Ⅰ」の正常構造と機能についての復習をしておく。

試験やレポート等の課題のフィードバック方法	
成績評価方法・基準	授業に対する取組（到達目標1, 2, 3）40% 筆記試験（到達目標1, 2, 3）60%
書名①	最新・介護福祉士養成講座 12発達と老化の理解
著者名①	介護福祉養成講座編集委員会
出版社①	中央法規
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	
参考URL	
特記事項	医学用語の単純暗記ではなく、病気やケガの高齢者をイメージできるよう心がけましょう。覚えることは多いですが、頑張りましょう。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1	2	選択
担当教員			
太城 康良			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
講義	キャリア育成学科	2W2120	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員</p> <p>■科目に関連した実務経験のある教員が担当している</p> <p>科目に関連した実務内容 神経科学分野で博士（理学）を取得し研究歴、教育歴を有する。</p> <p>アクティブラーニング要素</p> <p>■ディスカッション、ディベート □グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク</p>
------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	認知症の医学・医療的な理解
到達目標	1)神経解剖学、神経生理学を基礎として、認知症の患者を理解するための医学・医療・心理に関する知識を習得する。2)習得した知識を活用して、介護福祉士国家試験の基本的な問題を解くことができるようになる。3)授業を起点として学習を深めたり、関心を広げたりできるようになる。
授業概要	教科書「認知症の理解 新・介護福祉養成講座」（第1～2章）の重要事項を中心に、プリントを用いて認知症の患者の特徴や心理状態の基礎を講義する。授業の冒頭は前回の復習問題を解き、授業の最後は振り返りを行う。クリッカー（無線回答機）を使用し、積極的な授業参加が求められる。
授業計画	<p>1 ガイダンス、神経細胞と神経回路 ＜時間外学習＞（前期の「こころと身体 I」第1章の通読（1時間）・今回のプリントの見直し・問題演習（30分））</p> <p>2 大脳と小脳・時間外学習 ＜時間外学習＞（前期の「こころと身体 I」第1章の通読（1時間）・今回のプリントの見直し・問題演習（30分））</p> <p>3 脳幹と自律神経・時間外学習 ＜時間外学習＞（前期の「こころと身体 I」第1章の通読（1時間）・今回のプリントの見直し・問題演習（30分））</p> <p>4 脳の血液循環、脳脊髄液循環 ＜時間外学習＞（前期の「こころと身体 I」第1章の通読（1時間）・今回のプリントの見直し・問題演習（30分））</p> <p>5 四大認知症 ＜時間外学習＞（第1回～第4回の通読（1時間）・今回のプリントの見直し・問題演習（1時間））</p> <p>6 その他の認知症、類似した状態 ＜時間外学習＞（第1回～第5回の通読（1時間）・今回のプリントの見直し・問題演習（1時間））</p> <p>7 中核症状の理解 ＜時間外学習＞（教科書第2章の通読（1時間）・今回のプリントの見直し・問題演習（30分））</p> <p>8 BPSDの理解 ＜時間外学習＞（教科書第2章の通読（1時間）・今回のプリントの見直し・問題演習（30分））</p> <p>9 認知症の診断 ＜時間外学習＞（教科書第2章の通読（1時間）・今回のプリントの見直し・問題演習（30分））</p> <p>10 認知症の治療 ＜時間外学習＞（教科書第2章の通読（1時間）・今回のプリントの見直し・問題演習（30分））</p> <p>11 認知症の予防 ＜時間外学習＞（教科書第2章の通読（1時間）・今回のプリントの見直し・問題演習（30分））</p> <p>12 演習 1 ＜時間外学習＞（第1回～第6回のプリント復習（1時間）・本日の内容の問題演習（1時間））</p> <p>13 演習 2 ＜時間外学習＞（第7回～第11回のプリント復習（1時間）・本日の内容の問題演習（1時間））</p> <p>14 演習 3 ＜時間外学習＞（前2回の演習内容とこれまでの全内容（1時間）・本日の内容の問題演習（30分））</p>

	15 総括 まとめ（これまでの全内容（1時間））
学修に関する留意事項	健康、人体、医療などに関する身近な情報や日常体験への関心を高め、前期の「心と身体Ⅰ」の正常構造と機能についての復習をしておくことが望ましい。
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	
成績評価方法・基準	筆記試験（到達目標1.2.3）70% 振り返りシートの記載と提出（到達目標3）30%
書名①	最新・介護福祉士養成講座 13 認知症の理解 第2版
著者名①	
出版社①	中央法規
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	適宜紹介する
参考URL	
特記事項	国家試験過去問も扱います。難しい内容も時々ありますが、高い職業意識をもって乗り越えましょう！

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1	2	選択
担当教員			
上山 由紀子			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
講義	キャリア育成学科	2X2100	
添付ファイル			

授業種類	授業担当教員 ■科目に関連した実務経験のある教員が担当している 科目に関連した実務内容 アクティブラーニング要素 <input type="checkbox"/> ディスカッション、ディベート <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク
------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	介護福祉職等による医療的ケアの基礎知識を学ぶ。
到達目標	1. 医行為とな何か、法的な理解ができる。2. 医療的ケアに必要な、制度や倫理、多職種連携が理解できる。
授業概要	介護福祉職等が医療的ケアをすることになった変遷や倫理、制度を学び、適切に実施するための基礎を学ぶ。
授業計画	1 医療的ケアとは何か、医行為、チーム医療について 〈時間外学習〉教科書で復習する(30分) 2 医療の倫理について、利用者・家族の気持ちの理解 〈時間外学習〉教科書で復習する(30分) 3 医療制度の変遷、社会福祉士及び介護福祉士法の改正 〈時間外学習〉教科書で復習する(30分) 4 喀痰吸引制度の概要 〈時間外学習〉教科書で復習する(30分) 5 介護福祉士養成課程における医療的ケアについて 〈時間外学習〉教科書で復習する(30分) 6 医行為と医療的ケアについてグループワーク 〈時間外学習〉教科書で復習する(30分) 7 医行為と医療的ケアについてグループワーク 〈時間外学習〉教科書で復習する(30分) 8 医行為と医療的ケアについてグループワーク 〈時間外学習〉教科書で復習する(30分) 9 医行為と医療的ケアについてグループワーク 発表 〈時間外学習〉教科書で復習する(30分) 10 医療的ケア 必要物品の説明 留意点 〈時間外学習〉教科書で復習する(30分) 11 医療的ケア 必要物品の説明 留意点 〈時間外学習〉教科書で復習する(30分) 12 手洗いの仕方 〈時間外学習〉教科書で復習する(30分) 13 介護保険法について 〈時間外学習〉教科書で復習する(30分) 14 障害者総合支援法について、復習・まとめ 〈時間外学習〉教科書で復習する(30分) 15 理解度チェック まとめ 〈時間外学習〉教科書で復習する(30分)
学修に関する留意事項	医療的ケア I は、医療的ケアの基礎理解の学習で、法律もたくさんでてきます。他教科で学んだことも活用して理解していきましょう。
試験やレポート等の課題のフィード	

バック方法	
成績評価方法・基準	授業に対する取り組み40%、試験60%
書名①	介護福祉士養成講座15 医療的ケア
著者名①	
出版社①	中央法規出版
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	
参考URL	
特記事項	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1	1	選択
担当教員			
石川 節子			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
演習	キャリア育成学科	2Z2201	
添付ファイル			

授業種類	授業担当教員 <input type="checkbox"/> 科目に関連した実務経験のある教員が担当している 科目に関連した実務内容 アクティブラーニング要素 <input type="checkbox"/> ディスカッション、ディベート <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク
------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	場面に応じ、適切な表現を用いた会話ができるようになる。
到達目標	1. 新たな語彙や会話でよく使われる文型を学び、使えるようになる。2. 学習した語彙・文型を用いて場面に応じた会話ができる。
授業概要	語彙及び会話でよく使われる文型／表現を学習し、場面に応じて適切な表現が使えるよう会話練習を行う。毎回、前回の学習内容に関する小テストを行う。
授業計画	1 授業内容・評価・時間外学習についての説明 会話の文法・会話練習① 時間外学習：授業内容の復習／次回授業の予習プリント（語彙①）（60分） 2 語彙① 会話の文法・会話練習② 時間外学習：授業内容の復習／次回授業の予習プリント（語彙②）（60分） 3 語彙② 会話の文法・会話練習③ 時間外学習：授業内容の復習／次回授業の予習プリント（語彙③）（60分） 4 語彙③ 会話の文法・会話練習④ 時間外学習：授業内容の復習／次回授業の予習プリント（語彙④）（60分） 5 語彙④ 会話の文法・会話練習⑤ 時間外学習：授業内容の復習／次回授業の予習プリント（語彙⑤）（60分） 6 語彙⑤ 会話の文法・会話練習⑥ 時間外学習：授業内容の復習／次回授業の予習プリント（語彙⑥）（60分） 7 語彙⑥ 第7回までのまとめ（語彙／会話の文法） 時間外学習：授業内容の復習／次回授業の予習プリント（語彙⑦）（60分） 8 語彙⑦ 会話の文法・会話練⑦ 時間外学習：授業内容の復習／次回授業の予習プリント（語彙⑧）（60分） 9 語彙⑧ 会話の文法・会話練習⑧ 時間外学習：授業内容の復習／次回授業の予習プリント（語彙⑨）（60分） 10 語彙⑨ JLPT対策 時間外学習：授業内容の復習／次回授業の予習プリント（語彙⑩）（60分） 11 語彙⑩ JLPT対策 時間外学習：授業内容の復習／次回授業の予習プリント（語彙⑪）（60分） 12 語彙⑪ 会話の文法・会話練習⑨ 時間外学習：授業内容の復習／次回授業の予習プリント（語彙⑫）（60分） 13 語彙⑫ 会話の文法・会話練習⑩ 時間外学習：授業内容の復習／次回授業の予習プリント（語彙⑬）（60分） 14 語彙⑬ 第1回～第14回のまとめ（語彙／会話の文法） 15 総復習
学修に関する留意事項	毎回、前回の学習内容に関する小テストを行う。

試験やレポート等の課題のフィードバック方法	
成績評価方法・基準	小テスト（到達目標1・2）30% テスト（到達目標1・2）30% 授業への取り組み（到達目標1・2）40%
書名①	プリント教材を随時配布します。
著者名①	
出版社①	
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	
参考URL	
特記事項	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1	1	選択
担当教員			
石川 節子			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
演習	キャリア育成学科	2Z2202	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員</p> <p><input type="checkbox"/> 科目に関連した実務経験のある教員が担当している</p> <p>科目に関連した実務内容</p> <p>アクティブラーニング要素</p> <p><input type="checkbox"/> ディスカッション、ディベート</p> <p><input type="checkbox"/> グループワーク</p> <p><input type="checkbox"/> プレゼンテーション</p> <p><input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク</p>
テーマ	大学での勉学に必要な日本語の表現力を身につける。日本語能力試験（JLPT）N2程度の文法／漢字学習を通し、より正確な文の組み立てができる力をつける。
到達目標	1. JLPT N2程度の漢字の読み書き・文法を習得し、正確な使い方ができる。2. 自分が伝えたいことをより高度な日本語で表現できる。3. 短文～中文程度の文章の内容を素早く正確に読み取り、内容について話すことができる。
授業概要	文法練習問題／短文作成練習及び漢字の読み書きの練習を繰り返すことで学習内容の定着を図る。短文～中文程度の文章を読む練習を繰り返し、より速く正確に内容を読み取り、内容について話す力をつける。毎回、前回の学習内容に関する小テストを行う。時間外学習用教材として漢字プリントを配布。漢字テストを行う。（全3回）
授業計画	<p>1 学習内容・評価・時間外学習についての説明文法練習問題・短文作成練習① 時間外学習：授業内容の復習／漢字プリント①（60分）</p> <p>2 速読① 文法練習問題・短文作成練習② 時間外学習：授業内容の復習／漢字プリント②（60分）</p> <p>3 速読② 文法練習問題・短文作成練習③ 時間外学習：授業内容の復習／漢字プリント③（60分）</p> <p>4 速読③ 文法練習問題・短文作成練習④ 時間外学習：授業内容の復習／漢字プリント④（60分）</p> <p>5 速読④ 文法練習問題・短文作成練習⑤ 時間外学習：授業内容の復習／漢字プリント⑤（60分）</p> <p>6 漢字テスト①（漢字プリント①～④）文法練習問題・短文作成練習⑥ 時間外学習：授業内容の復習／漢字プリント⑥（60分）</p> <p>7 第7回までのまとめ 文法練習問題・短文作成練習⑦ 時間外学習：授業内容の復習／漢字プリント⑦（60分）</p> <p>8 速読⑤ 文法練習問題・短文作成練習⑧ 時間外学習：授業内容の復習／漢字プリント⑧（60分）</p> <p>9 速読⑥ 文法練習問題・短文作成練習⑨ 時間外学習：授業内容の復習／漢字プリント⑨（60分）</p> <p>10 漢字テスト②（漢字プリント⑨～⑫） JLPT対策 時間外学習：授業内容の復習／漢字プリント⑩（60分）</p> <p>11 JLPT対策 時間外学習：授業内容の復習／漢字プリント⑪（60分）</p> <p>12 速読⑦ 文法練習問題・短文作成練習⑩ 時間外学習：授業内容の復習／漢字プリント⑫（60分）</p> <p>13 速読⑧ 文法練習問題・短文作成練習⑪ 時間外学習：授業内容の復習／漢字プリント⑬（60分）</p> <p>14 漢字テスト③（漢字プリント⑨～⑫） 第1回～第14回のまとめ 時間外学習：第1回～第14回の復習（120分）</p> <p>15 総復習</p>

学修に関する留意事項	毎回、前回の学習内容に関する小テストを行う。時間外学習用の漢字プリントから、漢字テストを行う。(全3回)
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	
成績評価方法・基準	小テスト(到達目標1・2) 30% テスト(到達目標1・2) 30% 授業に対する取り組み・授業内容の理解(到達目標1.2) 40%
書名①	プリント教材を随時配布します。
著者名①	
出版社①	
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	
参考URL	
特記事項	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2	2	選択必修
担当教員			
小澤 亮二			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
講義	キャリア育成学科	2A3106	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員</p> <p>■科目に関連した実務経験のある教員が担当している</p> <p>科目に関連した実務内容</p> <p>アクティブラーニング要素</p> <p><input type="checkbox"/>ディスカッション、ディベート</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>グループワーク</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>プレゼンテーション</p> <p><input type="checkbox"/>実習、フィールドワーク</p>
テーマ	様々な角度からスポーツ・健康について主体的に学び、生涯にわたった豊かなスポーツライフのあり方について考察する
到達目標	1. 運動・スポーツの文化的特徴、学び方やスポーツライフの設計について理解している。2. グループワークの中で自身の考えを持ち、発言することができる。3. 課題の作成・発表において、適切な課題設定、作成、発表ができる。
授業概要	運動・スポーツの文化的特徴、学び方、スポーツライフの設計について理解を深め、自身の生涯とスポーツとの関わり、健康増進について主体的に学んでいくための授業。本授業では、各回のテーマにあったグループワークを設け、自身の考えを持ち、発言することや、他者の考えを踏まえて討論することを学ぶ。
授業計画	<p>1 ガイダンス授業内容・出欠・取り組み方・評価について 【時間外学習】「スポーツの始まりと変遷」について調べておく(15分)</p> <p>2 人間にとって「動く」とは何かスポーツの始まりと変遷 【時間外学習】「オリンピック」について調べておく(15分)</p> <p>3 文化としてのスポーツオリンピックと国際理解 【時間外学習】「ドーピング」について調べておく(15分)</p> <p>4 スポーツと経済ドーピングとスポーツ倫理 【時間外学習】自分の「生活習慣（食事・運動・休養（睡眠））」について調べておく(15分)</p> <p>5 食事・運動と健康休養・睡眠と健康 【時間外学習】「喫煙や飲酒が与える健康への影響」について調べておく(15分)</p> <p>6 喫煙と健康飲酒と健康 【時間外学習】「欲求と欲求不満」について調べておく(15分)</p> <p>7 欲求と適応機制心身の相関とストレス 【時間外学習】「体力トレーニング」の意義について調べておく(15分)</p> <p>8 技能と体力体力トレーニング 【時間外学習】「心肺蘇生法」について調べておく(15分)</p> <p>9 応急手当の意義とその基本心肺蘇生法日常的な応急手当 【時間外学習】「生涯スポーツ」について調べておく(15分)</p> <p>10 生涯スポーツの見方・考え方ライフスタイルに応じたスポーツ課題発表テーマ決め 【時間外学習】課題作成の準備(15分)</p> <p>11 課題作成・グループワーク① 【時間外学習】課題作成の準備(15分)</p> <p>12 課題作成・グループワーク② 【時間外学習】課題作成の準備(15分)</p> <p>13 課題作成・グループワーク③ 【時間外学習】課題発表の練習(15分)</p> <p>14 グループ課題発表① 【時間外学習】課題発表の練習(15分)</p> <p>15 グループ課題発表②</p>

学修に関する留意事項	・定期試験は行わない。・グループ課題を作成し、発表を行う。
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	
成績評価方法・基準	グループワーク(到達目標2)40% 課題の作成・発表(到達目標3)20% 授業への取り組み(到達目標1~3)40%
書名①	
著者名①	
出版社①	
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	
参考URL	
特記事項	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2	1	選択
担当教員			
石川 節子			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
演習	キャリア育成学科	2Z4204	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員 <input type="checkbox"/> 科目に関連した実務経験のある教員が担当している</p> <p>科目に関連した実務内容</p> <p>アクティブラーニング要素 <input type="checkbox"/> ディスカッション、ディベート <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク</p>
テーマ	漢字及び語彙、文法の学習を通じ、既習表現を含めてより正確な日本語での表現力を養う。文章の内容、筆者の主張を素早く、正しく理解し、それについて自身の考えを述べる。
到達目標	1. 日本語能力試験（JLPT）N2相当の漢字、語彙、文法を学習し、既習表現も含め正確な文の組み立てができる。2. 中文～長文、グラフや表の内容を素早く読み取った上で、自身の考えをまとめ、述べるができる。
授業概要	・既習表現の正確性を高めると共に、さらに高度な表現を学習し、場面に応じて使えるよう練習する。・速読練習を通じ、内容の読み取りや自身の考えを分かりやすくまとめ、述べる練習を行う。・毎回、前回の学習内容についての小テストを行う。・時間外学習用教材として、漢字の自習プリントを配布し、全三回、漢字テストを行う。
授業計画	<p>1 授業内容／評価／時間外学習についての説明文字・語彙①-1 文法・練習問題／短文作成練習① 時間外学習：授業内容の復習／漢字プリント①（60分）</p> <p>2 文字／語彙①-2 速読① 文法・練習問題／短文作成練習② 時間外学習：授業内容の復習／漢字プリント②（60分）</p> <p>3 文字／語彙②-1 速読② 文法・練習問題／短文作成練習③ 時間外学習：授業内容の復習／漢字プリント③（60分）</p> <p>4 文字／語彙②-2 速読③ 文法・練習問題／短文作成練習④ 時間外学習：授業内容の復習／漢字プリント④（60分）</p> <p>5 文字／語彙③-1 速読④ 文法・練習問題／短文作成練習⑤ 時間外学習：授業内容の復習／漢字プリント⑤（60分）</p> <p>6 漢字テスト①（漢字プリント①～④）文字／語彙③-2 文法・練習問題／短文作成練習⑥ 時間外学習：授業内容の復習／漢字プリント⑥（60分）</p> <p>7 文字／語彙④-1 第7回までのまとめ 時間外学習：授業内容の復習／漢字プリント⑦（60分）</p> <p>8 文字／語彙④-2 速読⑤ 文法・練習問題／短文作成練習⑦ 時間外学習：授業内容の復習／漢字プリント⑧（60分）</p> <p>9 文字／語彙⑤-1 速読⑥ 文法・練習問題／短文作成練習⑧ 時間外学習：授業内容の復習／漢字プリント⑨（60分）</p> <p>10 文字／語彙⑤-2 漢字テスト②（漢字プリント⑤～⑧） JLPT対策 時間外学習：授業内容の復習／漢字プリント⑩（60分）</p> <p>11 文字／語彙⑥-1 JLPT対策 時間外学習：授業内容の復習／漢字プリント⑪（60分）</p> <p>12 文字／語彙⑥-2 速読⑦ 文法・練習問題／短文作成練習⑨ 時間外学習：授業内容の復習／漢字プリント⑫（60分）</p> <p>13 文字／語彙⑦-1 速読⑧ 文法・練習問題／短文作成練習⑩ 時間外学習：授業内容の復習／漢字プリント⑬（60分）</p> <p>14 漢字テスト③（漢字プリント⑨～⑫）文字／語彙⑦-2 第1回～第14回の授業の復習（120分） 時間外学習：これまでの授業内容の復習（120分）</p> <p>15 総復習</p>

学修に関する留意事項	漢字の自習プリントを宿題として配布し、漢字テストを行います。（全3回）毎回、前回の学習内容に関する小テストを行います。
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	
成績評価方法・基準	小テスト／漢字テスト（到達目標1～3）30% テスト（到達目標1～3）30% 実践の成果（到達目標1、2、4）40%
書名①	プリント教材を随時配布します。
著者名①	
出版社①	
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	
参考URL	
特記事項	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2	1	必修
担当教員			
野呂 健一			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
演習	キャリア育成学科	2M4202	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員</p> <p><input type="checkbox"/> 科目に関連した実務経験のある教員が担当している</p> <p>科目に関連した実務内容</p> <p>アクティブラーニング要素</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション、ディベート</p> <p><input type="checkbox"/> グループワーク</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション</p> <p><input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク</p>
------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語表現能力及びコミュニケーション能力の向上 ・母語としての日本語に対する理解
-----	------------------------------------------------------------------------------------------------------

到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 言葉やコミュニケーションに対する理解を深める。 2. 各自のテーマに基づき分析・考察を行い、論理的思考力を向上させる。 3. わかりやすい資料を作成し、効果的なプレゼンテーションを行うことができる。
------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

授業概要	各自がテーマを設定し、レポート作成の方法を確認した後、様々な角度から調査・分析を行い、レポート作成と研究内容の発表に取り組む。随時、研究の進捗状況を報告するとともに問題点をメンバーに相談する機会を設ける。
------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------

授業計画	<p>1 オリエンテーション：卒業研究レポート作成要領の確認</p> <p>2 課題考察力：入手した情報をもとに考察を深める ＜時間外学習＞必要な情報を収集し、考察を深める（1時間）</p> <p>3 論文構成力：レポートの構成を考える ＜時間外学習＞レポートの構成を完成させる（1時間）</p> <p>4 卒業研究レポート中間発表 ＜時間外学習＞中間発表レジュメ作成（1時間）</p> <p>5 卒業研究レポート中間発表 ＜時間外学習＞中間発表レジュメ作成（1時間）</p> <p>6 卒業研究レポート進捗状況発表、個別指導 ＜時間外学習＞レポート執筆（2時間）</p> <p>7 卒業研究レポート進捗状況発表、個別指導 ＜時間外学習＞レポート執筆（2時間）</p> <p>8 卒業研究レポート進捗状況発表、個別指導 ＜時間外学習＞レポート執筆（2時間）</p> <p>9 卒業研究レポート仮提出 ＜時間外学習＞レポート執筆（2時間）</p> <p>10 卒業研究レポート修正、個別指導 ＜時間外学習＞レポート修正（2時間）</p> <p>11 卒業研究レポート修正、個別指導 ＜時間外学習＞レポート修正（2時間）</p> <p>12 卒業研究レポート完成・提出 ＜時間外学習＞誤字・脱字等の最終チェック（1時間）</p> <p>13 発表資料（パワーポイント）の作成 ＜時間外学習＞発表資料の作成（1時間）</p> <p>14 卒業研究レポートゼミ内発表 ＜時間外学習＞発表資料の完成（1時間）</p> <p>15 卒業研究レポート発表会</p>
------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

学修に関する留意事項	資料・データ収集、分析・考察など、レポートの準備及び作成には、授業時間以外に多くの時間をかける必要がある。
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	
成績評価方法・基準	卒業研究レポート作成（目標 1， 2） 70% 中間発表、最終プレゼンテーション（到達目標 1， 3） 30%
書名①	必要に応じて、随時プリント等を配付します。
著者名①	
出版社①	
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	
参考URL	
特記事項	1年間かけて卒業研究レポートに取り組むことは貴重な経験となるはずですが、自分の興味・関心の基にテーマを掘り下げ、いろいろな角度から考察してみましょう。研究の面白さを少しでも感じていただけたらと願っています。中途半端に取り組むことなく、納得のできるレポートを完成させましょう。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2	1	必修
担当教員			
鷲尾 敦			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
演習	キャリア育成学科	2M4202	
添付ファイル			

授業種類	授業担当教員 ■科目に関連した実務経験のある教員が担当している 科目に関連した実務内容 アクティブラーニング要素 <input type="checkbox"/> ディスカッション、ディベート <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク
------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	論文制作と論文の成果発表
到達目標	1. 論理的な文章を作成できる 2. 主張の根拠を明確に示すことができる 3. 論文の内容をプレゼン資料にして、効果的な口頭発表ができる
授業概要	各自が設定したテーマと研究計画に従い、研究活動を行い、卒業研究レポートの作成を行う。研究状況について随時ゼミ内で報告、ディスカッションし、研究成果を高めて行く。
授業計画	1 オリエンテーション 卒業研究レポート作成要領の確認 <時間外学習>夏休み中の研究活動報告作成 (1時間) 2 卒業研究の進め方① 夏休み中の研究活動報告と今後の計画発表 <時間外学習>夏休み中の研究活動報告提出 (1時間) 3 卒業研究の進め方② 構成/アウトラインの検討 <時間外学習>論文構成/アウトラインの作成 (1時間) 4 卒業研究レポート中間発表① <時間外学習>発表資料作成 (1時間) 5 卒業研究レポート中間発表② <時間外学習>発表資料作成 (1時間) 6 卒業研究レポート進捗発表/個別指導① <時間外学習>レポート修正 (1時間) 7 卒業研究レポート進捗発表/個別指導② <時間外学習>レポート修正 (1時間) 8 卒業研究レポートの仮提出 <時間外学習>レポート修正 (1時間) 9 卒業研究レポート 個別指導① <時間外学習>レポート修正 (1時間) 10 卒業研究レポート 個別指導② <時間外学習>レポート修正 (1時間) 11 卒業研究レポート 個別指導③ <時間外学習>レポート修正 (1時間) 12 卒業研究レポート完成・提出 <時間外学習>発表資料の作成 (2時間) 13 卒業研究レポート ゼミ内発表① <時間外学習>発表資料の修正 (1時間) 14 卒業研究レポート ゼミ内発表② <時間外学習>発表資料の完成 (1時間) 15 卒業研究レポート発表会
学修に関する留意事項	卒業研究は、毎日、毎週の地道な探究活動の連続から成果が生まれます。研究成果があつてこそレポートが書けるのです。時間を多くとって、計画通りに進めていきましょう。また、教員や他のゼミ生からの意見や質問

	によって、気づきが生まれます。お互いに研究の内容について議論をする、疑問を持つ姿勢をつけていきましょう。
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	
成績評価方法・基準	<p>取り組み姿勢（発表時の議論、聴く姿勢）（到達目標1,2）10%</p> <p>普段の発表（資料含む）（到達目標1,2）30%</p> <p>卒業研究レポート（到達目標1,2）30%</p> <p>卒業研究発表（プレゼン資料含む）（到達目標3）30%</p>
書名①	
著者名①	
出版社①	
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	シリーズ ダイバーシティ経営「女性のキャリア支援」、「ゼロからわかる大学生のためのレポート・論文の書き方」
参考URL	
特記事項	このゼミでは、女性が労働市場においてどのような環境下に置かれているのかを学ぶと共に、自律的にキャリアを形成していく事の重要性を学んでいきます。女性の就労環境は男性の就労環境に大きく影響されています。女子学生だけでなく、男子学生の皆さんも一緒に学んでいきましょう。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2	1	必修
担当教員			
川喜田 多佳子			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
演習	キャリア育成学科	2M4202	
添付ファイル			

授業種類	授業担当教員 <input type="checkbox"/> 科目に関連した実務経験のある教員が担当している 科目に関連した実務内容 アクティブラーニング要素 <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション、ディベート <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク
------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	ゼミ活動を中心に、経験から得たテーマに問いを立て、探求する。
到達目標	・これまでに得た知識をもとに、自分が追究したいテーマを自ら選び、必要な資料を探し、データを集めて分析し、卒業論文にまとめる。・自分または他のゼミ生の研究について、積極的なディスカッションをおこなうことができる。・自分の研究について、分かりやすく発表することができる。
授業概要	各自が設定したテーマで卒業レポートを執筆することを目的とする。それぞれの興味に応じて論文のテーマを決め、関連文献に目を通し、データを収集し、毎週のゼミでの発表・討論を重ねながら、レポートをまとめていく。 ISEIMOは高田を救う ISEIMO RANGER2023活動の延長があれば平行して関わっていく。 卒論終了後の2月、1年生が運営するパソコン教室運営ボランティアにも可能な限り関わっていく。
授業計画	1 全体ガイダンス（スキルアワード等）ゼミ内ガイダンス（スケジュール）活動状況の報告大学祭準備について 全体ガイダンス 模擬店出し物検討 <時間外学習>模擬店準備(30分) 2 高短祭準備 短大最後のイベントを盛り上げるための話し合い <時間外学習>必要物品やブース準備を役割ごとにこなす（60分） 3 高短祭準備 <時間外学習>模擬店制作作業等、課外で分担しながら行う。（60分） 4 卒業研究レポート作成（構成を考える）研究活動 <時間外学習>卒業研究レポート構成案を作成する。（60分） 5 卒業研究レポート報告（1）研究活動 <時間外学習>卒業研究レポート報告資料を作成する。（60分） 6 卒業研究レポート報告（2）研究活動 <時間外学習>卒業研究レポート報告資料を作成する。（60分） 7 卒業研究レポート報告（3）研究活動 <時間外学習>卒業研究レポート報告資料を作成する。（60分） 8 卒業研究レポート報告（4）研究活動 <時間外学習>卒業研究レポート報告資料を作成する。（60分） 9 各自卒業研究レポート作成・個別指導研究活動、進捗確認 <時間外学習>卒業研究レポート報告資料を作成する。（60分） 10 各自卒業研究レポート作成・個別指導研究活動、進捗確認 <時間外学習>卒業研究レポート報告資料を作成する。（60分） 11 各自卒業研究レポート完成最終仕上げ <時間外学習>卒業研究レポート報告資料を作成する。（60分） 12 各自卒業研究レポート報告会の準備（1）最終仕上げ <時間外学習>卒業研究レポート報告会用のスライドを作成する。（60分） 13 各自卒業研究レポート報告会の準備（2） <時間外学習>卒業研究レポート報告会用のスライドを作成する。（60分） 14 卒業研究レポートゼミ内報告会（相互評価）

	<p style="text-align: center;">＜時間外学習＞卒業研究レポート報告会用のスライドを作成する。(60分)</p> <p style="text-align: center;">15 学内卒業研究レポート報告会</p>
学修に関する留意事項	ゼミ内では各自の取り組みテーマについて発表し、相互評価をしながらブラッシュアップしていきます。情報の分野はテーマが違っていても、内容について共通する部分は多いはず。1年時に履修した「日本語表現」「文書技法」での学びを応用し、自分の考えをレポートにふさわしい文章作成をして欲しいと思います。コピーでの作成は許しません。自分で文章を起こすこと。
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	授業1回目に作業のガントチャートを示す。 工程にあわせた提出物や発表を計画的に行った者に都度評価を与える。
成績評価方法・基準	卒業研究レポート発表内容（到達目標1.3）60% 取り組み姿勢（到達目標2）20% ゼミ活動への取り組み（到達目標1.2.3）20%
書名①	ゼミ内で資料を配付する
著者名①	
出版社①	
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	<ul style="list-style-type: none"> ・ゼロからわかる大学生のためのレポート・論文の書き方 石井一成 ナツメ社 ・科学的に正しい資料作成術 越川慎司 かんき出版 ・PowerPointスライドデザインのセオリー 藤田 尚俊 技術評論社
参考URL	CiNii https://cir.nii.ac.jp/
特記事項	情報検索をする場合には、基本はCiNiiを使い、確かな資料の検索を行う。 Webサイトを使う場合には、孫引き（原典を参照せず、他の文書の引用から引用する）という行為は避けること。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2	1	必修
担当教員			
伊東秀幸			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
演習	キャリア育成学科	2M4202	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員</p> <p>■科目に関連した実務経験のある教員が担当している</p> <p>科目に関連した実務内容</p> <p>高等学校において、地域資源を活用した商品開発を指導し、観光関連団体や企業と連携して商品化を実現した。</p> <p>アクティブラーニング要素</p> <p>■ディスカッション、ディベート</p> <p>■グループワーク</p> <p>■プレゼンテーション</p> <p>■実習、フィールドワーク</p>
------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	地域マネジメントに関する専門的な知識や技能を地域社会で活かし、企画立案能力を向上させる。
到達目標	<p>1 ゼミナールⅡにおいて習得した知識や技能の活用方法をゼミナールの実態に応じて判断することができる。</p> <p>2 地域マネジメントに関する専門的な知識や技能を地域社会の実態に応じて表出することができる。</p> <p>3 向上した企画立案能力を活かし、地域社会の課題をゼミナールとして考察することができる。</p>
授業概要	ジョン・アーリが提唱した「観光のまなざし」の概念によると、ある特定の景色に対するまなざしは、その個人が有する体験や思い出によって決まる。ゼミナールⅡの活動に基づいて、津市の景色を「若者」や「よそ者」の目線からデザインした経験を抽象化し、卒業研究レポートを完成させる。
授業計画	<p>第1講 オリエンテーション（授業計画の確認） ＜時間外学習＞夏期休業期間のフィールドワークをスライドにまとめる。（30分）</p> <p>第2講 論題の設定 ＜時間外学習＞夏期休業期間のフィールドワークに基づいて論題を設定する。（30分）</p> <p>第3講 見出しの設定 ＜時間外学習＞夏期休業期間のフィールドワークに基づいて見出しを設定する。（30分）</p> <p>第4講 卒業研究レポートの執筆 ＜時間外学習＞担当教員の助言に基づいて卒業研究レポートを執筆する。（60分）</p> <p>第5講 卒業研究レポートの執筆 ＜時間外学習＞担当教員の助言に基づいて卒業研究レポートを執筆する。（60分）</p> <p>第6講 卒業研究レポートの執筆 ＜時間外学習＞担当教員の助言に基づいて卒業研究レポートを執筆する。（60分）</p> <p>第7講 卒業研究レポートの執筆 ＜時間外学習＞担当教員の助言に基づいて卒業研究レポートを執筆する。（60分）</p> <p>第8講 卒業研究レポートの中間報告 ＜時間外学習＞担当教員の指摘に基づいて卒業研究レポートを修正する。（60分）</p> <p>第9講 卒業研究レポートの修正 ＜時間外学習＞担当教員の指摘に基づいて卒業研究レポートを修正する。（60分）</p> <p>第10講 卒業研究レポートの修正 ＜時間外学習＞担当教員の指摘に基づいて卒業研究レポートを修正する。（60分）</p> <p>第11講 卒業研究レポートの完成 ＜時間外学習＞担当教員の指摘に基づいて卒業研究レポートを修正する。（60分）</p> <p>第12講 最終報告（報告準備） ＜時間外学習＞最終報告のスライドを作成する。（120分）</p> <p>第13講 最終報告（予備報告） ＜時間外学習＞最終報告の答弁書を作成する。（60分）</p> <p>第14講 最終報告（報告会） ＜時間外学習＞最終報告の評価に基づいて卒業研究レポート発表会のスライドを修正する。（30分）</p> <p>第15講 振り返り</p>

	＜時間外学習＞他の卒業研究レポートを精読する。（60分）
学修に関する留意事項	あなたの周りに、あなたの知らない津市があります。専門的な知識や技能を地域住民の目線に合わせて積極的に表出し、互いに高みを目指して認め合えることが成功の鍵を握っています。固定観念に囚われることなく、地域社会の景色を複眼的に捉え、未だ見ぬ新しい津市を築いてください。
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	課題が提出された翌週に、対面でフィードバックします。
成績評価方法・基準	毎時の振り返り（到達目標1、2）10% スライドの内容（到達目標1、2）20% 報告会の内容（到達目標2、3）20% 卒業研究レポートの内容（到達目標3）50%
書名①	随時、プリント等を配付します。
著者名①	
出版社①	
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	
参考URL	
特記事項	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2	1	必修
担当教員			
江淵 剛			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
演習	キャリア育成学科	2M4202	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員</p> <ul style="list-style-type: none"> ■科目に関連した実務経験のある教員が担当している <p>科目に関連した実務内容</p> <p>年金資産運用の投資判断における経済、資産運用環境見通しの取り纏め</p> <p>アクティブラーニング要素</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ディスカッション、ディベート ■グループワーク ■プレゼンテーション ■実習、フィールドワーク
------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	これまでのゼミ活動を基に、自らテーマを選んで卒業研究レポートとしてまとめます。マーケティングや経営革新、地域活性化に係る事例やそれらへの提案を、調査・研究、考察します。
-----	--------------------------------------------------------------------------------------

到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 経済学、マーケティングの基本的な考え方や理論が身に付いている 2. 知識を実践で活用する力とチームワークが身についている 3. 創造力、課題発見力、課題解決力、分析力、論理的思考力が身についている
------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

授業概要	各自が設定した卒業研究レポートのテーマに関して自主調査や資料収集を行いながらレポートを作成し、ゼミナール内での発表とディスカッションによりブラッシュアップを行い完成させます。また、卒業研究レポート発表会に向けてレポートの内容向上とともにパワーポイントで作成した発表用資料の精度を高めます。
------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 オリエンテーション：卒業研究レポート作成について卒業研究レポート骨子の提出 ＜時間外学習＞卒業研究レポート作成、骨子発表準備（1時間） 2 卒業研究レポート骨子の発表－調査研究の進め方、章立て、資料の確認 ＜時間外学習＞卒業研究レポート作成（30分） 3 マーケティング事例の研究、学園祭の準備 ＜時間外学習＞学園祭の準備、卒業研究レポート作成（30分） 4 学園祭の振り返り ＜時間外学習＞卒業研究レポート作成（30分） 5 卒業研究レポート作成－個別指導 ＜時間外学習＞卒業研究レポート作成（1時間） 6 卒業研究レポート中間報告 ＜時間外学習＞卒業研究レポート作成（30分） 7 マーケティング事例の研究、事例に関するディスカッション ＜時間外学習＞卒業研究レポート作成（30分） 8 卒業研究レポート作成－個別指導 ＜時間外学習＞卒業研究レポート作成、発表準備（1時間） 9 卒業研究レポートの発表、レポートに係るディスカッション ＜時間外学習＞卒業研究レポート作成、発表準備（2時間） 10 卒業研究レポートの発表、レポートに係るディスカッション ＜時間外学習＞卒業研究レポート作成（2時間） 11 卒業研究レポートの仕上げ ＜時間外学習＞卒業研究レポート最終チェック（1時間） 12 卒業研究レポートの発表会準備－パワーポイントの作成 ＜時間外学習＞卒業研究レポート発表会資料作成（1時間） 13 卒業研究レポートの発表会準備－プレゼン指導 ＜時間外学習＞卒業研究レポート発表会資料作成（30分） 14 卒業研究レポート発表会－ゼミナール内 代表者選考 ＜時間外学習＞卒業研究レポート発表会資料最終チェック（30分） 15 卒業研究レポート発表会－全体発表会
------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

学修に関する留意事項	卒業研究レポート作成は、2年間の学びの集大成です。担当教員と「報・連・相」をしっかりと行い、計画的に取り組んでください。ゼミメンバーの卒業研究レポートについても関心を持ち、意見や提案を積極的に行ってください。 また、卒業研究レポート執筆の進展に応じて、執筆の為のパソコン操作（ワードやエクセルの機能）について説明の機会を設けることも予定しています。テキストは特に指定はありませんが、必要に応じて教員より資料プリントを配布します。
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	
成績評価方法・基準	卒業研究レポート発表内容（到達目標1.3）60% 取り組み姿勢（到達目標2）20% 卒業研究レポート作成・提出（到達目標1.3）20%
書名①	
著者名①	
出版社①	
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	
参考URL	
特記事項	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2	1	必修
担当教員			
中川 千代			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
演習	キャリア育成学科	2M4202	
添付ファイル			

授業種類	授業担当教員 <input type="checkbox"/> 科目に関連した実務経験のある教員が担当している 科目に関連した実務内容 アクティブラーニング要素 <input type="checkbox"/> ディスカッション、ディベート <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク
------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	介護福祉を実践的に研究する力を身につける
到達目標	1. 介護福祉学に関する実践的な研究方法を身につける。2. 世の中の動きに関心を持ち、新聞や図書を活用した情報収集ができる。3. 自分の研究成果について、他者にわかりやすくプレゼンテーションできる。
授業概要	介護福祉に関する各自のテーマに真剣に向かい合えるよう実践的な課題を通して介護福祉士としてのあるべき姿を考える。テーマに沿った研究、議論、発表、まとめなどを小集団による演習を通して学ぶ。
授業計画	1 オリエンテーション（ゼミナールⅢの進め方について確認）、大学祭準備 〈時間外学習〉（予習）新聞や図書を活用し福祉に関心を持つこと／（復習）ゼミナールⅡでの自己の研究成果と課題を明らかにする。各自のテーマに沿った情報収集（30分） 2 研究レポート作成の方法① 及び大学祭準備 〈時間外学習〉（予習）研究資料、情報収集に努める。／（復習）ゼミナールⅡで作成したレポートの骨子を深める。（30分） 3 研究レポート作成の方法② 及び大学祭準備 〈時間外学習〉（予習）研究資料、情報収集に努める。／（復習）ゼミナールⅡで作成したレポートの骨子を深める。（30分） 4 レポート作成、個別指導① 及び大学祭反省 〈時間外学習〉 レポート作成を確実に進め、担当教員に指導を受けられるよう準備する。（30分） 5 レポート作成、個別指導② 〈時間外学習〉 レポート作成を確実に進め、担当教員に指導を受けられるよう準備する。（30分） 6 レポート作成、個別指導③ 〈時間外学習〉 自分のレポート作成の進捗状況を報告することを念頭に置き、準備を整える。（30分） 7 レポート作成、個別指導④ 〈時間外学習〉 自分のレポート作成の進捗状況を報告することを念頭に置き、準備を整える。（1時間）パワーポイント資料の作成 8 レポート作成、個別指導④ 〈時間外学習〉 研究レポートの総まとめ（1時間）パワーポイント資料の作成 9 ゼミナール学生同士の報告会／合同報告会での代表者を決定する① 〈時間外学習〉（予習）自分のレポートを完成させ報告する準備。（1時間） 10 ゼミナール学生同士の報告会／合同報告会での代表者を決定する② 〈時間外学習〉（予習）自分のレポートを完成させ報告する準備。／（復習）他学生の発表を参考に学習をすすめる。（1時間） 11 発表抄録の作成（パワーポイント・抄録集の原稿）、合同報告会の役割分担の確認 〈時間外学習〉（予習）発表資料を完成させる。ゼミナール担当教員への報告。／（復習）発表の練習（30分） 12 合同報告会 〈時間外学習〉（予習）発表の練習（30分）／（復習）抄録集に目を通し、質問等をまとめる。（30分） 13 合同報告会の振り返り・介護福祉士国家試験に向けた学習と確認・調整① 〈時間外学習〉（予習）レポートや発表の振り返りを行い、提出用課題を仕上げる（30分）／（復習）介護福祉士国家試験に向けた学習（1時間） 14 介護福祉士国家試験に向けた学習と確認・調整② 〈時間外学習〉 介護福祉士国家試験に向けた学習（1時間）

	15 ゼミナールⅡ・Ⅲを通した振り返りとまとめ (時間外学習) 2年間のゼミナール活動を振り返り、自己の成長と課題を知る (30分)
学修に関する留意事項	介護福祉研究の基礎を身につけるため、広範な領域への関心と興味を持つため、新聞は毎日読もう。ゼミナール時以外の自主的な学びが必要です。コツコツ主体的に取り組もう。
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	
成績評価方法・基準	研究レポート作成 (到達目標2) 20% 発表会 (到達目標1.2.3) 40% 授業に対する取り組み (到達目標1) 40%
書名①	その都度紹介する
著者名①	
出版社①	
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	
参考URL	
特記事項	わからないことはそのままにせず、ゼミナール学生同士協力したり、研究室に気軽に訪ねてきてください。報告、連絡、相談がきちりできるよう日頃から心がけましょう。普段から社会の出来事に目を向け、疑問を持つ習慣をつけましょう。図書館を利用しましょう。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2	1	必修
担当教員			
上山 由紀子			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
演習	キャリア育成学科	2M4202	
添付ファイル			

授業種類	授業担当教員 <input type="checkbox"/> 科目に関連した実務経験のある教員が担当している 科目に関連した実務内容 アクティブラーニング要素 <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション、ディベート <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク
------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	介護福祉を実践的に研究する力を身につける
到達目標	1. 介護福祉学に関する実践的な研究方法を身につける。2. 世の中の動きに関心を持ち、新聞や図書を活用した情報収集ができる。3. 自分の研究をわかりやすく他者に伝えることができる。
授業概要	介護福祉に関する各自のテーマに真剣に向かい合えるよう実践的な課題を通して、介護福祉士としてのあるべき姿を考える。テーマに沿った研究、議論、発表、まとめなどを小集団による演習を通して学ぶ。
授業計画	1 オリエンテーション(ゼミナールⅢの進め方についての確認)、大学祭準備 〈時間外学習〉(予習)シラバスに目を通し、ゼミナールⅢで何を学修するのかを把握しておく。(30分)(復習)ゼミナールⅡでの自己の研究成果と課題を明らかにする。各自のテーマに沿った情報収集。(30分) 2 研究レポート作成の方法① 及び大学祭準備 〈時間外学習〉(予習)図書館やインターネットを活用し、研究レポートのための情報収集に努める。(60分)(復習)ゼミナールⅡで作成したレポートの骨子を深める。(30分) 3 研究レポート作成の方法② 及び大学祭準備 〈時間外学習〉(予習)図書館やインターネットを活用し、研究レポートのための情報収集に努める。(60分)(復習)ゼミナールⅡで作成したレポートの骨子を深める。(30分) 4 レポート作成、個別指導① 及び大学祭反省 〈時間外学習〉(予習及び復習)レポート作成を確実に進め、担当教員に指導を受けられるよう準備する。(60分) 5 レポート作成、個別指導② 〈時間外学習〉(予習及び復習)レポート作成を確実に進め、担当教員に指導を受けられるよう準備する。(60分) 6 レポート作成、個別指導③ 〈時間外学習〉(予習及び復習)自分のレポート作成の進捗状況を報告することを念頭に置き、準備を整える。(60分) 7 ゼミナール学生同士のレポートに関する情報交換会 〈時間外学習〉(予習)自分のレポート作成の進捗状況を報告する準備。(30分)(復習)多学生の発表を参考に学習をすすめる。(60分) 8 レポート作成、発表資料の完成、発表会の役割分担 〈時間外学習〉(予習及び復習)研究レポートの総まとめ。(60分) 9 レポート作成、発表資料の完成、発表練習 〈時間外学習〉(予習及び復習)研究レポートの総まとめ、発表資料の完成、発表練習。(60分) 10 ゼミ内発表会① パワーポイント、レポート提出。 〈時間外学習〉(予習)発表の練習。(30分)(復習)抄録集に目を通し、質問等考える。(30分) 11 ゼミ内発表会② 〈時間外学習〉(予習及び復習)発表の練習、又講評や質問があったことをレポートにまとめる。(60分) 12 合同発表抄録作り 〈時間外学習〉(予習及び復習)ゼミ内発表会で講評や質問があったことをレポートにまとめる。発表者は発表の練習をする。抄録集に目を通し、質問等考える。(60分) 13 合同発表会 〈時間外学習〉(予習)抄録集に目を通し、質問等考える。(30分)(復習)自分のレポート等のチェックを行い、総仕上げを行う。(60分) 14 レポート、パワーポイント最終提出。介護福祉士国家試験に向けた学習・調整 〈時間外学習〉(予習)レポート等総仕上げ、完成。(60分)(復習)介護福祉士国家試験に向けた学

	15 習。(60分) ゼミナールⅡ・Ⅲを通した振り返りとまとめ (時間外学習)(予習及び復習)ゼミナールの活動を振り返り、自己の成長と課題を知る、国家試験に向けた学習、準備。(60分)
学修に関する留意事項	介護福祉研究の基礎を身につけるため、広範な領域への関心と興味を持つため、新聞等で毎日情報を知ろう。ゼミナール時以外の自主的な学びが必要です。コツコツ主体的に取り組もう。
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	
成績評価方法・基準	研究レポート作成(到達目標1.2.3)30%、発表会(到達目標1.2.3)40%、授業に対する取り組み(到達目標1.2.3)30%
書名①	
著者名①	
出版社①	
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	
参考URL	
特記事項	わからないことはそのままにせず、ゼミナール学生同士で協力したり、研究室に気軽に訪ねてきて下さい。報告、連絡、相談がきちりできるよう日頃から心がけましょう。普段から図書館を利用するなど、社会の出来事に目を向け、疑問を持つ習慣をつけましょう。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2	1	必修
担当教員			
長谷川 恭子			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
演習	キャリア育成学科	2M4202	
添付ファイル			

授業種類	授業担当教員 <input type="checkbox"/> 科目に関連した実務経験のある教員が担当している 科目に関連した実務内容 アクティブラーニング要素 <input type="checkbox"/> ディスカッション、ディベート <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク
------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	介護福祉を実践的に研究する力を身につける
到達目標	1. 介護福祉学に関する実践的な研究方法を身につける。2. 世の中の動きに関心を持ち、新聞や図書を活用した情報収集ができる。
授業概要	介護福祉に関する各自のテーマに真剣に向かい合えるよう実践的な課題を通して介護福祉士としてのあるべき姿を考える。テーマに沿った研究、議論、発表、まとめなどを小集団による演習を通して学ぶ。
授業計画	1 オリエンテーション（ゼミナールⅢの進め方について確認）、大学祭準備 〈時間外学習〉（予習）シラバスに目を通し、ゼミナールⅢで何を学修するのかを把握しておく（30分）（復習）ゼミナールⅡでの自己の研究成果と課題を明らかにする。各自のテーマに沿った情報収集（30分） 2 研究レポート作成の方法① 及び大学祭準備 〈時間外学習〉（予習）図書館やインターネットを活用し、研究レポートのための情報収集に努める。（60分）（復習）ゼミナールⅡで作成したレポートの骨子を深める。（30分） 3 研究レポート作成の方法② 及び大学祭準備 〈時間外学習〉（予習）図書館やインターネットを活用し、研究レポートのための情報収集に努める。（60分）（復習）ゼミナールⅡで作成したレポートの骨子を深める。（30分） 4 レポート作成、個別指導① 及び大学祭反省 〈時間外学習〉（予習及び復習）レポート作成を確実に進め、担当教員に指導を受けられるよう準備する。（60分） 5 レポート作成、個別指導② 〈時間外学習〉レポート作成を確実に進め、担当教員に指導を受けられるよう準備する。（30分） 6 レポート作成、個別指導③ 〈時間外学習〉自分のレポート作成の進捗状況を報告することを念頭に置き、準備を整える。（30分） 7 レポート作成、個別指導④ 〈時間外学習〉自分のレポート作成の進捗状況を報告することを念頭に置き、準備を整える。（1時間）パワーポイント資料の作成 8 レポート作成、個別指導④ 〈時間外学習〉研究レポートの総まとめ（1時間）パワーポイント資料の作成 9 ゼミナール学生同士の報告会① 〈時間外学習〉（予習）自分のレポートを完成させ報告する準備。（1時間） 10 ゼミナール学生同士の報告会②／合同報告会での代表者を決定する② 〈時間外学習〉（予習）自分のレポートを完成させ報告する準備。／（復習）他学生の発表を参考に学習をすすめる。（1時間） 11 発表抄録の作成（パワーポイント・抄録集の原稿）、合同報告会の役割分担の確認 〈時間外学習〉（予習）発表資料を完成させる。ゼミナール担当教員への報告。／（復習）発表の練習（30分） 12 合同報告会 〈時間外学習〉（予習）発表の練習（30分）／（復習）抄録集に目を通し、質問等をまとめる。（30分） 13 合同報告会の振り返り・介護福祉士国家試験に向けた学習と確認・調整① 〈時間外学習〉（予習）レポートや発表の振り返りを行い、提出用課題を仕上げる（30分）／（復習）介護福祉士国家試験に向けた学習（1時間） 14 介護福祉士国家試験に向けた学習と確認・調整②

	<p>〈時間外学習〉介護福祉士国家試験に向けた学習（1時間）</p> <p>15 ゼミナールⅡ・Ⅲを通した振り返りとまとめ</p> <p> 〈時間外学習〉2年間のゼミナール活動を振り返り、自己の成長と課題を知る（30分）</p>
学修に関する留意事項	介護福祉研究の基礎を身につけるため、広範な領域への関心と興味を持つため、新聞は毎日読もう。ゼミナール時以外の自主的な学びが必要です。コツコツ主体的に取り組もう。
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	
成績評価方法・基準	研究レポート作成（到達目標2）20% 発表会（到達目標1.2.3）40% 授業に対する取り組み（到達目標1）40%
書名①	
著者名①	
出版社①	
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	
参考URL	
特記事項	わからないことはそのままにせず、ゼミナール学生同士協力したり、研究室に気軽に訪ねてきてください。報告、連絡、相談がきっちりできるよう日頃から心がけましょう。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2	1	必修
担当教員			
杉本 あゆみ			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
演習	キャリア育成学科	2M4202	
添付ファイル			

授業種類	授業担当教員 <input type="checkbox"/> 科目に関連した実務経験のある教員が担当している 科目に関連した実務内容 アクティブラーニング要素 <input type="checkbox"/> ディスカッション、ディベート <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク
------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	労働市場における女性の就労とキャリア形成
到達目標	1. 女性の就労とキャリア形成に対する理解を深める。2. 各自のテーマに基づき分析・考察を行い、論理的思考力を向上させる。3. わかりやすい資料を作成し、効果的なプレゼンテーションを行うことができる。
授業概要	各自がテーマを設定し、卒業研究レポート作成の方法を確認した後、様々な角度から調査・分析を行い、卒業研究レポート作成と研究内容の発表に取り組む。随時、研究の進捗状況を報告するとともに問題点をゼミメンバーと共有する機会を設ける。
授業計画	1 オリエンテーション：卒業研究レポート作成要領の確認 <時間外学習>作成要領を確認し、必要な情報を整理する 90分 2 課題考察力：入手した情報をもとに考察を深める <時間外学習>必要な情報を収集し、考察を深める 90分 3 論文構成力：レポートの構成を考える <時間外学習>レポートの構成を完成させる 90分 4 卒業研究レポート中間発表 <時間外学習>中間発表レジュメ作成 90分 5 卒業研究レポート中間発表 <時間外学習>中間発表レジュメ作成 90分 6 卒業研究レポート進捗状況発表、個別指導 <時間外学習>レポート執筆 90分 7 卒業研究レポート進捗状況発表、個別指導 <時間外学習>レポート執筆 90分 8 卒業研究レポート進捗状況発表、個別指導 <時間外学習>レポート執筆 90分 9 卒業研究レポート仮提出 <時間外学習>レポート執筆 90分 10 卒業研究レポート修正、個別指導 <時間外学習>レポート修正 90分 11 卒業研究レポート修正、個別指導 <時間外学習>レポート修正 90分 12 卒業研究レポート完成・提出 <時間外学習>誤字・脱字等の最終確認 90分 13 発表資料（パワーポイント）の作成 <時間外学習>発表資料の作成 90分 14 卒業研究レポートゼミ内発表 <時間外学習>発表資料の完成 90分 15 卒業研究レポート発表会
学修に関する留意事項	資料・データ収集、分析・考察など、卒業研究レポートの作成には、授業時間以外に多くの時間を必要とします。計画的に進めてください。

試験やレポート等の課題のフィードバック方法	
成績評価方法・基準	卒業研究レポート（目標1、2）30% 卒業研究レポート作成・提出（到達目標1、3）70%
書名①	必要に応じて、随時プリント等を配付いたします。
著者名①	
出版社①	
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	
参考URL	
特記事項	卒業研究レポートは短期大学における学びの集大成となります。自身の関心のあるテーマを深く掘り下げ考察し、研究の面白さを実感しましょう。この経験は、今後、必ず役に立つはずですよ。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2	2	選択
担当教員			
伊藤 友木子			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
講義・演習	キャリア育成学科		
添付ファイル			

授業種類	授業担当教員 <input type="checkbox"/> 科目に関連した実務経験のある教員が担当している 科目に関連した実務内容 アクティブラーニング要素 <input type="checkbox"/> ディスカッション、ディベート <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク
------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	オフィスで求められる仕事の基本を理解し、オフィスワーカーとしての実務スキルの習得と発揮を目指す。
到達目標	1. 社会人としての心構えを持ち、仕事の基本やマナーを理解することができる。 2. オフィス実務の基礎となるスキルを身につけ、実践力を習得する。 3. 習得した知識を、顧客意識を持ち発揮できることを目指す。
授業概要	オフィスの場面を想定し、学んだ知識やスキルが発揮できるよう、ペアワークやロールプレイング、文書作成など実践を通じた授業を行う。
授業計画	1 オリエンテーション／ビジネス実務とは／第一印象の重要性 <時間外学習>テキストP12～23 P26～31予習 2 話し方① 感じの良い話し方／敬語トレーニング <時間外学習>テキストP34～43予習 3 話し方② 言葉遣い／ビジネスにおける表現 <時間外学習>テキストP44～47予習 4 電話対応① 電話対応の基本（受け方・かけ方・取り次ぎ） <時間外学習>テキストP50～63予習 5 電話対応② 実践トレーニング <時間外学習>テキストP50～63予習 6 来客対応① 来客対応の心構え／対応の基本 <時間外学習>テキストP66～79予習 7 来客対応② 実践トレーニング <時間外学習>テキストP66～79予習 8 接客対応① 接客実務の基本（おもてなし・CS・カウンター業務・金銭授受） <時間外学習>テキストP82～93予習 9 接客対応② クレーム対応 <時間外学習>テキストP94～95予習 10 文書実務① 社内文書／社外文書／郵便取り扱い <時間外学習>テキストP98～108予習 11 文書実務② 電子メール／ファイリング <時間外学習>テキストP109～119予習 12 交際業務 冠婚葬祭／慶事／弔事 <時間外学習>テキストP122～135予習 13 総務業務 会議／環境整備／スケジュール管理 <時間外学習>テキストP138～159予習 14 総合演習① 対応スクリプトによるグループ練習 <時間外学習>実務スキルの復習／スクリプト（台本）作成 15 総合演習② まとめ <時間外学習>実務スキルの復習／練習
学修に関する留意事項	◇授業では実践演習を中心に行うため、課題や発表への主体的な取り組み、積極的な参加を評価する。 ◇時間外学習では、テキストの該当ページを予習してくることを前提とする。

試験やレポート等の課題のフィードバック方法	
成績評価方法・基準	◇提出物（到達目標1, 2）30% ◇課題や授業に対する取り組み（到達目標1, 2, 3）40% ◇総合演習（到達目標1, 2, 3）30%
書名①	新・ビジネスとオフィスワーク
著者名①	監修 水原道子 / 編著 宮田篤
出版社①	樹村房
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	
参考URL	
特記事項	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2	2	選択
担当教員			
伊東 秀幸			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
講義・演習	キャリア育成学科	2N4304	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員 □科目に関連した実務経験のある教員が担当している</p> <p>科目に関連した実務内容</p> <p>アクティブラーニング要素</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ディスカッション、ディベート ■グループワーク ■プレゼンテーション ■実習、フィールドワーク
------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	マネージャー層とプレーヤー層の関係性に焦点を当て、トレード・オンを実現する従業員教育の傾向を探る。
-----	---------------------------------------------------

到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 演習から習得した知識や技能の活用方法を想定される職場の実態に応じて判断することができる。 2 キャリア育成に関する専門的な知識や技能を想定される職場の実態に応じて表出することができる。 3 向上した関係性のマネジメント能力を活かし、人間関係の課題を想定される職場の一員として考察することができる。
------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

授業概要	従業員の指摘や疑問、アイデア、懸念を取り込める組織の構築を目的として、事例の抽象化と理論の具象化を進める。
------	-------------------------------------------------------

授業計画	<p>第1講 オリエンテーション（授業計画の確認） ＜時間外学習＞次回のテーマをレジメにまとめる。（30分）</p> <p>第2講 はじめに ＜時間外学習＞次回のテーマをレジメにまとめる。（30分）</p> <p>第3講 心理的安全性のパワー①（土台） ＜時間外学習＞次回のテーマをレジメにまとめる。（30分）</p> <p>第4講 心理的安全性のパワー①（研究の軌跡） ＜時間外学習＞次回のテーマをレジメにまとめる。（30分）</p> <p>第5講 職場の心理的安全性①（回避できる失敗） ＜時間外学習＞次回のテーマをレジメにまとめる。（30分）</p> <p>第6講 職場の心理的安全性②（危険な沈黙） ＜時間外学習＞次回のテーマをレジメにまとめる。（30分）</p> <p>第7講 職場の心理的安全性③（フィアレスな職場） ＜時間外学習＞次回のテーマをレジメにまとめる。（30分）</p> <p>第8講 職場の心理的安全性④（無事に） ＜時間外学習＞次回のテーマをレジメにまとめる。（30分）</p> <p>第9講 中間報告 ＜時間外学習＞中間報告のレポートを作成する。（60分）</p> <p>第10講 フィアレスな組織をつくる①（実現させる） ＜時間外学習＞次回のテーマをレジメにまとめる。（30分）</p> <p>第11講 フィアレスな組織をつくる①（実現させる） ＜時間外学習＞次回のテーマをレジメにまとめる。（30分）</p> <p>第12講 フィアレスな組織をつくる②（次に何が起きるのか） ＜時間外学習＞次回のテーマをレジメにまとめる。（30分）</p> <p>第13講 フィアレスな組織をつくる②（次に何が起きるのか） ＜時間外学習＞次回のテーマをレジメにまとめる。（30分）</p> <p>第14講 解説 ＜時間外学習＞次回のテーマをレジメにまとめる。（30分）</p> <p>第15講 最終報告 ＜時間外学習＞最終報告のレポートを作成する。（60分）</p>
------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

学修に関する留意事項	VUCAに直面する企業にとって、心理的安全性は最終的な収益に直結しています。心理的安全性が組織の行方を左右することを理解し、持続可能な組織の構築に活かしてください。
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	課題が提出された翌週に、対面でフィードバックします。
成績評価方法・基準	毎時の振り返り (到達目標 1、2) 10% レジュメの内容 (到達目標 1、2) 50% スキットの内容 (到達目標 2、3) 20% レポートの内容 (到達目標 2、3) 20%
書名①	『恐れのない組織——「心理的安全性」が学習・イノベーション・成長をもたらす』 (2021)
著者名①	エイミー・C・エドモンドソン著 野津智子訳
出版社①	英治出版
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	ピーター・D・ピーダーセン著 (2022) 『しなやかで強い組織のつくりかた—21世紀型マネジメント・イノベーション—』 生産性出版
参考URL	
特記事項	

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2	2	選択
担当教員			
長谷川 博			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
講義	キャリア育成学科	204103	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員</p> <p><input type="checkbox"/> 科目に関連した実務経験のある教員が担当している</p> <p>科目に関連した実務内容</p> <p>アクティブラーニング要素</p> <p><input type="checkbox"/> ディスカッション、ディベート</p> <p><input type="checkbox"/> グループワーク</p> <p><input type="checkbox"/> プレゼンテーション</p> <p><input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク</p>
------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	社会人としての一般常識として、ビジネスに必要な法律（民法、商法、会社法）の基礎的知識を修得する。
到達目標	1 知識・理解：実社会に必要な基礎的知識を身につける。 2 知識・理解：民法、商法、会社法の成立や内容について理解する。 3 思考・判断：1, 2で得た知識を用いて実社会で対応できる思考力、判断力を身につける。
授業概要	講義プリントを中心に調べ学習と解説を行う。また、適宜、資料プリントを配布する。
授業計画	<p>1 明治政府による法整備～近代国家をめざして</p> <p>2 民法とは何か</p> <p>3 民法の基本用語と原則</p> <p>4 権利能力とは</p> <p>5 未成年者について</p> <p>6 法人とは</p> <p>7 法律行為について</p> <p>8 不動産物権変動とは</p> <p>9 連帯債務について</p> <p>10 親族って何？</p> <p>11 相続について</p> <p>12 会社って何？</p> <p>13 株主総会～意義、権限、運営</p> <p>14 商法ってどんな法律？</p> <p>15 商行為について</p>
学修に関する留意事項	1 毎時間約30分の調べ学習を行うのでスマホまたはタブレット等を持参すること。 2 毎時間学習する授業内容や関係する事項を事前学習しておくこと。 3 毎時間、授業終了時に各自振り返りシートを作成し提出する。

試験やレポート等の課題のフィードバック方法	
成績評価方法・基準	筆記試験（到達目標1, 2, 3）60% 振り返りシート（到達目標2, 3）20% 授業への取り組み（到達目標1, 2, 3）20%
書名①	
著者名①	
出版社①	
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	民法, 商法, 会社法などのビジネス法規
参考URL	
特記事項	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2	2	選択
担当教員			
若林 正幸			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
講義	キャリア育成学科	204104	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員</p> <p>■科目に関連した実務経験のある教員が担当している</p> <p>科目に関連した実務内容</p> <p>社会保険労務士法人の社員（役員）であり、社会保険労務士として、企業からの委託を受け、労働・社会保険諸法令に基づき申請書等を作成・提出代行しています。また、事業における労務管理について、企業の総務・人事部門からの相談に応じています。</p> <p>アクティブラーニング要素</p> <p><input type="checkbox"/>ディスカッション、ディベート</p> <p><input type="checkbox"/>グループワーク</p> <p><input type="checkbox"/>プレゼンテーション</p> <p><input type="checkbox"/>実習、フィールドワーク</p>
テーマ	働く人の労働・社会保険諸法令入門
到達目標	<p>1. 企業の総務・人事部門において必要とされる労働法および労務管理に関する基礎知識を身に付けること。</p> <p>2. 労働保険および社会保険に関する基礎知識を身に付けること。</p> <p>3. 健全な社会活動のために必要な基礎知識を身に付けること。</p>
授業概要	<p>企業の総務・人事部門における業務と関係する次の内容について、実務上の事例の紹介を含めた講義を行います。</p> <p>a. 労働法および労務管理</p> <p>b. 労働保険および社会保険</p>
授業計画	<p>1 労働基準法の理念と適用範囲 予習：テキストの精読（30分） 復習：講義内容およびテキストより、復習ノートを作成（30分）</p> <p>2 就業規則と労働契約 予習：テキストの精読（30分） 復習：講義内容およびテキストより、復習ノートを作成（30分）</p> <p>3 労働者の募集・採用 予習：テキストの精読（30分） 復習：講義内容およびテキストより、復習ノートを作成（30分）</p> <p>4 職場の秩序と労働者の自由 予習：テキストの精読（30分） 復習：講義内容およびテキストより、復習ノートを作成（30分）</p> <p>5 配転・出向・転籍 予習：テキストの精読（30分） 復習：講義内容およびテキストより、復習ノートを作成（30分）</p> <p>6 基本的労働条件1（賃金・割増賃金・福利厚生） 予習：テキストの精読（30分） 復習：講義内容およびテキストより、復習ノートを作成（30分）</p> <p>7 基本的労働条件2（労働時間・休憩・休日） 予習：テキストの精読（30分） 復習：講義内容およびテキストより、復習ノートを作成（30分）</p> <p>8 出産・育児・介護 予習：テキストの精読（30分） 復習：講義内容およびテキストより、復習ノートを作成（30分）</p> <p>9 健康保険制度のあらまし 予習：テキストの精読（30分） 復習：講義内容およびテキストより、復習ノートを作成（30分）</p> <p>10 労災保険制度のあらまし 予習：テキストの精読（30分） 復習：講義内容およびテキストより、復習ノートを作成（30分）</p> <p>11 解雇・雇止めの法規制 予習：テキストの精読（30分） 復習：講義内容およびテキストより、復習ノートを作成（30分）</p> <p>12 定年・退職のルール 予習：テキストの精読（30分）</p>

	<p>13 復習：講義内容およびテキストより、復習ノートを作成（30分） 雇用保険制度のあらまし 予習：テキストの精読（30分）</p> <p>14 復習：講義内容およびテキストより、復習ノートを作成（30分） 公的年金制度のあらまし 予習：テキストの精読（30分）</p> <p>15 復習：講義内容およびテキストより、復習ノートを作成（30分） ふりかえり 準備：第14回までに作成した復習ノートの精読（30分） 復習：卒業後も活用できるよう、復習ノートを整理（30分）</p>
学修に関する留意事項	労働・社会保険諸法令の入門講座として、体系的に知識を修得できるように講義します。なお、講義が一方的なものとならないよう、活発な意見または質問を期待します。各回の授業の予習として、テキストの該当する箇所を精読してください。また、復習として、各回ごとに講義内容をノートにまとめ、講義により学んだ知識を卒業後も活用できるようにしてください。
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	
成績評価方法・基準	平常点評価（授業態度、意欲など）（到達目標1, 2, 3）40% 試験（到達目標1, 2）60%
書名①	Next教科書シリーズ『労働法』第2版
著者名①	新谷 真人 編
出版社①	弘文堂
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	
参考URL	
特記事項	社会人にとって身近な労働・社会保険諸法令の基本を知ることにより、社会人として自立するための予備知識を修得できる内容です。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2	2	選択
担当教員			
江淵 剛			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
講義	キャリア育成学科		
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員</p> <p><input type="checkbox"/> 科目に関連した実務経験のある教員が担当している</p> <p>科目に関連した実務内容</p> <p>アクティブラーニング要素</p> <p><input type="checkbox"/> ディスカッション、ディベート</p> <p><input type="checkbox"/> グループワーク</p> <p><input type="checkbox"/> プレゼンテーション</p> <p><input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク</p>
テーマ	流通論、マーケティングの基礎的内容について理解できるよう講義を進めます。また、本講義で学んだ内容を土台に流通業で唯一の公的資格である販売士（リテールマーケティング）3級の取得を目指します。
到達目標	<p>本講義における到達目標は次の2点です。</p> <p>① 流通論、マーケティングの基礎的内容について理解できるようになることを目指します。</p> <p>② 販売士（リテールマーケティング）3級の合格が可能となる水準の知識の習得を目指します。</p>
授業概要	講義は、流通論、マーケティングについて、販売士（3級）の試験内容である「小売業の類型」「マーチャンダイジング」「ストアオペレーション」「マーケティング」「販売・経営管理」の順に展開していきます。試験内容の区切りに沿って資格試験の「模試」を想定した小テストを実施し、知識定着状況について確認します。
授業計画	<p>1 インTRODクシヨソ</p> <p>・各講義の予定内容、進め方及び成績評価方法についてご説明します。</p> <p>[時間外学習]</p> <p>・授業で配布した資料を読み返し、振り返りを行ってください。（1時間）</p> <p>・販売士（3級）の資格取得を視野に入れた自主勉強スケジュールを考えてください。（1時間）</p> <p>2 小売業の類型①</p> <p>・小売業の定義、中小・組織小売業の特徴やチェーンストアについて理解を深めます。</p> <p>[時間外学習]</p> <p>・授業で配布した資料（穴埋め、用語説明）を見返し、授業内容の理解を深めて下さい。（1時間）</p> <p>3 小売業の類型②</p> <p>・販売形態の種類やネットショッピング、専門店や百貨店について学びます。</p> <p>[時間外学習]</p> <p>・授業で配布した資料（穴埋め、用語説明）を見返し、授業内容の理解を深めて下さい。（1時間）</p> <p>4 小売業の類型③</p> <p>・スーパー、コンビニ、ドラッグストアなどの生活に身近な小売業、お店について学びます。</p> <p>[時間外学習]</p> <p>・授業で配布した資料（穴埋め、用語説明）を見返し、授業内容の理解を深めて下さい。（1時間）</p> <p>5 小売業の類型④</p> <p>・小売業や商店街、ショッピングセンターについて学びます。</p> <p>・「小売業の類型」の範囲について振り返りの小テストを行います。</p> <p>[時間外学習]</p> <p>・これまでの授業で説明してきた「小売業の類型」について復習しておいてください。（1時間）</p> <p>・授業で配布した資料（穴埋め、用語説明）を見返し、授業内容の理解を深めて下さい。（1時間）</p> <p>6 マーチャンダイジング①</p> <p>・商品やその分類、業態別のマーチャンダイジングについて学びます。</p> <p>[時間外学習]</p> <p>・授業で配布した資料（穴埋め、用語説明）を見返し、授業内容の理解を深めて下さい。（1時間）</p> <p>7 マーチャンダイジング②</p> <p>・販売/仕入計画、ディスプレイ、発注、価格とその設定について学びます。</p> <p>[時間外学習]</p> <p>・授業で配布した資料（穴埋め、用語説明）を見返し、授業内容の理解を深めて下さい。（1時間）</p> <p>8 マーチャンダイジング③</p> <p>・売値と利益との関係、在庫管理、POSシステムについて学びます。</p> <p>・「マーチャンダイジング」の範囲について振り返りの小テストを行います。</p>

	<p>[時間外学習] ・これまでの授業で説明してきた「マーチャンダイジング」について復習してください。(1時間) ・授業で配布した資料(穴埋め、用語説明)を見返し、授業内容の理解を深めて下さい。(1時間)</p> <p>9 ストアオペレーション① ・ストアオペレーション(店舗の運営)、売り場チェック、レジ業務などについて学びます。</p> <p>[時間外学習] ・授業で配布した資料(穴埋め、用語説明)を見返し、授業内容の理解を深めて下さい。(1時間)</p> <p>10 ストアオペレーション② ・ディスプレイ、ショーウィンドウ陳列などについて学びます。 ・「ストアオペレーション」の範囲について振り返りの小テストを行います。</p> <p>[時間外学習] ・これまでの授業で説明してきた「ストアオペレーション」について復習してください。(1時間) ・授業で配布した資料(穴埋め、用語説明)を見返し、授業内容の理解を深めて下さい。(1時間)</p> <p>11 マーケティング① ・小売業のマーケティング、顧客満足、商圈や店舗の立地条件などについて学びます。</p> <p>[時間外学習] ・授業で配布した資料(穴埋め、用語説明)を見返し、授業内容の理解を深めて下さい。(1時間)</p> <p>12 マーケティング② ・インバウンド、売り場の改善、店舗のディスプレイ効果などについて学びます。 ・「マーケティング」の範囲について振り返りの小テストを行います。</p> <p>[時間外学習] ・これまでの授業で説明してきた「マーケティング」について復習しておいてください。(1時間) ・授業で配布した資料(穴埋め、用語説明)を見返し、授業内容の理解を深めて下さい。(1時間)</p> <p>13 販売・経営管理① ・接客、小売業や商品に関する法令などについて学びます。</p> <p>[時間外学習] ・授業で配布した資料(穴埋め、用語説明)を見返し、授業内容の理解を深めて下さい。(1時間)</p> <p>14 販売・経営管理② ・売上管理、消費税、衛生管理などについて学びます。 ・「販売・経営管理」の範囲について振り返りの小テストを行います。</p> <p>[時間外学習] ・これまでの授業で説明してきた「販売、小売業」について復習しておいてください。(1時間) ・授業で配布した資料(穴埋め、用語説明)を見返し、授業内容の理解を深めて下さい。(1時間)</p> <p>15 全体振り返りと模擬試験 ・「リテールマーケティング」全体の振り返りをを行います。 ・販売士検定(3級)を想定した模擬試験を行います。</p> <p>[時間外学習] ・模擬試験の振り返り、復習をしてください。(1時間) ・授業で配布した資料(穴埋め、用語説明)を見返し、授業内容の理解を深めて下さい。(1時間)</p>
学修に関する留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・各講義では資料を配布しますので授業内容の整理として活用してください。 ・テキストとして、『販売士教科書 販売士(リテールマーケティング)3級 一発合格テキスト&問題集』を活用します。
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	
成績評価方法・基準	<ul style="list-style-type: none"> ・小テスト: 40% ・筆記(期末)試験: 40% ・講義、グループワークでの取り組み姿勢: 20%
書名①	『販売士教科書 販売士(リテールマーケティング)3級 一発合格テキスト&問題集 第4版』
著者名①	海光 歩
出版社①	翔泳社
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	
参考URL	

特記事項	流通やマーケティングの初学者の方も皆さんの身近な買い物、日常生活で目にする「お店」をテーマに説明を進めたいと思います。 販売士検定（3級）合格を目指す学生や小売り、流通業界に興味のある学生の皆さんの受講を期待します。
------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2	2	選択
担当教員			
前田 恵里			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
講義・演習	キャリア育成学科	2Z4306	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員 <input type="checkbox"/> 科目に関連した実務経験のある教員が担当している</p> <p>科目に関連した実務内容</p> <p>アクティブラーニング要素 <input type="checkbox"/> ディスカッション、ディベート <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク</p>
------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	日本について書かれた日本語の文章を読み、日本の社会と文化についての知識を学ぶ。自国と日本の文化や制度の違いを知り、日本への理解を深めるとともに自分自身の見解を持つ。
到達目標	1. 目標に向けて学習活動に取り組む力をつける。2. 様々なテーマで書かれた日本語を読み、読解力や語彙力をつける。3. 日本についてさまざまな観点から理解を深め、自分自身の意見を述べられるようになる。
授業概要	様々なテーマについて書かれた文章を読んで日本の地理、歴史、文化等を理解し、自分の意見を日本語で述べる。介護に関する専門用語と周辺語彙を、実際の介護の場面を意識して学ぶ。
授業計画	<p>1 オリエンテーション（授業の進め方、評価について）現代文化とポップカルチャー①【基本のことば】体・体調のことば（749-799） 授業外課題：授業内容の復習 30分</p> <p>2 現代文化とポップカルチャー②【基本のことば】介護のことば（800-866） 授業外課題：授業内容の復習 30分</p> <p>3 スポーツの楽しみ方①【基本のことば】介護のことば（867-911） 授業外課題：授業内容の復習 30分</p> <p>4 スポーツの楽しみ方②【基本のことば】介護のことば（912-965） 授業外課題：授業内容の復習 30分</p> <p>5 前進を続ける科学技術①【基本のことば】介護のことば（966-1033） 授業外課題：授業内容の復習 30分</p> <p>6 前進を続ける科学技術②【基本のことば】介護のことば（1034-1091） 授業外課題：授業内容の復習 30分</p> <p>7 地球のためにできること①【基本のことば】介護のことば（1092-1134） 授業外課題：授業内容の復習 30分</p> <p>8 地球のためにできること②【基本のことば】介護のことば（1135-1184） 授業外課題：授業内容の復習 30分</p> <p>9 教育と子供たち①【基本のことば】介護のことば（1185-1233） 授業外課題：授業内容の復習 30分</p> <p>10 教育と子供たち②【基本のことば】介護のことば（1234-1287） 授業外課題：授業内容の復習 30分</p> <p>11 産業構造と経済①【基本のことば】介護のことば（1288-1332） 授業外課題：授業内容の復習 30分</p> <p>12 産業構造と経済②【基本のことば】介護のことば（1333-1374） 授業外課題：授業内容の復習 30分</p> <p>13 政治と憲法【基本のことば】介護のことば（1375-1420） 授業外課題：授業内容の復習 30分</p> <p>14 多文化共生社会を目指して【基本のことば】介護のことば（1421-1435） 授業外課題：授業内容の復習 30分</p> <p>15 まとめ</p>
学修に関する留意事項	毎回の授業で、前回授業で学んだ内容の確認テストを行います。授業以外でも、積極的に日本のテレビを見たり、本を読んだりして、日本語に触れるようにしてください。

試験やレポート等の課題のフィードバック方法	確認テストのフィードバックは授業内で行う。
成績評価方法・基準	授業への取り組み（到達目標1.2.3）30% 確認テスト（到達目標1.2）30% テスト（到達目標2.3）40%
書名①	『はじめて学ぶ介護の日本語 基本のことば』
著者名①	三橋麻子、丸山真貴子、堀内貴子、西己加子
出版社①	スリーエーネットワーク
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	佐々木瑞枝『クローズアップ日本事情15－日本語で学ぶ社会と文化』ジャパンタイムズ
参考URL	
特記事項	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2	2	選択
担当教員			
浅沼 慎也			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
講義	キャリア育成学科	2P4100	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員</p> <p><input type="checkbox"/>科目に関連した実務経験のある教員が担当している</p> <p>科目に関連した実務内容</p> <p>アクティブラーニング要素</p> <p><input type="checkbox"/>ディスカッション、ディベート</p> <p><input type="checkbox"/>グループワーク</p> <p><input type="checkbox"/>プレゼンテーション</p> <p><input type="checkbox"/>実習、フィールドワーク</p>
------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	会計の役割を理解し、企業を正しく見る能力を身に着ける。
到達目標	①基礎的な会計法規を認識できる。②会計を使って会社の活動の特徴を判断できる。(固定資産を多く必要とするか、労働集約型の活動なのか等)③財務諸表から会社の収益性、安全性等を分析できる。
授業概要	会計学の基礎知識を取得し、誰もが知る企業の会計情報から会社の活動を深く掘り下げながら理解を深める。
授業計画	<p>1 会計情報の役割 会計は経済社会に不可欠な仕組みで、機能で理解しなければならない。そして会計が分かれば経営の実態が見えることを把握する。 (時間外学習：テキストの復習30分)</p> <p>2 会計制度と社会 会計は法律の制度に組み込まれ社会で多くの機能を発揮していることを理解する。 (時間外学習：テキストの復習30分)</p> <p>3 会計のしくみ 貸借対照表と損益計算書の関係を通じて会計のしくみを理解する。 (時間外学習：テキストの復習30分)</p> <p>4 貸借対照表 貸借対照表とはどのような計算書類かを学習していきます。 (時間外学習：テキストの復習30分)</p> <p>5 在庫品の会計 企業が売っている品物には「商品」と「製品」の2種類があるが「在庫品」とは、企業が販売目的で持っている商品や製品の総称である。 (時間外学習：テキストの復習30分)</p> <p>6 生産設備の会計 生産設備は企業の生産活動に使用されるが企業活動においてどのように表現されるか見てみよう。 (時間外学習：テキストの復習30分)</p> <p>7 金融資産の会計 企業の持つ金融資産の運用について深く学んでみよう。 (時間外学習：テキストの復習30分)</p> <p>8 負債と資本の会計 貸借対照表の資産を学んできた、それに対応する負債と資本について学ぶ。 (時間外学習：テキストの復習30分)</p> <p>9 損益計算書 損益計算書を注意深く見ることによって、その会社の利益の金額やその原因、経営形態の特徴を把握できることを体験する。 (時間外学習：テキストの復習30分)</p> <p>10 営業活動の会計 企業の営業循環や収益認識の基本ルールについて学ぶ。 (時間外学習：テキストの復習30分)</p> <p>11 儲かる仕組みの分析 財務諸表を使って、企業の様々な指標から収益性、安全性の分析について学ぶ。 (時間外学習：テキストの復習30分)</p> <p>12 利益構造の分析 損益分岐点、CVP分析について学ぶ。 (時間外学習：テキストの復習30分)</p> <p>13 経営管理と会計</p>

	<p>P D C Aサイクルと原価管理におけるP D C Aサイクルについて具体的に学ぶ。 (時間外学習：テキストの復習30分)</p> <p>14 会計学の諸領域 簿記、原価計算の復習とともに様々な会計について学ぶ。 (時間外学習：テキストの復習30分)</p> <p>15 会計を活用する仕事、まとめ この講義を通じて学んできた「会計」を活用する仕事を知る。</p>
学修に関する留意事項	テキストには、多くのフィールドワークの事例が盛り込まれているので時間外学習では講義で触れなかったところを読み物のように楽しんでください。その日常的な会計への接し方が会計を使う近道で、会計を難しく捉えない癖を時間外学習ではテキストを通じて身に付けてください。
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	
成績評価方法・基準	授業に対する取り組み姿勢（到達目標①②③）30% 期末試験（到達目標①②③）70%
書名①	1からの会計
著者名①	谷武幸、桜井久勝、北川教央
出版社①	中央経済社、碩学舎
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	
参考URL	
特記事項	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2	2	選択
担当教員			
砂山 祥吾			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
講義・演習	キャリア育成学科	2P4310	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員</p> <p>■科目に関連した実務経験のある教員が担当している</p> <p>科目に関連した実務内容</p> <p>アクティブラーニング要素</p> <p><input type="checkbox"/>ディスカッション、ディベート</p> <p><input type="checkbox"/>グループワーク</p> <p><input type="checkbox"/>プレゼンテーション</p> <p><input type="checkbox"/>実習、フィールドワーク</p>
------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	職業人として期待される基本的な知識を修得し、地域社会の発展に積極的に貢献できる能力を身につける。
到達目標	1. ファイナンシャル・プランナー(FP)の役割、社会における活躍の場を理解する。2. FPの基本知識を身につけ、現時点での自己のライフプランを描けるようになる。3. 授業外での自発的な学習も含め、FPの知識が今後の自己の行動、意思決定の判断材料になるようにする。
授業概要	基本的に授業は、黒板を使ってテキストに沿って進められるため、授業中に自分なりに、内容をノートにまとめていくことが求められる。ただ、テキストの内容をすべて授業の中で学ぶわけではないため、時間外の学習として、授業後に、ノートと突合せしてテキストを読むことで、理解を深めることが求められる。
授業計画	<p>1 15回の授業内容について概要を知る。ファイナンシャル・プランニングという言葉を理解し、国家資格の存在と取得方法について学ぶ。 (時間外学習) ファイナンシャル・プランナーの存在と業務内容について、文献、インターネットなどで調べる。(30分)</p> <p>2 ファイナンシャル・プランニングにおいて、大きなテーマとなる教育資金、住宅資金、老後資金について概要を理解する。 (時間外学習) 身近な人に、子供の教育、住宅取得、老後の生活にどれだけお金がかかっているのかをヒアリングし、理解を深める。(30分)</p> <p>3 ファイナンシャル・プランニングにおけるライフイベント表の意味を理解した上で、自身の将来設計として55歳までのライフイベント表を作成する。 (時間外学習) 作成したライフイベント表を実現するためには、今から何をすべきかを考える。(30分)</p> <p>4 ファイナンシャル・プランニングにおけるライフイベント表をもとに、キャッシュフロー表と、個人バランスシートの作成の意義について理解する。 (時間外学習) 自身が作成したライフイベント表をもとに、キャッシュフロー表の内容をイメージする。(30分)</p> <p>5 給与支払明細書で、天引き項目となる健康保険、厚生年金保険、雇用保険、所得税、住民税について理解する。また、手取収入、可処分所得、納税の仕方について概要を理解する。 (時間外学習) 身近な人に、給与支払明細書をみせてもらい、記載内容を確認することで、理解を深める。(30分)</p> <p>6 日本の社会保険制度の概要、医療保険、介護保険、雇用保険について理解する。 (時間外学習) 自宅の健康保険証などを確認し、記載内容を確認することで、理解を深める。(30分)</p> <p>7 労災保険、公的年金制度について理解する。 (時間外学習) 日本の公的年金制度について調べ、理解を深める。(30分)</p> <p>8 国民年金、厚生年金について理解する。 (時間外学習) 日本の年金制度が抱えている問題点について、理解を深める。(30分)</p> <p>9 民間保険としての生命保険、医療保険、個人年金保険について理解する。 (時間外学習) 身近な人に、加入している生命保険についてヒアリングし、理解を深める。(30分)</p> <p>10 損害保険(火災保険、自動車保険、賠償責任保険、傷害保険)について理解する。 (時間外学習) 身近な人に、加入している損害保険についてヒアリングし、理解を深める。(30分)</p> <p>11 民間保険に加入するにあたり検討すべきことや、保険金の受け取り、課税関係などを理解する。 (時間外学習) インターネットで、どのような保険会社、保険商品があるのかを調べ、違いを理解する。(30分)</p> <p>12 住宅取得にあたり、土地の公的価格、住宅ローンについて理解する。また、新築と中古住宅、一戸建とマンションの違い、購入時に必要になる費用と購入後の維持費用について理解する。</p>

	<p>(時間外学習) 住宅ローンを組んでいる身近な人に、内容についてヒアリングし、理解を深める。(30分)</p> <p>13 資産を運用するにあたり、運用の対象になる商品、資産の価値を上下させる要因、資産運用における3大指標を理解する。</p> <p>(時間外学習) 身近な人に、お金をどのように運用しているかをヒアリングし、理解を深める。(30分)</p> <p>14 相続対策にあたり、法定相続人、相続の順位と割合、遺言、贈与、生命保険の活用などを理解する。</p> <p>(時間外学習) 自身の家系図を作ることで、相続について理解を深める。(30分)</p> <p>15 「まとめ」等</p>
学修に関する留意事項	授業で学べる知識は、限られています。学習効果を高めるには、時間外学習が重要になります。毎日、新聞やテレビ、文献から、政治、経済、社会の動きを意識的に収集すること、そして、自身が関心を持った分野については特にウォッチし、自分の意見をまとめられるようにすれば、学習効果が高まります。
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	
成績評価方法・基準	試験結果(到達目標1.2.3) 60% 授業における学習意欲(到達目標2.3) 30% レポート提出(1.2.3) 10%
書名①	新版 ゼロから学ぶ! ファイナンシャル・プランニング講座
著者名①	きんざいファイナンシャル・プランナーズ・センター編著
出版社①	きんざい
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	
参考URL	
特記事項	広い視点でものごとを捉え、行動できるということは、社会人として重要なことです。日頃から世の中の動きに関心を持ち、自身の視野を広げてください。地方銀行と銀行系シンクタンクにて実務経験があります。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2	1	選択
担当教員			
川喜田 多佳子			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
演習	キャリア育成学科	2Q4206	
添付ファイル			

授業種類	授業担当教員 <input type="checkbox"/> 科目に関連した実務経験のある教員が担当している 科目に関連した実務内容 アクティブラーニング要素 <input type="checkbox"/> ディスカッション、ディベート <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク
------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	・実務の事例からExcelを使いこなす。
到達目標	・業務を遂行するために必要な表を設計することができる・応用機能を身につけ、複雑な業務を効率よくこなすことができる・他者と課題を見つけ、協働しながら答えを導き出すことができる
授業概要	様々な場面を想定した課題を通して、構成や計算式を自ら考えて作成する表の設計能力と、Excelの実践力を養う。発展した機能学習に加え、他の人とも協力し目標達成に向けよりよい成果を納めるための取り組みを行う。
授業計画	<p>1 授業内容：オリエンテーション、教材確認 ・前期までの理解度の確認（自己評価チェックシートの利用） 内容の集計と分析：グラフ作成入り振り返りコメント表の作成 <時間外学習>自己評価により明らかになった、自分の弱み箇所を強化する。(1時間)</p> <p>2 授業内容：表の設計1 課題1：料金チラシの作成 ・見やすい表の設計 ・広告チラシに貼り付けて仕上げる。 <時間外学習>スーパーやコンビニなどに置かれている商品申し込みチラシを収集し、どのような工夫がされているか情報収集をしておく。(1時間)</p> <p>3 授業内容：表の設計2 課題2：スケジュール表の作成 <時間外学習>前期で学んだ基本機能を、簡単な事例に当てはめる方法をインターネット等を利用して調べておく。(1時間)</p> <p>4 授業内容：表の設計3 課題3：交通費精算書の作成 <時間外学習>前期で学んだ基本機能を、簡単な事例に当てはめる方法をインターネット等を利用して調べておく。(1時間)</p> <p>5 授業内容：表の設計4 課題4：在庫管理表（不足発注数量確認表）の作成 <時間外学習>前期で学んだ基本機能を、簡単な事例に当てはめる方法をインターネット等を利用して調べておく。(1時間)</p> <p>6 授業内容：表の設計5 課題5：申込受付記録の作成 <時間外学習>前期で学んだ基本機能を、簡単な事例に当てはめる方法をインターネット等を利用して調べておく。(1時間)</p> <p>7 授業内容：機能学習：正確なデータ入力への対応 ・オートコンプリート、入力規則 ・ワークシートの保護 <時間外学習>本日学んだ技術がどのような事例で使うと便利なのか、身近な例での活用方法を考えておく。(30分)</p> <p>8 授業内容：表の設計6（数値を扱うビジネス文書）請求書の作成 <時間外学習>見積書、納品書等との違いを理解しておく。請求書作成においては、第7回で学んだ機能をどこに設定すればよいか調べ考えてから取り組む(90分)</p> <p>9 授業内容：機能学習：表示形式の応用 ・組み込みの表示形式を知る ・ユーザー定義の表示形式の設定 課題7：請求書（課題6）の編集・仕上げ <時間外学習>本日学んだ学んだ機能をどこに設定すればよいか調べてから取り組む（60分）</p> <p>10 授業内容：表の設計7（数値を扱うビジネス文書2） 課題8：出納帳・家計簿の作成 ・繰り越しの計算方法 <時間外学習>経理の仕事とはどのようなものなのか、簿記の授業やインターネットから情報検索し調べておく。(30分)</p> <p>11 授業内容：表の設計7（数値を扱うビジネス文書2） 課題8：出納帳・家計簿の仕上げ <時間外学習>簿記の勘定科目の確認（30分）</p> <p>12 授業内容：社内試験結果 個人シートの作成 <時間外学習>グラフ作成や編集が曖昧な所は、1年次の教科書やマスター演習ドリルで復習を行</p>

	<p>う。(60分)</p> <p>13 授業内容：機能学習：高度なグラフ編集 <時間外学習>課題に取り組みながらグラフの書式設定作業ウィンドウの扱いがスムーズに扱えるようにする。(60分)</p> <p>14 まとめの課題 1 <時間外学習>周りの人が作成する表についても様々な角度からアドバイスができるよう、さらなるExcelの活用方法を主体的に探し、身に着けていく。(60分)</p> <p>15 まとめの課題 2 <時間外学習>卒業後もExcelの知識を極めるための学びの継続について、計画してみる。(60分)</p>
学修に関する留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回テーマに合わせた課題を課す。課題提出は締め切り日厳守とする。これもビジネス文書の取り扱いにおいて重要なポイント。 ・Excelの基本的な部分でまだ自信が持てないままの人(検定未取得者等)は表計算検定で確実に基礎を身に着けてから社会人になる準備をしておくこともすすめる。発展的な機能を学びたい人にはMOS検定を勧める。
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	
成績評価方法・基準	<p>課題への取り組み (2) 60%</p> <p>授業内での取り組み姿勢 (目標 1, 2, 3) 40%</p>
書名①	情報リテラシー 情報リテラシー 総合編 Windows 11・Office 2021対応 (1年次に購入済)
著者名①	富士通FOM
出版社①	FOM出版
書名②	Excelマスター演習問題集 基礎・応用の2冊 (1年次に購入済)
著者名②	ムゲンダイ出版
出版社②	ムゲンダイ出版
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	Microsoft Office Specialist Microsoft Excel 対策テキスト& 問題集
参考URL	http://mos.odyssey-com.co.jp/index.html
特記事項	<p>表の設計はデータの傾向や特徴を誰が見てもわかる形にする必要があります。それには完成例や模範解答があるわけではありません。特にExcelに関しては現場でも人それぞれの形で表作成がされていますが、必ずしもすべてがよいとは言えない表もあります。作成した表については自分で見て理解できるかどうか確認し、周りの人にも意見をもらいましょう。</p>

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2	1	選択
担当教員			
鷲尾 敦			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
演習	キャリア育成学科	2Q4209	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員</p> <p>■科目に関連した実務経験のある教員が担当している</p> <p>科目に関連した実務内容</p> <p>システムエンジニアとして、ソフトウェアの設計、開発を行った経験を有しており、特にデータベースを中心としたシステム開発の経験がこの授業に役立つ。</p> <p>アクティブラーニング要素</p> <p><input type="checkbox"/>ディスカッション、ディベート</p> <p><input type="checkbox"/>グループワーク</p> <p><input type="checkbox"/>プレゼンテーション</p> <p><input type="checkbox"/>実習、フィールドワーク</p>
------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	データベースを核とした業務システムの構築
到達目標	<p>1. Accessのマクロや簡単なモジュール、ナビメニュー、アクションクエリなど、Accessの高度な機能を活用できる。</p> <p>2. データベースを核としたシステムを企画し様々な機能を創造・設計し、他人が理解できるよう制作するシステムの目的や機能、構造などの内容が理解できるようドキュメント（企画書、仕様書、設計書、構成図）を作成できる。</p> <p>3. Accessを使ってデータベースを核としたシステムを構築することができる。</p>
授業概要	前期のデータベースⅡの延長線上の科目です。システムを自動化するためのマクロやモジュール、ナビメニューについて学びます。さらに、データベースを核とした業務システムの構築の方法をテキストの事例に沿って制作体験をします。そして、実際に役に立つデータベースシステムを自分のアイデアで企画し、設計してAccessで制作をします。
授業計画	<p>1 授業ガイダンスとデータベースⅡの復習、教科書第1章から3章</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業概要 ・前期データベース復習（Accessの復習、前期データベース試験、課題の回答） ・第1章 小さな会社のデータベース活用 ・第2章 データベースアプリケーションの基礎知識 <p>第3章 データベースアプリケーションの作成の基本 <時間外学習>テキストの復習（30分）</p> <p>2 マクロ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マクロ（前期テキスト Step7Lesson3, 4） <p><時間外学習>マクロ問題（30分）</p> <p>3 ナビゲーションフォーム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ナビゲーションフォーム（資料配布） <p>事例：漫画本貸出管理システム <時間外学習>練習問題、漫画本貸出管理システム完成（60分）</p> <p>4 第5章 顧客管理サブシステムを作る1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・顧客管理サブシステムの説明 ・構築実践1 <p><時間外学習>授業時間内でできていない分の構築（30分）</p> <p>5 第5章 顧客管理サブシステムを作る2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・構築実践2 <p><時間外学習>授業時間内でできていない分の構築（30分）</p> <p>6 第6章 商品管理サブシステムを作る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商品管理サブシステムの説明 ・構築実践3 <p><時間外学習>授業時間内でできていない分の構築（30分）</p> <p>7 第7章 受注管理サブシステムを作る1 まとめの課題について（予告）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まとめの課題について事前説明 ・先輩作品事例紹介 ・受注管理サブシステムの説明 ・構築実践4（メイン/サブフォーム） <p><時間外学習>授業時間内でできていない分の構築（30分）、まとめの課題システムのテーマの検討（30分）</p> <p>8 第7章 受注管理サブシステムを作る2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・構築実践5（受注一覧） <p><時間外学習>授業時間内でできていない分の構築（30分）、まとめの課題システムのテーマの</p>

	<p>9 検討 (30分) 第7章 受注管理サブシステムを作る 3 ・構築実践6 (納品書出力) 〈時間外学習〉授業時間内でできていない分の構築 (30分)、まとめの課題システムのテーマの検討 (30分)</p> <p>10 第8章 分析レポート機能を追加する と 第9章 販売管理システムを仕上げる ・分析レポート機能の説明 ・構築実践7 (売れ筋、優良顧客) ・販売管理システムのメニュー説明 ・構築実践8 〈時間外学習〉システムの完成 (60分)、まとめの課題の企画検討</p> <p>11 まとめの課題1 (企画) ・まとめの課題の説明 ・先輩作品の事例紹介 ・制作テーマの検討 ・企画書の作成 〈時間外学習〉企画書の作成、データ収集 (60分)</p> <p>12 まとめの課題2 (仕様書の構築) ・企画書の作成 (完成) ・仕様書の検討 ・試作 〈時間外学習〉仕様の検討、課題システムの構築(120分)</p> <p>13 まとめの課題3 ・仕様書完成 ・課題システムの作成 〈時間外学習〉課題システムの作成(120分)</p> <p>14 まとめの課題4 ・課題システムの作成 〈時間外学習〉課題システムの作成(120分)</p> <p>15 まとめの課題5 ・課題システムの作成 ドキュメント (システムの説明書) の作成 〈時間外学習〉課題制作・提出 (120分)</p>
学修に関する留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・事前にテキストの課題を読みシステムの全体像を把握しましょう。 ・教科書の事例を授業内で作成体験しますが、作成できなかった部分は、次回までに完成させて遅れをとりもどすようにしましょう。 ・システムの全体像を把握することが大事で、教科書の事例をしているときは、なぜこのようにするのかを考えながら読み進めましょう。 ・システムを理解するために、データの流れや各オブジェクトの関係などを図で示して考えるようにして取り組みましょう。
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	
成績評価方法・基準	<p>事例システム等の課題提出状況 (目標1) 30%</p> <p>まとめの課題関連の提出物 (課題システムのファイルやドキュメント類) (目標1, 2, 3) 60%</p> <p>振り返りアンケートの実施 (到達目標1, 2) 10%</p>
書名①	小さな会社のAccessデータベース作成・運用ガイド Windows 10、Access 2016対応
著者名①	丸の内とら
出版社①	翔泳社
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	コンとコンピュータのICT活用入門
参考URL	
特記事項	「データベースⅠ」「データベースⅡ」を履修して単位を取得していることが受講の条件です。受講希望者は、Accessでのデータベース制作の方法を理解しておいてください。また、データベース検定の受験支援もします。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2	2	選択
担当教員			
川喜田多佳子、稲垣有美子			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
講義・演習	キャリア育成学科	2Q4310	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員</p> <p>■科目に関連した実務経験のある教員が担当している</p> <p>科目に関連した実務内容</p> <p>色彩学を基礎から学び理解することで広告デザインでの色バランスを的確に判断できるように、色彩心理も広告デザインには関わるので配色計画＋色彩心理も理解。検定による知識理解と演習により深い実践力を身につける。</p> <p>アクティブラーニング要素</p> <p>■ディスカッション、ディベート</p> <p>■グループワーク</p> <p>■プレゼンテーション</p> <p>□実習、フィールドワーク</p>
テーマ	色彩知識とMS-Officeのスキルを活かした広告デザインの実践
到達目標	<p>1. 色彩の基礎知識を理解し配色計画ができる。</p> <p>2. 色彩の知識を活かしながら訴求力の高いデザイン設計ができる。</p> <p>3. 顧客のニーズに対応しつつ、収益につながるコンテンツ制作活動ができる。</p>
授業概要	指定された日にちの5回をつかって、カラーコーディネーター検定試験（東京商工会議所主催）スタンダードクラスの受験対策を行います。後半は、Word、PowerPointの活用を中心とした、広告デザイン演習を行います。ここでは文書デザイン検定（日本情報処理検定協会主催）の受験対策も行います。
授業計画	<p>1 授業内容：オリエンテーション、授業概要 川喜田・稲垣</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員紹介 ・授業概要、教材確認、評価方法等について ・カラーコーディネーター検定、文書デザイン検定とスケジュールについて ・演習：新配色199aのカラーカードを使って色の基礎を学ぶ <p><時間外学習>（1時間）</p> <p>2 授業内容：DTPとしてのWord 1 (PC川喜田)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フォントについて ・行間・字詰めの微調整 ・図形の配置オプション <p><時間外学習>選択したテーマに合った色の組み合わせを設計し、注意喚起を促すポスターを作成する。（1時間）</p> <p>3 授業内容：なぜ色が見えるか (カラー稲垣)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・色の特性、色の心理効果、視覚現象の3要素 ・色の三属性（色相、明度、彩度） ・PCCSの色体系、マンセル表色系の色体系 <p><時間外学習></p> <p>PCCSカラーカードで色の三属性の理解演習（1時間）</p> <p>4 授業内容：DTPとしてのWord 2 (PC川喜田)</p> <p>課題：注意喚起ポスターの作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提示したテーマから1つ選び、注意喚起ポスターを作成する <p>稲垣先生授業で学んだカラーの知識も応用して</p> <p><時間外学習>書籍やWebなどからポスターデザインへのポイントを調べつつ課題に取り組む（1時間）</p> <p>5 授業内容：文書デザイン検定対策1 (PC川喜田)</p> <p>文書デザイン検定 スキルとタスク確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2級問題から基礎固め <p><時間外学習>授業では基本、1級対策となるため、2級問題で基礎固めと傾向をおさえておく。（1時間）</p> <p>6 授業内容：色の名前と配色技法 (カラー稲垣)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・色名とは何か、3種の色の表示方法 ・配色の原則（色相配色、トーン配色） <p><時間外学習></p> <p>配色技法演習（同一、類似、対照）など、さまざまな配色パターンを実際の演習で作成</p> <p>7 授業内容：色は光、光は電磁波 (カラー稲垣)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・光は電磁波の一部

	<ul style="list-style-type: none"> ・自然界の光と ・照明光とディスプレイの商品の見え <p>8 授業内容：文書デザイン検定対策 2 (PC川喜田) 文書デザイン検定 スキルとタスク確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2級問題再確認 ・1級スキルとタスクを押さえる <p><時間外学習>友人と共に問題集を解きながら理解を深め合う (1時間)</p> <p>9 授業内容：文書デザイン検定対策 3 (PC川喜田)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1級対策 指示文を理解し文書を仕上げる力を磨く <p><時間外学習>課外にできるだけ多くの練習問題にあたっていく (60分)</p> <p>10 授業内容：色の見えと対比現象 (PC川喜田)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・色の伝達経路と色知覚 ・対比現象と同化現象 ・製品開発における色の役割 <p><時間外学習>相対パス、絶対パスについて、調べてみる (60分)</p> <p>11 授業内容：カラーコーディネーター検定直前対策 (カラー稲垣_最終回)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カラーコーディネーター検定直前対策(まとめ) ・カラーコーディネーター検定スタンダード過去問題をやってみて試験解答に慣れる <p>12 授業内容：課題：マニュアル冊子の作成 (Word) (以降はPC川喜田)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アウトラインとスタイル書式で統一感のある読みやすい冊子を作成する (Word2021応用教科書を持参するとよい。長文・アウトラインの章が必要となる) <p><時間外学習>課題はボリュームがあるため、次回授業の学びとこの課題を平行して取り組む必要がある (1時間)</p> <p>13 授業内容：課題：バナーアイコンやロゴマークの作成 (デジタル画像作成と編集)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近なアプリでの画像作成と編集 PowerPoint、ペイント、学内PCルームインストールソフト「ウェブアートデザイナー」の利用 Webページ用バナー、オリジナルロゴマークの作成 <p><時間外学習>色使い、配置にもこだわった課題制作に取り組む (1時間)</p> <p>14 授業内容：課題：商品、サービス等のプロモーションビデオ作成 (PowerPointスライドショーの記録)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PowerPointによる登壇ビデオ&ナレーション入り自動実行スライド(ビデオ)の作成 商用をテーマに、訴求効果の高いサービス紹介ができる作品制作に取り組む ストーリーボードの作成 <p><時間外学習>YouTubeや量販店売り場で流れているPRビデオを多く閲覧し、ナレーションや動きを研究する (1時間)</p> <p>15 授業内容：課題：プロモーションビデオの仕上げ 作品公開の手段を知る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・制作作業の継続 PowerPointでの動きや音声挿入等への質問対応 仕上げは各自のノートパソコンを使用するため、不具合への対処方法など、課題を確実に提出するための最終確認 <p><時間外学習>Googleクラスルームで少人数のグループを作る。完成した作品については、グループ内で相互評価をする。取り組み～締め切りについては授業内で指示する。</p>
学修に関する留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・カラーコーディネーター試験は年2回の実施がありますが、本学内では7月のみ実施予定です。12月受験を希望する場合には個人受験となります。 ・文書デザイン検定は年3回(7月、12月、2月)授業では基本、1級合格を目指します。 <p>カラーコーディネーター担当教員：稲垣 有美子 PC関連担当：川喜田 多佳子</p>
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	<ul style="list-style-type: none"> ・授業内で色彩基礎に基づく配色演習を行う、検定試験に備え理解を深める。 ・授業内でGood・Badケースを示すので、自らの課題点を洗い出しブラッシュアップに務める。
成績評価方法・基準	<p>課題提出(到達目標1,3) 50%</p> <p>グループワーク(到達目標2) 10%</p> <p>取組姿勢(検定受験、課題への質問等積極的な姿勢) (到達目標1.2.3) 40%</p>
書名①	スピード合格! カラーコーディネーター[スタンダードクラス]テキスト&問題集
著者名①	垣田玲子
出版社①	株式会社ナツメ社
書名②	新配色カード199a
	※第1回授業に必要。必ず注文すること。
著者名②	監修：一般財団法人日本色彩研究所
出版社②	日本色研事業株式会社
書名③	文書デザイン検定試験 文書デザイン模擬問題集1級編
著者名③	日本情報処理検定協会
出版社③	日本情報処理検定協会

参考文献	<ul style="list-style-type: none"> ・カラーコーディネーター検定試験®スタンダードクラス公式テキスト（東京商工会議所） ・カラーコーディネーター検定試験®アドバンスクラス公式テキスト（東京商工会議所） ・文書デザイン検定試験 文書デザイン模擬問題集2級編（日本情報処理検定協会） ・ひらめきデザインひき出し帖（pasto著 技術評論社）
参考URL	
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・カラーコーディネーター検定は、6月21日～30日の間の5限目に学内での試験日を設ける予定です。 ・文書デザイン検定は7月中に実施。1級合格を目指します。（受験級は応相談） ・1年時に使用した「情報リテラシー総合編」「Word2021応用」も授業時に持参していると参考になる。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2	2	選択
担当教員			
ソラスト (坂本、前川、水野)			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
講義・演習	キャリア育成学科	2R4304	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員</p> <p><input type="checkbox"/> 科目に関連した実務経験のある教員が担当している</p> <p>科目に関連した実務内容</p> <p>アクティブラーニング要素</p> <p><input type="checkbox"/> ディスカッション、ディベート</p> <p><input type="checkbox"/> グループワーク</p> <p><input type="checkbox"/> プレゼンテーション</p> <p><input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク</p>
------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	介護事務管理士Rの資格取得を目指す。介護保険制度の基礎と必要性を理解することができる
到達目標	1. 介護保険の特徴と介護サービスの種類を知る 2. 介護報酬の算定が正しくできる 3. 介護給付費明細書の正しい記載方法を理解すると同時に点検することができる
授業概要	介護報酬算定の原則、医療保険制度、公費負担制度との関連について、介護従事者の基本知識と介護報酬明細書（レセプト）の作成ルールと点検を学習します。
授業計画	<p>1 介護保険のしくみ（介護保険制度と特徴、保険者と被保険者、保険料、保険給付とサービスの種類） （時間外学習）資料を再読し、介護保険制度の特徴を整理する。（30分）</p> <p>2 介護保険サービス提供の流れ、要介護・要支援認定、給付管理業務 （時間外学習）サービスと要介護・要支援認定の流れを確認し、整理する。（40分）</p> <p>3 支給限度基準額、被保険者証と受給資格等、契約 （時間外学習）資料のほうで確認した事項をテキスト内でチェックをし、テキスト内において整理する。（40分）</p> <p>4 サービス提供機関（支援・居宅・施設・地域密着型）みなし指定 （時間外学習）テキストを再読し、整理する。（30分）</p> <p>5 介護保険サービスの種類と内容（居宅サービス、施設サービス、地域密着型サービス） （時間外学習）テキストを再読し、サービス種類、サービス提供機関とスタッフとその内容を整理する。（40分）</p> <p>6 確認問題（介護保険制度～サービス種類）（解答・解説） （時間外学習）講義の中でできなかった部分を実施し、整理する。（60分）</p> <p>7 介護報酬の算定、資料ブックの見方 （時間外学習）介護報酬算定の特徴と資料ブックを整理する。（40分）</p> <p>8 居宅サービスの算定①（訪問介護、訪問入浴介護、訪問看護、訪問リハビリテーション等） （時間外学習）テキストを再読し、訪問系サービスの種類と算定のポイントを整理する。（60分）</p> <p>9 質疑・応答、居宅サービスの算定②（通所系サービス、短期入所サービス等） （時間外学習）テキストを再度確認し、通所系サービスの種類と算定のポイントを整理する。（60分）</p> <p>10 質疑・応答、確認問題（居宅サービス学科）（解答・解説） （時間外学習）講義の中でできなかった部分を実施し、完成させる。不明点、疑問点を整理する。（40分）</p> <p>11 質疑・応答、介護レセプトの種類と記載方法（居宅サービス） （時間外学習）テキストを再度確認し、レセプト各部における記載のポイントを整理する。（30分）</p> <p>12 確認問題（居宅サービス実技）（解答・解説） （時間外学習）講義の中でできなかった部分を実施し、完成させる。不明点、疑問点を整理する。（60分）</p> <p>13 居宅介護支援費の算定とレセプトの記載方法 （時間外学習）テキストを再読し、算定のポイントを整理する。（30分）</p> <p>14 施設サービスの算定①（介護福祉施設）</p>

	<p>(時間外学習) テキストを再読し、施設の区分とサービス種類の関係を確認し、算定ルールを整理する。(40分)</p> <p>15 確認問題 (居宅サービス学科、実技)</p> <p>(時間外学習) 講義内でできなかった部分を実施し、完成させる。(90分)</p>
学修に関する留意事項	介護事務Ⅱとの併修が必要です。講義ごとの復習と確認問題(学科)、確認問題(実技)の振り返りが必要です。
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	
成績評価方法・基準	講義への取り組み姿勢(到達目標2.3) 40% 確認問題(学科)(到達目標1.2.3) 30% 確認問題(実技)(到達目標1/2) 30%
書名①	テキスト1～2、レセプト記載ルール、資料ブック
著者名①	株式会社ソラスト
出版社①	株式会社ソラスト
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	
参考URL	
特記事項	超高齢化社会と言われる中、介護に関する実態は老老介護、認知介護(認知症の方が認知症の方を介護)が増え、個人で対応することが難しくなっています。そこで介護保険制度による介護需要は年々増加していますが、適切な介護報酬の計算等、専門性に基づくスタッフが望まれています。介護は他人事でなくこれから将来にわたり必須の項目です。ぜひこの機会に介護について考えてみませんか。履修条件はありません。介護事務Ⅱとの併修が必要です。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2	2	選択
担当教員			
ソラスト (坂本、前川、水野)			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
講義・演習	キャリア育成学科	2R43035	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員</p> <p><input type="checkbox"/> 科目に関連した実務経験のある教員が担当している</p> <p>科目に関連した実務内容</p> <p>アクティブラーニング要素</p> <p><input type="checkbox"/> ディスカッション、ディベート</p> <p><input type="checkbox"/> グループワーク</p> <p><input type="checkbox"/> プレゼンテーション</p> <p><input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク</p>
テーマ	介護事務管理士Rの資格取得を目指す。介護保険制度の基礎と必要性を理解することができる
到達目標	1. 介護保険の特徴と介護サービスの種類を知る 2. 介護報酬の算定が正しくできる 3. 介護給付費明細書が正しく記載、点検できる
授業概要	介護報酬算定の原則、医療保険制度、公費負担制度との関連について、介護従事者の基本知識と介護報酬明細書（レセプト）の作成と点検を学習します。
授業計画	<p>1 施設サービスの算定②（介護福祉施設）外泊 （時間外学習）テキストを再読し、算定のポイントを整理する。（40分）</p> <p>2 施設サービスの算定（介護保健施設）、緊急時施設療養費等 （時間外学習）テキストを再読し、算定のポイントを整理する。（40分）</p> <p>3 施設サービスの算定（介護保健施設）、特別療養費 （時間外学習）テキストを再読し、算定のポイントを整理する。（40分）</p> <p>4 施設サービスの算定③（介護療養型施設、介護医療院）、特定診療費、特別診療費 （時間外学習）テキストを再読し、算定のポイントを整理する。（40分）</p> <p>5 施設サービスのレセプト記載方法 （時間外学習）テキストを再読し、施設サービス各様式における要点を整理する。（30分）</p> <p>6 施設サービス確認問題（学科・実技）（解答・解説） （時間外学習）講義内でできなかった部分を実施し、完成させ、算定のポイントを整理する。（30分）</p> <p>7 地域密着型サービスの算定① （時間外学習）テキストを再読し、算定のポイントを整理する。（30分）</p> <p>8 地域密着型サービスの算定② （時間外学習）テキストを再読し、算定のポイントを整理する。（30分）</p> <p>9 地域密着型サービスの確認問題（学科・実技）（解答・解説） （時間外学習）講義の中でできなかった部分を実施し完成させ、ポイントを整理する。（40分）</p> <p>10 介護予防サービスの算定 （時間外学習）テキストを再読し、算定のポイントを整理する。（40分）</p> <p>11 低所得者の軽減策等、介護保険とその他の保険制度の関係 （時間外学習）テキストを再読し、介護保険とその他の保険に関する取扱いを整理する。（40分）</p> <p>12 試験対策1（居宅サービス）（解答・解説） （時間外学習）講義の中でできなかった部分を実施し完成させ、不明点、疑問点を整理する。（90分）</p> <p>13 質疑・応答、試験対策2（施設サービス）（解答・解説） （時間外学習）講義の中でできなかった部分を実施し完成させ、不明点、疑問点を整理する。（90分）</p> <p>14 試験対策3（地域密着型サービス）（解答・解説） （時間外学習）講義の中でできなかった部分を実施し完成させ、不明点、疑問点を整理する。（90分）</p> <p>15 確認問題（学科・実技） （時間外学習）講義内で実施できなかった部分を実施し、完成させる。（90分）</p>

学修に関する留意事項	講義ごとの復習と確認問題（学科）確認問題（実技）の振り返りが必須です。介護事務Ⅰとの併修が必要です。
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	
成績評価方法・基準	講義への取り組み姿勢（到達目標2.3）50% 確認問題（学科）（到達目標1.2.3）20% 確認問題（実技）（到達目標1/2）30%
書名①	テキスト1～2、レセプト記載ルール、資料ブック
著者名①	株式会社ソラスト
出版社①	株式会社ソラスト
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	
参考URL	
特記事項	超高齢化社会と言われる中、介護に関する実態は老老介護、認知介護（認知症の方が認知症の方を介護）が増え、個人で対応することが難しくなっています。そこで介護保険制度による介護需要は年々増加していますが、適切な介護報酬の計算等、専門性に基づくスタッフが望まれています。介護は他人事でなくこれから将来にわたり必須の項目です。ぜひこの機会に介護について考えてみませんか。履修条件はありません。介護事務Ⅰとの併修が必要です。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2	2	選択
担当教員			
橋本 景子			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
講義	キャリア育成学科	2S4100	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員</p> <p>■科目に関連した実務経験のある教員が担当している</p> <p>科目に関連した実務内容 カウンセラーとして35年間、中学校、高校、専門学校、市役所などで、のべ2万人を超えるカウンセリングを行ってきた。 現在は、「いじめ」問題にも多く関わっている。</p> <p>アクティブラーニング要素</p> <p>■ディスカッション、ディベート ■グループワーク <input type="checkbox"/>プレゼンテーション <input type="checkbox"/>実習、フィールドワーク</p>
テーマ	「青年期」に大切なことを理解する
到達目標	1. 児童期と成人期の中間にある青年期特有の心理を理解する。2. 青年期に経験しておくべきこと、それがなぜ大切なのか理解できるようになる。
授業概要	青年期の心理や行動、その背景について考え、自分自身についても振り返り、同世代の心の援助にも関わられるようにピアヘルパーの基本を学んでいく。
授業計画	<p>1 青年期とは何か 青年期の人たちが絡んでいる新聞やニュースに目を向ける (15分)</p> <p>2 エリクソンの発達課題Ⅰ 第1回目のことからディスカッションができるようにしておく (15分)</p> <p>3 エリクソンの発達課題Ⅱ・Ⅲ 自分や友達の幼児期を振り返ってみる (20分)</p> <p>4 エリクソンの発達課題Ⅳ～Ⅷ 周囲の人々の「人生」について考えてみる (20分)</p> <p>5 青年期に大切なことは何か、摂食障害について考える 教育が青年期に与える影響を考える (20分)</p> <p>6 5回目の授業より「青年期」というものについて改めて考える 身近なところに目を向けてみる (20分)</p> <p>7 テキストp. 98～101 テキストを予習 (20分)</p> <p>8 テキストp. 101～103 テキストを予習 (10分)</p> <p>9 テキストp. 104～114 テキストを予習 (20分)</p> <p>10 テキストp. 114～121 自己肯定感について振り返る (15分)</p> <p>11 テキストp. 122～134 家族関係を見直してみよう (20分)</p> <p>12 過去問 テストに向けて復習をする (20分)</p> <p>13 DVD視聴 いろいろな青年期があることを考える (15分)</p> <p>14 物の見方 自分の物の見方に対する「癖」について考える (15分)</p> <p>15 まとめ 授業を振り返り、疑問点等はそのままにしないで質問すること (30分)</p>

学修に関する留意事項	出席は「課題への取り組み」の中で点数化します。遅刻3回で欠席1回と見做しますので注意すること。日常の青年期のさまざまな出来事に目を向けることがこの授業の予習・復習に繋がります。材料は常に身近にあります。簡単に通り過ぎないで、気に止めることです。
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	
成績評価方法・基準	小レポート4回提出（到達目標1/2）20% 課題への取り組み（到達目標1/3）20% 試験（到達目標1/2）60%
書名①	『ピアヘルパーハンドブック』
著者名①	図書文化
出版社①	日本教育カウンセリング協会編
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	
参考URL	
特記事項	「心理を学ぶ」ということは、視野を広げることです。ピアヘルパーとして広い視野と心を持ち、人に接していけるようになることを願って講義を行います。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2	2	選択
担当教員			
橋本 景子			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
演習	キャリア育成学科	2S4202	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員</p> <p>■科目に関連した実務経験のある教員が担当している</p> <p>科目に関連した実務内容 カウンセラーとして35年間、中学校、高校、専門学校、市役所などで、のべ2万人を超えるカウンセリングを行ってきた。 現在は、「いじめ」問題にも多く関わっている。</p> <p>アクティブラーニング要素</p> <p>■ディスカッション、ディベート ■グループワーク <input type="checkbox"/>プレゼンテーション <input type="checkbox"/>実習、フィールドワーク</p>
テーマ	「カウンセリング」の実際を知る
到達目標	1. カウンセリングの技法を日常の場面で使えるようになる。2. 専門用語が理解できるようになる。3. 技法を活かすことで人間関係がよりスムーズになることを実感できるようになる。4. 価値観の違う人をも受け入れられるようになる。
授業概要	前期で学んだ理論を基に、グループワークやロールプレイで実験する。また、カウンセリングとピアヘルピングとの違いについても理解する。
授業計画	<p>1 カウンセリングとは？ 学んだことを日常の場でも使ってみよう（随時）</p> <p>2 テキストp. 10～15 言葉にならないものから自分を知ることができるという体験をすることで、さらに「自分」というものに目を向けてみよう（15分）</p> <p>3 テキストp. 16～22 日常の中で少し意識して、カウンセリングの技法を使ってみよう（随時）</p> <p>4 テキストp. 22～32 前回より少しうまくできるように練習しておく（15分）</p> <p>5 カウンセリングの3つの枠、エゴグラムテスト、テキストp. 33 日常の様々な場面で気になったことはメモをしてみよう（15分）</p> <p>6 テキストp. 33～45 前回のメモを続け、授業の中で確認できるようにしておく（15分）</p> <p>7 テキストp. 57～68 あふれる多くの心理療法に目を向けてみる（15分）</p> <p>8 テキストp. 57～68 心理療法とまではいなくても、あなた自身を変えたもの、そのきっかけとなったものについて考えてみよう（15分）</p> <p>9 テキストp. 69～77 クラス外の人とも今回の話題で話し合ってみると良い（20分）</p> <p>10 テキストp. 78～89 自分を振り返ることを時々やってみよう（30分）</p> <p>11 テキストp. 90～95、p. 135～141 振り返った自分のことを言葉や文章にしてみると、さらに理解が深まります（30分）</p> <p>12 DVD視聴（1）実際のカウンセリングを知る 自分の「育ち」について考える（20分）</p> <p>13 DVD（2）実際のカウンセリングを知る これまで学んだことで、質問や意見が出せるようにしておく（15分）</p> <p>14 グループカウンセリング 自分のことで気づいたことをメモしておく（15分）</p> <p>15 まとめと質問タイム 今後も少しずつ日常の中でカウンセリングの技法を練習していく（20分）</p>

学修に関する留意事項	出席は「課題への取り組み」の中で点数化します。遅刻3回で欠席1回と見做しますので注意すること（30分近い欠席を3回したら1回の欠席とほぼ同じです）。日常生活の中で、少しずつでよいのでカウンセリングの技法を使ってみてください。人間関係の流れがほんの少しでも変わることを実感することがカウンセリング理解の第一歩です。
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	
成績評価方法・基準	小レポート4回提出（到達目標1/2/3/4）20% 課題への取り組み（到達目標1/3）20% 筆記試験（目標1.2.3）60%
書名①	『ピアヘルパーハンドブック』
著者名①	図書文化
出版社①	日本教育カウンセリング協会編
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	その都度お知らせします
参考URL	
特記事項	受容・共感・傾聴してもらうことの心地良さを味わい、どんな時に人は心を開けるのか、実体験する中で気づいてください。 「感性」のある大人、自分より若い人のことも理解できる大人になって欲しいと考えて授業を行います。あなたが大人からされて嫌だったことを繰り返さないために。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2	2	選択
担当教員			
千草 篤磨			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
講義	キャリア育成学科	2U4100	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員</p> <p><input type="checkbox"/> 科目に関連した実務経験のある教員が担当している</p> <p>科目に関連した実務内容</p> <p>アクティブラーニング要素</p> <p><input type="checkbox"/> ディスカッション、ディベート</p> <p><input type="checkbox"/> グループワーク</p> <p><input type="checkbox"/> プレゼンテーション</p> <p><input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク</p>
------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	人間の尊厳と自立
到達目標	1. 介護福祉における「人間の尊厳」の意味を理解する。2. 介護福祉における「自立」の意味を理解する。3. 福祉の思想を学ぶことの意義を理解する。
授業概要	高齢者、障害者の介護実践における「尊厳と自立」について、様々な実践記録やトピックス、先人の思想等を通して具体的に解説する。「人間と社会」領域のまとめの授業の位置づけである。
授業計画	<p>1 人間の尊厳を学ぶこと ―マインドコントロールとカルト― (時間外学習：授業の復習 20分)</p> <p>2 人類の進化について ―猿人、原人、旧人、新人― (時間外学習：配付資料を読んでおくこと 20分)</p> <p>3 人間の尊厳と自立の意義 ―黒沢貞夫より― (時間外学習：配付資料を読んでおくこと 20分)</p> <p>4 人間の尊厳を考える ―日本国憲法から学ぶ― (時間外学習：配付資料を読んでおくこと 20分)</p> <p>5 人間の尊厳をめぐる諸問題 ―出生前診断、安楽死、尊厳死、森鷗外「高瀬舟」― (時間外学習：配付資料を読んでおくこと 20分)</p> <p>6 歴史における「人間の尊厳性」の発見 ―ルネサンスと宗教改革― (時間外学習：配付資料を読んでおくこと 20分)</p> <p>7 「人間の尊厳性」の実践 ―フランクフル、ガンディー、マザー・テレサー― (時間外学習：配付資料を読んでおくこと 20分)</p> <p>8 現代の事件から考える考える ―孤独死、たまゆら火災事件、最高齢者の白骨遺体、やまゆり園殺人事件― (時間外学習：配付資料を読んでおくこと 20分)</p> <p>9 介護における尊厳と自立 ―正岡子規、モブ・ノリオ、エド・ロバーツ、竹下義樹― (時間外学習：配付資料を読んでおくこと 20分)</p> <p>10 戦争と人間の尊厳 ―ベトナム戦争と障害者― (時間外学習：ミニレポート作成 30分)</p> <p>11 糸賀一雄の福祉の思想? ―この子らを世に光に― (時間外学習：配付資料を読んでおくこと 20分)</p> <p>12 糸賀一雄の福祉の思想② ―発達保障― (時間外学習：配付資料を読んでおくこと 20分)</p> <p>13 人間の尊厳と仏教福祉? ―聖徳太子、光明皇后、行基、親鸞聖人― (時間外学習：配付資料を読んでおくこと 20分)</p> <p>14 人間の尊厳と仏教福祉② ―最澄、一切衆生悉有仏性、生命倫理、死者の人格― (時間外学習：配付資料を読んでおくこと 20分)</p> <p>15 まとめ (時間外学習：配付資料を読んでおくこと 20分)</p>
学修に関する留意事項	領域「人間と社会」の総まとめとしての位置づけである。

試験やレポート等の課題のフィードバック方法	
成績評価方法・基準	筆記試験（目標1.2.3）80% ミニレポート課題（目標1.2.3）20%
書名①	
著者名①	
出版社①	
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	人間の尊厳と自立／社会の理解（介護福祉士養成テキスト?）、人間の尊厳と自立（介護福祉士養成テキスト?）
参考URL	
特記事項	テキストは使用しません。事前に資料を配付します。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2	2	選択
担当教員			
長谷川 恭子			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
講義	キャリア育成学科	2U4102	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員</p> <p>■科目に関連した実務経験のある教員が担当している</p> <p>科目に関連した実務内容</p> <p>アクティブラーニング要素</p> <p><input type="checkbox"/>ディスカッション、ディベート</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>グループワーク</p> <p><input type="checkbox"/>プレゼンテーション</p> <p><input type="checkbox"/>実習、フィールドワーク</p>
------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	介護現場の人間関係
到達目標	1. 人間関係とストレスの理解2. 介護現場の人間関係の理解3. OJTの意義の理解
授業概要	「人間関係Ⅰ」で学んだ事項を前提に、実際の介護現場における人間関係の問題やストレスについてテキストや資料に基づいて解説する。また、介護現場におけるコミュニケーションのための現場研修（OJT）の意義についても具体例を示して授業を進める。
授業計画	<p>1 人間関係とコミュニケーションの基礎知識（「人間関係Ⅰ」の復習） ＜時間外学習＞（復習）「人間関係Ⅰ」の学びを振り返っておく。（20分）</p> <p>2 コミュニケーションの基本と技術 ＜時間外学習＞テキスト第1章を読んでおく。（60分）</p> <p>3 人間の成長と発達段階に応じたコミュニケーション① ＜時間外学習＞テキスト第2章を読んでおく。（60分）</p> <p>4 人間の成長と発達段階に応じたコミュニケーション② ＜時間外学習＞配布プリントの確認、自作ノートの振り返り。（30分）</p> <p>5 認知症高齢者援助のコミュニケーション ＜時間外学習＞テキスト第3章2を読んでおく。（30分）</p> <p>6 グループ援助のコミュニケーション①～演習：グループ展開初期 ＜時間外学習＞テキスト第4章を読んでおく。（30分）</p> <p>7 グループ援助のコミュニケーション②～演習：グループ展開中期と終結期 ＜時間外学習＞テキスト第4章を読んでおく。（30分）</p> <p>8 介護職の多面的な人間関係とコミュニケーション① ＜時間外学習＞テキスト第5章を読んでおく。（30分）</p> <p>9 介護職の多面的な人間関係とコミュニケーション② ＜時間外学習＞配布プリントの確認、自作ノートの振り返り。（30分）</p> <p>10 介護の職場とコミュニケーション①～利用者とのコミュニケーション ＜時間外学習＞テキスト第6章1.2を読んでおく。（30分）</p> <p>11 介護の職場とコミュニケーション②～演習：職員間のコミュニケーションと課題 ＜時間外学習＞テキスト第6章3を読んでおく。（30分）</p> <p>12 対人援助職とストレス ＜時間外学習＞配布プリントの確認、自作ノートの振り返り。（30分）</p> <p>13 介護の職場におけるOJTの意義 ＜時間外学習＞テキスト第7章を読んでおく。（30分）</p> <p>14 OJTの実践 ＜時間外学習＞配布プリントの確認、自作ノートの振り返り。（30分）</p> <p>15 まとめ 国家試験問題を活用し、苦手を克服する。 ＜時間外学習＞この授業で学んだことを自分なりにまとめる。（30分）</p>
学修に関する留意事項	良好な人間関係の持続は、学生でも社会人でも永遠の課題と言えます。過去の自分、現在の自分、未来の自分と結びつけながら学びましょう。

試験やレポート等の課題のフィードバック方法	
成績評価方法・基準	課題・レポート80% 試験(到達目標1,2)20%
書名①	介護福祉士養成テキスト2「人間関係とコミュニケーション」
著者名①	野村豊子編
出版社①	ミネルヴァ書房
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	
参考URL	
特記事項	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2	2	選択
担当教員			
蒔田 勝義			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
講義	キャリア育成学科	2U4111	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員</p> <p>■科目に関連した実務経験のある教員が担当している</p> <p>科目に関連した実務内容</p> <p>30余年にわたる社会福祉協議会での様々な地域福祉活動並びに推進の経験があり、他大学でも当科目を担当している。</p> <p>アクティブラーニング要素</p> <p><input type="checkbox"/>ディスカッション、ディベート</p> <p><input type="checkbox"/>グループワーク</p> <p><input type="checkbox"/>プレゼンテーション</p> <p><input type="checkbox"/>実習、フィールドワーク</p>
------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	社会福祉の新しい潮流ともいわれる地域福祉の考え方とコミュニティのあり方を学ぶ。
-----	-----------------------------------------

到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域福祉推進の基本的な理論や考え方が理解できる。 2. 福祉社会の実現へ向けての方法等が理解できる。 3. 将来の仕事遂行上の知識とできる。 4. 日頃から社会の動きに関心を持ち、新聞等に触れることに努める。
------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

授業概要	欧米や日本で取り組まれてきた地域福祉の源流の活動展開や積み重ねを学び、その理論構築や制度・政策への実践を学ぶ。地域で暮らすひとりひとりがその人らしい生活ができる社会の実現を目指す営みを講義を通し、さらに課題レポート等を通じて深めていく。
------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 地域福祉とは何か、地域福祉実践の概要を理解する 復習として、本日学んだことを簡単にまとめる（30分程度） 2 地域福祉の理念の概要を理解する 復習として、本日学んだことを簡単にまとめる（30分程度） 3 地域福祉の概念の概要を理解する 復習として、本日学んだことを簡単にまとめる（30分程度） 4 英米の地域福祉の歴史の概要を理解する 復習として、本日学んだことを簡単にまとめる（30分程度） 5 我が国の地域福祉の歴史の概要を理解する 復習として、本日学んだことを簡単にまとめる（30分程度） 6 地域福祉に関わる法や制度の概要を理解する 復習として、本日学んだことを簡単にまとめる（30分程度） 7 地域福祉に関わるサービスの概要を理解する 復習として、本日学んだことを簡単にまとめる（30分程度） 8 地域福祉に関わる活動の概要を理解する 復習として、本日学んだことを簡単にまとめる（30分程度） 9 地域福祉実践に関わる方法の概要を理解する 復習として、本日学んだことを簡単にまとめる（30分程度） 10 地域福祉を推進する人材の概要を理解する 復習として、本日学んだことを簡単にまとめる（30分程度） 11 地域福祉を推進する機関の概要を理解する 復習として、本日学んだことを簡単にまとめる（30分程度） 12 地域福祉を推進する団体の概要を理解する 復習として、本日学んだことを簡単にまとめる（30分程度） 13 地域福祉におけるまちづくりや住民参加の概要を理解する 復習として、本日学んだことを簡単にまとめる（30分程度） 14 地域福祉計画の概要を理解する 復習として、本日学んだことを簡単にまとめる（30分程度） 15 まとめと試験 復習として、本日学んだことを簡単にまとめる（30分程度）
------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

学修に関する留意事項	予習・復習を欠かさず積み重ね、常にニュース等で地域福祉やまちづくりの話題に関心を持って接する努力をする。課題レポートにも真摯に取り組む。
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	
成績評価方法・基準	試験(到達目標1, 2, 3)80% 授業に対する取り組み(到達目標1, 2, 3, 4)20%
書名①	よくわかる地域福祉
著者名①	上野谷加代子 他
出版社①	ミネルヴァ書房
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	
参考URL	
特記事項	市社協及び県社協職員として、地域福祉推進の実務経験が30数年ある。

講義科目名称： 生活文化

授業コード： 19200A

英文科目名称： Life and Culture

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2	2	選択
担当教員			
服部 優子			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
講義	キャリア育成学科	2U4121	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員</p> <p>■科目に関連した実務経験のある教員が担当している</p> <p>科目に関連した実務内容 介護福祉士</p> <p>アクティブラーニング要素</p> <p><input type="checkbox"/>ディスカッション、ディベート</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>グループワーク</p> <p><input type="checkbox"/>プレゼンテーション</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>実習、フィールドワーク</p>
------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	日本の文化や地域の生活に根付いた衣食住の習慣について学び、深める。利用者との共通の話題を増やし、視野を広げる。
-----	---------------------------------------------------------

到達目標	日本人の生活文化の一端を学び知る。自分たちが住んでいる地域が守っている文化について学び知る。利用者との共通の話題を増やす。
------	---------------------------------------------------------------

授業概要	日本で用いられる年中行事、生活様式などから、地域の文化に対する理解を深め、視野を広げる。
------	----------------------------------------------

授業計画	<p>1 オリエンテーション ＜時間外学習＞日本の文化、季節の行事にはどんなものがあるかを調べておく（1時間）</p> <p>2 日本の文化に目を向けてみよう ＜時間外学習＞日本の季節の行事、料理、衣服にはどんなものがあるかを調べておく（1時間）</p> <p>3 生活に活用されている色彩と技法について カラーセラピー ＜時間外学習＞授業で学んだことをノートにまとめておく（1時間）</p> <p>4 現代とむかしのあそびを体験しよう ＜時間外学習＞授業で学んだことをノートにまとめておく（1時間）</p> <p>5 まちかど博物館見学（課外授業）①寺内町の歴史と文化を学ぶ ＜時間外学習＞見学内容のメモや資料を整理し、まとめる（1時間）</p> <p>6 まちかど博物館見学（課外授業）②昔の生活用具を知る ＜時間外学習＞見学内容のメモや資料を整理し、まとめる（1時間）</p> <p>7 まちかど博物館見学（課外授業）③一身田商店街から地域の取り組みを学ぶ ＜時間外学習＞見学内容のメモや資料を整理し、まとめる（1時間）</p> <p>8 まちかど博物館見学（課外授業）④一身田商店街から地域の取り組みを学ぶ ＜時間外学習＞見学内容のメモや資料を整理し、まとめる（1時間）</p> <p>9 まちかど博物館見学（課外授業）⑤伊勢木綿工場から伝統文化を学ぶ ＜時間外学習＞見学内容のメモや資料を整理し、まとめる（1時間）</p> <p>10 まちかど博物館見学（課外授業）⑥伊勢木綿工場から伝統文化を学ぶ ＜時間外学習＞見学内容のメモや資料を整理し、まとめる（1時間）</p> <p>11 発表テーマの決定・準備 ＜時間外学習＞ 今までの授業で自分が興味を持ったものについて考え、発表候補を出しておく（1時間）</p> <p>12 発表準備 ＜時間外学習＞見学内容のメモや資料を活用し、まとめる（1時間）</p> <p>13 お七夜祭り見学（課外授業）</p> <p>14 発表</p> <p>15 ふりかえり 課題を制作し、発表を通して学んだこと、気付いた事をノートにまとめる（1時間）</p>
------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

学修に関する留意事項	天候やまちかど博物館のご都合等によって順番、予定が変動することがあります。本校の学生として節度ある行動を期待します。マナーの守れない学生がいる場合、課外活動は中止になることがあります。
------------	----------------------------------------------------------------------------------------------

試験やレポート等の課題のフィードバック方法	
成績評価方法・基準	出席20% 授業の取り組み姿勢 30% 制作物課題 到達目標 ①②③50%
書名①	資料をお渡しします。
著者名①	
出版社①	
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	
参考URL	
特記事項	

講義科目名称： 障害者のくらし

授業コード： 16300A

英文科目名称： Life of The Handicapped

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2	2	選択
担当教員			
北村 香織			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
講義	キャリア育成学科	2V4103	
添付ファイル			

授業種類	授業担当教員 <input type="checkbox"/> 科目に関連した実務経験のある教員が担当している 科目に関連した実務内容 アクティブラーニング要素 <input type="checkbox"/> ディスカッション、ディベート <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク
------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	障害の特徴を知り、障害のある人はどのようにくらししているかを学ぶ。そして、必要とされる支援を考察する。
-----	-----------------------------------------------------

到達目標	① 障害者福祉サービスの概要を知る② 障害の特徴を理解する③ 障害のある人に対する生活上の支援方法を理解する
------	--------------------------------------------------------

授業概要	本講義は、障害のある人のくらしを支援する際の基礎知識を習得することを目的とする。具体的には障害に関する基礎知識、サービス体系を学ぶ。また、支援方法についても学ぶ。映像教材を積極的に取り入れることで、障害のある人のくらしがイメージできるように講義を進めていく。障害のある人が暮らす社会の課題についても検討できればと考えている。
------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

授業計画	1 オリエンテーション：授業の進め方、障害とは何か予習：テキストⅠ－1を読んでおく（30分） 復習：事後課題の提出（1時間） 2 障害者福祉の思想?ノーマライゼーション・バリアフリー・ユニバーサルデザイン予習：テキストⅠ－4、5、6を読んでおく（30分） 復習：事後課題の提出（1時間） 3 身体障害とは何か予習：テキストⅥ－2を読んでおく（30分） 復習：事後課題の提出（1時間） 4 身体障害のある人のくらし予習：テキストⅥ－3、4、5、6を読んでおく（30分） 復習：事後課題の提出（1時間） 5 優生思想を考える予習：テキストⅧ－2を読んでおく（30分） 復習：事後課題の提出（1時間） 6 知的障害とは何か予習：配布資料を読んでおく（30分） 復習：事後課題の提出（1時間） 7 知的障害のある人のくらし予習：配布資料を読んでおく（30分） 復習：事後課題の提出（1時間） 8 精神障害とは何か予習：配布資料を読んでおく（30分） 復習：事後課題の提出（1時間） 9 精神障害のある人のくらし予習：テキストⅥ－9を読んでおく（30分） 復習：事後課題の提出（1時間） 10 発達障害とは何か予習：配布資料を読んでおく（30分） 復習：事後課題の提出（1時間） 11 発達障害のある人のくらし予習：配布資料を読んでおく（30分） 復習：事後課題の提出（1時間） 12 障害のある人の家族とくらし予習：テキストⅣ－1、4を読んでおく（30分） 復習：事後課題の提出（1時間） 13 障害のある人を支える法制度－障害者総合支援法予習：テキストⅥ－11を読んでおく（30分） 復習：事後課題の提出（1時間） 14 障害のある人が働くということ予習：テキストⅥ－6を読んでおく（30分） 復習：事後課題の提出（1時間） 15 障害のある人を支援するということ?授業のまとめ予習：これまでのノートを整理し、疑問点などをまとめておく（30分） 復習：事後課題の提出（1時間）
------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

学修に関する留意事項	授業の最後に毎回小レポートを提出する。授業の後には事後課題を課す。また、事後課題には授業中に示したテキストの該当箇所を読むことも含む。
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	
成績評価方法・基準	授業後課題 到達目標 ①②60% 小レポート 到達目標 ②③10% レポート 到達目標 ①②30%
書名①	よくわかる障害学
著者名①	小川善道・杉野昭博編著
出版社①	ミネルヴァ書房
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	
参考URL	
特記事項	障害者更生施設（障害者支援施設）で生活相談員として勤務経験あり。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2	1	選択
担当教員			
服部 優子			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
演習	キャリア育成学科	2V4234	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員</p> <p>■科目に関連した実務経験のある教員が担当している</p> <p>科目に関連した実務内容 介護福祉士</p> <p>アクティブラーニング要素</p> <p>■ディスカッション、ディベート ■グループワーク □プレゼンテーション □実習、フィールドワーク</p>
テーマ	実習で実施した介護計画に基づき、介護過程が展開できるようになる（利用者個別の介護計画が立てられる）そこから自分自身の課題を見つけ、介護福祉士としての能力を高めていく
到達目標	1. 介護過程の展開の展開を通し、利用者個々人のケアのあり方を考えることができる。2. 受け持ち利用者の介護計画をまとめ、発表できる。3. 各自の課題に向き合い、質の高いケアが実践できる知識や思考力をつける。
授業概要	介護実習での受け持ち利用者への支援を踏まえ、個別援助計画の見直しを行う。自分自身の課題を見つけ、根拠を用いた論理的な思考過程を身につける。
授業計画	<p>1 実習Ⅲにおける受け持ち利用者の介護計画のふりかえり① 〈時間外学習〉受け持ち利用者の計画に関する資料収集や本を図書館で借りて読み進める（1時間）</p> <p>2 実習Ⅲにおける受け持ち利用者の介護計画のふりかえり② 〈時間外学習〉受け持ち利用者の計画に関する資料収集を進める（1時間）</p> <p>3 実習Ⅲにおける受け持ち利用者の介護計画のふりかえり③ 〈時間外学習〉自分の介護過程における課題をノートにまとめる（1時間）</p> <p>4 実習Ⅲにおける受け持ち利用者の介護計画のふりかえり④ 〈時間外学習〉自分の介護過程における課題をノートにまとめる（1時間）</p> <p>5 実習Ⅲにおける受け持ち利用者の介護計画のふりかえり⑤ グループワーク 〈時間外学習〉他の人の介護過程における長所をノートにまとめる（1時間）</p> <p>6 実習Ⅲにおける受け持ち利用者の介護計画のふりかえり⑥ グループワーク 〈時間外学習〉他の人の介護過程における課題をノートにまとめる（1時間）</p> <p>7 実習Ⅲにおける受け持ち利用者の介護計画のふりかえり⑦ 〈時間外学習〉自分の介護過程における長所と課題をノートにまとめる（1時間）</p> <p>8 まとめ</p> <p>9 事例を用いた介護過程の展開① 〈時間外学習〉アセスメント作業を進めておく（1時間）</p> <p>10 事例を用いた介護過程の展開② 〈時間外学習〉アセスメント作業を進めておく（1時間）</p> <p>11 事例を用いた介護過程の展開③ 〈時間外学習〉アセスメント作業を進めておく（1時間）</p> <p>12 事例を用いた介護過程の展開④ 〈時間外学習〉ケアプラン作成作業を進めておく（1時間）</p> <p>13 事例を用いた介護過程の展開⑤（グループワーク） 〈時間外学習〉他の人のよいところ、学ぶべき点をノートにまとめる（1時間）</p> <p>14 事例を用いた介護過程の展開⑥（グループワーク） 〈時間外学習〉他の人のよいところ、学ぶべき点をノートにまとめる（1時間）</p> <p>15 まとめ</p>

学修に関する留意事項	介護過程演習の総仕上げです。介護過程の展開をしっかり理解し、現場で実践できるようにしましょう。実習で使用したメモや介護過程の資料を使用します。日誌を提出する前に自分でコピーをとっておきましょう。
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	
成績評価方法・基準	提出物50% 授業の取り組み（到達目標1、2、3）50%
書名①	介護過程 最新 介護福祉士養成講座9
著者名①	介護福祉士養成講座編集委員会
出版社①	中央法規
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	三重県版 介護実習の手引き 介護実習ノート
参考URL	
特記事項	介護過程の展開を覚えましょう。実習Ⅱ・Ⅲで受け持ち利用者の介護計画立案と実施のまとめができるようにしましょう。実習で使用したメモや資料、自分が作成した介護過程を使用します。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2	1	選択
担当教員			
東海林 藍			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
演習	キャリア育成学科	2V4243	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員</p> <p>■科目に関連した実務経験のある教員が担当している</p> <p>科目に関連した実務内容 介護福祉士としての実務経験がある。</p> <p>アクティブラーニング要素</p> <p><input type="checkbox"/>ディスカッション、ディベート</p> <p><input type="checkbox"/>グループワーク</p> <p><input type="checkbox"/>プレゼンテーション</p> <p><input type="checkbox"/>実習、フィールドワーク</p>
------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	介護に必要な知識・技術の確認と介護過程の展開を含めた総合的学習
到達目標	1, 介護実習Ⅲでのふり返し、介護の知識や技術を実践と結びつけ深化させるとともに、自己の課題を明確化する。2, 介護実習Ⅲの学びから自己の課題を明確化し、専門職としての態度を養う。3, 介護福祉士に求められる役割と機能が理解できる。
授業概要	学外での学びを総括し、介護実習Ⅲで受け持った利用者の生活支援についてまとめ、自己の介護・福祉観を明らかにする。
授業計画	<p>1 介護実習Ⅲでの学びのふり返し①～自己評価と客観的評価について <時間外学習>この授業で何を学修するのか、シラバスを確認する。介護実習Ⅲの記録を見直す (30分)</p> <p>2 介護実習Ⅲでの学びのふり返し②～自己評価と客観的評価について <時間外学習>介護実習Ⅲの記録と改善点の確認 (30分)</p> <p>3 介護実習Ⅲでの学びのふり返し③～個々の振り返り、グループワークを通じた課題の明確化 <時間外学習>介護実習Ⅲの記録と改善点の確認 (30分)</p> <p>4 介護実習Ⅲでの学びのふり返し④～個々の振り返り、グループワークを通じた課題の明確化 <時間外学習>介護実習Ⅲの記録と改善点の確認 (30分)</p> <p>5 介護実習Ⅲでの学びのふり返し⑤～グループワークを通じた学びの共有 <時間外学習>介護実習Ⅲの記録と改善点の確認 (30分)</p> <p>6 受け持ち利用者の生活支援についてまとめる (全体・個別指導) <時間外学習>介護実習の手引きP42～43読み、要点をまとめる (30分)</p> <p>7 受け持ち利用者の生活支援についてまとめる (全体・個別指導) <時間外学習>介護実習の手引きP44～45を読み、要点をまとめる (30分)</p> <p>8 受け持ち利用者の生活支援についてまとめる (グループワーク) <時間外学習>介護実習の手引きp42～45を確認し、必要事項を再確認する</p> <p>9 受け持ち利用者の生活支援についてまとめたものを発表する。学びの共有 <時間外学習>他グループが発表した内容をノートにまとめる (60分)</p> <p>10 実習評価についての面談 (個別指導) ① <時間外学習>前回のグループワークの内容をノートにまとめる (30分)</p> <p>11 実習評価についての面談 (個別指導) ② <時間外学習>介護実習Ⅲの記録と改善点の確認 (30分)</p> <p>12 実習評価についての面談 (個別指導) ③ <時間外学習>介護実習Ⅲの記録と改善点の確認 (30分)</p> <p>13 介護実習Ⅲでの学びのふり返し⑥ <時間外学習>介護実習Ⅲの記録と改善点の確認 (30分)</p> <p>14 介護実習Ⅲでの学びのふり返し⑦～自己の課題と今後の展望について <時間外学習>授業内容をノートにまとめる (30分)</p> <p>15 介護実習Ⅲでの学びのふり返し⑧～自己の課題と今後の展望について <時間外学習>授業内容をノートにまとめる (30分)</p>
学修に関する留意事項	受け持ち利用者との関わりを通し「その人らしく生きていくことを支える」とはどういうことなのか考えを深め、どのような介護福祉士になりたいのか考察する。また、自らの介護・福祉観を確立できるよう、自身の考

	察を深めていく。
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	
成績評価方法・基準	提出物（到達目標 1、2、3）50% 筆記試験（到達目標1.2.3）50%
書名①	新・介護福祉士養成講座「介護総合演習・介護実習」
著者名①	
出版社①	中央法規
書名②	介護実習の手引き 介護実習ノート
著者名②	
出版社②	三重県介護福祉士養成施設協議会
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	
参考URL	
特記事項	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2	2	選択
担当教員			
福田 洋子			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
講義	キャリア育成学科	2W4123	
添付ファイル			

授業種類	授業担当教員 ■科目に関連した実務経験のある教員が担当している 科目に関連した実務内容 アクティブラーニング要素 <input type="checkbox"/> ディスカッション、ディベート <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク
------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	障害のある人の生活支援の根拠となる理念及び心身機能の理解
到達目標	1. 障害者福祉の基本的理念を理解する。2. それぞれの障害の特性を理解し支援に繋げられるようになる 3. 障害のある人の家族支援について理解する
授業概要	内部障害、精神障害、難病などの特性の理解と特性に応じた支援について学習する。
授業計画	1 第1章 障害福祉に関する制度 P27～ (時間外学習) 教科書を読んでおくこと (課題30分) 2 第1章 障害者福祉制度と介護保険 p 37～ (時間外学習) 教科書を読んでおくこと (課題30分) 3 第2章 視覚障害 P66～・重複障害 p 85～ (時間外学習) 教科書を読んでおくこと (課題30分) 4 第2章 心臓機能障害の特性や支援 P94 (時間外学習) 教科書を読んでおくこと (課題30分) 5 第2章 呼吸器機能障害の特性や支援 p 102 (時間外学習) 教科書を読んでおくこと (課題30分) 6 第2章 腎臓器機能障害の特性 P111 (時間外学習) 教科書を読んでおくこと (課題30分) 7 第2章 膀胱・直腸機能障害の特性 P119 (時間外学習) 教科書を読んでおくこと 8 第2章 小腸機能障害の特性や支援 P127 (時間外学習) 教科書を読んでおくこと (課題30分) 9 第2章 ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能障害の特性や支援 P133 (時間外学習) 教科書を読んでおくこと (課題30分) 10 第2章 肝臓器機能障害の特性や支援 P141 (時間外学習) 教科書を読んでおくこと (課題30分) 11 第2章 重症心身障害 P148 (時間外学習) 教科書を読んでおくこと (課題30分) 12 第3章 難病に関する基礎的知識 P210 (時間外学習) 教科書を読んでおくこと (課題30分) 13 第4章 連携と協働の、地域のサポート体制の在り方について P224 (時間外学習) 教科書を読んでおくこと (課題30分) 14 第5章 家族への支援、家族介護力の評価 p 250 (時間外学習) 教科書を読んでおくこと (課題30分) 15 まとめ
学修に関する留意事項	・課題は提出しましょう・予習ではテキストの図や表も読んで理解を深めましょう。・教科書を何度も読み返し、理解しましょう。分からないことがあれば質問しましょう。・専門用語を覚えましょう
試験やレポート等の課題のフィールド	

バック方法	
成績評価方法・基準	課題・小テスト60% 授業への取り組み20% 最終理解度チェック(到達目標1.2)20%
書名①	最新 介護福祉士養成講座 14 障害の理解
著者名①	介護福祉士養成講座編集委員会
出版社①	中央法規出版
書名②	
著者名②	
出版社②	
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	
参考URL	
特記事項	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2	2	選択
担当教員			
上山 由紀子、松枝 桂子			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
講義・演習	キャリア育成学科	2X4302	
添付ファイル			

授業種類	授業担当教員 ■科目に関連した実務経験のある教員が担当している 科目に関連した実務内容 アクティブラーニング要素 <input type="checkbox"/> ディスカッション、ディベート <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク
------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	喀痰吸引と経管栄養実施に必要な知識を理解し、手順に沿って安全に実施できる
到達目標	1. 専門的知識を理解し、手順に沿って実施できる。2. 安全、安楽に留意し、利用者の状態を観察しながら実施できる。
授業概要	今まで学んだ専門的知識を活かし、実際のモデル人形を使っての演習になる。基本、各項目5回目の合格を目指す。合格できないと、再テストになる。
授業計画	1 グループで実施者・評価者にわかれ、モデル人形にて喀痰吸引を実施する。5回目は教員による評価となる。 時間外学習/教科書や評価票で医療的ケアの手順を確認する (30分) 2 グループで実施者・評価者にわかれ、モデル人形にて喀痰吸引を実施する。5回目は教員による評価となる。 時間外学習/教科書や評価票で医療的ケアの手順を確認する (30分) 3 グループで実施者・評価者にわかれ、モデル人形にて喀痰吸引を実施する。5回目は教員による評価となる。 時間外学習/教科書や評価票で医療的ケアの手順を確認する (30分) 4 グループで実施者・評価者にわかれ、モデル人形にて喀痰吸引を実施する。5回目は教員による評価となる。 時間外学習/教科書や評価票で医療的ケアの手順を確認する (30分) 5 グループで実施者・評価者にわかれ、モデル人形にて喀痰吸引を実施する。5回目は教員による評価となる。 時間外学習/教科書や評価票で医療的ケアの手順を確認する (30分) 6 グループで実施者・評価者にわかれ、モデル人形にて喀痰吸引を実施する。5回目は教員による評価となる。 時間外学習/教科書や評価票で医療的ケアの手順を確認する (30分) 7 グループで実施者・評価者にわかれ、モデル人形にて経管栄養を実施する。5回目は教員による評価となる。 時間外学習/教科書や評価票で医療的ケアの手順を確認する (30分) 8 グループで実施者・評価者にわかれ、モデル人形にて経管栄養を実施する。5回目は教員による評価となる。 時間外学習/教科書や評価票で医療的ケアの手順を確認する (30分) 9 グループで実施者・評価者にわかれ、モデル人形にて経管栄養を実施する。5回目は教員による評価となる。 時間外学習/教科書や評価票で医療的ケアの手順を確認する (30分) 10 グループで実施者・評価者にわかれ、モデル人形にて経管栄養を実施する。5回目は教員による評価となる。 時間外学習/教科書や評価票で医療的ケアの手順を確認する (30分) 11 グループで実施者・評価者にわかれ、モデル人形にて経管栄養を実施する。5回目は教員による評価となる。 時間外学習/教科書や評価票で医療的ケアの手順を確認する (30分) 12 グループで実施者・評価者にわかれ、モデル人形にて経管栄養を実施する。5回目は教員による評価となる。 時間外学習/教科書や評価票で医療的ケアの手順を確認する (30分)

	13	グループで実施者・評価者にわかれ、モデル人形にて経管栄養を実施する。5回目は教員による評価となる。 時間外学習/教科書や評価票で医療的ケアの手順を確認する（30分）
	14	グループで実施者・評価者にわかれ、モデル人形にて経管栄養を実施する。5回目は教員による評価となる。 時間外学習/教科書や評価票で医療的ケアの手順を確認する（30分）
	15	グループで実施者・評価者にわかれ、モデル人形にて心肺蘇生を実施する。5回目は教員による評価となる。 時間外学習/教科書で救急蘇生法の手順を確認する（30分）
学修に関する留意事項	モデル人形を用いての演習となります。評価項目に沿って実施することになりますが、評価項目が多いため、しっかり予習・復習を行い、手順の確認をしましょう。時間内に合格できないと、再テストとなります。わからないことはすぐに聞き、疑問を解決して、活かせるようにしましょう。	
試験やレポート等の課題のフィードバック方法		
成績評価方法・基準	医療的ケア実施手順、根拠(到達目標1.2)60% 授業への取り組み(態度、出欠)40%	
書名①	介護福祉士養成講座15 医療的ケア	
著者名①		
出版社①	中央法規出版	
書名②		
著者名②		
出版社②		
書名③		
著者名③		
出版社③		
参考文献		
参考URL		
特記事項	医療的ケアの講師として経験があります。	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2	2	選択
担当教員			
長谷川 恭子、東海林 藍			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
演習	キャリア育成学科	2Y4200	
添付ファイル			

授業種類	<p>授業担当教員</p> <p>■科目に関連した実務経験のある教員が担当している</p> <p>科目に関連した実務内容</p> <p>アクティブラーニング要素</p> <p><input type="checkbox"/>ディスカッション、ディベート</p> <p><input type="checkbox"/>グループワーク</p> <p><input type="checkbox"/>プレゼンテーション</p> <p><input type="checkbox"/>実習、フィールドワーク</p>
------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	介護福祉に関する総合的学習
到達目標	介護福祉士養成課程の科目を振り返り、基礎知識を再確認することを目標とする。具体的には、①「人間と社会」の領域の理解を確実なものにする。②人間関係、人間発達の理解を確実なものにする。③認知症、障害の理解を確実なものにすることである。
授業概要	介護福祉士養成課程の総まとめとして、既に学んだ「人間と社会」及び「こころとからだのしくみ」の一部について、振り返りながら再学習する。
授業計画	<p>1 オリエンテーション、介護福祉の基礎知識の確認 模擬試験の結果及び解説、国家試験受験に関する説明と諸注意 <時間外学習>図書館で国家試験関連のテキストを読んでおく。試験概要を確認する。(1時間)</p> <p>2 人間の尊厳と自立 <時間外学習>課題の予習・復習(ワークブック上「人間の尊厳と自立」)(1時間)</p> <p>3 人間発達の理解① <時間外学習>課題の予習・復習(ワークブック上「発達と老化の理解」)(1時間)</p> <p>4 人間発達の理解② <時間外学習>課題の予習・復習(ワークブック上「発達と老化の理解」)(1時間)</p> <p>5 社会の理解① <時間外学習>課題の予習・復習(ワークブック上「社会の理解」)(1時間)</p> <p>6 社会の理解② <時間外学習>課題の予習・復習(ワークブック上「社会の理解」)(1時間)</p> <p>7 社会の理解③ <時間外学習>課題の予習・復習(ワークブック上「社会の理解」)(1時間)</p> <p>8 障害の理解① <時間外学習>課題の予習・復習(ワークブック下「障害の理解」)(1時間)</p> <p>9 障害の理解② <時間外学習>課題の予習・復習(ワークブック下「障害の理解」)(1時間)</p> <p>10 認知症の理解① <時間外学習>課題の予習・復習(ワークブック下「認知症の理解」)(1時間)</p> <p>11 認知症の理解② <時間外学習>課題の予習・復習(ワークブック下「認知症の理解」)(1時間)</p> <p>12 総合課題① <時間外学習>課題の予習・復習(今年度実施した模擬試験の問題を見直す)(1時間)</p> <p>13 総合課題② <時間外学習>課題の予習・復習(今年度実施した模擬試験の問題を見直す)(1時間)</p> <p>14 総合課題③ <時間外学習>課題の予習・復習(今年度実施した模擬試験の問題を見直す)(1時間)</p> <p>15 まとめ <時間外学習>この授業での学びを自分なりに振り返っておく。(1時間)</p>

学修に関する留意事項	授業の時間だけでなく積極的な学習を期待します。皆さんの学習の進行度合いによって順番、内容が変動する場合があります。
試験やレポート等の課題のフィードバック方法	
成績評価方法・基準	授業に関する取り組み（到達目標1）100%
書名①	介護福祉士国家試験 受験ワークブック上下
著者名①	
出版社①	中央法規
書名②	介護福祉士国家試験過去問題集2024
著者名②	
出版社②	中央法規
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	介護福祉士国家試験 模擬問題集
参考URL	
特記事項	過去の問題や模擬試験問題から同じような問題が出題されています。繰り返し同じ問題に取り組み、自己学習をすすめてください。図書館に模擬試験や過去問があります。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2	2	選択
担当教員			
上山 由紀子			
授業方法	学科	科目ナンバリング	自由表示項目 4
演習	キャリア育成学科	2Y4201	
添付ファイル			

授業種類	授業担当教員 <input type="checkbox"/> 科目に関連した実務経験のある教員が担当している 科目に関連した実務内容 アクティブラーニング要素 <input type="checkbox"/> ディスカッション、ディベート <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク
------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ	国家試験合格への知識を養う
到達目標	基礎知識を再確認し、国家試験合格を目指す。
授業概要	介護福祉士養成課程の総まとめとして、「こころとからだのしくみ」「医療的ケア」についての国家試験に頻出の問題を学習する。
授業計画	1 国家試験に向けてオリエンテーション こころとからだのしくみ (時間外学習/過去問題や模擬問題が合格レベルに達するよう自己学習する) (2時間) 2 こころとからだのしくみ (時間外学習/過去問題や模擬問題が合格レベルに達するよう自己学習する) (2時間) 3 こころとからだのしくみ (時間外学習/過去問題や模擬問題が合格レベルに達するよう自己学習する) (2時間) 4 こころとからだのしくみ 小テスト (時間外学習/過去問題や模擬問題が合格レベルに達するよう自己学習する) (2時間) 5 発達と老化の理解 (時間外学習/過去問題や模擬問題が合格レベルに達するよう自己学習する) (2時間) 6 発達と老化の理解 (時間外学習/過去問題や模擬問題が合格レベルに達するよう自己学習する) (2時間) 7 発達と老化の理解 (時間外学習/過去問題や模擬問題が合格レベルに達するよう自己学習する) (2時間) 8 発達と老化の理解 小テスト (時間外学習/過去問題や模擬問題が合格レベルに達するよう自己学習する) (2時間) 9 認知症の理解 (時間外学習/過去問題や模擬問題が合格レベルに達するよう自己学習する) (2時間) 10 認知症の理解 小テスト (時間外学習/過去問題や模擬問題が合格レベルに達するよう自己学習する) (2時間) 11 障害の理解 (時間外学習/過去問題や模擬問題が合格レベルに達するよう自己学習する) (2時間) 12 障害の理解 小テスト (時間外学習/過去問題や模擬問題が合格レベルに達するよう自己学習する) (2時間) 13 医療的ケア (時間外学習/過去問題や模擬問題が合格レベルに達するよう自己学習する) (2時間) 14 医療的ケア 小テスト (時間外学習/過去問題や模擬問題が合格レベルに達するよう自己学習する) (2時間) 15 まとめ (時間外学習/過去問題や模擬問題が合格レベルに達するよう自己学習する) (2時間)
学修に関する留意事項	それぞれの教科の基礎知識について、計画的に学ぶ習慣をつけましょう。授業では過去問題を中心に実施します。
試験やレポート等の課題のフィード	

バック方法	
成績評価方法・基準	授業に関する取り組み30% 試験70%
書名①	介護福祉士国家試験 受験ワークブック上下2025
著者名①	
出版社①	中央法規出版
書名②	介護福祉士国家試験 過去問 解説集2025
著者名②	
出版社②	中央法規出版
書名③	
著者名③	
出版社③	
参考文献	
参考URL	
特記事項	授業で解いた過去問題は復習しましょう。分からない場合は積極的に質問し、理解しましょう。